

青森市埋蔵文化財調査報告書 第62集

いな やま  
稲 山 遺 跡

発掘調査報告書

( 第一分冊 本文編 )

平成13年度

青森市教育委員会





狩獵文土器



第9号配石遺構（E）



第11号竖穴式住居跡（W）



第18号埋設土器遺構（S）

## 序

青森市内では、これまで300箇所を数える多数の遺跡が確認されております。これらは、先人たちから現代に生きる私たちへと伝えられた唯一無二の貴重な文化遺産であります。

日々触れる様々な発見の報に胸躍らせる一方でまた、これらの遺産を着実に次の世代へと引き継ぐことは、私たちひとりひとりに課せられた重要な使命であり、責務であります。

当委員会では、東北縦貫自動車道八戸線建設に係る市内諏訪沢地区所在の稲山遺跡について、その記録保存を図るため、これまで平成10年度より今年度まで四次にわたる発掘調査を実施しており、本書は、第二次にあたる平成11年度に実施した発掘調査の結果をまとめたものであります。

当該年度の調査では、竪穴式住居跡や土坑、埋設土器遺構、配石遺構、石棺墓等様々な遺構を多数検出し、また、土器や石器、土製品、石製品等の遺物も前年度の調査と同様に多量に出土いたしました。特に各種の遺構検出により遺跡内の場の利用状況が徐々に明らかとなってきたものと存じております。

本書が、今後の埋蔵文化財の保護並びに活用にささやかなりとも役立つことができれば幸いと存じます。

最後となりましたが、調査の実施から本書の作成にわたる、調査員、関係各機関並びに各位からのご指導、地元各町会からのご協力、さらに工事主体者であります日本道路公団のご理解に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

平成14年3月

青森市教育委員会

教育長 角田 詮二郎



## 例 言

1. 本書は、平成10年度より青森市教育委員会が発掘調査を実施している青森市大字諏訪沢字山辺に所在する稲山遺跡の、第二次調査に相当する平成11年度調査の発掘調査報告書である。第一分冊は、本文編、第二分冊は、表・写真図版編とした。これらは、第一次調査である平成10年度調査に引き続くものであり、本書の構成も平成12年度刊行の「稲山遺跡発掘調査報告書」の続編として「第5編 平成11年度発掘調査成果」とした。なお、平成11年度刊行の「稲山遺跡発掘調査概報」は、調査成果について速報的にまとめたものであり、記載内容については、本書が優先する。
2. 本遺跡の遺跡番号は、01045である。
3. 本書の執筆並びに編集は、青森市教育委員会が行った。執筆分担については、文末に記した。
4. 出土遺物の分類については、種別毎に凡例に記載した。
5. 調査区におけるグリッドの設定、測量原点（B・M）基本層序については、第一次調査に相当する平成10年度発掘調査を踏襲し、これと同様である。また、土層の注記については「新版標準土色帖」（小山正忠、竹原秀雄1993）に準拠した。なお、各遺構の計測値については、確認面から計測した数値である。
6. 遺構番号は、第一次調査より継続して、原則的に遺構の種別毎に、確認順に番号を付した。また、精査後、遺構でないことが判明したものについては欠番とした。なお、土坑の遺構番号については、第一次調査において、調査区中央部における検出土坑の増加が想定されたため、調査区160ライン以西における土坑については、1000番ないし2000番より番号を付したが、以後調査区中央部において使用した土坑番号が1000番台に達したため、使用済の番号を除いて調査区中央部においても1000番台の土坑番号を付した。
7. 図版番号及び表番号は、原則的に「第〇図」、「第〇表」とし、順番に通し番号を付した。
8. 挿図の縮尺は、各図ごとに示し、また写真図版の縮尺については統一を図っていない。
9. 資料の鑑定及び分析について次の方々に依頼した（順不同・敬称略）。

石器の石質鑑定	青森県総合学校教育センター指導主事	工藤 一 彌
水晶の鑑定	山梨学院大学教授	十菱 駿 武
10. 土器実測並びに石器実測及びそのトレースに際しては、一部を次の業者に委託した。

土器の実測	アイシン精機株式会社文化財プロジェクト
石器の実測	株式会社シン技術コンサル
〃	株式会社アルカ
11. 発掘調査における出土遺物、実測図、写真等は、現在、青森市教育委員会で保管している。
12. 発掘調査及び報告書の作成にあたって次の各機関・各氏からご指導・ご教示・ご協力を賜った。記して感謝の意を表する（順不同・敬称略）。

青森県教育庁文化財保護課・青森県埋蔵文化財調査センター・東部二区連合町会・諏訪沢地区農事振興会・伊東 信・岡田 康博・小笠原 雅行・小田川 哲彦・西 勵・斎藤 岳・佐々木 雅裕・鈴木 徹・高橋 潤・茅野 嘉雄・土岐 浩司・中嶋 友文・中村 哲也・中村 美杉・成田 滋彦・畠山 昇・秦 光次郎・福田 友之・三宅 徹也

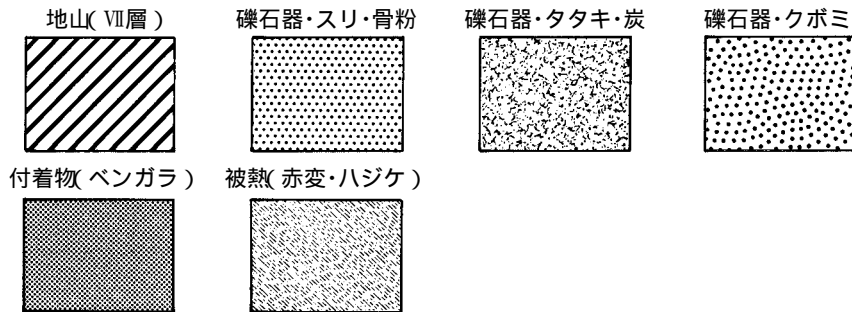




# 凡 例

1. 本報告書内で使用する、スクリーン・トーン・表現方法・略称は以下のとおりである。

(1) 図中で使用したスクリーン・トーン

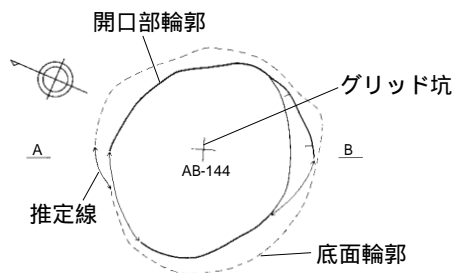


(2) 土器片利用土製品研磨範囲



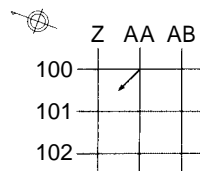
(3) 遺構の推定線等

(例) 第289号土坑



(4) グリッドの呼称

(例) AA - 100グリッド



(5) 図中、表中で使用した遺構の略称

「第〇号竪穴式住居跡」「〇住」「第〇号土坑」「〇土」「第 号埋設土器遺構」「埋」「第 号石棺墓」「石」「第 号配石遺構」「配」

(6) 図中で使用したアルファベットを用いた略称

P...土器 S...石器 LB...ロームブロック

## 2. 出土遺物の分類

本遺跡の出土遺物の分類については、第一次調査である平成10年度調査時より継続するものであり、本書並びに今後刊行予定である本遺跡の調査報告書についても基本的には同様である。各種遺物の分類やその詳細については、青森市埋蔵文化財調査報告書第56集『稲山遺跡発掘調査報告書』（青森市教育委員会2001）において記述しており、第56集を参照されたい。なお、細部における若干の変更や、新たな項目の追加等は一部行っている。

### (1) 出土土器の分類

本遺跡で出土した土器は以下のように分類した。

第 群土器	縄文時代早期の土器
第 群土器	縄文時代前期の土器
第 群土器	縄文時代中期の土器
第 群土器	縄文時代後期の土器
第 群土器	縄文時代晩期の土器
第 群土器	続縄文・弥生時代の土器
第 群土器	平安時代の土器

### (2) 出土石器の分類

本遺跡で出土した石器は以下のように分類した。

#### (1) 剥片石器

##### ・石鏃

##### 1 無茎

(1) 凹基

(2) 平基

##### 2 円・尖基

(1) 円基

(2) 尖基

##### 3 有茎

(1) 凹基

(2) 平基

(3) 凸基（菱形も含む）

##### 4 その他の石鏃

##### 5 欠損品等で基部が無く、細分できないもの

##### 6 石鏃未製品

##### ・銚先鏃

##### ・石槍（6 cm以上のもの）

1 幅広のもの

2 細長のもの

- 3 欠損品等で細分できないもの
- ・石錐
  - 1 錐部のみ二次調整を行うもの
  - 2 全体に二次調整を行うもの
    - ( 1 ) つまみ部を有するもの
    - ( 2 ) 直線的な棒状のもの
  - 3 錐部の欠損品等で細分できないもの
- ・石匙
  - 1 縦型
  - 2 横型
  - 3 欠損品等で細分できないもの
- ・大石平型石筥
- ・石筥
  - 1 撥形を呈するもの
  - 2 側縁が弧状のもの
  - 3 側縁が直線的なもの
  - 4 欠損品等で細分できないもの
- ・異形石器
- ・不定形石器
  - 1 刃部の調整が一側縁の 1 / 2 以上にわたるもの
    - A 側縁部のみに調整が施されるもの
    - B 端部のみに調整が施されるもの
    - C 側縁部及び端部に調整が施されるもの
    - D 尖頭状の刃部を有するもの
    - E 円形、楕円形の周囲に調整が施されるもの
    - F 定形石器の欠損品と思われるもの
    - G 挟入部をもつもの
    - H 鋸歯縁のもの
  - 2 刃部の調整が一側縁の 1 / 2 未満のもの
  - 3 刃部は作出されていないが、微細剥離が認められるもの
  - 4 欠損品等で細分できないもの
- ・その他の剥片石器
- ・剥片
- ・石核
- ( 2 ) 石斧
  - 1 磨製石斧
    - A 小型磨製石斧
    - B 擦切磨製石斧
    - C A、B 以外のもの

## 2 打製石斧

### (3) 礫石器

#### ・礫石錘

- 1 器体の長軸に平行な側縁に抉りを作成するもの
- 2 器体の短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの
- 3 器体の長軸及び短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの  
(3か所以上に抉りがあるものも含む)
- 4 欠損品等で細分できないもの

#### ・有溝石錘

- 1 円形・扁平な礫の器体長軸に全周する1条の溝を有するもの
- 2 円形・扁平な礫の器体短軸に全周する1条の溝を有するもの
- 3 2条以上の溝を有するもの

#### ・敲磨器類

- 1 磨痕のみを有するもの
  - A 円形、楕円形を呈する礫の側縁に磨痕を有するもの
  - B 断面が三角形を呈する礫の側縁に磨痕を有するもの
  - C 円形、楕円形を呈する礫の全面に磨痕を有するもの
  - D 円形、楕円形を呈する礫の平坦面中央に磨痕を有するもの
  - E 磨痕の部位が複合するもの
- 2 敲打痕のみを有するもの
  - A 円形、楕円形を呈する扁平な礫の平坦面に敲打痕を有するもの
  - B 円形、楕円形を呈する扁平な礫の端部に敲打痕を有するもの
  - C 球状を呈する礫の広範囲に敲打痕を有するもの
  - D 断面が三角形を呈する礫の側縁に敲打痕を有するもの
  - E 敲打痕の部位が複合するもの
- 3 凹痕のみを有するもの
- 4 磨痕、敲打痕、凹痕を複合し有するもの
  - A 磨痕と敲打痕を有するもの
  - B 敲打痕と凹痕を有するもの
  - C 磨痕と凹痕を有するもの
  - D 磨痕、敲打痕、凹痕を有するもの
- 5 1～4に含まれないもの

#### ・半円状扁平打製石器及び類似する石器

#### ・抉入扁平磨製石器及び類似する石器

#### ・剥離のある礫

#### ・擦切具

#### ・砥石

#### ・石皿・台石

- 1 石皿

2 台石

(3) 水晶

1 加工しているもの

2 加工していないもの

A 群晶

B 単体

(3) 出土土製品の分類

本遺跡で出土した土製品は以下のように分類した。

- ・土偶
- ・鐎形土製品
- ・ミニチュア土器
- ・耳飾
- ・有孔土製品
- ・紐状土製品
- ・笠形土製品
- ・三角形土版
- ・円形土版
- ・土器片利用土製品
- ・焼成粘土塊

(4) 出土石製品の分類

本遺跡で出土した石製品は以下のように分類した。

- ・三角形岩版
- ・円形岩版
- ・その他の岩版
- ・岩版関係資料
- ・有孔石製品
- ・球状石製品
- ・椀状石製品
- ・耳飾
- ・イモ貝状石製品
- ・線刻礫
- ・採集石製品
- ・石棒
- ・石刀
- ・軽石石製品
- ・その他の石製品

# 目 次

( 第一分冊 本文編 )

序

例言

凡例

本文目次

図版目次

第 5 編	平成11年度発掘調査成果.....	1
第 1 章	平成11年度稲山遺跡発掘調査要項.....	1
第 2 章	調査経過.....	2
第 3 章	検出遺構と出土遺物.....	10
第 1 節	検出遺構.....	10
1 .	竪穴式住居跡.....	10
2 .	土坑.....	134
3 .	埋設土器遺構.....	396
4 .	配石遺構・石棺墓.....	410
第 2 節	出土遺物.....	420
1 .	土器.....	421
第 群土器	.....	421
第 群土器	.....	435
2 .	石器.....	457
3 .	土製品.....	517
4 .	石製品.....	523
	平成11年度調査のまとめ.....	535

# 図版目次

第 1 図	調査区設定図	5・6	第 62 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	45)	87	
第 2 図	平成11年度遺構配置図( 1 )	7・8	第 63 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	46)	88	
第 3 図	平成11年度遺構配置図( 2 )	9	第 64 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	47)	89	
第 4 図	第 1 号・第12号竪穴式住居跡( 1 )	23・24	第 65 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	48)	90	
第 5 図	第 1 号・第12号竪穴式住居跡( 2 )	25	第 66 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	49)	91	
第 6 図	第 1 号・第12号竪穴式住居跡( 3 )	26	第 67 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	50)	92	
第 7 図	第 1 号・第12号竪穴式住居跡( 4 )	27	第 68 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	51)	93	
第 8 図	第 2 号竪穴式住居跡	29・30	第 69 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	52)	94	
第 9 図	第 3 号竪穴式住居跡	31	第 70 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	53)	95	
第 10 図	第 4 号竪穴式住居跡	32	第 71 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	54)	96	
第 11 図	第 5 号竪穴式住居跡( 1 )	33・34	第 72 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	1 )	97	
第 12 図	第 5 号竪穴式住居跡( 2 )	35	第 73 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	2 )	98	
第 13 図	第 5 号竪穴式住居跡( 3 )	第 6 号竪穴式住居跡	36	第 74 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	3 )	99
第 14 図	第 7 号竪穴式住居跡	37	第 75 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	4 )	100	
第 15 図	第 8 号竪穴式住居跡・第 9 号竪穴式住居跡	38	第 76 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	5 )	101	
第 16 図	第10号竪穴式住居跡	39	第 77 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	6 )	102	
第 17 図	第11号竪穴式住居跡	41・42	第 78 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	7 )	103	
第 18 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	1 )	43	第 79 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	8 )	104
第 19 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	2 )	44	第 80 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	9 )	105
第 20 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	3 )	45	第 81 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	10 )	106
第 21 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	4 )	46	第 82 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	11 )	107
第 22 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	5 )	47	第 83 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	12 )	108
第 23 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	6 )	48	第 84 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	13 )	109
第 24 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	7 )	49	第 85 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	14 )	110
第 25 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	8 )	50	第 86 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	15 )	111
第 26 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	9 )	51	第 87 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	16 )	112
第 27 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	10 )	52	第 88 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	17 )	113
第 28 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	11 )	53	第 89 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	18 )	114
第 29 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	12 )	54	第 90 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	19 )	115
第 30 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	13 )	55	第 91 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	20 )	116
第 31 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	14 )	56	第 92 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	21 )	117
第 32 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	15 )	57	第 93 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	22 )	118
第 33 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	16 )	58	第 94 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	23 )	119
第 34 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	17 )	59	第 95 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	24 )	120
第 35 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	18 )	60	第 96 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	25 )	121
第 36 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	19 )	61	第 97 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	26 )	122
第 37 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	20 )	62	第 98 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	27 )	123
第 38 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	21 )	63	第 99 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	28 )	124
第 39 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	22 )	64	第100図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	29 )	125
第 40 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	23 )	65	第101図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	30 )	126
第 41 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	24 )	66	第102図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	31 )	127
第 42 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	25 )	67	第103図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	32 )	128
第 43 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	26 )	68	第104図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	33 )	129
第 44 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	27 )	69	第105図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	34 )	130
第 45 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	28 )	70	第106図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	35 )	131
第 46 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	29 )	71	第107図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	36 )	132
第 47 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	30 )	72	第108図	遺構内出土土製品・石製品( 竪穴式住居跡 )	...	133
第 48 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	31 )	73	第109図	土坑( 1 )	26土・29 ~ 31土・53 ~ 55土)	265
第 49 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	32 )	74	第110図	土坑( 2 )	59土・65土・70 ~ 73土)	266
第 50 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	33 )	75	第111図	土坑( 3 )	84土・90土・92 ~ 94土)	267
第 51 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	34 )	76	第112図	土坑( 4 )	95土 A・B・98土・100土・101土)	268
第 52 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	35 )	77	第113図	土坑( 5 )	104土・110 ~ 113土)	269
第 53 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	36 )	78	第114図	土坑( 6 )	114 ~ 116土・117 ~ 119土)	270
第 54 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	37 )	79	第115図	土坑( 7 )	121土・123土・125 ~ 129土・132土)	271
第 55 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	38 )	80	第116図	土坑( 8 )	133土・134土 B・135土・138土・142土・144土)	272
第 56 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	39 )	81	第117図	土坑( 9 )	149土・150土・157土・158土・161土)	273
第 57 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	40 )	82	第118図	土坑( 10 )	162土・167土・170土 A・B・174土・175土)	274
第 58 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	41 )	83	第119図	土坑( 11 )	176土 A・B・177土・179土・182土・183土・189土)	275
第 59 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	42 )	84	第120図	土坑( 12 )	185土・190 ~ 193土)	276
第 60 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	43 )	85	第121図	土坑( 13 )	194土 A ~ 198土)	277
第 61 図	遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )	44 )	86	第122図	土坑( 14 )	199 ~ 204土・206土)	278

第123圖	土坑( 15 )	208±·209±·214±A ~ 218± )	279	
第124圖	土坑( 16 )	221 ~ 225±·227±·228± )	280	
第125圖	土坑( 17 )	229 ~ 232±·234± )	281	
第126圖	土坑( 18 )	235 ~ 240± )	282	
第127圖	土坑( 19 )	241 ~ 248± )	283	
第128圖	土坑( 20 )	249 ~ 256± )	284	
第129圖	土坑( 21 )	257±·259 ~ 262±·264±·265±·267± )	285	
第130圖	土坑( 22 )	266±A·B·268 ~ 272± )	286	
第131圖	土坑( 23 )	274±·278 ~ 281±·284± )	287	
第132圖	土坑( 24 )	285±·286±·288 ~ 291± )	288	
第133圖	土坑( 25 )	292±·293±A·293±B·297± )	289	
第134圖	土坑( 26 )	298 ~ 301± )	290	
第135圖	土坑( 27 )	302±·303±·305±·308 ~ 311± )	291	
第136圖	土坑( 28 )	312±·314±·317±·320 ~ 322± )	292	
第137圖	土坑( 29 )	323±·324±·332 ~ 334±·339 ~ 342± )	293	
第138圖	土坑( 30 )	343 ~ 347±·350 ~ 353±·355± )	294	
第139圖	土坑( 31 )	356 ~ 361± )	295	
第140圖	土坑( 32 )	362 ~ 369±·371± )	296	
第141圖	土坑( 33 )	370±·372 ~ 380± )	297	
第142圖	土坑( 34 )	382 ~ 391±B )	298	
第143圖	土坑( 35 )	392 ~ 395± )	299	
第144圖	土坑( 36 )	396 ~ 405± )	300	
第145圖	土坑( 37 )	406 ~ 409±·413±·415± )	301	
第146圖	土坑( 38 )	418±·420±·423±·426 ~ 429±·431± )	302	
第147圖	土坑( 39 )	432±·433±·438 ~ 441± )	303	
第148圖	土坑( 40 )	442 ~ 445±·447±·448±·450±·452± )	304	
第149圖	土坑( 41 )	453 ~ 460± )	305	
第150圖	土坑( 42 )	461±·462±·465 ~ 469± )	306	
第151圖	土坑( 43 )	470 ~ 473±·475±·476± )	307	
第152圖	土坑( 44 )	477 ~ 481±·483± )	308	
第153圖	土坑( 45 )	484±·485±·487±·488± )	309	
第154圖	土坑( 46 )	489±·490±·493±·495 ~ 498± )	310	
第155圖	土坑( 47 )	499±·500±·508±·529±·663±·668±·779 ~ 788± )	311	
第156圖	土坑( 48 )	789 ~ 791±·793 ~ 798±B·821±·842±·850±· 856 ~ 858±·860 ~ 862±·869±·870±·873±·874± )	312	
第157圖	土坑( 49 )	875±·876±·886 ~ 888±A·B·898 ~ 902± )	313	
第158圖	土坑( 50 )	903 ~ 907±·911±·912± )	314	
第159圖	土坑( 51 )	915 ~ 919±·950± )	315	
第160圖	土坑( 52 )	951 ~ 953±·962±·980 ~ 982±·1034±·1035± )	316	
第161圖	土坑( 53 )	1066±·1067±·1082±·1084±·1086±· 1088±·1098±·1101 ~ 1114± )	317	
第162圖	土坑( 54 )	1115 ~ 1121±·1124±·1135±· 1140±·1141±·1146 ~ 1151± )	318	
第163圖	土坑( 55 )	1152±·1275 ~ 1277± )	319	
第164圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	320	
第165圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	321	
第166圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	322	
第167圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	323	
第168圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	324	
第169圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	325	
第170圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	326	
第171圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	327	
第172圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	328	
第173圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	329	
第174圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	330	
第175圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	331	
第176圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	332	
第177圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	333	
第178圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	334	
第179圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	335	
第180圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	336	
第181圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	337	
第182圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	338	
第183圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	339	
第184圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	340	
第185圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	341	
第186圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	342	
第187圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	343	
第188圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	344	
第189圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	345	
第190圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	346	
第191圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	347	
第192圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	348	
第193圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	349	
第194圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	350	
第195圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	351	
第196圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	352	
第197圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	353	
第198圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	354	
第199圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	355	
第200圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	356	
第201圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	357	
第202圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	358	
第203圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	359	
第204圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	360	
第205圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	361	
第206圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	362	
第207圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	363	
第208圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	364	
第209圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	365	
第210圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	366	
第211圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	367	
第212圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	368	
第213圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	369	
第214圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	370	
第215圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	371	
第216圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	372	
第217圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	373	
第218圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	374	
第219圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	375	
第220圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	376	
第221圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	377	
第222圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	378	
第223圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	379	
第224圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	380	
第225圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	381	
第226圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	382	
第227圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	383	
第228圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	384	
第229圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	385	
第230圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	386	
第231圖	遺構內出土土器	( 土坑 )	387	
第232圖	遺構內出土土製品	( 土坑 )	388	
第233圖	遺構內出土土製品	( 土坑 )	389	
第234圖	遺構內出土土製品	( 土坑 )	390	
第235圖	遺構內出土土製品	( 土坑 )	391	
第236圖	遺構內出土土製品	( 土坑 )	392	
第237圖	遺構內出土古錢	( 土坑 )	393	
第238圖	遺構內出土古錢	( 土坑 )	394	
第239圖	遺構內出土古錢	( 土坑 )	395	
第240圖	埋設土器遺構	( 1 )	1 ~ 6埋·8埋·10 ~ 12埋· 15埋·16埋·18 ~ 22埋 )	402
第241圖	埋設土器遺構	( 2 )	35埋·38 ~ 41埋 )	403
第242圖	遺構內出土土器	( 埋設土器遺構 )	1 )	404
第243圖	遺構內出土土器	( 埋設土器遺構 )	2 )	405



第244圖	遺構內出土土器(埋設土器遺構ⅳ4)	406	第305圖	遺構外出土土器(16)	472
第245圖	遺構內出土土器(埋設土器遺構ⅳ5)	407	第306圖	遺構外出土土器(17)	473
第246圖	遺構內出土土器(埋設土器遺構ⅳ6)· 遺構內出土土器(埋設土器遺構)	408	第307圖	遺構外出土土器(18)	474
第247圖	遺構內出土土器(埋設土器遺構ⅳ7)	409	第308圖	遺構外出土土器(19)	475
第248圖	石棺墓·配石遺構(1ⅳ1石·2石)	414	第309圖	遺構外出土土器(20)	476
第249圖	石棺墓·配石遺構(2ⅳ3石·6配·7配)	415	第310圖	遺構外出土土器(21)	477
第250圖	石棺墓·配石遺構(3ⅳ8配·9配)	416	第311圖	遺構外出土土器(22)	478
第251圖	石棺墓·配石遺構(4ⅳ11配)· 遺構內出土土器(配石遺構)	417	第312圖	遺構外出土土器(23)	479
第252圖	遺構內出土土器(石棺墓·配石遺構ⅳ1)	418	第313圖	遺構外出土土器(24)	480
第253圖	遺構內出土土器(石棺墓·配石遺構ⅳ2)	419	第314圖	遺構外出土土器(25)	481
第254圖	遺構外出土第 群土器(1)	421	第315圖	遺構外出土土器(26)	482
第255圖	遺構外出土第 群土器(2)	422	第316圖	遺構外出土土器(27)	483
第256圖	遺構外出土第 群土器(3)	423	第317圖	遺構外出土土器(28)	484
第257圖	遺構外出土第 群土器(4)	424	第318圖	遺構外出土土器(29)	485
第258圖	遺構外出土第 群土器(5)	425	第319圖	遺構外出土土器(30)	486
第259圖	遺構外出土第 群土器(6)	426	第320圖	遺構外出土土器(31)	487
第260圖	遺構外出土第 群土器(7)	427	第321圖	遺構外出土土器(32)	488
第261圖	遺構外出土第 群土器(8)	428	第322圖	遺構外出土土器(33)	489
第262圖	遺構外出土第 群土器(9)	429	第323圖	遺構外出土土器(34)	490
第263圖	遺構外出土第 群土器(10)	430	第324圖	遺構外出土土器(35)	491
第264圖	遺構外出土第 群土器(11)	431	第325圖	遺構外出土土器(36)	492
第265圖	遺構外出土第 群土器(12)	432	第326圖	遺構外出土土器(37)	493
第266圖	遺構外出土第 群土器(13)	433	第327圖	遺構外出土土器(38)	494
第267圖	遺構外出土第 群·第 群土器	434	第328圖	遺構外出土土器(39)	495
第268圖	遺構外出土第 群土器(1)	435	第329圖	遺構外出土土器(40)	496
第269圖	遺構外出土第 群土器(2)	436	第330圖	遺構外出土土器(41)	497
第270圖	遺構外出土第 群土器(3)	437	第331圖	遺構外出土土器(42)	498
第271圖	遺構外出土第 群土器(4)	438	第332圖	遺構外出土土器(43)	499
第272圖	遺構外出土第 群土器(5)	439	第333圖	遺構外出土土器(44)	500
第273圖	遺構外出土第 群土器(6)	440	第334圖	遺構外出土土器(45)	501
第274圖	遺構外出土第 群土器(7)	441	第335圖	遺構外出土土器(46)	502
第275圖	遺構外出土第 群土器(8)	442	第336圖	遺構外出土土器(47)	503
第276圖	遺構外出土第 群土器(9)	443	第337圖	遺構外出土土器(48)	504
第277圖	遺構外出土第 群土器(10)	444	第338圖	遺構外出土土器(49)	505
第278圖	遺構外出土第 群土器(11)	445	第339圖	遺構外出土土器(50)	506
第279圖	遺構外出土第 群土器(12)	446	第340圖	遺構外出土土器(51)	507
第280圖	遺構外出土第 群土器(13)	447	第341圖	遺構外出土土器(52)	508
第281圖	遺構外出土第 群土器(14)	448	第342圖	遺構外出土土器(53)	509
第282圖	遺構外出土第 群土器(15)	449	第343圖	遺構外出土土器(54)	510
第283圖	遺構外出土第 群土器(16)	450	第344圖	遺構外出土土器(55)	511
第284圖	遺構外出土第 群土器(17)	451	第345圖	遺構外出土土器(56)	512
第285圖	遺構外出土第 群土器(18)	452	第346圖	遺構外出土土器(57)	513
第286圖	遺構外出土第 群土器(19)	453	第347圖	遺構外出土土器(58)	514
第287圖	遺構外出土第 群土器(20)	454	第348圖	遺構外出土土器(59)	515
第288圖	遺構外出土第 群土器(21)	455	第349圖	遺構外出土土器(60)	516
第289圖	遺構外出土第 群·第 群土器	456	第350圖	遺構外出土土製品(1)	517
第290圖	遺構外出土土器(1)	457	第351圖	遺構外出土土製品(2)	518
第291圖	遺構外出土土器(2)	458	第352圖	遺構外出土土製品(3)	519
第292圖	遺構外出土土器(3)	459	第353圖	遺構外出土土製品(4)	520
第293圖	遺構外出土土器(4)	460	第354圖	遺構外出土土製品(5)	521
第294圖	遺構外出土土器(5)	461	第355圖	遺構外出土土製品(6)	522
第295圖	遺構外出土土器(6)	462	第356圖	遺構外出土土製品(1)	523
第296圖	遺構外出土土器(7)	463	第357圖	遺構外出土土製品(2)	524
第297圖	遺構外出土土器(8)	464	第358圖	遺構外出土土製品(3)	525
第298圖	遺構外出土土器(9)	465	第359圖	遺構外出土土製品(4)	526
第299圖	遺構外出土土器(10)	466	第360圖	遺構外出土土製品(5)	527
第300圖	遺構外出土土器(11)	467	第361圖	遺構外出土土製品(6)	528
第301圖	遺構外出土土器(12)	468	第362圖	遺構外出土土製品(7)	529
第302圖	遺構外出土土器(13)	469	第363圖	遺構外出土土製品(8)	530
第303圖	遺構外出土土器(14)	470	第364圖	遺構外出土土製品(9)	531
第304圖	遺構外出土土器(15)	471	第365圖	遺構外出土土製品(10)	532
			第366圖	遺構外出土土製品(11)	533
			第367圖	遺構外出土土製品(12)	534



## 第5編 平成11年度発掘調査成果

### 第1章 平成11年度稲山遺跡発掘調査要項

#### 1. 調査目的

東北縦貫自動車道八戸線（青森～青森）建設工事に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図り、地域社会の文化財の活用に資する。

#### 2. 遺跡名及び所在地

稲山遺跡（いなやま）  
青森市大字諏訪沢字山辺地内

3. 事業実施期間 平成11年4月1日～平成12年3月31日  
（発掘調査期間 平成11年5月11日～平成11年11月19日）

4. 調査対象面積 23,300㎡（調査実施面積4,844㎡）

6. 調査委託者 日本道路公団

7. 調査受諾者 青森市教育委員会

8. 調査担当機関 青森市教育委員会生涯学習部社会教育課埋蔵文化財対策室

9. 調査指導機関 青森県教育庁文化課

#### 10. 調査体制

調査指導員	村越 潔	青森大学考古学研究所所長兼教授	（考古学）
調査員	藤沼 邦彦	弘前大学教授	（考古学）
〃	十菱 駿武	山梨学院大学教授	（考古学）
〃	西 勵	青森短期大学助教授	（考古学）
〃	市川 金丸	青森県考古学会会長	（考古学）
〃	工藤 一彌	青森県総合学校教育センター指導主事	（地質学）
調査協力員	小笠原 実	東部二区連合町会長	
〃	斎藤 義隆	諏訪沢地区農事振興会会長	
〃	豊川 功	地主	
〃	斎藤 誠	地主	

調査事務局	青森市教育委員会
教育長	池田 敬
生涯学習部長	中西 秀吉
社会教育課長	間山 義弘
埋蔵文化財対策室長	遠藤 正夫
室長補佐	蝦名 淳一
主査	堀谷 久子(庶務担当)
〃	田澤 淳逸
主事	小野 貴之(調査担当)
〃	木村 淳一
〃	児玉 大成
〃	沼宮内 陽一郎
〃	設楽 政健
調査補助員	蝦名 純
〃	長内 礼二
〃	小鹿 美香子
〃	本田 顕子

## 第2章 調査経過

5月11日、調査開始式を行い、越冬対策をしていた調査区内外の環境整備を開始した。また、前年度の調査で確認の済んでいる土坑等の遺構について遺構精査を開始した。以降、同様に確認済みの土坑の精査、記録主体の作業を行った。

6月中旬、調査区中央部の台地上、グリッド140～160ライン間について昨年度、調査を実施していない南側の精査を開始した。前年度の調査同様、地表面下10～20cmで縄文時代後期の遺物包含層である第a層が現れ、河原石や、第層が出自と思われる多量の角礫と伴に第群土器が出土し始めた。以降、遺構精査や遺構の記録作業と並行して、第a層の精査を行った。

7月下旬、今年度に第a層の精査を開始した個所について、精査が終了に近づき、引き続いて遺構精査を行った。また、昨年度確認済みの遺構についても、遺構精査等の作業を続行した。

8月初旬、調査区中央部の台地東斜面に相当する、グリッド130～140ライン間について一部表土剥ぎを行ったところ、他の遺物が密集している調査区と同様に地表面下10～20cmで縄文時代後期の遺物包含層である第a層が現れ、第群土器が出土し始めた。また、同じくグリッド130～140ライン間にトレンチを設け、基本層序第層まで掘り下げたところ、台地東斜面の斜面上部から下部まで遺構が密に存在することを確認した。

9月上旬、前年度の調査で確認に留まった、第1号石棺墓の精査を開始した。以降、他の石棺墓や配石遺構の精査、記録を進めた。

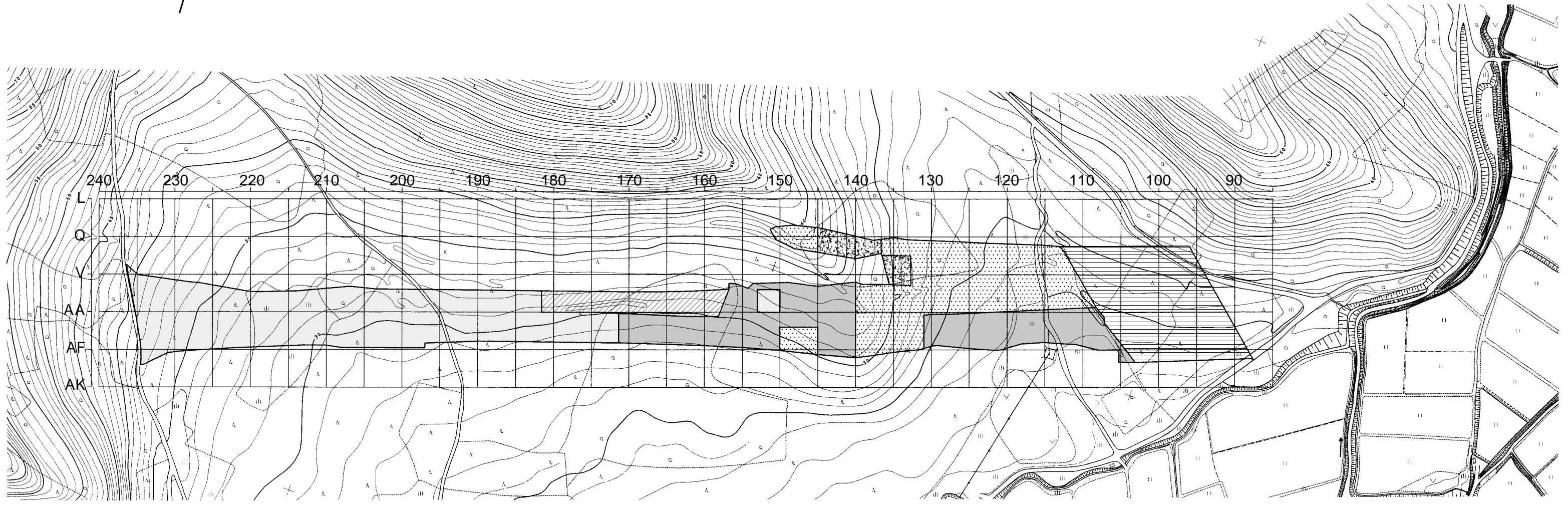
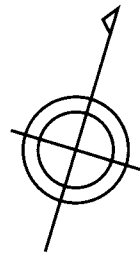
10月1日、調査会議を実施し、調査の問題点や今年度の調査範囲について協議した。

11月中旬、残る遺構の作業を続行すると共に、越冬準備の作業を開始した。

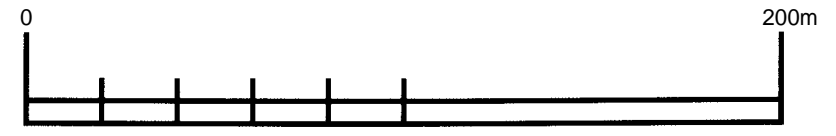
11月19日、調査終了式を行い、平成11年度の現地調査を終了した。検出遺構数は竪穴式住居跡13軒、土坑409基、埋設土器遺構22基、石棺墓3基、配石遺構5基である。出土遺物は、土器、石器、土製品、石製品、古銭等段ボール換算で550箱が出土した。

(小野)

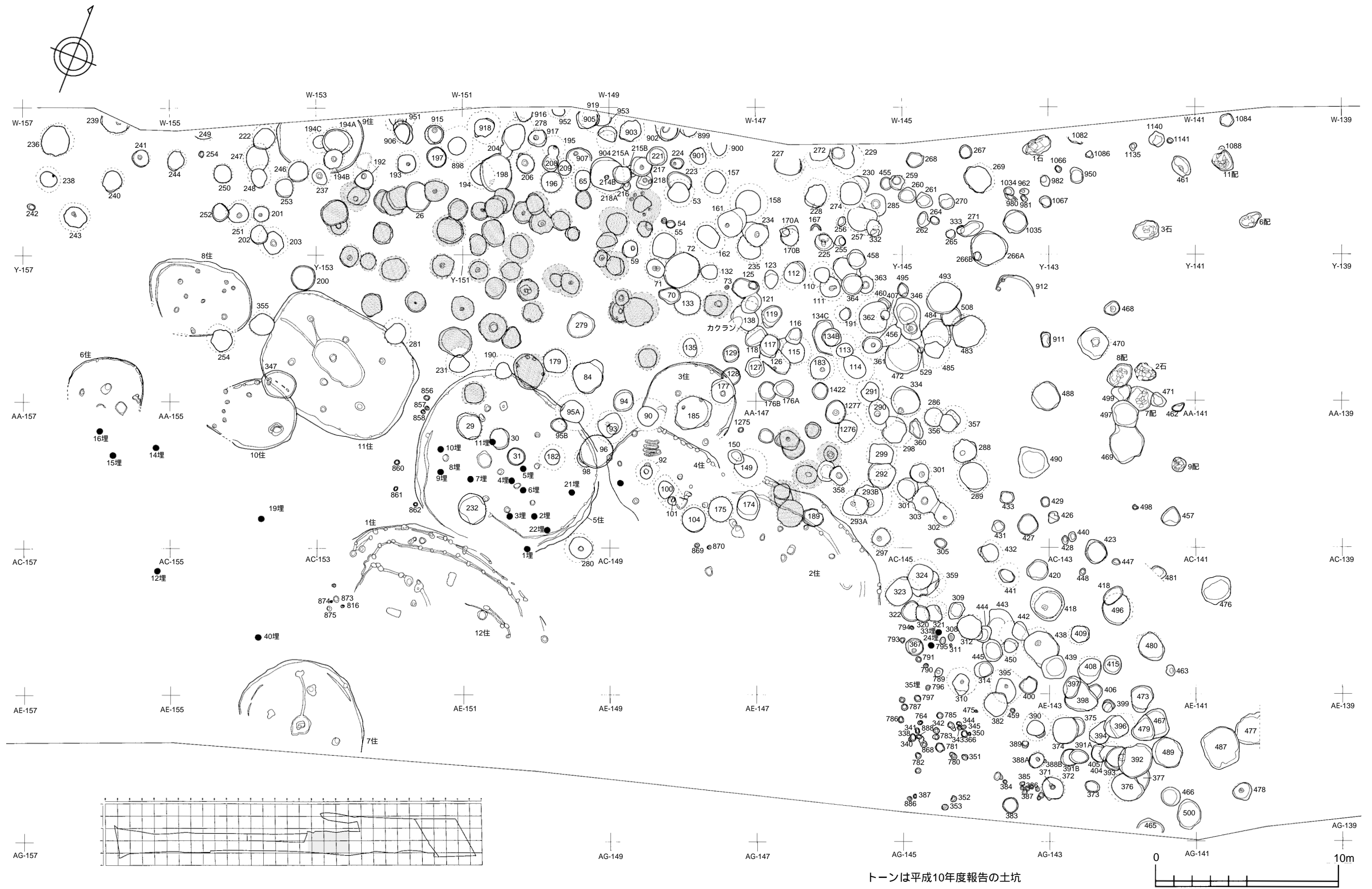




凡 例	
	平成10年度 調査終了範囲
	平成11年度 調査終了範囲
	平成12年度 調査終了範囲
	平成12年度 確認調査終了範囲
	平成13年度 調査終了範囲
	平成14年度以降調査予定範囲

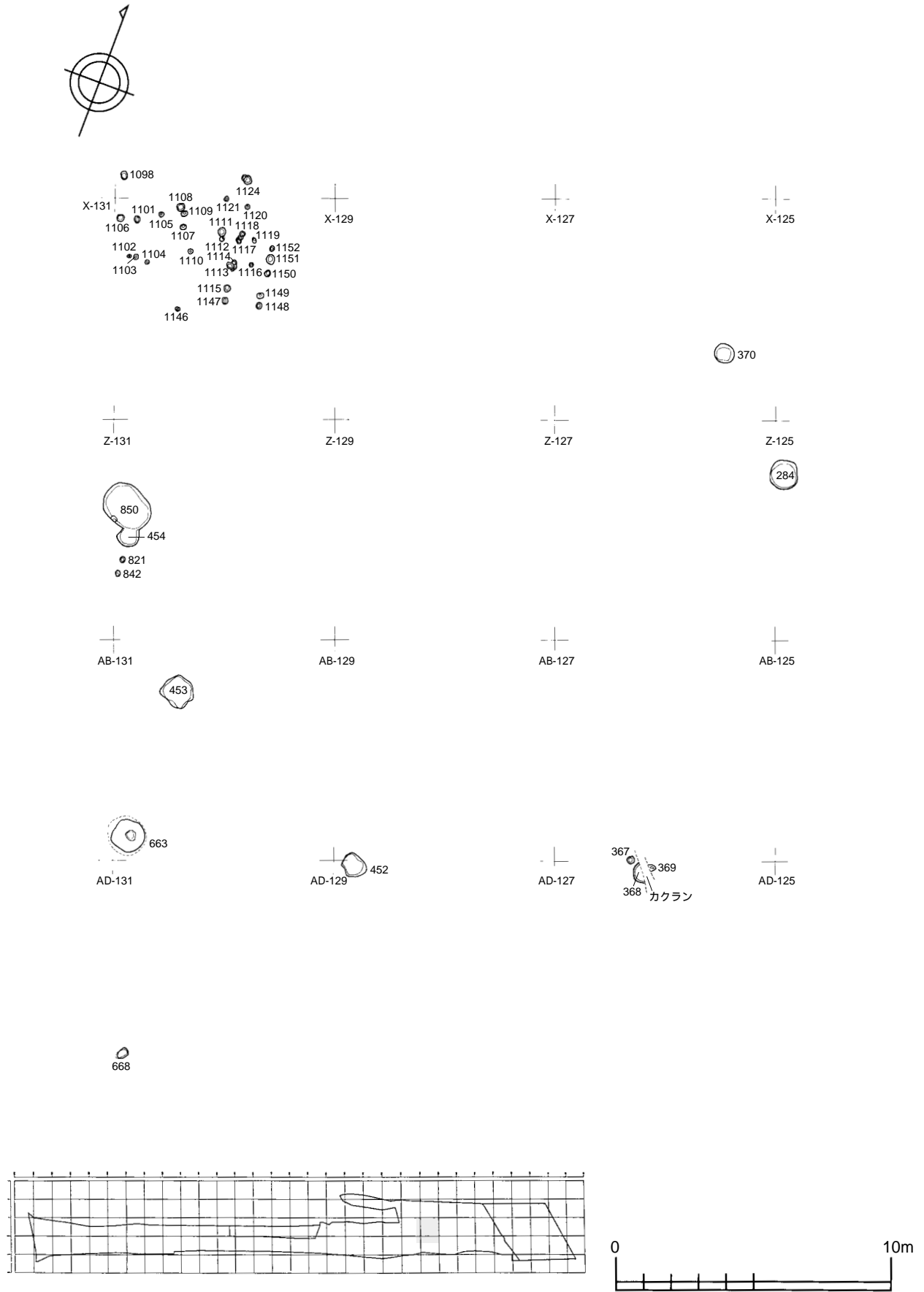


第1図 調査区設定図



第2図 平成11年度遺構配置図(1)





第3図 平成11年度遺構配置図(2)

## 第3章 検出遺構と出土遺物

### 第1節 検出遺構

#### 1. 竪穴式住居跡

##### 第1号竪穴式住居跡（第4～7図）

[位置・確認層] AC～AE 149～153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第12号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 遺構北側の検出に留まり、南側については、壁、床等確認できなかったため、全容は不明である。平面形は、残存部より楕円形ないし隅丸長方形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、東西方向の11.3mである。

[壁] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。一部確認面近くでさらに外側に屈折する。壁高は、北壁確認面よりテラス上面まで79cm、北壁確認面より床面最大高が108cm、東壁確認面よりテラス上面まで59cm、東壁確認面より床面最大高が98cm、西壁確認面よりテラス上面まで33cm、西壁確認面より床面最大高が47cmである。南側は、壁を確認できなかった。

[床] 第27層を床とする段階と第 層及び第12号竪穴式住居跡覆土を床面とする段階とがある。いずれも遺構北側で存在し堅く締まるが、遺構南側では確認できなかった。また、テラスを有しており、テラス上部に第27層が堆積する状況を確認している。床面は、若干の起伏を有し、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 202基のピットを確認した。ただし、本遺構は、第12号竪穴式住居跡と重複しており、どちらの住居跡に伴うピットであるかの判断は困難であった。そのため、202基という数は、本遺構と第12号竪穴式住居跡を合わせて確認したピットの数である。第27層を掘り込み、第27層を床とする段階のピットと思われるものはピット29、38、47、49、50、60～63、72、86、140、157である。第27層が掘り込み面より上面に堆積し、第 層及び第12号竪穴式住居跡覆土を床とする段階のピットと思われるものはピット37、70、78、87である。その他はどちらに帰属するものか確認できなかった。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の附属施設] テラスの壁際上部及び床面のテラス下部に不連続であるが溝を検出した。また床面西側中央部に2条の溝を検出した。またピット32、及び92は、平面形がおおむね長方形を呈する皿状のピットである。ピット32の底面は、波状を呈している。

[堆積土] 第12号竪穴式住居跡覆土と合わせ32層に分層した。なお、第1層は縄文時代後期の遺物包含層であり a層に相当する。第2層以下は、全体として上部の暗褐色土～褐色土を呈する堆積土と下部の黒褐色を呈する第24層とに大別される。いずれもパミス、ローム等の第 層に起因する混入物や炭化物を含み人為堆積と思われる。また、第27層は、堅く締まっており、また、これを掘り込むピットが存在することから貼床と考えられる。

[出土遺物] 土器は、第 群3、5 a、5 b、6類土器が出土している。第22層より第 群5 a類土器（第18図1～3、第19図4）第22、12層より第 群5 b類土器（第20図8）第19層より第 群3類土器（第68図1）第18層より第 群5 b類土器（第20図9）第18、9層より第 群5 b類土器（第19図6）第18、9、8層より第 群5 a類土器（第20図10）第17、4層より第 群5 a類土器（第

21図11) 第12層より第 群5 a類土器(第19図5、7、第21図12、13、第23図19) 第12、4層より第 群5 a類土器(第22図14)、第4層より第 群5 a類土器(第22図15~18、第23図20~23、第24図24~27、第25図28、30、第26図32、33)、第 群5 b類土器(第25図29、31) 第1層より第 群5 a類土器(第27図34)、第 群5 b類土器(第27図36) 覆土より、第 群5 a類土器(第27図35、37、第28図38、40、41、第29図42~45)、第 群5 b類土器(第28図39、第68図2)が出土している。また、第 a層に相当する第1層からは、第 群土器等縄文時代後期の遺物が出土している。石器は、床面直上より、敲磨器類2類Bが1点(第86図110)出土している。第29層より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。第22層より石匙1類が1点(第72図3)、不定形石器1類Bが1点(図示していない)、1類Cが1点(図示していない)、1類Dが2点(第73図12並びに図示していないもの1点)、3類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない) 敲磨器類2類Aが1点(第86図111)、2類Bが1点(第86図108)、2類Eが1点(第85図95)、4類Aが3点(第87図119、第89図144、145)、4類Bが1点(第87図122)出土している。第19層より不定形石器1類Aが2点(第73図14、第74図19)、3類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Bが1点(第88図140)出土している。第16層より不定形石器1類Dが1点(図示していない)出土している。第15層より敲磨器類2類Eが1点(第85図106)、4類Aが1点(第87図121)出土している。第13層より敲磨器類2類Dが1点(第85図102)、2類Eが2点(第85図104、105)、4類Aが1点(第88図135)出土している。第12層より石筥2類が1点(第73図10)、不定形石器1類Hが1点(図示していない)、3類が1点(第75図21)、その他の剥片石器が1点(図示していない)、石斧1類Bが1点(第85図94)、敲磨器類2類Eが1点(第86図109)、3類が1点(第87図120)、半円状扁平打製石器が2点(第90図150、152)、石皿・台石1類が1点(第91図159)出土している。第9層より石匙1類が1点(第72図6)出土している。第8層より敲磨器類4類Bが1点(第89図142)出土している。第6層より敲磨器類4類Bが1点(第88図128)、挟入扁平磨製石器が1点(第91図156)出土している。第4層より不定形石器1類Aが3点(第74図20並びに図示していないものが2点)、1類Bが2点(第73図15、第74図17)、2類が1点(図示していない)、4類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)、石核が1点(図示していない)、敲磨器類2類Aが1点(第87図115)、2類Eが3点(第85図103、第86図107、113)、4類Aが2点(第88図130、第90図148)、4類Dが1点(第87図124)、半円状扁平打製石器(第90図151)、砥石が2点(第92図162、163)、石皿・台石1類が1点(第92図164)出土している。第3層より砥石が1点(第92図160)出土している。第2層より敲磨器類1類Aが1点(第85図98)、2類Eが1点(第87図116)、水晶2類Bが1点(第107図269)出土している。第1層より石錐1類が1点(図示していない)、石匙1類が1点(図示していない)、2類が1点(図示していない) 不定形石器2類が1点(図示していない)、3類が3点(図示していない)、石核が1点(図示していない)、敲磨器類4類Dが1点(第87図127)、水晶2類Bが1点(第107図270)、石皿・台石1類が1点(図示していない)出土している。 a層より、不定形石器3類が1点(図示していない)、石錘1類が1点(第85図97)、敲磨器類2類Aが1点(85図101)、4類Bが1点(第88図134)出土している。覆土より石鏃3類3が1点(第72図1)、石匙1類が4点(第72図2、4、5、7)、2類が2点(第72図8、第73図9)、不定形石器1類Aが1点(第74図18)、1類Bが2点(第73図13、第74図16)、1類Cが1点(第73図11)、1類Fが1点(図示していない)、2類が2点(図示していない)、3類が3点(図示していない)、4類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示して

いない) 石核が1点(図示していない) 敲磨器類2類Aが4点(第85図99、第86図112、第87図117、118) 2類Eが3点(第85図96、100、第86図114) 4類Aが3点(第88図131、136、第89図146) 4類Bが8点(第87図123、125、126、第88図132、133、137、139、第89図143) 4類Dが4点(第88図129、138、第89図141、147) 半円状扁平打製石器が2点(第90図149、153) 挟入扁平磨製石器が2点(第91図154、155) 砥石が2点(第91図158、第92図161) 石皿・台石1類が1点(第91図157) 出土している。土製品は、第15層よりミニチュア土器が1点(第108図1) 第2層よりミニチュア土器が1点(第108図2) 第1層より土器片利用土製品が1点(第108図3) 第a層より土器片利用土製品が4点(第108図4~7) 覆土より土器片利用土製品が1点(第108図8) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

## 第2号竪穴式住居跡(第8図)

[位置・確認層] AB~AD-145~147グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第4号竪穴式住居跡、第13号竪穴式住居跡、第100号土坑、第104号土坑、第149号土坑、第152号土坑B、第153号土坑、第174号土坑、第175号土坑、第189号土坑、第277号土坑、第295号土坑、第296号土坑、第349号土坑、第451号土坑、第869号土坑、第870号土坑、第6号溝と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 遺構北側の検出に留まり、南側については一部を除いて明確ではなく、全容は不明である。平面形は残存部より楕円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、9.3mである。

[壁] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。壁高は、北側確認面よりテラス上面まで46cm、北側確認面より床面最大高が75cmである。東西壁は重複のため確認できなかった。一部確認した南壁は、南側確認面より床面最大高が8cmである。

[床] 堅く締まるが、南側に向かうにつれ不明瞭となる。また、北側はテラスと思われる段状の構造となっている。東側から西側に向かいテラスの段差は少なくなる。テラス上部の壁際及びテラス下部に沿って巡る溝を部分的に検出している。床面は、若干の起伏を有し、北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 63基のピットを検出した。ピット3、4、10は規模、配置より支柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の附属施設] 住居跡内より2基の埋設土器を検出している。埋設土器1はピット14と重複しピット14より古い。第群5a類土器が出土している。埋設土器2は第4号竪穴式住居跡ピット7と重複し、ピット7より新しい。第群5a類土器が出土している。

[堆積土] 9層に分層した。黒褐~暗褐色土が堆積し、各層ローム、炭化物、角礫等の混入物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5a、6類土器が出土している。住居跡内埋設土器は、第群5a類土器(第30図46)である。ピット12第2層より第群3類土器(第68図3) ピット16第1層より第群6類土器(第68図4) ピット24第3層より第群6類土器(第68図5) ピット24第1層より第群6類土器(第68図7) 第6層より第群6類土器(第68図6) 第5層より第群6類土器(第68図8) 第4層より第群6類土器(第68図9) 第3層より第群5a類土器(第30図48) 第1層より第群5a類土器(第68図10~13)が出土している。石器は、住居内埋設土器遺構覆土より敲磨器類2類E

が1点(第93図166)出土している。第1層より、石鏃3類2が1点(第75図22)、石匙1類が2点(第75図23、24)、不定形石器1類Cが1点(第75図25)、3類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が2点(図示していない)、石斧1類Cが1点(第93図165)、敲磨器類1類Bが1点(第93図167)、4類Aが1点(第93図168)、石皿・台石1類が1点(第93図169)出土している。覆土より不定形石器1類Dが1点(第75図26)、水晶2類Aが1点(第107図271)、その他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期] 住居跡内埋設土器等の出土遺物より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

### 第3号竪穴式住居跡(第9図)

[位置・確認層] AA、AB - 147、148グリッドに位置する。第～層において確認した。

[重複] 第4号竪穴式住居跡、第90号土坑、第128号土坑、第177号土坑、第185号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 重複のため、全容は不明である。平面形は、円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は北西、南東方向の9.3mである。

[壁] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が85cm、東壁確認面より床面最大高が67センチ、西側確認面より床面最大高が50cmである。南側は、重複のため確認できなかった。

[床] 北東壁は部分的に段状のを呈する。第13層は堅く締まり、貼床と思われる。若干の起伏を有し、全体に東側から西側への傾斜が見られる。

[柱穴] 23基のピットを確認した。ピット6は規模、配置より支柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は、確認していない。

[その他の附属施設] 特になし。

[堆積土] 13層に分層した。第13層は貼床と思われる。堆積土上部である第1～6層は全体として褐～暗褐色土が堆積しており、堆積土下部である第7～12層は全体として黒～黒褐色土が堆積している。各層ローム、炭化物、角礫等の混入物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第群3、5a、6類土器が出土している。ピット8第1層より第群6類土器(第68図14)、第6層より第群6類土器(第68図15、16)、第1層より第群3類土器(第31図50～53、第68図19、20)、第群5a類土器(第30図49)、覆土より第群3類土器(第31図54)が出土している。石器は、第4層より敲磨器類4類Dが1点(第93図170)出土している。第1層より石匙1類が1点(第75図27)、敲磨器類4類Cが1点(第93図171)出土している。覆土より不定形石器1類Gが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期中葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

### 第4号竪穴式住居跡(第10図)

[位置・確認層] AB、AC - 147～149グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡、第3号竪穴式住居跡、第90号土坑、第92号土坑、第96号土坑、第100号土坑、第101号土坑、第104号土坑、第175号土坑と重複し、本遺構は、第3号竪穴式住居跡より新しく、

第2号竪穴式住居跡、第90号土坑、第92号土坑、第96号土坑、第100号土坑、第101号土坑、第104号土坑、第175号土坑より古い。

[平面形・規模] 遺構北西側の検出に留まり、南東側については壁を確認していないため、全容は不明である。平面形は、楕円形ないし隅丸長方形を呈するものと推測される。

[壁] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。壁高は、北東壁確認面より床面最大高が58cm、北西壁確認面より床面最大高が45cmである。南東側及び南西側は明瞭な壁を確認できなかった。

[床] 第1層を床面とし、堅く締まる。若干の起伏を有し、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 25基のピットを確認した。ピット1、3、7は、規模、配置より支柱穴と思われる。また、第2号竪穴式住居跡ピット11については、本遺構の支柱穴である可能性も考えられる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の附属施設] 底面が全体として波状を呈するピットを検出した。

[堆積土] 9層に分層した。堆積土上部である。第1～6層は暗褐色土が堆積しており、堆積土下部である第7～9層は、黒褐色土が堆積している。各層ローム、炭化物、角礫等の混入物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3群、5a、6類土器が出土している。住居跡内埋設土器は、第5a類土器(第32図55)である。ピット3第1層より第6類土器(第68図21)、ピット21第1層より第6類土器(第68図22)、ピット39第1層より第5a類土器(第68図23)、第3層より第6類土器(第68図24)、第2層より第6類土器(第68図25)、第1層より第5a類土器(第68図26、第69図29～31)、覆土より第3類土器(第68図27、第69図33)、5a類土器(第68図28)が出土している。石器は、第6層より石斧1類Aが1点(第93図172)出土している。第3層より石匙2類が1点(第76図30)出土している。第1層より石匙2類が1点(第76図29)、不定形石器3類が2点(第76図31並びに図示していないもの1点)、石核が1点(図示していない)出土している。覆土より石匙1類が1点(第76図28)、3類が1点(図示していない)、不定形石器1類Eが1点(第76図32)、3類が1点(図示していない)4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

### 第5号竪穴式住居跡(第11～13図)

[位置・確認層] AA～AD-149～151グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第2号土坑B、第8号土坑、第29号土坑、第30号土坑、第31号土坑、第95号土坑A、第95号土坑B、第96号土坑、第98号土坑、第182号土坑、第190号土坑、第232号土坑、第1号埋設土器遺構、第2号埋設土器遺構、第3号埋設土器遺構、第4号埋設土器遺構、第5号埋設土器遺構、第6号埋設土器遺構、第7号埋設土器遺構、第8号埋設土器遺構、第9号埋設土器遺構、第10号埋設土器遺構、第11号埋設土器遺構、第21号埋設土器遺構、第22号埋設土器遺構と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 不整形円形を呈する。長径は、10.2mである。

[壁] 全体として、床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。一部確認面近くでさらに外側へ屈折する。南側は、徐々に外側へなだらかな立ち上がり呈し、明瞭な壁を確認できなくなった。

[床] 全体として堅く締まるが、南側に向かうにつれ不明瞭である。南西側は全体として高く、建て替え等の影響と思われる。また、若干の起伏を有し、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 86基のピットを確認した。ピット1の下部、ピット3、5、6、7、8、17、18、21、22、24、25、26、28、45及び住居跡内埋設土器遺構の下部ピットは、その規模より主柱穴と考えられる。また、ピット1の上部と下部の形態の差やピット5との重複、住居跡内埋設土器遺構の下部ピットの存在から、本遺構については、複数回の拡張や建て替え等構造の変化があったものと思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設] 住居跡内埋設土器を検出した。

[堆積土] 12層に分層した。堆積土上部である第1～9層は褐～暗褐色土が堆積しており、堆積土下部である第10～12層は全体として黒～黒褐色土が堆積している。各層ローム、炭化物、角礫等の混入物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第群3、5a、6類土器が出土している。住居跡内埋設土器は第群3類土器(第32図56)、第群6類土器(第32図58)である。第16層より第群3類土器(第69図32)、第群5a類土器(第32図57、60、61、第33図62、63)、第群6類土器(第32図59)、第15層より第群3類土器(第69図12、13)、第群5a類土器(第33図65)、第13層より第群5a類土器(第69図35)、第12層より第群3類土器(第69図36)、第群5a類土器(第33図65)、第11層より第群5a類土器(第69図37)、第9、8層より第群5a類土器(第33図67)、第5層より第群6類土器(第69図39)、第4層より第群5a類土器(第33図64)、第2層より第群6類土器(第69図38)、覆土より第群5a類土器(第34図68～72、第35図73～75、77、78、第36図79、80、82、83、第37図84、85、第69図40、41)、第群6類土器(第35図76、第36図81、第69図42)が出土している。石器は、第8層より石匙1類が1点(第77図42)、2類が1点(第78図46)、3類が1点(図示していない)、剥離のある礫が1点(第96図191)、石斧1類Cが1点(第93図173)、敲磨器類5類が1点(第96図195)、半円状扁平打製石器が3点(第95図184、185、188)出土している。第5層より石鏃3類3が1点(第76図35)、石匙1類が6点(第77図37～40、43並びに図示していないもの1点)、不定形石器4類が1点(図示していない)、礫石錘2類が1点(第94図175)、敲磨器類1類Aが1点(第94図176)、挟入扁平磨製石器が1点(第96図193)出土している。第4層より石匙2類が1点(第78図45)出土している。第3層より敲磨器類2類Bが1点(第94図183)出土している。第2層より不定形石器1類Aが1点(第78図48)出土している。第1層より石匙1類が1点(図示していない)、2類が1点(第77図44)、不定形石器3類が1点(図示していない)、半円状扁平打製石器が2点(第95図187、第96図190)出土している。覆土より石鏃3類3が2点(第76図33、34)、石槍2類が1点(第76図36)、石匙1類が1点(第77図41)、不定形石器1類Aが2点(第78図47、50)、1類Cが2点(図示していない)、1類Hが1点(図示していない)、3類が2点(第78図49、51)、4類が2点(図示していない)、敲磨器類2類Bが6点(第93図174、第94図177～181)、敲磨器類4類Aが1点(第94図182)、5類が1点(第96図192)、半円状扁平打製石器が2点(第95図186、第96図189)、挟入扁平磨製石器が1点(第96図194)、石皿・台石1類が1点(第97図196)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第108図9)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉ないしそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

## 第6号竪穴式住居跡(第13図)

[位置・確認層] AA、AB-155、156グリッドに位置する。第、層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]遺構北側の検出に留まり南側については、壁、床等確認できなかったため、全容は不明である。平面形は、残存部より不整円形ないし不整楕円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、東西方向の4.1mである。

[壁]床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が25cm、東壁確認面より床面最大高が18cmである。西側及び南側は、壁を確認できなかった。

[床]第 層を床面としている。遺構北側で存在し、堅く締まるが、遺構南側にむかうにつれ不明瞭となる。若干の起伏を有し、全体に遺構北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴]16基のピットを確認した。ピット1は、その規模より主柱穴と考えられる。なお、遺構南側で同様の規模のピットは、確認できず。ピット2についても主柱穴の可能性が考えられる。

[炉]明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設]北東壁際で断続的に巡る溝を検出した。

[堆積土]2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第 群5 a、6類土器が出土している。ピット1第2層より第 群6類土器(第69図45)、ピット2第2層より第 群6類土器(第69図43)、ピット2第1層より第 群6類土器(第69図44)、第1層より第 群5 a類土器(第69図46~48)が出土している。石器は、第2層より敲磨器類2類Eが1点(第97図198)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

## 第7号竪穴式住居跡(第14図)

[位置・確認層]A E、A F - 152~154グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]調査区端に位置し、遺構北側の検出に留まり、全容は不明である。平面形は、残存部より不整円形ないし不整楕円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、東西方向の7.1mである。

[壁]全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部なだらかに立ち上がり、壁が不明瞭な箇所も見られる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が55cm、東壁確認面より床面最大高が36cm、西壁確認面より床面最大高が36cmである。南側は調査区端のため確認できなかった。

[床]第5~10層及び第 層を床面とする段階と第7層を床面とする段階とがある。いずれも堅く締まる。また、若干の起伏を有し、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴]28基のピットを確認した。第5~10層を掘り込み、第5~10層及び第 層を床とする段階のピットと思われるものはピット1である。第6層が上面に堆積し、第 層を床とする段階のピットと思われるものは、ピット12である。その他はどちらに帰属するものか確認できなかった。ピット1~4、7~9は、その規模より主柱穴と思われる。

[炉]明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設]床面中央から床面北側に渡る溝を検出している。

[堆積土]10層に分層した。第5~10層は固く締まり、貼床と思われる。堆積土上部である第1層は暗褐色土が堆積している。堆積土下部である第2~4層は、黒~黒褐色土が堆積している。第1層は、



ロームを含み人為堆積と思われる。第2、3層はローム、炭化物、角礫等の混入物を含むがいずれも微量であり自然堆積の可能性も考えられる。第4層は、パミスを含み人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第群3、5a、6類土器が出土している。第層床面より第群5a類土器(第37図86、第38図88)、第群6類土器(第70図49)、第5~10層床面より第群3類土器(第70図50)、5a類土器(第70図52、53)、ピット1覆土より第群6類土器(第70図54)、ピット12覆土より第群6類土器(第70図55)、第4層より第群3類土器(第70図58)、第3層より第群5a類土器(第70図56)、第2層より第群3類土器(第70図57)、覆土より第群5a類土器(第37図87、第38図89、第70図51)が出土している。

石器は、床面より敲磨器類4類Aが1点(第97図200)出土している。貼床より異形石器が1点(第79図55)出土している。ピット4覆土より不定形石器3類が1点(第79図56)出土している。覆土より石匙1類が3点(第79図52~54)、不定形石器4類が1点(図示していない)、石斧1類Cが1点(第97図197)、半円状扁平打製石器が2点(第97図199、201)、敲磨器類4類Aが2点(第98図202、204)、石皿・台石1類が2点(第98図203、205)出土している。

[時期] 床面出土土器等の出土遺物より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第8号竪穴式住居跡(第15図)

[位置・確認層] Z、AA-153~155グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第254号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 遺構南西側は壁、床等確認できなかつたため、全容は不明である。平面形は、隅丸長方形を呈する。規模は、長軸5.5m、短軸4.1mである。

[壁] 床面端より外側へおおむね直線的に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が78cm、東壁確認面より床面最大高が54cm、西壁確認面より床面最大高が28cm、南壁確認面より床面最大高が28cmである。なお、遺構南西側では壁を確認できなかった。

[床] 第9、10層は、堅く締まり貼床と思われる。ただし、遺構南西側に向かうにつれ不明瞭である。また、若干の起伏を有し、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 13基のピットを確認した。またその他に、ピット13は本遺構の外側に存在すると推測されるが、本遺構以外に、関連すると考えられる遺構はなく単独の検出であり、本遺構に関連する可能性を考慮し本項で取り上げることとした。ピット1~4は、貼床と思われる第9、10層を掘り込んでいることを確認した。また、ピット5~14は、第9、10層の下部において確認した。ピット2、7、9、11は配置より支柱穴の可能性が高いと思われる。また、ピット4は、第10層を掘り込んでいる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設] 特になし。

[堆積土] 10層に分層した。第9、10層は貼床と思われる。堆積土上部である第1、2層は、暗褐色土がたいせきしており、堆積土下部である第3~8層は、全体として黒~黒褐色土が堆積している。各層ローム、炭化物等の混入物を含む。人為堆積と思われる。ただし第4、7層については混入物はいずれも微量であり自然堆積の可能性も考えられる。

[出土遺物] 土器は、第群5a類土器が出土している。第6層より第群5a類土器(第70図59、60)、第3層より第群5a類土器(第38図90)、第2層より第群3類土器(第39図92)、第群5a類土

器(第38図91、第70図61)第1層より第群5a類土器(第70図62)覆土より第群5a類土器(第70図63)が出土している。石器は、第6層より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。第2層より石匙1類が1点(図示していない)3類が1点(第79図57)不定形石器3類が1点(図示していない)石斧1類Cが1点(第99図206)敲磨器類1類Cが1点(第99図207)4類Aが1点(第99図208)出土している。覆土より石匙3類が1点(第79図58)不定形石器1類Aが1点(第79図59)3類が3点(第80図60、61並びに図示していないもの1点)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第108図10)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

### 第9号竪穴式住居跡(第15図)

[位置・確認層] X-152、153グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第194号土坑A、第194号土坑B、第194号土坑C、第237号土坑、第246号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 調査区端に位置し、全容は不明である。平面形は、不整円形ないし不整楕円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、東西方向の4.8mである。

[壁] 床面端から外側へ直線的に立ち上がる。壁高は、東壁確認面より床面最大高が70cm、西壁確認面より床面最大高が70cmである。

[床] 第1層を床面とし堅く締まる。また、若干の起伏を有し、特に重複する第194号土坑Aの西側に向かう傾斜が見られる。また、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 6基のピットを確認した。ピット3、4はその規模より支柱穴の可能性が考えられる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設] 床面西側で薄く堆積し広がる炭化物を検出した。またその上部から石英安山岩と思われる棒状の礫を検出した。焼土等の検出はない。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積しローム、炭化物等の混入物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第群5a、6類土器が出土している。ピット1第4層より第群5a類土器(第70図64)6類土器(第70図67)第3層より第群6類土器(第70図65、68)第2層より第群5a類土器(第70図66、69、70)が出土している。

石器は、第3層より敲磨器類5類が1点(第99図209)出土している。第1層より石匙1類が1点(第80図62)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

### 第10号竪穴式住居跡(第16図)

[位置・確認層] AA、AB-153、154グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第11号竪穴式住居跡、第347号土坑と重複し、本遺構は、第11号竪穴式住居跡より新しく。第347号土坑より古い。

[平面形・規模] 遺構東側の検出に留まり、東側については、壁、床等確認できなかったため、全容は、不明である。平面形は、残存部より不整楕円形を呈するものと推測される。残存部最大幅は、南北方

向の4.2mである。

- [ 壁 ] 北～東壁は、床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。南壁は、外側へややなだらかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が73cm、東壁確認面より床面最大高が60cm、南壁確認面より床面最大高が24cmである。西側は、壁を確認できなかった。
- [ 床 ] 第 層を床面とし、やや堅く締まっている。遺構西側に向かうにつれ不明瞭である。また、若干の起伏を有し、全体に東側から西側への傾斜が見られる。
- [ 柱穴 ] 18基のピットを確認した。ピット6は主柱穴としての可能性も考えられる。
- [ 炉 ] 明確に炉と思われる施設は確認していない。
- [ その他の付属施設 ] 床面南東側で北側おおむね半分を堤状に土をはった皿状のピットを検出した。特殊施設と思われる。また床面中央部で極小規模のピット3基を検出した。
- [ 堆積土 ] 6層に分層した。堆積土上部である第1層は暗褐色土が堆積している。堆積土下部である第2～6層は、全体として黒褐色土が堆積している。第1、2層は、炭化物を含み、また、第4、6層は暗褐色を呈し人為堆積と思われる。第3、第5層は混入物が微量ないし混入物を含まないため自然堆積の可能性も考えられる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第 群3、5 a、6類土器が出土している。ピット9覆土より第 群6類土器(第71図74) 第3層より第 群3、5 a類土器(第39図93、第71図71～73) 第1層より第 群5 a類土器(第39図94、95、第40図96～98、第41図100～103) 第 群7類土器(第40図99) 覆土より第 群5 a類土器(第42図104～107)が出土している。石器は、第1層より石匙1類が2点(第80図63、64) 不定形石器1類Bが1点(第80図66) 敲磨器類4類Aが1点(第99図210) 4類Bが1点(第99図212) 半円状扁平打製石器が5点(第99図211、213、第100図214～216) 石皿・台石1類が1点(第100図217) 水晶2類Bが1点(第107図272) 出土している。覆土より不定形石器1類Cが1点(第80図65) 3類が2点(第81図67並びに図示していないもの1点) 石核が1点(図示していない) 出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第11号竪穴式住居跡(第17図)

- [ 位置・確認層 ] Z～AB-151～153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第10号竪穴式住居跡、第281号土坑、第347号土坑、第355号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は、隅丸長方形を呈する。規模は、長軸8.5m、短軸6.4mである。
- [ 壁 ] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。一部は、屈折して立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が110cm、東壁確認面より床面最大高が、74cm、西壁確認面より床面最大高が、100cm、南側は、不明瞭である。
- [ 床 ] 第13～16層及び第 層を床面とし、堅く締まっている。中央部が落ち込む段状の構造を有する。また、若干の起伏を有し、全体に北西側から南東側への傾斜が見られる。
- [ 柱穴 ] 66基のピットを確認した。ピット1～6は、規模、配置より主柱穴と思われる。
- [ 炉 ] 明確に炉と思われる施設は確認していない。
- [ その他の付属施設 ] 床面中央部から床面北西部に渡る溝を2条検出した。
- [ 堆積土 ] 16層に分層した。第13～16層は、段状の構造を造るために貼られた可能性が考えられるが精

査においては明確に確認できなかった。堆積土上部の第1～第10層は、全体として暗褐～褐色土が堆積しており、堆積土下部の第11、12層は、黒色土が堆積している。第3、7層は、暗褐色を呈し、また、第1、2、4、5、8～11層は、各層ローム、炭化物、角礫等の混入物を含み、人為堆積と思われる。第6層、第12層は、混入物が微量ないし含まないため自然堆積の可能性が考えられる。

[出土遺物] 土器は、第群3、5a類土器が出土している。第11層より第群3類土器(第43図109～111、第44図113～115) 第群5a類土器(第45図119)、第11、9層より第群5a類土器(第44図112)、第10層より第群5a類土器(第71図75)、第9層より第群3類土器(第45図116、117、第46図120～123、第47図124、125、第48図132、第49図134、135、第51図142、144、146、第52図147、第53図152、153、第54図157、158、第55図159、第56図166、第57図169)、第群5a類土器(第45図118、第47図126～128、第49図136、第50図140、141、第51図143、145、第52図149、150、第53図151、154、第54図155、第55図160～162、第56図167、第57図170、171)、第9、6層より第群5a類土器(第48図133、第49図137)、第9、3層より第群3類土器(第48図129、130、第50図138、第56図165、第57図168)、第群5a類土器(第48図131、第50図139、第52図148、第54図156、第55図163、第56図164)、第8層より第群5a類土器(第71図76)、第7層より第群3類土器(第58図173)、第群5a類土器(第58図172)、第6層より第群3類土器(第71図77)、第5層より第群3類土器(第71図78)、第3層より第群3類土器(第59図174、177、第60図178、第61図184、第62図186、187、第63図190、192、第64図195、第66図203、第67図205)、第群5a類土器(第59図175、176、第60図179～181、第61図182、183、第62図185、188、第63図189、191、第64図193、194、第65図196、198、199、第66図200～202、第67図204、206、第71図79)、第群5b類土器(第65図197)、覆土より第群5a類土器(第67図207)が出土している。石器は、床面より剥離のある礫が1点(第107図266)出土している。第11層より石匙1類が3点(第81図71並びに図示していないもの2点)、不定形石器1類Aが1点(第83図87)、石斧1類Cが1点(第101図218)、敲磨器類1類Aが1点(第101図221)、2類Aが1点(第102図231)、2類Eが1点(第103図240)、半円状扁平打製石器が2点(第104図246、第106図262)が出土している。第9層より石錐が1点(第81図68)、石匙1類が2点(第81図73、第82図81)、不定形石器3類が3点(第84図92、93並びに図示していないもの1点)、4類が2点(図示していない)、敲磨器類2類Aが2点(第102図230、233)、2類Bが1点(第102図238)、2類Eが3点(第101図224、第102図236、237)、4類Bが1点(第103図243)、半円状扁平打製石器が6点(第103図245、第105図251、252、256、257、第106図258)出土している。第5層より半円状扁平打製石器が1点(第103図242)出土している。第3層より石匙1類が6点(第81図70、74、第82図77、78、80、第83図82)、3類が1点(図示していない)、不定形石器1類Cが1点(図示していない)、1類Fが1点(図示していない)、3類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)、敲磨器類1類Aが2点(第101図219、225)、1類Bが1点(第101図220)、2類Aが2点(第102図234、235)、2類Bが2点(第102図229、232)、2類Eが3点(第101図223、226、228)、4類Aが1点(第102図239)、4類Bが1点(第103図241)、5類が2点(第107図267、268)、半円状扁平打製石器が7点(第104図248、250、第105図254、255、第106図260、261、263)、挟入扁平磨製石器が1点(第106図265)出土している。覆土より石槍1類が1点(第81図69)、石匙1類が5点(第81図72、75、76、第82図79並びに図示していないもの1点)、2類が5点(第83図83～85並びに図示していないもの2点)、石篋2類が1点(第84図91)、3類が1点(第83図86)、不定形石器1類Aが5点(第84図88、89並びに図示し

ていないもの3点)、1類Bが1点(図示していない)、1類Cが3点(図示していない)、1類Gが1点(第84図90)、1類Hが1点(図示していない)、3類が5点(図示していない)、4類が1点(図示していない)、敲磨器類2類Eが1点(第101図222)、4類Aが1点(第101図227)、半円状扁平打製石器が5点(第103図244、第104図247、249、第105図253、第106図259)、挟入扁平磨製石器が1点(第106図264)

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第12号竪穴式住居跡(第4図)

[位置・確認層] AD、AE - 150、151グリッドに位置する。第1号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第1号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 一部の壁の確認に留まり、全容は、不明である。

[壁] 一部の検出であるが北側残存部は、外側へなだらかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より床面最大高が15cmである。

[床] 第1層を床面とし、堅く締まるが、遺構南側に向かうにつれ不明瞭である。

[柱穴] 一部の検出に留まり、また第1号竪穴式住居跡と重複するため本遺構に伴うピットの設定は困難である。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設] 特になし。

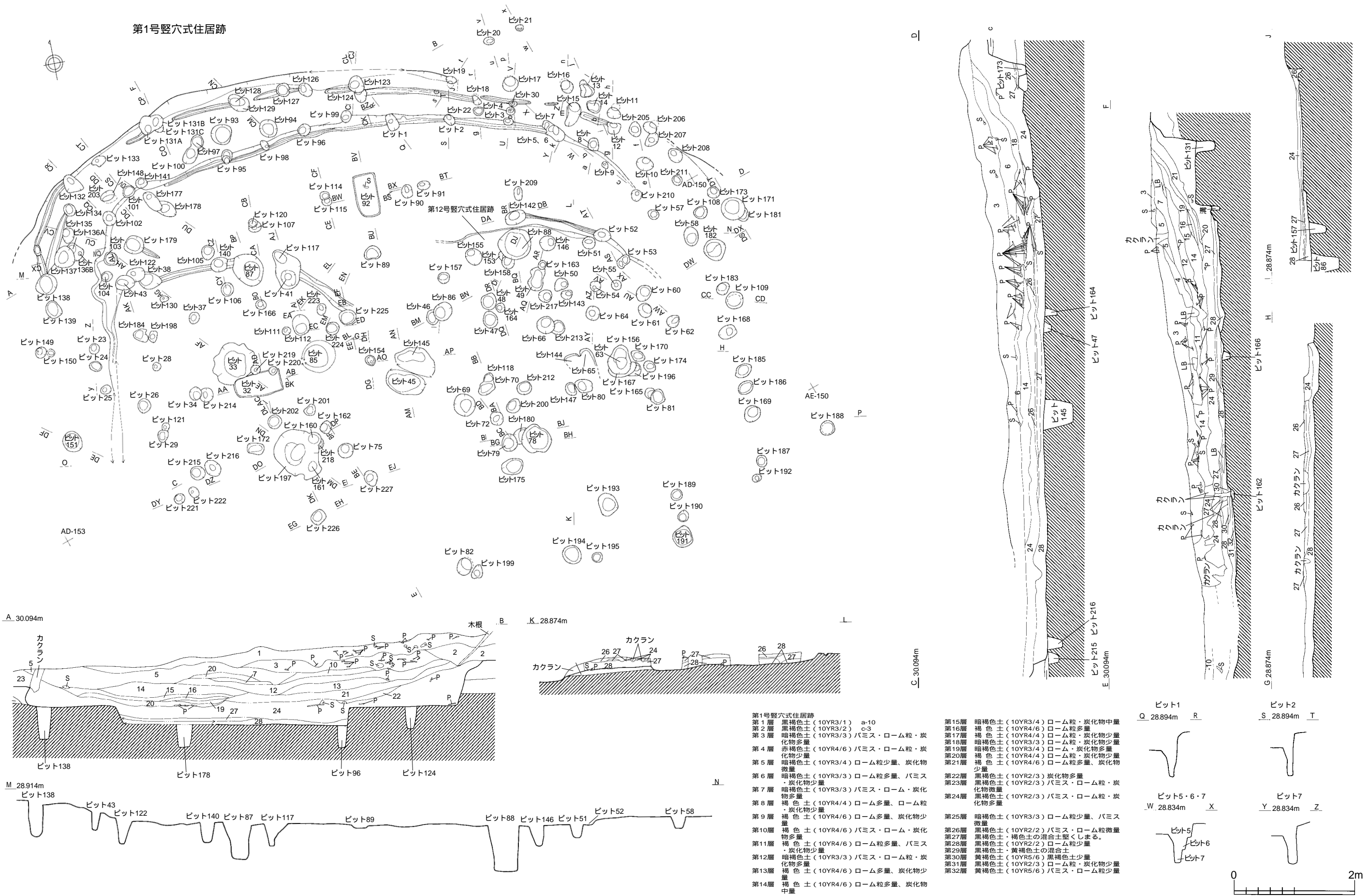
[堆積土] 第1号竪穴式住居跡と合わせ32層に分層した。本遺構の堆積土は、第28層であるが第1号竪穴式住居跡の第1層における床面上部にも第28層は堆積しており、分層はできなかった。そのため、本遺構については、単独の遺構ではなく、第1号竪穴式住居跡の第1層を床面とする段階においての段状を呈する床面下部である可能性も考えられる。

[出土遺物] 土器は、第3群3、5a、6類土器が出土している。覆土より第3群3類土器(第71図83、85、89)、5a類土器(第71図81、82)、6類土器(第71図80、84、86~88)が出土している。

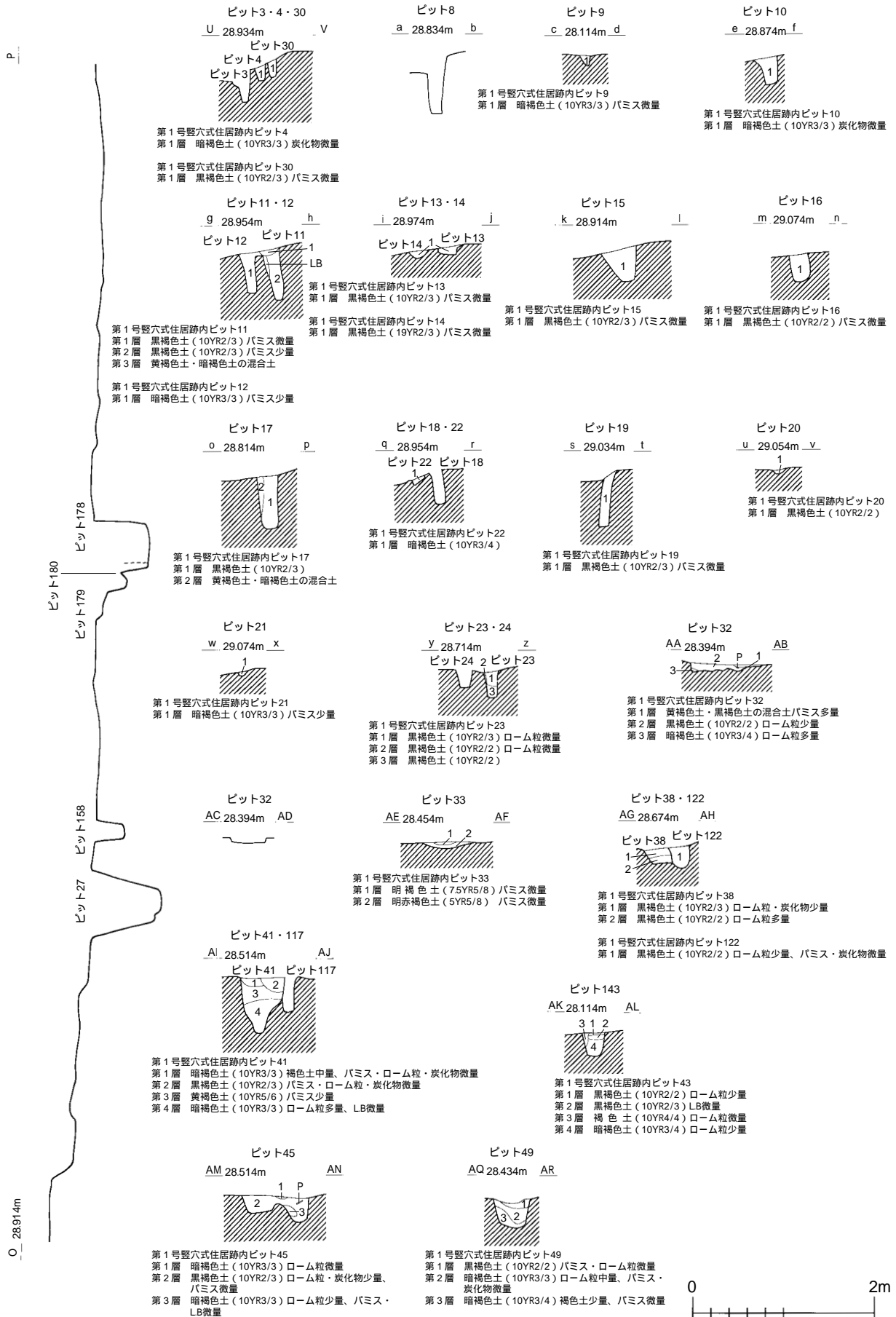
[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。



第1号竪穴式住居跡

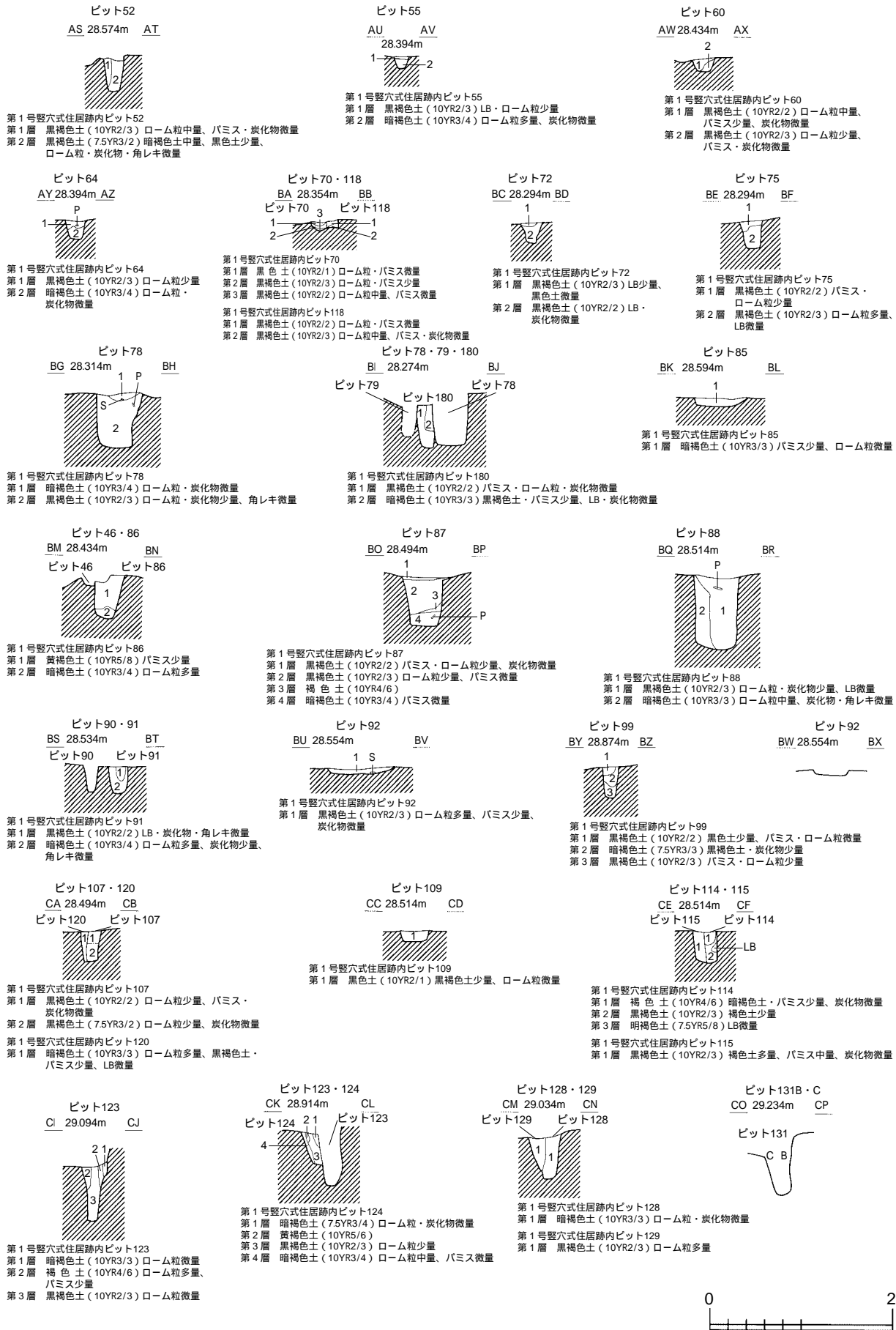


第4図 第1号・第12号竪穴式住居跡(1)

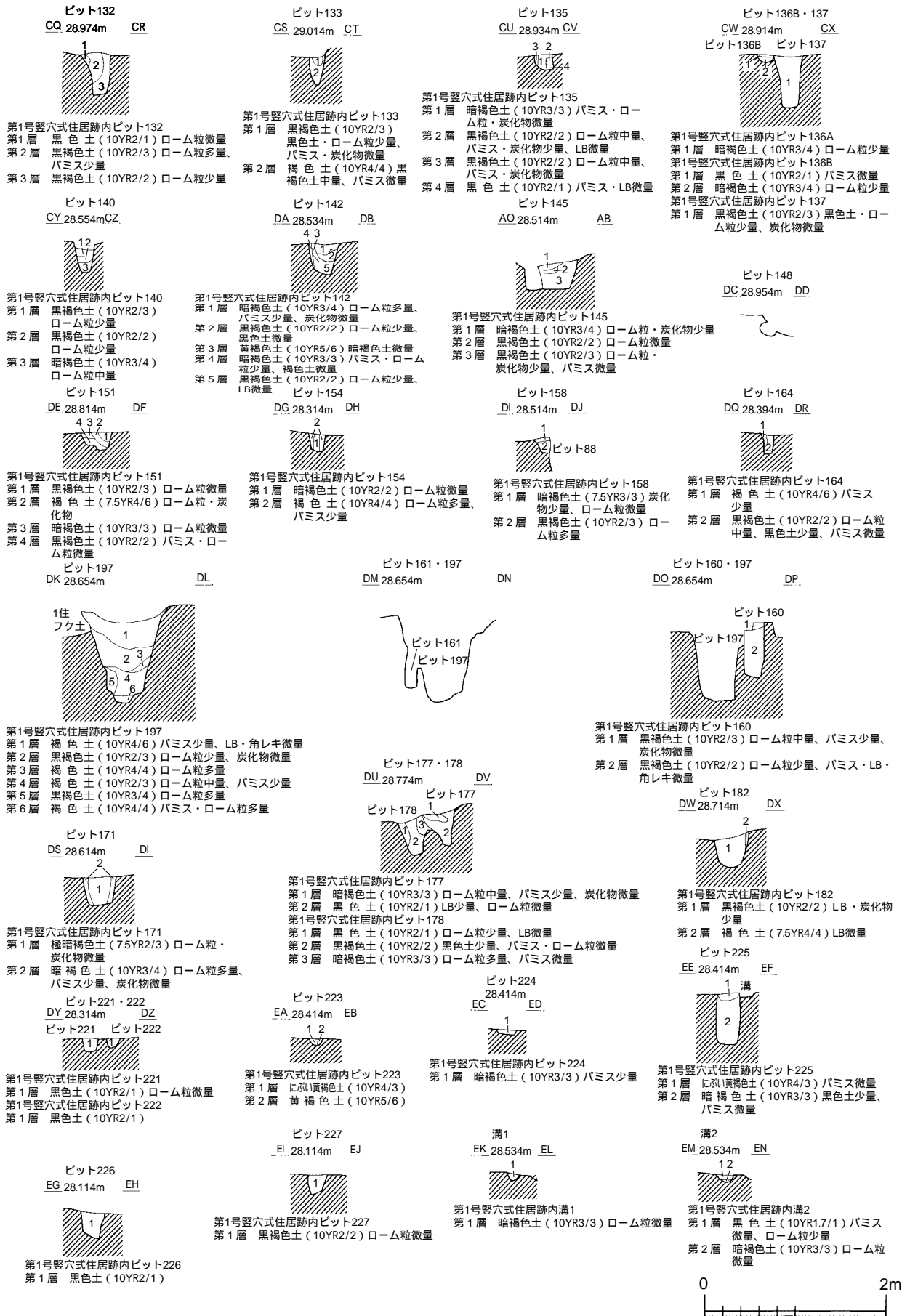


第5図 第1号・第12号竪穴式住居跡 (2)





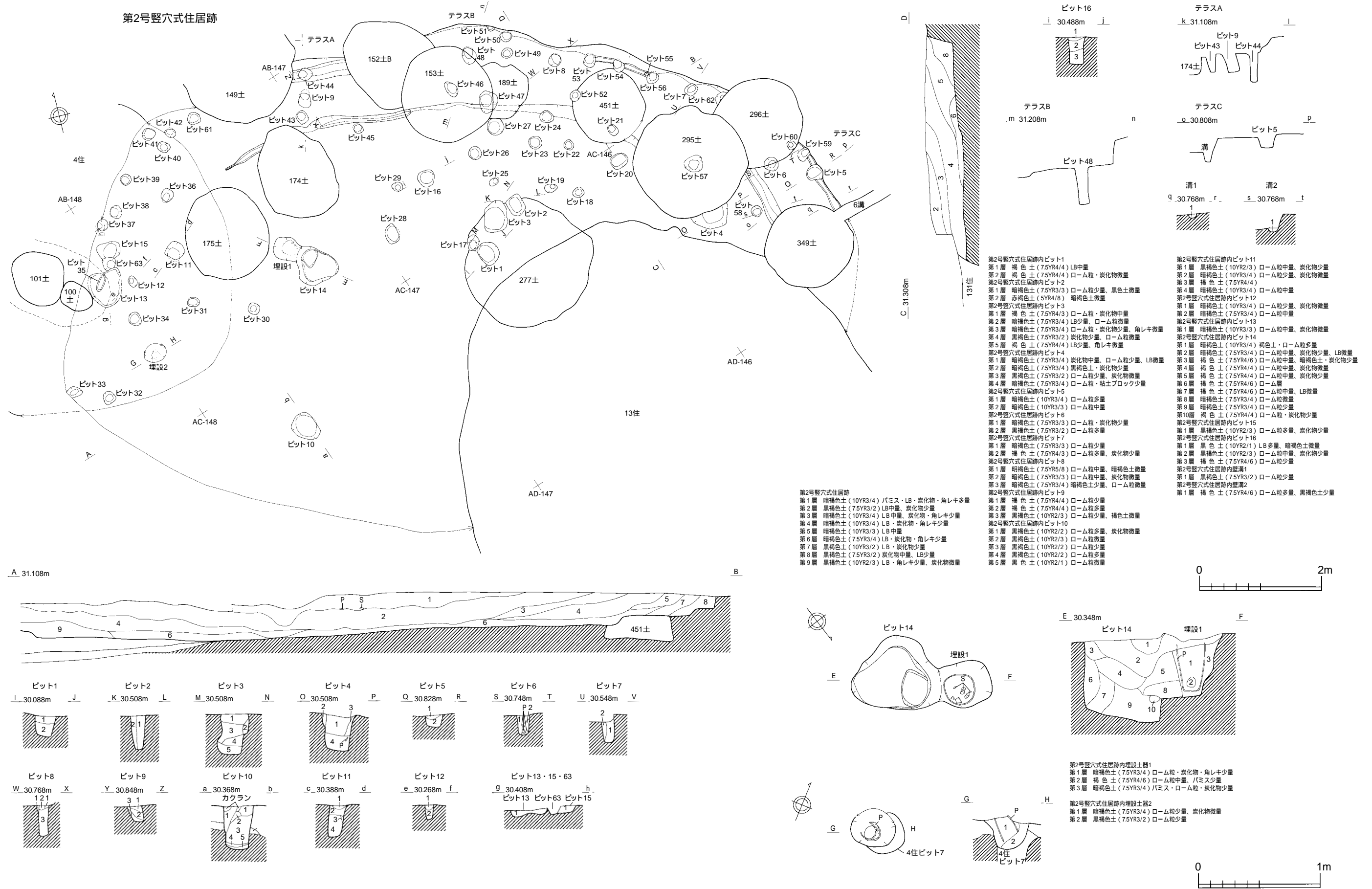
第6図 第1号・第12号竪穴式住居跡(3)



第7図 第1号・第12号竪穴式住居跡 (4)

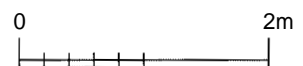
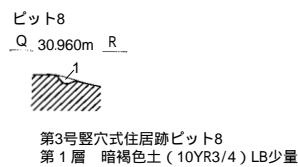
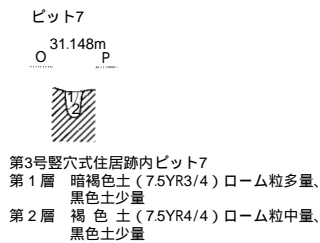
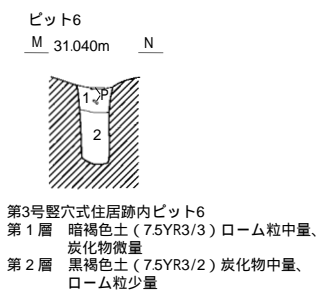
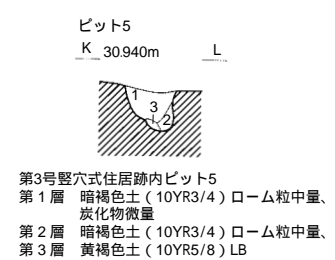
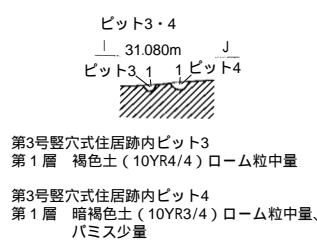
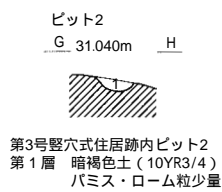
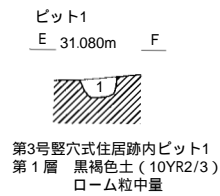
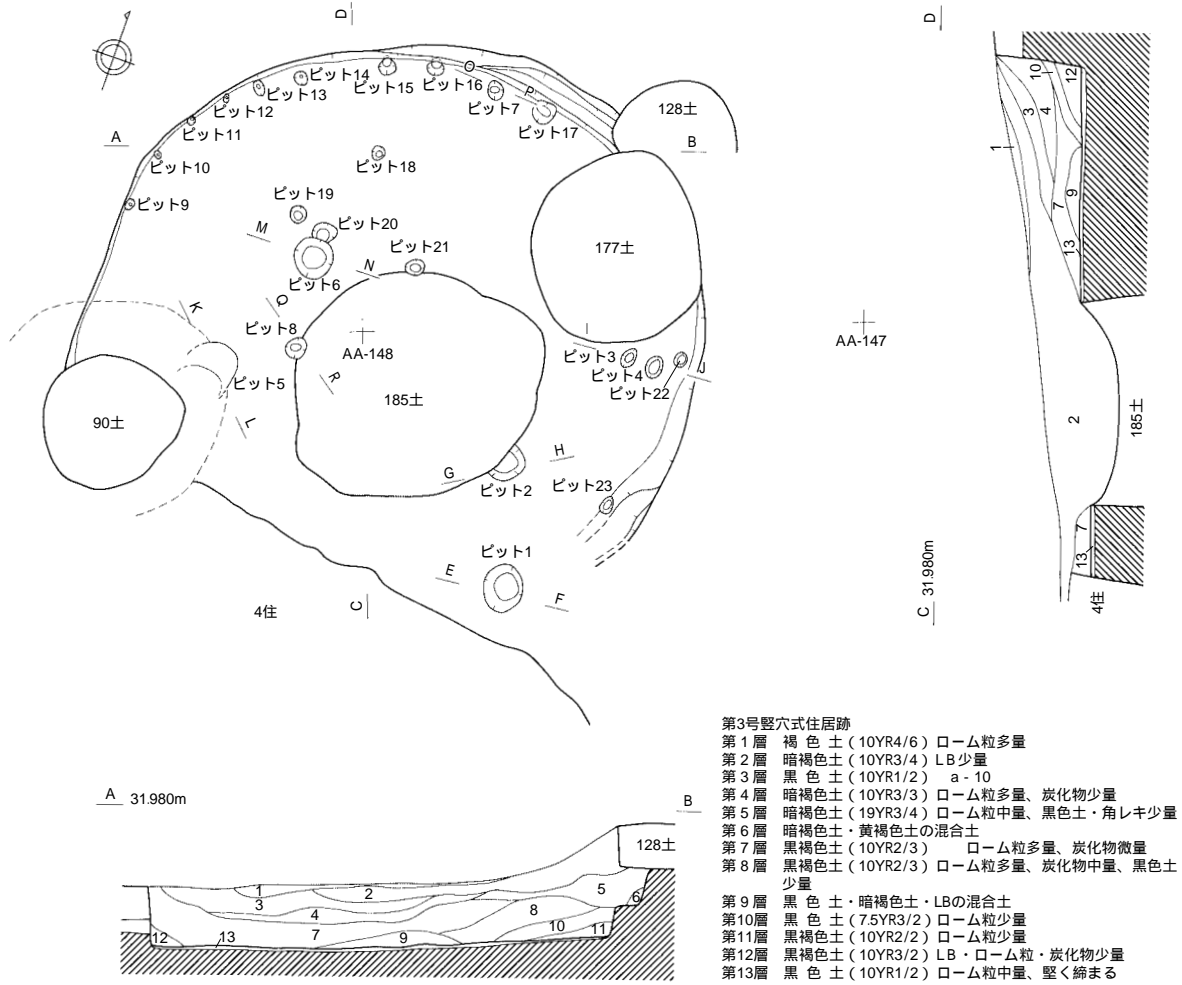


第2号竪穴式住居跡



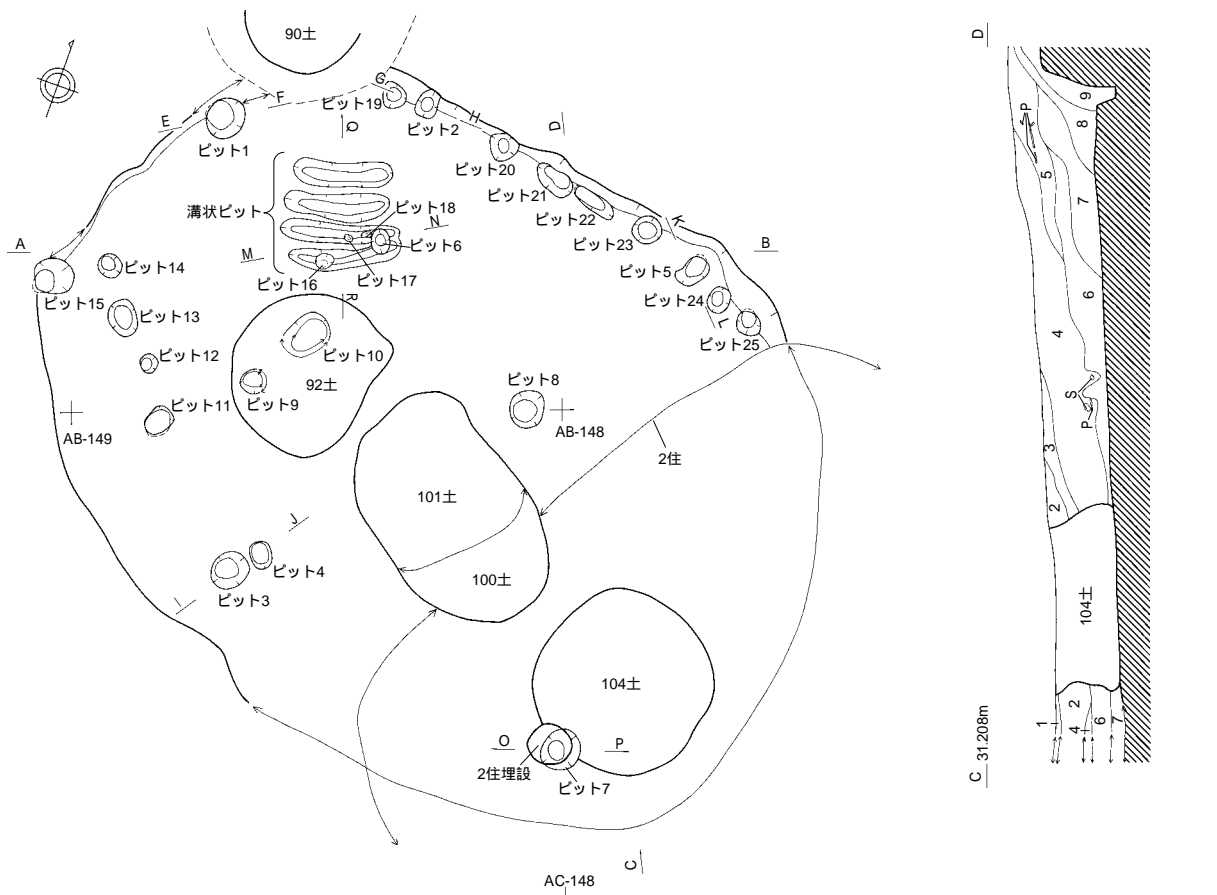
第8図 第2号竪穴式住居跡

第3号竪穴式住居跡



第9図 第3号竪穴式住居跡

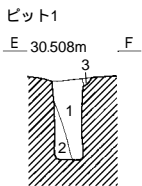
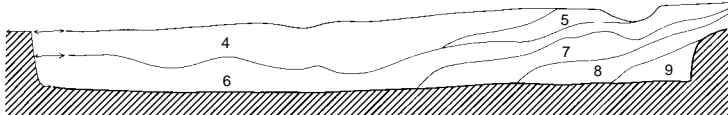
第4号竪穴式住居跡



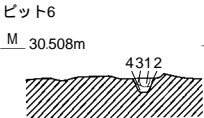
第4号竪穴式住居跡

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) LB少量
- 第2層 黒褐色土 (7.5YR3/2) LB中量、炭化物少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) LB中量、炭化物・角レキ少量
- 第4層 暗褐色土 (7.7YR3/4) LB中量
- 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) LB中量、炭化物少量
- 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB、炭化物・角レキ少量
- 第7層 黒褐色土 (10YR2/3) LB多量
- 第8層 黒褐色土 (7.5YR3/2) LB少量
- 第9層 黒褐色土 (10YR2/3) LB・角レキ多量、炭化物微量、堅く締まる

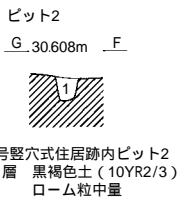
A. 31.208m



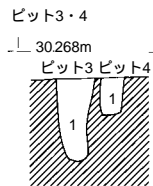
- 第4号竪穴式住居跡内ピット1
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量
  - 第3層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム粒多量、堅く締まる



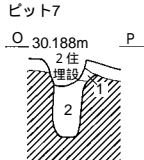
- 第4号竪穴式住居跡内ピット6
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒多量、炭化物微量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物少量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量



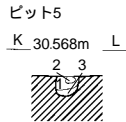
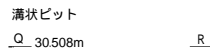
- 第4号竪穴式住居跡内ピット2
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量



- 第4号竪穴式住居跡内ピット3
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量
- 第4号竪穴式住居跡内ピット4
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量



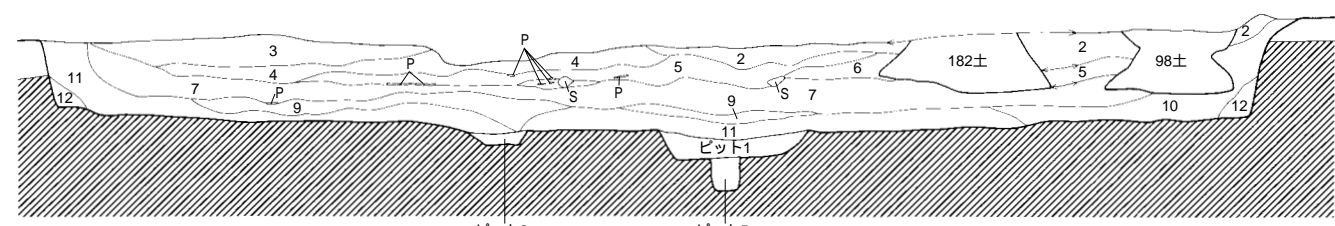
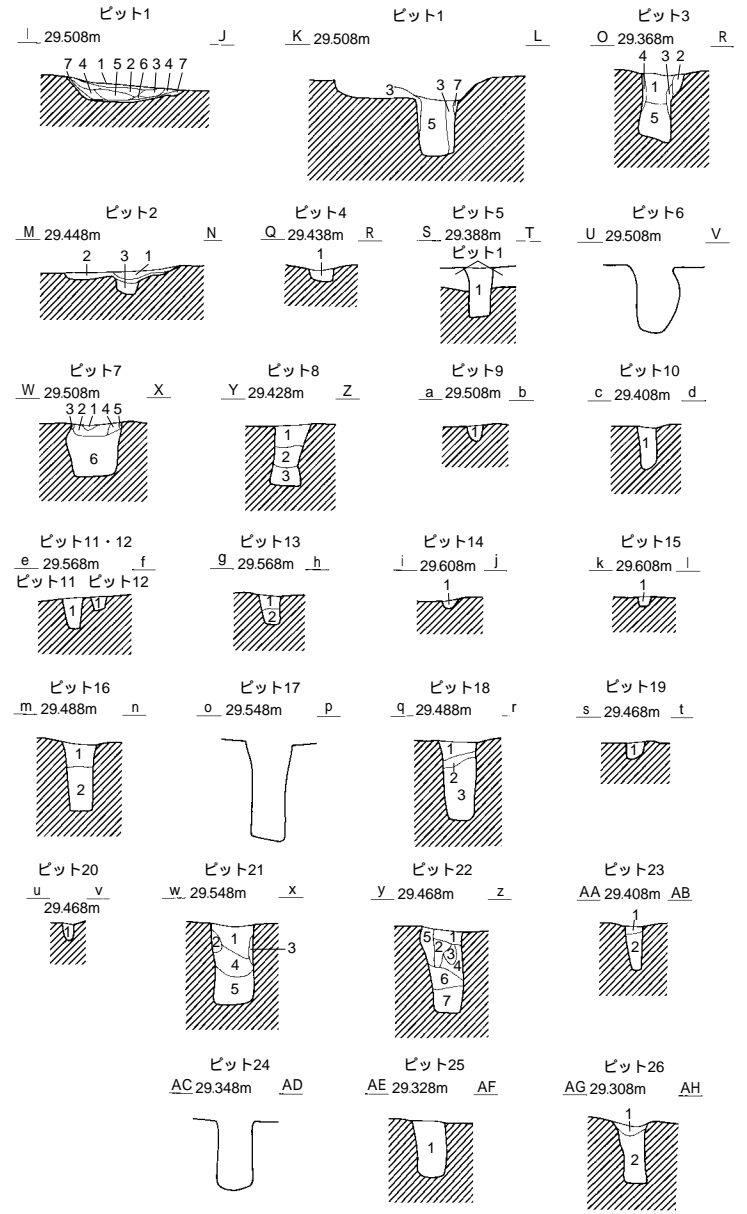
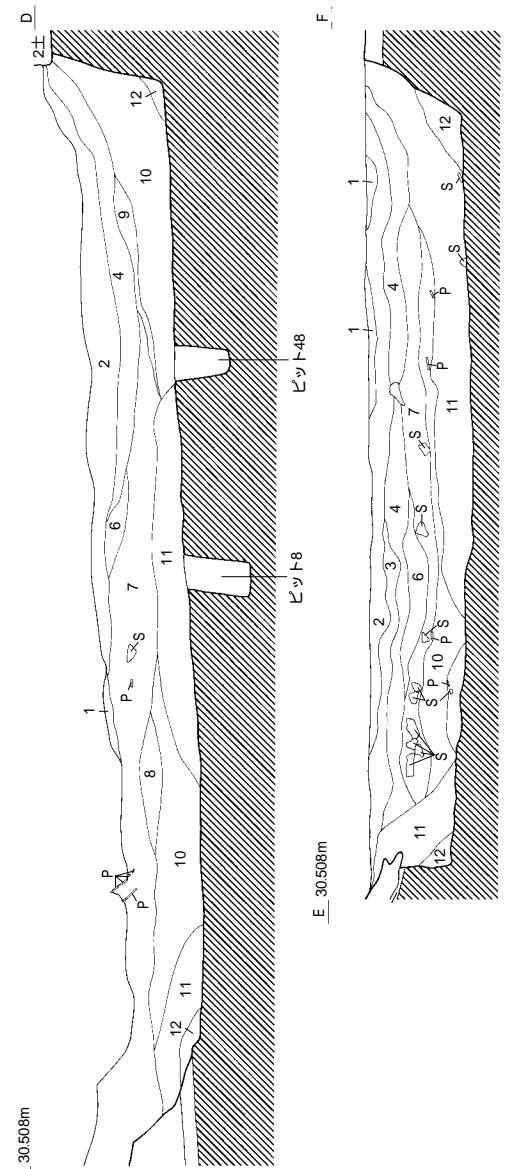
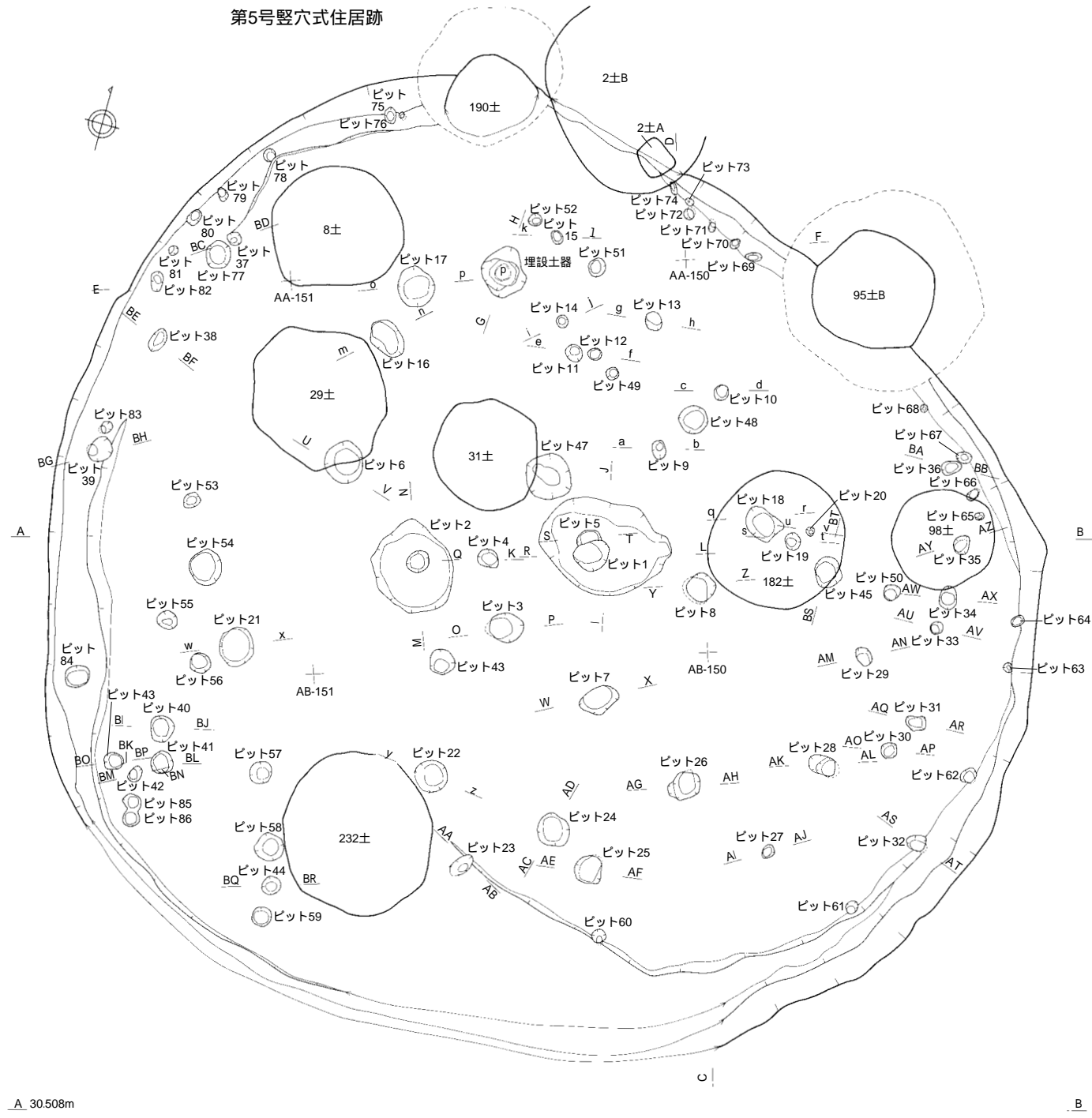
- 第4号竪穴式住居跡内ピット7
- 第1層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒中量、炭化物微量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒微量



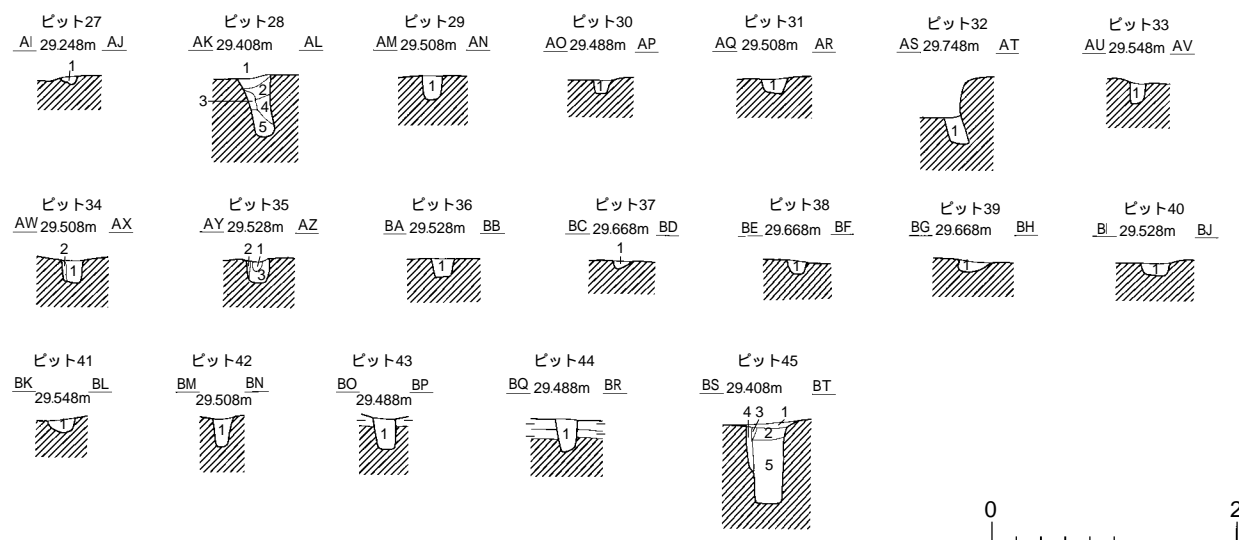
- 第4号竪穴式住居跡内ピット5
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒多量、炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒微量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量



第10図 第4号竪穴式住居跡



- 第5号竪穴式住居跡
- 第1層 褐色土 (10YR3/2) LB 中量、炭化物少量、角レキ少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒微量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、炭化物中量、角レキ微量
  - 第4層 黒褐色土 (7.5YR3/2) パミス中量、ローム粒中量、炭化物中量
  - 第5層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒中量、炭化物少量、円レキ含む
  - 第6層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量、炭化物少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量、炭化物少量、角レキ少量
  - 第8層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、炭化物少量、角レキ少量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒多量、角レキ多量、炭化物少量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、炭化物少量、角レキ少量
  - 第11層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量
  - 第12層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量

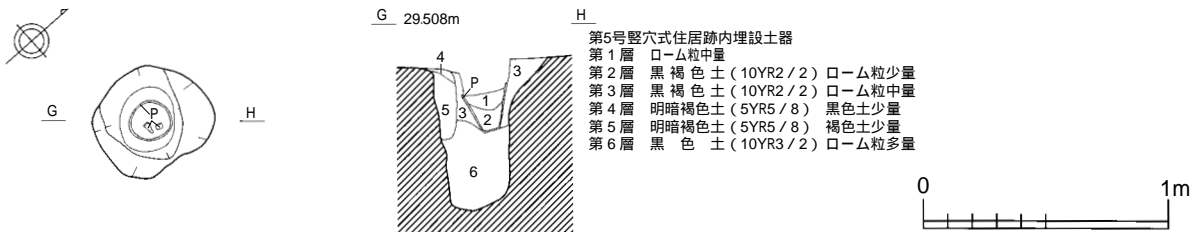


第11図 第5号竪穴式住居跡(1)

第5号竪穴式住居跡遺物出土状況



第5号竪穴式住居跡内埋設土器



第5号竪穴式住居内ビット1

- 第1層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒少量
- 第2層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒中量、炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒多量
- 第4層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、炭化物微量
- 第5層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、炭化物微量
- 第6層 橙色土 (7.5YR7/6) 暗褐色土少量
- 第7層 黒色土 (10YR2/1) 炭化物層
- 第8層 灰黄褐色土 (10YR5/2) 灰、黒色土少量

第5号竪穴式住居内ビット2

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量、炭化物少量
- 第2層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒少量、炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量

第5号竪穴式住居内ビット3

- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物少量
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量、炭化物微量
- 第3層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物微量
- 第4層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量
- 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量

第5号竪穴式住居内埋設土器

- 第1層 ローム粒中量
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物少量
- 第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量
- 第4層 明暗褐色土 (5YR5/8) 黒色土少量
- 第5層 明暗褐色土 (5YR5/8) 褐色土少量
- 第6層 黒色土 (10YR3/2) ローム粒多量

第5号竪穴式住居内ビット4

- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量、炭化物微量

第5号竪穴式住居内ビット5

- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物少量、ローム粒・角レキ微量

第5号竪穴式住居内ビット7

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物微量
- 第2層 明黄褐色土 (10YR6/6) ローム粒多量、褐色土少量、炭化物微量
- 第3層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第4層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量
- 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第6層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量、炭化物微量

第12図 第5号竪穴式住居跡(2)



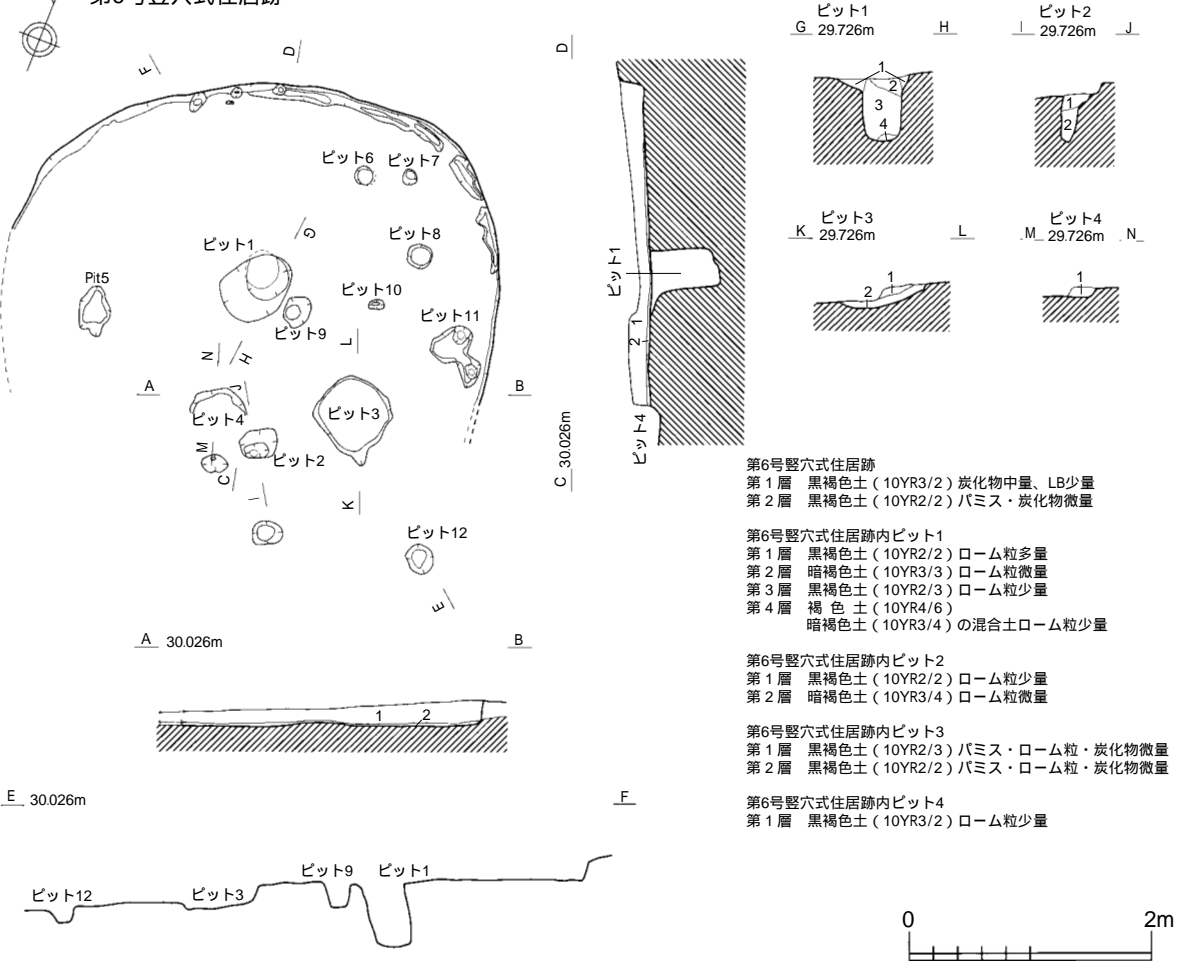
第5編 平成11年度発掘調査成果

- 第5号竪穴式住居跡内ビット8  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒微量・炭化物微量  
第2層 明褐色土 (7.5YR5/8) LB多量、角レキ微量  
第3層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒中量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット9  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット10  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット11  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量、炭化物・角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット12  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット13  
第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 明褐色土 (7.5YR5/8) ローム粒多量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット14  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物・角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット15  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット16  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量、炭化物・角レキ微量  
第2層 明褐色土 (7.5YR5/6) ローム粒多量、褐色土・角レキ少量、砂質
- 第5号竪穴式住居跡内ビット18  
第1層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量、炭化物少量、角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット19  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット20  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量

- 第5号竪穴式住居跡内ビット21  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒微量・炭化物微量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量、黒色土中量  
第3層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量、黒褐色土少量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量  
第5層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット22  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物微量  
第3層 黒褐色土 (10YR3/3) ローム粒・炭化物・角レキ微量  
第4層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、LB微量  
第5層 明黄褐色土 (10YR6/6) ローム粒多量、褐色土少量  
第6層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム粒多量、黒褐色土少量  
第7層 明黄褐色土 (10YR6/6) ローム粒中量、黒褐色土少量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット23  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット25  
第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒・炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット26  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット27  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット28  
第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒・炭化物・角レキ微量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量  
第3層 明黄褐色土 (10YR7/6) ローム粒多量、炭化物微量・角レキ微量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量、角レキ微量  
第5層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット29  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット30  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット31  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量

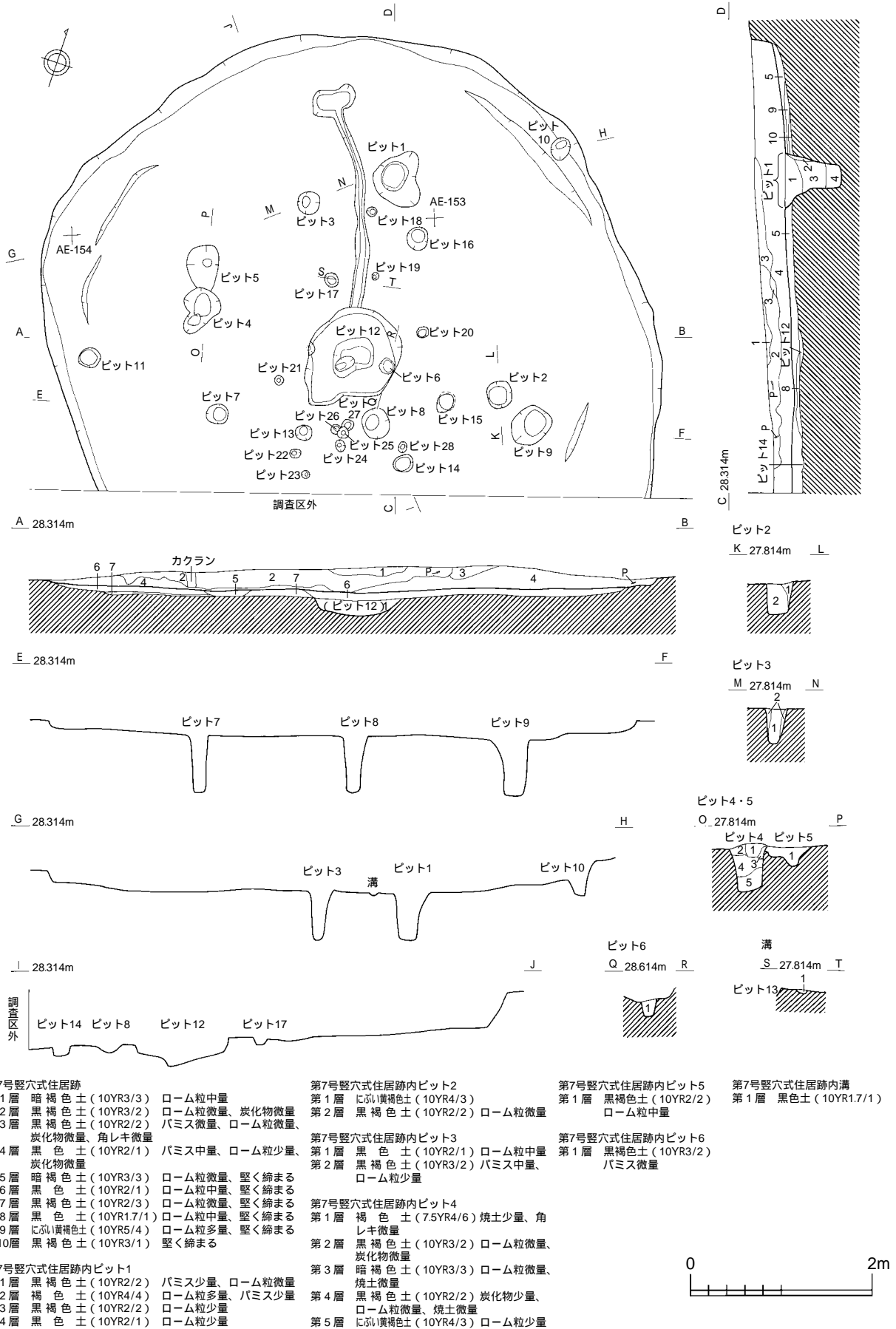
- 第5号竪穴式住居跡内ビット32  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット33  
第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒・炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット34  
第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒・炭化物・角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット35  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット36  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物・角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット37  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒多量、炭化物微量、褐色土少量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット38  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量、炭化物・角レキ微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット39  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、黒褐色土少量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット40  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒・炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット41  
第1層 黒色土 (10YR1.7/1) ローム粒中量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット42  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒微量・炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット43  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒多量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット44  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量、炭化物微量
- 第5号竪穴式住居跡内ビット45  
第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量  
第2層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒少量  
第3層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒多量  
第4層 明赤褐色土 (5YR5/8) 黒褐色土微量  
第5層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量

第6号竪穴式住居跡



第13図 第5号竪穴式住居跡 (3)・第6号竪穴式住居跡

第7号竪穴式住居跡



第7号竪穴式住居跡

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量
- 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒微量、炭化物微量
- 第3層 黒褐色土 (10YR2/2) パミス微量、ローム粒微量、炭化物微量、角レキ微量
- 第4層 黒色土 (10YR2/1) パミス中量、ローム粒少量、炭化物微量
- 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒微量、堅く締まる
- 第6層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒中量、堅く締まる
- 第7層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒微量、堅く締まる
- 第8層 黒色土 (10YR1.7/1) ローム粒中量、堅く締まる
- 第9層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) ローム粒多量、堅く締まる
- 第10層 黒褐色土 (10YR3/1) 堅く締まる

第7号竪穴式住居跡内ピット1

- 第1層 黒褐色土 (10YR2/2) パミス少量、ローム粒微量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量、パミス少量
- 第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量
- 第4層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒少量

第7号竪穴式住居跡内ピット2

- 第1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3)
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒微量

第7号竪穴式住居跡内ピット3

- 第1層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒中量
- 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) パミス中量、ローム粒少量

第7号竪穴式住居跡内ピット4

- 第1層 褐色土 (7.5YR4/6) 焼土少量、角レキ微量
- 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒微量、炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒微量、焼土微量
- 第4層 黒褐色土 (10YR2/2) 炭化物少量、ローム粒微量、焼土微量
- 第5層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒少量

第7号竪穴式住居跡内ピット5

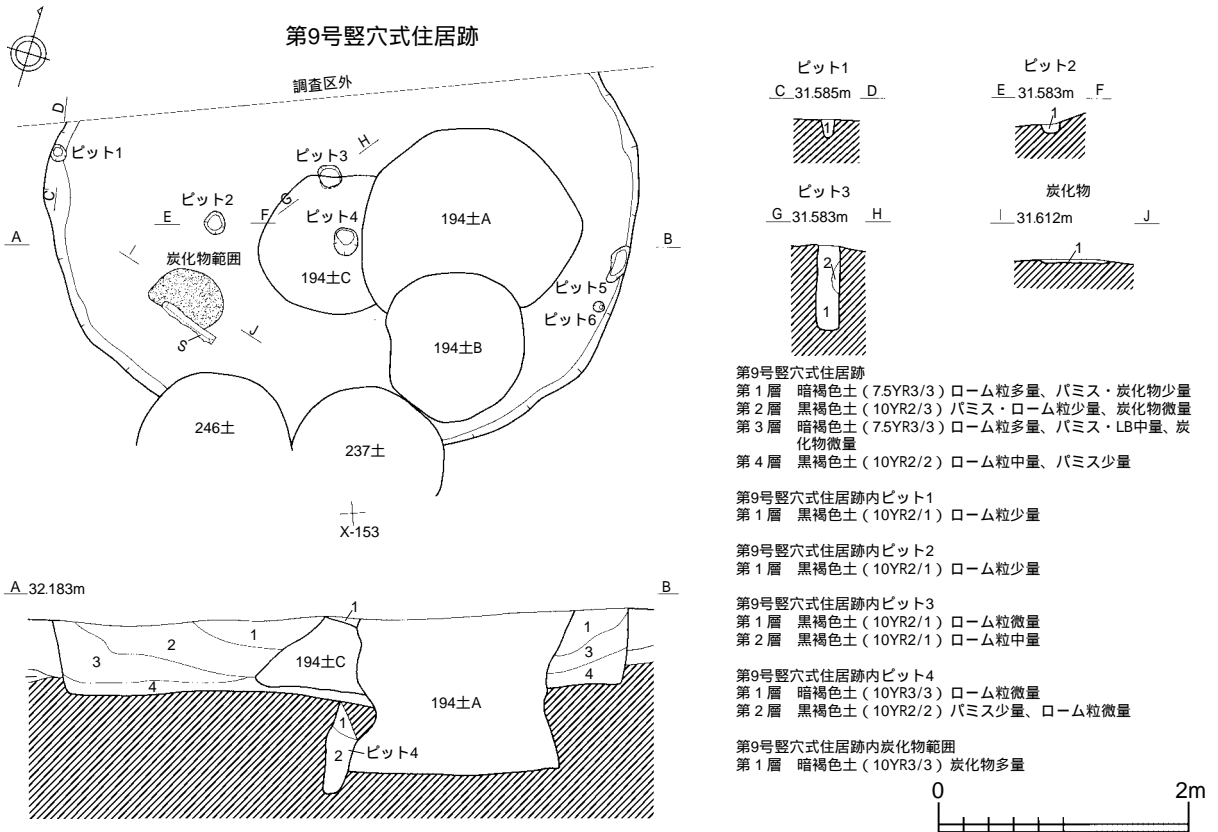
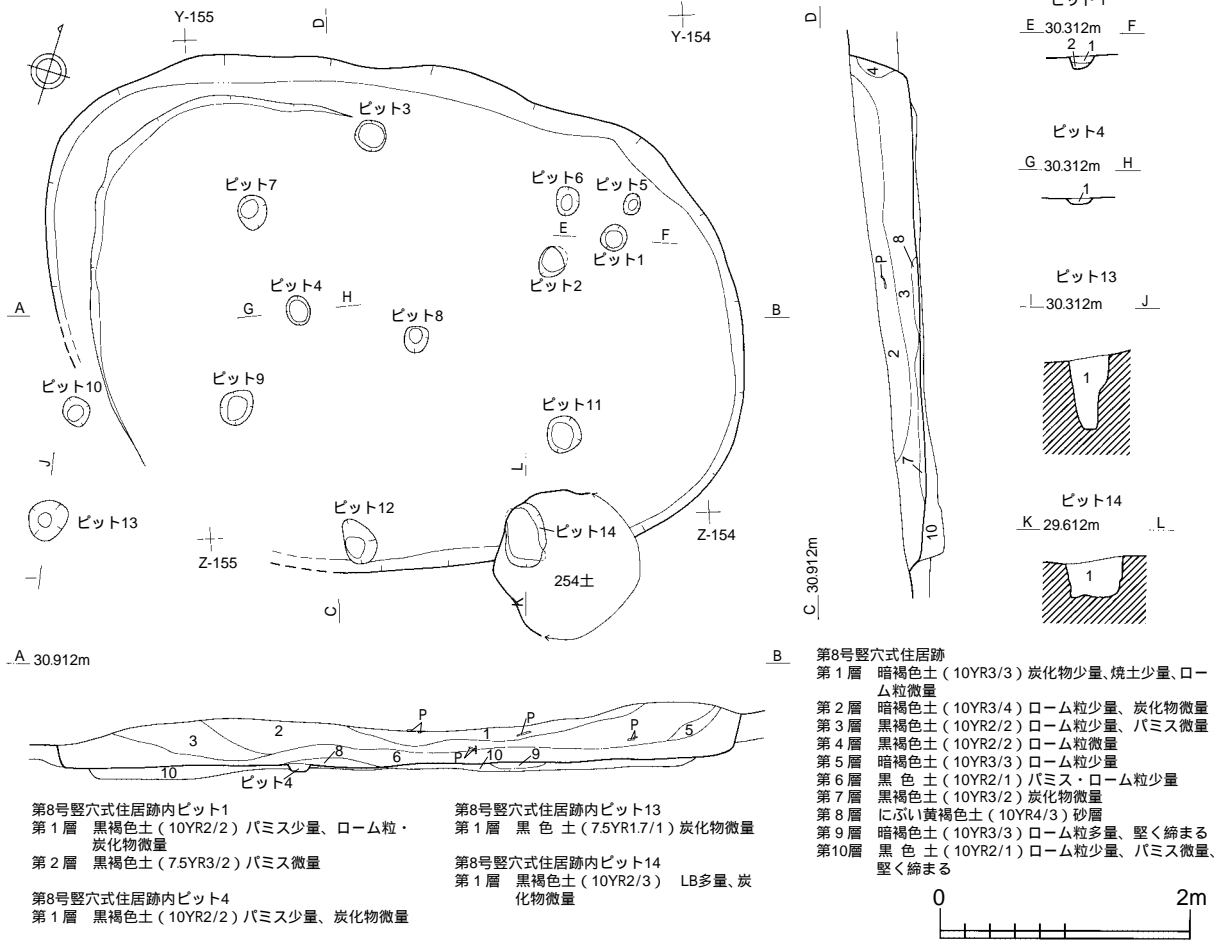
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量
- 第7号竪穴式住居跡内ピット6
- 第1層 黒褐色土 (10YR3/2) パミス微量

第7号竪穴式住居跡内溝

- 第1層 黒色土 (10YR1.7/1)

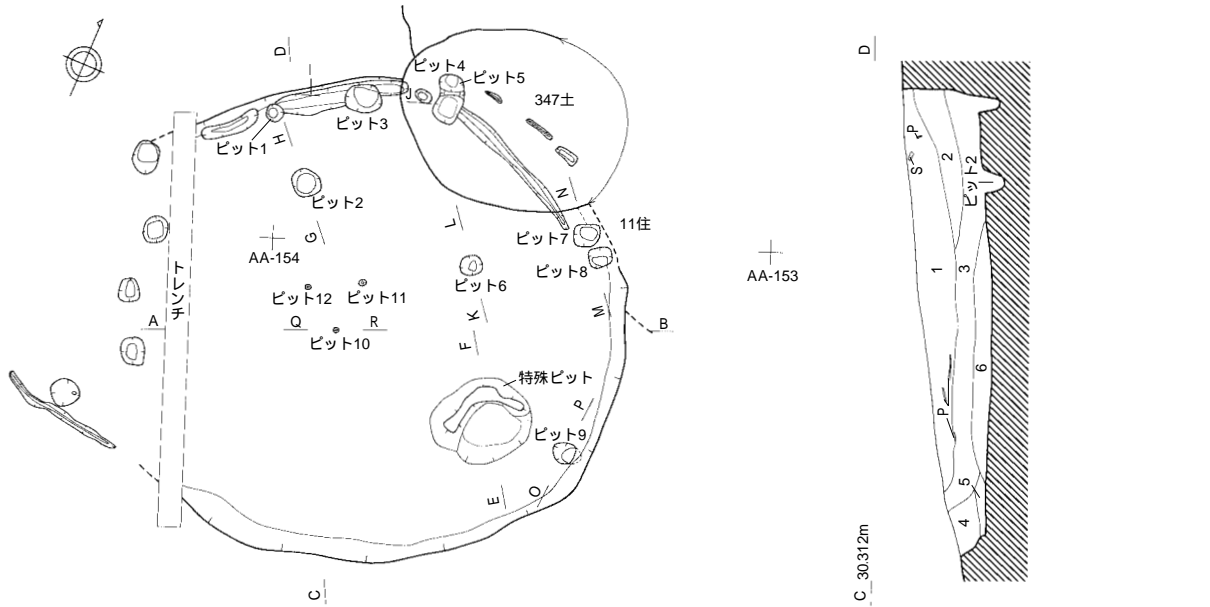
第14図 第7号竪穴式住居跡

第8号竪穴式住居跡



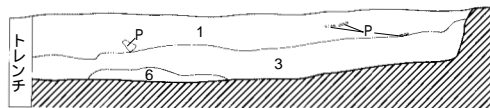
第15図 第8号竪穴式住居跡・第9号竪穴式住居跡

第10号竪穴式住居跡

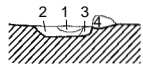


A 30.312m

B 第10号竪穴式住居跡  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量、パミス少量、ローム粒・角レキ微量  
 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) 炭化物中量、パミス・ローム粒微量、角レキ微量  
 第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒・炭化物少量、角レキ微量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/3)  
 第5層 黒褐色土 (10YR3/2)  
 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物微量

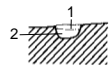


特殊ピット  
E 29.712m F



第10号竪穴式住居跡内特殊施設  
 第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒微量  
 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量、炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量  
 第4層 黒褐色土 (10YR3/2) パミス少量、ローム粒微量

ピット2  
G 29.712m H



第10号竪穴式住居跡内ピット2  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量  
 第2層 黒褐色土 (10YR2/1)

ピット3  
I 29.712m J



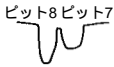
第10号竪穴式住居跡内ピット3  
 第1層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒微量

ピット6  
K 29.712m L



第10号竪穴式住居跡内ピット6  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量

ピット7・8  
M 29.712m N



ピット9  
O 29.712m P



第10号竪穴式住居跡内ピット9  
 第1層 黒褐色土 (10YR2/2)

ピット10  
Q 29.512m R



第10号竪穴式住居跡内ピット10  
 第1層 黒褐色土 (10YR3/2)  
 第2層 明赤褐色土 (5YR5/6)



ピット10・11・12  
AA-154

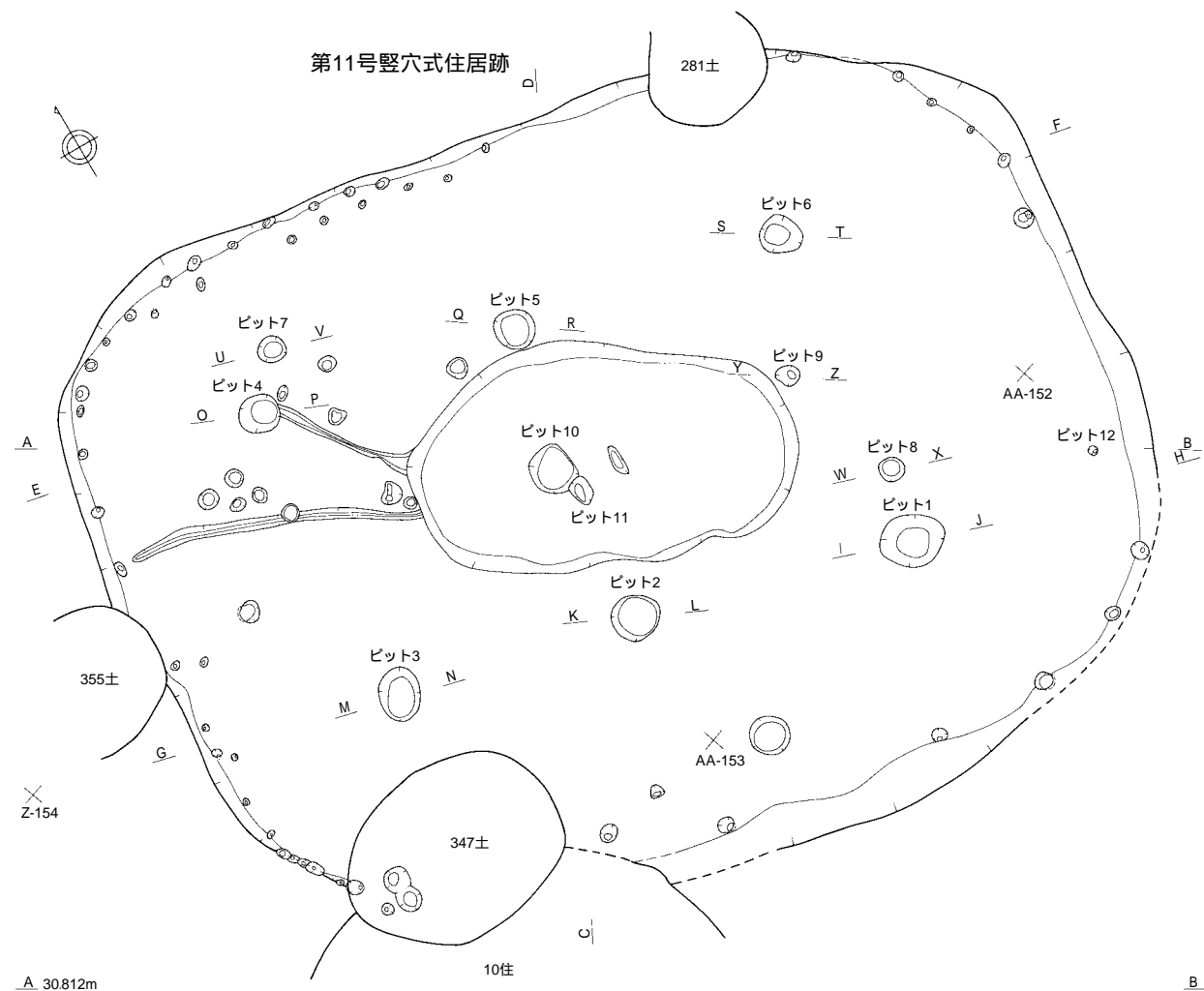
ピット12 ピット11

ピット10



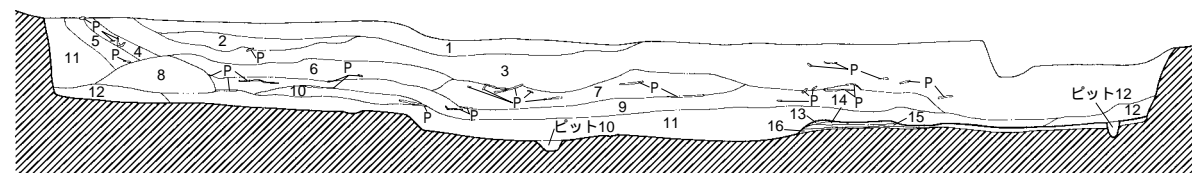
第16図 第10号竪穴式住居跡





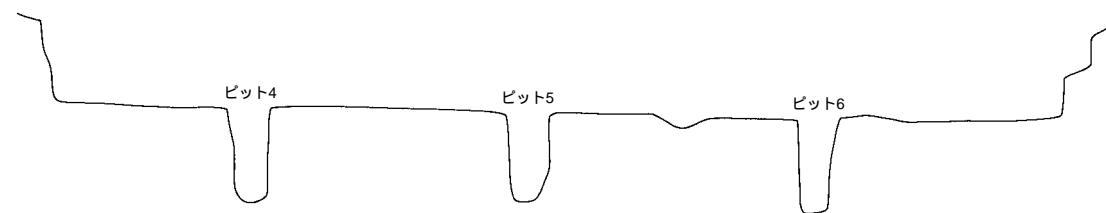
A 30.812m

B



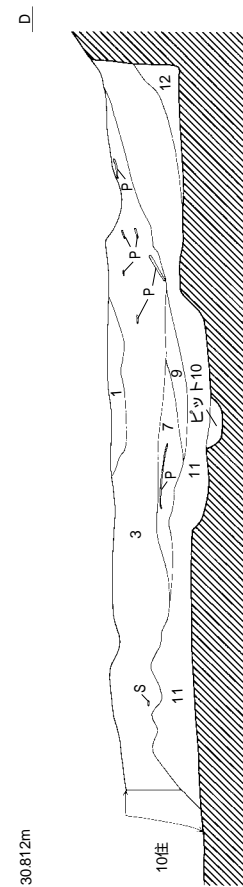
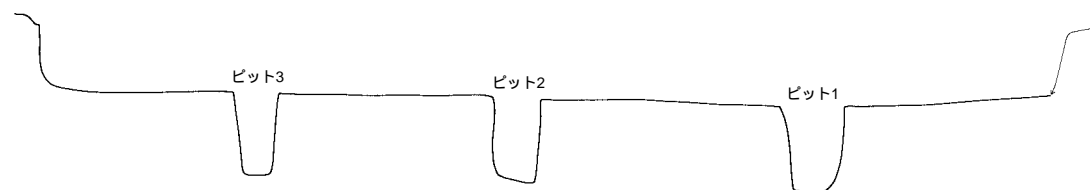
E 30.812m

F

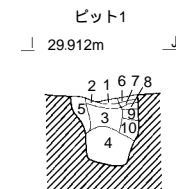


G 30.812m

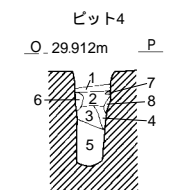
H



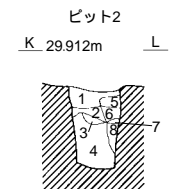
C 30.812m



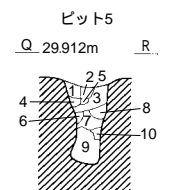
第11号竪穴式住居跡内ピット1  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・黒褐色土少量  
第4層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・褐色土少量  
第5層 黒色土 (10YR2/2) 褐色土少量  
第6層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量  
第7層 黄褐色土 (10YR5/6) LB  
第8層 黒褐色土 (10YR2/2)  
第9層 褐色土 (10YR4/4) LB 黒褐色土少量  
第10層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量



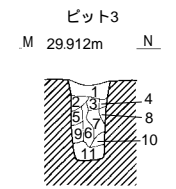
第11号竪穴式住居跡内ピット4  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物少量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/2) 黄褐色土少量、ローム粒微量  
第3層 黒褐色土 (10YR2/2) 黄褐色土少量  
第4層 褐色土 (10YR4/6) 黒褐色土少量  
第5層 暗褐色土 (10YR3/4)  
第6層 黄褐色土 (10YR5/8)  
第7層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム粒少量  
第8層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量



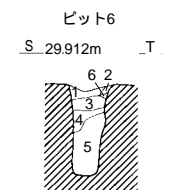
第11号竪穴式住居跡内ピット2  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒微量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒微量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒微量  
第5層 明暗褐色土 (7.5YR5/8) ローム粒少量  
第6層 明褐色土 (7.5YR5/8) LB少量  
第7層 黒褐色土 (10Y2/2) 褐色土多量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/6) 黒褐色土少量



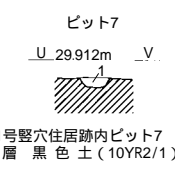
第11号竪穴式住居跡内ピット5  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物微量  
第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量  
第4層 黄褐色土 (10YR5/8) 暗褐色土少量  
第5層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量  
第6層 褐色土 (10YR4/6) 暗褐色土少量  
第7層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量  
第8層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量  
第9層 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色土少量  
第10層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量  
第11層 黄褐色土 (10YR5/8) LB



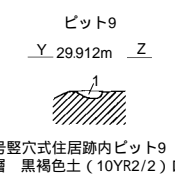
第11号竪穴式住居跡内ピット3  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物微量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒・炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒微量  
第4層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量  
第5層 明褐色土 (7.5YR5/8) LB  
第6層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量  
第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量  
第8層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量  
第9層 褐色土 (10YR4/6) LB  
第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量  
第11層 褐色土 (10YR4/6) LB・黒褐色土少量



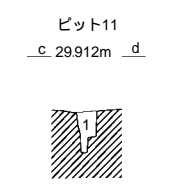
第11号竪穴式住居跡内ピット6  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、炭化物少量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物中量  
第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量  
第4層 褐色土 (10YR4/6) LB  
第5層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量  
第6層 褐色土 (7.5YR4/6) LB少量



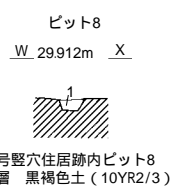
第11号竪穴式住居跡内ピット7  
第1層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒中量



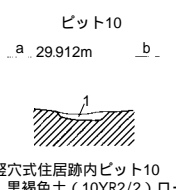
第11号竪穴式住居跡内ピット9  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量



第11号竪穴式住居跡内ピット11  
第1層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒少量

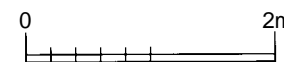


第11号竪穴式住居跡内ピット8  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物少量

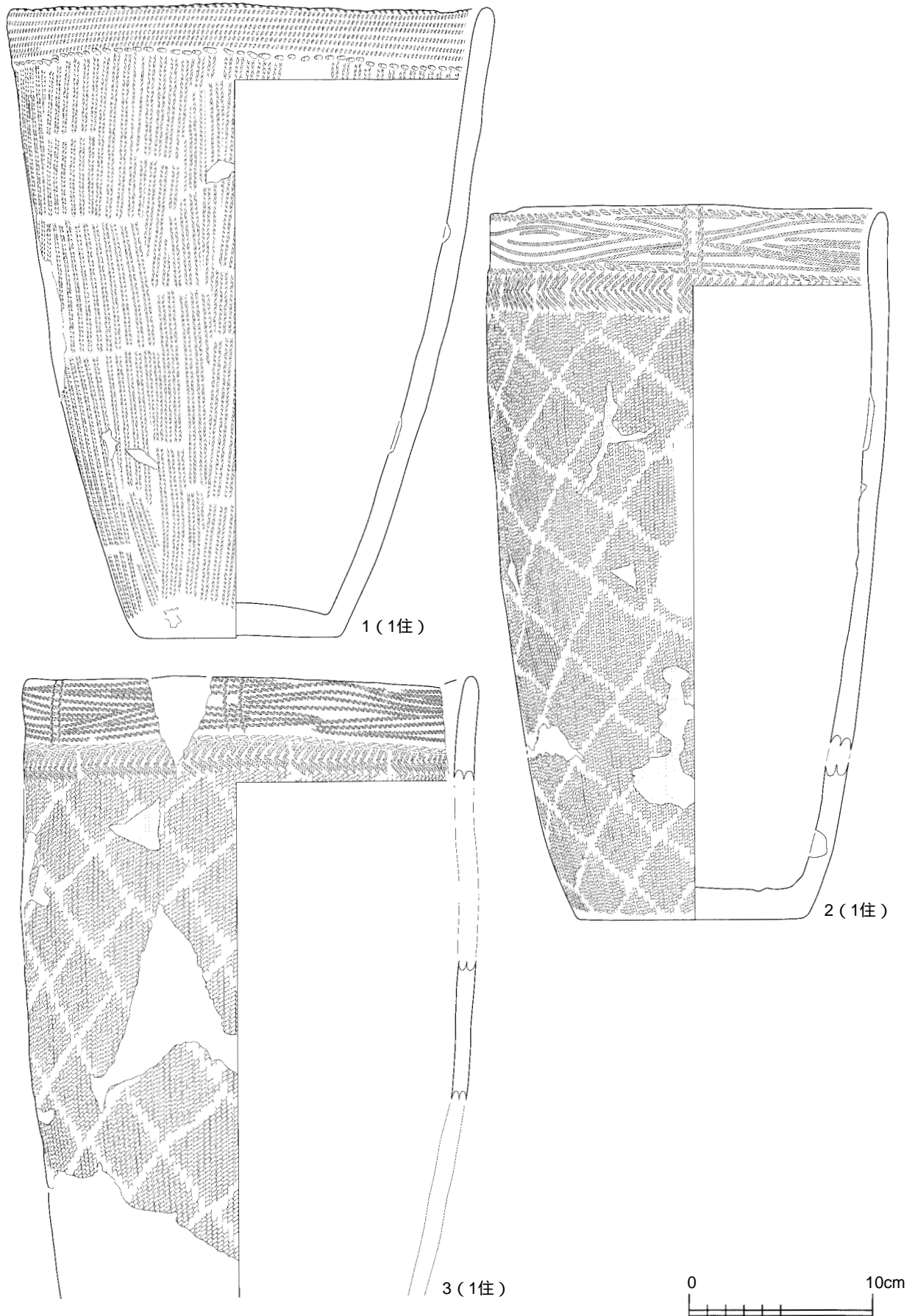


第11号竪穴式住居跡内ピット10  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒中量、炭化物少量

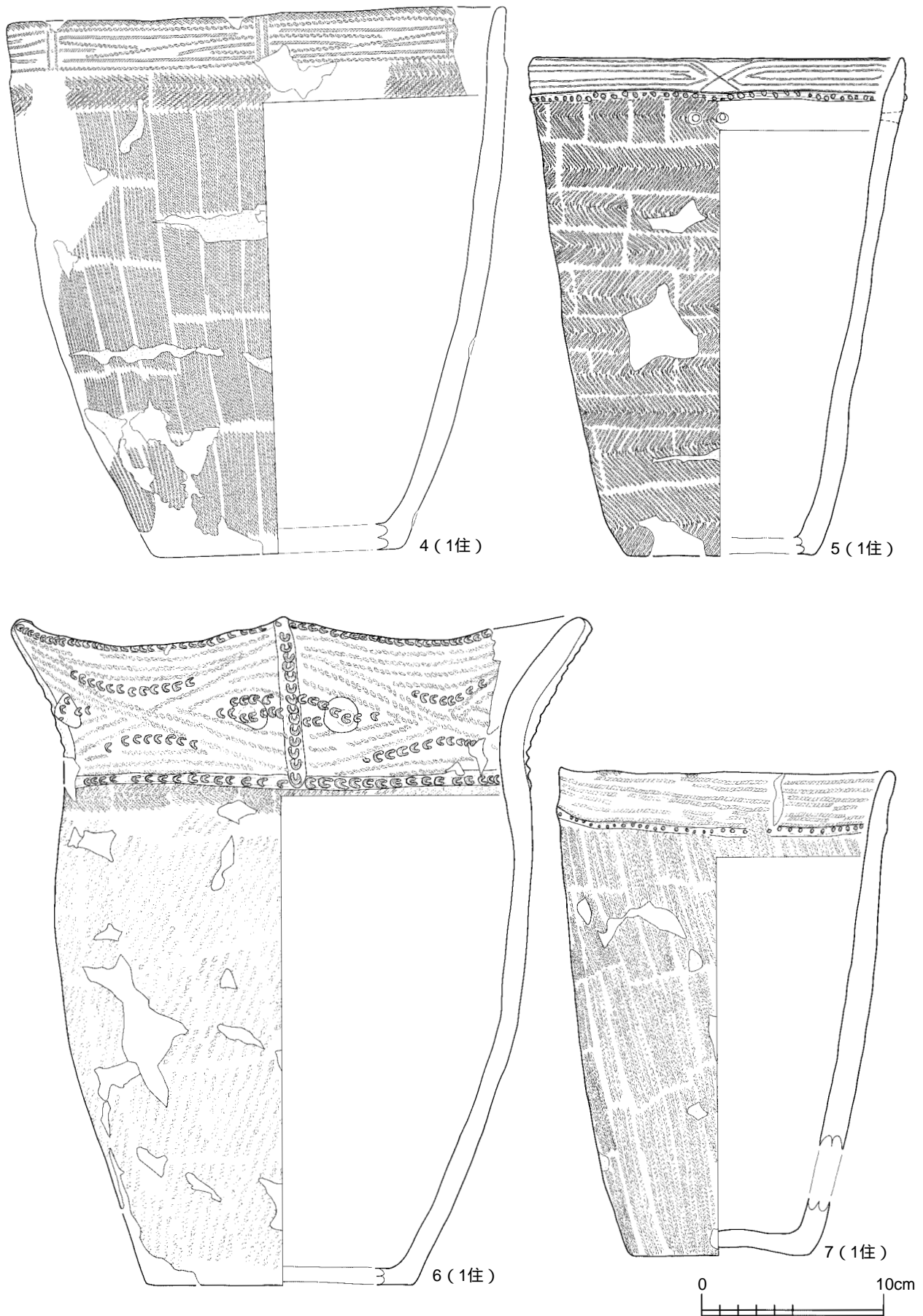
第11号竪穴式住居跡  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・角レキ少量、炭化物微量  
第2層 明褐色土 (7.5YR5/6) 角レキ少量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/3)  
第4層 黒褐色土 (10YR2/2) 炭化物少量、ローム粒微量  
第5層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量、パミス・ローム粒・角レキ微量  
第6層 黒褐色土 (10YR3/2) 炭化物微量  
第7層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物微量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・角レキ少量、炭化物微量  
第9層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量  
第10層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物中量、ローム粒少量  
第11層 黒色土 (10YR2/1) パミス・ローム粒少量、炭化物微量  
第12層 黒色土 (10YR1.7/1)  
第13層 黄褐色土 (10YR5/6) ローム、堅く締まる  
第14層 黒色土 (10YR2/1) 堅く締まる  
第15層 明黄褐色土 (10YR6/6) ローム、堅く締まる  
第16層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒微量、堅く締まる



第17図 第11号竪穴式住居跡

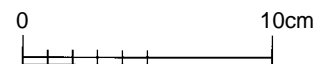
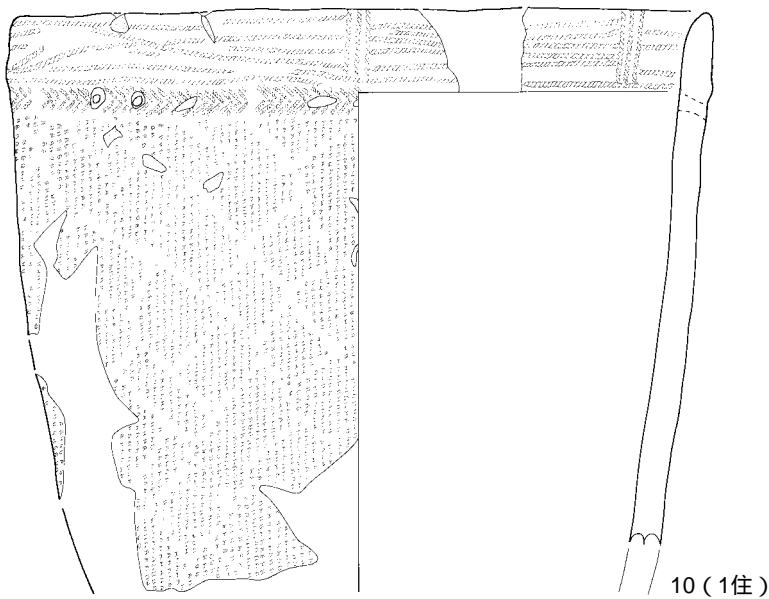
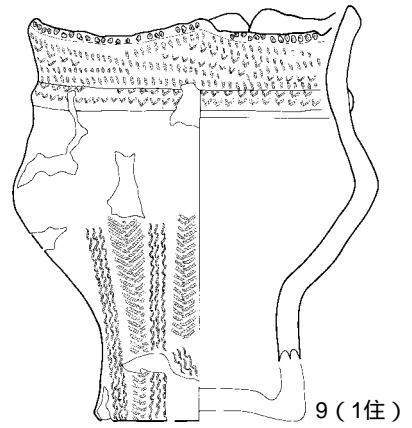
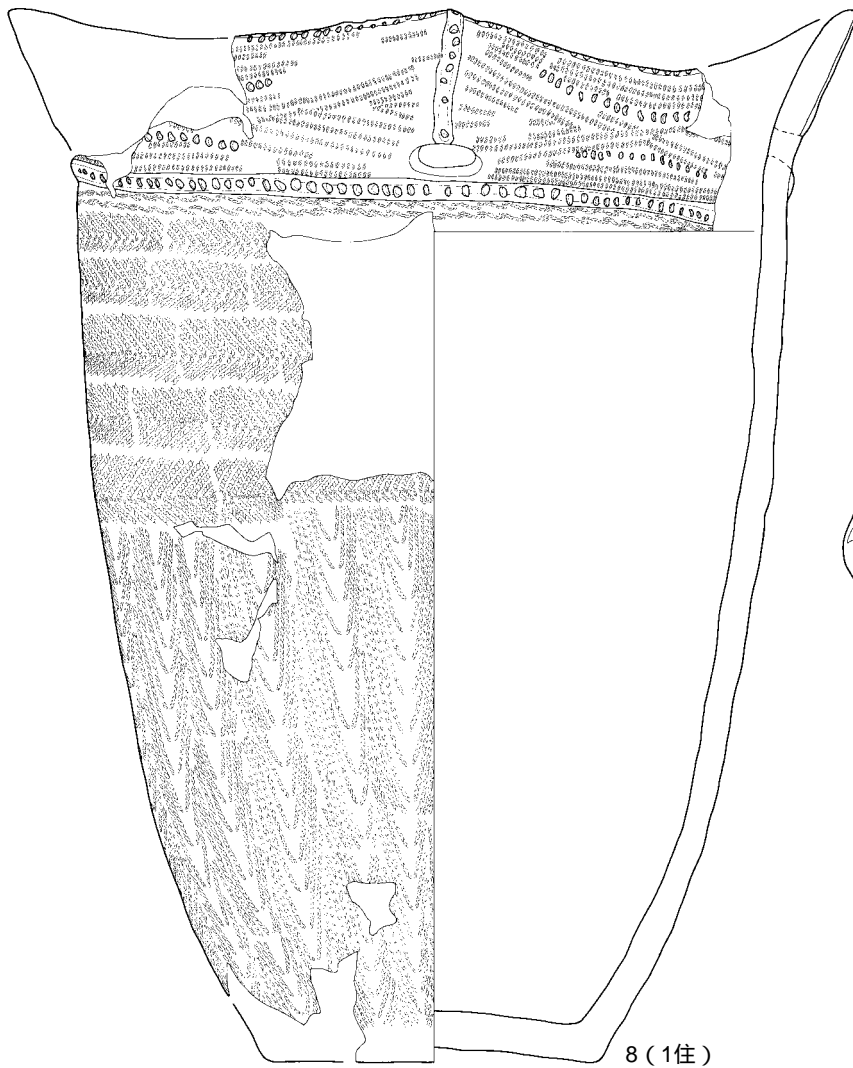


第18図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(1)

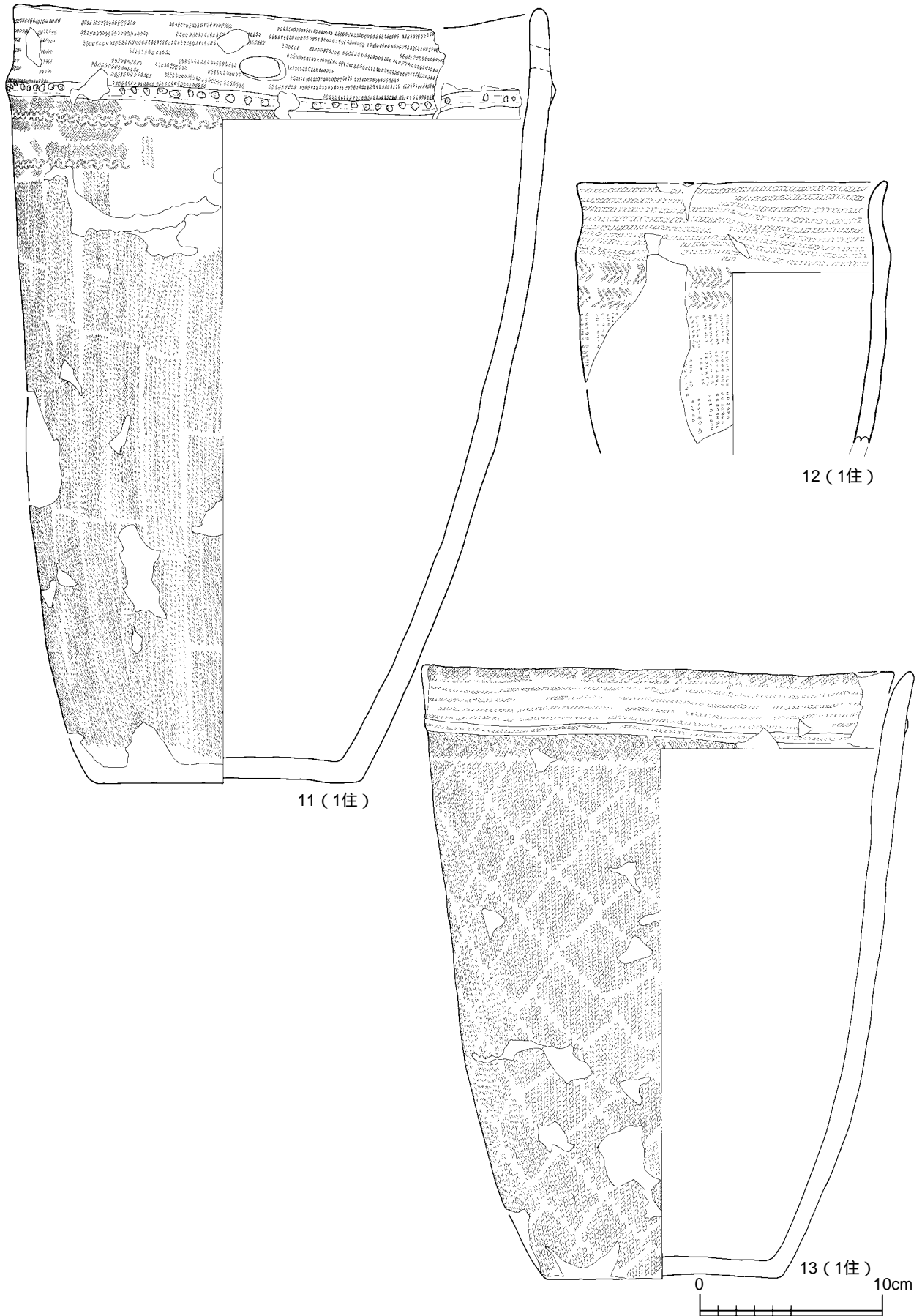


第19図 遺構内出土土器 ( 竪穴式住居跡 ) ( 2 )

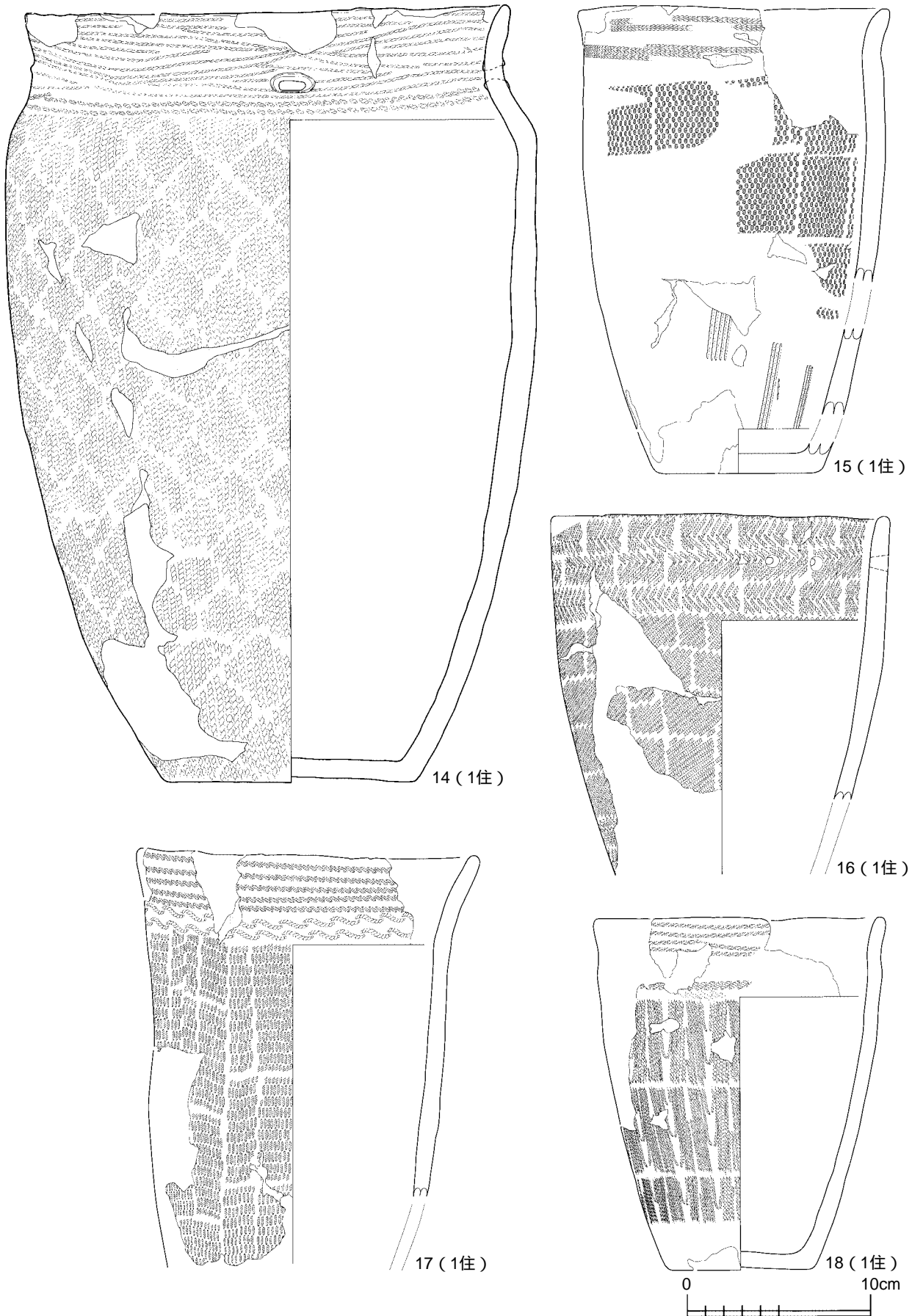




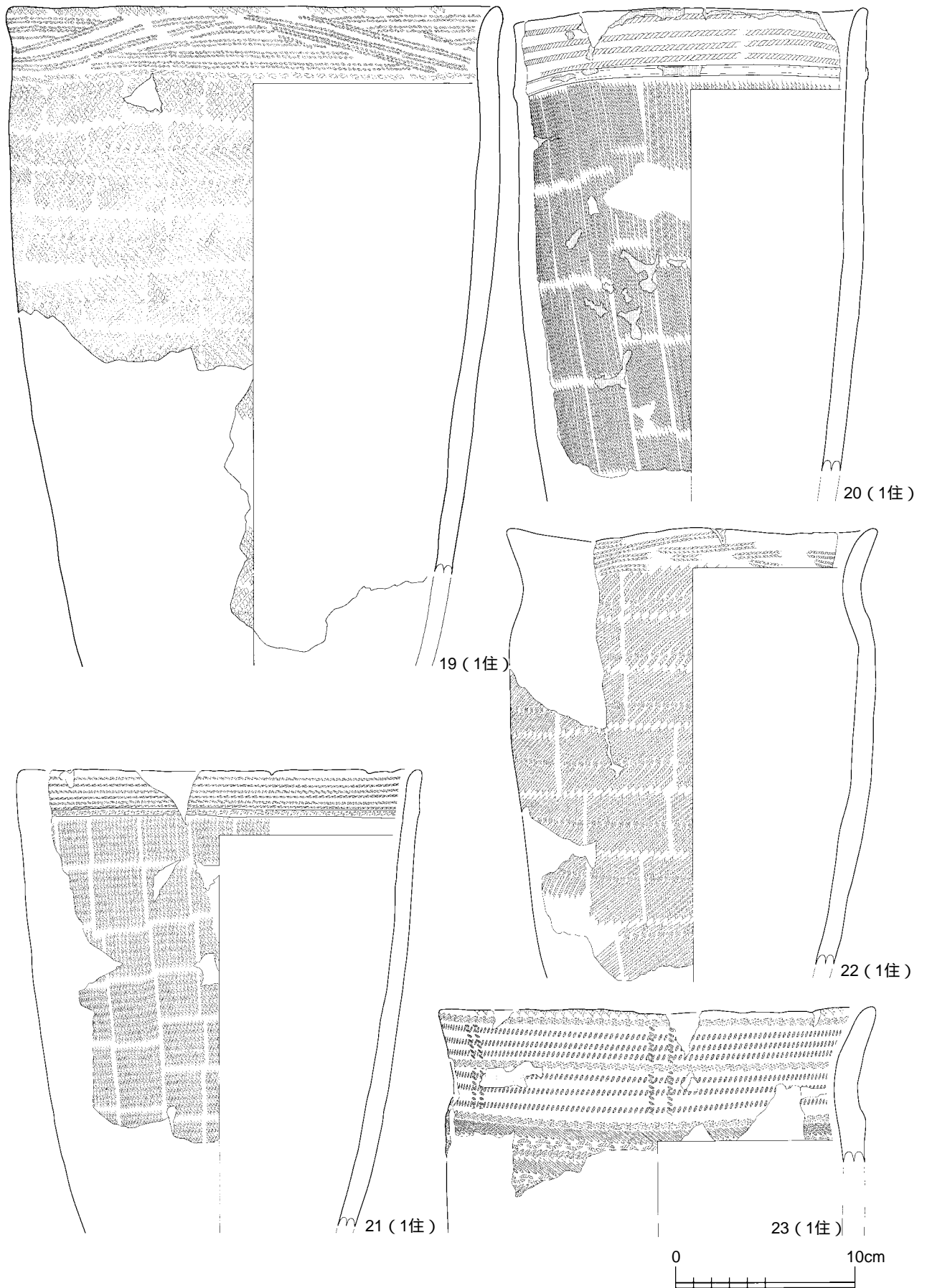
第20図 遺構内出土土器(竪穴式住居跡)(3)



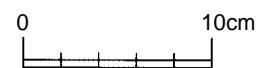
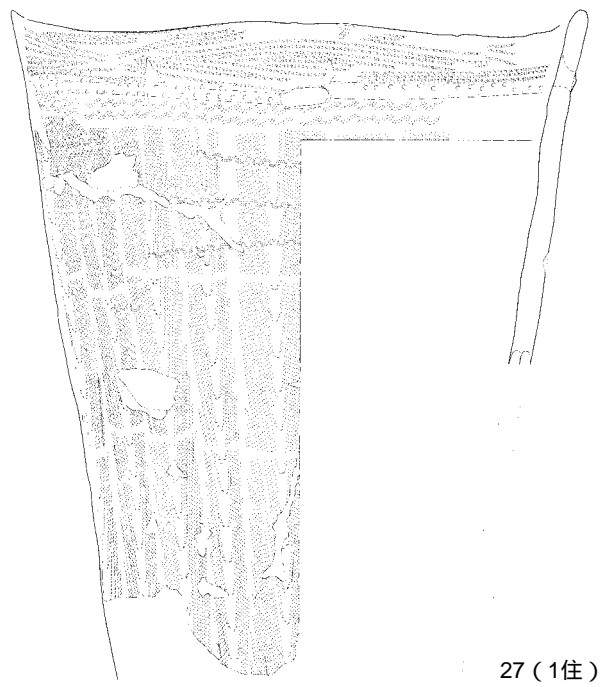
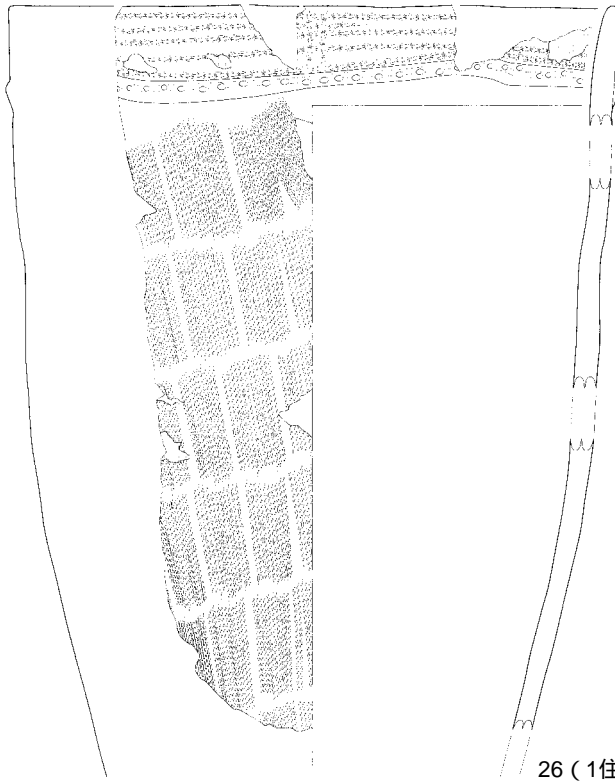
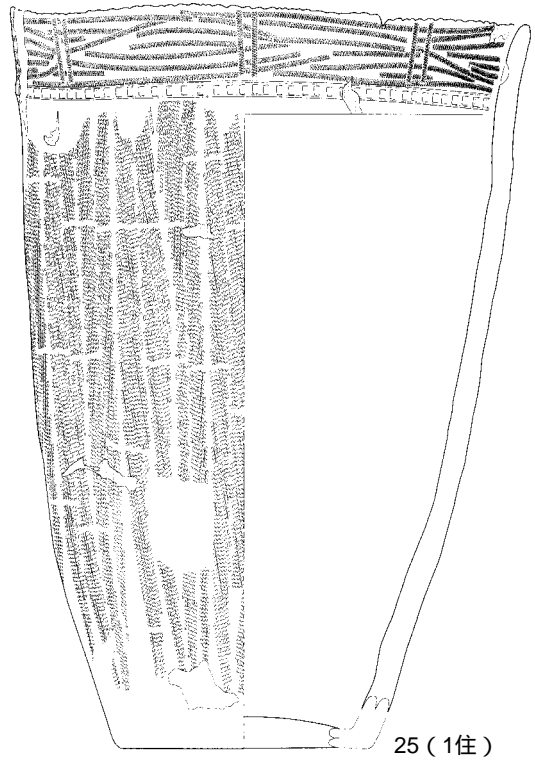
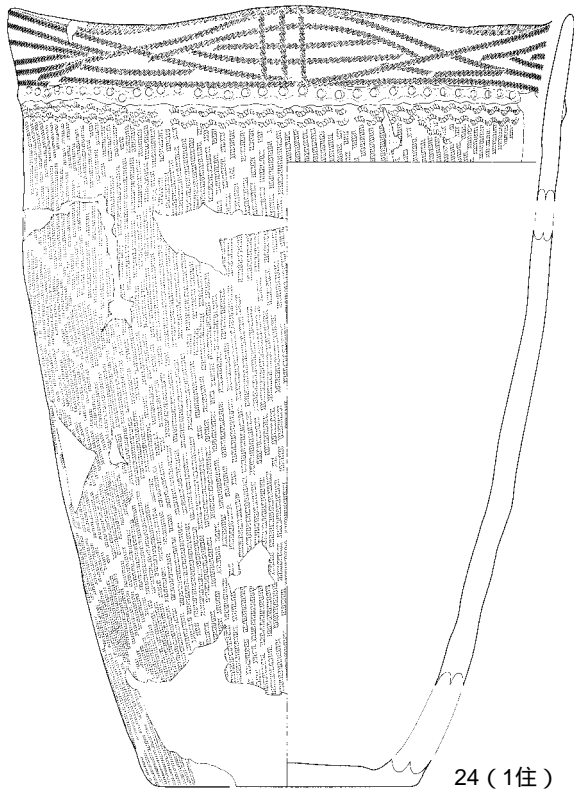
第21図 遺構内出土土器(竪穴式住居跡)(4)



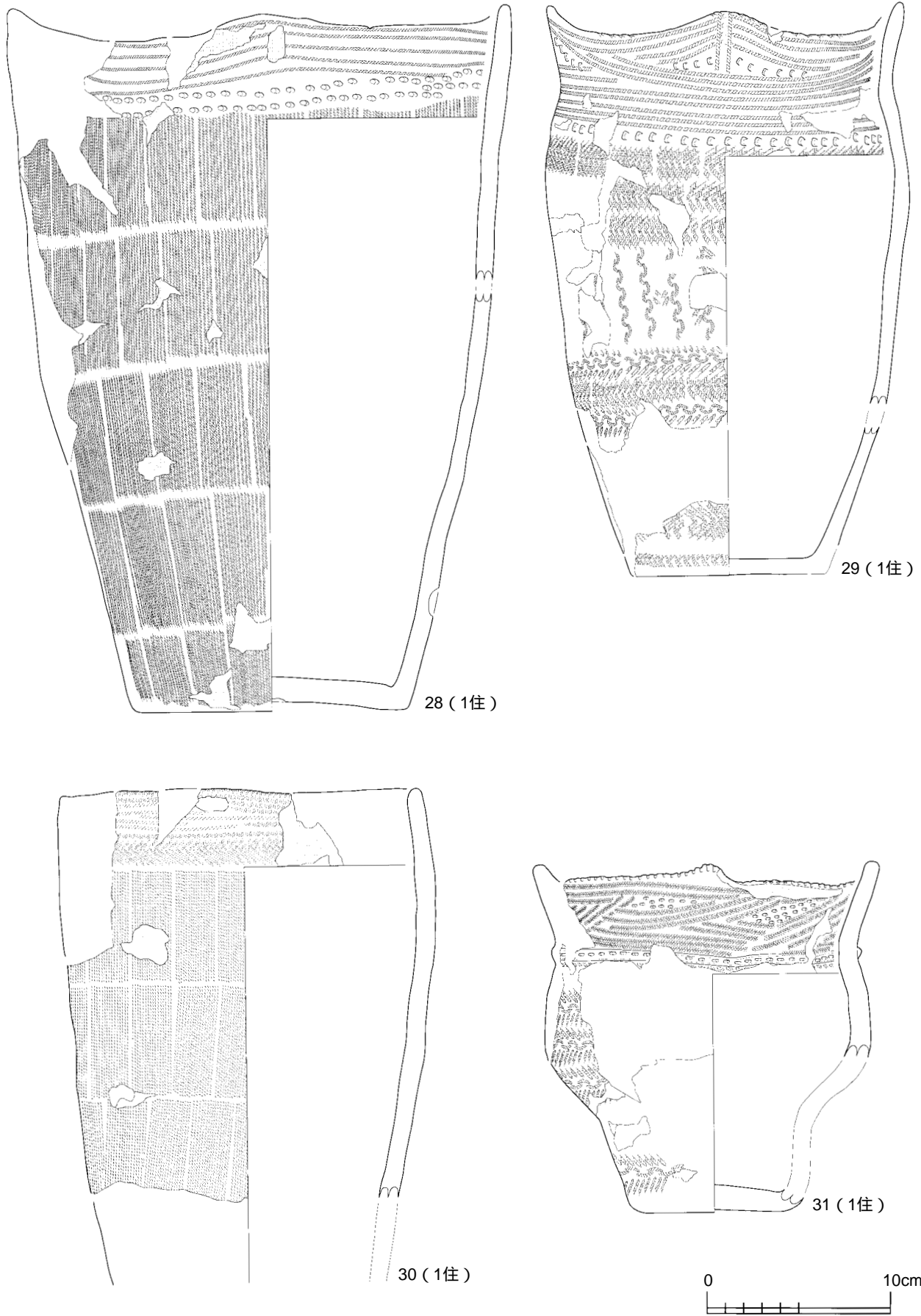
第22図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(5)



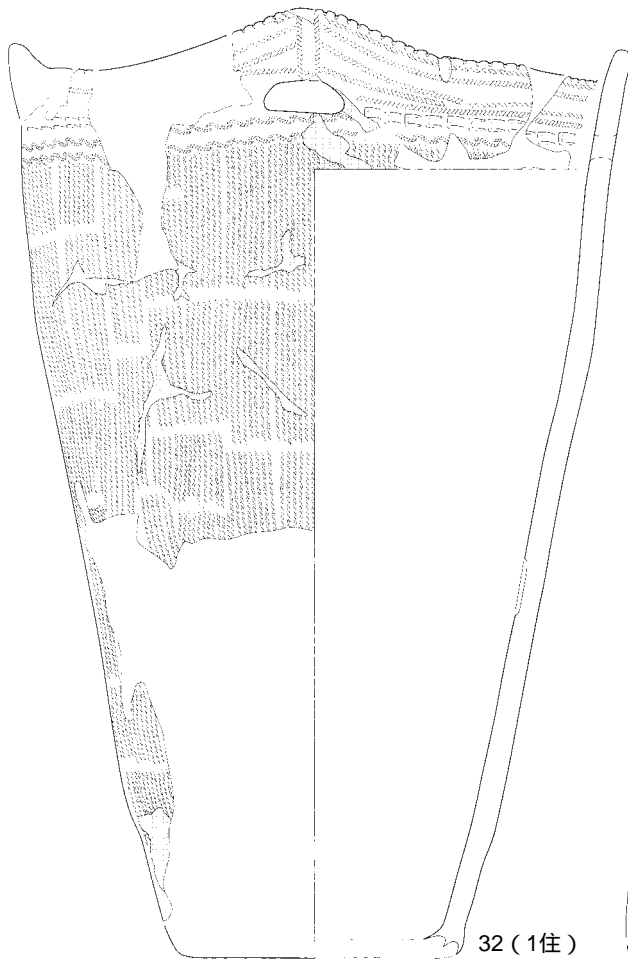
第23図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(6)



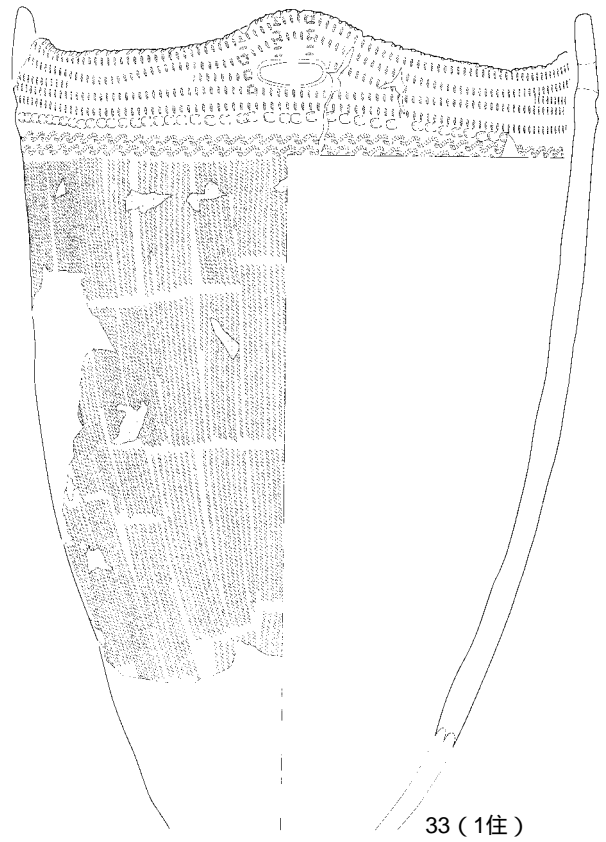
第24図 遺構内出土土器(竪穴式住居跡)(7)



第25図 遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )( 8 )



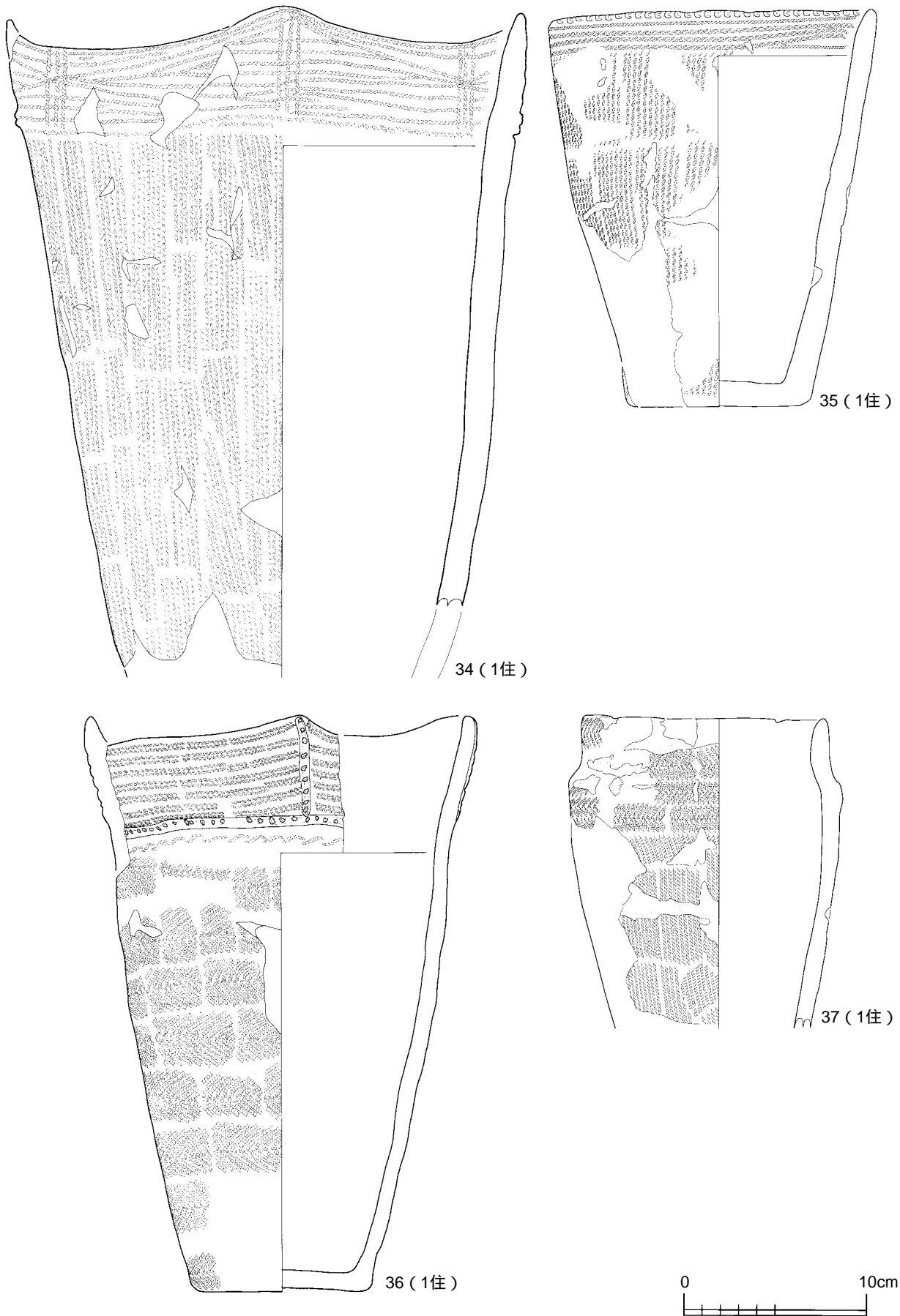
32 (1住)



33 (1住)

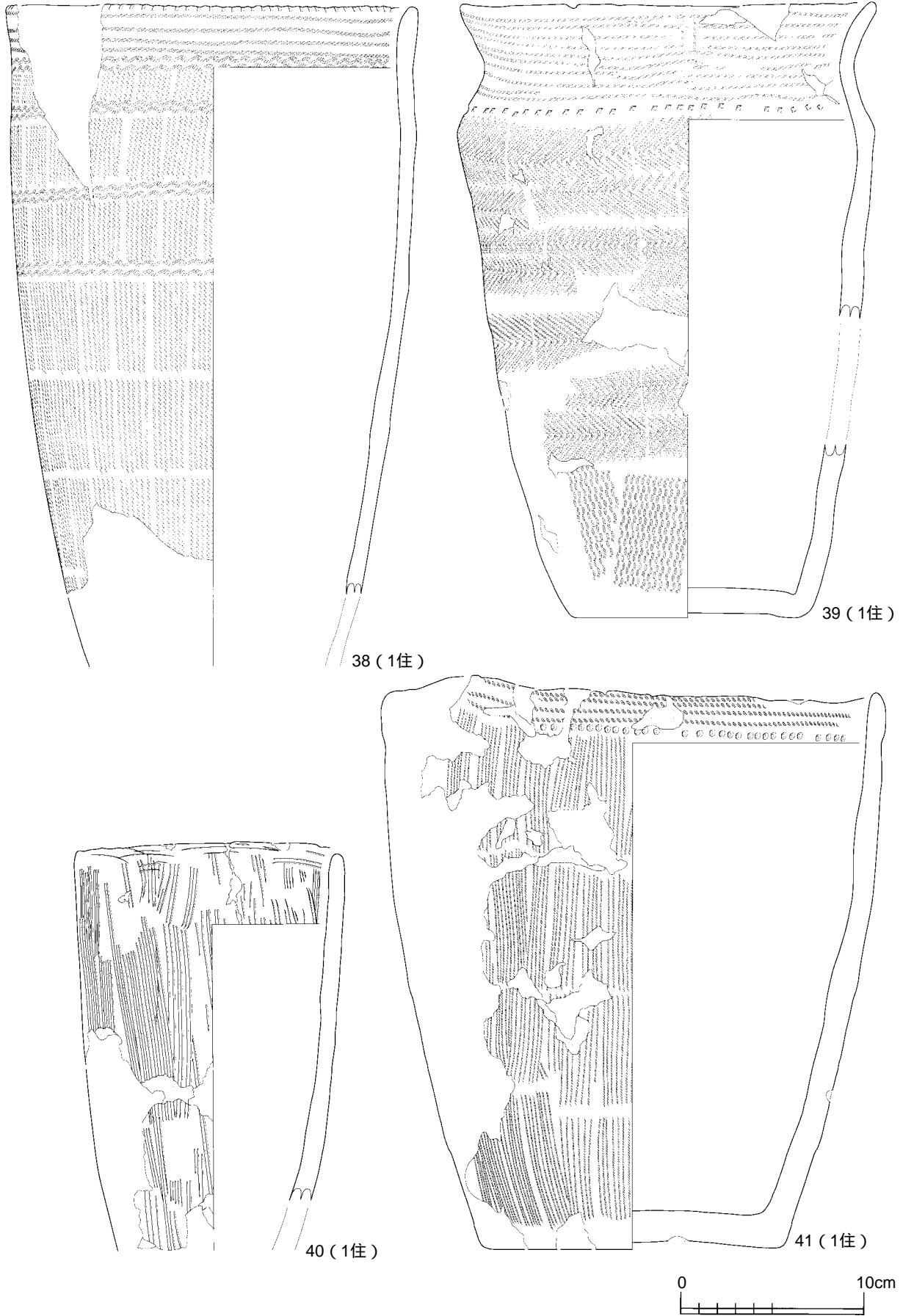


第26図 遺構内出土土器( 竪穴式住居跡 )( 9 )

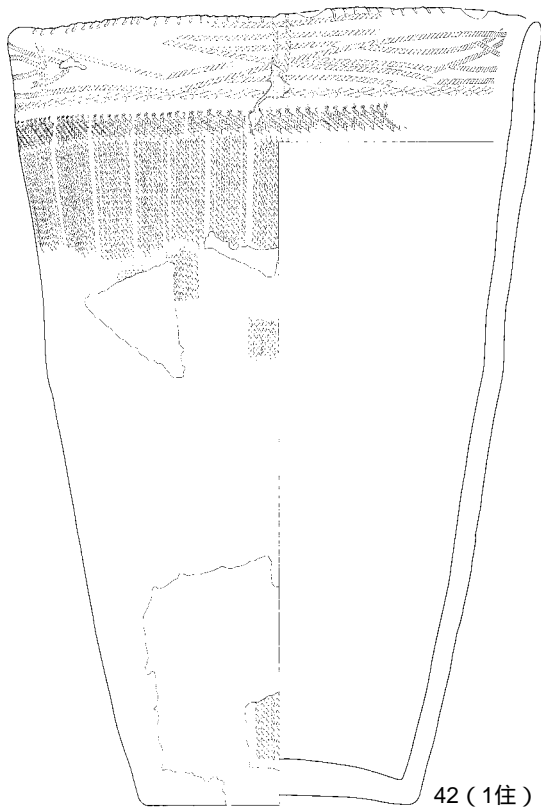


第27図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(10)

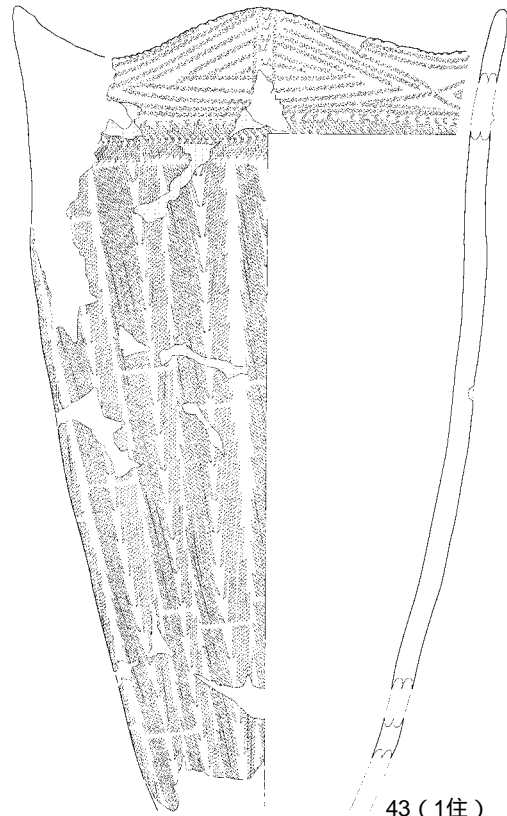




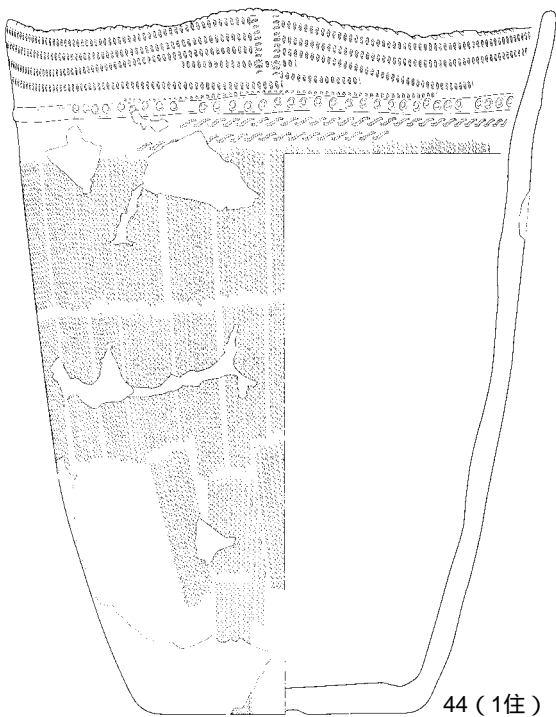
第28図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(11)



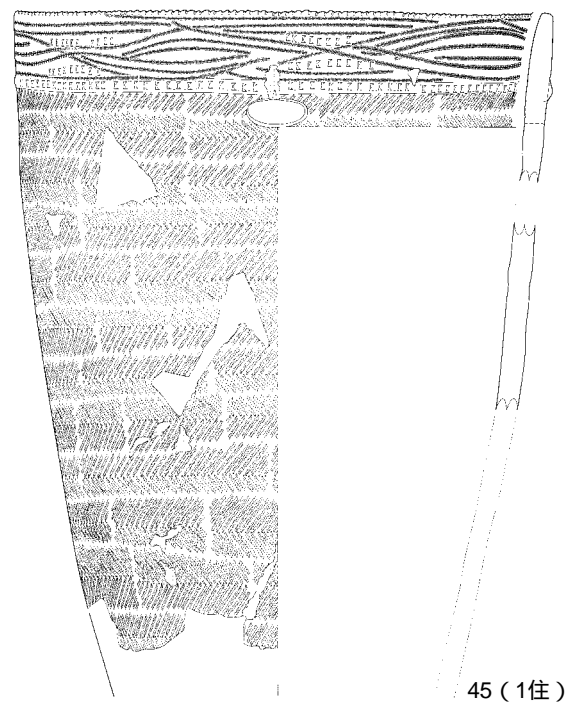
42 (1住)



43 (1住)



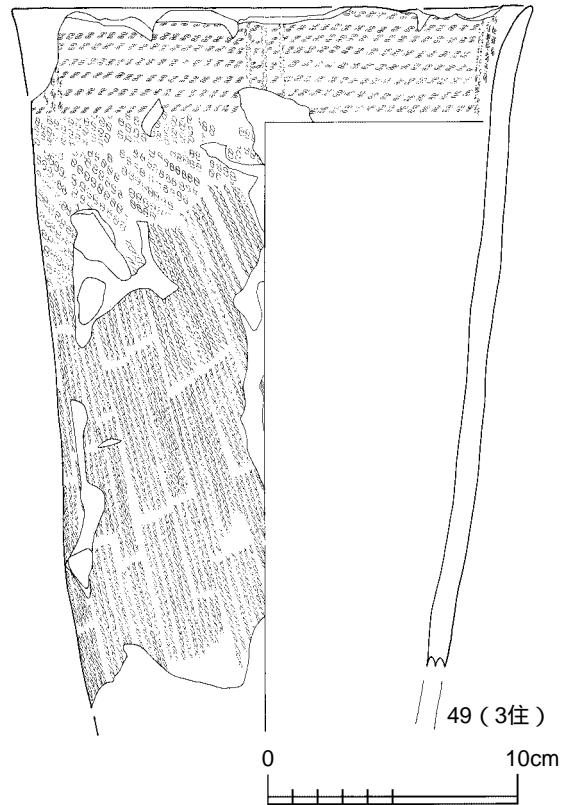
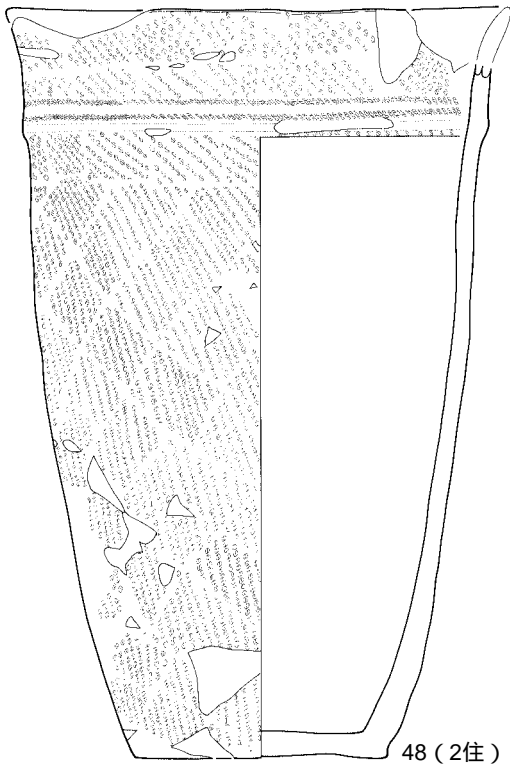
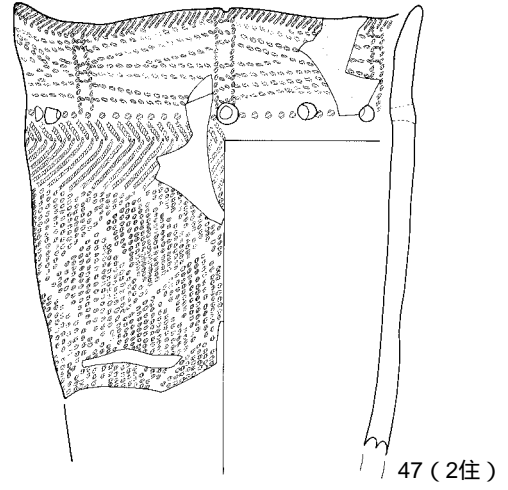
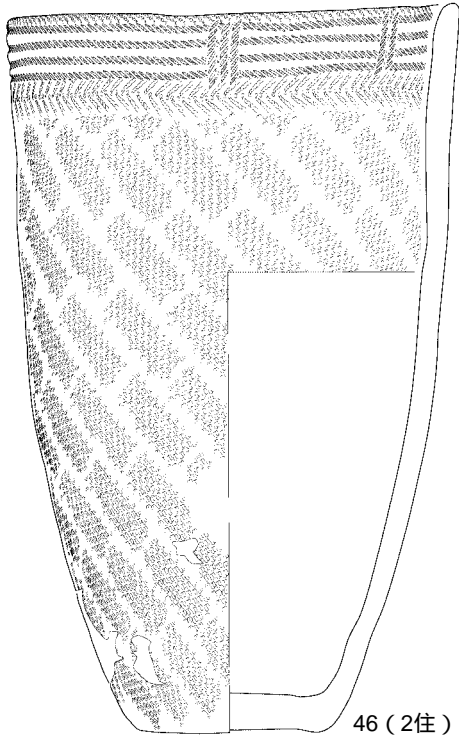
44 (1住)



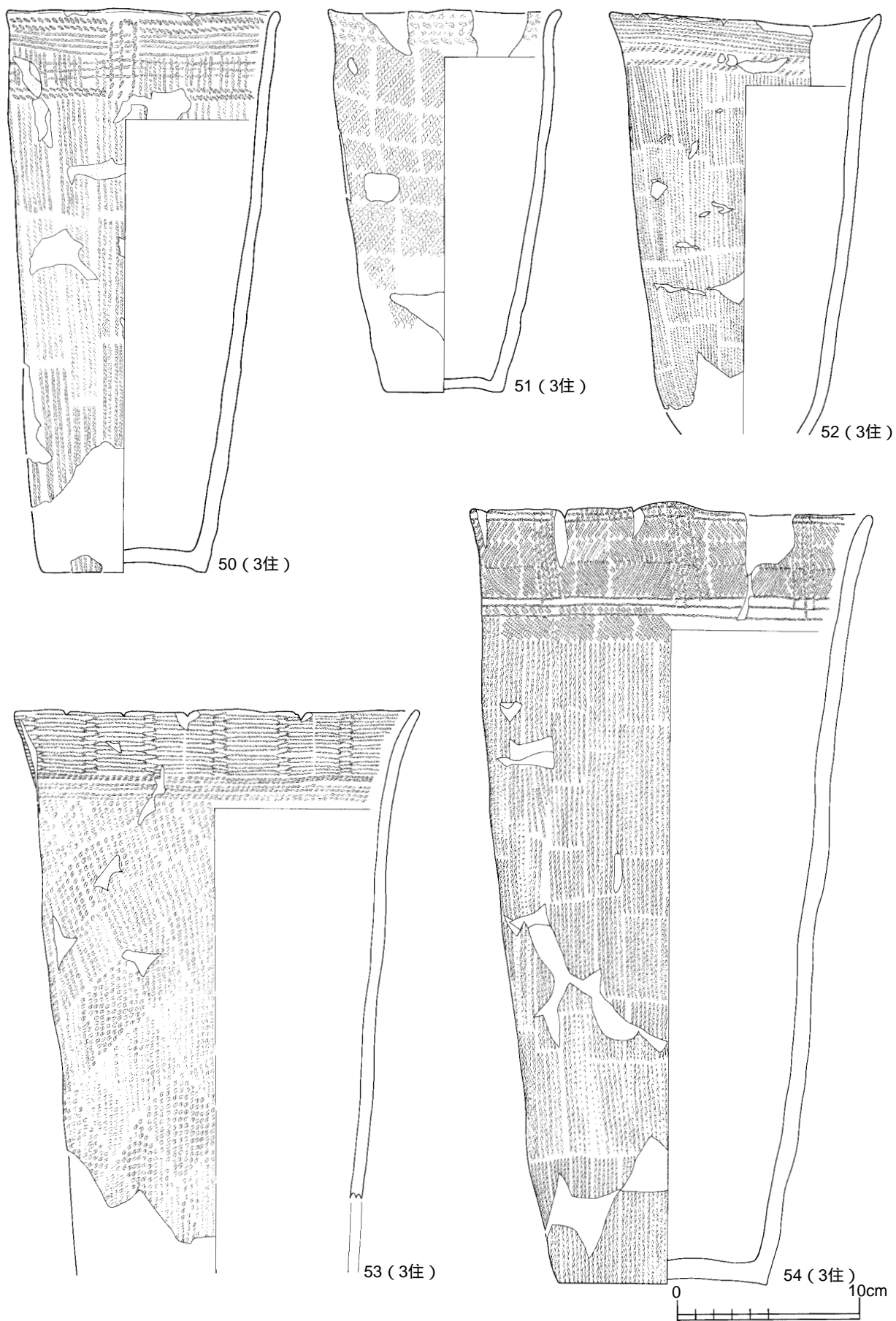
45 (1住)



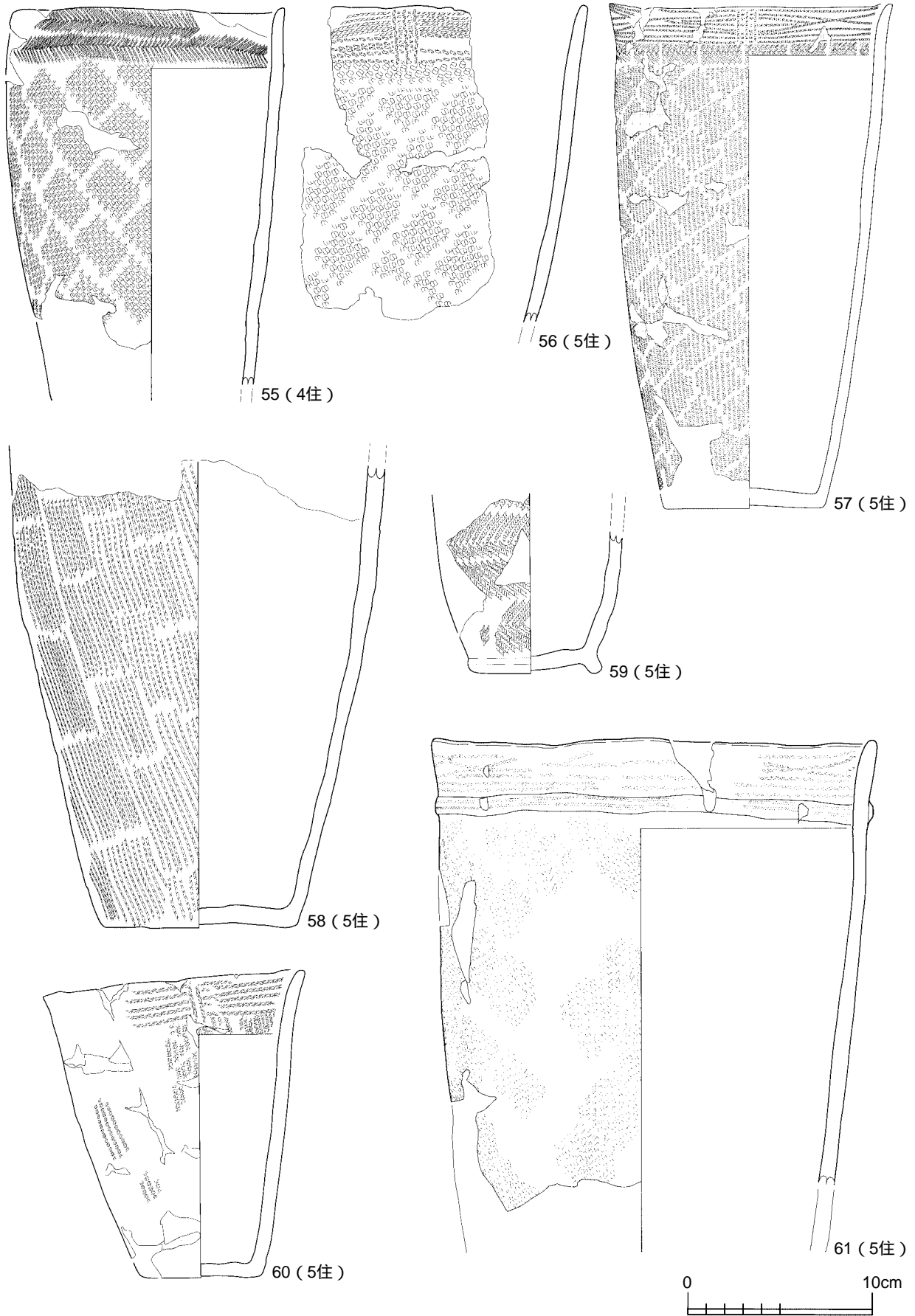
第29図 遺構内出土土器 (竪穴式住居跡) (12)



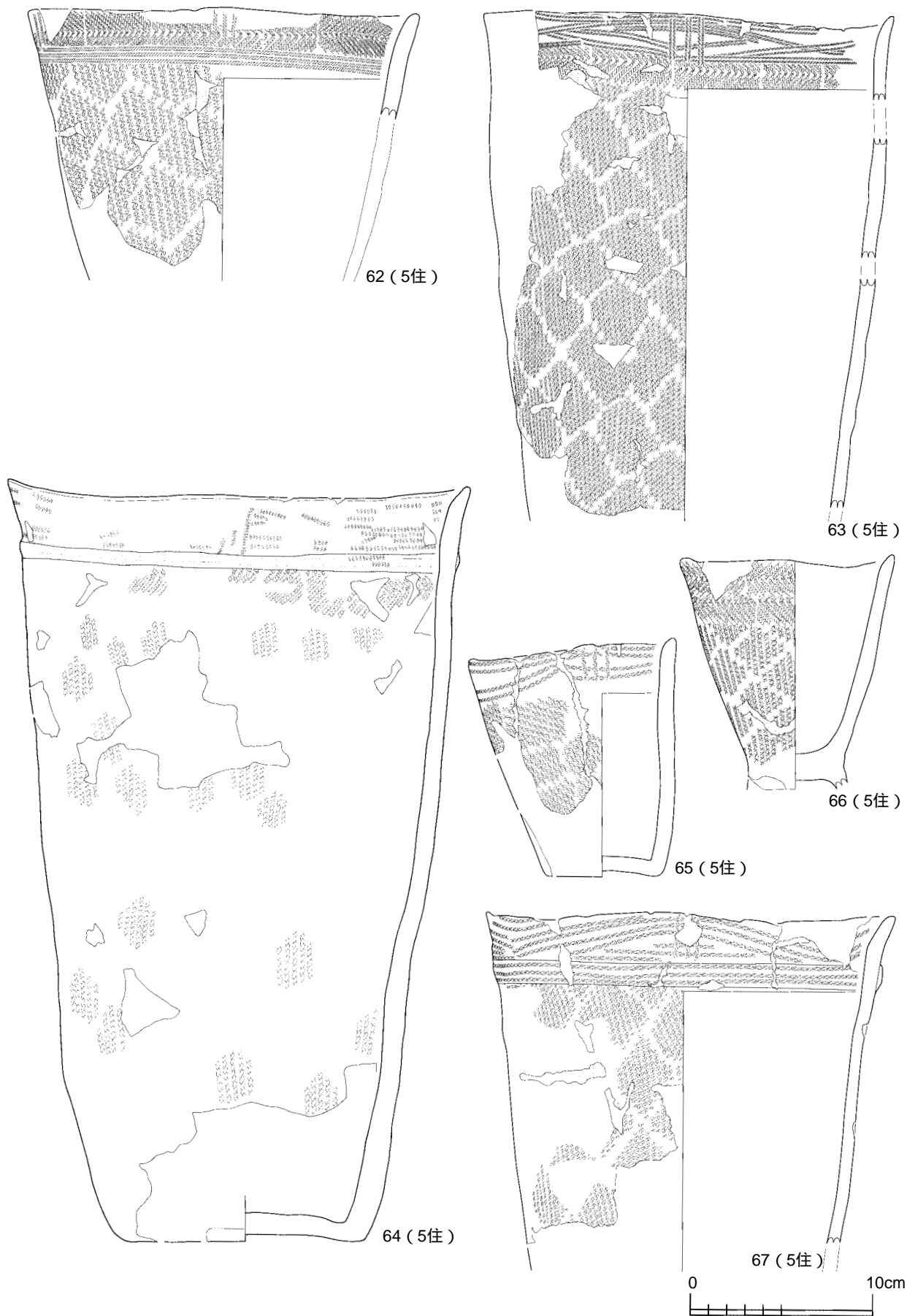
第30図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(13)



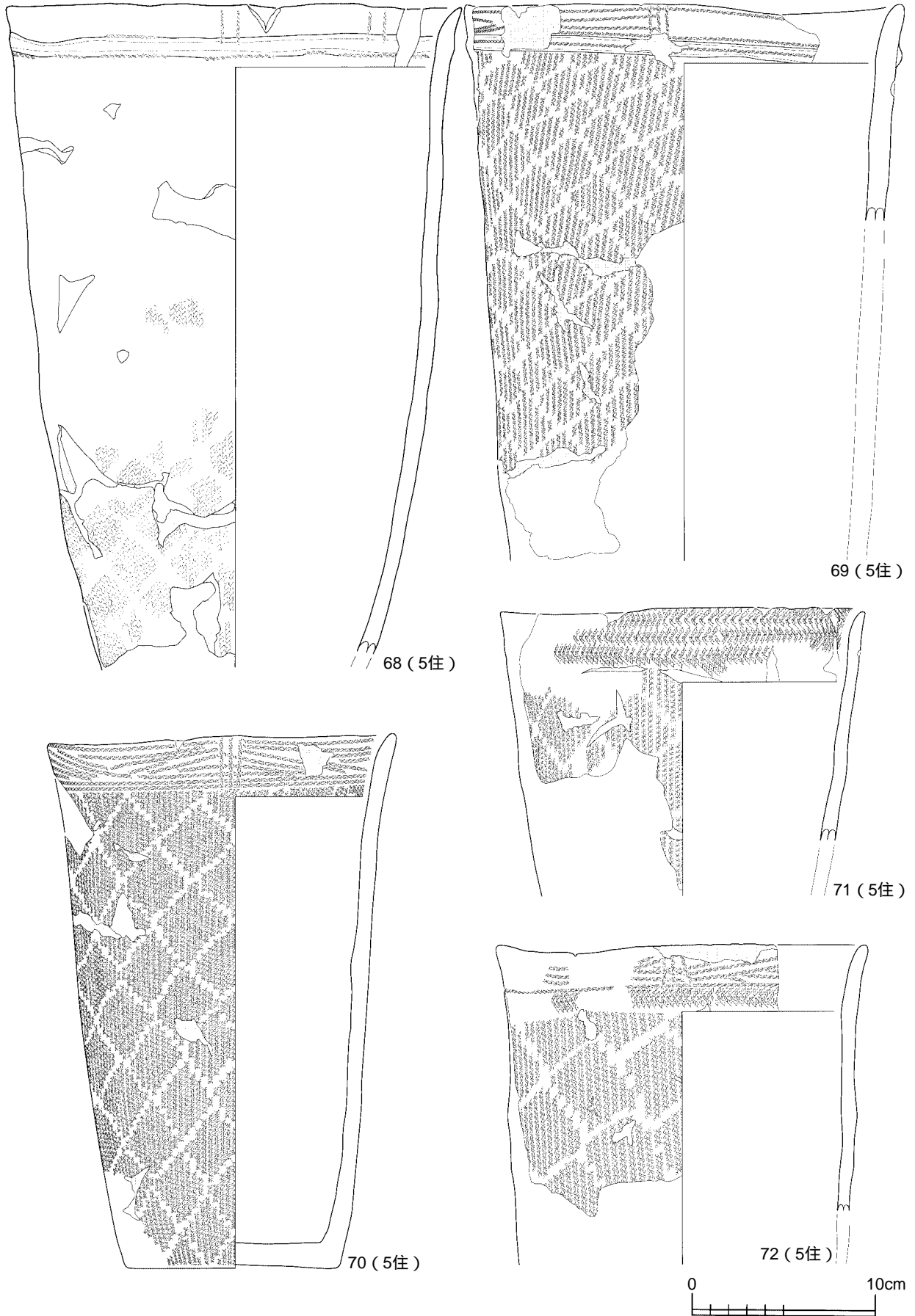
第31図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(14)



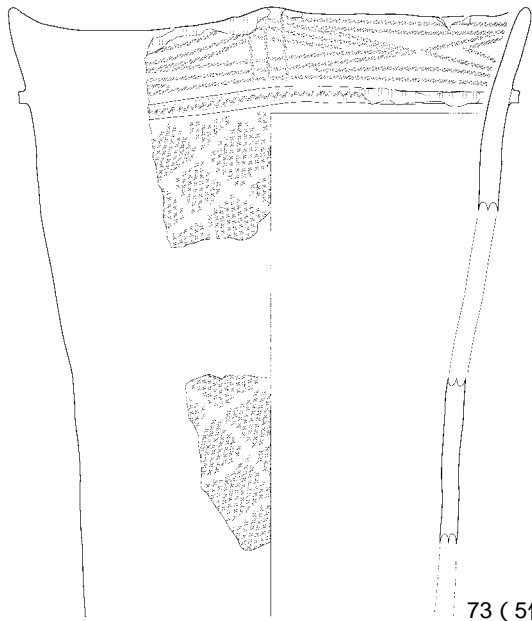
第32図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(15)



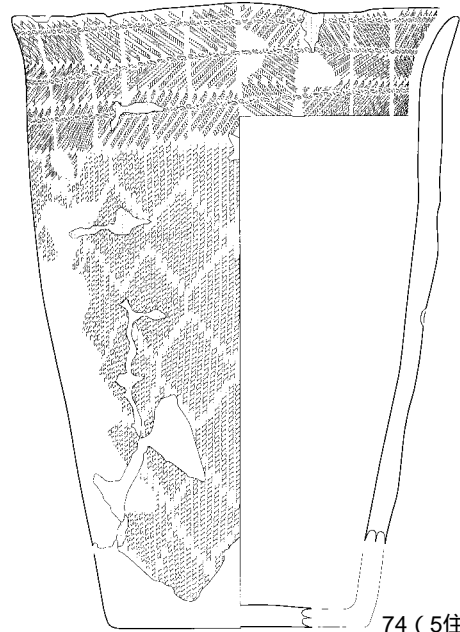
第33図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(16)



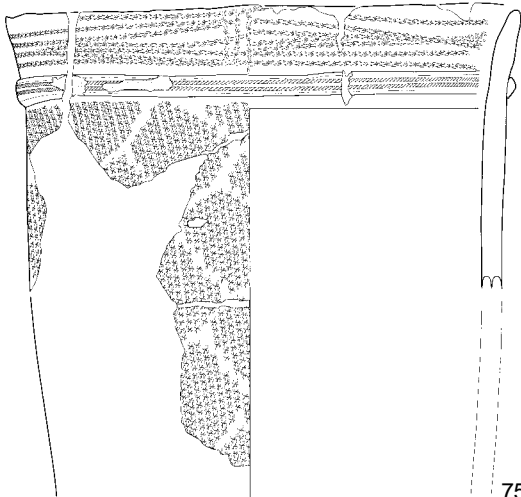
第34図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(17)



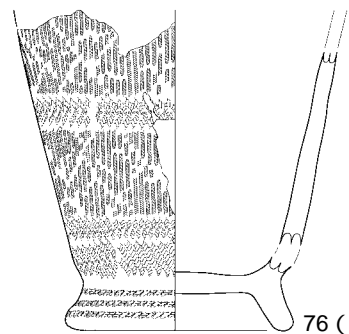
73 (5住)



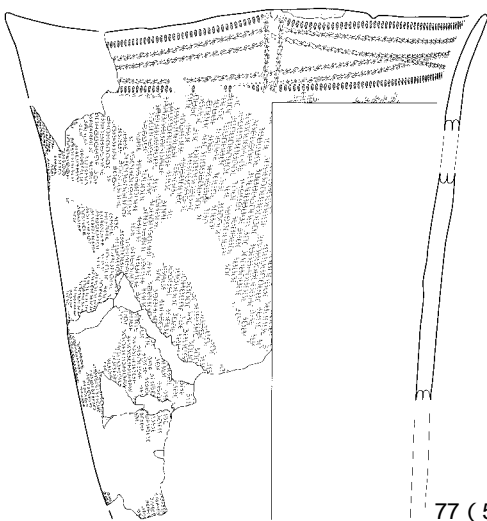
74 (5住)



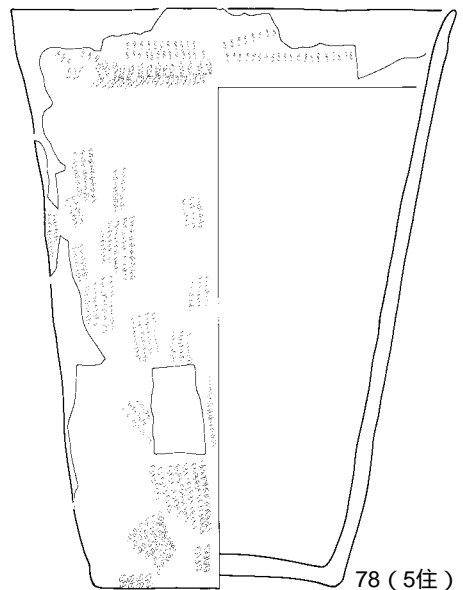
75 (5住)



76 (5住)



77 (5住)

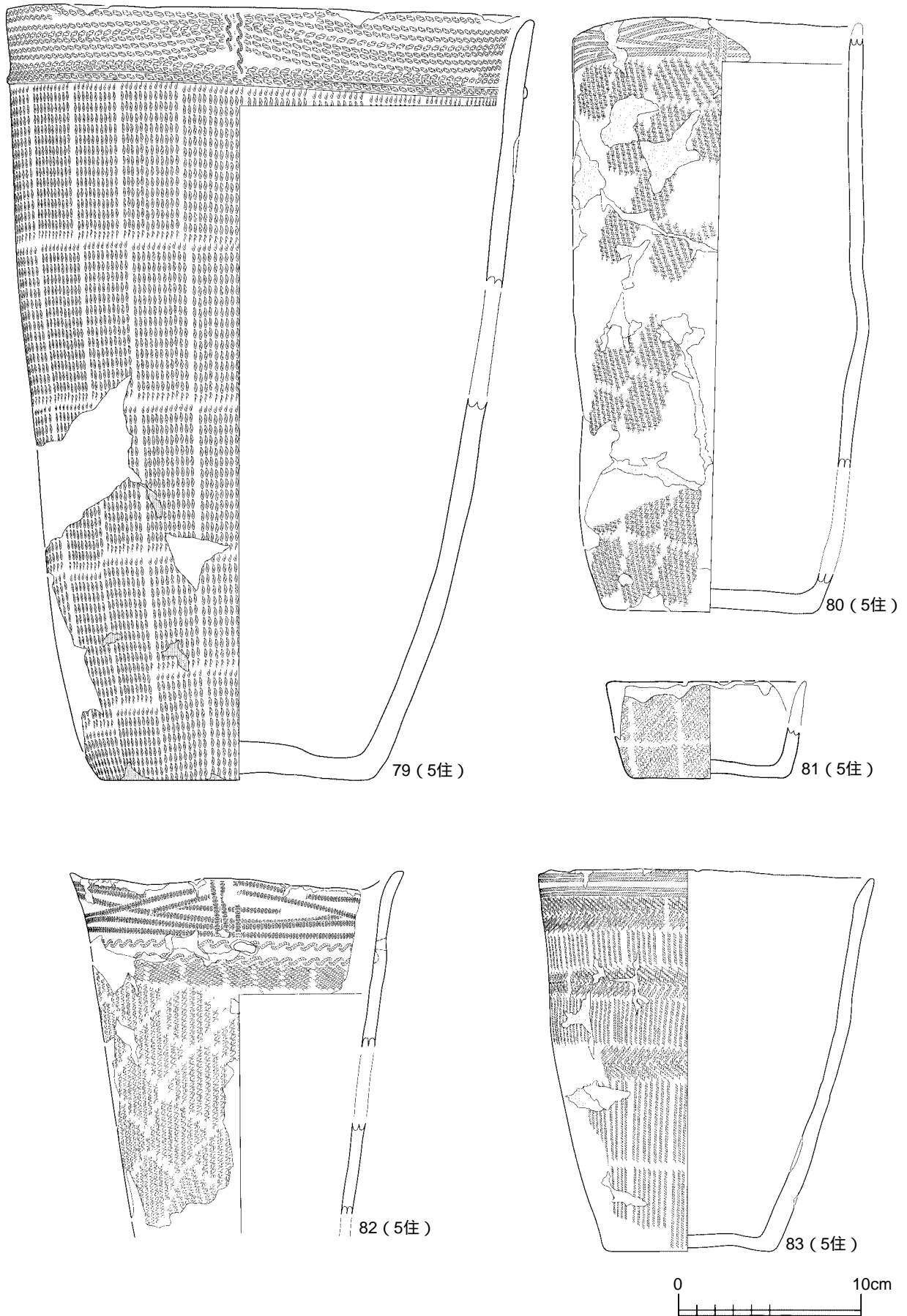


78 (5住)

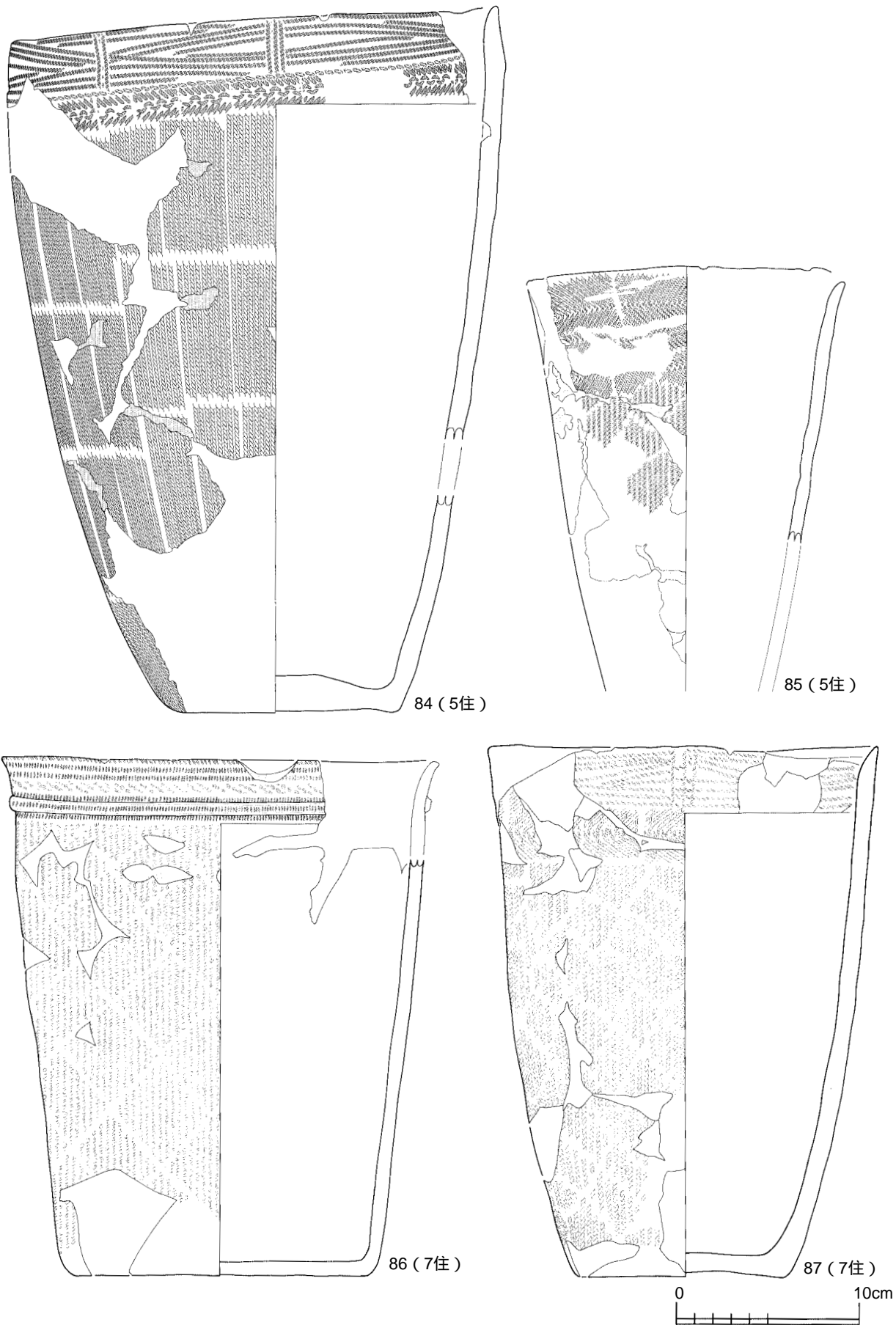


第35図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(18)

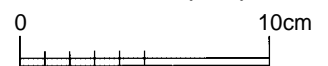
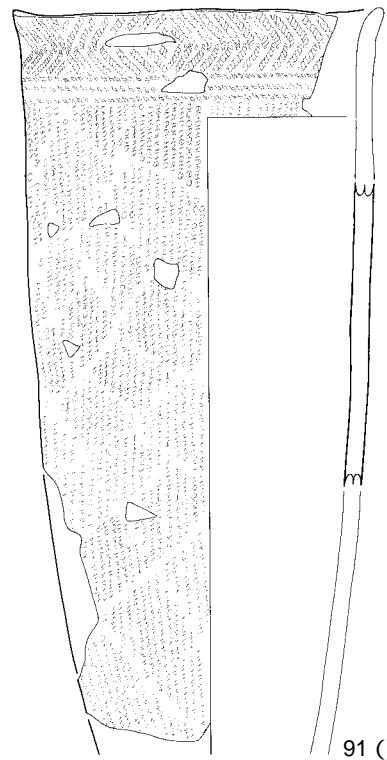
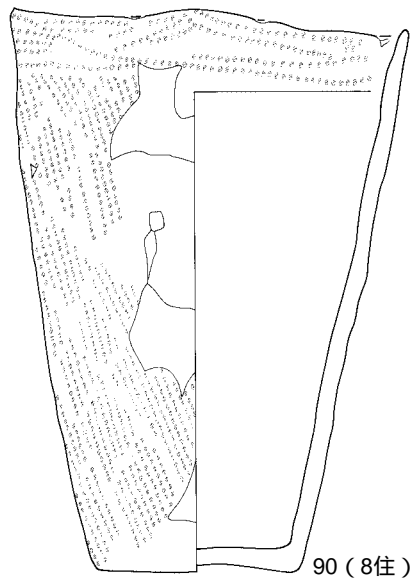
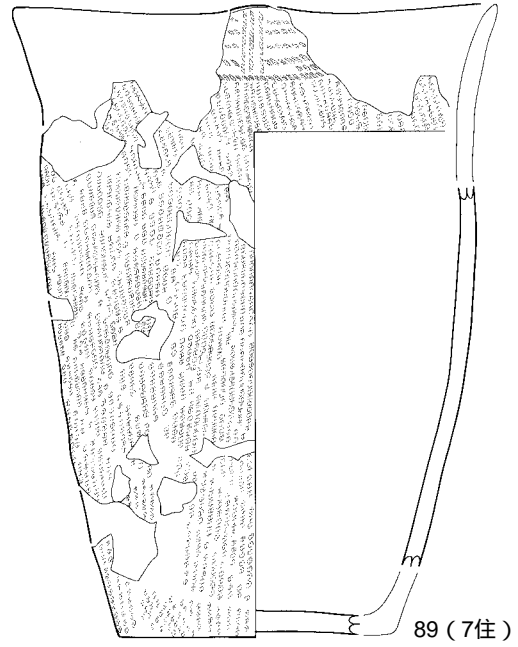
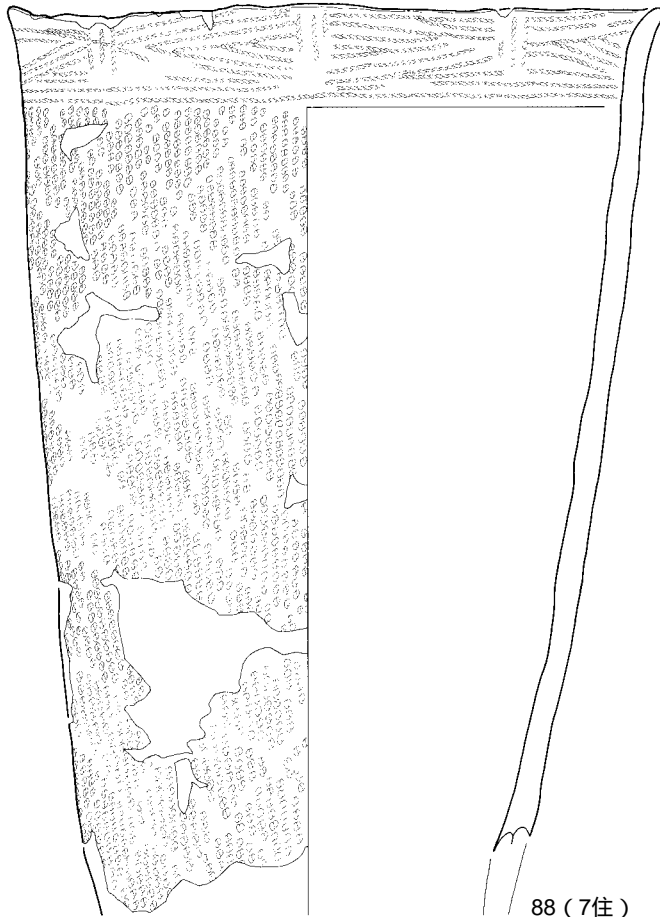




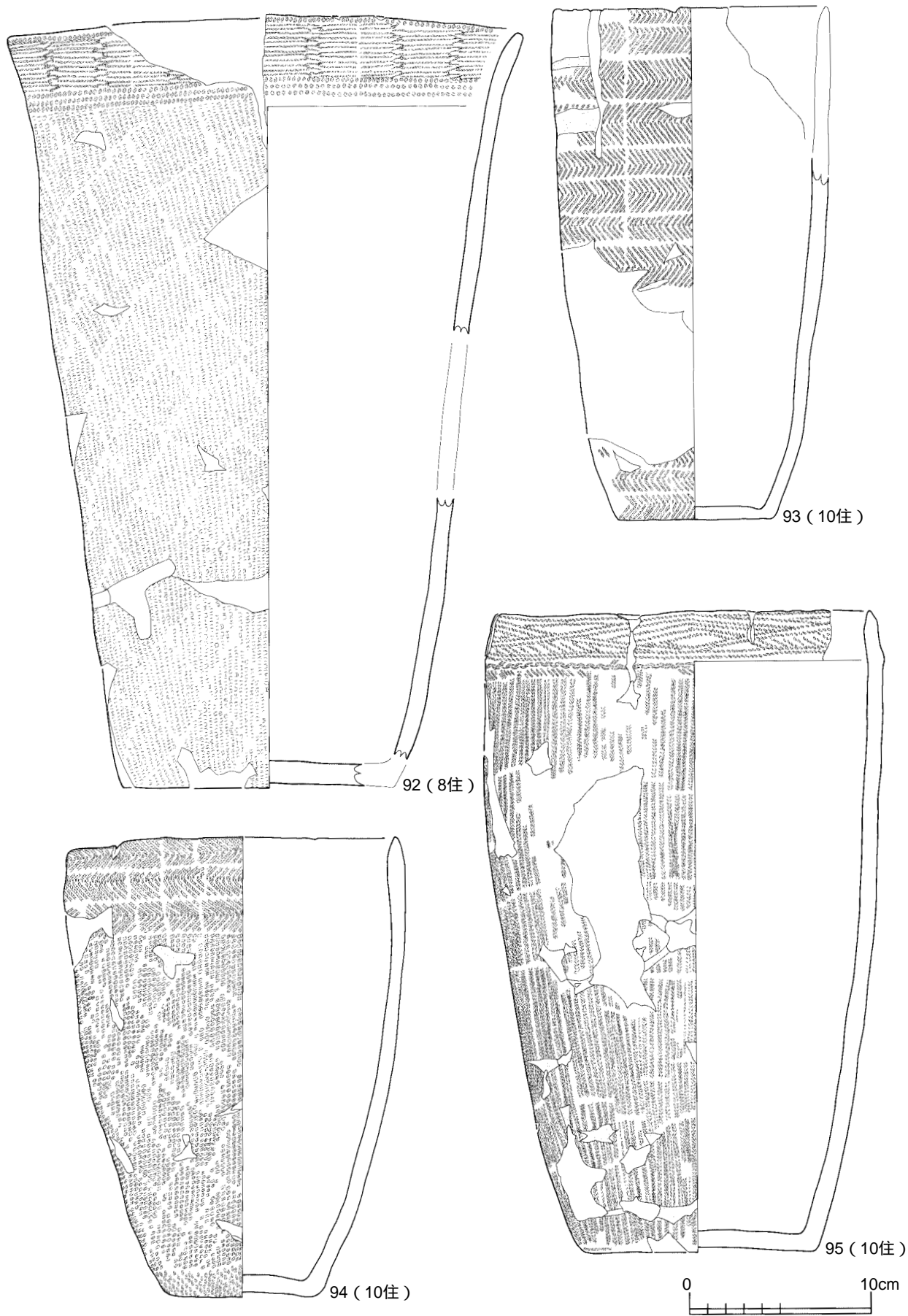
第36図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(19)



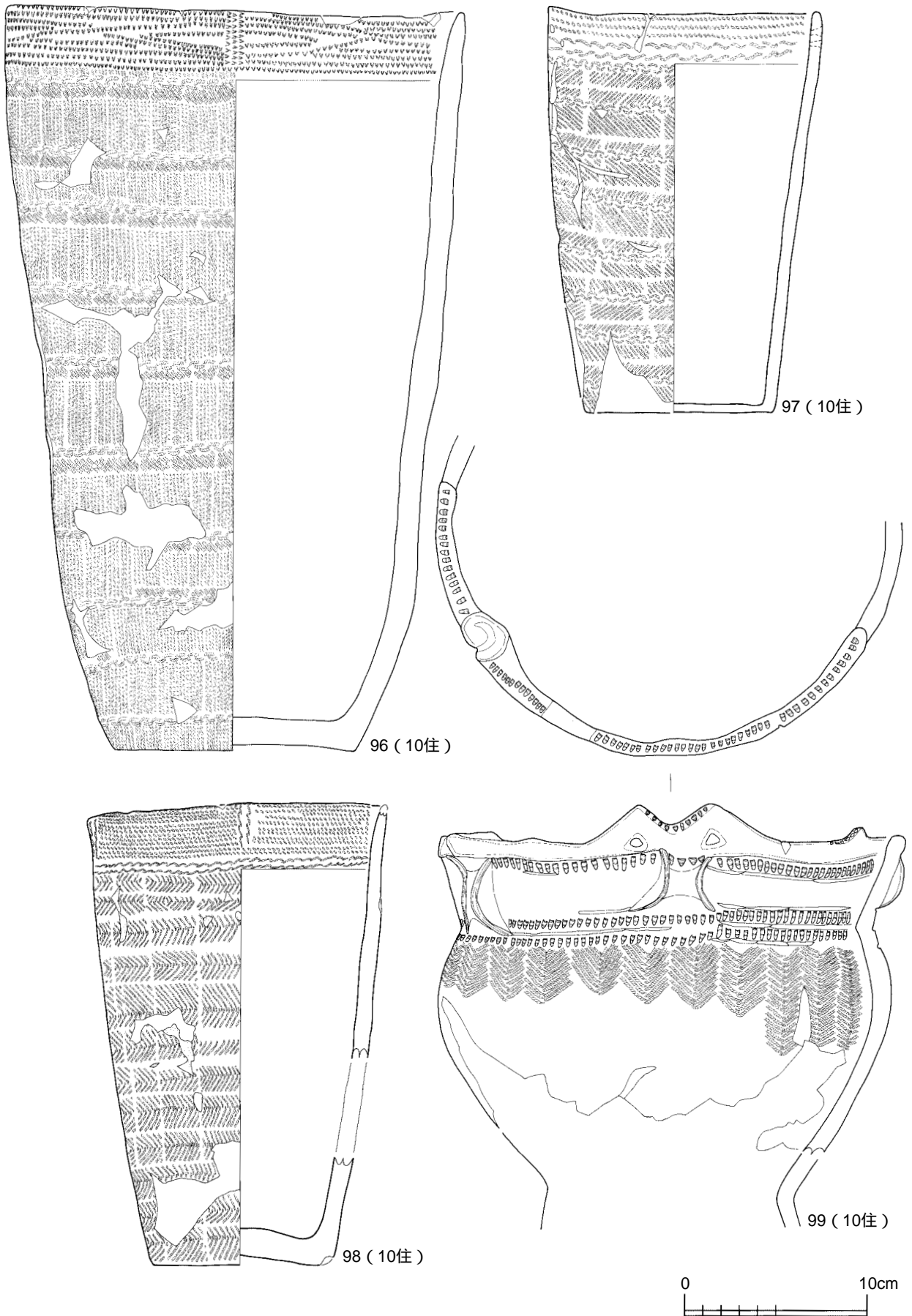
第37図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(20)



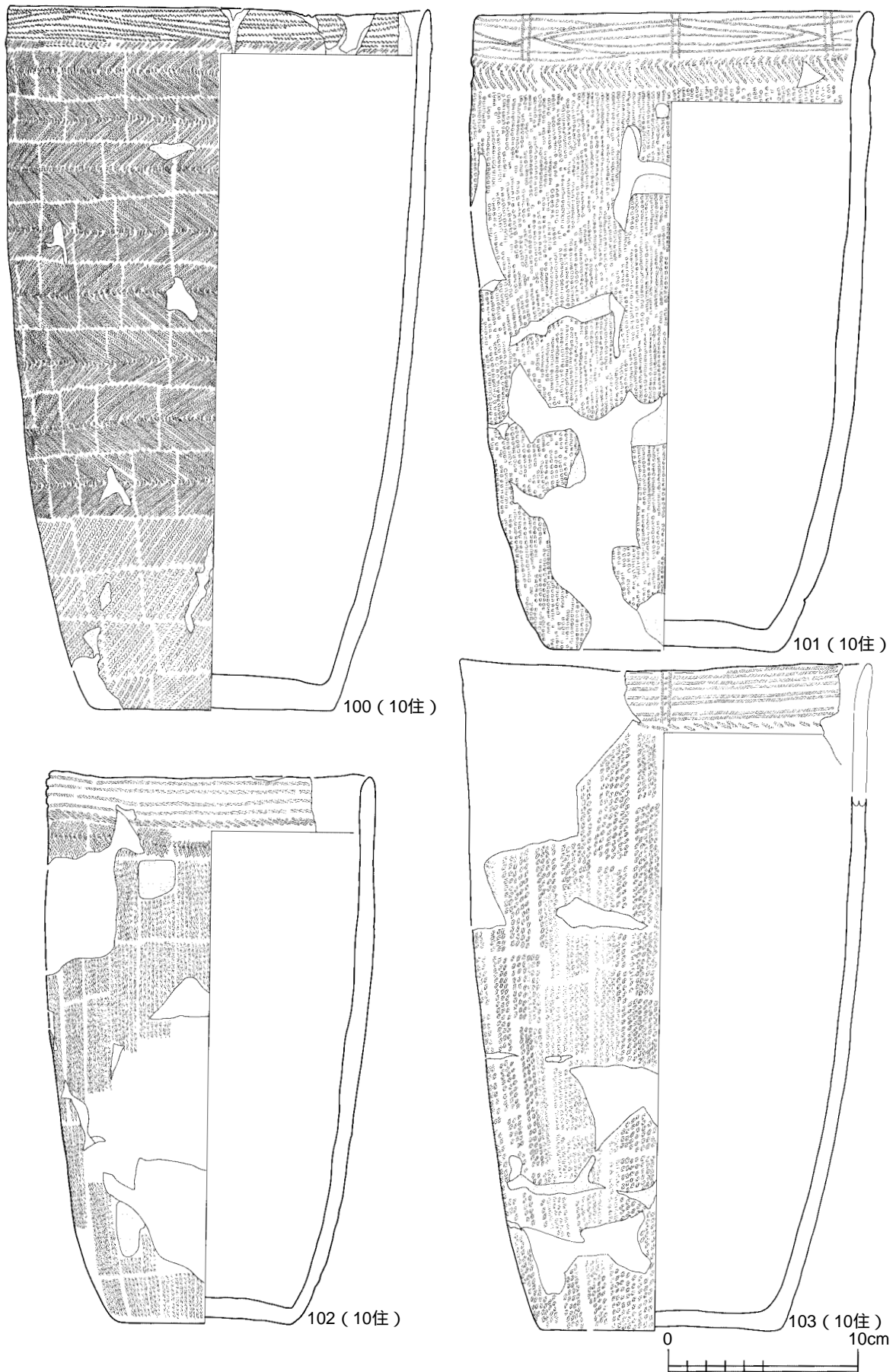
第38図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(21)



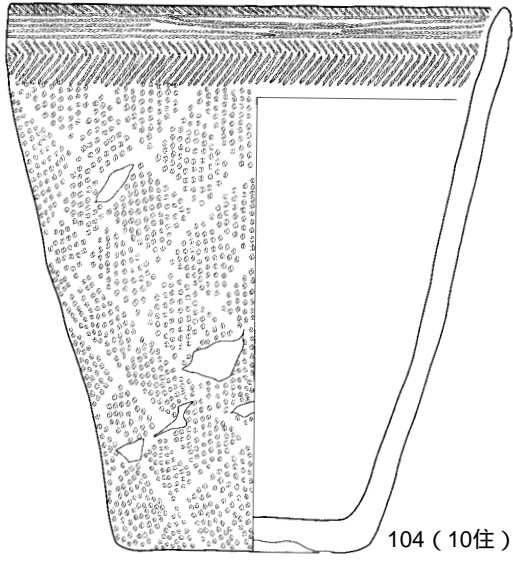
第39図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(22)



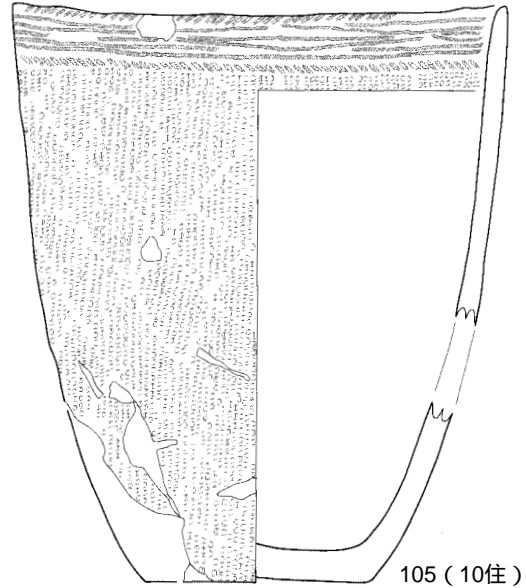
第40図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(23)



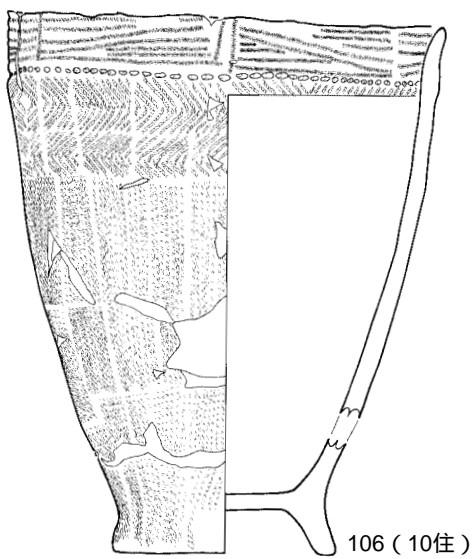
第41図 遺構内出土土器 (竪穴式住居跡) (24)



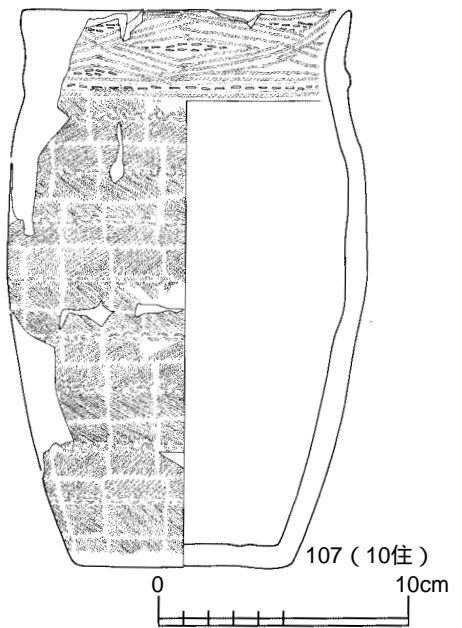
104 (10住)



105 (10住)

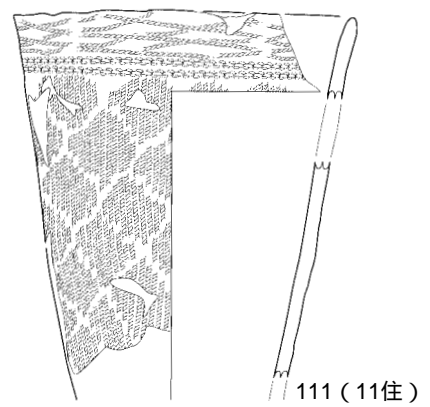
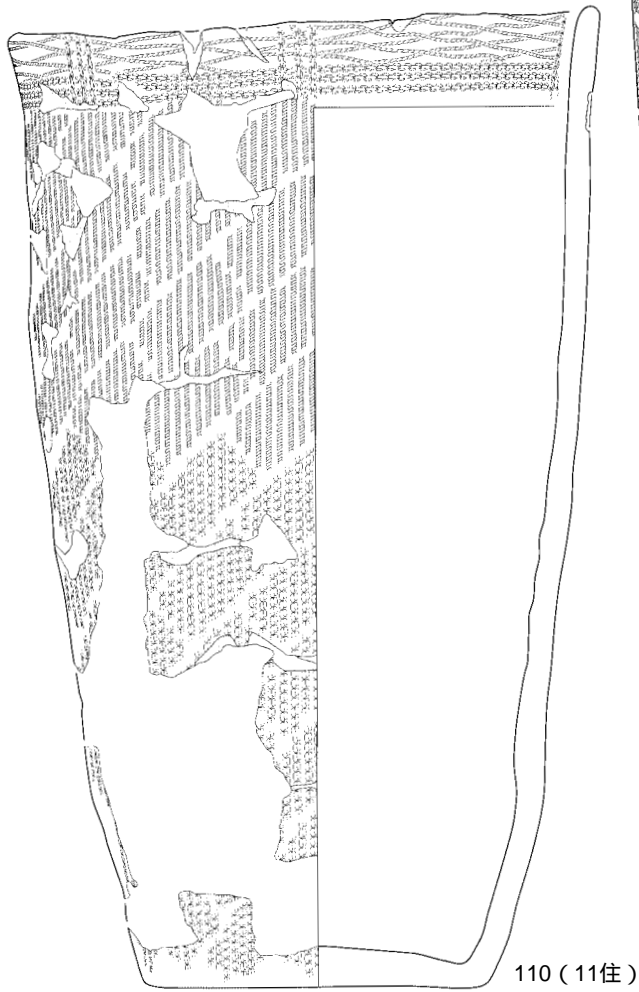
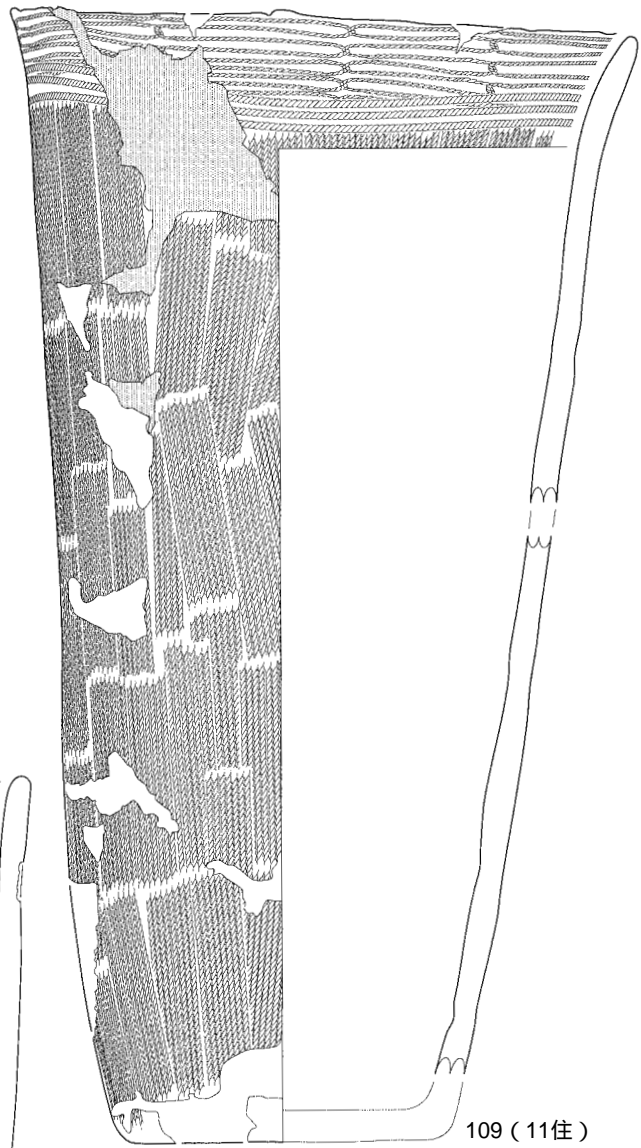
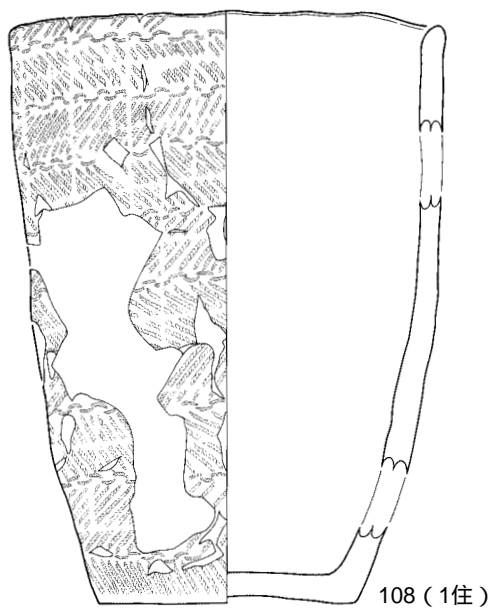


106 (10住)



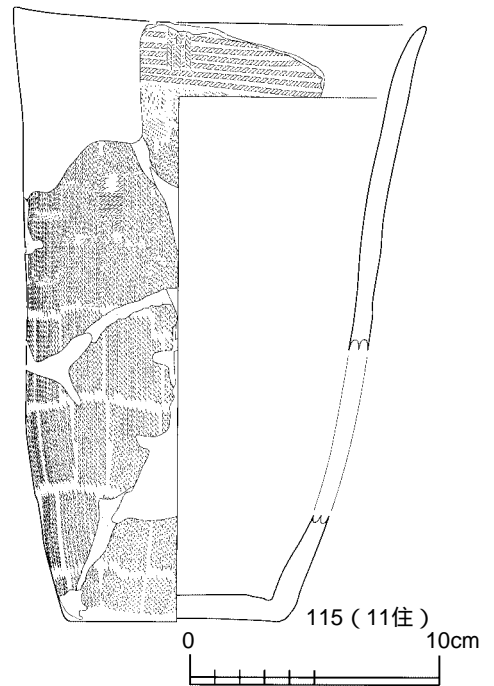
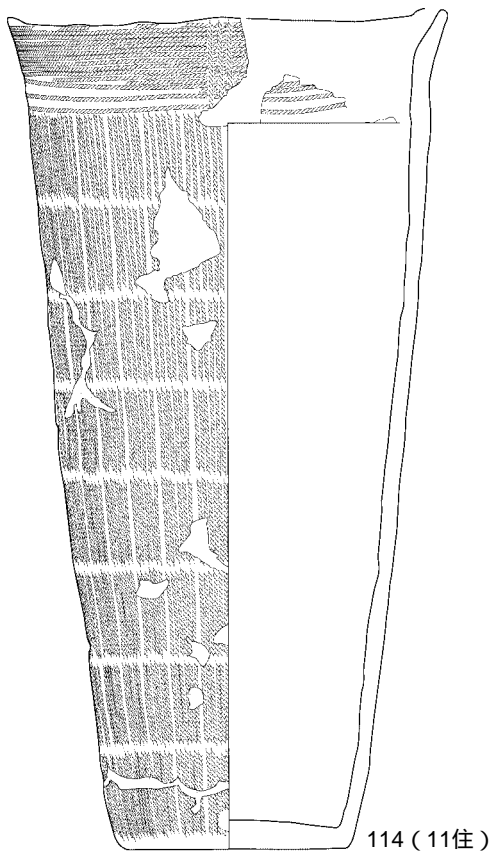
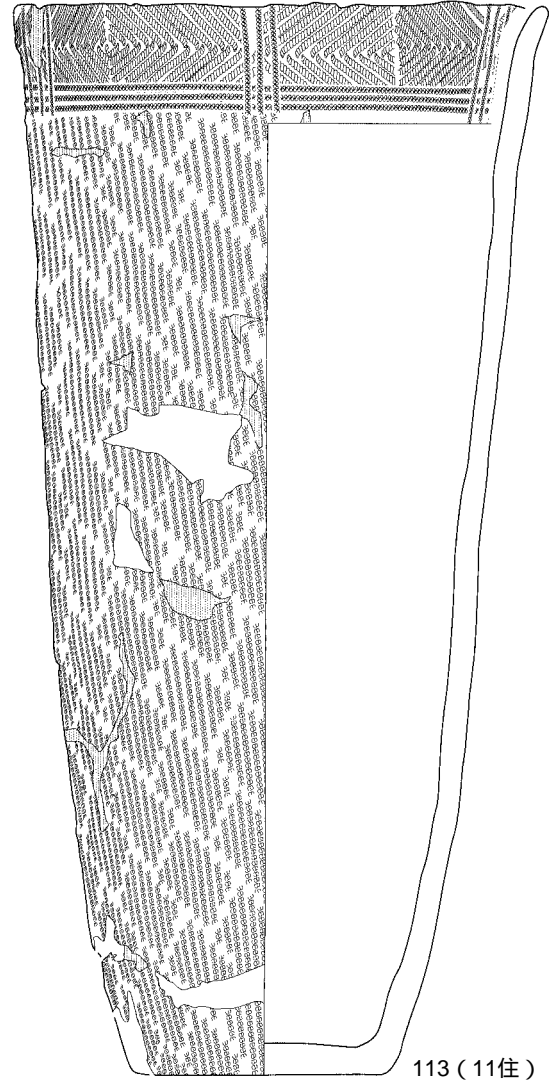
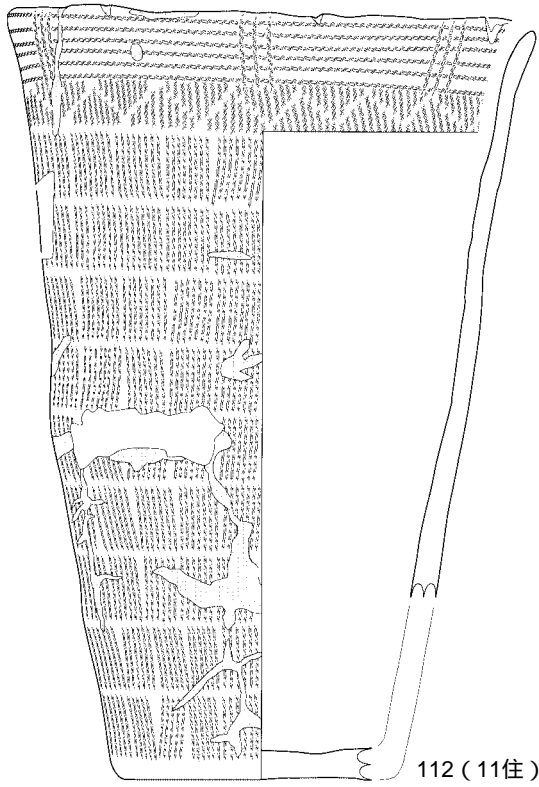
107 (10住)

第42図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(25)

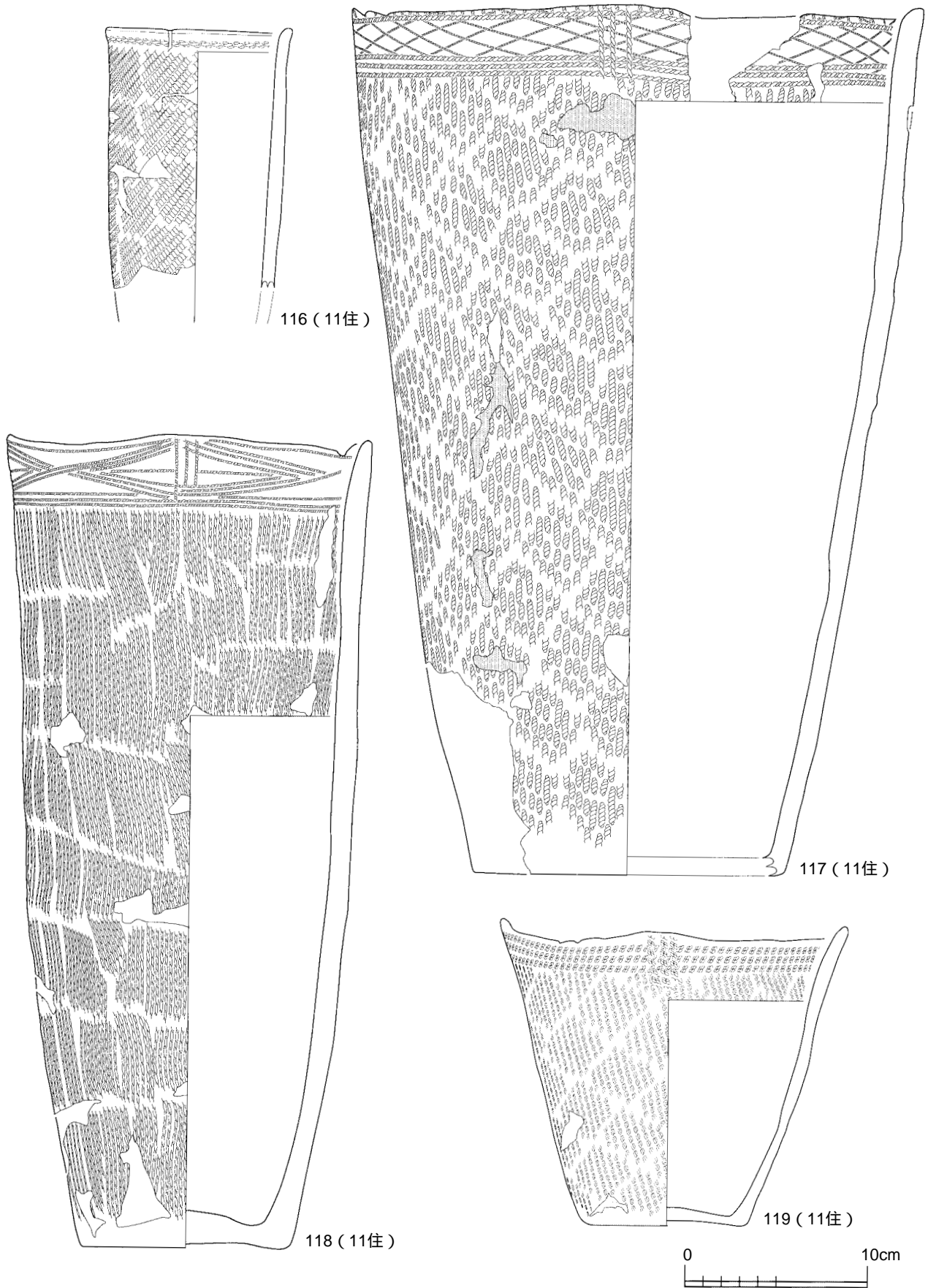


第43図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(26)

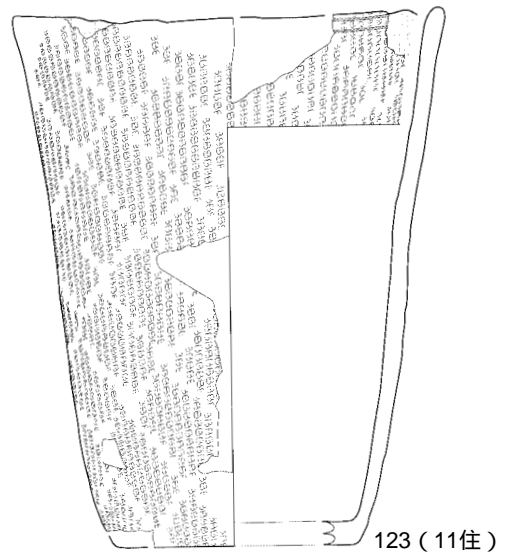
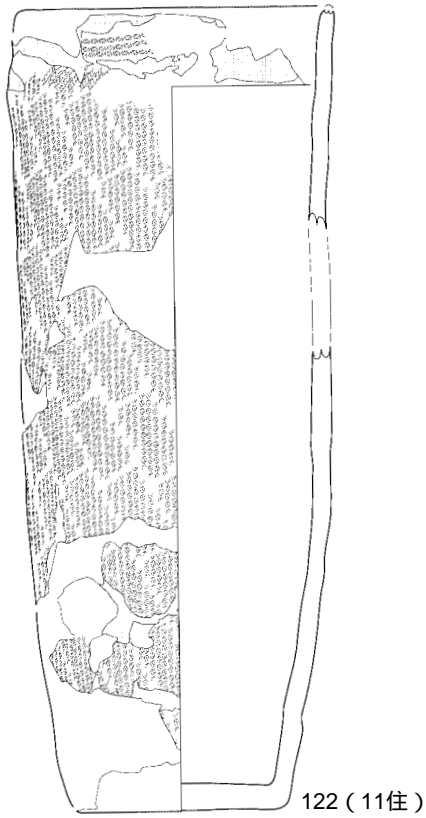
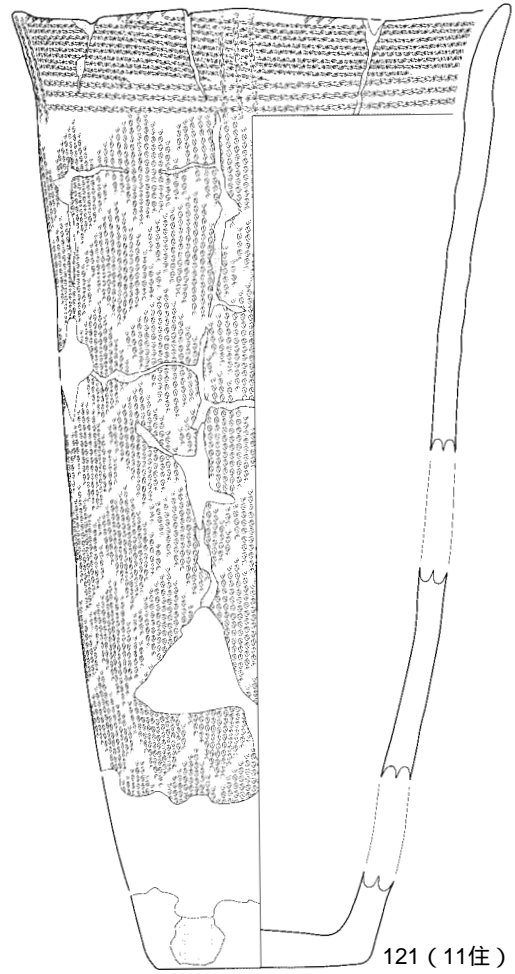
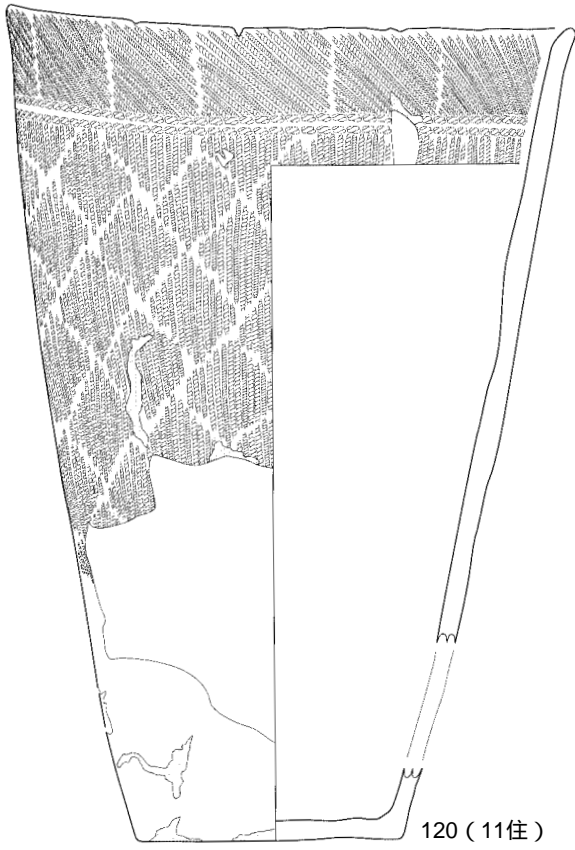




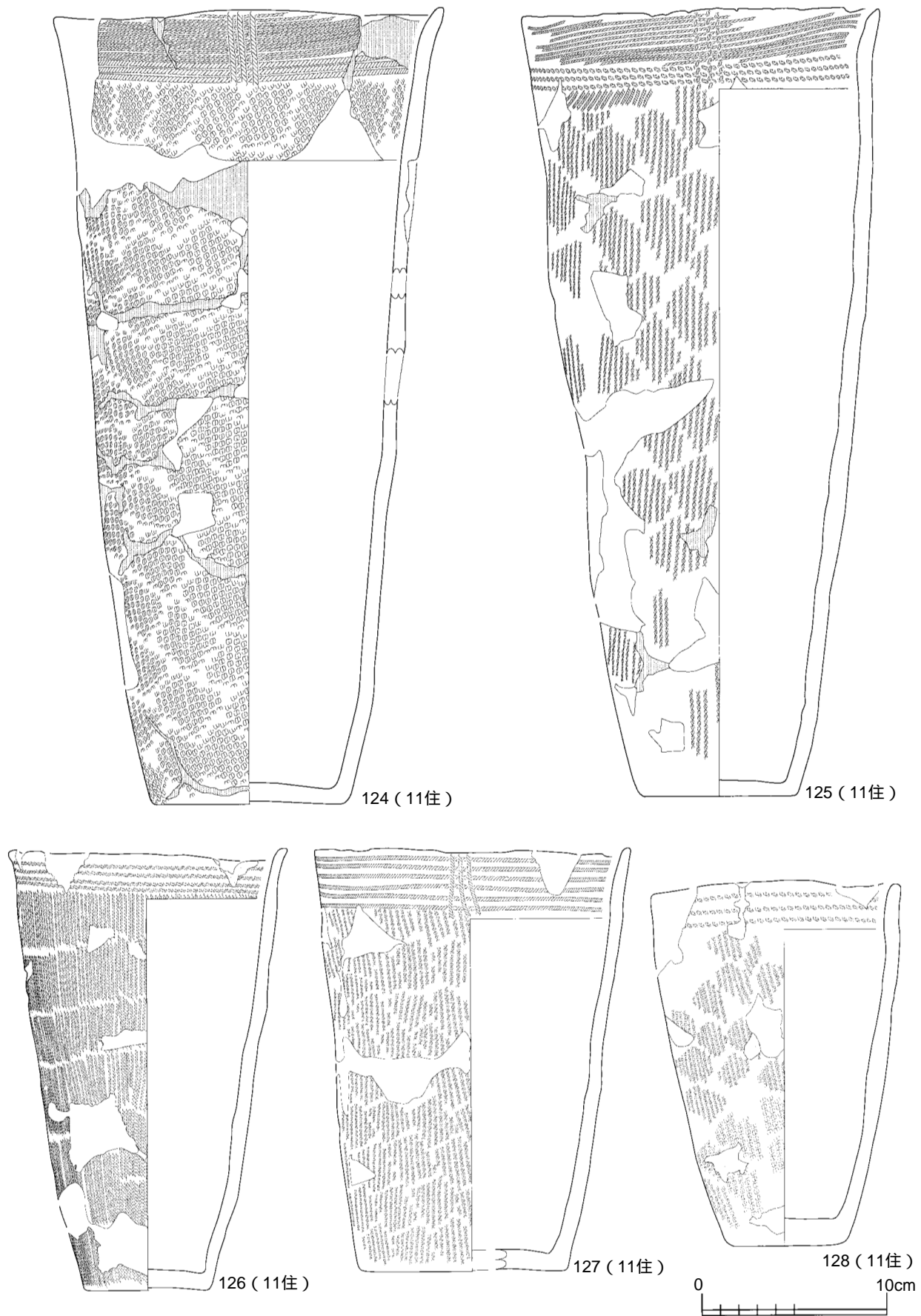
第44図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(27)



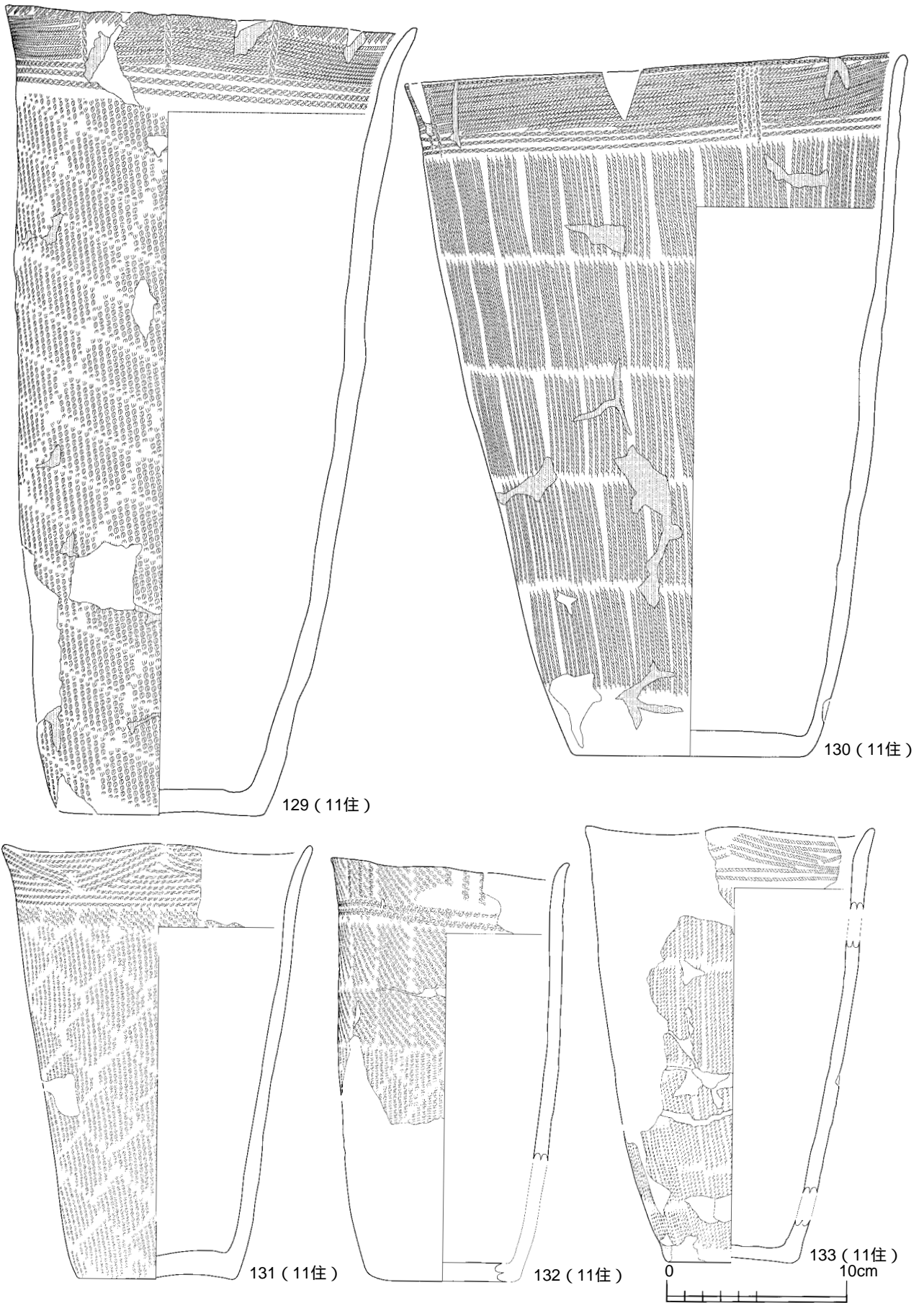
第45図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(28)



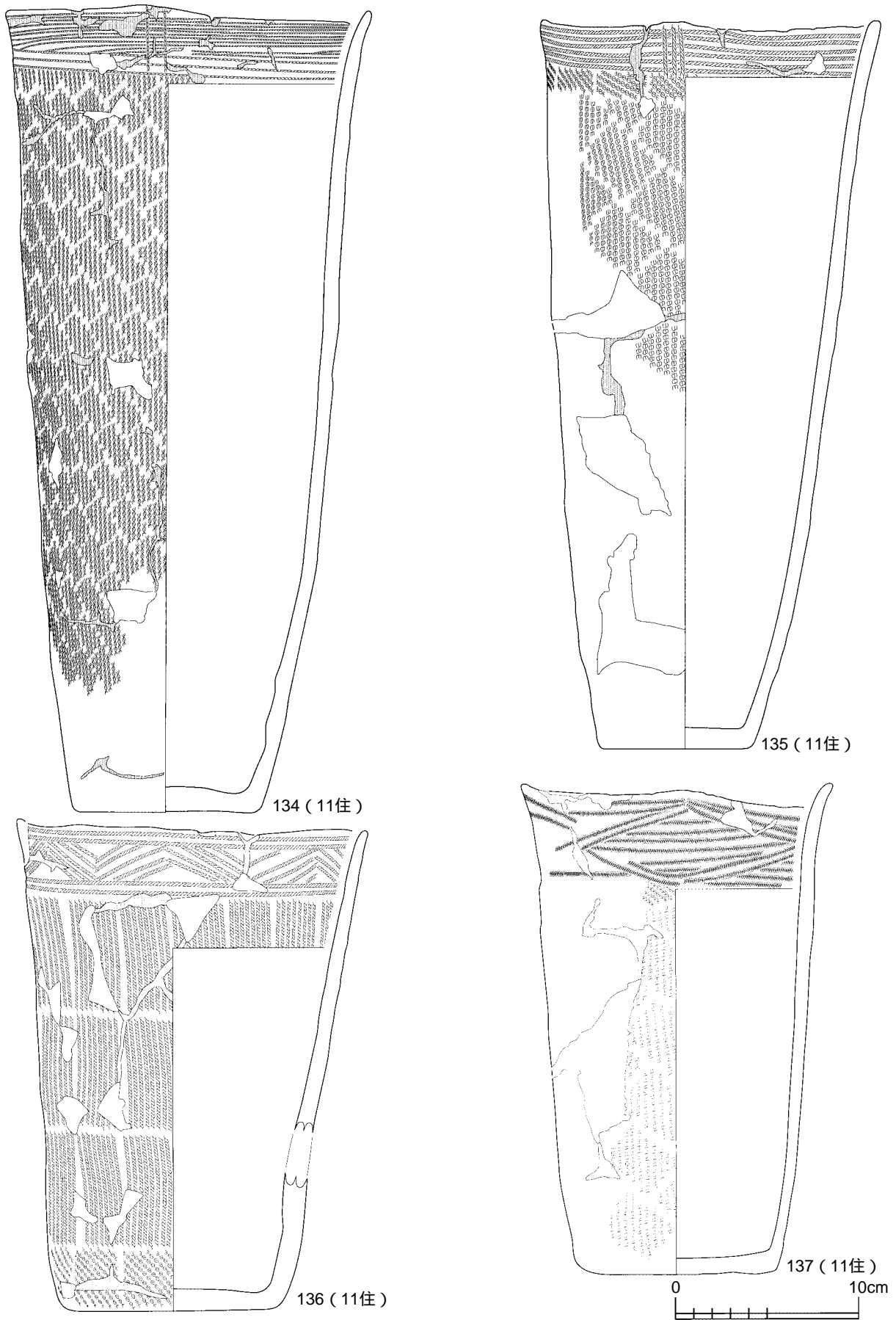
第46図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(29)



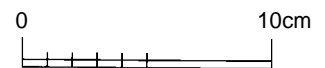
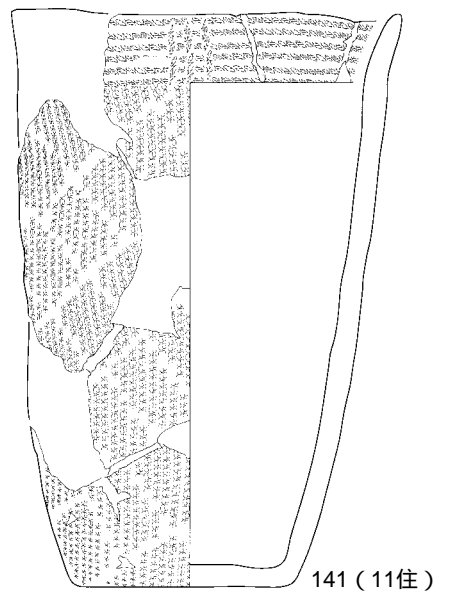
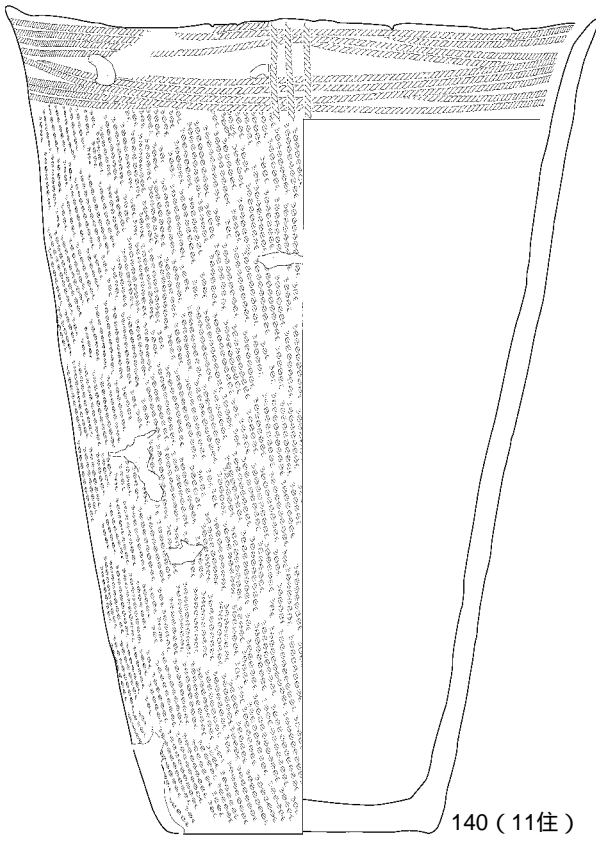
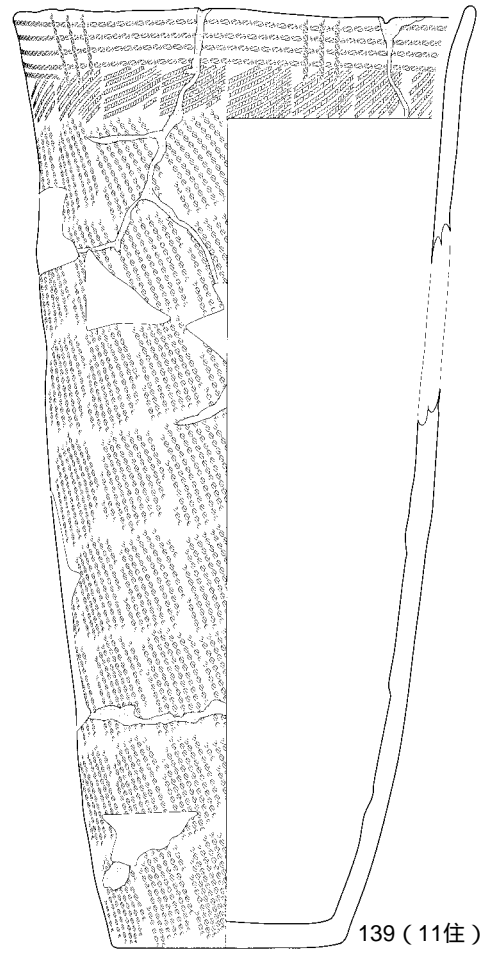
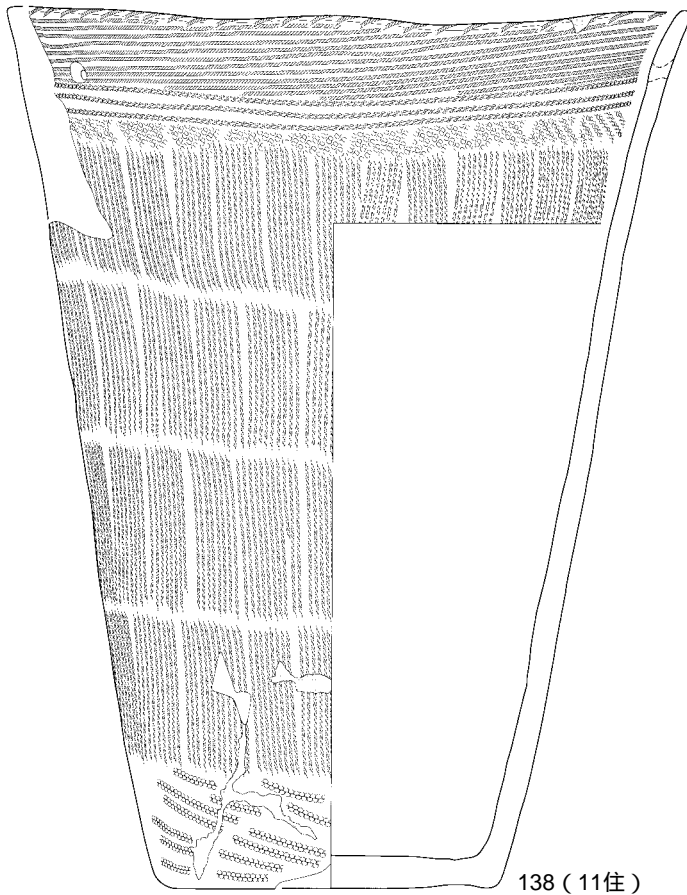
第47図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(30)



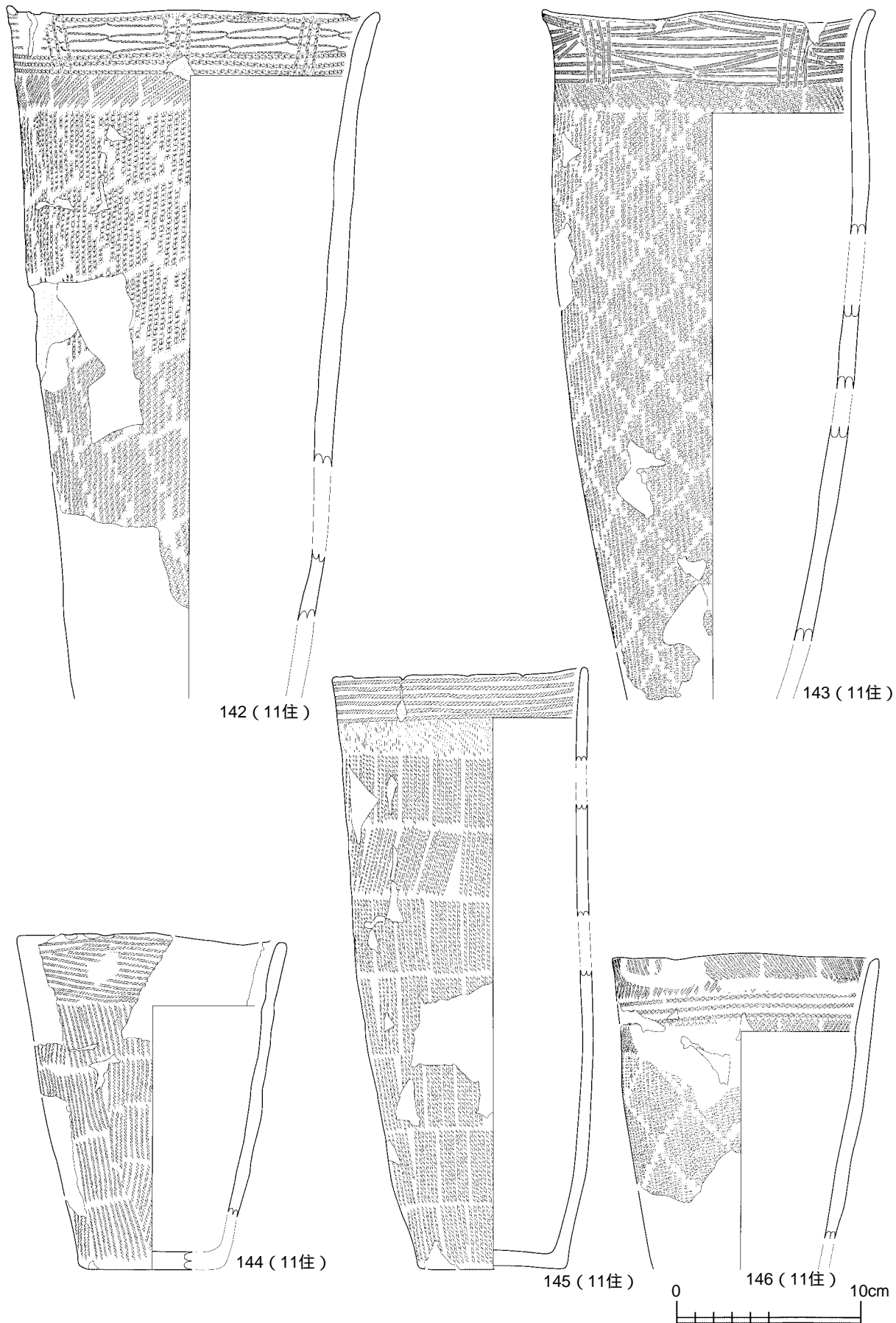
第48図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(31)



第49図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(32)

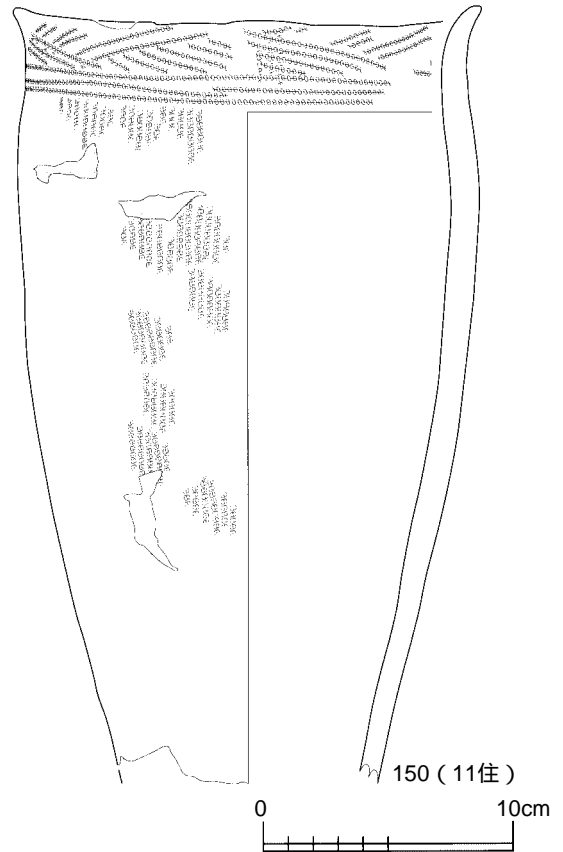
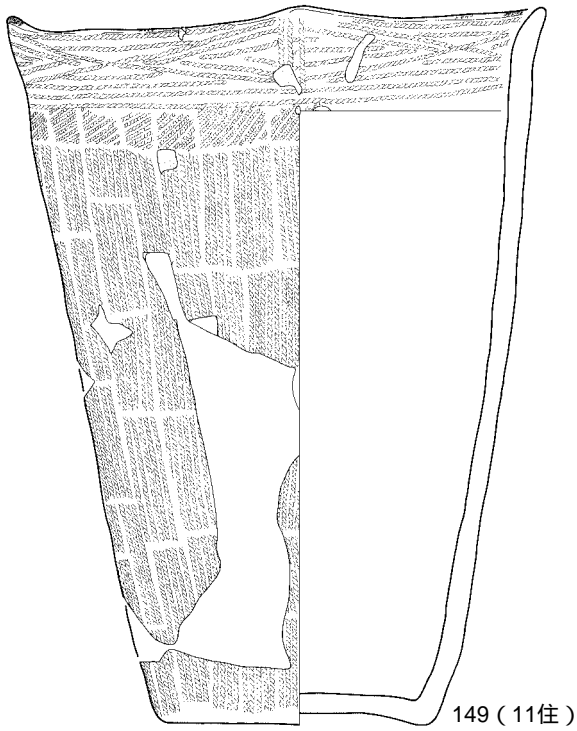
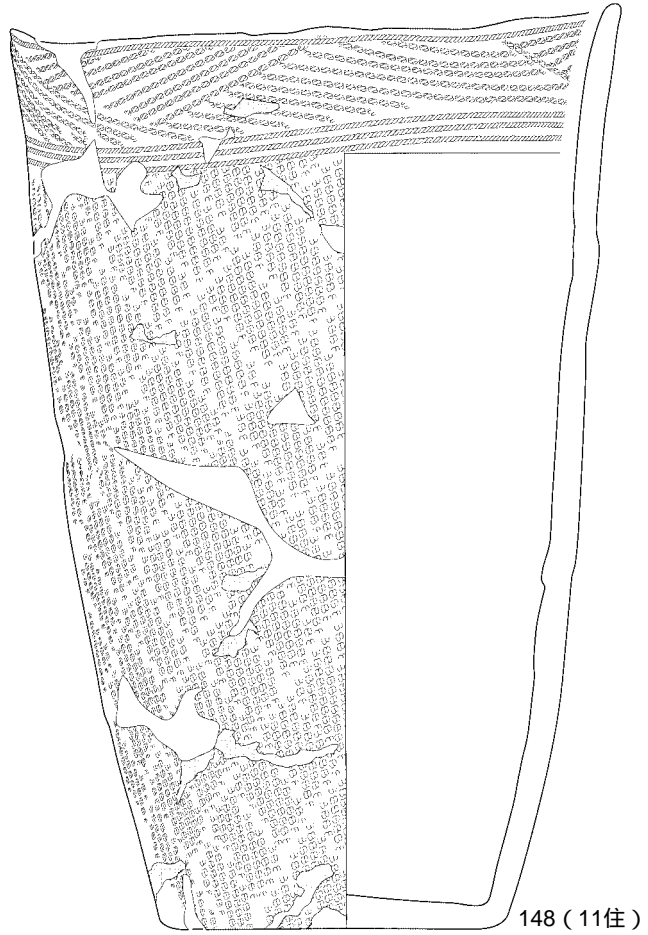
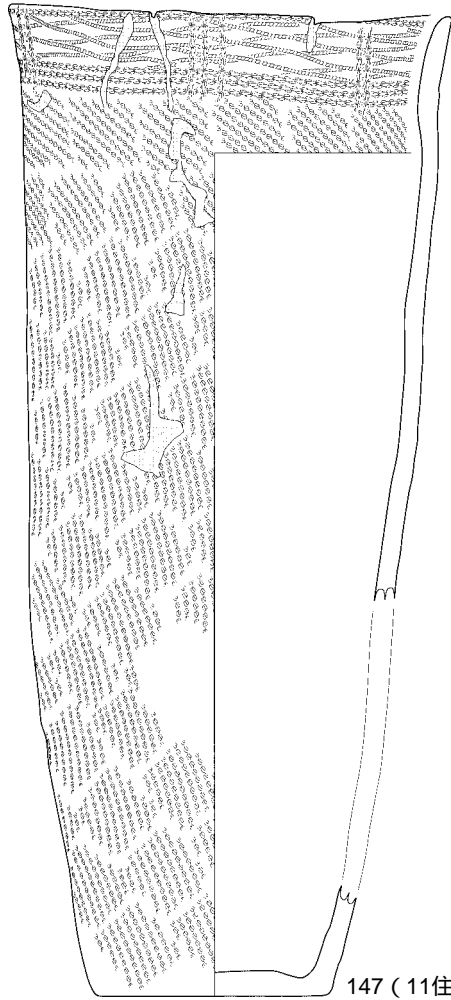


第50図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(33)

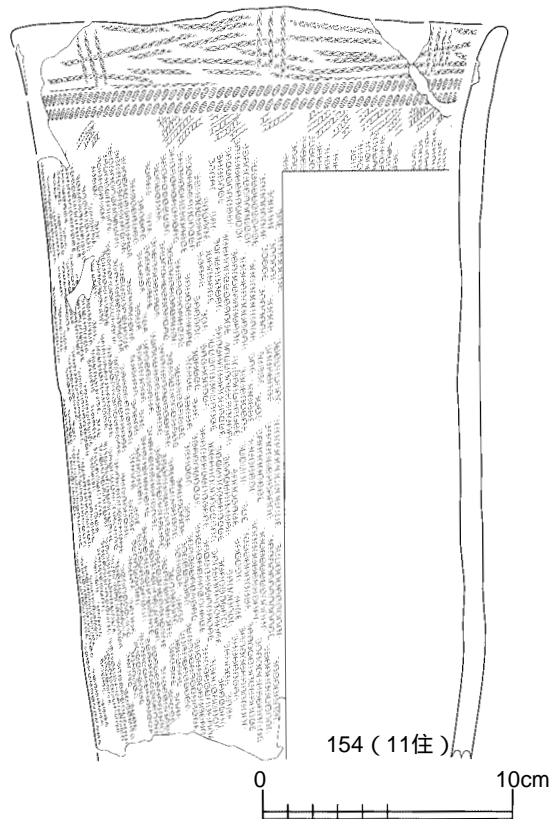
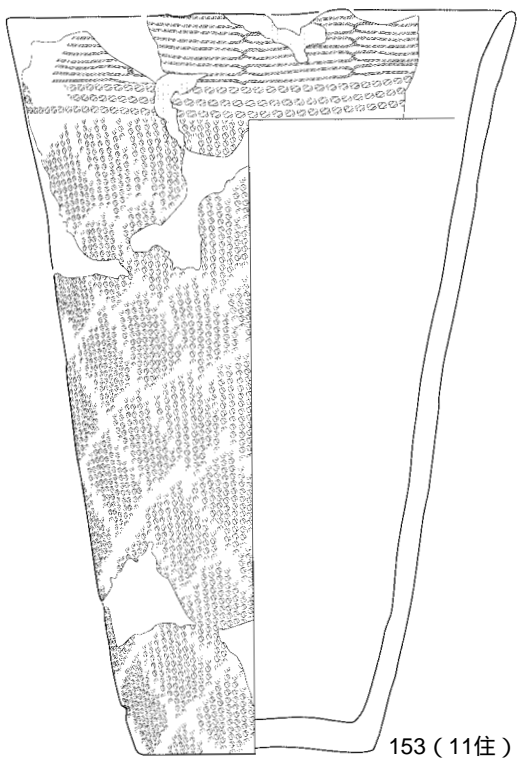
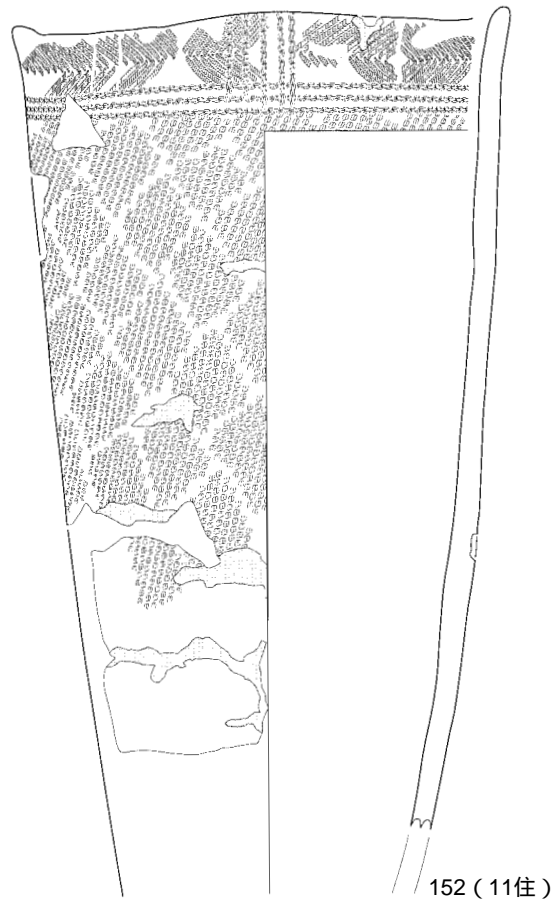
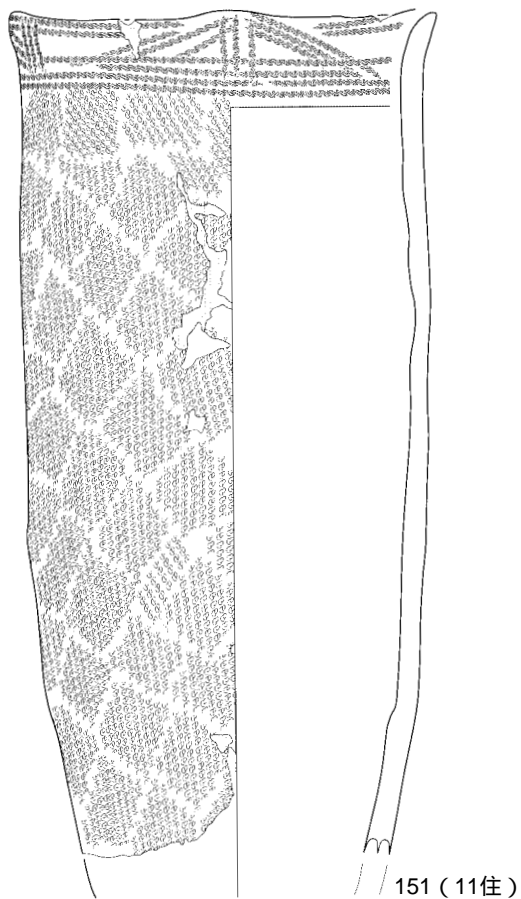


第51図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(34)

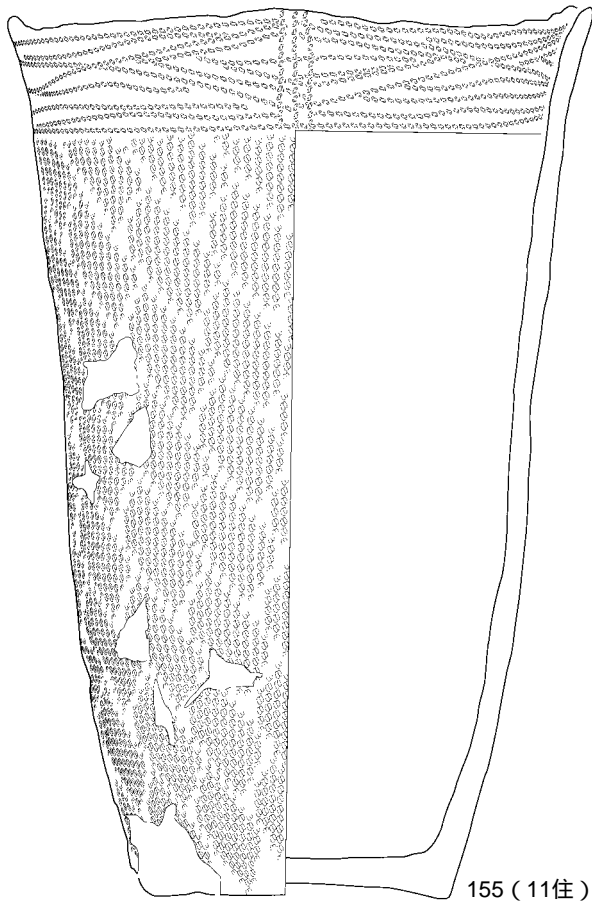




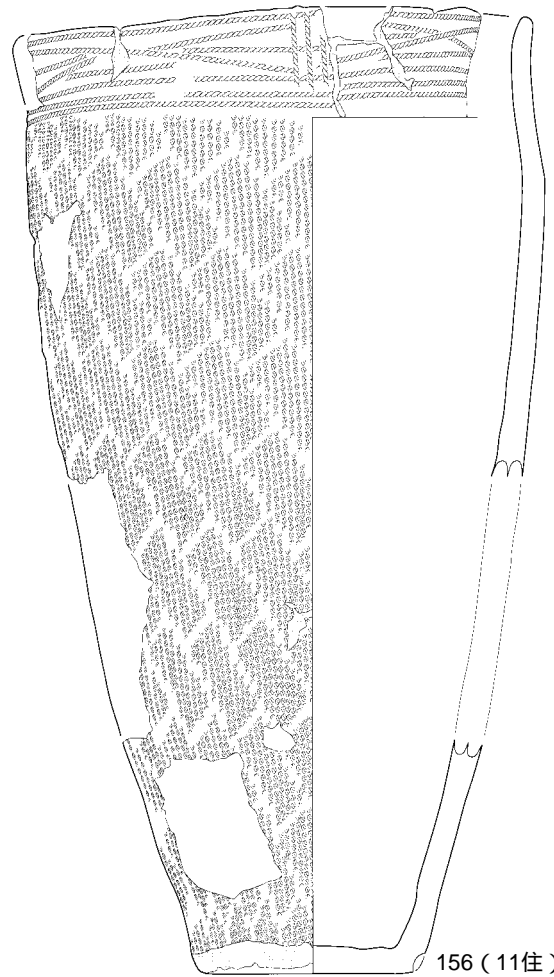
第52図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(35)



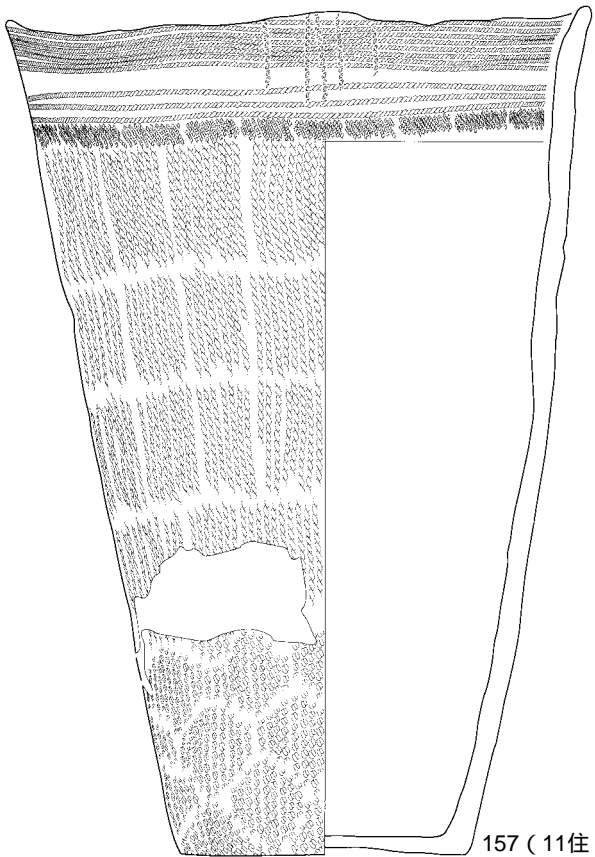
第53図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(36)



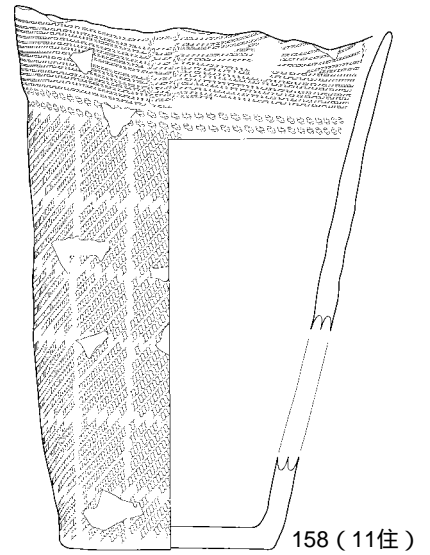
155 (11住)



156 (11住)



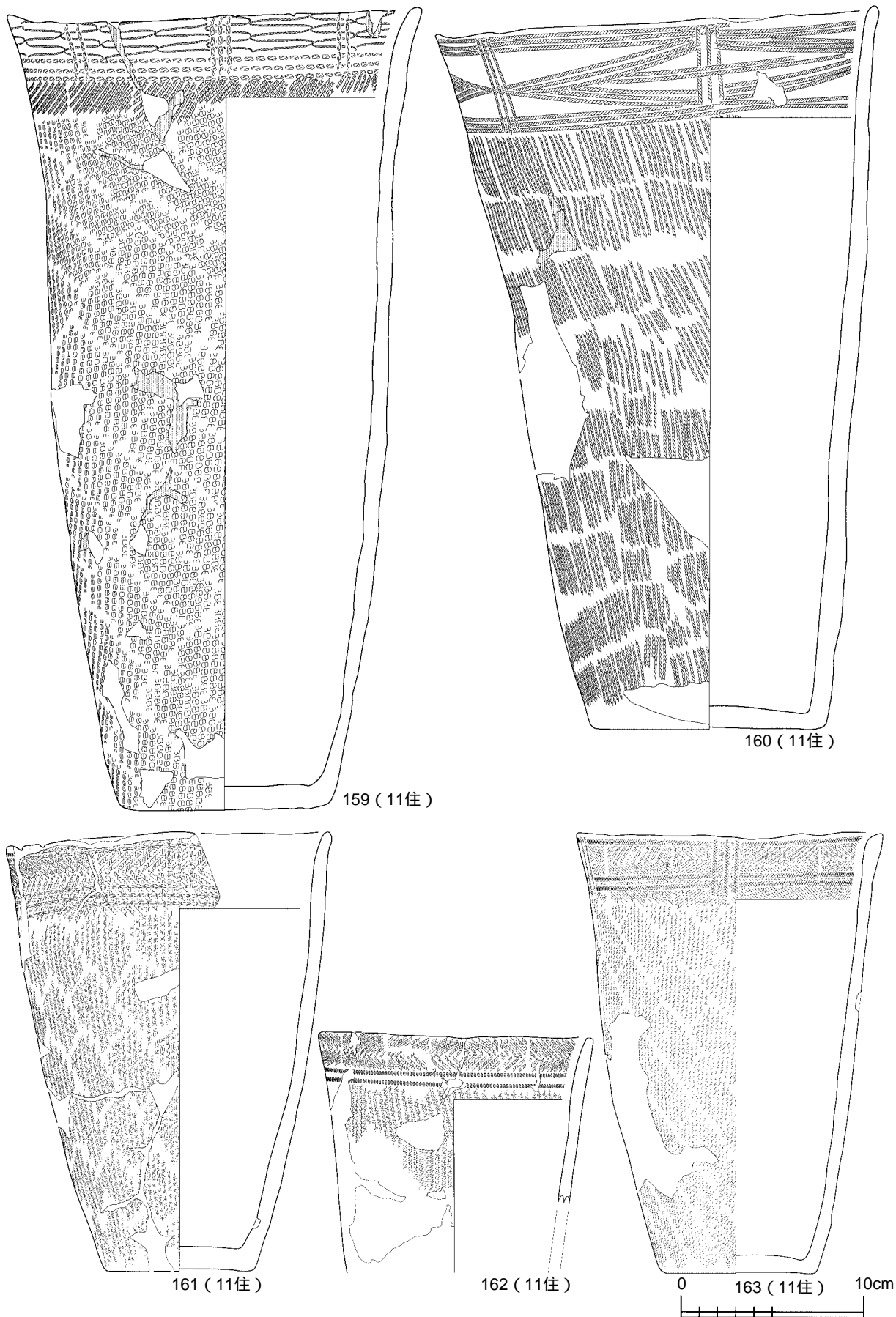
157 (11住)



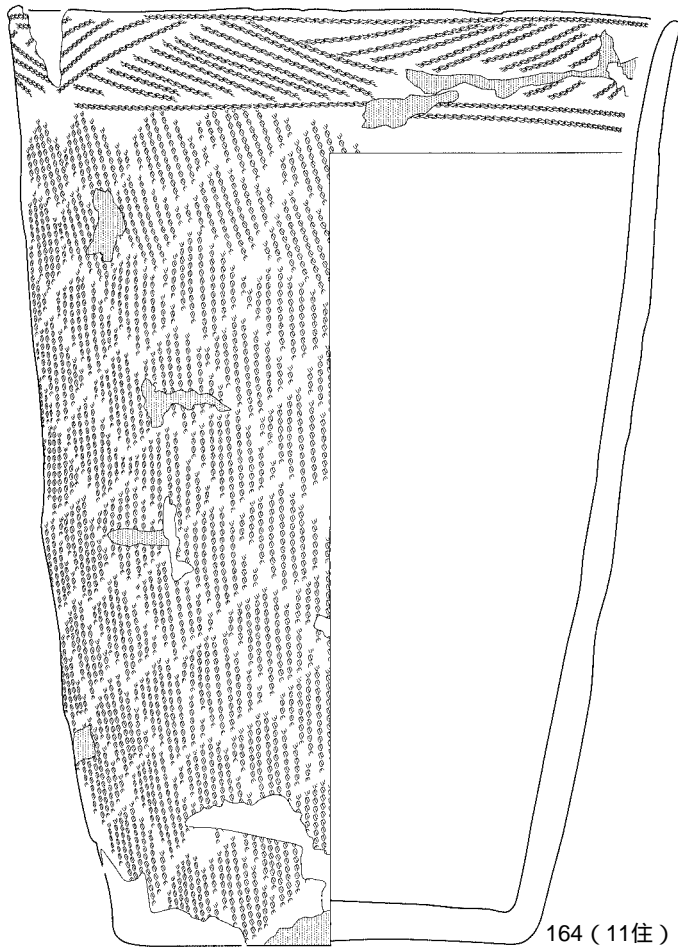
158 (11住)



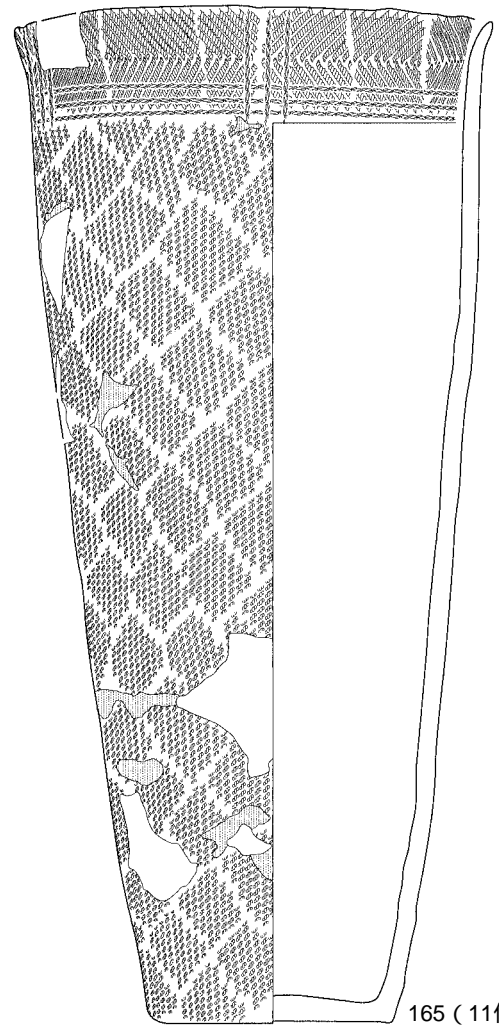
第54図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(37)



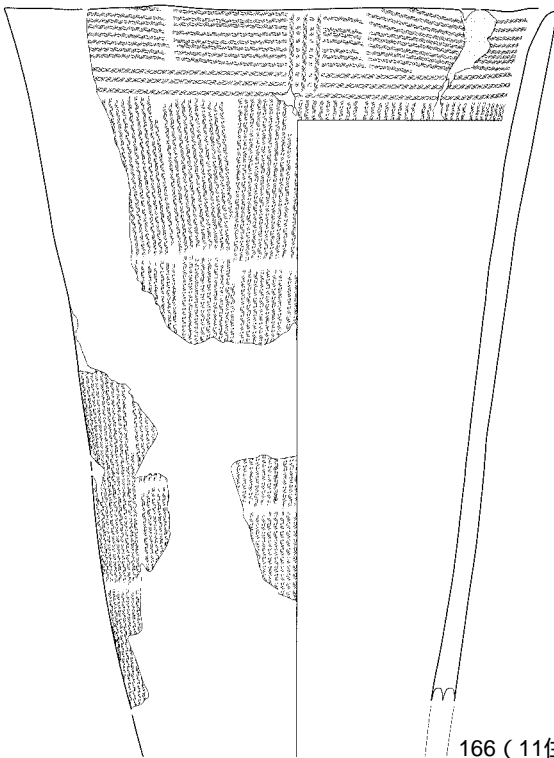
第55図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(38)



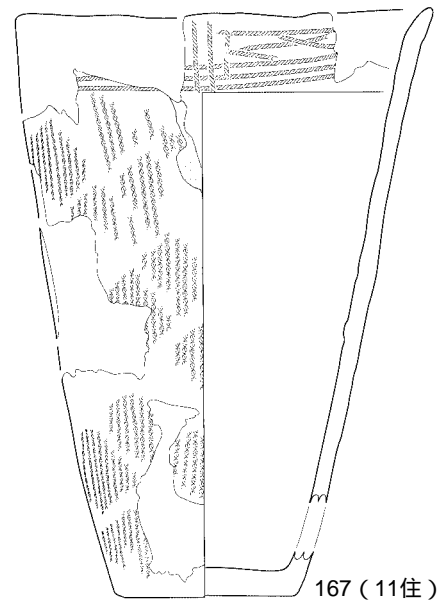
164 (11住)



165 (11住)



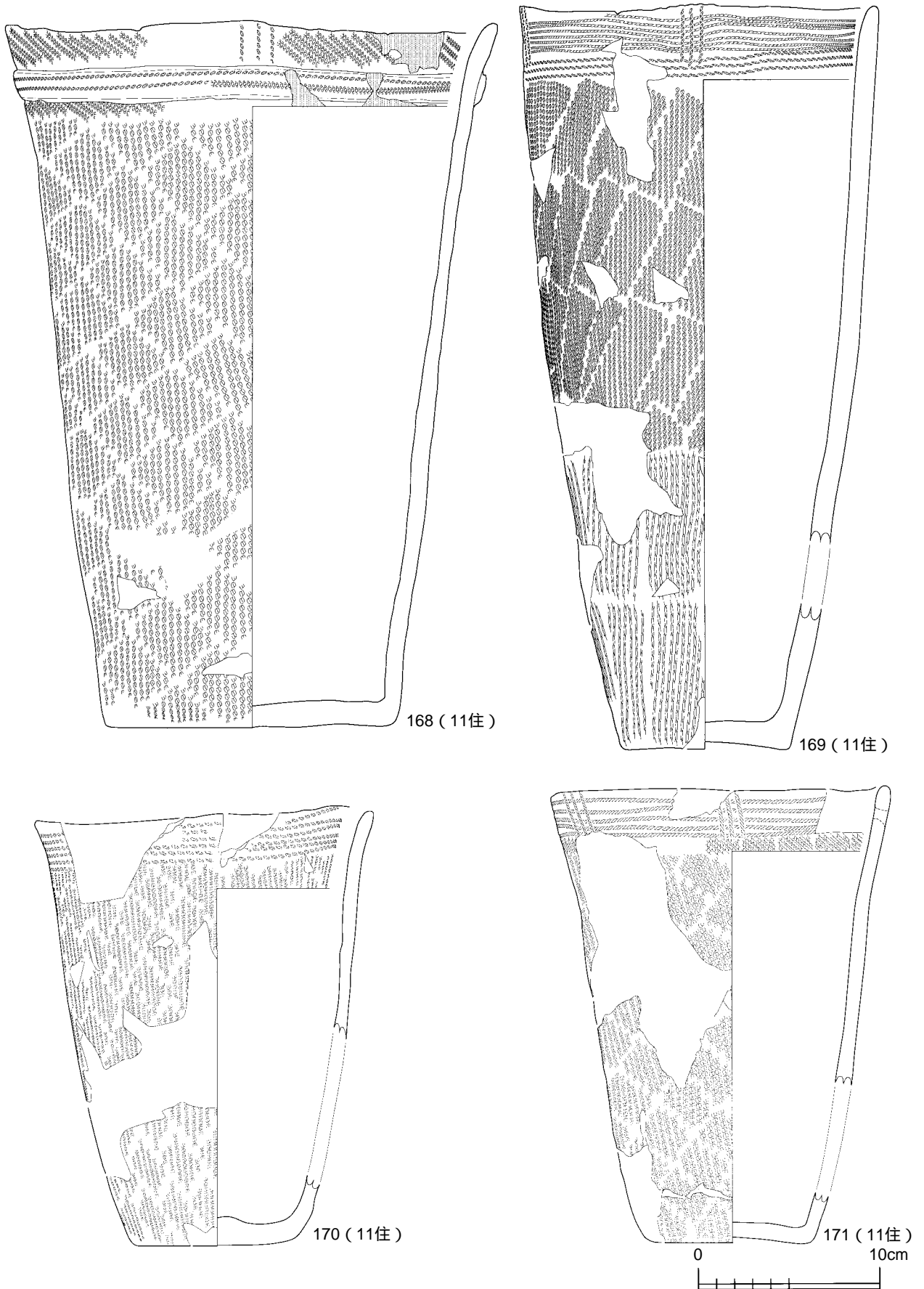
166 (11住)



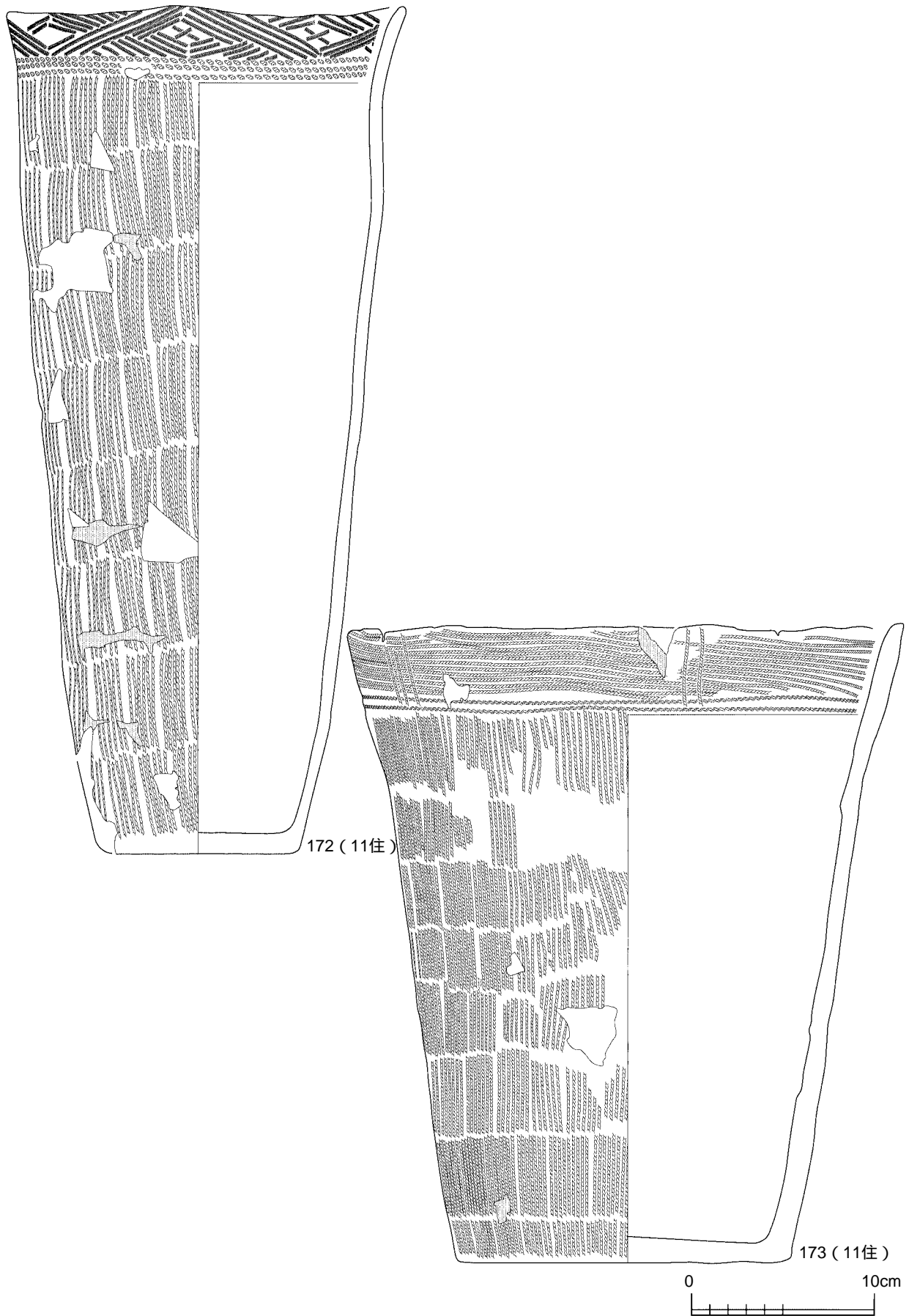
167 (11住)



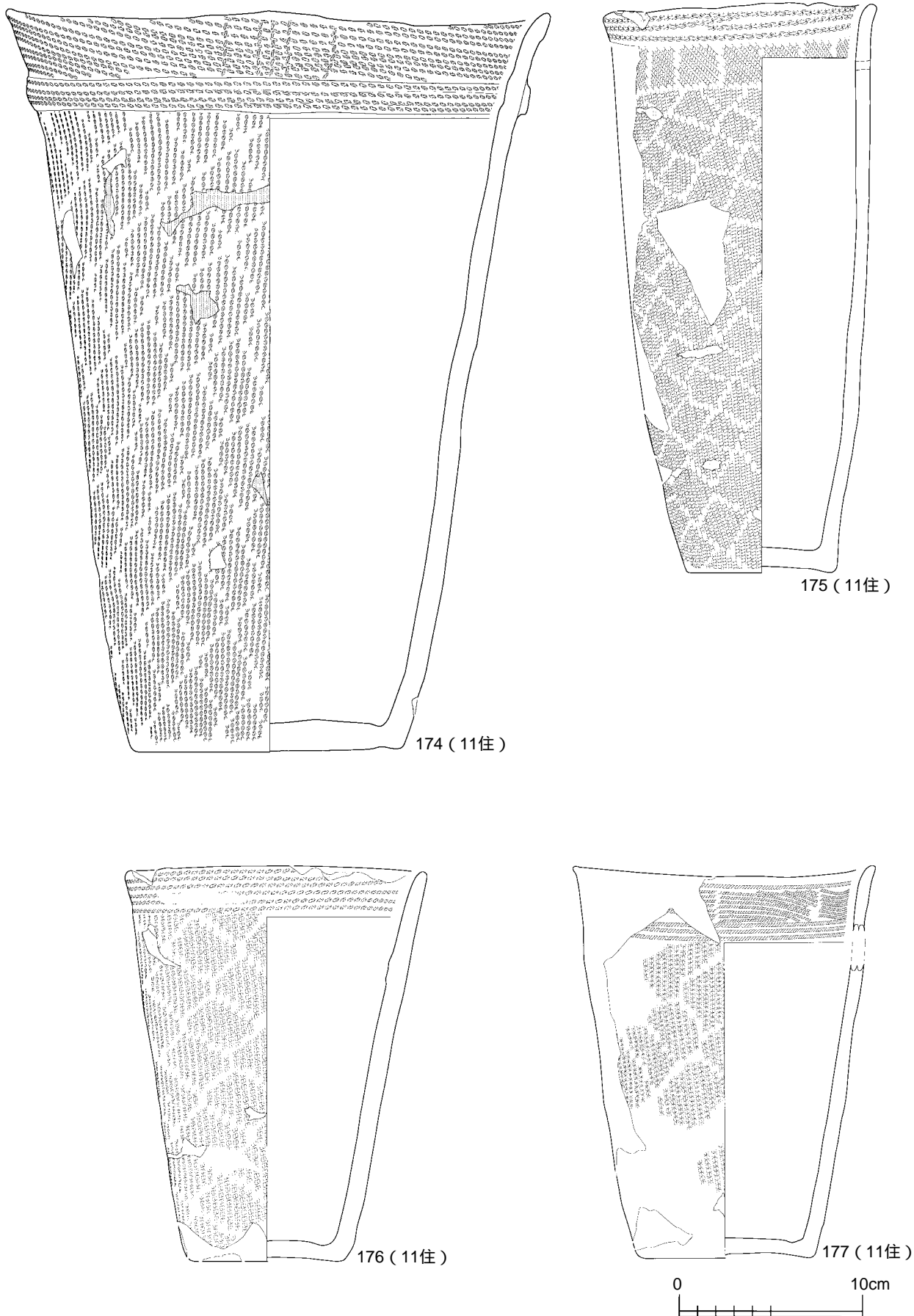
第56図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(39)



第57図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(40)

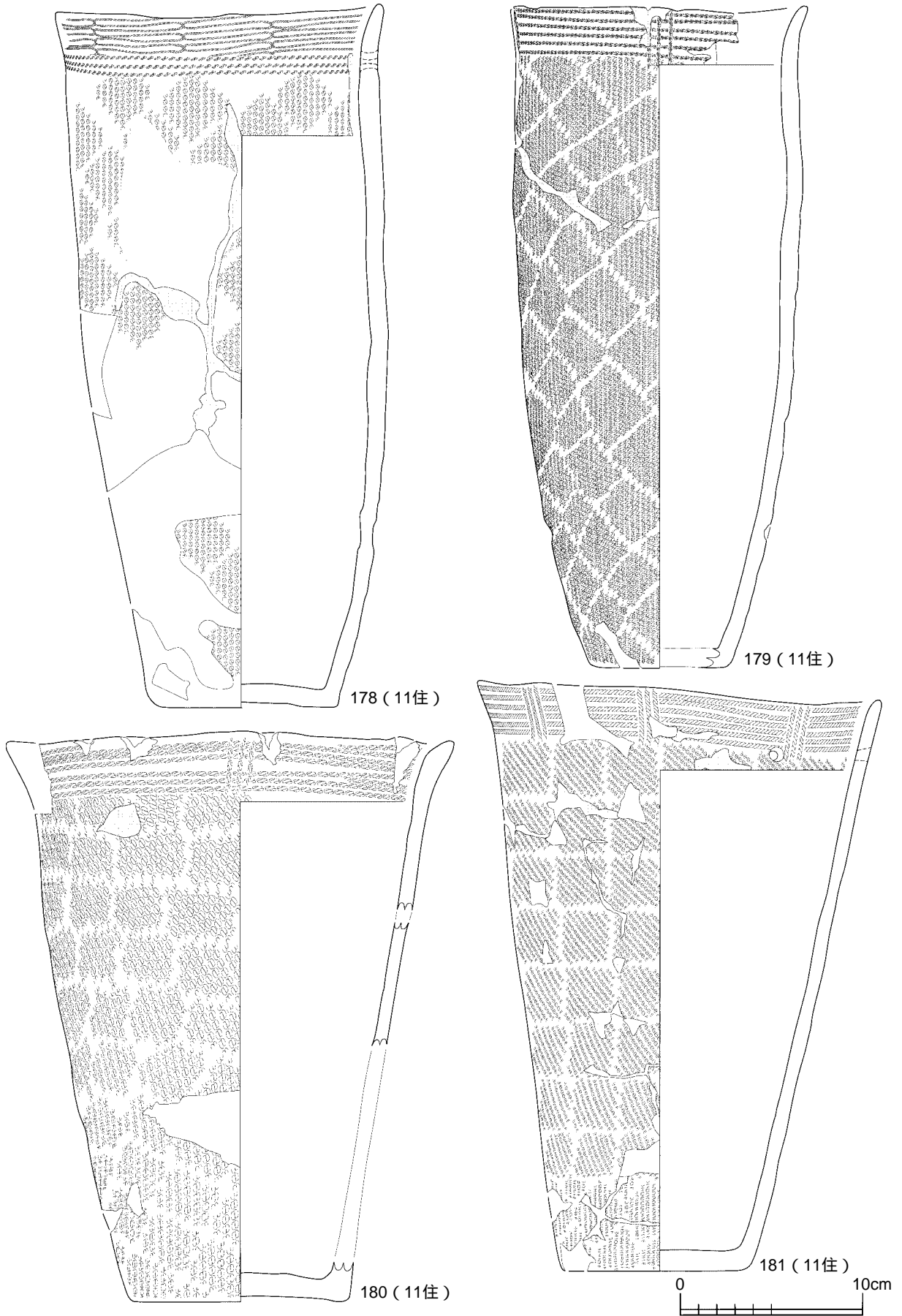


第58図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(41)

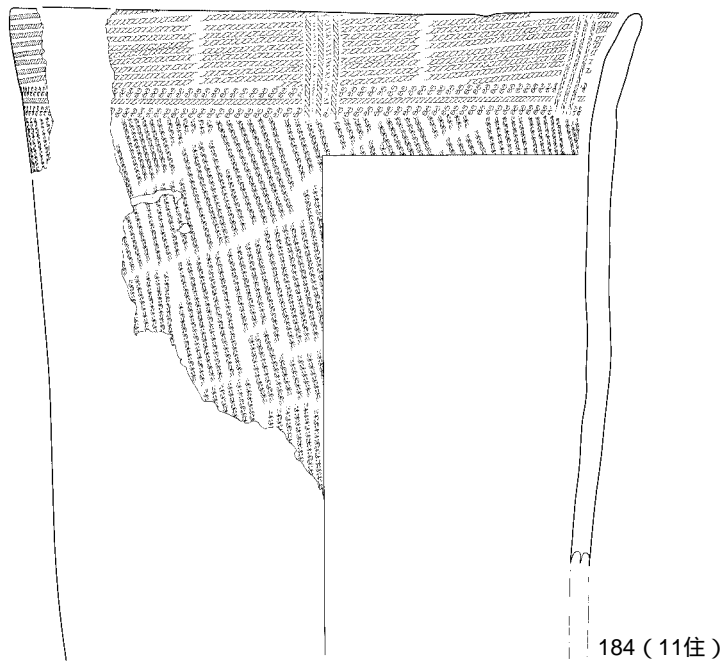
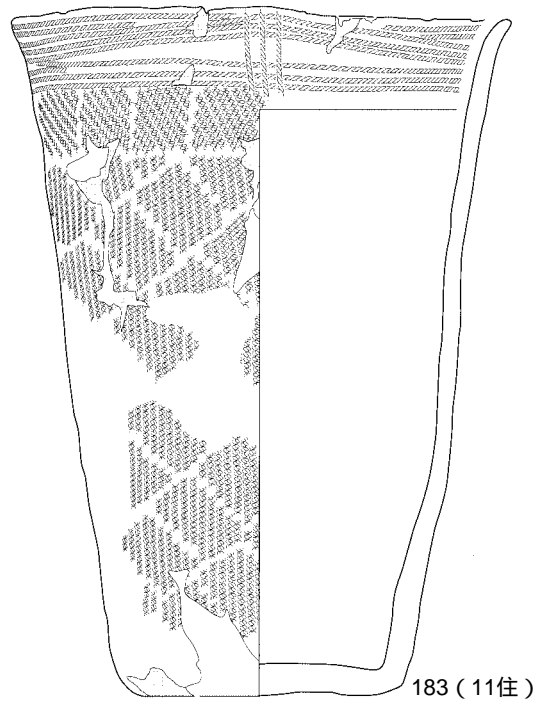
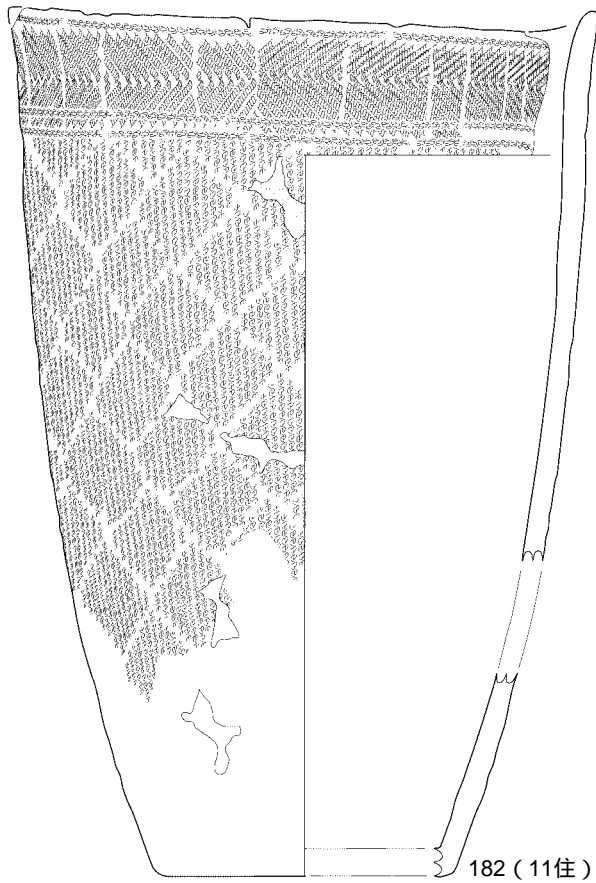


第59図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(42)

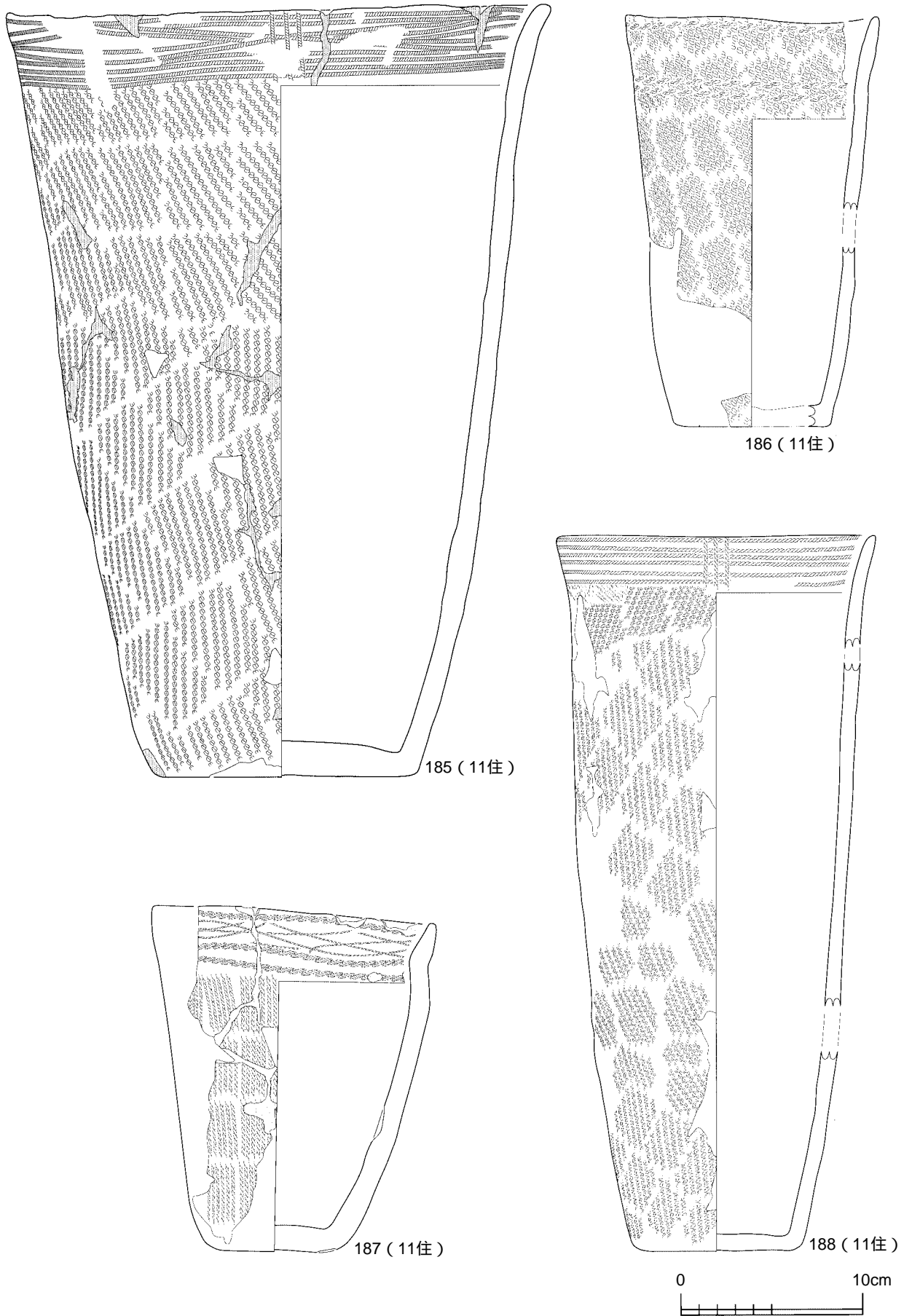




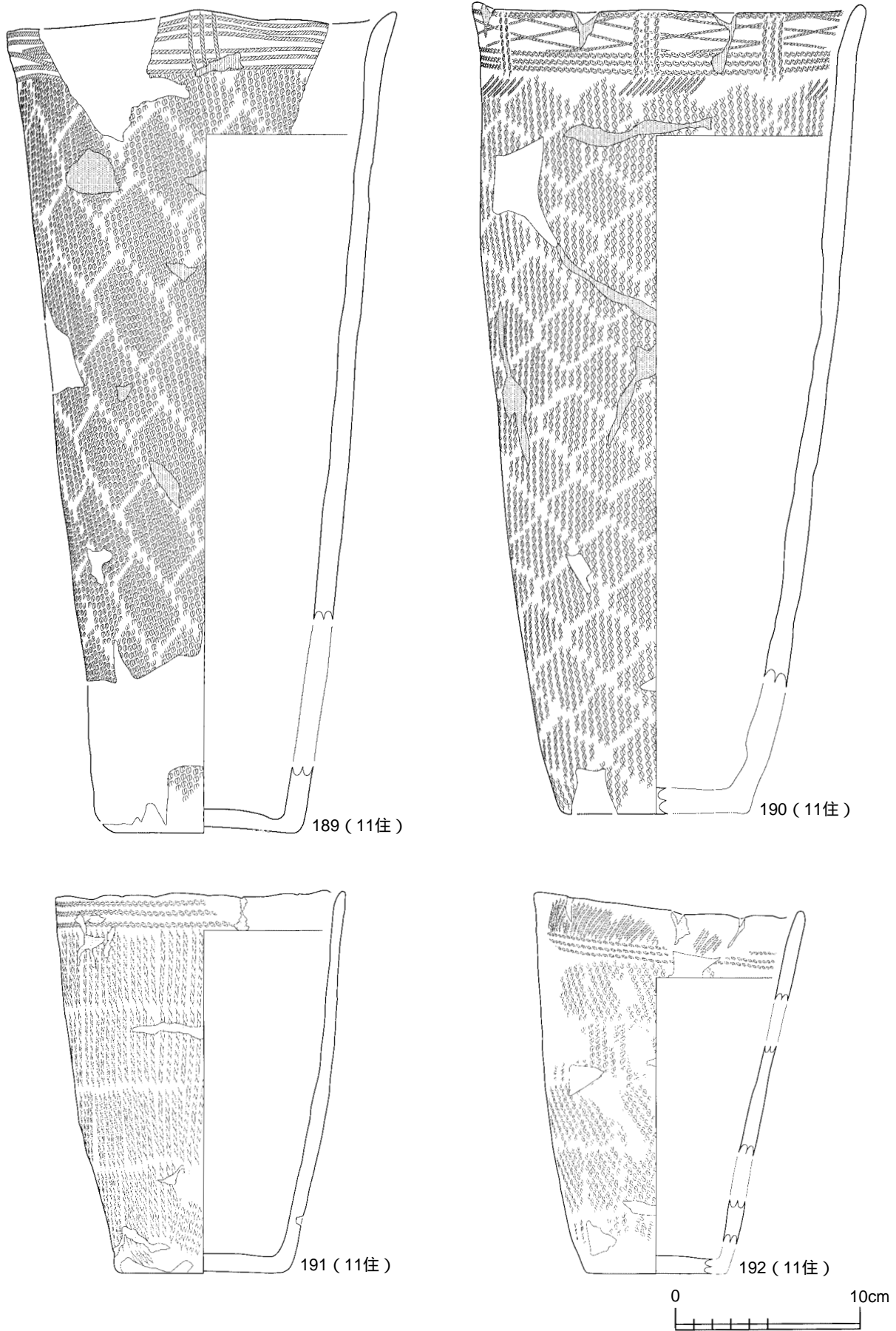
第60図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(43)



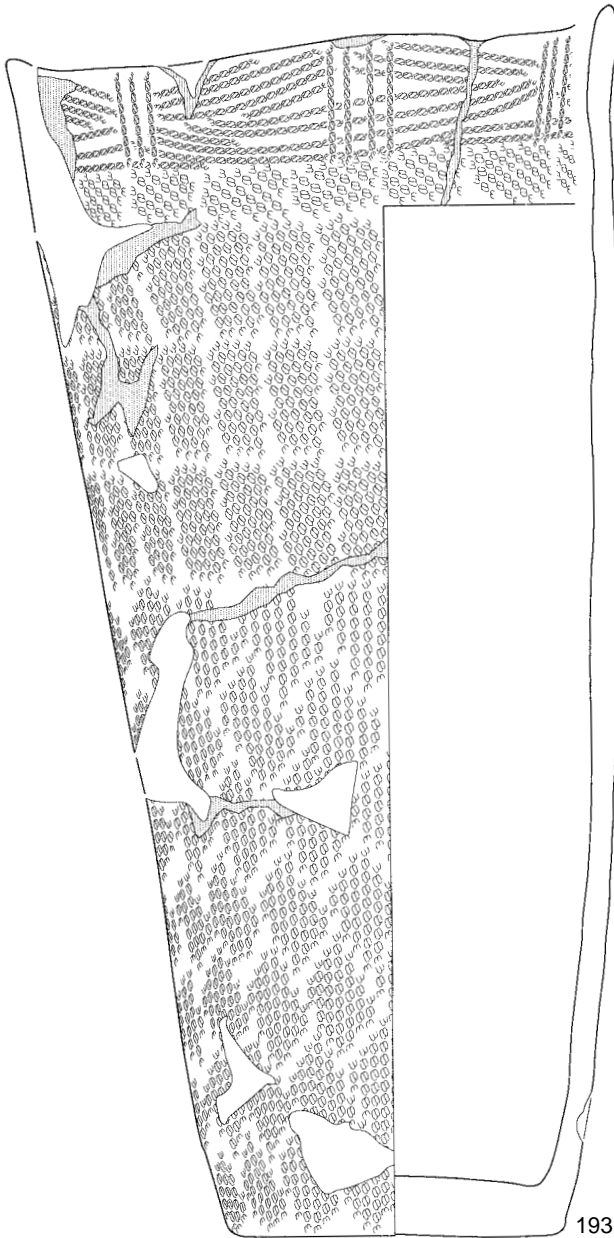
第61図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(44)



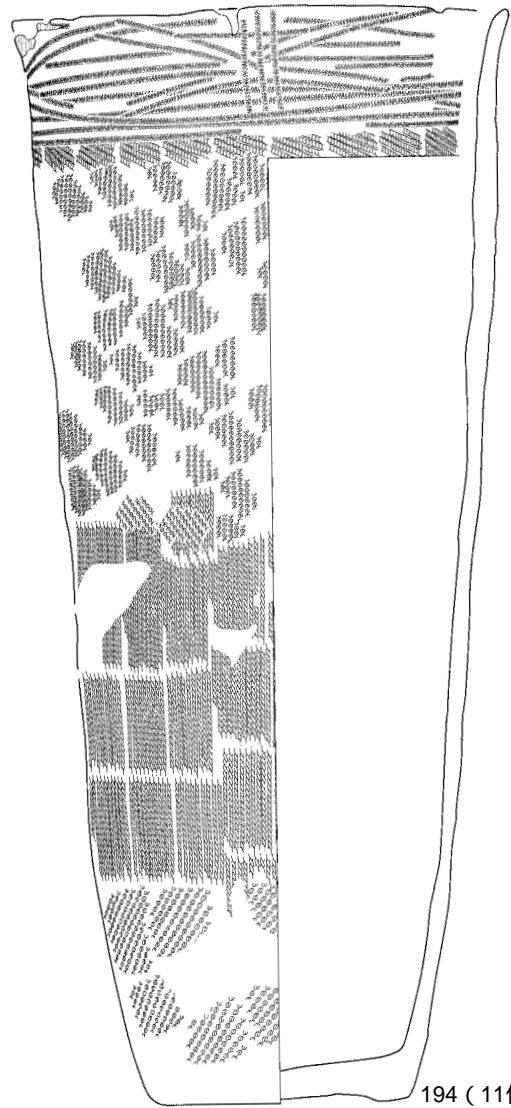
第62図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(45)



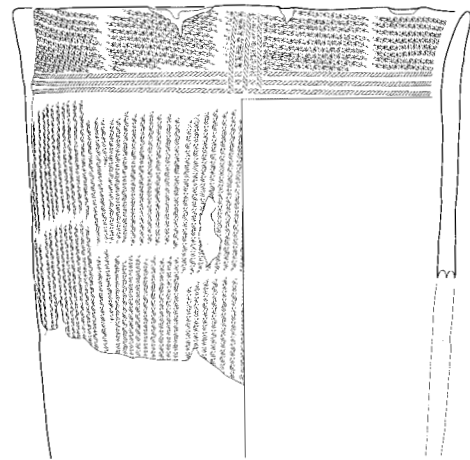
第63図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(46)



193 (11住)



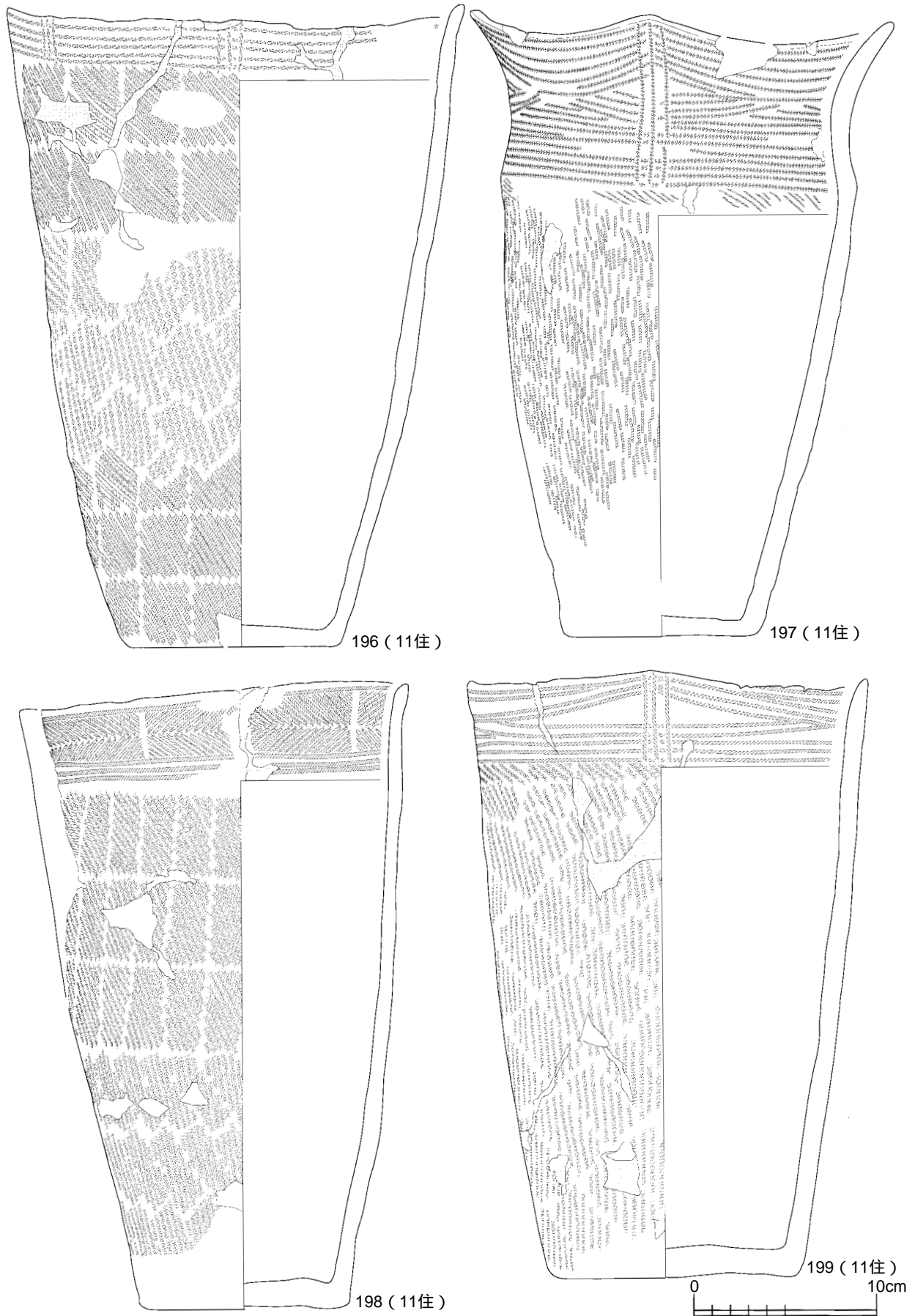
194 (11住)



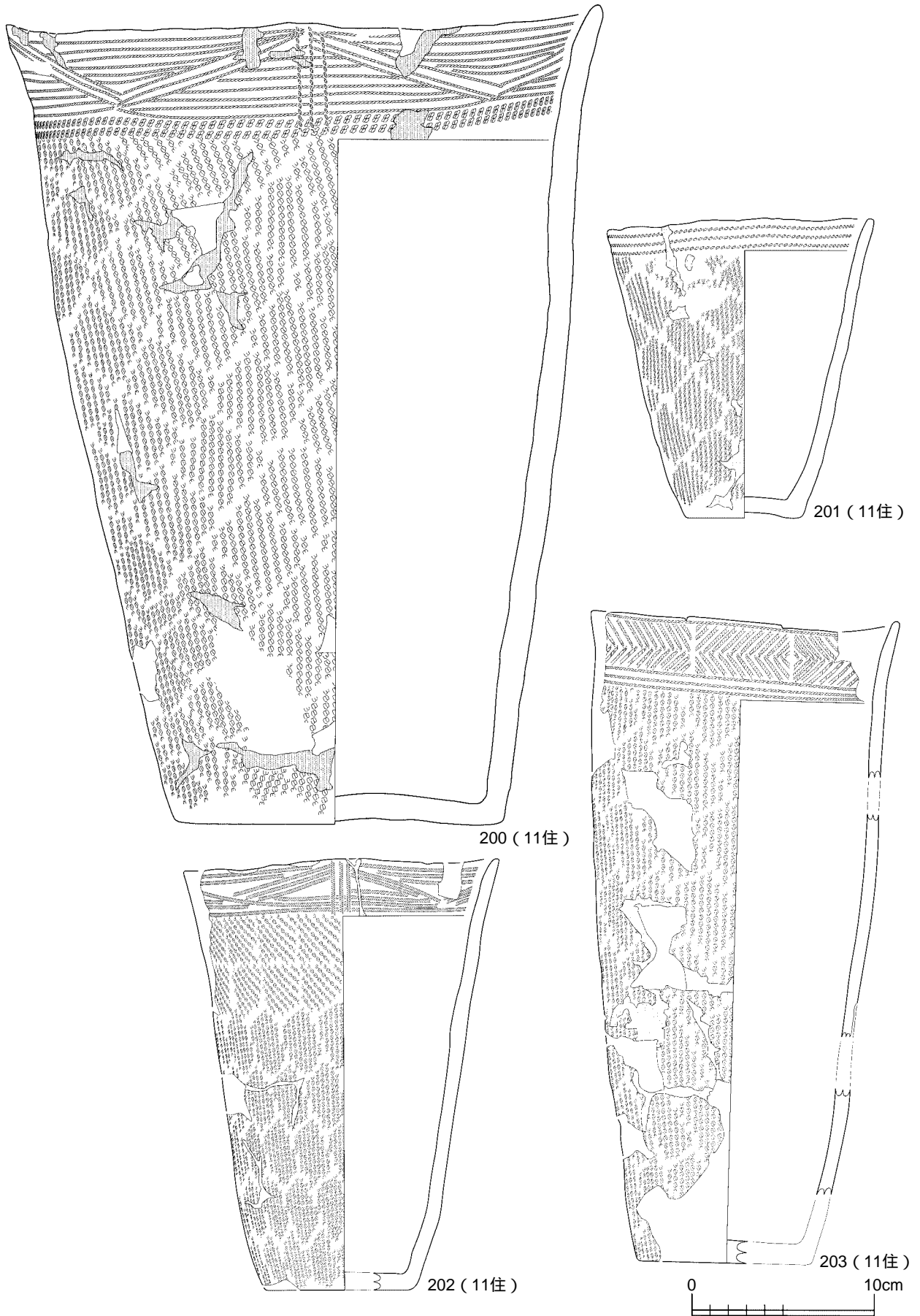
195 (11住)



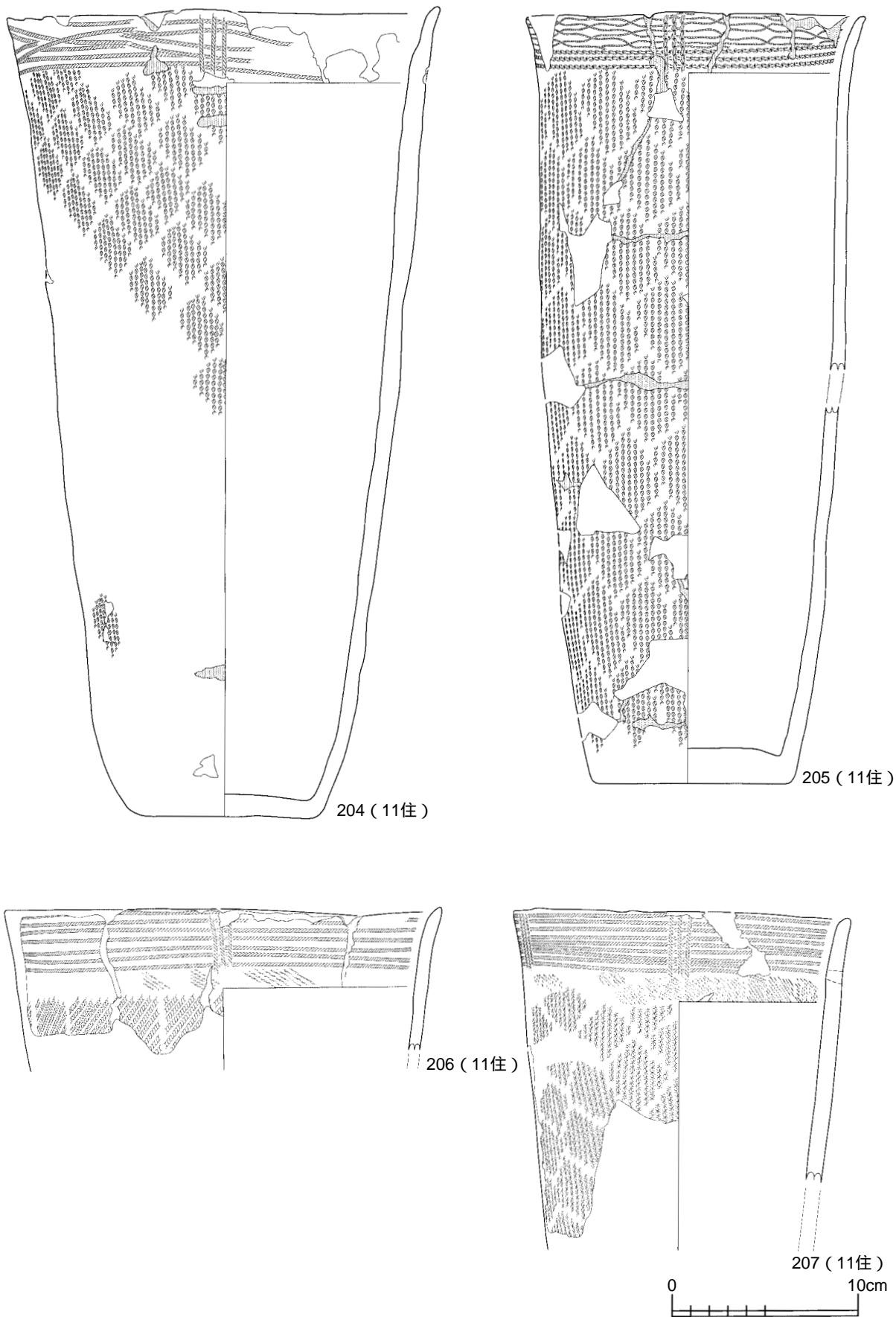
第64図 遺構内出土土器 (竪穴式住居跡) (47)



第65図 遺構内出土土器 (竪穴式住居跡) (48)

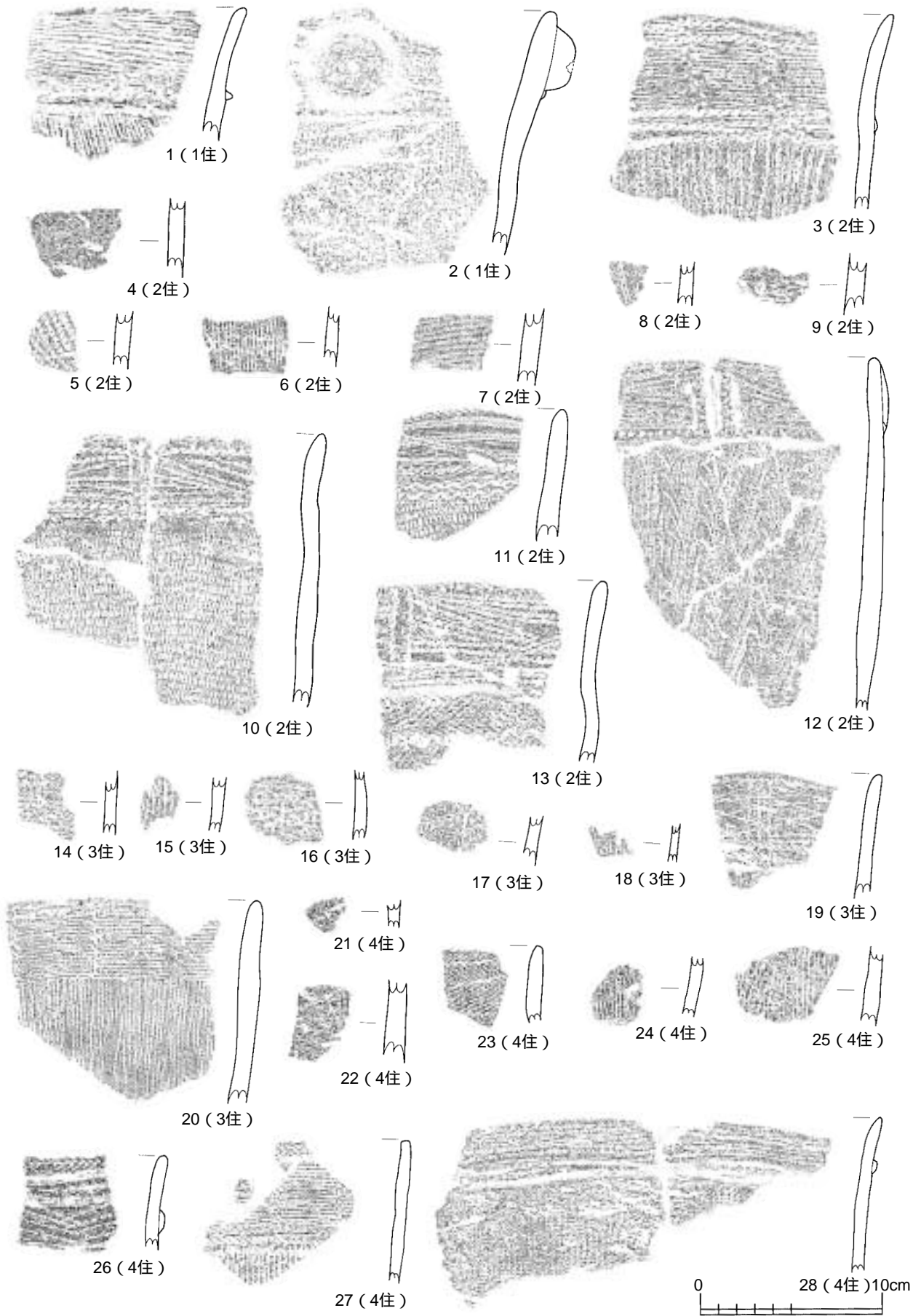


第66図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(49)

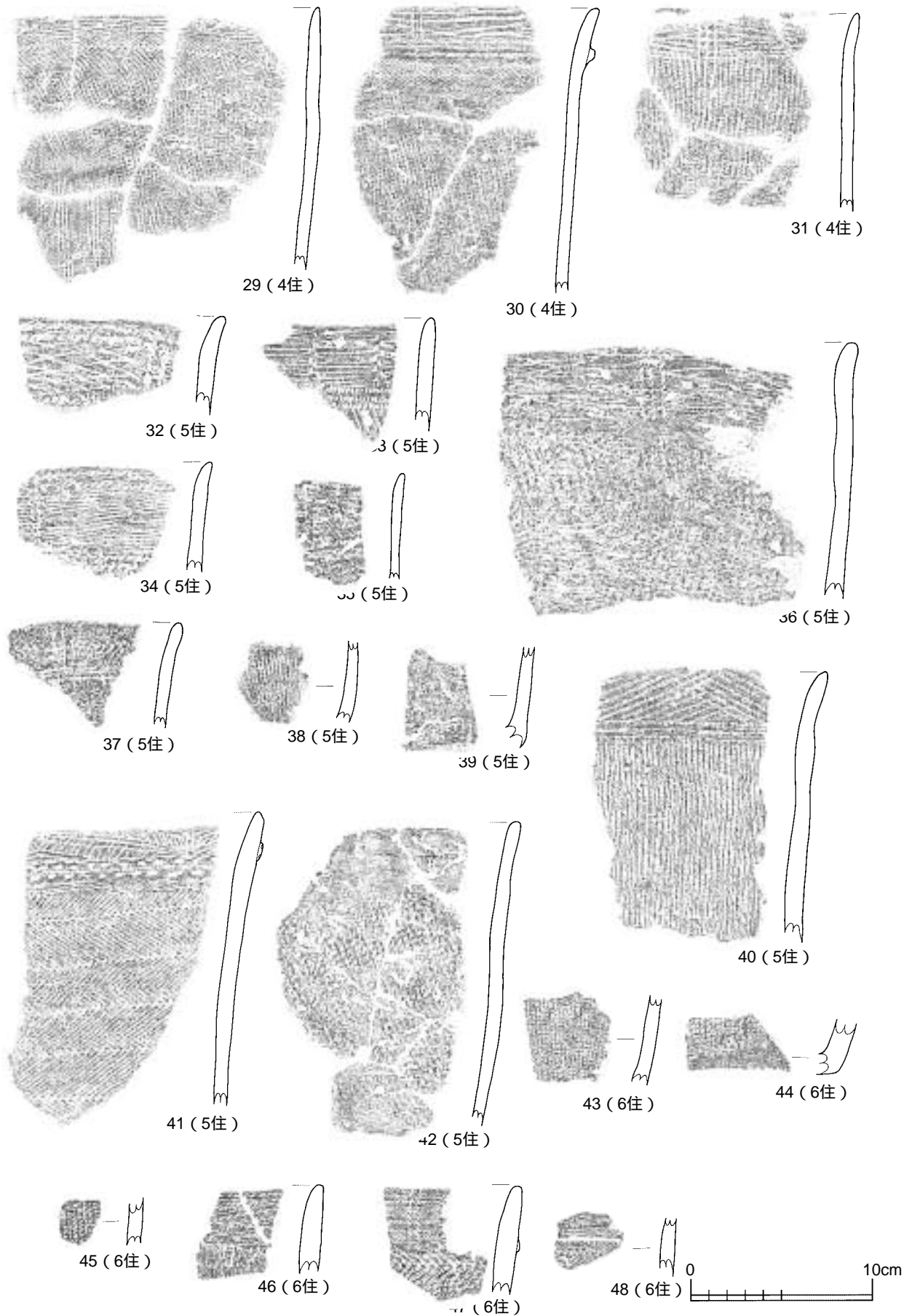


第67図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(50)

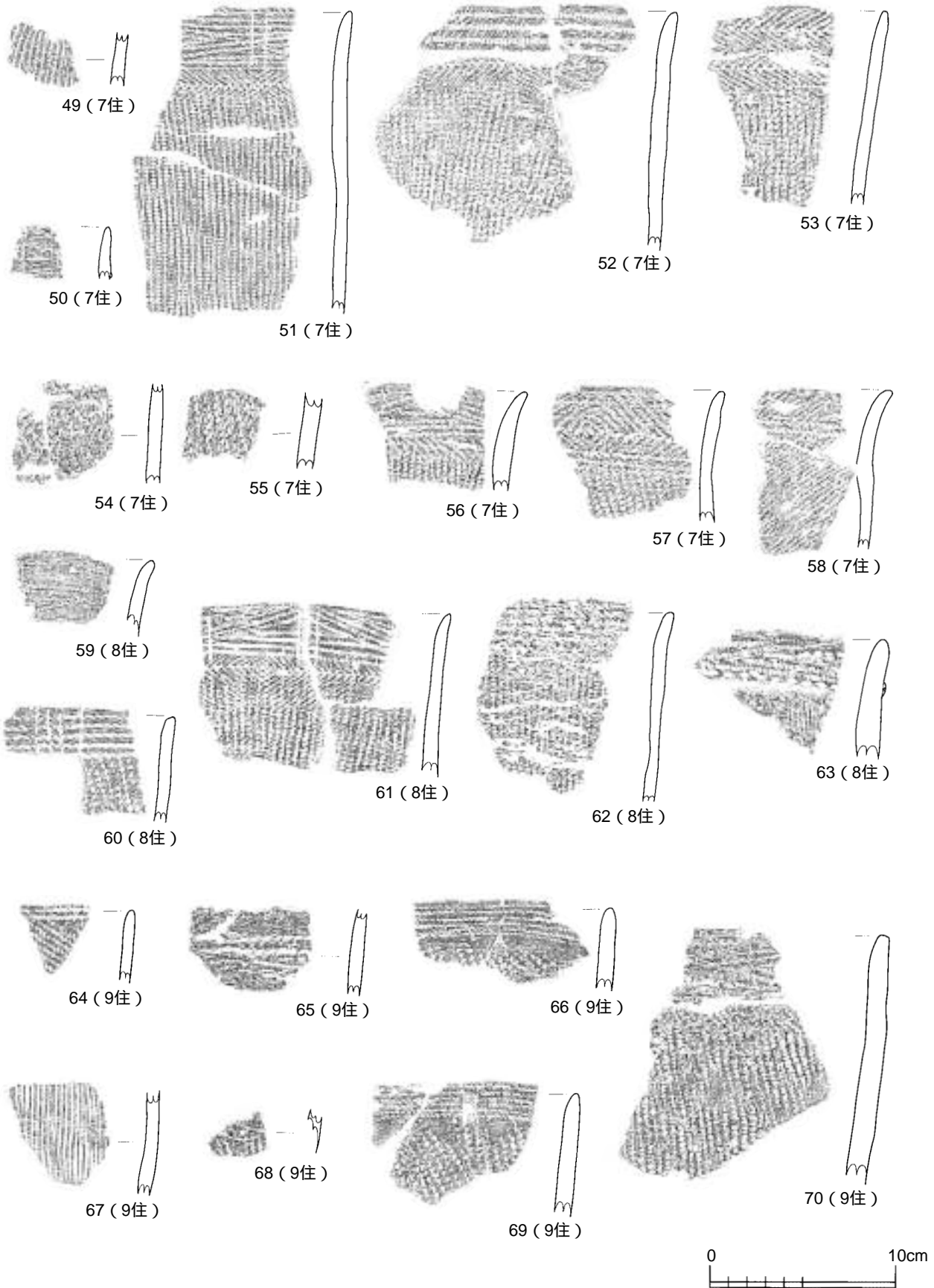




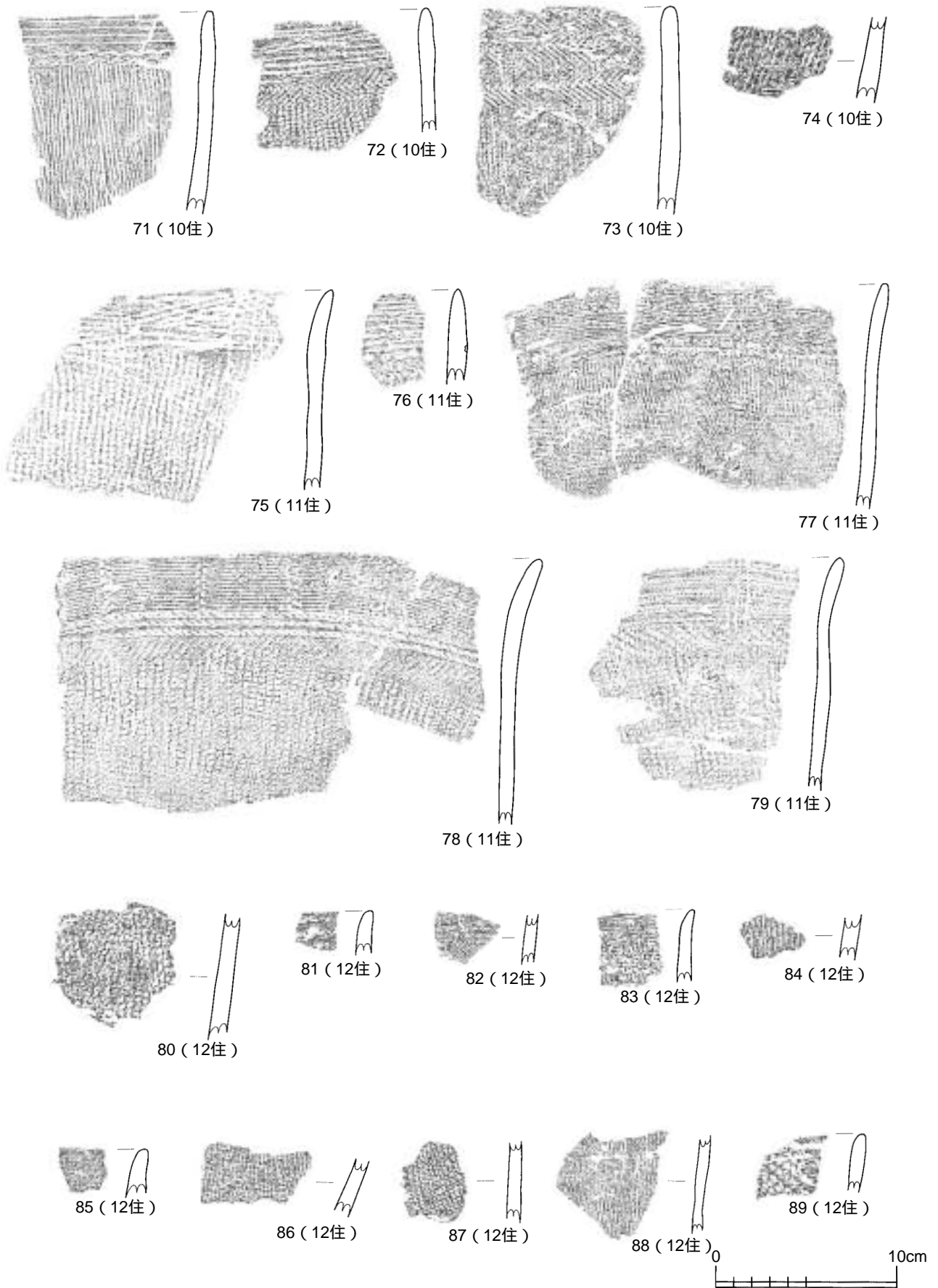
第68図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(51)



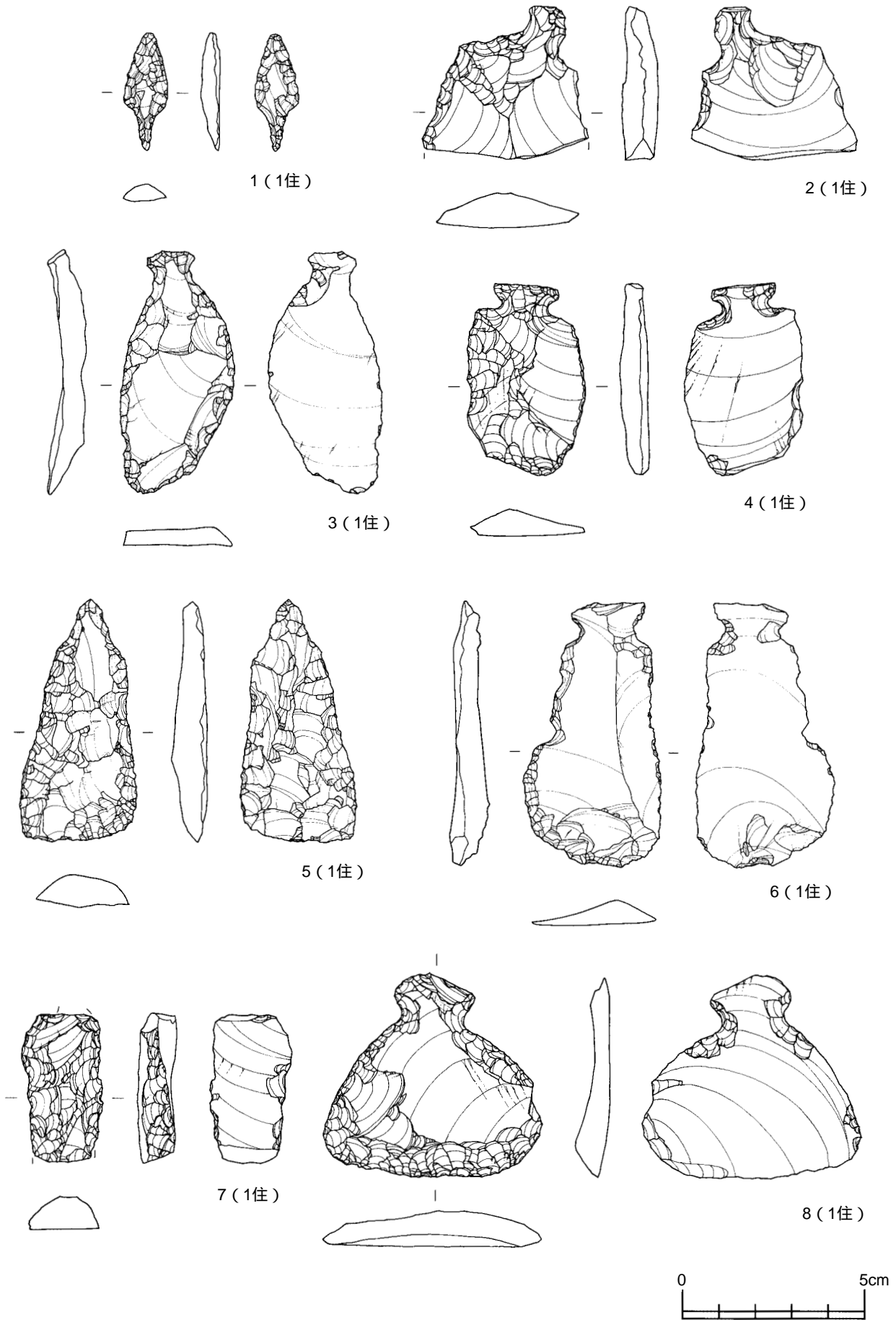
第69図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(52)



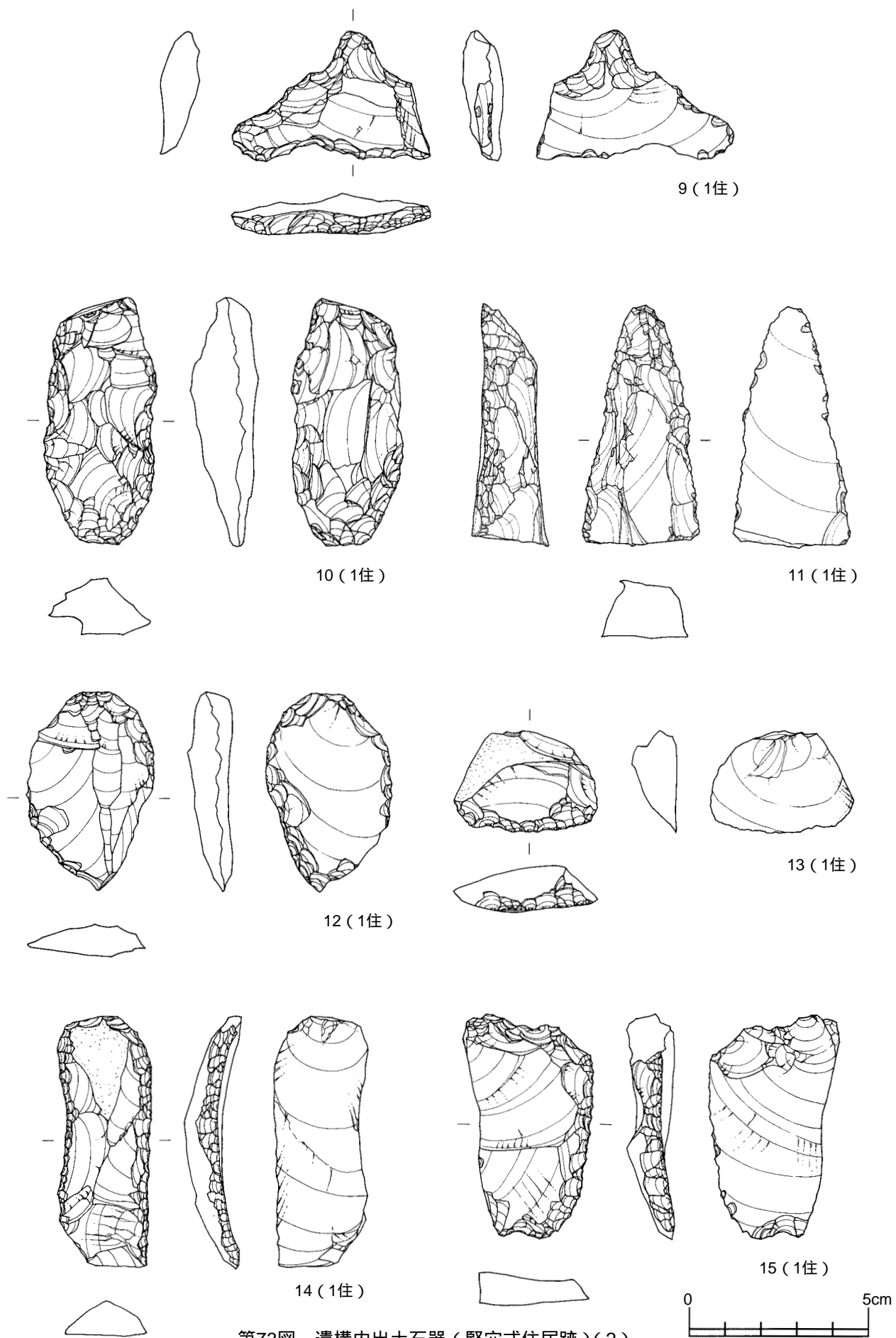
第70図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(53)



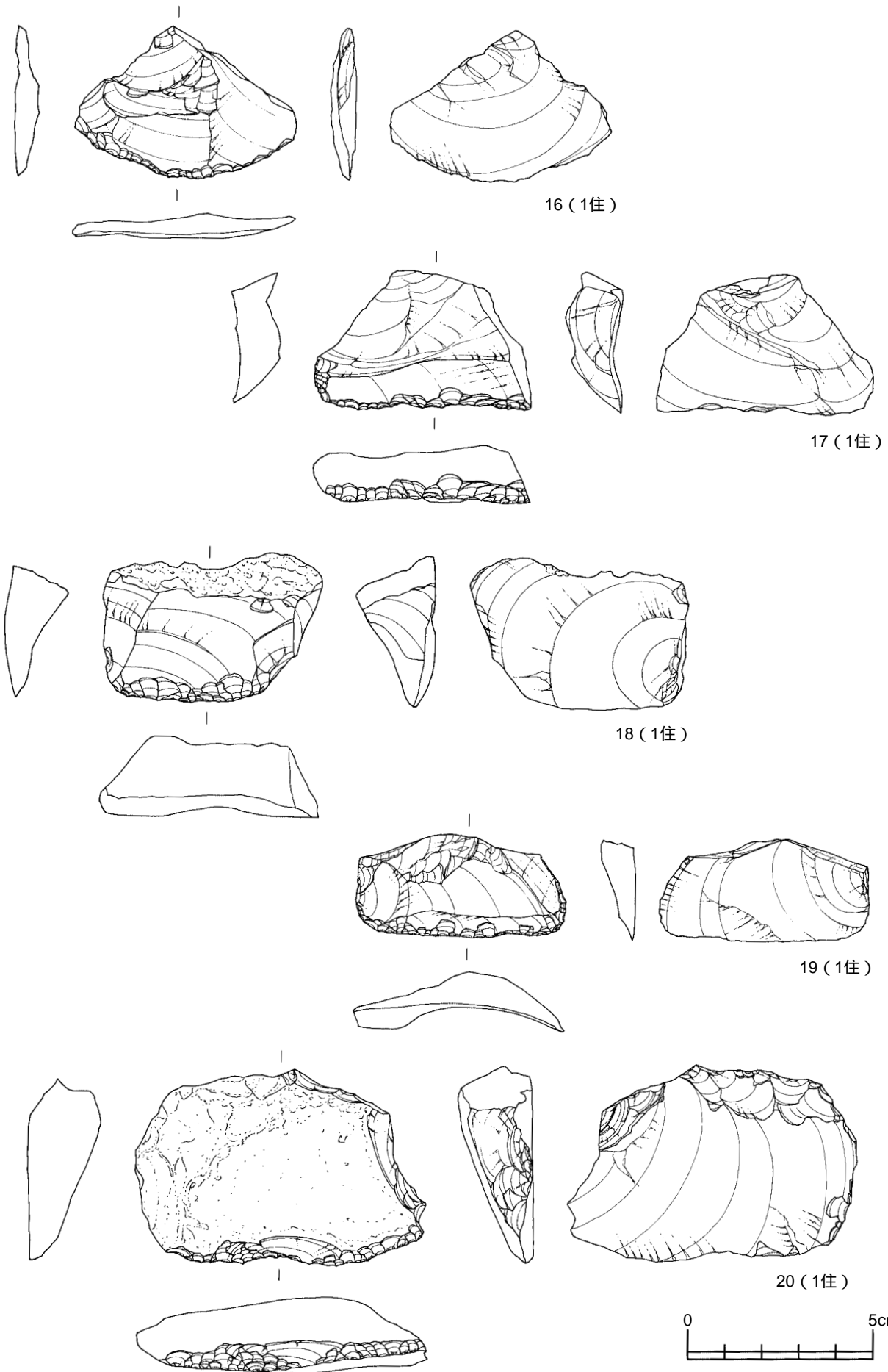
第71図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(54)



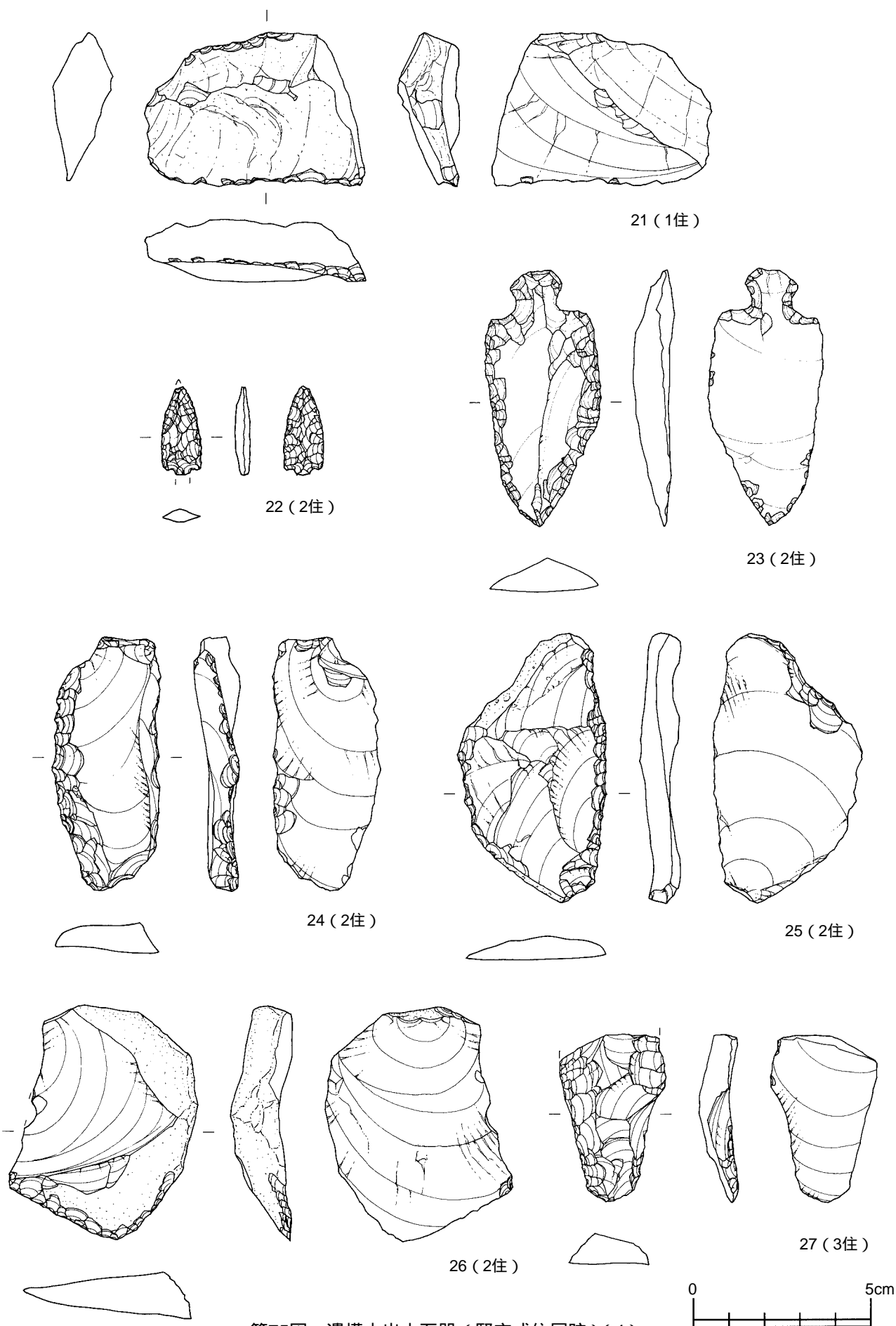
第72図 遺構内出土石器 (竪穴式住居跡)(1)



第73図 遺構内出土石器 (竪穴式住居跡)(2)

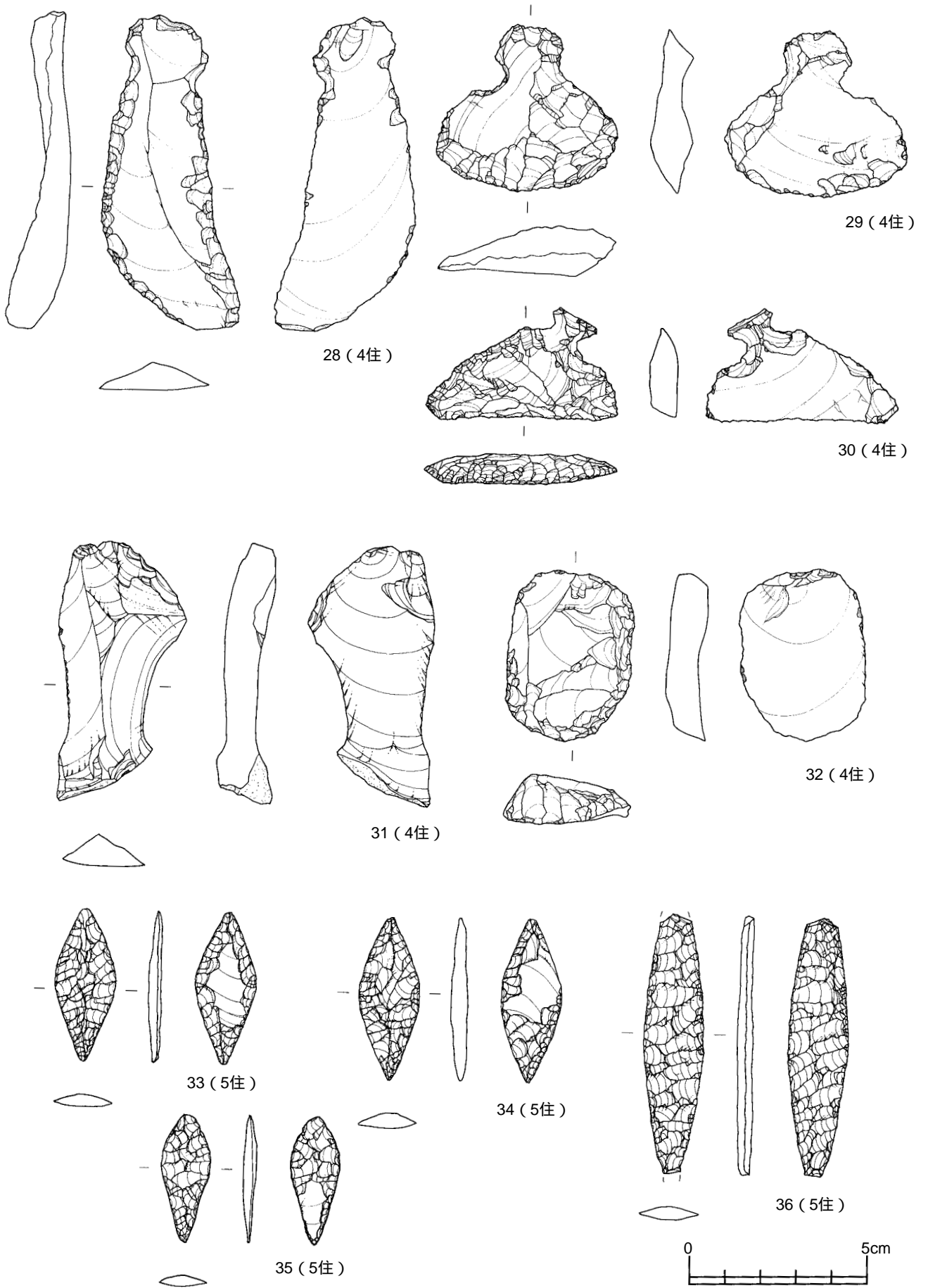


第74図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(3)

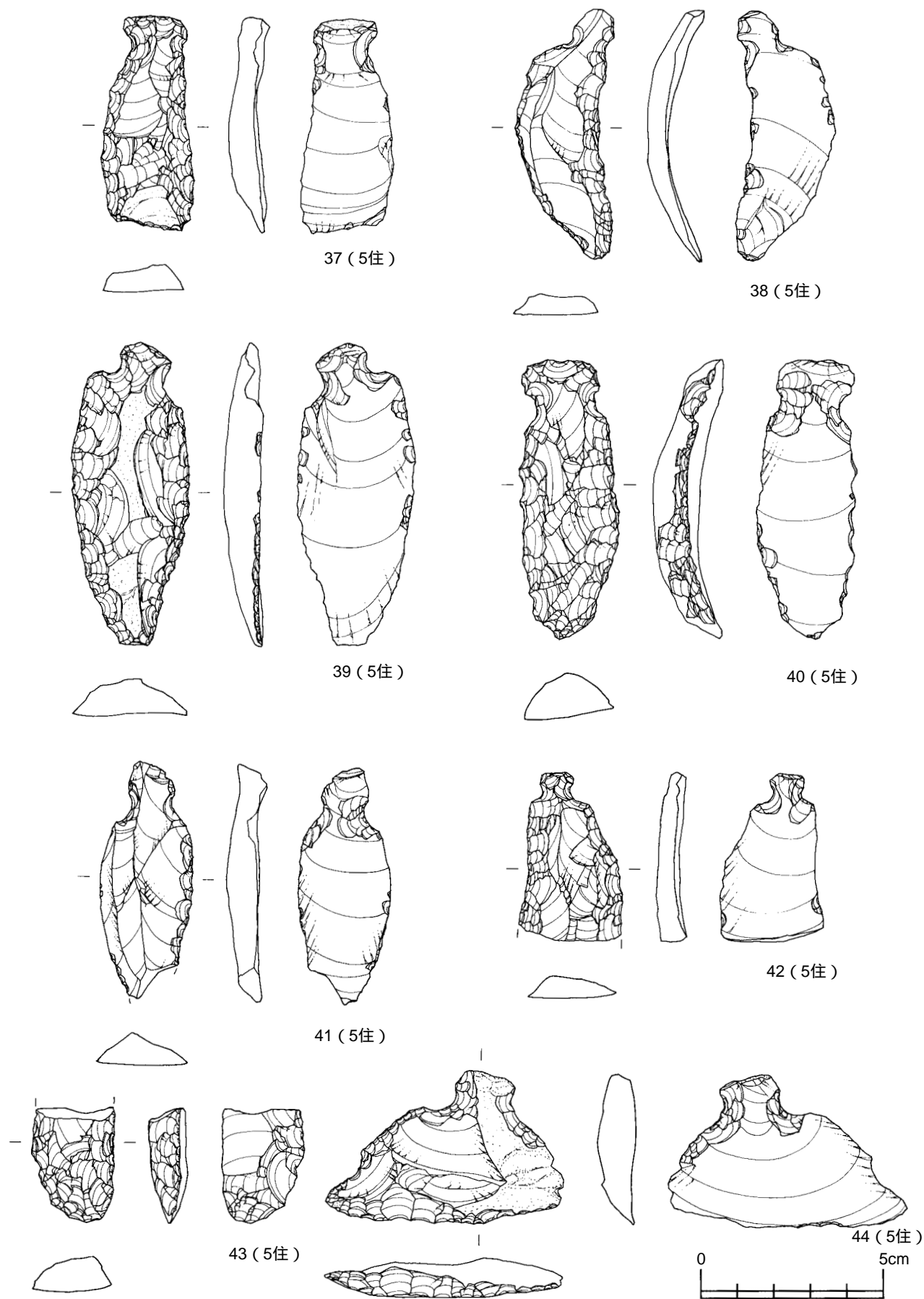


第75図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(4)

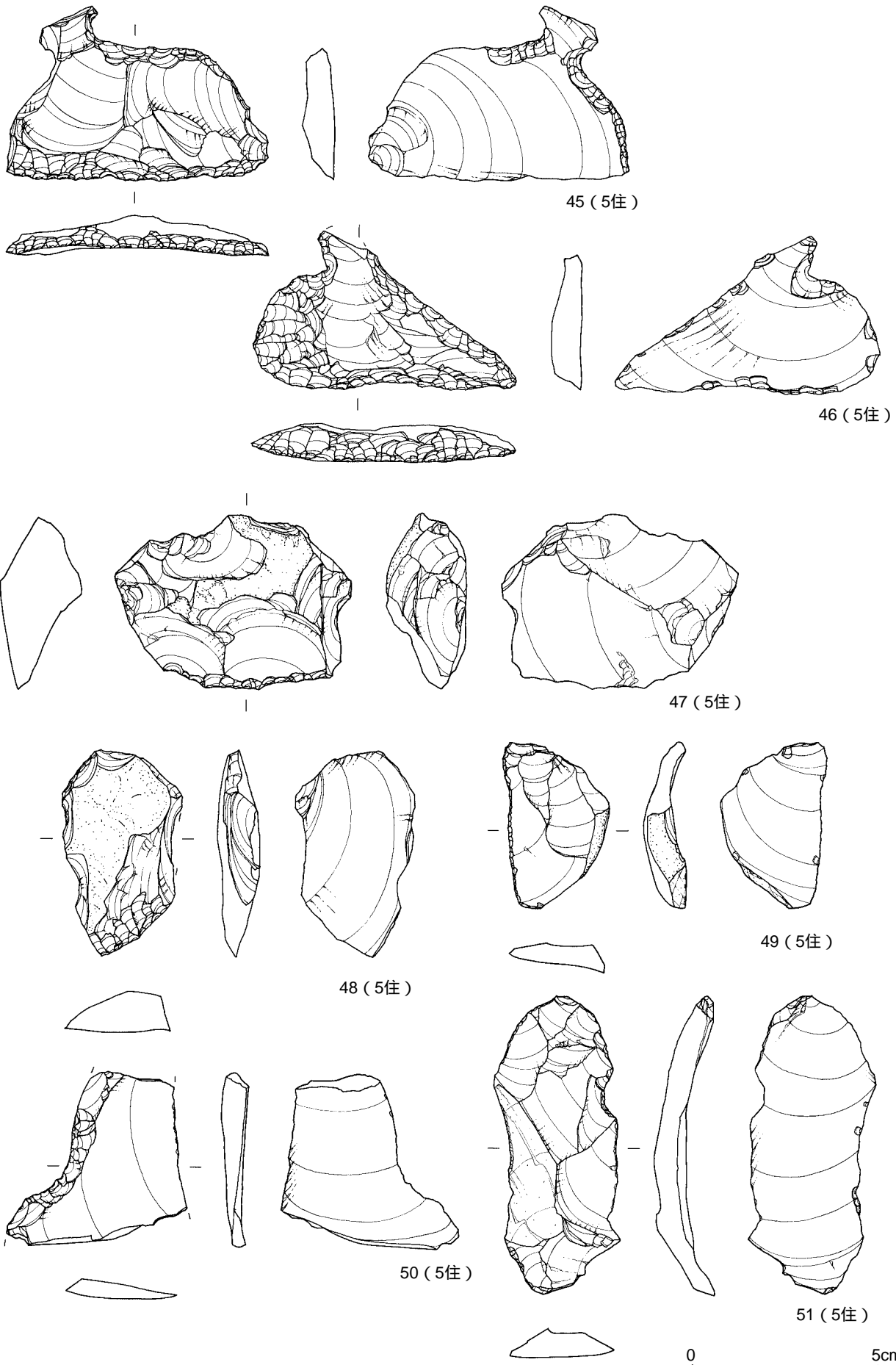




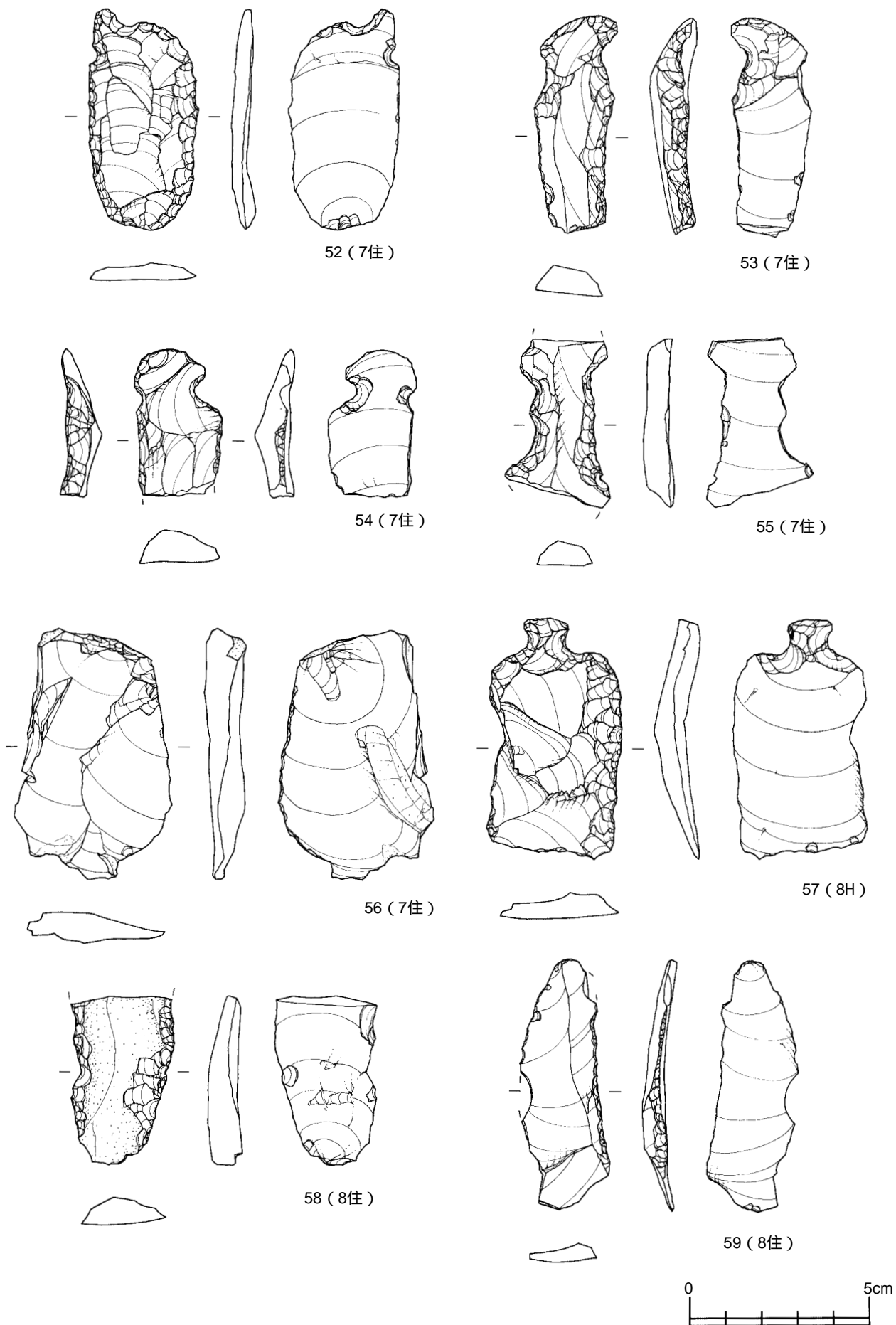
第76図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(5)



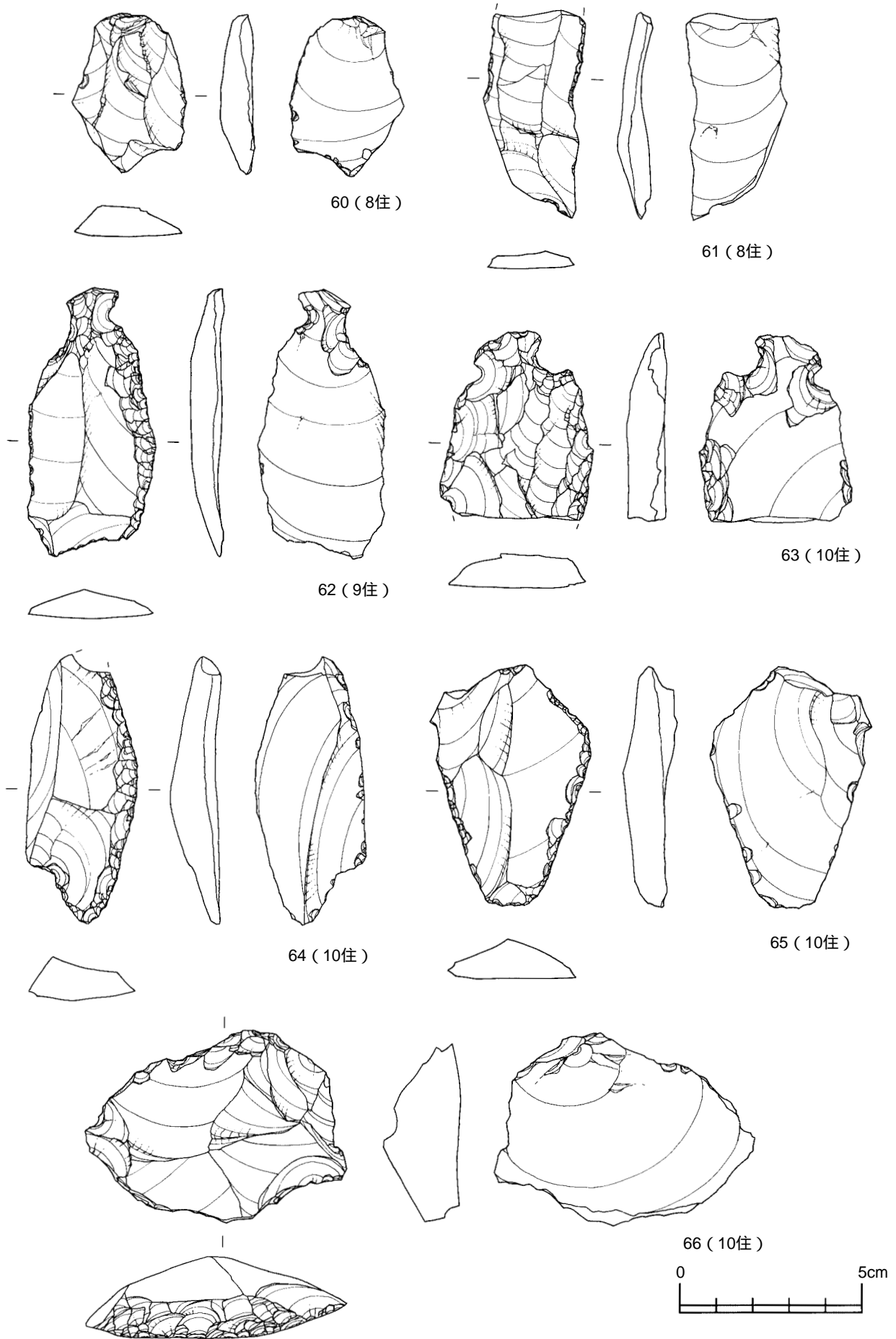
第77図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(6)



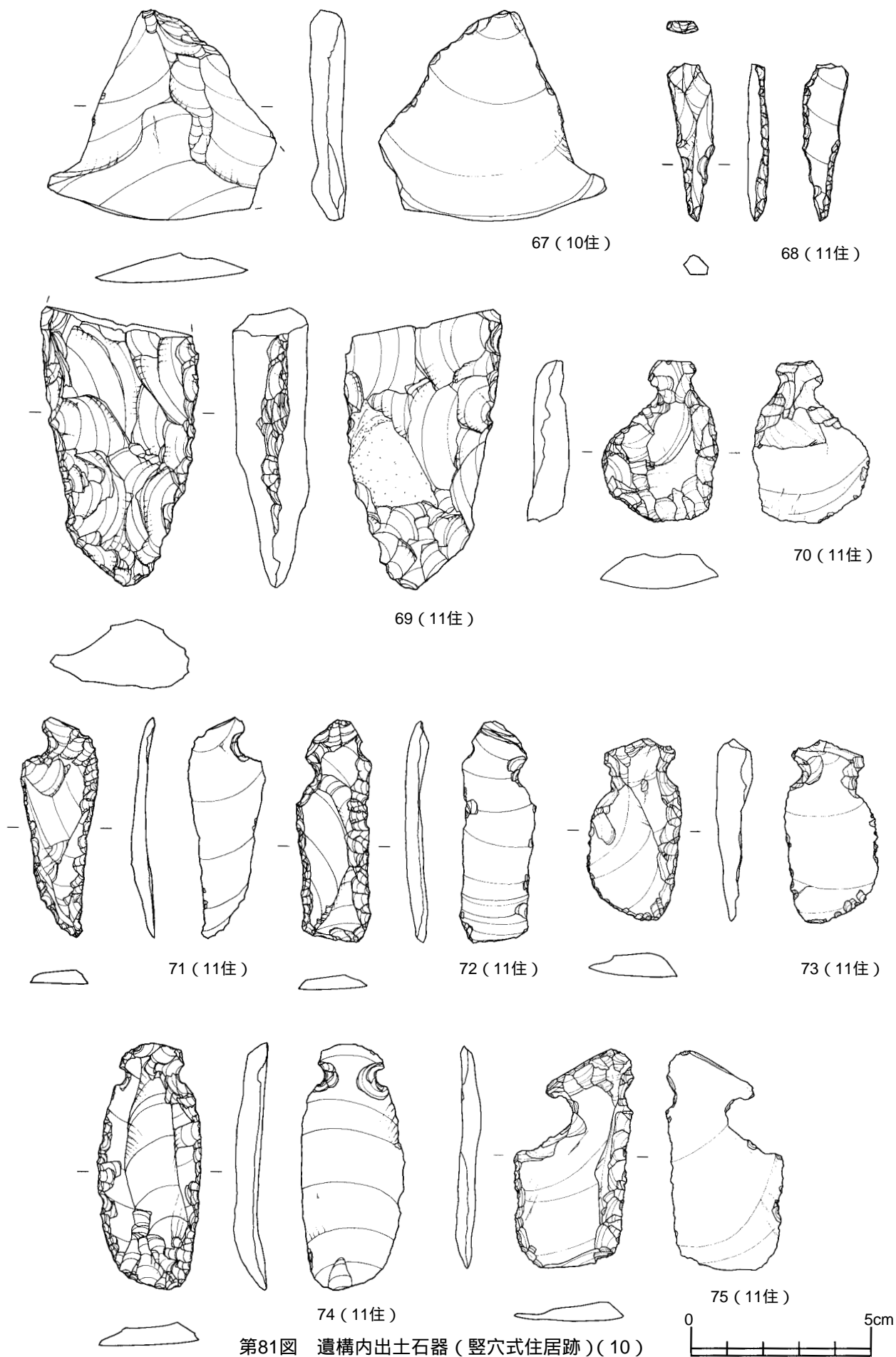
第78図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(7)

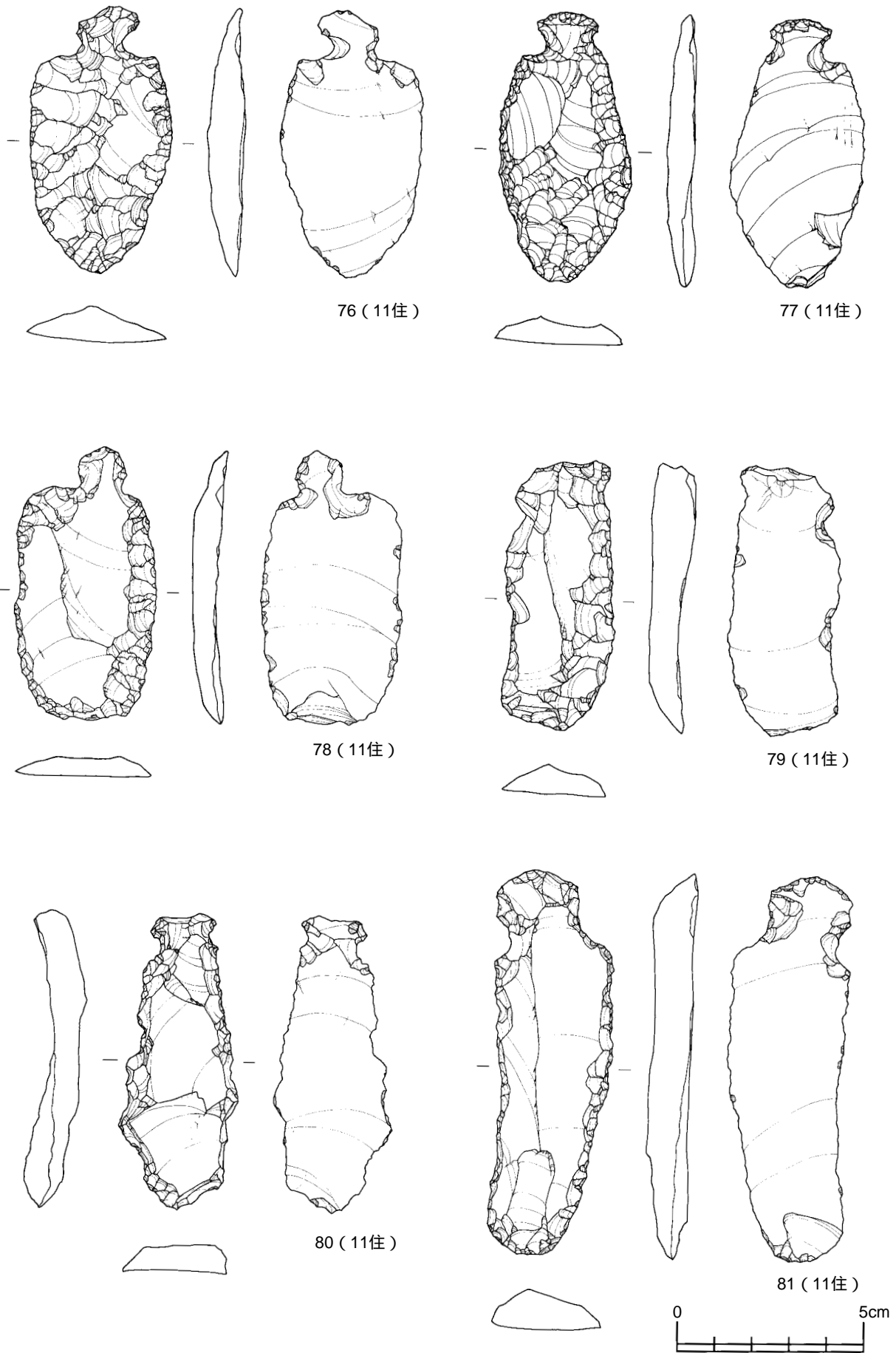


第79図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(8)

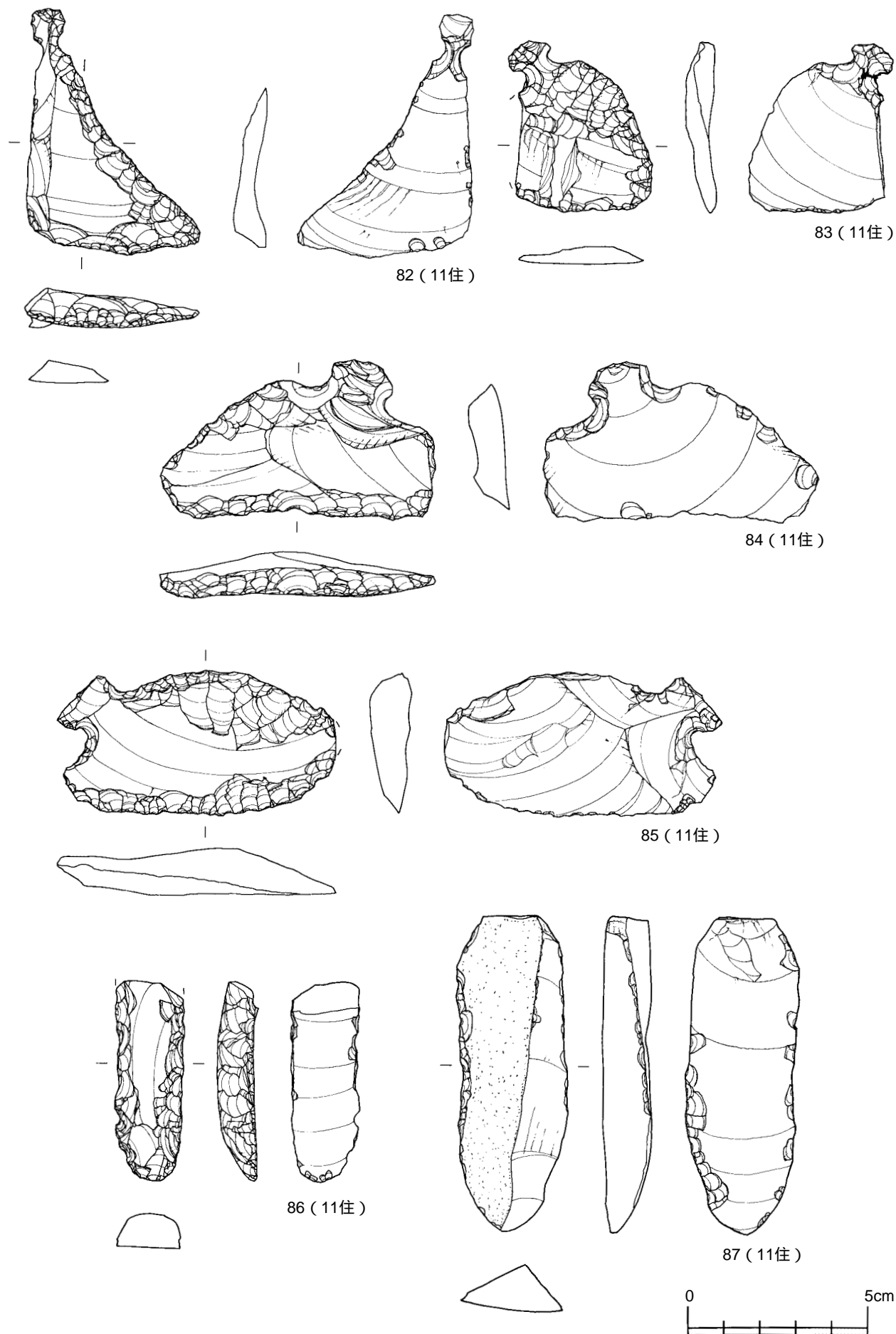


第80図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(9)



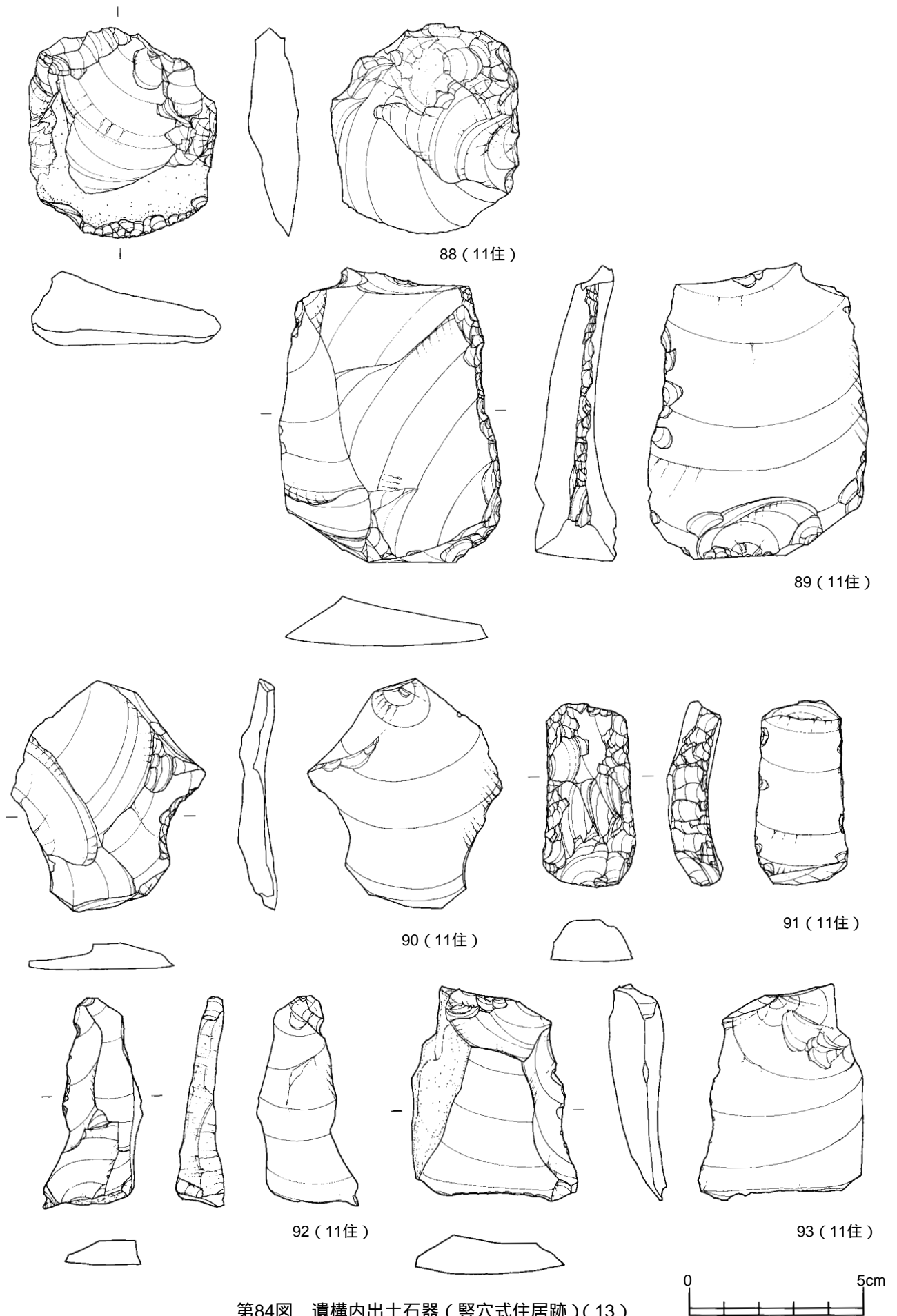


第82図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(11)

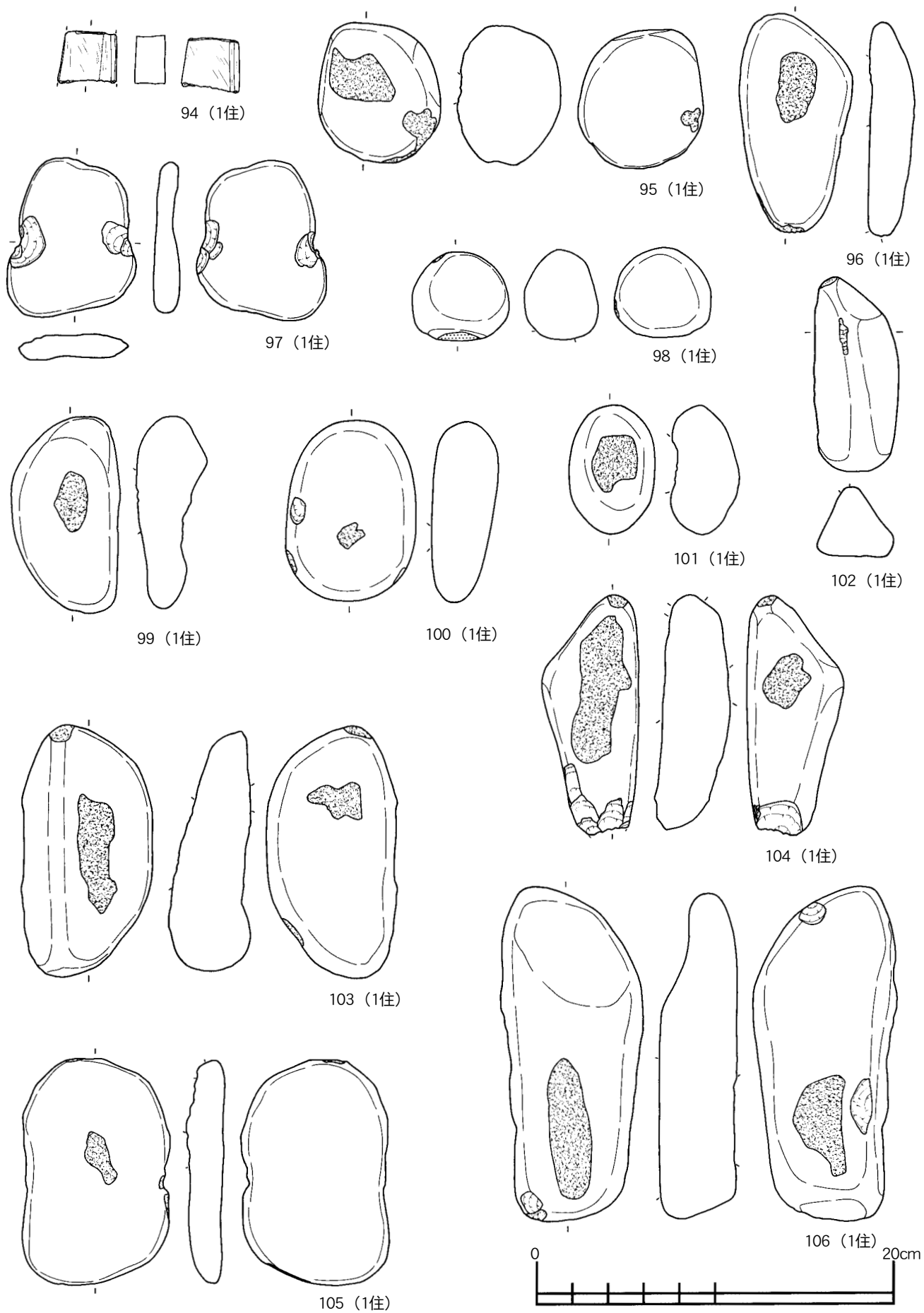


第83図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(12)

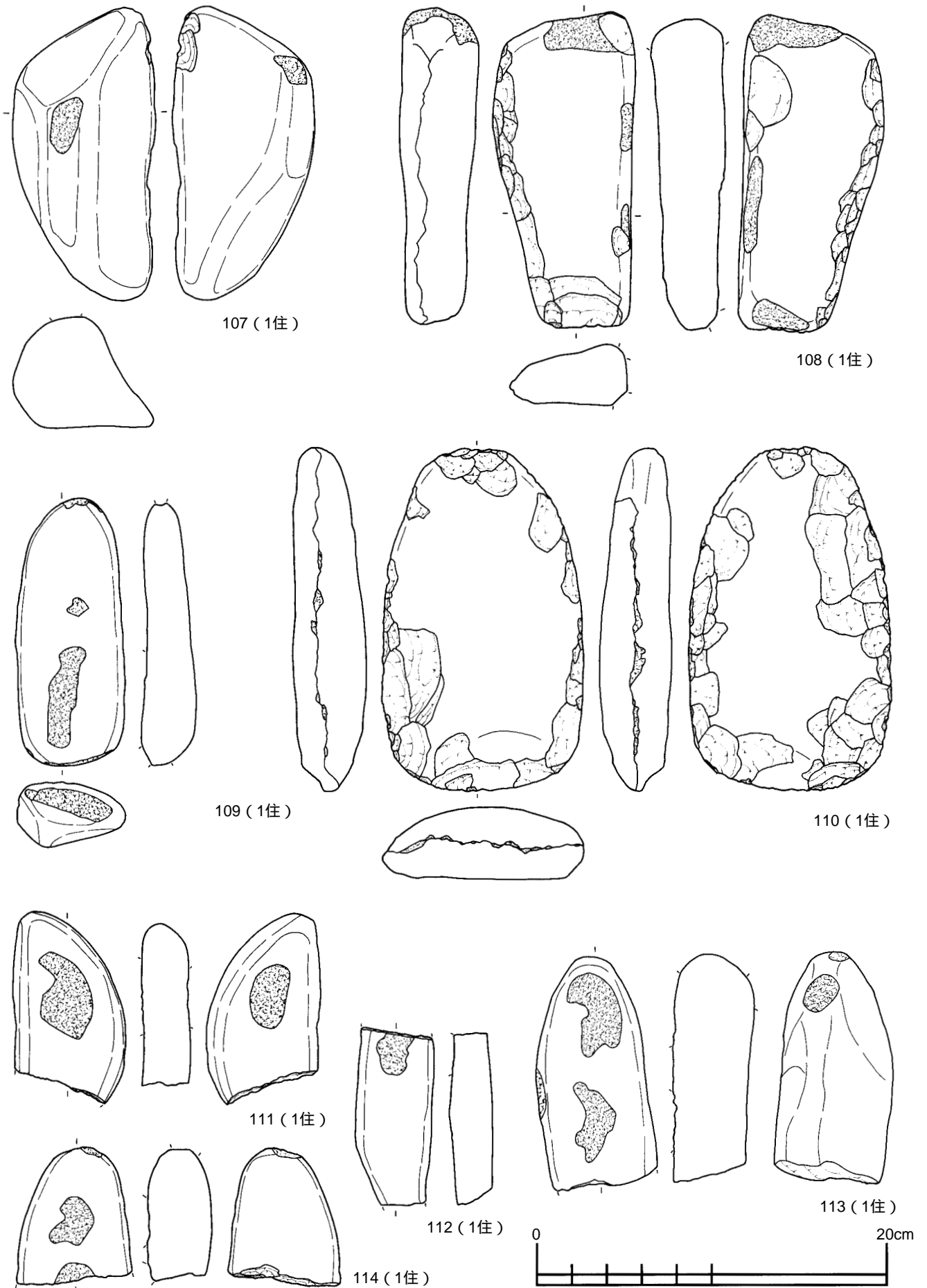




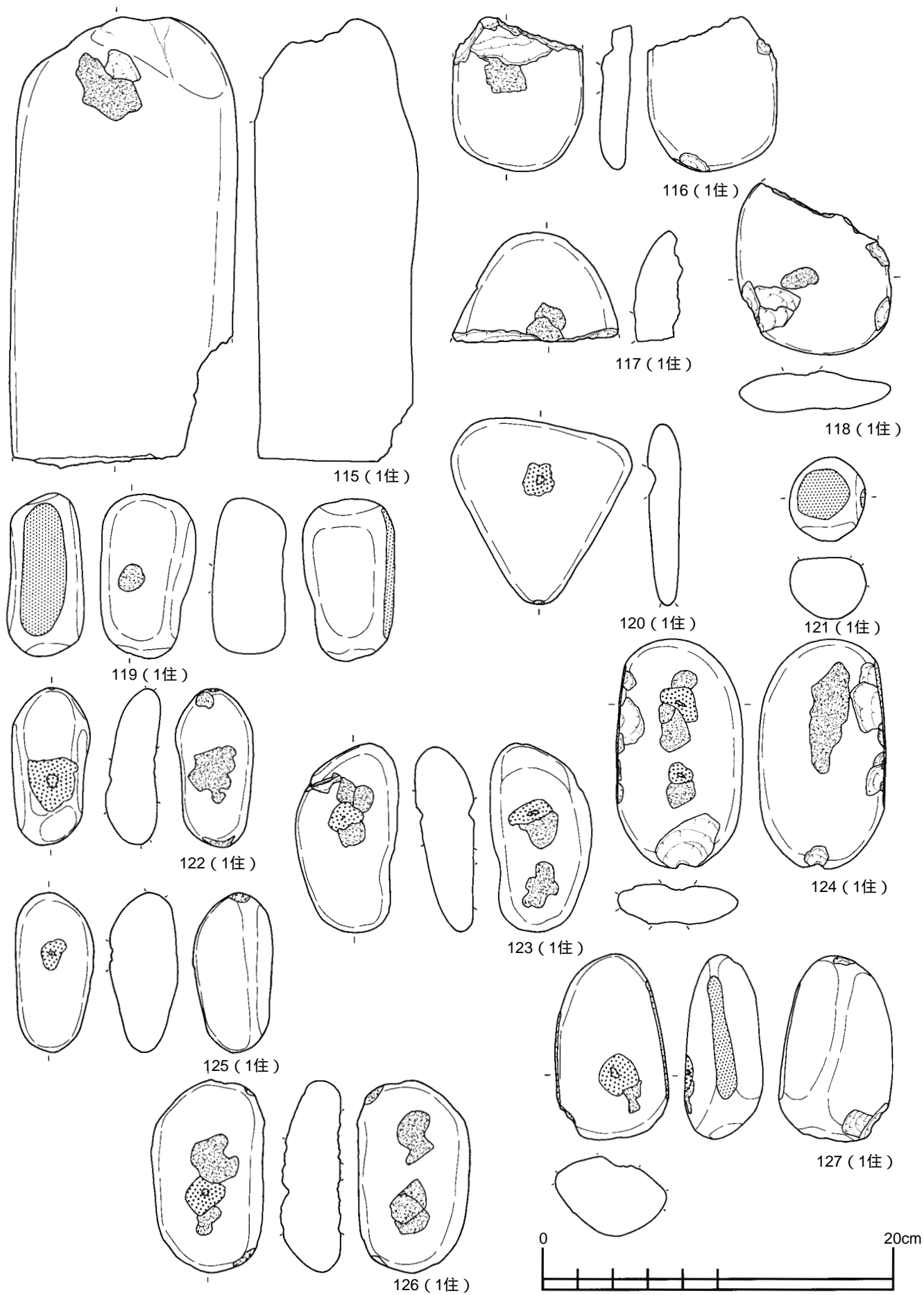
第84図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(13)



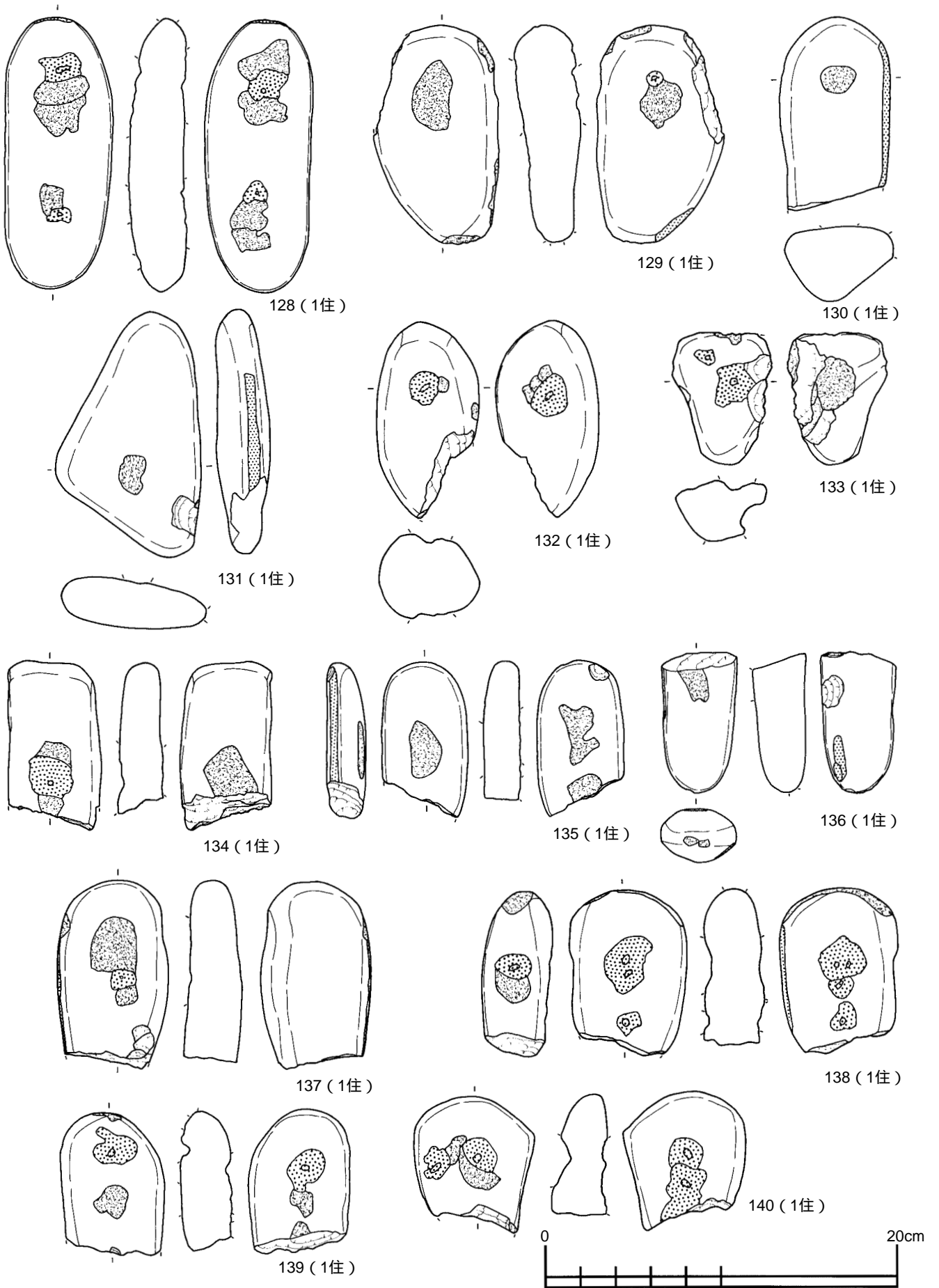
第85図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(14)



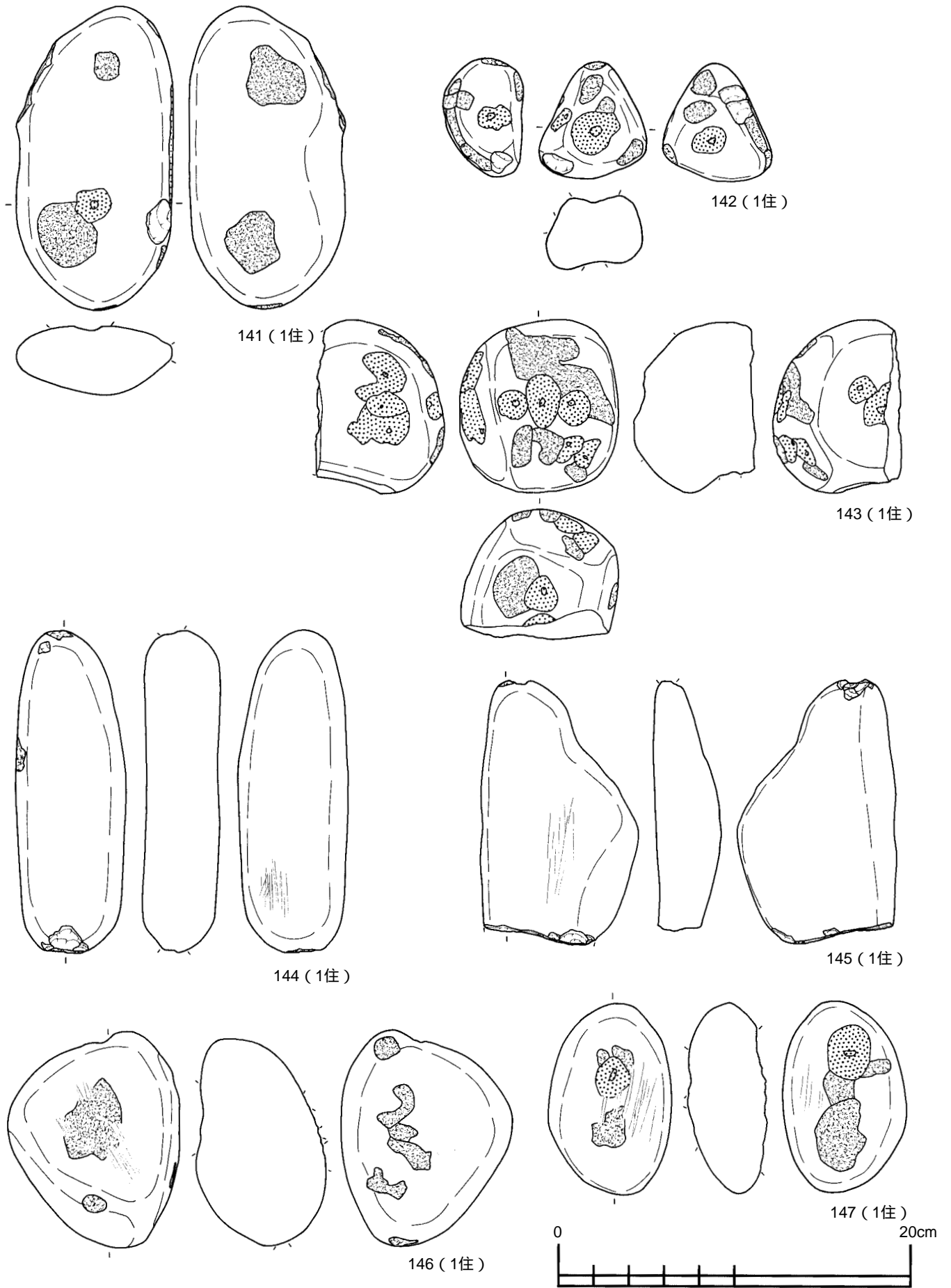
第86図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(15)



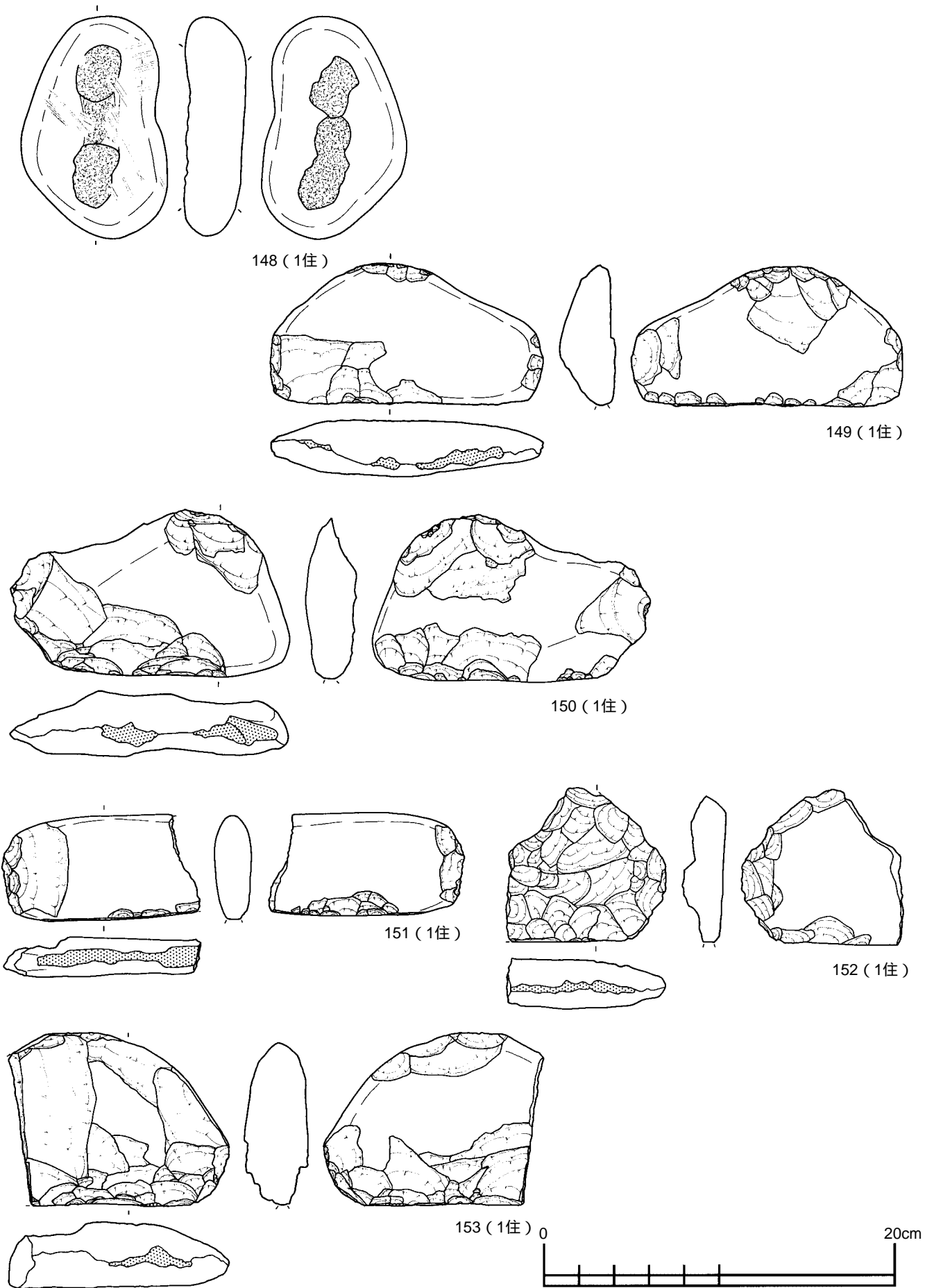
第87図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(16)



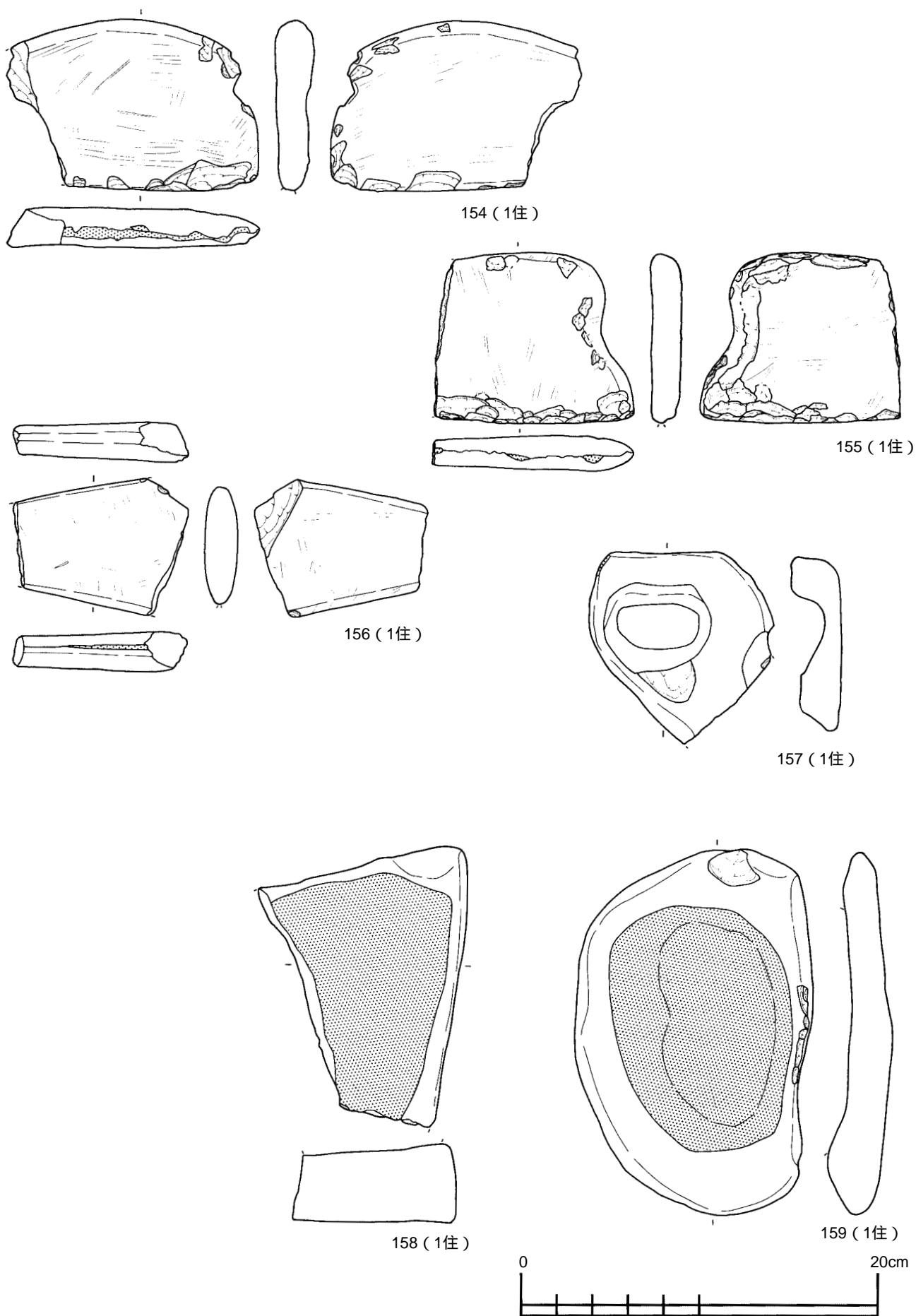
第88図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(17)



第89図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(18)

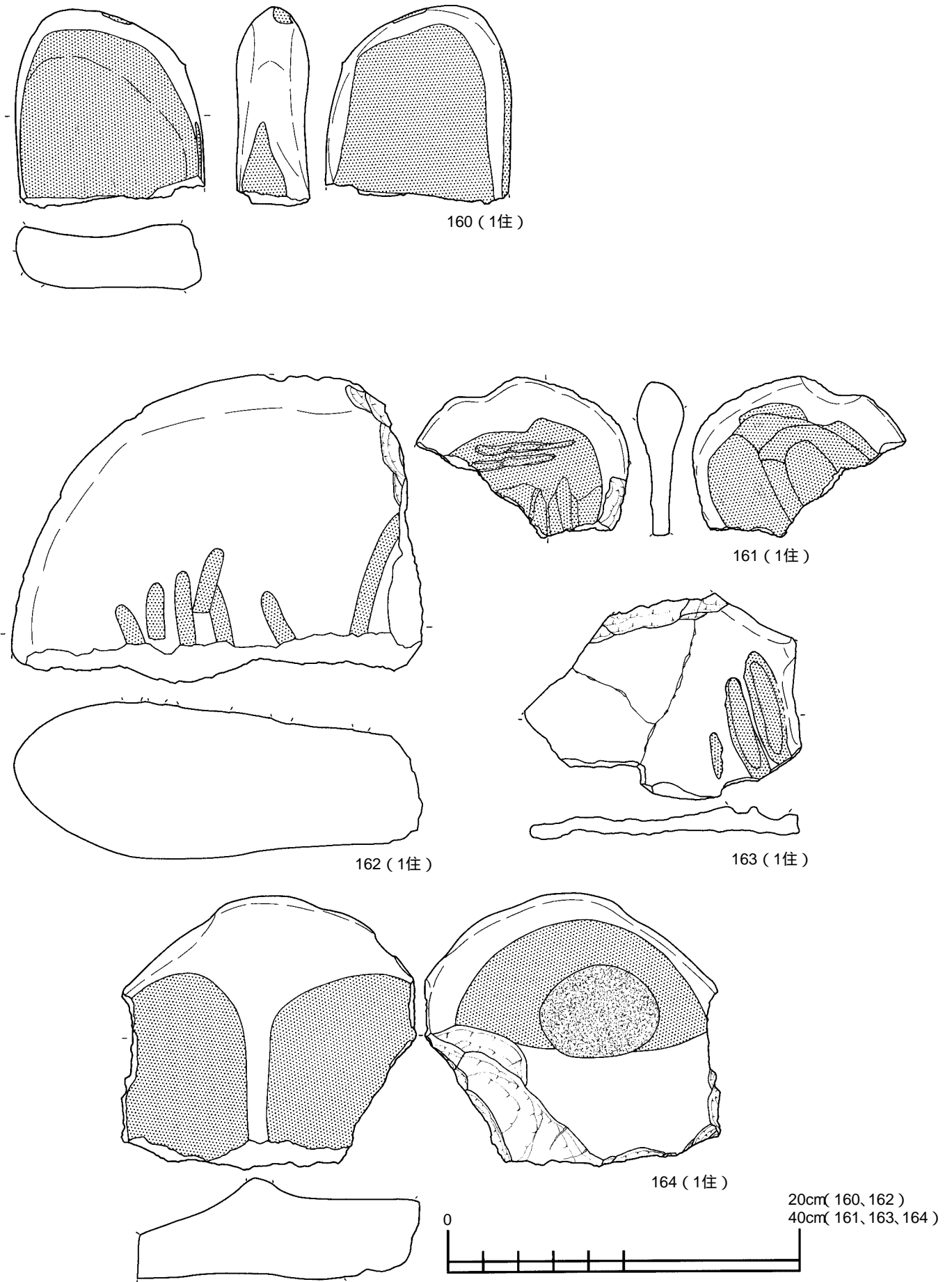


第90図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(19)

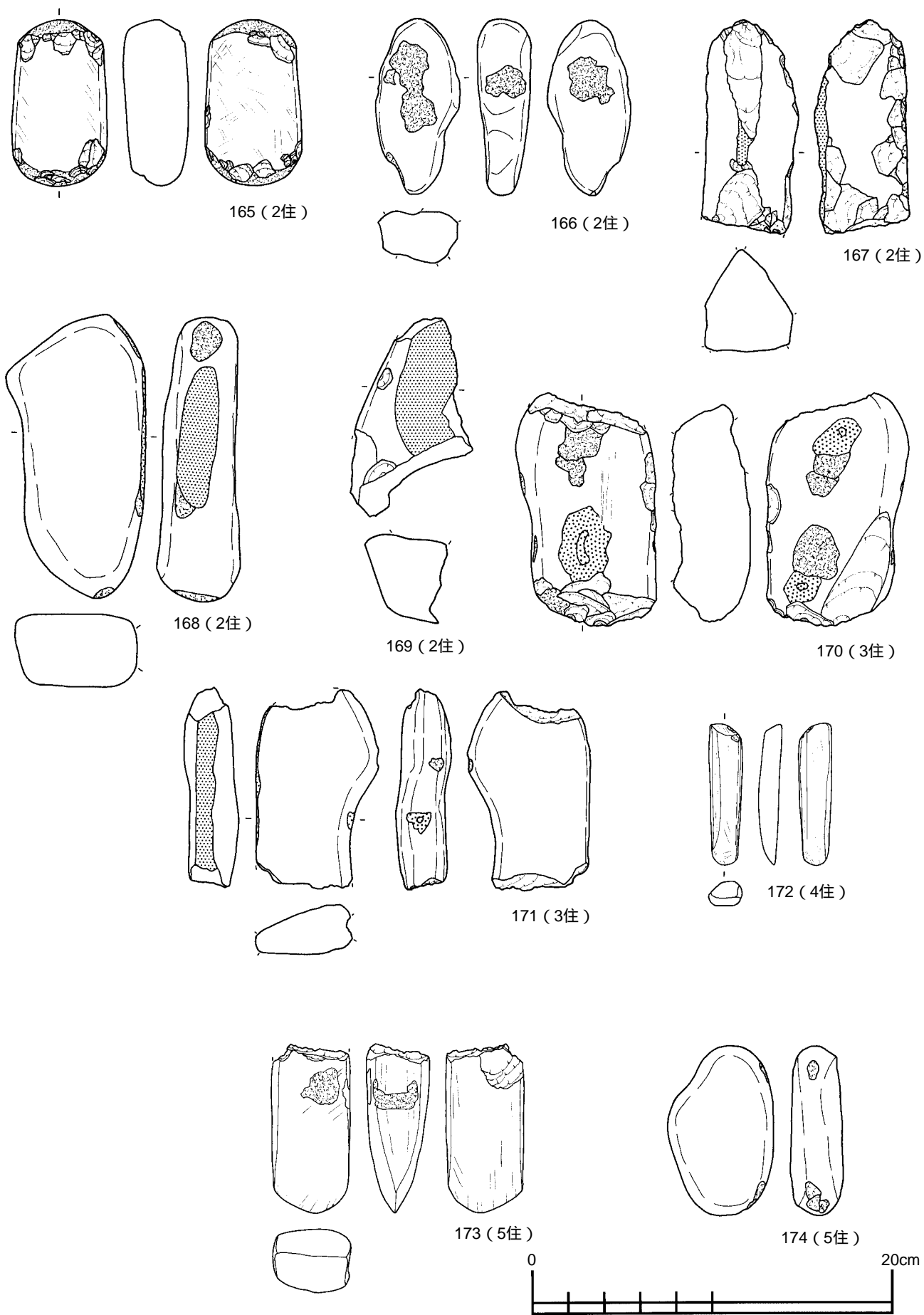


第91図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(20)

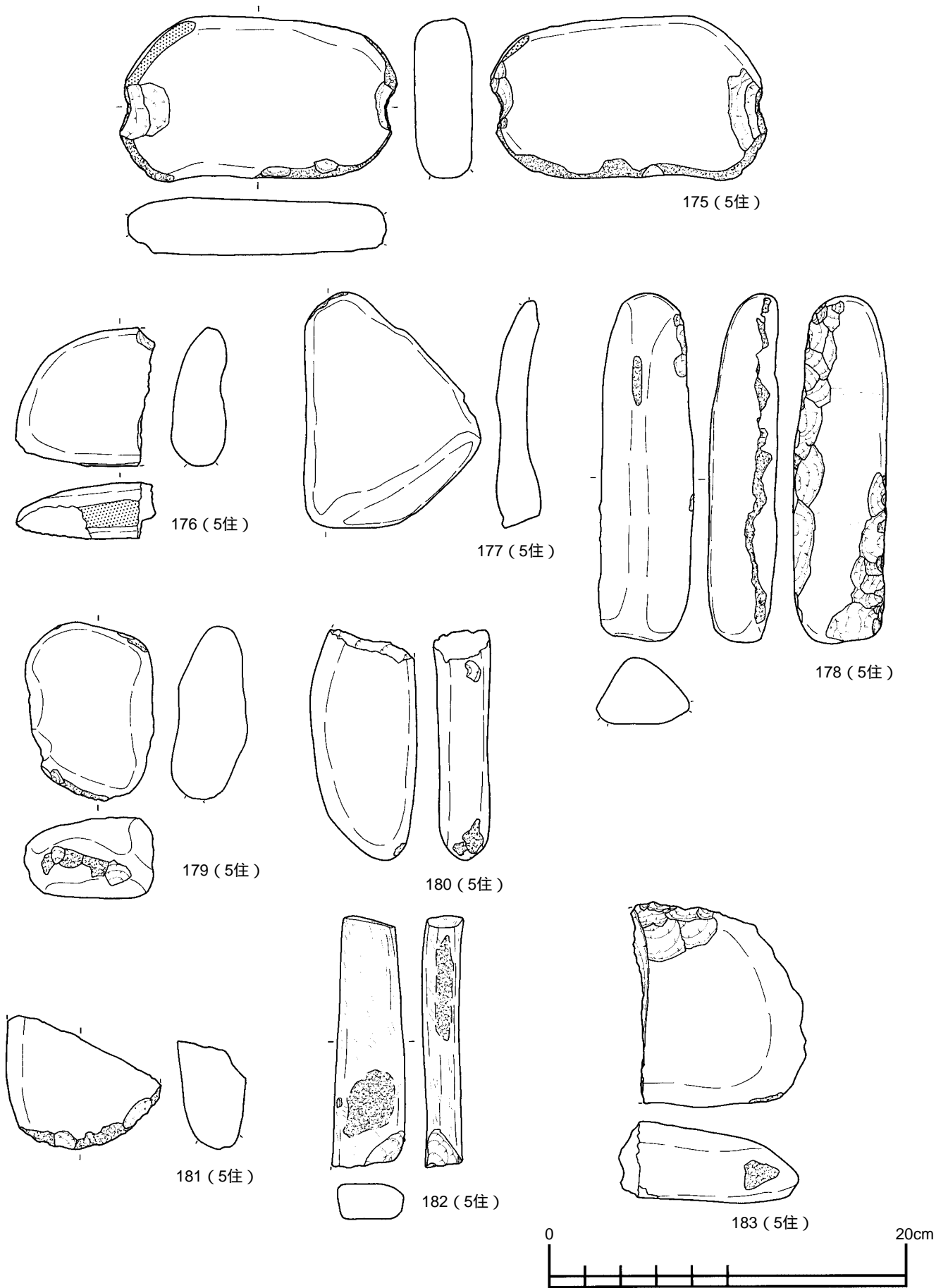




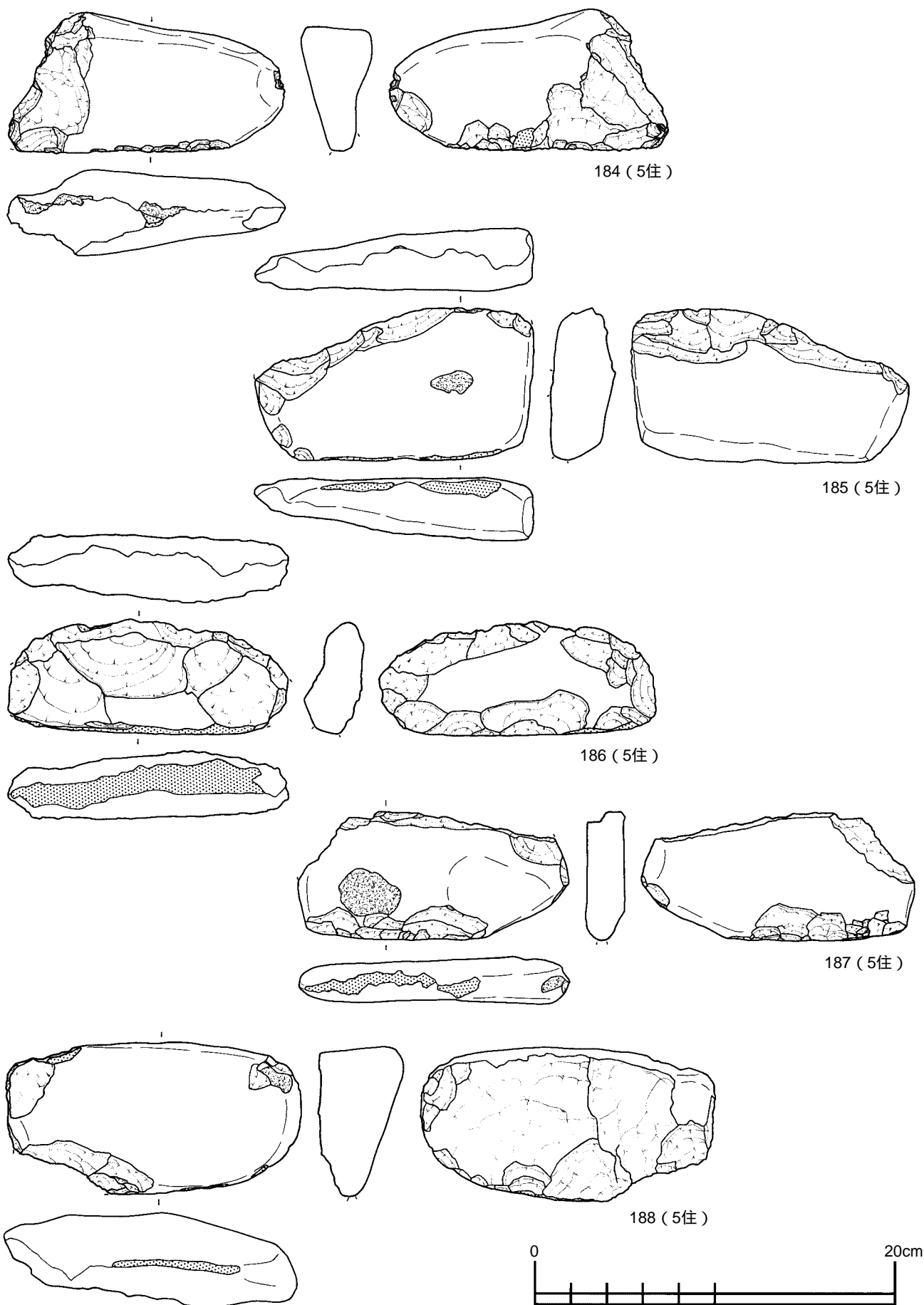
第92図 遺構内出土石器( 竪穴式住居跡 )( 21 )



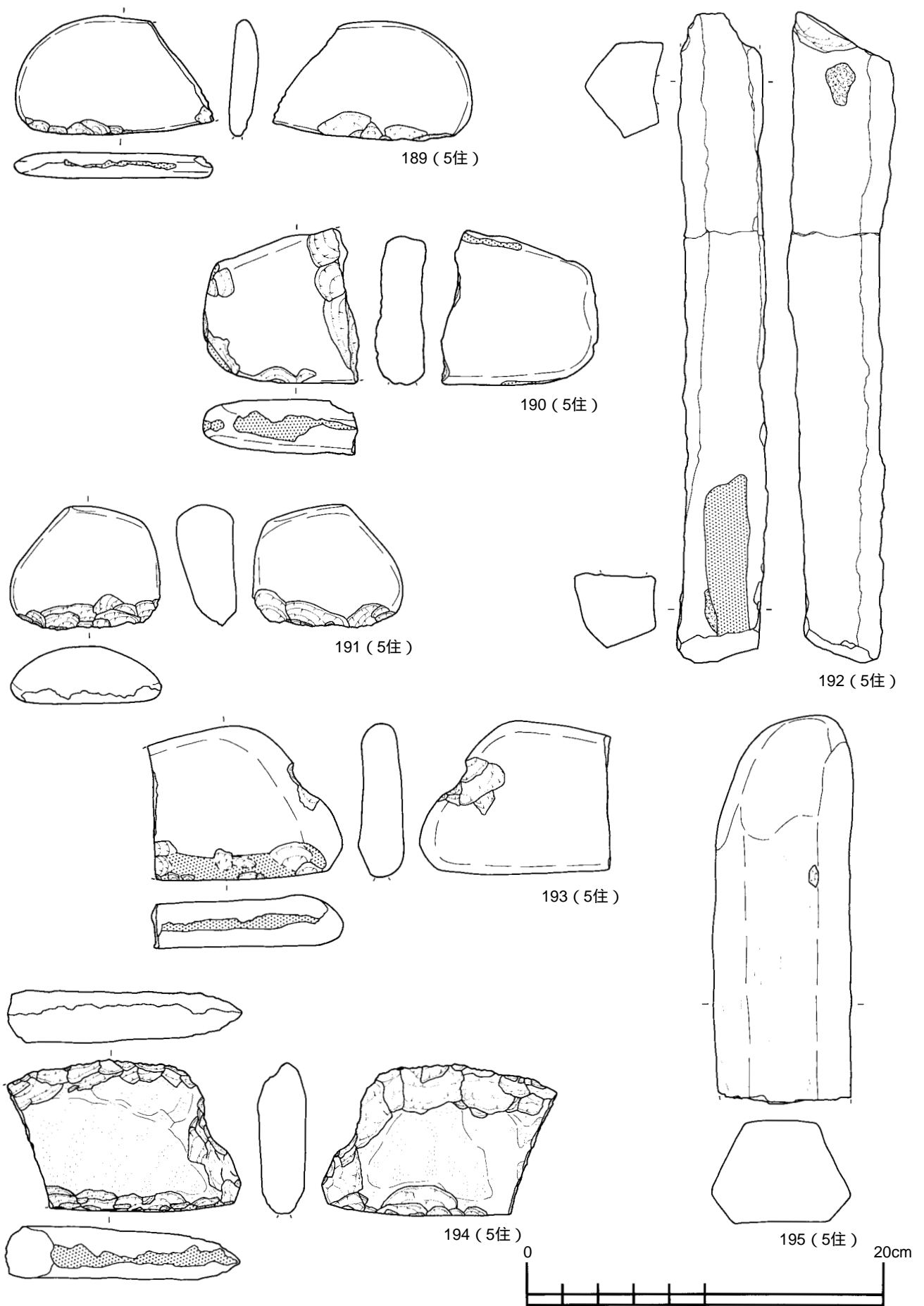
第93図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(22)



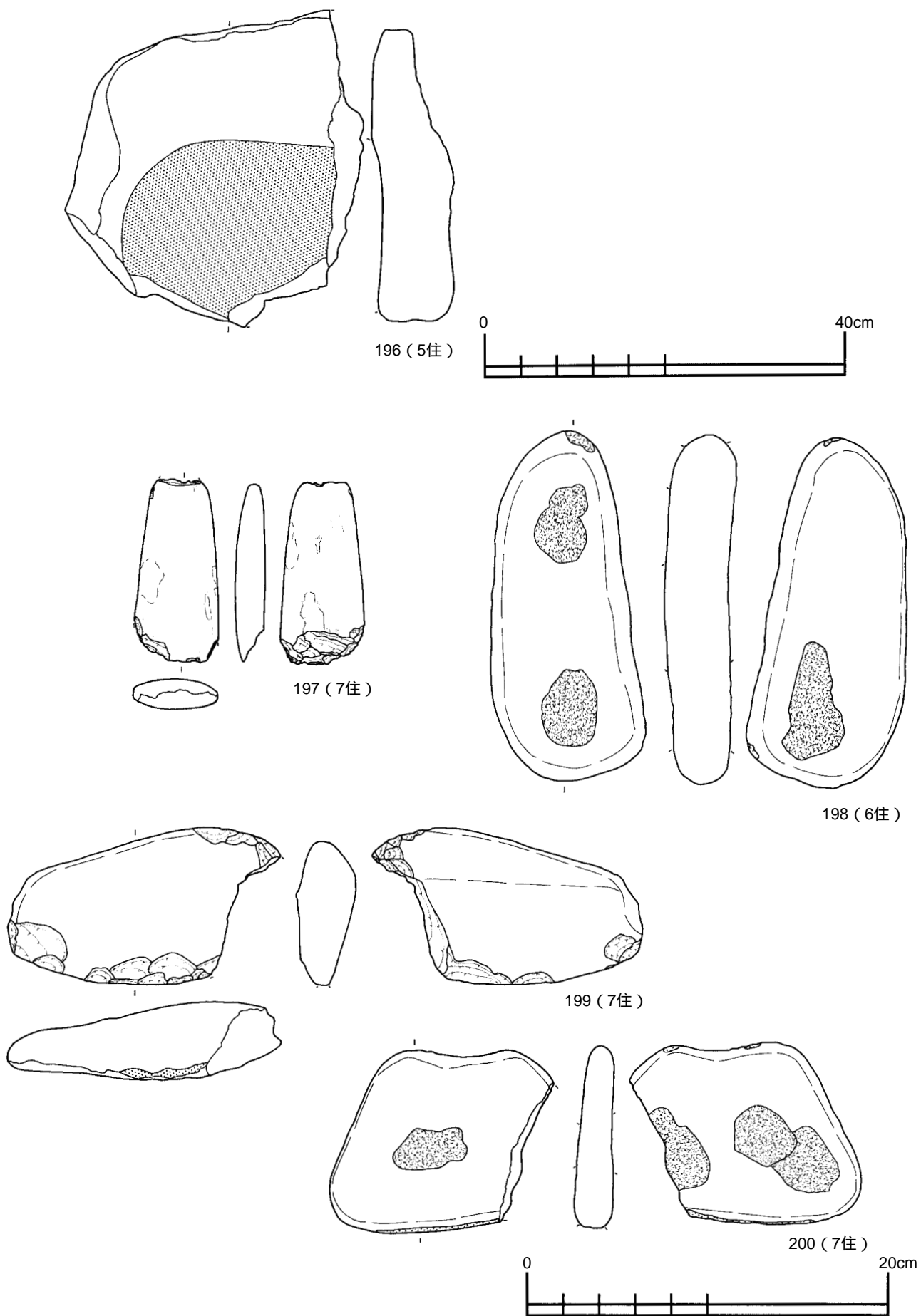
第94図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(23)



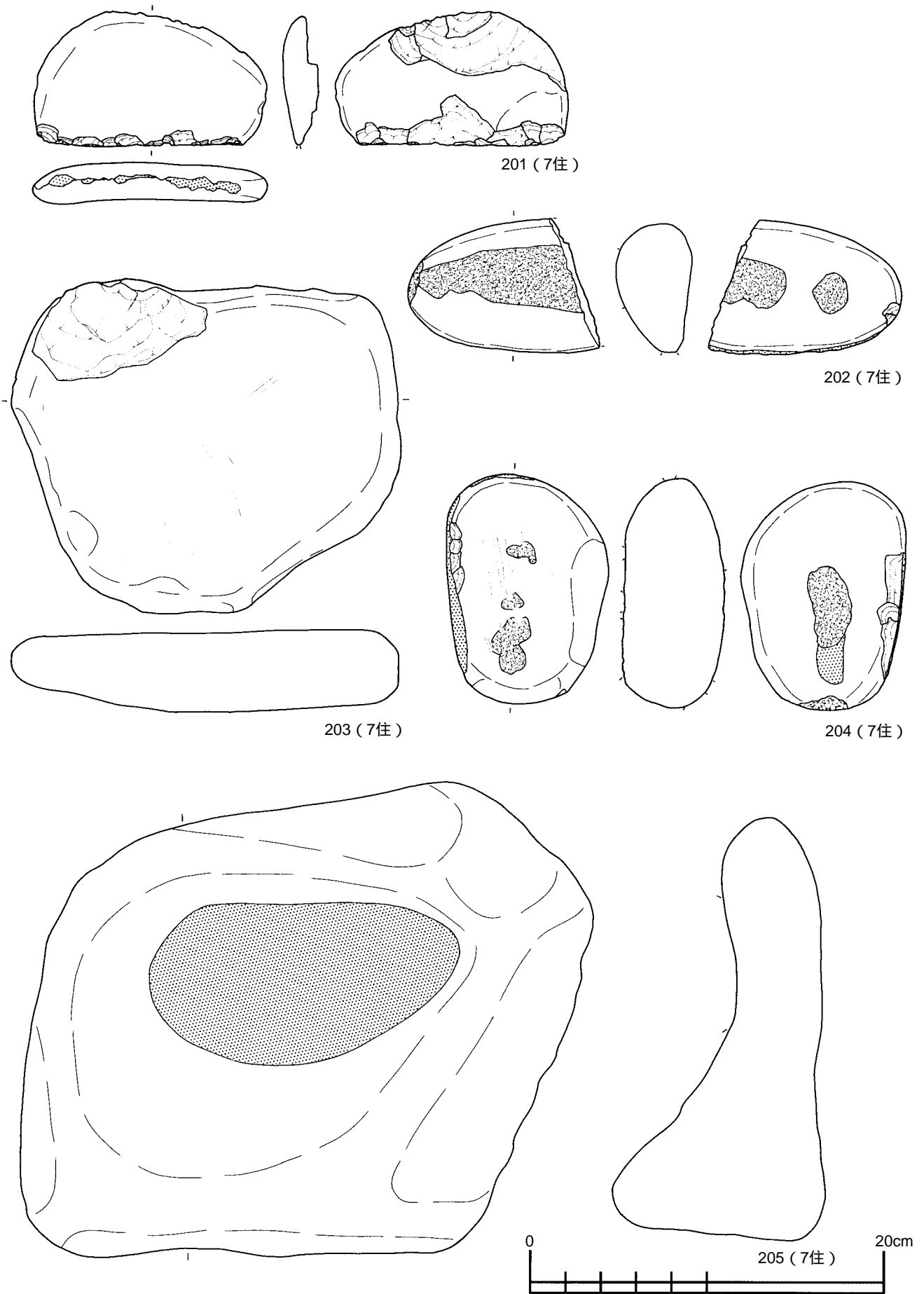
第95図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(24)



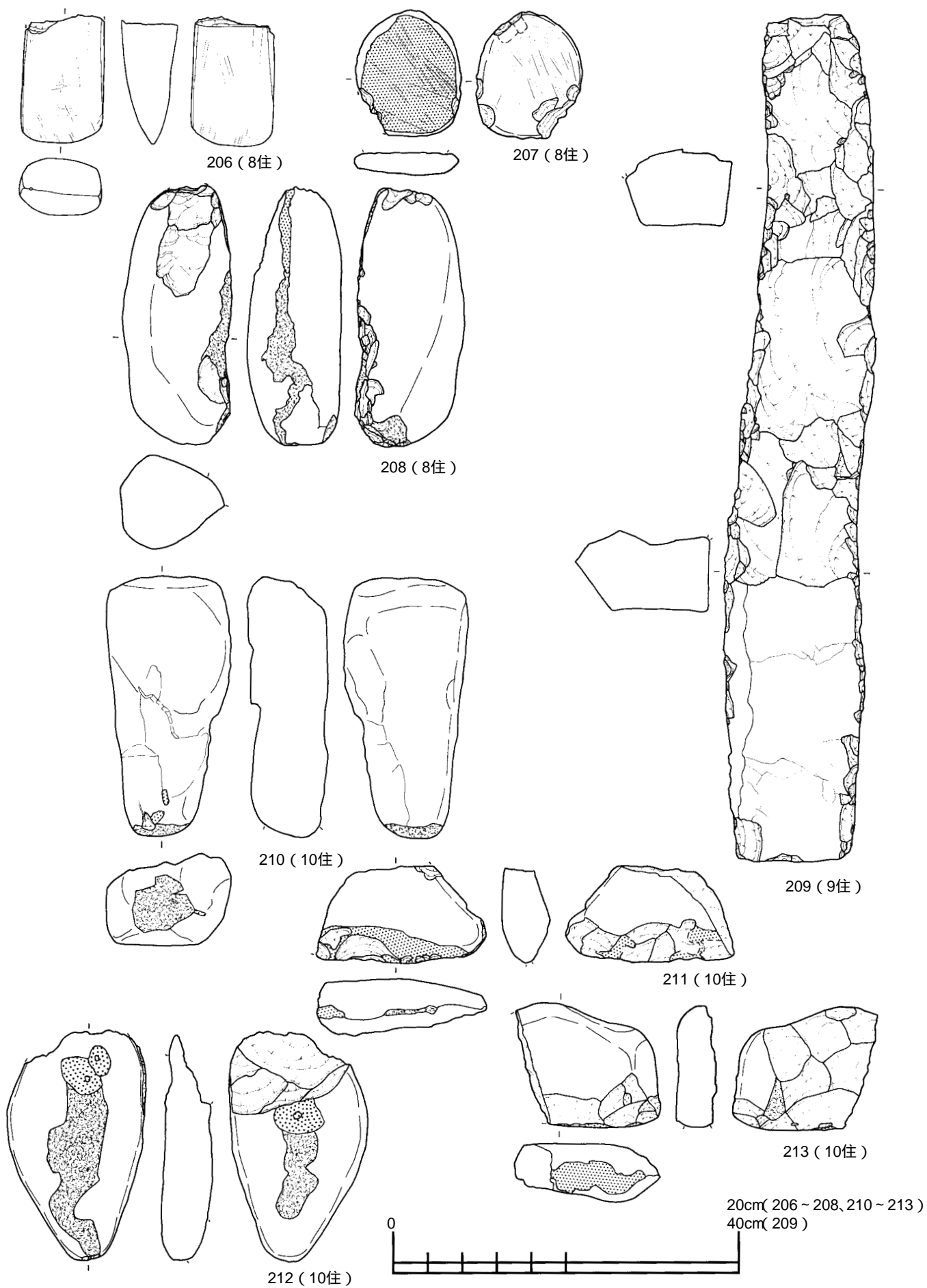
第96図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(25)



第97図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(26)

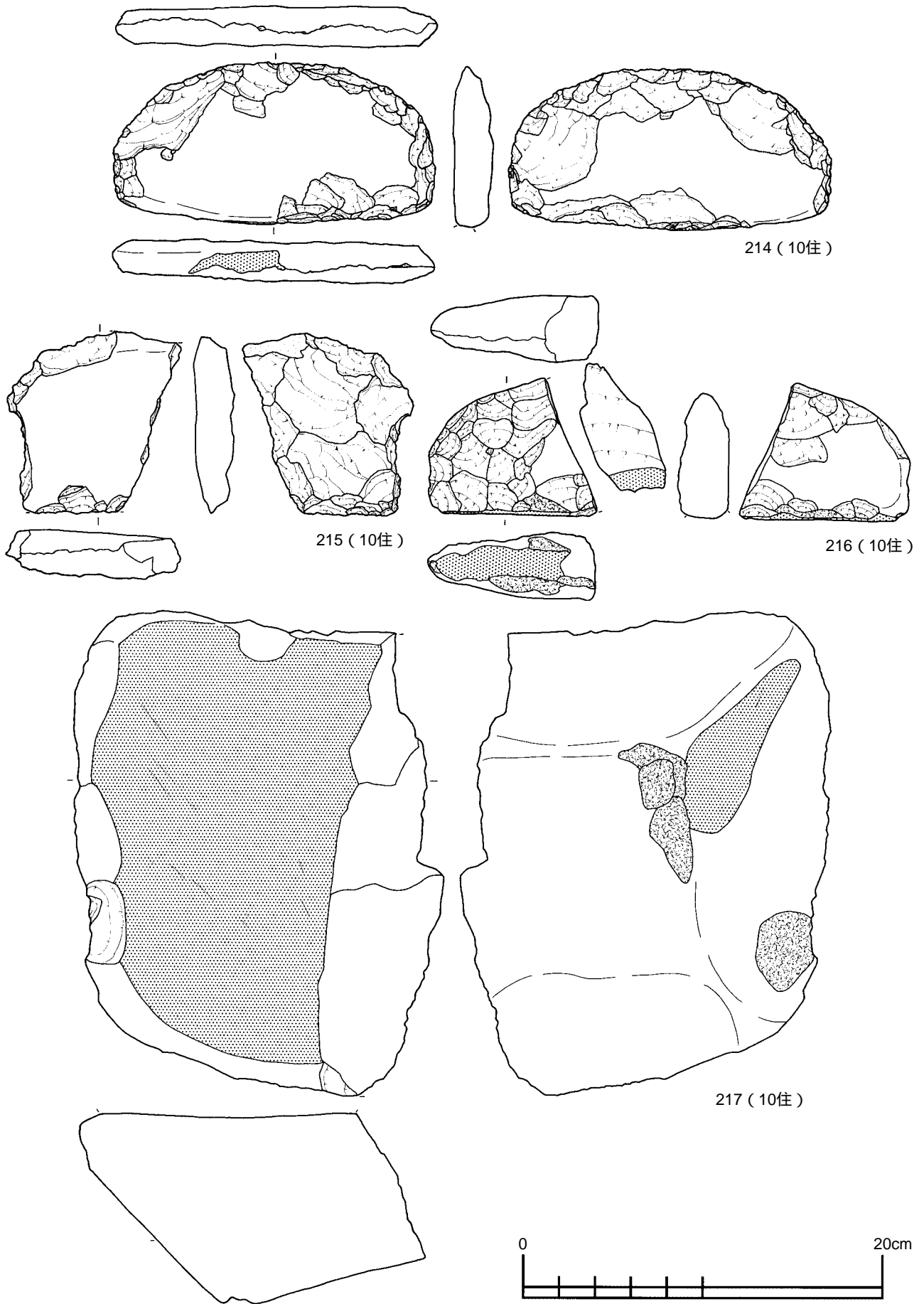


第98図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(27)

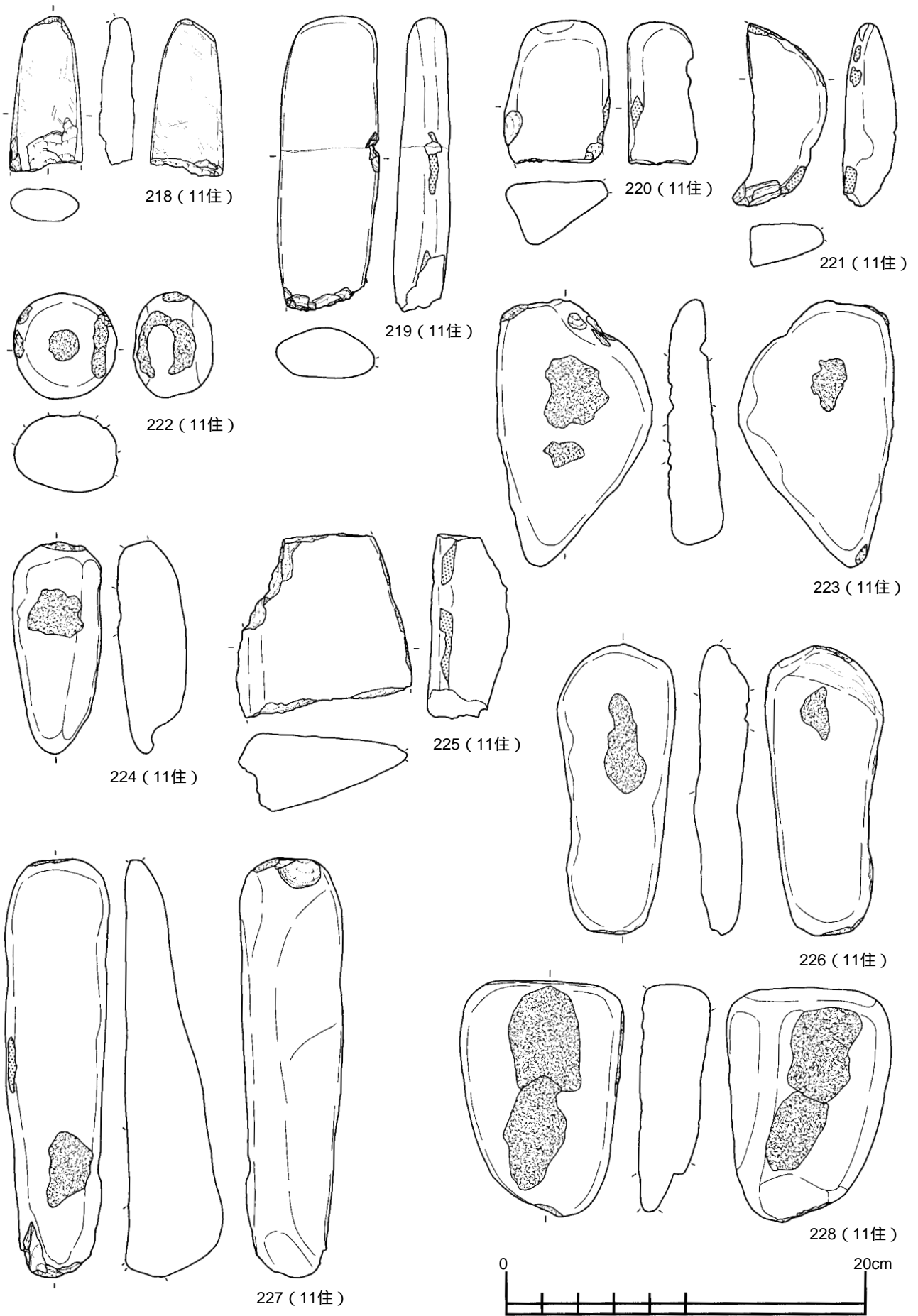


第99図 遺構内出土石器 ( 竪穴式住居跡 ) ( 28 )

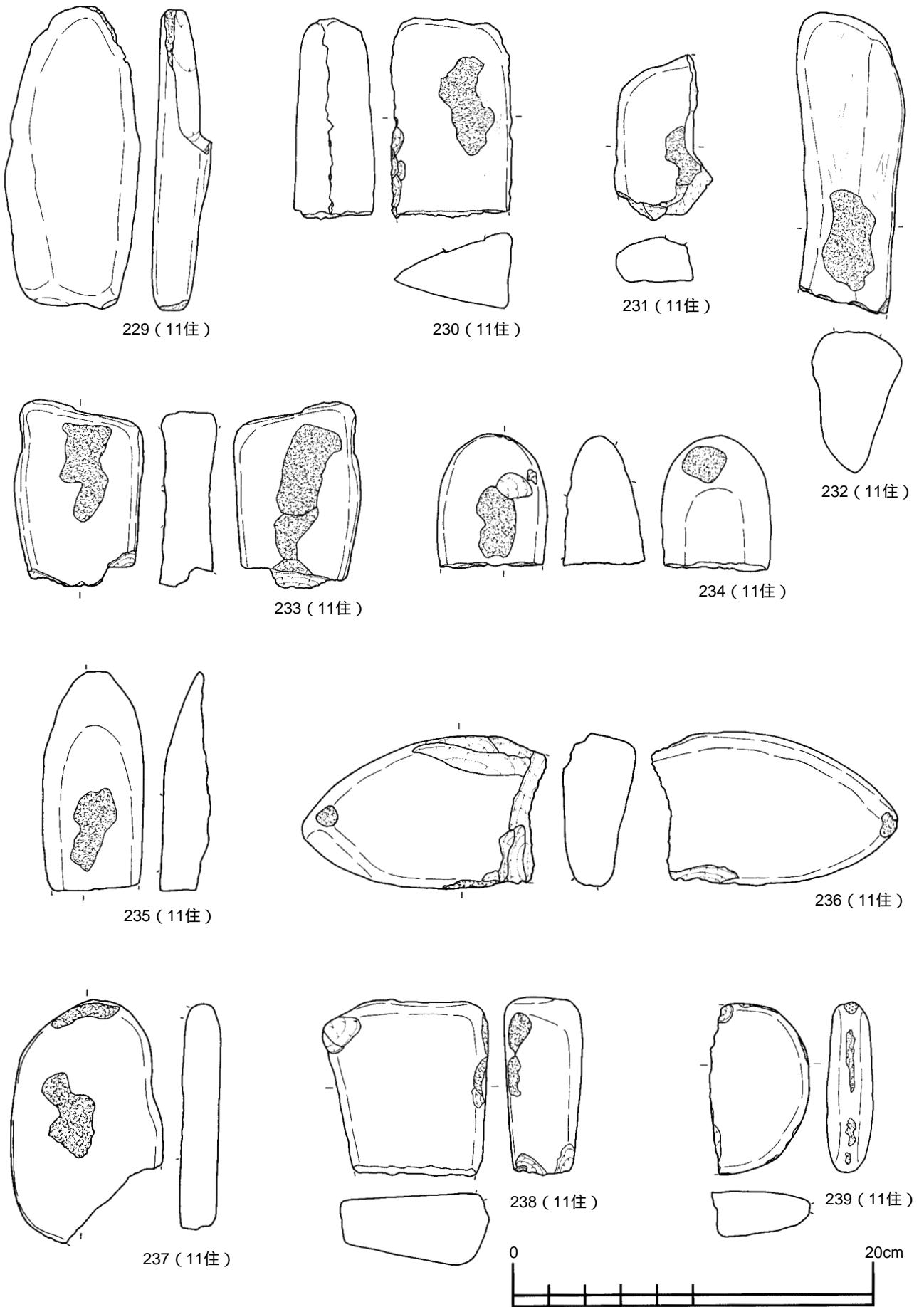




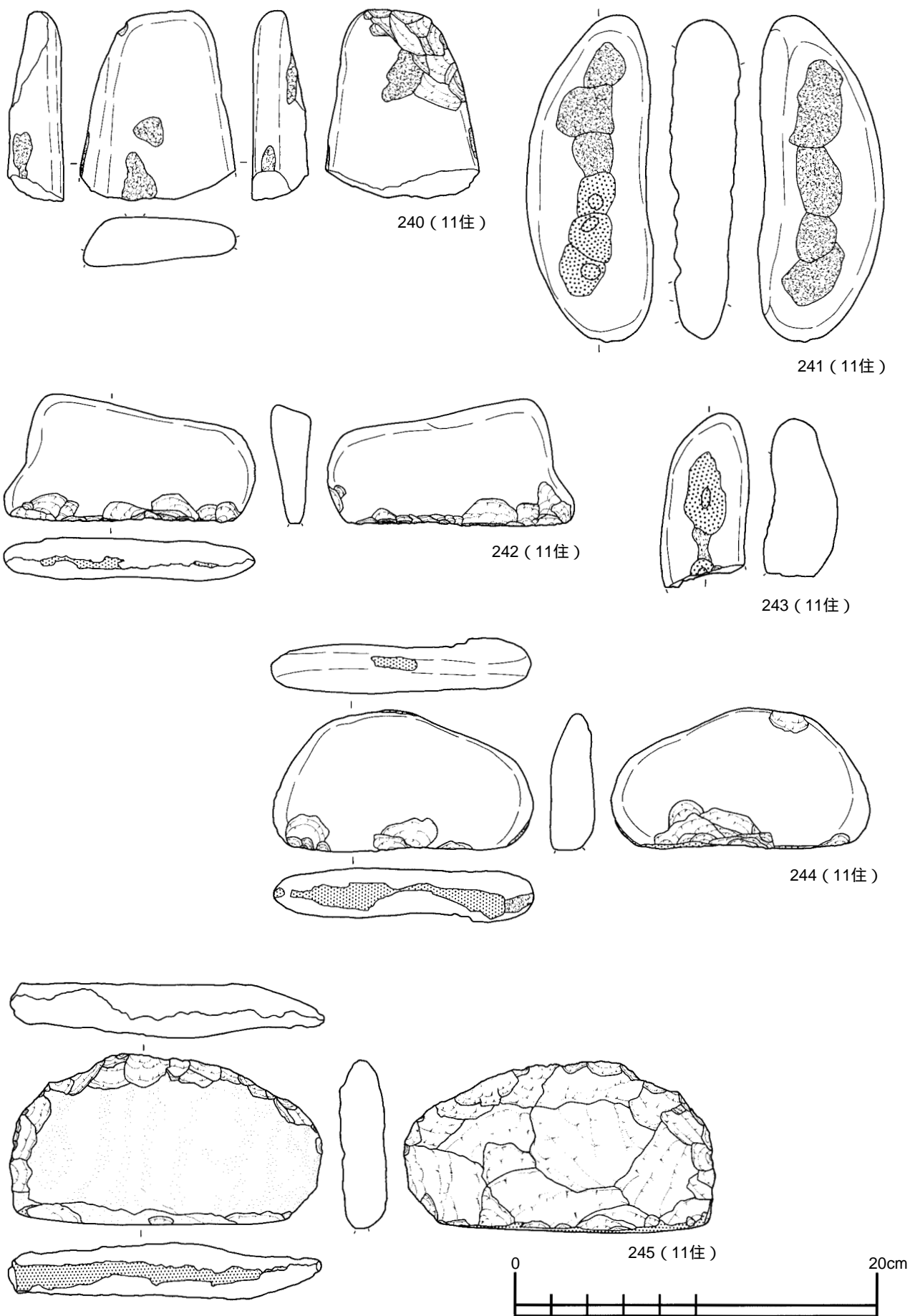
第100図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(29)



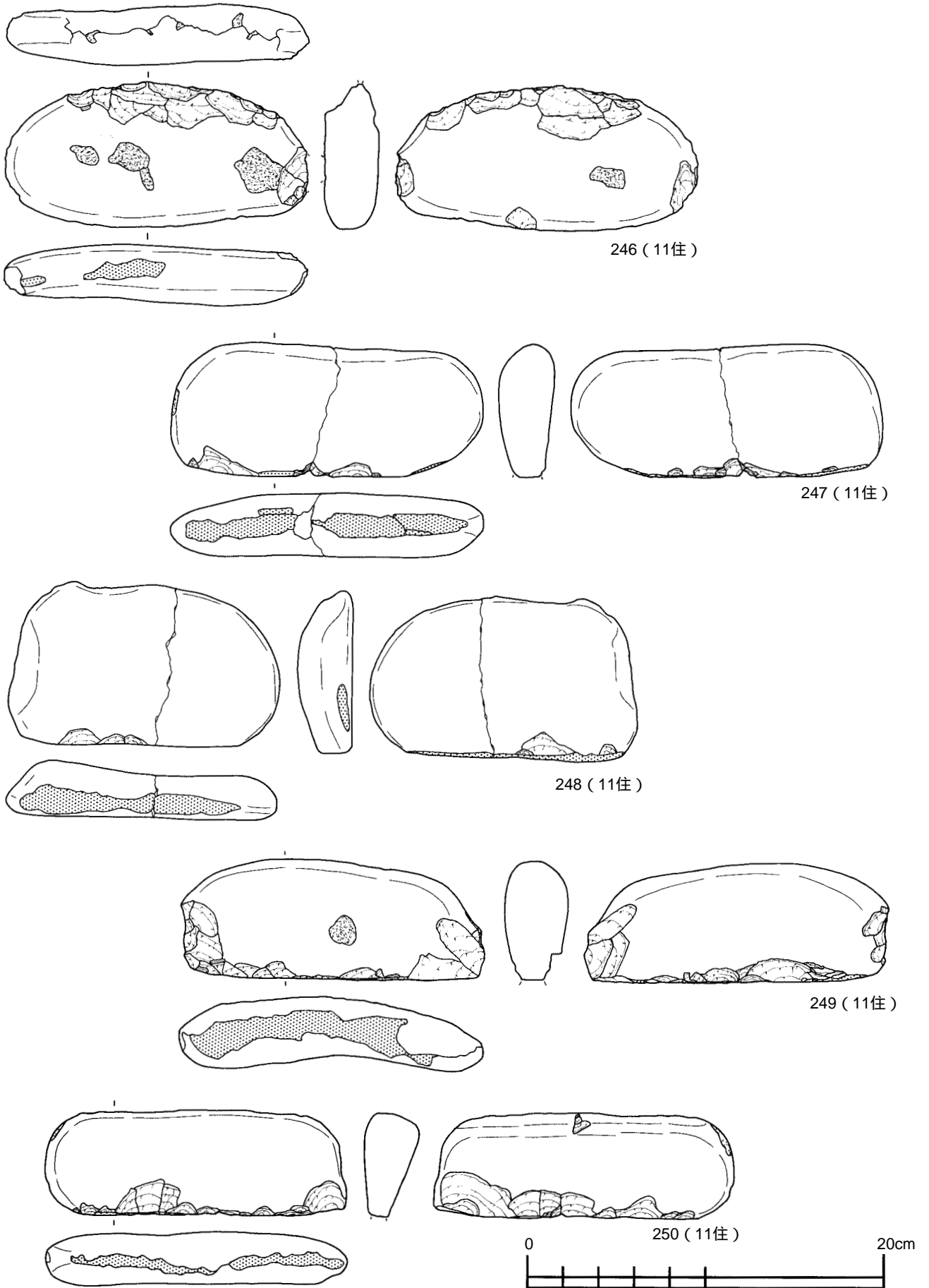
第101図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(30)



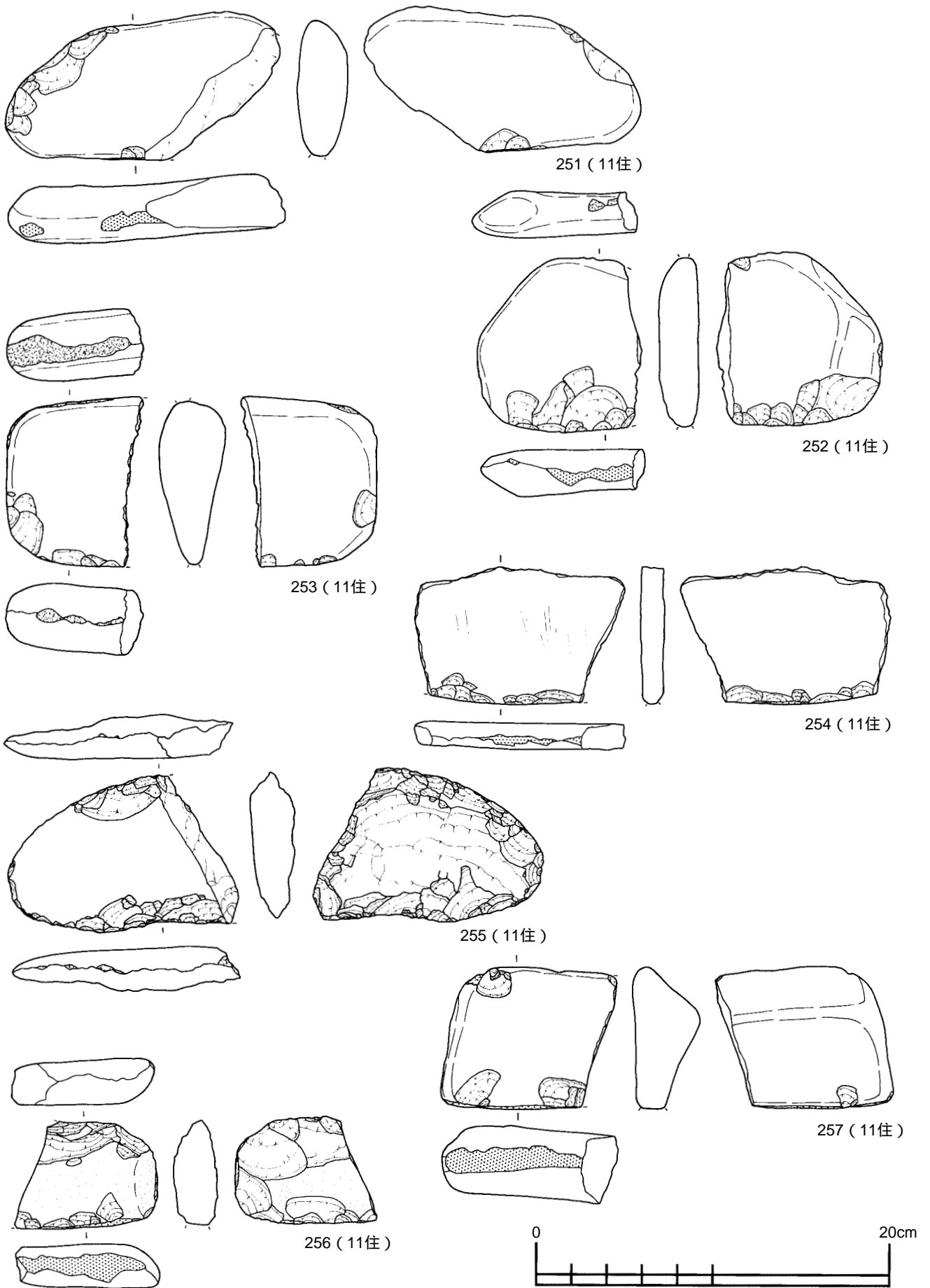
第102図 遺構内出土石器(竪穴式住居跡)(31)



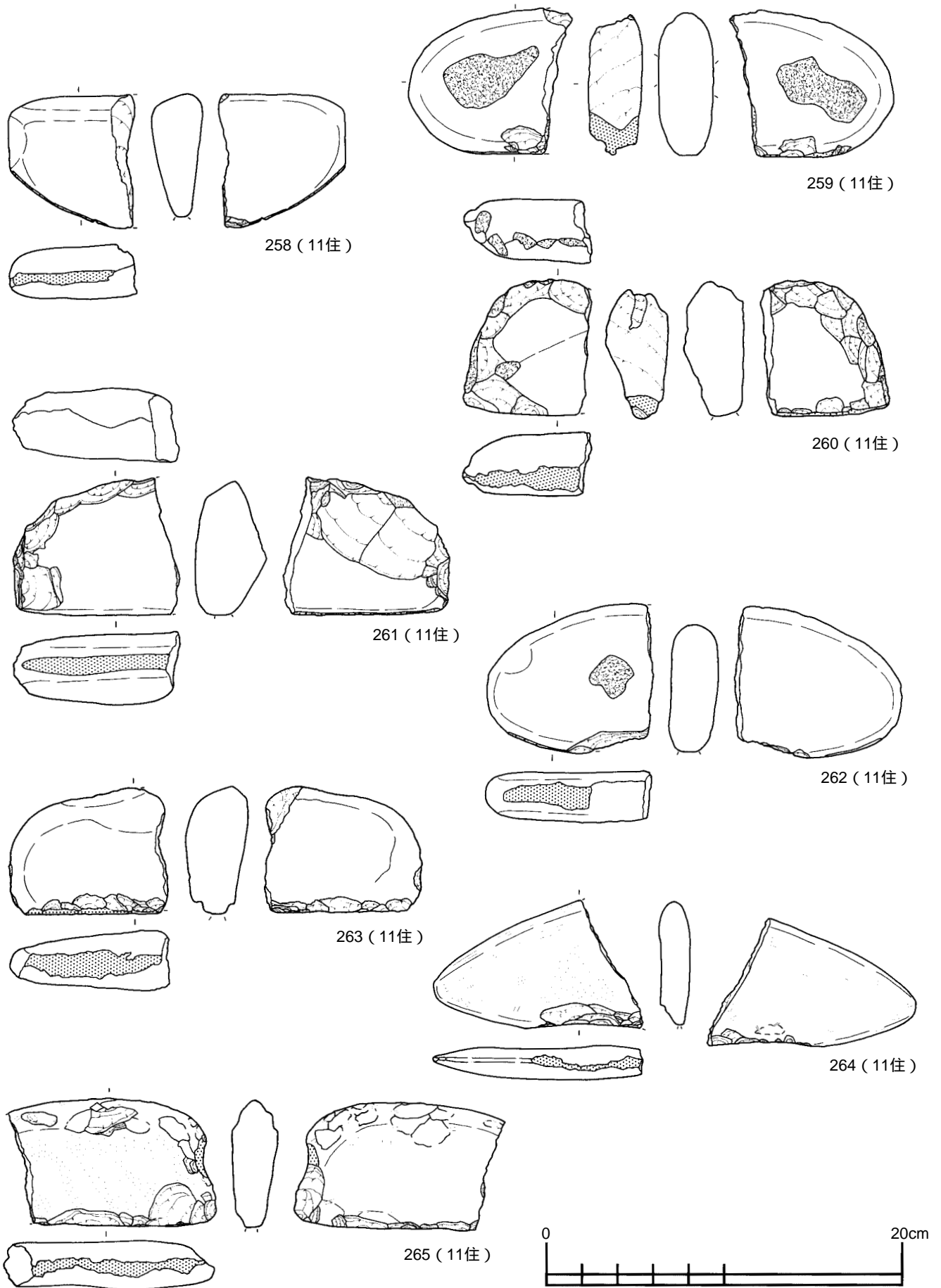
第103図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(32)



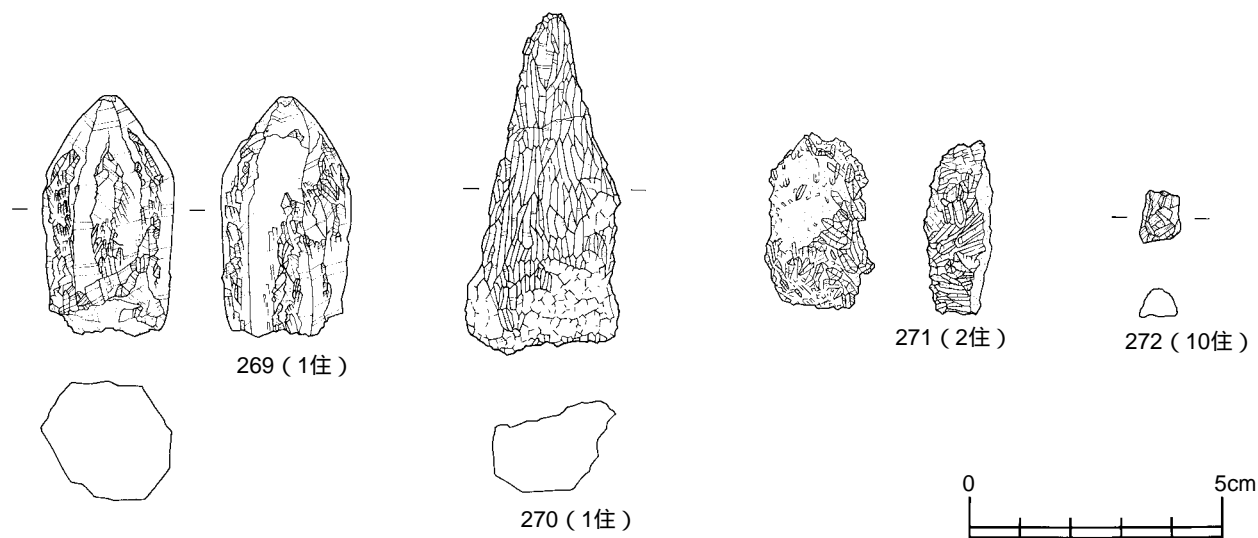
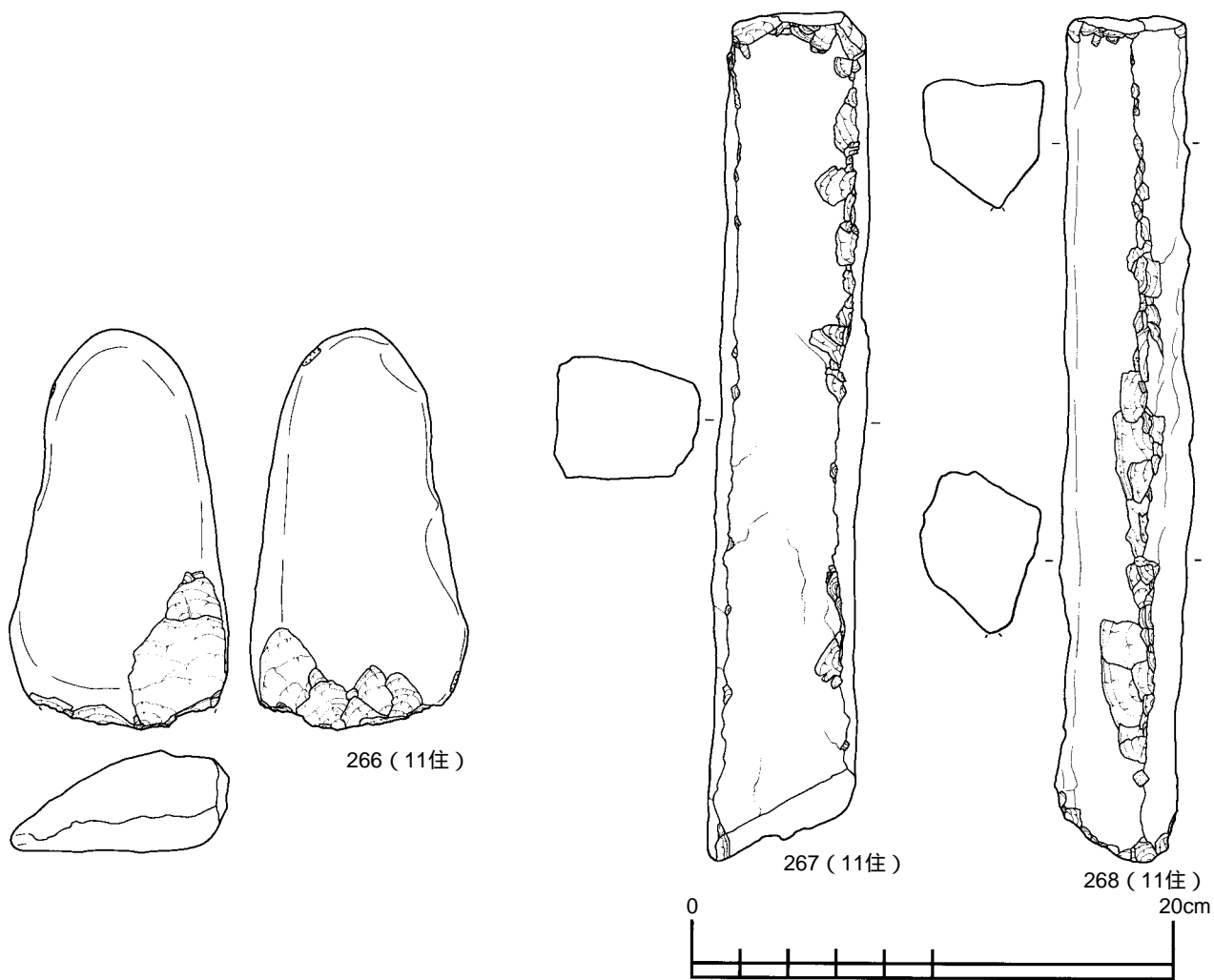
第104図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(33)



第105図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(34)

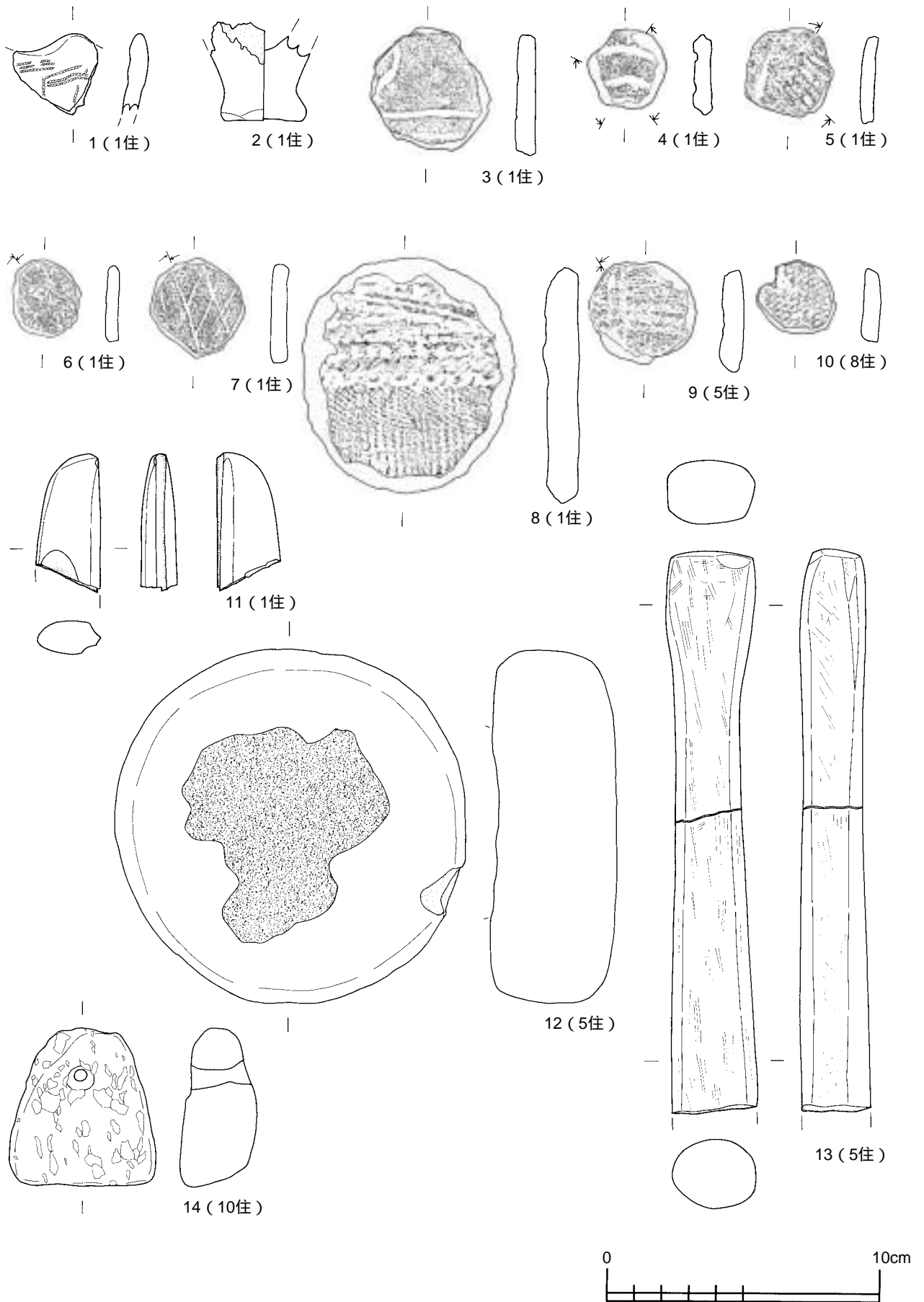


第106図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(35)



第107図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(36)





第108図 遺構内出土土製品・石製品（竪穴式住居跡）

## 2. 土坑

### 第26号土坑 (第109図)

- [位置・確認層] Y - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第27号土坑、第33号土坑 B と重複し、本遺構は、第27号土坑より古く、第33号土坑 B より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は長径165cm、底面は長径146cm、深さは35cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかな立ち上がりを呈する。北東側は、一部オーバーハングする。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第29号土坑 (第109図)

- [位置・確認層] A B - 150、151グリッドに位置する。第 c 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は144cm × 136cm、底面は152cm × 132cm、深さは、66cm である。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] ほぼ平坦であるが、中央部に起伏を有する。
- [堆積土] 10層に分層した。黒褐～暗褐色土を主体とし、パミス、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 石器は、覆土より石鏃3類3が1点(第201図1)、石筥1類が1点(第201図3)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第232図1)出土している。石製品は、覆土より有孔石製品が1点(第235図1)出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第30号土坑 (第109図)

- [位置・確認層] A B - 150グリッドに位置する。第 a 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は118cm × 108cm、底面は115cm × 102cm、深さは28cmである。
- [壁] 全体として、外側へ緩やかな立ち上がりを呈する。西側は一部オーバーハングする。
- [底面] 若干の傾斜があるが、ほぼ平坦である。
- [堆積土] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第178図1)、第 群7類土器(第178図4)、第 群土器(第178図2、3)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Bが1点(第201図2)、1類Fが1点(図示していない)、敲磨器類2類Aが1点(第213図100)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が2点(第232図2、3)出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第31号土坑**（第109図）

- [位置・確認層] A B - 150グリッドに位置する。第 a 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径93cm、底面は長径86cm、深さは6cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかな立ち上がりを有する。
- [底面] 若干の起伏があるが、ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器（第178図5）、第 群4、5類土器（第178図6、7）が出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第53号土坑**（第109図）

- [位置・確認層] X・Y - 147・148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第223号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は116cm、底面は168cm×150cm、深さは122cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 中央部に起伏を有する。
- [堆積土] 16層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第16、7、6層、覆土より第 群5a類、6類土器（第178図8～10）、第16層より第 群土器（第178図11）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第54号土坑**（第109図）

- [位置・確認層] Y - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は50cm×40cm、底面は46cm、深さは14cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側は、一部オーバーハングする。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第55号土坑**（第109図）

- [位置・確認層] Y - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第71号土坑、第72号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径125cm、底面は長径166cm、深さは92cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 9層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、パミス、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第59号土坑 (第110図)

[位置・確認層] Y - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径92cm、底面は長径98cm、深さは146cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 11層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、炭化物、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土製品は、第11層より土器片利用土製品が1点(第232図4)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第65号土坑 (第110図)

[位置・確認層] X・Y - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第64号土坑及び214土坑Aと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形である。開口部は長径110cm×84cm、底面は長径128cm、深さは124cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。黒～褐色土が堆積し、炭化物、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第178図17)、第9、6、5、3、1層より第 群4、7、9類土器(第178図12、13、15)、第 群土器(第178図14、16、18)が出土している。石器は、第5層より不定形石器1類Bが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第70号土坑 (第110図)

[位置・確認層] Z - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第133号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は116cm×90cm、底面は長径106cm×72cm、深さは25cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第71号土坑 (第110図)

[ 位置・確認層 ] Z - 148グリッドに位置する。第 層、第72号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第55号土坑、第72号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径99cm、底面は長径120cm、深さは105cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られるが、ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 14層に分層した。褐色土を主体とし、ローム、パミス、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 石器は、第13層より敲磨器類 1 類Aが 1 点 (第213図101) 出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が 1 点 (第232図5) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第72号土坑 (第110図)

[ 位置・確認層 ] Y・Z - 147、148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第55号土坑、第71号土坑と重複し、本遺構は第55号土坑より新しく第71号土坑より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は207cm×175cm、底面は204cm×186cm、深さは103cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。北側は一部外側へ立ち上がる。

[ 底面 ] 若干の起伏があるが、ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 16層に分層した。黒～明褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第9、6、4、1層、覆土より第 群3類、5 a類、6類土器 (第178図19～21、25) 第4、3、1層、覆土より第 群4、5類土器 (第178図22、26) 第 群土器 (第178図23、24) が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Aが 1 点 (第213図102) 出土している。土製品は、第4層より土器片利用土製品が 1 点 (第232図6) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第73号土坑 (第110図)

[ 位置・確認層 ] Z - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径22cm、底面は長径14cm、深さは18cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかな立ち上がりを呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積し、パミスを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

### 第84号土坑（第111図）

[位置・確認層] A A - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は194cm、底面は160cm、深さは48cmである。

[壁] 東側は外側へ立ち上がり、西側はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5層、覆土より第 群6類土器（第178図27）、第5～1層、覆土より第 群2 a、3、5～7類土器（第178図28～31、34、35）、第 群土器（第178図32、33）が出土している。石器は、覆土より不定形石器3類が1点（第201図4）、大石平型石筥が1点（第201図5）、敲磨器類4類Bが1点（第213図103）、半円状扁平打製石器が1点（第213図104）出土している。土製品は、第5層より土器片利用土製品が1点（第232図7）、覆土より土器片利用土製品が3点（第232図8～10）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第90号土坑（第111図）

[位置・確認層] A A・A B - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第3号竪穴式住居跡、第4号竪穴式住居跡と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径115cm、底面は長径189cm、深さは159cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏があるがほぼ平坦である。

[堆積土] 10層に分層した。暗褐から黄褐色土が堆積し、ローム、パミス、炭化物を含む。

第1層は、 a層の流れ込みである。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7層、覆土より第 群5 a類（第164図1、第178図36、37）、6類土器（第164図2）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第92号土坑（第111図）

[位置・確認層] A B・A C - 148グリッドに位置する。第4号竪穴式住居跡床面において確認した。

[重複] 第4号竪穴式住居跡ピットと重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径76cm、底面は長径136cm、深さは120cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 10層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第10～8、4、2、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第178図38～43）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第93号土坑**（第111図）

[位置・確認層] A B - 148・149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は138cm×120cm、底面は180cm×168cm、深さは152cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。中央部西側に底面ピットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐色土、明黄褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4、1層、覆土より第 群3類、5 a類土器（第179図1～4）、第1層より第 群4類土器（第179図48）が出土している。石器は、第5層より剥片が1点（図示していない）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第94号土坑**（第111図）

[位置・確認層] A A・A B - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は124cm×110cm、底面は105cm×93cm、深さは28cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。暗褐色土を主体とし黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4～1層より第 群5、7、8類土器（第164図3、第179図50、53）、第 群土器（第179図49、51、52）が出土している。石器は、第1層より不定形石器1 C類（第50図50）1点が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第95号土坑A**（第112図）

[位置・確認層] A A・A B - 149グリッドに位置する。第 c層において確認した。

[重複] 第5号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長128cm、底面は長径209cm、深さは172cmである。

[壁] オーバーハングし、全体としてフラスコ状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 18層に分層した。黒褐～褐色土を主体とし、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。第17、18層は、崩落土の可能性がある。

[出土遺物] 土器は、第12、8～1層より第 群3類（第164図5、第179図54）、5 a類（第164図4、第165図6、第179図55、56、58～60、62）、6類土器（第164、165図4～6、第179図57、61）が出土している。石器は、第13層より不定形石器1類Cが1点（第201図6）、第4層より敲磨器類2類Aが1点（第213図105）、半円状扁平打製石器が1点（第213図107）、覆土より剥離のある礫が1点（第213

図106)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が2点(第232図11、12)出土している。  
[時期]出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第95号土坑B(第112図)

[位置・確認層]AB-149グリッドに位置する。第c層において確認した。  
[重複]なし。  
[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径84cm、底面は長径78cm、深さは37cmである。  
[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面]若干の起伏があるがほぼ平坦である。  
[堆積土]暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物]なし。  
[時期]遺構確認層より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第96号土坑(第112図)

[位置・確認層]AB-149グリッドに位置する。第c層において確認した。  
[重複]第98号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径179cm、底面は長径172cm、深さは44cmである。  
[壁]北側はオーバーハングする。南側は外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面]南側から北側へ傾斜が見られる。  
[堆積土]8層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物]土器は、第6、5、2層、覆土より第群6類土器(第179図66、67、70)第8、7、4、2、1層、覆土より第群4、7類土器(第179図64、68、71)、第群土器(第179図63、65、69、72)が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Bが1点(第214図109)第4層より不定形石器1類Bが1点(図示していない)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が4点(第232図13～16)出土している。石製品は、覆土より三角形岩版が1点(第235図2)、有孔石製品が1点(第235図3)、球状石製品が1点(第235図4)出土している。  
[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第98号土坑(第112図)

[位置・確認層]AB-149グリッドに位置する。第5号竪穴式住居跡覆土において確認した。  
[重複]第5号竪穴式住居跡、第96号土坑と重複し、本遺構は、第5号竪穴式住居跡より新しく、第96号土坑より古い。  
[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径96cm、底面は長径100cm、深さは48cmである。  
[壁]オーバーハングし、フラスコ状を呈する。  
[底面]外側から中央部へ傾斜が見られる。  
[堆積土]4層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物]土器は、第4～2層、覆土より第群5a類、6類土器(第179図73～75)、覆土より第群土器(第179図76)が出土している。



[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第100号坑 (第112図)

[ 位置・確認層 ] A B・A C - 148グリッドに位置する。第 層、第4号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[ 重複 ] 第101号土坑、第4号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径96cm、底面は長径140cm、深さは129cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 石器は、第3層より挟入扁平磨製石器が1点(第214図383)、第1層より石匙1類が1点(第201図7)出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第101号土坑 (第112図)

[ 位置・確認層 ] A C - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第101号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は44cm×42cm、底面は128cm、深さは111cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。中央部に底面ピットを有する。

[ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。黒褐～橙色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第4、2、1層より、第 群3、5 a類土器(第179図77～79)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第104号土坑 (第113図)

[ 位置・確認層 ] A C - 147、148グリッドに位置する。第 層、第4号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[ 重複 ] 第4号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形はな円形で、開口部は長径135cm、底面は長径144cm、深さは53cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第10、7～4層より、第 群5 a類、6類土器(第179図80、84、第180図87、89、91)、第10～1層より第 群2 b、4、6～8、10類土器(第179図82、83、第180図85、86、88、90、93～97)、第 群土器(第179図81、92)が出土している。石器は、第10層より石槍2類が1点(第201図8)、第9層より不定形石器1類Aが1点(第201図9)出土している。土製品は、第10層より土器片利用土製品が1点(第232図17)、第4層より土器片利用土製品が1点(第232図18)、第1層より土器片利用土製品が2点(第232図19、20)出土している。石製品は、第8層より三角形岩版が1点(第

235図5)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第110号土坑(第113図)

[位置・確認層] Z - 145、146グリッドに位置する。第 層、第111号土坑覆土において確認した。

[重複] 第111号土坑、第365号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径90cm、底面は137cm、深さは80cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 若干の起伏があるが、ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群3類土器(第180図98)、第2層、覆土より第 群6類土器(第180図100)、第 群土器(第180図99)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第111号土坑(第113図)

[位置・確認層] Z - 145、146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第110号土坑、第364号土坑、第365号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径116cm、底面は長径153cm、深さは59cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 中央部から外側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、パミス、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群3類土器(第165図7、第180図101、103)、第 群3類土器(第180図104)、第 群土器(第180図102)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第112号土坑(第113図)

[位置・確認層] Z - 146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径116cm、底面は長径146cm、深さは68cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。北側は外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 11層に分層した。暗褐色土～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、1層より第 群6類土器(第180図106、108)、第10、7、1層、覆土より第 群4、6類土器(第180図105、107)、第 群土器(第180図109)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(第202図11)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第113号土坑 (第113図)

[ 位置・確認層 ] AA - 145グリッドに位置する。第 層、第114号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第114号土坑、第134号土坑 B , 第134号土坑 C と重複し、本遺構は第114号土坑、第134号土坑 C より新しく第134号土坑 B より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径92cm、底面は長径143cm、深さは93cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし袋状を呈する。

[ 底面 ] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 10層に分層した。黒褐色土～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、2層より第 群6類土器 (第180図110～112) が出土している。石器は、覆土より石匙1類が1点 (第202図13) 敲磨器類1類Aが1点 (第214図111) 4類Aが1点 (第214図110) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第114号土坑 (第114図)

[ 位置・確認層 ] AA - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第113号土坑、第291号土坑、第361号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は146cm×103cm、底面は211cm×179cm、深さは68cmである。

[ 壁 ] オーバーハングしフラスコ状を呈する。

[ 底面 ] 壁際から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 17層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第8、6、3、2層より第 群3、5 a、6類土器 (第165図8、9、第180図113～115) が出土している。石器は、覆土より石匙1類が1点 (第201図10) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第115号土坑 (第114図)

[ 位置・確認層 ] AA - 146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第116号土坑、第117号土坑、126号土坑と重複し、本遺構は、第116号土坑、第117号土坑より古く、第126号土坑より新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は158cm×110cm、底面は長径158cm、深さは134cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし袋状を呈する。

[ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 21層に分層した。黒～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第20、19、3層より第 群6類土器 (第180図116、118、121) 第20、19、17、16、1層より第 群3、8類土器 (第180図120、122) 第 群土器 (第180図117、119) が出土してい

る。石器は、第17層より石匙1類が1点(第202図12)出土している。  
[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第116号土坑(第114図)

[位置・確認層] Z・AA-146グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 115号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は不整な円形である。開口部は88cm×78cm、底面は66cm×62cm、深さは29cmである。  
[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。  
[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。  
[堆積土] 3層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第117号土坑(第114図)

[位置・確認層] AA-146グリッドに位置する。第 層、第115号土坑覆土、第118号土坑覆土において確認した。  
[重複] 第115号土坑、第118号土坑、第126号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は116cm×98cm、底面は118cm×112cm、深さは105cmである。  
[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側は外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 15層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第15、14、11、4層より第 群6類土器(第180、181図123、124、130、133) 第14～11、9、8、5～3層より第 群8類土器(第180図127) 第 群土器(第180、181図125、126、128、129、131、132)が出土している。石器は、第15層より不定形石器1類Bが1点(第202図15)出土している。  
[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第118号土坑(第114図)

[位置・確認層] Z・AA-146、147グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第117号土坑、第138号土坑と重複し、本遺構が古い。  
[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は130cm×78cm、底面は110cm×56cm、深さは31cmである。  
[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。  
[堆積土] 黒色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第181図134)が出土している。石器は、覆土より石鏃2類1が1点(第202図14)、敲磨器類3類が1点(第214図114)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第119号土坑 (第114図)

[ 位置・確認層 ] Z - 146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径131cm、底面は長径96cm、深さは62cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。南側は一部開口部付近で屈曲する。

[ 底面 ] 中央部に起伏が見られる。

[ 堆積土 ] 12層に分層した。暗褐～にぶい赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第121号土坑 (第115図)

[ 位置・確認層 ] Z - 146、147グリッドに位置する。第 層、第138号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第125号土坑、第138号土坑と重複し、本遺構は138号土坑より新しく、第125号土坑との新旧関係は不明である。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は125cm×83cm、底面は75cm×68cm、深さは53cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がり、開口部付近で屈曲する。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。暗褐色土、橙色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第123号土坑 (第115図)

[ 位置・確認層 ] Z - 146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は102cm×42cm、底面は最長96cm、深さは59cmである。

[ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。北側は、外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 壁際から中央部へ緩やかに傾斜し、若干湾曲している。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。暗褐～明黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第3、1層、覆土より第 群5類土器 (第181図136)、第 群土器 (第181図135、137、138) が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Eが1点 (第202図16) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第125号土坑 (第115図)

[ 位置・確認層 ] Z - 146、147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第121号土坑と重複し、本遺構との新旧は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は146cm×108cm、底面は140cm×98cm、深さは17cm×29cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。北側に底面ピットを有する。

[堆積土] 5層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第181図139)、第 群土器(第181図140)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第126号土坑(第115図)

[位置・確認層] AA-146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第115号土坑、第117号土坑、第127号土坑と重複し、本遺構は、第115号土坑、第117号土坑より古く、第127号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は計測不能、底面は188cm×64cm、深さは67cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側は一部外側へ立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。南壁際に底面ピットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、2層より、第 群5b類、6類土器(第181図141、142)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第127号土坑(第115図)

[位置・確認層] AA-146、147グリッドに位置する。第 、 層において確認した。

[重複] 第126号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径98cm、底面は長径78cm、深さは54cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第128号土坑(第115図)

[位置・確認層] AA-147グリッドに位置する。第 層、第3号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第177号土坑、第3号竪穴式住居跡と重複し、本遺構は第3号竪穴式住居跡より新しく、第177号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径98cm、底面は長径90cm、深さは31cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群3類土器(第165図10)、第1層より第 群土器(第181図143)が出土している。石製品は、覆土より三角形岩版が1点(第235図6)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第129号土坑(第115図)

[ 位置・確認層 ] AA - 147グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長100cm、底面は最長92cm、深さは22cmである。

[ 壁 ] 全体としてやや外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 5層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第3層、覆土より第 群6類土器(第181図144、145)が出土している。

[ 時期 ] 遺構確認層より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第132号土坑(第115図)

[ 位置・確認層 ] Z - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径90cm、底面は長径90cm、深さは108cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 不明である。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、4、1層より第 群5 a類、6類土器(第図)、第4層より第 群土器(第図)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第133号土坑(第116図)

[ 位置・確認層 ] Z - 147、148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第70号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径136cm、底面は長径155cm、深さは44cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、4、1層より第 群5 a、6類土器(第181図146、147、150)、第 群2 a、4類土器(第181図148、149)が出土している。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第134号土坑B (第116図)

[ 位置・確認層 ] Z - 145、AA - 145、146グリッドに位置する。第 層、第113号土坑覆土、第134号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第113号土坑、第134号土坑Cと重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径104cm、底面は長径88cm、深さは95cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 5層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第2層より第 群3類土器(第181図151)、第 群5類土器(第181図152)が出土している。石器は、第4層より不定形石器2類が1点(図示していない)出土している。土製品は、第2層より土器片利用土製品が1点(第232図21)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第134号土坑C (第116図)

[ 位置・確認層 ] Z・AA - 145、146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第113号土坑、第134号土坑Bと重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長185cm、底面は最長172cm、深さは46cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 3層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。

#### 第135号土坑 (第116図)

[ 位置・確認層 ] AA - 147、148グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径103cm、底面は長径134cm、深さは96cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 13層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、4層より第 群6類土器(第181図156、157)、第13、10層より第 群4、6類土器(第166図11、第181図153、154)、第 群土器(第181図155)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[ 時期 ] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。



**第138号土坑（第116図）**

- [位置・確認層] Z - 146、147、A A - 147グリッドに位置する。第 層、第118号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第118号土坑、第121号土坑と重複し、本遺構は第118号土坑より新しく第121号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は150cm×86cm、底面は長径176cm、深さは77cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 14層に分層した。黒～橙色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第7、5、2層、覆土より第 群3類、6類土器（第181図158～161）、覆土より第 群4類土器（第181図162）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第142号土坑（第116図）**

- [位置・確認層] A A - 146グリッドに位置する。第 層上面、第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径89cm、底面は長径81cm、深さは63cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器（第181図164）、第2、1層より第 群8類土器（第181図163）、第 群土器（第181図165）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第144号土坑（第116図）**

- [位置・確認層] A B・A C - 145、146グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [重複] 第358号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長98cm、底面は最長78cm、深さは68cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2層、覆土より第 群3類、6類土器（第166図12、第181図167）、第3、2層、覆土より第 群6類土器（第181図168）、第 群土器（第181図166）が出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第149号土坑（第117図）**

- [位置・確認層] A B・A C - 146、147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡、第150号土坑と重複し、本遺構は、第2号竪穴式住居跡より新しく、第150号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長133cm、底面は長径204cm、深さ121cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第182図169) 第 群6、8類土器(第182図170、171)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第150号土坑(第117図)

[位置・確認層] A B - 147グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第149号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は94cm×36cm、底面は64cm×23cm、深さは84cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。暗褐～明黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、2、1層より第 群6類土器(第182図172、176、178) 第5、4、2、1層より第 群6類土器(第182図175) 第 群土器(第182図173、174、177、179)が出土している。石器は、第5層より不定形石器3類が1点(第202図18)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第157号土坑(第117図)

[位置・確認層] X・Y - 147グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径124cm、底面は長径164cm、深さは144cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 18層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ローム、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第182図180)が出土している。石製品は、第1層より有孔石製品が1点(第235図11)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第158号土坑(第117図)

[位置・確認層] X - 147、Y - 146、147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第161号土坑と重複し、本遺構が古い。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は計測不能、底面は長径206cm、深さは118cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 起伏があるがほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 14層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、パミス、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第182図181）が出土している。石器は、覆土より石鏃3類3が1点（第202図17）、敲磨器類2類Bが1点（第214図113）出土している。石製品は、覆土より三角形岩版が1点（第235図7）、有孔石製品が1点（第235図8）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第161号土坑（第117図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 147グリッドに位置する。第 a層、第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第158号土坑、第162号土坑、第234号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径138cm、底面は156cm×144cm、深さは142cmである。
- [ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南西側は一部外側へ立ち上がる。
- [ 底面 ] 若干の起伏があるが、ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 18層に分層した。黒～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第182図183）、第4層、覆土より第 群土器（第182図182、184）が出土している。石器は、第18層より水晶2類Aが1点（第231図259）
- [ 時期 ] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第162号土坑（第118図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第161号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は138cm×102cm、底面は180cm×130cm、深さは121cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 9層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第6、4、2、1層、覆土より第 群3類、6類土器（第182図185～190）、覆土より第 群土器（第182図191）が出土している。石器は、第7層より水晶2類Aが1点（第231図260）、第4層より石ぞく2類2が1点（第202図19）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第167号土坑（第118図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 146グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径59cm、底面は長径59cm、深さは81cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。褐～にぶい黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。第1～6層は柱穴の堆積土である。

[出土遺物] 土器は、覆土より第群6類土器(第182図192)、第群土器(第182図193)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第170号土坑A(第118図)

[位置・確認層] Y-146グリッドに位置する。第a層において確認した。

[重複] 第170号土坑Bと重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径56cm、底面は長径60cm、深さは101cmである。

[壁] 南側へ傾き立ち上がる。北側はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第群6類土器(第182図194)、第群4類土器(第182図195)が出土している。石器は、覆土より石鏃3類3が1点(第202図20)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第170号土坑B(第118図)

[位置・確認層] Y-146グリッドに位置する。第a層において確認した。

[重複] 第170号土坑Aと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径113cm、底面は長径101cm、深さは132cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。南西側は一部オーバーハングする。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 5層に分層した。黒～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。第3層黒色土は、第層崩落土の可能性がある。

[出土遺物] 石器は、覆土より水晶2類Aが1点(第231図261)出土している。

[時期] 遺構確認層及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第174号土坑(第118図)

[位置・確認層] AC 146、147グリッドに位置する。第2号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫を含む。

人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群3類土器(第182図200)、第5～1層より第 群2b～4類土器(第182図196、197、201)、第 群土器(第182図198、199、202)が出土している。石器は、第2層より敲磨器類2類Dが1点(第214図115)、2類Eが1点(第214図112)、4類Aが1点(第214図116)、4類Cが1点(第214図117)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が4点(第232図22～25)出土している。石製品は、第4層より三角形岩版が1点(第235図12)、第3層よりその他の岩版が1点(第235図9)、第2層より円形岩版が1点(第235図10)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第175号土坑(第118図)

[位置・確認層] AC-147グリッドに位置する。第2号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径138cm、底面は長径154cm、深さは34cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏があるがほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層、覆土より第 群6類土器(第182図203、205)、第 群土器(第182図204、206)が出土している。石器は、覆土より石匙1類が1点(第202図22)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第176号土坑A(第119図)

[位置・確認層] AA-146グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第176号土坑Bと重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円で、開口部は最長102cm、底面は長径89cm、深さは79cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。

[底面] 北西側から南東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第176号土坑B(第119図)

[位置・確認層] AA-146グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第176号土坑Aと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径92cm、底面は長径84cm、深さは38cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第182図207)が出土している。土製品は、第2層より土器片利用土製品が1点(第232図26)出土している。

[時期] 遺構確認層、出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第177号土坑(第119図)

[位置・確認層] AA・AB-147グリッドに位置する。第 層、第3号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第128号土坑、第3号竪穴式住居跡と重複し、本遺構は第3号竪穴式住居跡より新しく、第128号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径130cm、底面は134cm×122cm、深さは119cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第182図208)第4層、覆土より第 群4類、7類土器(第166図13、182図209～211)が出土している。石器は、覆土より石匙1類が1点(第203図23)不定形石器1類Dが1点(第202図21)礫石錘2類が1点(第215図119)敲磨器類1類Cが1点(第215図118)4類Aが1点(第215図120)4類Bが2点(第215図121、122)4類Dが1点(第215図123)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第232図27)出土している。石製品は、覆土より三角形岩版が1点(第235図13)円形岩版が1点(第235図14)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第179号土坑(第119図)

[位置・確認層] AA-149グリッドに位置する。第 a層、第 c層、第2号土坑B覆土において確認した。

[重複] 第2号土坑Bと重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径136cm、底面は長径152cm、深さは72cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5層、覆土より第 群3類(第183図215)第9、7～5、1層より第 群3～6類土器(第166図14～16、第183図212～214、216、217)が出土している。石器は、第1層より石筥3類が1点(第203図25)覆土より不定形石器1類Cが1点(第203図24)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第182号土坑（第119図）**

- [位置・確認層] A B - 149グリッドに位置する。第5号竪穴式住居跡覆土において確認した。
- [重複] 第5号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径84cm、底面は長径140cm、深さは53cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。
- [底面] 西側から東側へ起伏を伴い傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第4、3層より第群5 a類、6類土器（第183図219、220）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第183号土坑（第119図）**

- [位置・確認層] A A - 145、146グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径121cm、底面は長径153cm、深さは105cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 9層に分層した。褐～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、円礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第9層、覆土より第群6類土器（第183図221）、第群土器（第183図222、223）が出土している。石器は、第9層より敲磨器類4類Bが2点（第215図124、127）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第185号土坑（第120図）**

- [位置・確認層] A A・A B - 147、148グリッドに位置する。第3号竪穴式住居跡覆土において確認した。
- [重複] 第3号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は220cm×180cm、底面は長径188cm、深さは108cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側はオーバーハングする。
- [底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。中央部西側及び北壁側に底面ピットを有する。
- [堆積土] 10層に分層した。暗褐～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第10、9、7、5、4、2、1層より第群5 a類、6類土器（第183図224～228）が出土している。石器は、第10層より敲磨器類4類Aが1点（第215図125）、第1層より水晶2類Bが1点（第231図262）、覆土より不定形石器1類Bが1点（第231図26）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第189号土坑（第119図）

- [位置・確認層] A C - 146グリッドに位置する。第 層（第2号竪穴式住居跡床面）において確認した。
- [重複] 第2号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径112cm、底面は長径106cm、深さは11cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部オーバーハングする個所も見られる。
- [底面] 北西側が南東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] にぶい黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

### 第190号土坑（第120図）

- [位置・確認層] A A - 150グリッドに位置する。第 c層において確認した。
- [重複] 第5号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長88cm、底面は152cm×132cm、深さは104cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器（第183図229～231）が出土している。石器は、第1層より石鏃3類3が1点（第203図27）、不定形石器3類が1点（図示していない）、敲磨器類2類Eが1点（第216図130）、4類Aが1点（第215図126）、半円状扁平打製石器が1点（第216図131）、覆土より敲磨器類2類Bが1点（第215図128）、半円状扁平打製石器が2点（第216図129、132）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第191号土坑（第120図）

- [位置・確認層] Z - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は68cm×56cm、底面は98cm×84cm、深さは75cmである。
- [壁] オーバーハングし袋状を呈する。東側は一部外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 起伏があるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群9類土器（第183図233）、第 群土器（第183図232）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。



**第192号土坑**（第120図）

- [位置・確認層] X・Y - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第35号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長106cm、底面は最長145cm、深さは110cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側一部は外側へ直線的に立ち上がる。また北側一部は、ピットを設けるため横穴状に掘り込まれている。
- [底面] 南側から中央部へ傾斜が見られる。北側に横穴状に掘り込まれたピットを有する。
- [堆積土] 7層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第7、2層より第 群5 a、6類土器（第183図235、238）第7、5、4、2、1層より第 群4、5 a、8、9類土器（第183図236、239～241）第 群土器（第183図234、237）が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Bが1点（第216図133）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第193号土坑**（第120図）

- [位置・確認層] X - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径106cm、底面は長径132cm、深さは124cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側一部はほぼ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 15層に分層した。黒～褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。第4、7層は、第 層崩落土の可能性がある。
- [出土遺物] 土器は、第8層より第 群5 a類土器（第183図242）第8、6層、覆土より第 群5、9類土器（第183図243、245）第 群土器（第183図244）が出土している。石器は、第15層より敲磨器類2類Eが1点（第216図134）覆土より不定形石器3類が1点（第203図28）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第194号土坑A**（第121図）

- [位置・確認層] X - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第194号土坑B、第194号土坑C、第9号竪穴式住居跡と重複し、本遺構は第194号土坑C、第9号竪穴式住居跡より新しく第194号土坑Bより古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径112cm、底面は長径160cm、深さは97cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。
- [堆積土] 6層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3～1層、覆土より第 群3類、5 a類土器（第183図246～248）第1層、覆土より第 群土器（第183図249）が出土している。石器は、覆土より磨製石斧1類Cが1点（第216図135）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第232図28）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第194号土坑B (第121図)

[位置・確認層] X - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第194号土坑A、第9号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径102cm、底面は長径106cm、深さは96cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 10層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4、2層より第 群6類土器(第184図250、255)、第9、4、2層、覆土より第 群4、5、8類土器(第167図17、第184図252～254)、第 群土器(第184図251)が出土している。土製品は、第2層よりその他の土製品が1点(第232図29)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第194号土坑C (第121図)

[位置・確認層] X - 152、153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第194号土坑A、第9号竪穴式住居跡と重複し、本遺構は第9号竪穴式住居跡より新しく、第194号土坑Aより古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長60cm、底面は最長86cm、深さは62cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第195号土坑 (第121図)

[位置・確認層] X - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第208号土坑、第917号土坑と重複し、本遺構は第917号土坑より古く、第208号土坑とは新旧不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径66cm、底面は長径124cm、深さは106cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～1層、覆土より第 群4～6、8、11類土器(第184図256～258、260、261)、第 群土器(第184図259)が出土している。石器は覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第196号土坑（第121図）**

- [位置・確認層] X・Y - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第209号土坑と重複し、本遺構は、第209号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径120cm、底面は長径138cm、深さは89cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 15層に分層した。黒褐～にぶい黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第12～10、5～3、1層より第 群5 a類、6類土器（第184図262～268）、覆土より第 群4類土器（第184図269）が出土している。石器は、覆土より不定形石器3類が1点（図示していない）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第197号土坑（第121図）**

- [位置・確認層] X - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径108cm、底面は長径104cm、深さは21cmである。
- [壁] 東側一部は直線的に立ち上がるが、他は外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第4層より第 群6類土器（第184図270）、第5層より第 群7類土器（第167図）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第198号土坑（第121図）**

- [位置・確認層] X・Y - 150グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第21号土坑、第199号土坑、第204号土坑と重複し、本遺構は第199号土坑より新しく第21号土坑より古い。第204号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は長径192cm、底面は長径180cm、深さは46cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 12層に分層した。黒～褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第9、7層より第 群3、6類土器（第184図271、273）、第9、7、5層より第 群4、5、11類土器（第167図19、20、第184図274）第 群土器（第184図272、275）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第199号土坑（第122図）

- [位置・確認層] X・Y - 150グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第198号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長122cm、長径底面は154cm、深さは98cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。東壁側に底面ピットを有する。
- [堆積土] 16層に分層した。黒～赤褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第20、15、14、7層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第184図276、277、279、280）、第15層、覆土より第 群土器（第184図278）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第200号土坑（第122図）

- [位置・確認層] Z - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径136cm、底面は長径124cm、深さは50cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3～1層より第 群6類土器（第184図282、284、286）、第4～1層、覆土より第 群4類土器（第184図285）、第 群土器（第184図281、283、287、288）が出土している。石器は、覆土より不定形石器3類が1点（図示していない）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第201号土坑（第122図）

- [位置・確認層] Y - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径86cm、底面は長径100cm、深さは70cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器（第184図289）、第 群5類土器（第184図290）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第202号土坑（第122図）

- [位置・確認層] Y - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第203号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径102cm、底面は長径108cm、深さは33cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 3層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、パミス、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第203号土坑 (第122図)

[ 位置・確認層 ] Y・Z - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第202号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は128cm×110cm、底面は長径168cm、深さは68cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒～褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。第11層黒色土は、第 層崩落土の可能性はある。

[ 出土遺物 ] 土器は、第4、3層より第 群5 a類、6類土器(第184、185図291、293) 第 群4、9類土器(第185図292、294)が出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第204号土坑 (第122図)

[ 位置・確認層 ] X - 150グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第198号土坑、第278号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長62cm、底面は最長68cm、深さは52cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 中央部から東側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 3層に分層した。褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第206号土坑 (第122図)

[ 位置・確認層 ] X - 149、150グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長116cm、底面は106cm×92cm、深さは115cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[ 堆積土 ] 14層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第9、4層、覆土より第 群6類土器(第185図299) 第14、11、9、1層、覆土

より第 群4、5、7、8、10土器（第185図296～298、301、302）、第 群土器（第185図297、300）が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Aが1点（第217図137）、4類Bが1点（第217図136）、半円状扁平打製石器が1点（第217図138）出土している。石製品は、第9層より三角形岩版が1点（第235図15）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第208号土坑（第123図）

[位置・確認層] X - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第195号土坑、第209号土坑と重複し、本遺構は第209号土坑より古く第195号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長80cm、底面は最長66cm、深さは21cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ローム、パミスを微量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第185図303）、第 群4、5、8、9類土器（第185図304～307）が出土している。石器は、覆土より石匙1類が1点（第203図29）、不定形石器1類Bが1点（図示していない）1類Cが1点（第203図30）、4類が2点（図示していない）、敲磨器類2類Aが1点（第217図139）、2類Bが1点（第217図140）、砥石が1点（第217図141）出土している。土製品は、覆土より鐸形土製品が1点（第232図30）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第209号土坑（第123図）

[位置・確認層] X - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第196号土坑、第208号土坑、第907号土坑と重複し、本遺構は第208号土坑より新しく、第196号土坑より新しい。第907号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径82cm、底面は長径108cm、深さは67cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～にぶい赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器（第185図308）、第 群6、9類土器（第185図310、311）、第 群土器（第185図309）が出土している。土製品は、覆土よりミニチュア土器が1点（第232図31）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第214号土坑A（第123図）

[位置・確認層] X・Y - 148、149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第65号土坑、第214号土坑B、第215号土坑A、第216号土坑と重複し、本遺構は、第65号土坑、

第216号土坑より新しく、第214号土坑B、第215号土坑Aより古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は206cm×178cm、底面は長径190cm、深さは171cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 16層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器(第185図312)、第 群4、8、9類土器(第185図313～316)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第214号土坑B(第123図)

[位置・確認層] X - 148、149グリッドに位置する。第214号土坑A覆土において確認した。

[重複] 第214号A土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長21cm、底面は長径17cm、深さは45cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第215号土坑A(第123図)

[位置・確認層] X - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第214号土坑A、第215号土坑B、第216号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径104cm、底面は長径88cm、深さは112cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。部分的に屈曲する箇所も見られ、北側一部はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 16層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群5 a類土器(第185図322)、第12、9～7、4、3、1層、覆土より第 群4～6土器(第185図317～320)、第 群土器(第185図321、323、324)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第215号土坑B(第123図)

[位置・確認層] X - 148グリッドに位置する。第215号土坑A覆土、第217号土坑覆土において確認した。

[重複] 第215号土坑A、第217号土坑と重複し、本遺構が古い。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は最長63cm、底面は最長24cm、深さは116cmである。
- [ 壁 ] 不明である。
- [ 底面 ] 一部を確認したのみであるが、北東側から南西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。にぶい黄褐色土、褐色土が堆積し、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。

#### 第216号土坑 (第123図)

- [ 位置・確認層 ] X・Y - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第214号土坑 A、第215号土坑 A と重複し、本遺構は第214号土坑 A、第215号土坑 A より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は42cm × 42cm、底面は16cm × 13cm、深さは30cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 起伏を有し、西側に落ち込みが見られる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積する。ローム、炭化物を微量含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第217号土坑 (第123図)

- [ 位置・確認層 ] X - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第215号土坑 B、第218号土坑、第221号土坑と重複し、本遺構は第215号土坑 B、第218号土坑より新しく、第221号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径114cm、底面は長径96cm、深さは112cmである。
- [ 壁 ] おおむね外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 若干の起伏を有する。南側から北側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 15層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群 8 類土器 (第186図326)、第 群土器 (第186図325) が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第218号土坑 (第123図)

- [ 位置・確認層 ] X・Y - 148グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第217号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は44cm × 77cm、底面は最長73cm、深さは20cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。



[出土遺物] 土器は、ピット1第1層、第9、5、1層、覆土より第 群4、8類土器(第167図21、第186図327~329)が出土している。石器は、覆土より磨製石斧1類Cが1点(第217図142)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第221号土坑(第124図)

[位置・確認層] X-148グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第217号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長116cm、底面は最長78cm、深さは9cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群8類土器(第186図331)、第 群土器(第186図330)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第222号土坑(第124図)

[位置・確認層] X-153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第247号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は最長110cm、底面は最長128cm、深さは90cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]

[堆積土] 7層に分層した。黒褐~暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4、3層より第 群5a類、6類土器(第186図332~334)、第3層より第 群土器(第186図335、336)が出土している。石器は第6層より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第223号土坑(第124図)

[位置・確認層] X・Y-147、148グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] 第53号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は128cm×58cm、底面は123cm×40cm、深さは21cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。褐~明褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

### 第224号土坑（第124図）

- [位置・確認層] X - 147、148グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は42cm×58cm、底面は34cm×50cm、深さは16cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

### 第225号土坑（第124図）

- [位置・確認層] Y - 145、146グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径106cm、底面は長径92cm、深さは140cmである。
- [壁] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。北側は、一部オーバーハングする。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。中央部にピットを有する。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。第7、8層は柱穴と思われるピットの堆積土である。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第186図338）第5、1層、覆土より第 群6、7類土器（第186図337、339）第 群土器（第186図336）が出土している。石器は、第2層より水晶2類Bが1点（第231図263）第1層より石筥3類が1点（第204図31）不定形石器1類Aが1点（図示していない）1類Bが2点（第204図32、33）1類Cが1点（第204図34）2類が1点（図示していない）覆土より敲磨器類2類Eが1点（第217図143）出土している。土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点（第232図34）出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第227号土坑（第124図）

- [位置・確認層] X - 146グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径143cm、底面は長径154cm、深さは101cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。西側は一部外側へ立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。東壁側に底面ピット2基を有する。
- [堆積土] 19層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構確認層より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第228号土坑**（第124図）

- [位置・確認層] X・Y - 145、146グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径131cm、底面は長径155cm、深さは112cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし袋状を呈する。南側は一部外側へ立ち上がる。
- [底面] 若干の起伏を有するがおおむね平坦である。
- [堆積土] 5層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。第1～5層は柱穴と思われるピットの堆積土である。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群7類土器（第186図342）、ピット1底面、第1層、覆土より第 群6類土器（第186図549、）第 群土器（第186図340、341）が出土している。石器は、第4層より敲磨器類4類Bが1点（第217図144）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第229号土坑**（第125図）

- [位置・確認層] X - 145グリッドにおいて確認した。第 層において確認した。
- [重複] 第272号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長144cm、底面は最長184cm、深さは168cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 中央部に起伏が見られる。また、柱穴状ピットは、底面を掘り込んでいる。
- [堆積土] 11層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。第1～9層は柱穴状ピットの堆積土である。
- [出土遺物] 土器は、第7層より第 群5 a類土器（第186図344）、第 群3類土器（第186図345）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第230号土坑**（第125図）

- [位置・確認層] X・Y - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第274号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は最長104cm、底面は最長100cm、深さは99cmである。
- [壁] 全体としてほぼ直線的に立ち上がる。北側は、一部外側へ立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

**第231号土坑**（第125図）

- [位置・確認層] A A - 150、151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長108cm、底面は長径165cm、深さは131cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、パミス、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第168図22、第186図346）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第232号土坑（第125図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 150、151グリッドに位置する。第5号竪穴式住居跡覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第5号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は170cm×151cm、底面は最長160cm、深さは100cmである。
- [ 壁 ] 若干オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 9層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第5、3、2層より第 群3類、5 a類、6類土器（第168図23、第186図348、350）、第6、5、2層、覆土より第 群4、6、8類土器（第168、169図24～27、第186図347、349、351、353）が出土している。石器は、第7層より敲磨器類4類Dが1点（第218図147）、5類が1点（第218図149）半円状扁平打製石器が1点（第218図150）、第4層より敲磨器類4類Dが1点（第218図148）、半円状扁平打製石器が1点（第218図152）、第2層より石匙1類が1点（第204図35）、敲磨器類2類Aが1点（第218図145）、覆土より石匙1類が1点（第204図36）、不定形石器1類Cが1点（第204図37）、磨製石斧1類Cが1点（第218図151）、敲磨器類4類Aが1点（第218図146）出土している。土製品は、第4層より鐸形土製品が1点（第232図32）、土器片利用土製品が1点（第232図33）、第1層より土器片利用土製品が1点（第232図34）、覆土よりミニチュア土器が1点（第232図）、土器片利用土製品が2点（第232図36、第233図37）出土している。石製品は、第2層より円形岩版が1点（第235図16）、覆土より三角形岩版が1点（第235図17）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第234号土坑（第125図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 146、147グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [ 重複 ] 第161号土坑、第235号土坑と重複し、本遺構は第235号土坑より新しく第161号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長114cm、底面は長径128cm、深さは135cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] おおむね平坦であるが、南東側は窪みが見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 18層に分層した。黒～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第2、1層、覆土より第 群6類土器（第186図354）ピット1、第18、2、1層

より第 群4類土器(第186図353) 第 群土器(第186図352、355)が出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第235号土坑(第126図)

[位置・確認層] X・Y - 146、147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第234号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は138cm×42cm、底面は168cm×62cm、深さは26cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏があるがほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。暗褐～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 第1層より水晶2類Aが1点(第231図264)出土している。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第236号土坑(第126図)

[位置・確認層] X - 156グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は163cm×150cm、底面は186cm×180cm、深さは57cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 26層に分層した。黒～褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。第10層黒色土は、第 層崩落土の可能性はある。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器(第186図356)が出土している。石器は、覆土より剥片が1点(第204図38)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第237号土坑(第126図)

[位置・確認層] X・Y - 152、153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第9号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長92cm、底面は長径128cm、深さは54cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、3層より第 群6類土器(第186図357、360) 第5、4、2層より第 群4、8類土器(第186図358、359) 第 群土器(第186図361、362)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。土製品は、第1層より土偶が1点(第233図38) 土器片利用土製品が1点(第233図39)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第238号土坑 (第126図)

[ 位置・確認層 ] X・Y - 156グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は93cm×80cm、底面は長径138cm、深さは76cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第239号土坑 (第126図)

[ 位置・確認層 ] X - 155グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径158cm、底面は長径158cm、深さは55cmである。

[ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。第5層黒色土は、第 層崩落土の可能性はある。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器(第186図363)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第240号土坑 (第126図)

[ 位置・確認層 ] X・Y - 155グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径114cm、底面は長径124cm、深さは65cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。また、起伏を有する。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒～褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。第6層黒色土は、第 層崩落土の可能性はある。

[ 出土遺物 ] 土器は、第7、5、1層より第 群3類、6類土器(第186図364～366)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第241号土坑 (第127図)

[ 位置・確認層 ] X - 155グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径93cm、底面は長径92cm、深さは48cmである。

[壁] 全体として若干オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が若干の見られる。また中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、パミスを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器(第186図367)、第 群4類土器(第186図368)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第242号土坑(第127図)

[位置・確認層] Y - 156グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は44cm×33cm、底面は32cm×15cm、深さは9cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第243号土坑(第127図)

[位置・確認層] Y - 156グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は130cm×104cm、底面は長径166cm、深さは66cm×78cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。また中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第244号土坑(第127図)

[位置・確認層] X - 154、155グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は107cm×90cm、底面は長径112cm、深さは78cm×88cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側は、一部外側へ立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第187図369) 第 群7類土器(第187図370)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第245号土坑(第127図)

[位置・確認層] X-154グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は36cm×26cm、底面は34cm×22cm、深さは11cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第246号土坑(第127図)

[位置・確認層] X-153グリッドに位置する。第 層、第9号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第9号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径116cm、底面は長径124cm、深さは32cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6層より第 群6類土器(第187図371) 第 群4類土器(第187図372)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第247号土坑(第127図)

[位置・確認層] X-153、154グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第222号土坑、第248号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は102cm×122cm、底面は長径150cm、深さは98cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6層、4、2層より第 群5a類、6類土器(第187図373～375)が出土している。石器は、覆土より石匙2類が1点(第205図39)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。



**第248号土坑**（第127図）

- [位置・確認層] X・Y - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第247号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は96cm×84cm、底面は長径126cm、深さは122cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 北西側から南西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 17層に分層した。黒～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第12、10～8、6、2層より第 群3類、5 a類、6類土器（第187図377、378、380、381、383）第15、9、6、2層、覆土より第 群5類土器（第187図382）、第 群土器（第187図379、384）が出土している。石製品は、第6層より三角形岩版が1点（第235図18）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第249号土坑**（第128図）

- [位置・確認層] X - 154グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長86cm、底面は最長98cm、深さは56cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第250号土坑**（第128図）

- [位置・確認層] X・Y - 154グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で開口部は長径104cm、底面は長径110cm、深さは61cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。
- [堆積土] 11層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器（第187図385）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第251号土坑**（第128図）

- [位置・確認層] Y - 153、154グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第252号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は112cm×104cm、底面は156cm×138cm、深さは165cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 15層に分層した。黒褐～黄橙色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第21～19層より第 群6類土器(第187図386、388、390、393) 第21～19、1層より第 群8類土器(第169図28、第187図394) 第 群土器(第187図387、389、391、392)が出土している。石製品は、第15層より球状石製品が1点(第236図20)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第252号土坑(第128図)

[位置・確認層] Y - 154グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第251号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径100cm、底面は長径90cm、深さは28cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。

[底面] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層、覆土より第 群5類土器(第169図29) 第 群8類土器(第187図394)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第253号土坑(第128図)

[位置・確認層] X・Y - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径102cm、底面は長径110cm、深さは77cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、2、1層より第 群6類土器(第187図398、400、402) 第7、6、4、2層、覆土より第 群4、5、11類土器(第169図30、第187図396、397、401) 第 群土器(第187図399)が出土している。石器は、第7層より不定形石器1類Fが1点(第205図42)、第6層より石鏃3類3が1点(第205図41)、石匙1類が1点(第205図43)、石筥1類が1点(第205図40)、覆土より磨製石斧1類Cが1点(第218図153)出土している。石製品は、覆土より円形岩版が1点(第236図21)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第254号土坑(第128図)

[位置・確認層] Z・AA - 154グリッドに位置する。第 層、第8号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第8号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で開口部は長径120cm、底面は166cm×150cm、深さは63cm×73cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第8、5、2層より第群5a類、6類土器（第187図403～405）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第255号土坑（第128図）

[位置・確認層] Y-145グリッドに位置する。第a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径62cm、底面は最長37cm、深さは64cmである。

[壁] 全体として直線的に立ち上がる。西側は底面付近で屈曲した後、直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第群7類土器（第187図406）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第256号土坑（第128図）

[位置・確認層] Y-145グリッドに位置する。第a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は53cm×39cm、底面は45cm×36cm、深さは69cmである。

[壁] 全体として、東側に傾き立ち上がる。若干オーバーハングする。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層より第群6類土器（第188図407）、第1層より第群6、7類土器（第188図408、409）が出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第257号土坑（第129図）

[位置・確認層] Y-145グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第274号土坑、第285号土坑、第332号土坑と重複し、本遺構は第285号土坑より新しく第274号土坑、第332号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は142cm×134cm、底面は190cm×177cm、深さは152cm

である。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 26層に分層した。黒褐～赤褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群2 b、3、7、8、10類土器（第188図410、412、415～420）第 群土器（第188図411、413、414、421～423）が出土している。石器は、第14層より不定形石器1類 Bが1点（図示していない）第12層より水晶2類Aが1点（第231図265）第7層より石錐2類2が1点（第205図45）出土している。土製品は、第13層より土器片利用土製品が1点（第233図40）第12層より土器片利用土製品が1点（第233図41）第8層より土器片利用土製品が2点（第233図42、43）第7層より土器片利用土製品が1点（第233図44）第6層より土器片利用土製品が1点（第233図45）第2層より土器片利用土製品が1点（第233図46）覆土より土器片利用土製品が1点（第233図47）出土している。石製品は、覆土より円形岩版が1点（第236図22）出土している。

[時期] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第259号土坑（第129図）

[位置・確認層] X・Y - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第455号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径84cm、底面は長径82cm、深さは106cmである。

[壁] 東側は、若干オーバーハングする。西側は外側へ立ち上がる。いずれも若干の起伏を伴う。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、5層より第 群6類土器（第188図426）ピット1、第3層、覆土より第 群土器（第188図424、425、427）が出土している。石器は、覆土より大石平型石篋が1点（第205図44）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第233図48）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第260号土坑（第129図）

[位置・確認層] Y - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は98cm×44cm、底面は82cm×32cm、深さは22cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器（第188図428）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第261号土坑**（第129図）

[位置・確認層] Y - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径90cm、底面は長径71cm、深さは68cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群2 b類土器（第188図429）が出土している。石器は、第3層より不定形石器1類Fが1点（図示していない）、第1層より石筥1類が1点（第205図46）出土している。石製品は、第1層より円形岩版が1点（第236図23）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第262号土坑**（第129図）

[位置・確認層] Y - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は58cm×46cm、底面は52cm×38cm、深さは10cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[時期] 不明である。

**第264号土坑**（第129図）

[位置・確認層] Y - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は48cm×40cm、底面は44cm×34cm、深さは14cmである。

[壁] 若干オーバーハングする。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積とおもわれる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器（第188図430）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第265号土坑**（第129図）

[位置・確認層] Y - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は51cm×45cm、底面は47cm×40cm、深さは50cmである。

[壁] 若干オーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第188図431、432)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第266号土坑A(第130図)

[位置・確認層] Y・Z - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第266号土坑Bと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径200cm、底面は長径186cm、深さは88cmである。

[壁] 全体として外側へ立ち上がる。南西側は一部オーバーハングする。

[底面] 北東がわから南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 14層に分層した。黒褐～赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第188図433)が出土している。石器は、覆土より剥片(図示していない)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第266号土坑B(第130図)

[位置・確認層] Y・Z - 143、144グリッドに位置する。第266号土坑A覆土において確認した。

[重複] 第266号土坑Aと重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径44cm、底面は30cm×30cm、深さは27cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。北側は、一部オーバーハングするものと思われる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 不明である。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第267号土坑(第129図)

[位置・確認層] X - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長63cm、底面は最長57cm、深さは14cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

**第268号土坑**（第130図）

[位置・確認層] X - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長98cm、底面は最長84cm、深さは12cmである。

[壁] 外側へ揺るやかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

**第269号土坑**（第130図）

[位置・確認層] X・Y - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径155cm、底面は長径168cm、深さは56cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南西側は、外側へ立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。

[堆積土] 10層に分層した。暗褐～黄褐色土が堆積し、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a、6類土器（第188図434、435）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第270号土坑**（第130図）

[位置・確認層] Y - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径90cm、底面は長径68cm、深さは18cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

**第271号土坑**（第130図）

[位置・確認層] Y - 143、144グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] 第333号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長148cm、底面は最長108cm、深さは38cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群土器（第188図436）が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第272号土坑 (第130図)

[ 位置・確認層 ] X - 145、146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第229号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長114cm、底面は最長151cm、深さは120cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 12層に分層した。暗褐色～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第12、6、5層より第 群5 a類、6類土器が(第188図437～439)出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第274号土坑 (第131図)

[ 位置・確認層 ] X・Y - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第230号土坑、第257号土坑、第285号土坑と重複し、本遺構は第230号土坑、第257号土坑、第285号土坑より新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径122cm、底面は長径170cm、深さは158cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 30層に分層した。黒褐色～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第23、20、19、17、15、13～9、7、5、3、2層、覆土より第 群2、4、67類土器(第169図31、第188図440、441、445、447～450)、第 群土器(第188図442～444、446、451～455)が出土している。石器は、第26層より石皿・台石1類が1点(第219図160)、第19層より不定形石器4類が1点(図示していない)、第13層より石匙1類が1点(第205図47)、第7層より礫石錘2類が1点(第219図156)、第6層より不定形石器4類が1点(図示していない)、覆土より石筥1類が1点(第205図48)、不定形石器1類Cが1点(第206図49)、3類が1点(図示していない)、4類が4点(図示していない)、礫石錘2類4点(第219図154、155、157、158)、敲磨器類1類Aが1点(第219図161)、2類Aが1点(第219図159)、2類Bが1点(第219図162)出土している。土製品は、第14層より土器片利用土製品が1点(第233図49)、第7層より土器片利用土製品が3点(第233図50～52)、覆土より土器片利用土製品が1点(第233図53)出土している。石製品は、第8層より有孔石製品が1点(第236図24)、第6層よりその他の石製品が1点(第235図19)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第278号土坑 (第131図)

[ 位置・確認層 ] X - 149、150グリッドに位置する。第 層において確認した。



[重複] 第204号土坑、第916号土坑、第917号土坑と重複し、本遺構は、第916号土坑、第917号土坑より古い。第204号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は最長74cm、底面は最長90cm、深さは71cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。北壁側に底面ピットを有する。

[堆積土] 12層に分層した。黒褐～明黄褐色土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第9、8、6、4、1層より第 群6類土器（第189図457、458、460、462）第10、8、5、3～1層、覆土より第 群5類土器（第189図461）第 群土器（第189図456、459、463、464）が出土している。土製品は、覆土より土偶が1点（第233図54）、土器片利用土製品が2点（第233図55、56）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第279号土坑（第131図）

[位置・確認層] A D - 146グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長144cm、底面は最長138cm、深さは12cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 不明である。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第280号土坑（第131図）

[位置・確認層] A C・A D - 149グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径124cm、底面は長径154cm、深さは43cmである。

[壁] オーバーハングし袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 9層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第281号土坑（第131図）

[位置・確認層] Z・A A - 151、152グリッドに位置する。第 層、第11号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第11号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長122cm、底面は長径156cm、深さは70cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 13層に分層した。黒～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第12、6、4、1層より第 群3類、6類土器（第189図465～468）が出土している。石器は、第1層より磨製石斧1類Cが1点（第220図163）、覆土より不定形石器1類Cが1点（第206図50）出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第284号土坑（第131図）

[ 位置・確認層 ] AA - 124、125グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径105cm、底面は長径92cm、深さは50cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群土器（第189図469）が出土している。石器は、第1層より石皿・台石1類が1点（第220図166）出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第285号土坑（第132図）

[ 位置・確認層 ] Y - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第257号土坑、第274号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長136cm、底面は長径114cm、深さは79cmである。

[ 壁 ] 全体としてやや外側へ起伏を伴い立ち上がる。西側は、外側へ立ち上がるものと思われる。

[ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 13層に分層した。黒褐～明黄褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫、円礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第6、3、2層より第 群土器（第189図470～472）が出土している。石器は、第4層より敲磨器類2類Eが1点（第220図164）、4類Bが1点（第220図165）出土している。石製品は、覆土より円形岩版が1点（第236図25）出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第286号土坑（第132図）

[ 位置・確認層 ] AB - 144グリッドに位置する。第 層、第356号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第356号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径100cm、底面は長径112cm、深さは37cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第288号土坑（第132図）

- [ 位置・確認層 ] A B - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径138cm、底面は長径148cm、深さは18cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群6類土器（第189図473）、第 群土器（第189図474）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第289号土坑（第132図）

- [ 位置・確認層 ] A A・A B - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径168cm、底面は長径186cm、深さは105cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 17層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第6、2層より第 群6類土器（第189図475～477）、第2層より第 群7類土器（第189図478）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第290号土坑（第132図）

- [ 位置・確認層 ] A A・A B - 145グリッドに位置する。第 層、第298号土坑覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第291号土坑、第298号土坑、第334号土坑と重複し、第298号土坑、第334号土坑より新しく第291号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は128cm×107cm、底面は長径185cm、深さは107cmである。
- [ 壁 ] 全体として、オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 13層に分層した。黒褐～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第6、2、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第189図479、481～483）、第6層より第 群土器（第189図480）が出土している。石器は、第4層より石匙1類が1点（第206図

51) 覆土より不定形石器 1 類 C が 1 点 (第206図52)、4 類が 1 点、(図示していない)、敲磨器類 4 類 A が 1 点 (第220図168)、半円状扁平打製石器が 1 点 (第220図167) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第291号土坑 (第132図)

[ 位置・確認層 ] A A・A B - 145グリッドに位置する。第 層、第114号土坑覆土、第290号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第114号土坑、第290号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径99cm、底面は長径156cm、深さは143cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 若干の傾斜が見られるがほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第 9 層、覆土より第 群 3 類、6 類土器 (第189図484、487)、第11～ 9、7、5 層、覆土より第 群 2 a、6 類土器 (第170図32～34、第189図486、488)、第 群土器 (第189図485) が出土している。石器は、第 5 層より礫石錘 2 類が 1 点 (第220図169) 覆土より不定形石器 1 類 A が 1 点 (第206図53)、剥離のある礫が 1 点 (第220図170) 出土している。土製品は、覆土より土偶が 1 点 (第233図57)、土器片利用土製品が 2 点 (第233図58、59) 出土している。石製品は、覆土よりイモガイ状石製品が 1 点 (第236図26) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第292号土坑 (第133図)

[ 位置・確認層 ] A B・A C - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第293号土坑 B、第299号土坑と重複し、本遺構は第299号土坑より新しく第293号土坑 B より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径148cm、底面は長径152cm、深さは21cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北東側はオーバーハングする。

[ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群 6 類土器 (第190図490)、第 3 層、覆土より第 群土器 (第190図489) が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第293号土坑 A (第133図)

[ 位置・確認層 ] A C - 145グリッドに位置する。第 層、第293号土坑 B 覆土において確認した。

[ 重複 ] 第293号土坑 B と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は136cm×112cm、底面は長径160cm、深さは123cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

- [堆積土] 14層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、ピット1第1層、第14、13、11～9、7、6、2、1層、覆土より第群2、4、6～8、11類土器（第170図35～37、第190図490～493、495、497）、第群土器（第190図494、496、498～500）が出土している。石器は、第14層より不定形石器1類Aが1点（第206図55）、第13層より礫石錘2類が1点（第221図172）、第11層より敲磨器類3類が1点（第221図174）、石皿・台石1類が1点（第221図175）、覆土より石匙1類が1点（第206図54）、磨製石斧1類Cが1点（第221図171）、敲磨器類4類Aが1点（第221図173）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が3点（第233図60～62）出土している。石製品は、円形岩版が1点（第236図27）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第293号土坑B（第133図）

- [位置・確認層] AC - 145グリッドに位置する。第層、第292号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第292号土坑、第293号土坑Aと重複し、本遺構は第292号土坑より新しく第293号土坑Aより古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径168cm、底面は長径214cm、深さは144cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 21層に分層した。黒～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第6、4層より第群6類土器（第190図503、504）、第10、8、4、2層、覆土より第群3、5類土器（第190図501、502、506）、第群土器（第190図505）が出土している。石器は、第1層より不定形石器3類が1点（図示していない）出土している。土製品は、第8層より土器片利用土製品が1点（第233図63）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第297号土坑（第133図）

- [位置・確認層] AC・AD - 145に位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径106cm、底面は長径126cm、深さは134cmである。
- [壁] オーバーハングし袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 13層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第8、4層、覆土より第群5a類、6類土器（第190図508、513）、第12、10～4、2、1層より第群3、6、8類土器（第171図38、第190図507、509、511、512）、第群土器（第190図510、514～516）が出土している。石器は、第6層より不定形石器4類が1点（図示していない）、第4層よりその他の剥片石器が1点（図示していない）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第298号土坑（第134図）

- [位置・確認層] A B - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第290号土坑、第299号土坑と重複し、本遺構は第290号土坑、第299号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長149cm、底面は長径153cm、深さは74cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。北側は外側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [底面] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。
- [堆積土] 8層に分層した。黒褐～明黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第190図517～519）第 群土器（第190図520）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第299号土坑（第134図）

- [位置・確認層] A B - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第292号土坑、第298号土坑と重複し、本遺構は第292号土坑より古く第298号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長132cm、底面は最長184cm、深さは135cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 19層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第17、6、4、1層より第 群3類、5 a類、6類土器（第190図522、526、527、530）第18、17、15、13、6、4～2層、覆土より第 群2、6類土器（第190図524、529、531）第 群土器（第190図521、523、525、528）が出土している。石器は、第6層より不定形石器4類が1点（図示していない）出土している。土製品は、第18層より土器片利用土製品が1点（第234図64）第17層より土器片利用土製品が1点（第234図65）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第300号土坑（第134図）

- [位置・確認層] A B・A C - 144グリッドに位置する。第 層、第301号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第301号土坑、第303号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径110cm、底面は長径116cm、深さは93cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 16層に分層した。黒～黄橙色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第8、5、2層より第 群6類土器（第191図532、534、536、539）第6、5、3～1層、覆土より第 群6～8、10類土器（第171図40、41、第191図533、537、540）第 群土器（第171図39、第191図535、538）が出土している。石器は、第1層より石鏃5類が1点（図示していない）、覆土より石鏃2類2が1点（第206図56）敲磨器類2類Aが1点（第221図176）、4類Aが1点（第221図178）出土している。土製品は、第1層より土器片利用土製品が3点（第234図66～68）出

土している。石製品は、第1層より球状石製品が1点（第236図28）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第301号土坑（第134図）

[位置・確認層] AC - 144、145グリッドに位置する。第1層、第303号土坑覆土において確認した。

[重複] 第300号土坑、第303号土坑と重複し、本遺構は第303号土坑より新しく第300号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径114cm、底面は長径126cm、深さは152cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 22層に分層した。黒～明赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第10、8、1層、覆土より第1群8類土器（第191図543）第2群土器（第191図541、542）が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点（第207図58）、剥片が1点（第206図57）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第234図69）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第302号土坑（第135図）

[位置・確認層] AC - 144グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第303号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は256cm×96cm、底面は130cm×116cm、深さは109cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 26層に分層した。（303土坑と共通）

[出土遺物] 土器は、覆土より第1群6類土器（第191図546）第2群2a、6類土器（第191図544、545）が出土している。石器は、第1層より不定形石器1類Dが1点（第207図59）、覆土より石鏃3類2が1点（第207図60）、不定形石器1類Dが2点（第207図61、62）、敲磨器類2類Eが1点（第221図177）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第303号土坑（第135図）

[位置・確認層] AC - 144グリッドに位置する。第1層、第301号土坑覆土において確認した。

[重複] 第300号土坑、第301号土坑、第302号土坑と重複し、本遺構は第300号土坑、第301号土坑より古く第302号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は256cm×148cm、底面は160cm×128cm、深さは105cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 26層に分層した。（302土坑と共通）

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第191図547)、第 群土器(第191図548)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第305号土坑(第135図)

[位置・確認層] AC - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は62cm×48cm、底面は57cm×42cm、深さは6cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

### 第308号土坑(第135図)

[位置・確認層] AE - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径36cm、底面は18cm×6cm、深さは40cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

### 第309号土坑(第135図)

[位置・確認層] AD - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は106cm×88cm、底面は71cm×57cm、深さは67cmである。

[壁] 外側へ起伏を伴い緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第191図550)、第4層より第 群土器(第191図549)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。



**第310号土坑**（第135図）

- [位置・確認層] A E - 144グリッドに位置する。第 a 層において確認した。
- [重複] 第370号土坑 A、第370号土坑 B と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長118cm、底面は長径164cm、深さは196cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 15層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫をふくむ。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群5 a類、6類土器（第191図551、553）、第2、1層より第 群土器（第191図552、554）が出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第311号土坑**（第135図）

- [位置・確認層] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径16cm、底面は長径8cm、深さは9cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、パミスを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第312号土坑**（第136図）

- [位置・確認層] A D・A E - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第444号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は156cm×128cm、底面は長径139cm、深さは185cmである。
- [壁] 全体として若干オーバーハングし、袋状を呈する。東側は一部外側へ立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 20層に分層した。黒～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第10層、覆土より第 群6類土器（第191図557）、第16、10、9、6、5、1層、覆土より第 群4、7類土器（第191図558、561）、第 群土器（第191図555、556、559、560）が出土している。石器は、覆土より不定形石器3類が1点（第207図64）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第234図70）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第314号土坑**（第136図）

〔位置・確認層〕A E - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は104cm×85cm、底面は76cm×72cm、深さは43cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第3、1層より第 群6類土器（第191図562、566）、第3～1層より第 群土器（第191図563～565）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第317号土坑**（第136図）

〔位置・確認層〕A E - 144グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は長径96cm、底面は長径86cm、深さは24cmである。

〔壁〕全体として外側へ揺るやかに立ち上がる。東側一部はオーバーハングする。

〔底面〕若干の傾斜が見られるがほぼ平坦である。

〔堆積土〕4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、覆土より第 群6類土器（第191図567）、第 群土器（第191図568）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第320号土坑**（第136図）

〔位置・確認層〕A D・A E - 144グリッドに位置する。第 層、第321号土坑覆土、第322号土坑覆土において確認した。

〔重複〕第321号土坑、第322号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は95cm×71cm、底面は89cm×72cm、深さは32cmである。

〔壁〕全体として直線的に立ち上がる。北側はやや外側へ、西側はオーバーハングし、立ち上がる。

〔底面〕中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、覆土より第 群6類土器（第191図569）、第1層より第 群土器（第191図570）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第321号土坑**（第136図）

〔位置・確認層〕A D・A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第320号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長90cm、底面は長径124cm、深さは100cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。北側に底面ピットを有する。

[堆積土] 11層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第10、7、4、2層より第 群3類、5 a、6類土器（第191図571～574）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第322号土坑（第136図）

[位置・確認層] A D - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第320号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は最長104cm、底面は最長94cm、深さは31cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。黒～赤褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器（第191図576）、第 群土器（第191図575）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第323号土坑（第137図）

[位置・確認層] A D - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第324号土坑、第359号土坑、第6号溝と重複し、本遺構は、第324号土坑、第359号土坑より新しい。第6号溝との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径163cm、底面は長径198cm、深さは135cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 19層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第18、15、12、7層、覆土より第 群5 a類土器（第192図577、580、582、585）、第19、17、15、13、12、8、7、2、1層、覆土より第 群5、7類土器（第192図578、583）、第 群土器（第192図579、581、584、586～588）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。土製品は、第18層より焼成粘土塊が1点（第234図71）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第324号土坑（第137図）

[位置・確認層] A D - 144グリッドに位置する。第 層、第359号土坑覆土において確認した。

[重複] 第323号土坑、第359号土坑と重複し、本遺構は第359号土坑より新しく第323号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長141cm、底面は長径174cm、深さは108cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側は、外側へ立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 18層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第15、13、10、6～4層より第群5a類、6類土器(第192図589、590、592、593、595)、第14、10、5、4層、覆土より第群2、6、7類土器(第192図591、596、599)、第群土器(第192図594、597、598)が出土している。石器は第12層より敲磨器類4類Aが1点(第221図179)、第1層より石匙2類が2点(第207図63、65)、不定形石器3類が1点(図示していない)、覆土より不定形石器1類Eが1点(第208図66)出土している。土製品は、第3層より土器片利用土製品が1点(第234図72)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第332号土坑(第137図)

[位置・確認層] Y-145にグリッドに位置する。第層、第275号土坑覆土において確認した。

[重複] 第257号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は94cm×79cm、底面は95cm×74cm、深さは120cmである。

[壁] 全体として東側に傾き立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。第1～2層は、ピットの堆積土である。

[出土遺物] 土器は、第3層より第群6類土器(第192図603)、第7、4、3層より第群3、6、7類土器(第192図600～602、604)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Dが1点(図示していない)、2類が1点(図示していない)、水晶2類Bが1点(第231図266)出土している。土製品は、ピット1第4層より土器片利用土製品が1点(第234図73)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第333号土坑(第137図)

[位置・確認層] Y-144グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第271号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径56cm、底面は長径47cm、深さは22cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第群土器(第192図605)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第334号土坑(第137図)

[位置・確認層] AA・AB-144、145グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第290号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径160cm、底面は長径154cm、深さは51cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南東側は、オーバーハングする。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層、覆土より第 群6類土器(第192図606、607)が出土している。石器は、第5層より不定形石器3類が1点(第208図167)、覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第339号土坑(第137図)

[位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第340号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は38cm×28cm、底面は38cm×22cm、深さは29cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第340号土坑(第137図)

[位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第339号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は14cm×12cm、底面は長径11cm、深さは不明である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 不明である。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第341号土坑(第137図)

[位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は28cm×24cm、底面は20cm×18cm、深さは22cmである。

[壁] やや外側へ立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 不明である。

[ 出土遺物 ] なし。  
[ 時期 ] 不明である。

**第342号土坑** (第137図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[ 重複 ] なし。  
[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径30cm、底面は長径22cm、深さは36cmである。  
[ 壁 ] 全体としてやや外側へ緩やかに立ち上がる。  
[ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。  
[ 堆積土 ] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を微量含む。人為堆積と思われる。  
[ 出土遺物 ] なし。  
[ 時期 ] 不明である。

**第343号土坑** (第138図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[ 重複 ] なし。  
[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径22cm、底面は長径16cm、深さは29cmである。  
[ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。  
[ 底面 ] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。  
[ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
[ 出土遺物 ] なし。  
[ 時期 ] 不明である。

**第344号土坑** (第138図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[ 重複 ] なし。  
[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は30cm×26cm、底面は18cm×14cm、深さは21cmである。  
[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。  
[ 堆積土 ] 3層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。  
[ 出土遺物 ] なし。  
[ 時期 ] 不明である。

**第345号土坑** (第138図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[ 重複 ] なし。  
[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は28cm×26cm、底面は26cm×16cm、深さは22cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 不明である。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第346号土坑 (第138図)

[ 位置・確認層 ] Z・AA - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第456号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長240cm、底面は最長75cm、深さは68cmである。

[ 壁 ] 底面から外側へ起伏を伴い立ち上がる。

[ 底面 ] すり鉢状の底面を有する。ほぼ中央部に底面ピットを有する。

[ 堆積土 ] 33層に分層した。黒褐～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第31、26、25、21、19、15、13、10、3層、覆土より第 群6類土器 (第192図608～616)、第3、2層、覆土より第 群土器 (第192図617、618) が出土している。石器は、第11層より石鏃3類2が1点 (第208図68)、覆土より敲磨器類4類Aが1点 (第222図180)、その他の剥片石器が1点 (図示していない) 出土している。古銭は、覆土より60点 (第237～239図1～60) が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より平安時代以後の土坑と思われる。

#### 第347号土坑 (第138図)

[ 位置・確認層 ] AA - 153グリッドに位置する。第 層、第10号竪穴式住居跡、第11号竪穴式住居跡において確認した。

[ 重複 ] 第10号竪穴式住居跡、第11号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は187cm×147cm、底面は167cm×129cm、深さは62cmである。

[ 壁 ] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 5層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以後の土坑と思われる。

#### 第350号土坑 (第138図)

[ 位置・確認層 ] AF - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径18cm、底面は長径12cm、深さは16cmである。

[ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第351号土坑 (第138図)**

- [ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は56cm×40cm、底面は長径18cm、深さは29cmである。
- [ 壁 ] 外側へ立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 不明である。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第352号土坑 (第138図)**

- [ 位置・確認層 ] A G - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は30cm×26cm、底面は18cm×14cm、深さは21cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第353号土坑 (第138図)**

- [ 位置・確認層 ] A G - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径34cm、底面は16cm×12cm、深さは24cmである。
- [ 壁 ] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。東側は屈曲して外側へ立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第355号土坑 (第138図)**

- [ 位置・確認層 ] Z・A A - 153グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第11号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径124cm、底面は長径138cm、深さは87cmである。



[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 中央部から東側及び西側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 15層に分層した。黒～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第15、11～9、6層より第 群3類、5a類、6類土器（第192図619～623）が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第356号土坑（第139図）

[ 位置・確認層 ] AB - 144グリッドに位置する。第 層、第357号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第286号土坑、第357号土坑と重複し、本遺構は第357号土坑より新しく第286号土坑より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径91cm、底面は長径114cm、深さは129cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 8層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第8～6、4、2層より第 群3類、6類土器（第193図624～628）、第1層より第 群土器（第193図629）が出土している。石器は、第8層より不定形石器4類が1点（図示していない）、第4層より敲磨器類2類B（第222図182）、半円状扁平打製石器が1点（第222図181）出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第357号土坑（第139図）

[ 位置・確認層 ] AB - 144グリッドに位置する。第 層、第356号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第356号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長90cm、底面は最長154cm、深さは80cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第4、3、1層より第 群6類土器（第193図630～632）が出土している。石器は、覆土より剥片（図示していない）が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第358号土坑（第139図）

[ 位置・確認層 ] AB・AC - 145グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[ 重複 ] 第144号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長102cm、底面は長径116cm、深さは135cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われ

る。

[出土遺物] 土器は、第6、3層、覆土より第群3類、6類土器(第172図44、第193図635、639)、第10、9、6～1層、覆土より第群2b、5、6類土器(第171、172図42、43、45、第177図67、第193図636、640)、第群土器(第193図633、634、637、638、641、642)が出土している。石器は、第9層より敲磨器類4類Bが1点(第222図184)、覆土より敲磨器類2類Bが1点(第222図183)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第359号土坑(第139図)

[位置・確認層] AD-144グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第323号土坑、第324号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は最長168cm、底面は最長159cm、深さは105cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏を有する。北東側に底面ピットを有する。

[堆積土] 9層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第9、7～4層、覆土より第群5a類、6類土器(第172図46、47、第173図48、第193図643～648)が出土している。石器は、第8層より敲磨器類4類Aが1点(第222図185)、第4層より敲磨器類2類Bが1点(第222図186)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第360号土坑(第139図)

[位置・確認層] AB-144グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長113cm、底面は最長95cm、深さは16cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ起伏を伴う若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

### 第361号土坑(第139図)

[位置・確認層] AA-145グリッドに位置する。第層、第456号土坑覆土において確認した。

[重複] 第114号土坑、第362号土坑、第456号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は111cm×88cm、底面は長径155cm、深さは139cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 若干の起伏を有する。中央に底面ピットを有する。

[堆積土] 23層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第19、17層より第 群6類土器（第193図653、657）、第28、23～19、17、15、13、11、9、7～5、2、1層、覆土より第 群5、6、8類土器（第173図49、第193図654、656、660、662、663、665）、第 群土器（第173図50、第193図649～652、655、658、659、661、664）が出土している。石器は、石匙1類が1点（第208図69）、覆土より不定形石器3類が1点（図示していない）、敲磨器類4類Aが1点（第222図187）、4類Dが1点（第222図188）、半円状扁平打製石器が1点（第222図189）出土している。土製品は、第6層より土器片利用土製品が2点（第234図74、75）出土している。石製品は、第6層より有孔石製品が1点（第236図29）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第362号土坑（第140図）

[位置・確認層] Z・AA-145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第361号土坑、第407号土坑、第456号土坑、第460号土坑と重複し、本遺構は第361号土坑、第407号土坑より古く、第456号土坑より新しい。第460号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径176cm、底面は長径210cm、深さは71cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 10層に分層した。黒褐～にぶい赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第11～9、7、5、4、1層、覆土より第 群3類、5a類、6類土器（第173、174図51～53、第193図666、668～673）、第10層より第 群土器（第193図667）が出土している。石器は、第7層より不定形石器4類Aが1点（図示していない）、敲磨器類4類Aが1点（第223図190）、覆土より不定形石器1類Cが1点（第208図70）出土している。石製品は、第10層より有孔石製品が1点（第236図30）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第363号土坑（第140図）

[位置・確認層] Z-145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第364号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径96cm、底面は長径115cm、深さは49cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 5層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器（第194図674）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第364号土坑（第140図）

[位置・確認層] Z-145グリッドに位置する。第 層、第363号土坑覆土において確認した。

- [重複] 第111号土坑、第363号土坑、第365号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径114cm、底面は長径110cm、深さは178cmである。
- [壁] 全体として外側へ立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 18層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第17、11、9、6層より第 群6類土器(第194図675、678～680)、第17、15層より第 群5類土器(第174図54)、第 群土器(第194図676、677)が出土している。石器は、第12層より敲磨器類2類Eが1点(第223図192)、第8層より敲磨器類4類Aが1点(第223図191)出土している。石製品は、第8層より円形岩版が1点(第236図31)出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第365号土坑(第140図)

- [位置・確認層] Z - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第110号土坑、第111号土坑、第364号土坑、第458号土坑と重複し、本遺構は、第111号土坑より新しく、第110号土坑、第364号土坑、第485号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長157cm、底面は長径127cm、深さは67cmである。
- [壁] 北側及び南側はオーバーハングする。東側及び西側は、外側へ立ち上がる。
- [底面] 若干の起伏があるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 14層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器(第194図681)、第1層より第 群11類土器(第174図55)、第 群土器(第194図682)が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第366号土坑(第140図)

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径36cm、底面は長径30cm、深さは25cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 起伏を有する。
- [堆積土] 4層に分層した。褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第367号土坑(第140図)

- [位置・確認層] A D・A E - 126グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径25cm、底面は長径16cm、深さは69cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第368号土坑 (第140図)

[ 位置・確認層 ] A E - 126グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径76cm、底面は長径68cm、深さは6cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第369号土坑 (第140図)

[ 位置・確認面 ] A E - 126グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は21cm×23cm、底面は15cm×8cm、深さは18cmである。

[ 壁 ] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。南西側は外側へ立ち上がるものと思われる。

[ 底面 ] すり鉢状の底面を有する。

[ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第370号土坑 (第141図)

[ 位置・確認層 ] Z - 125グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径73cm、底面は長径52cm、深さは36cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 3層に分層した。黒色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群5 a、6類土器(第194図683、684)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第371号土坑（第140図）

- [位置・確認層] A G - 142に位置する。第372号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第372号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径18cm、底面は長径18cm、深さは15cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北東側は一部オーバーハングする。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、にぶい黄褐色土が堆積し、焼土、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

### 第372号土坑（第141図）

- [位置・確認層] A G - 142、143グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [重複] 第371号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長130cm、底面は135cm×126cm、深さは80cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 11層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 8、4層より第 群 6類土器（第194図687、689）、第10～8、1層、覆土より第 群 3、6類土器（第194図686、690）、第 群土器（第194図685、688）が出土している。石器は、第10層より不定形石器 4類が 1点（図示していない）、石皿・台石 2類が 1点（第223図198）、第4層より敲磨器類 2類 E が 1点（第223図194）、第1層より敲磨器類 2類 A が 1点（第223図197）、覆土より敲磨器類 2類 B が 1点（第223図195）、4類 A が 2点（第223図193、196）出土している。石製品は、覆土より円形岩版が 1点（第236図32）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第373号土坑（第141図）

- [位置・確認層] A G - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は78cm×58cm、底面は65cm×48cm、深さは12cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器（第194図691）が出土している。
- [時期] 不明である。

**第374号土坑**（第141図）

- [位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 a 層、第 層、第375号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第375号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径154cm、底面は長径154cm、深さは68cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 10層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 1、2 層、覆土より第 群 6 類土器（第194図693）、第 6、2、1 層より第 群 6 類土器（第194図694）、第 群土器（第194図692）が出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第375号土坑**（第141図）

- [位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 層、第374号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第374号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長104cm、底面は最長90cm、深さは50cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

**第376号土坑**（第141図）

- [位置・確認層] A G - 141、142グリッドに位置する。第 層、第377号土坑において確認した。
- [重複] 第377号土坑、第392号土坑と重複し、本遺構は第377号土坑より新しく第392号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は169cm×142cm、底面は173cm×152cm、深さは56cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。黒褐色土～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 3 層より、第 群 6 類土器（第194図696）、第 6、2 層、覆土より第 群 6 類土器（第194図695）、第 群土器（第194図697）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第377号土坑**（第141図）

- [位置・確認層] A G - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第376号土坑、第392号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長106cm、底面は最長92cm、深さは54cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。にぶい黄褐色土、褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群6類土器(第194図698)、覆土より第 群2a類土器(第194図699)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Bが1点(第208図71)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第378号土坑(第141図)

[位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は28cm×23cm、底面は22cm×18cm、深さは12cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。にぶい黄褐色土、褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

### 第379号土坑(第141図)

[位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第401号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径20cm、底面は18cm×14cm、深さは7cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第194図700)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第380号土坑(第141図)

[位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は24cm×20cm、底面は16cm×11cm、深さは25cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ強い傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。



[ 時期 ] 不明である。

#### 第382号土坑 (第142図)

[ 位置・確認層 ] A E・A F - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第395号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径132cm、底面は長径146cm、深さは95cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 若干の傾斜があるがほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 11層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第3層、覆土より第 群6類土器 (第194図703) 第11、4、3層、覆土より第 群土器 (第194図701、702、704) が出土している。石器は、第7層より敲磨器類4類Dが1点 (第224図199) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第383号土坑 (第142図)

[ 位置・確認層 ] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径82cm、底面は長径74cm、深さは15cmである。

[ 壁 ] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐色土、にぶい黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第2、1層、覆土より第 群土器 (第194図705、706) が出土している。石器は、第2層より敲磨器類4類Aが1点 (第224図200) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第384号土坑 (第142図)

[ 位置・確認層 ] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径23cm、底面は5cm×3cm、深さは6cmである。

[ 壁 ] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

### 第385号土坑（第142図）

- [位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第386号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は28cm×23cm、底面は長径17cm、深さは32cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、にぶい黄褐色土が堆積し、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

### 第386号土坑（第142図）

- [位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第385号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径21cm、底面は長径17cm、深さは17cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器（第194図707）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第387号土坑（第142図）

- [位置・確認層] A F・A G - 143グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は50cm×36cm、底面は28cm×24cm、深さは41cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器（第194図708）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第388号土坑A（第142図）

- [位置・確認層] A F - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第388号土坑Bと重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は長径81cm、底面は長径88cm、深さは47cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と

思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層、覆土より第 群6類土器(第194図709)、第 群8類土器(第174図56、第194図710)が出土している。石器は、覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物により縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第388号土坑B(第142図)

[位置・確認層] AF-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第388号土坑Aと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長9cm、底面は不明、深さは12cmである。

[壁] 残存部は、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 残存していない。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第389号土坑(第142図)

[位置・確認層] AF-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径36cm、底面は長径34cm、深さは61cmである。

[壁] 全体として南側に傾き立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第390号土坑(第142図)

[位置・確認層] AF-142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は106cm×90cm、底面は長径153cm、深さは138cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。にぶい黄褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4、1層、覆土より第 群5a類、6類土器(第194図711、712)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第391号土坑A（第142図）

- [位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 層、第391号土坑 B 覆土において確認した。
- [重複] 第391号土坑 B と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は104cm×72cm、底面は90cm×62cm、深さは15cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。にぶい黄褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

### 第391号土坑B（第142図）

- [位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [重複] 第391号土坑 A と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径97cm、底面は長径83cm、深さは23cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 3層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構確認層より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第392号土坑（第143図）

- [位置・確認層] A F・A G - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第376号土坑、第377号土坑、第393号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は202cm×156cm、底面は最長188cm、深さは93cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、焼土、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第7、6、3層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第194図713、714）が出土している。石器は、第6層より不定形石器3類が1点（図示していない）、覆土より不定形石器4類が1点（図示していない）、覆土より石匙1類が1点（第209図72）、敲磨器類2類Eが1点（第224図204）、石皿・台石1類が1点（第224図201）出土している。土製品は、第1層より土器片利用土製品が2点（第234図76、77）出土している。
- [時期] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第393号土坑**（第143図）

- [位置・確認層] A F・A G - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第392号土坑、第404号土坑と重複し、本遺構は、第392号土坑より古く、第404号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は137cm×86cm、底面は111cm×89cm、深さは117cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。残存部東側に底面ピットを有する。
- [堆積土] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3、1層より第 群6類土器（第194図715、717）、第3層より第 群6類土器（第194図716）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第394号土坑**（第143図）

- [位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第396号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は93cm×100cm、底面は82cm×122cm、深さは68cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南西側一部は外側へ立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群3類土器（第194図718）、覆土より第 群土器（第194図719）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第395号土坑**（第143図）

- [位置・確認層] A E・A F - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第382号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径112cm、底面は長径192cm、深さは166cmである。
- [壁] 全体として、オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 8層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第7、6層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第174図57、第194図720、721、723）、覆土より第 群6類土器（第194図722）が出土している。石器は、第7層より不定形石器4類が1点（図示していない）、覆土より不定形石器1類Aが1点（第209図73）、4類が1点（第209図74）、敲磨器類2類Bが1点（第224図202）、4類Aが2点（第224図205、207）、4類Bが2点（第224図203、

206) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第396号土坑 (第144図)

[ 位置・確認層 ] A F - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第394号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径127cm、底面は長径136cm、深さは145cmである。

[ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。西側は、屈曲を伴い外側へ立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、4層より第 群6類土器 (第194図724、726) 第5、4、2、1層より第 群土器 (第194図725、727、728) が出土している。石器は、第5層より石鏃3類2が1点 (第209図76) 不定形石器1類Cが1点 (図示していない) 出土している。土製品は、第5層より土偶が1点 (第234図78) 第4層より土偶が1点 (第234図79) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第397号土坑 (第144図)

[ 位置・確認層 ] A E・A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第398号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は126cm×80cm、底面は最長110cm、深さは87cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側は、一部屈曲する。

[ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、3、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器 (第175図58～60、第195図729～731) が出土している。石器は、第3層より半円状扁平打製石器が1点 (第225図208) 出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点 (第234図80) 出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第398号土坑 (第144図)

[ 位置・確認層 ] A E・A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第397号土坑、第406号土坑と重複し、本遺構は第406号土坑より新しく第397号土坑より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は124cm×145cm、底面は127cm×144cm、深さは77cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。東側は一部、オーバーハングする。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 5層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群3類土器(第195図732)、第 群土器(第195図733)が出土している。石器は、覆土より敲磨器4類Aが1点(第225図209)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第399号土坑(第144図)

[位置・確認層] AF - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径67cm、底面は56cm×24cm、深さは55cmである。

[壁] 外側へ起伏を伴い緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第400号土坑(第144図)

[位置・確認層] AE - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長87cm、底面は最長82cm、深さは9cmである。

[壁] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土、褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第401号土坑(第144図)

[位置・確認層] AG - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第379号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は30cm×28cm、底面は22cm×18cm、深さは24cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第402号土坑(第144図)

[位置・確認層] AG - 143グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径22cm、底面は長径16cm、深さは18cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南東側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第403号土坑 (第144図)

[位置・確認層] A G - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は46cm×34cm、底面は34cm×27cm、深さは34cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ緩やかに立ち上がる。東側一部は屈曲する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。にぶい黄褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第404号土坑 (第144図)

[位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第393号土坑、第405号土坑と重複し、本遺構は第405号土坑より新しく第393号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は最長108cm、底面は123cm×50cm、深さは123cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6層、覆土より第 群6類土器(第195図734)が出土している。石器は、第6層より敲磨器類4類Dが1点(第225図210)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第405号土坑 (第144図)

[位置・確認層] A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第404号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は長径96cm、底面は長径86cm、深さは38cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。にぶい黄褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土を含む。人為堆積と思われる。



- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第5 a類土器（第195図735）が出土している。  
 [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第406号土坑（第145図）

- [ 位置・確認層 ] A E・A F - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [ 重複 ] 第398号土坑と重複し、本遺構が古い。  
 [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は最長75cm、底面は最長68cm、深さは71cmである。  
 [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。  
 [ 底面 ] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。  
 [ 堆積土 ] にぶい黄褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
 [ 出土遺物 ] なし。  
 [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第407号土坑（第145図）

- [ 位置・確認層 ] Z - 145グリッドに位置する。第 層、第362号土坑覆土において確認した。  
 [ 重複 ] 第362号土坑、第456号土坑、第460号土坑と重複し、本遺構は第362号土坑、第456号土坑より新しく、第460号土坑との新旧関係は不明である。  
 [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径52cm、底面は長径108cm、深さは109cmである。  
 [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。  
 [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。  
 [ 堆積土 ] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
 [ 出土遺物 ] 土器は、第4、2層より第 群3類、6類土器（第195図737、739、740）、第6、4、2層より第 群土器（第195図736、738）が出土している。  
 [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第408号土坑（第145図）

- [ 位置・確認層 ] A E - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [ 重複 ] なし。  
 [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長130cm、底面は長径126cm、深さは111cmである。  
 [ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。  
 [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。  
 [ 堆積土 ] 11層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。  
 [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器（第195図741）、第 群土器（第195図742）が出土している。  
 [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第409号土坑（第145図）

[位置・確認層] A E - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径102cm、底面は長径114cm、深さは176cmである。

[壁] 若干オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 15層に分層した。黒褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、底面、14層、11、8、7、5～3層より第 群2 a、4、6類土器（第175図61、第195図743、744）、第 群土器（第195図745～747）が出土している。石器は、第13層より敲磨器類2類Eが1点（第225図211）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第413号土坑（第145図）

[位置・確認層] A D - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第496号土坑と重複し本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は122cm×71cm、底面は115cm×64cm、深さは14cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代以降の土坑と思われる。

#### 第415号土坑（第145図）

[位置・確認層] A E - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径106cm、底面は長径80cm、深さは79cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。若干の起伏も見られる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積とおもわれる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器（第195図753）、第8～6、4～2層、覆土より第 群6類土器（第195図750）、第 群土器（第195図748、749、751、752）が出土している。石器は、第6層より不定形石器1類Fが1点（図示していない）出土している。土製品は、第6層より土器片利用土製品が1点（第234図81）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第418号土坑（第146図）

[位置・確認層] A D - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径181cm、底面は長径149cm、深さは203cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。中央部から南よりに底面ピットを有する。

[堆積土] 19層に分層した。黒～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層、覆土より第 群6類土器(第195図756、758)、第7、4～1層、覆土より第 群土器(第195図754、755、757、759、760)が出土している。石器は、覆土より半円状扁平打製石器が1点(第225図212)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第420号土坑(第146図)

[位置・確認層] AD-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径116cm、底面は長径104cm、深さは22cmである。

[壁] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第423号土坑(第146図)

[位置・確認層] AC・AD-142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径124cm、底面は長径112cm、深さは145cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第195図761)が出土している。石器は、第7層より不定形石器1類Cが1点(第209図75)、第6層より剥離のある礫が1点(第225図214)、第1層より剥離のある礫が1点(第225図213)、覆土より敲磨器類4類Aが1点(第226図216)、挟入扁平磨製石器が1点(第225図215)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代の土坑と思われる。

#### 第426号土坑(第146図)

[位置・確認層] AC-142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長71cm、底面は最長58cm、深さは19cmである。
- [ 壁 ] 外側へ部分的に屈曲を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第427号土坑（第146図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径112cm、底面は長径106cm、深さは28cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 3層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第2層、覆土より第 群5 a類土器（第195図762）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第428号土坑（第146図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は46cm×32cm、底面は長径32cm、深さは23cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第429号土坑（第146図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径52cm、底面は長径48cm、深さは25cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 一部起伏を有するが全体として平坦である。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第431号土坑**（第146図）

- [位置・確認層] A C - 143グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長73cm、底面は最長50cm、深さは40cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器（第195図763）が出土している。石器は、第1層より敲磨器類2類Eが1点（第226図218）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第432号土坑**（第147図）

- [位置・確認層] A C・A D - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長112cm、底面は長径120cm、深さは129cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 6層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第6、3、2層より第 群6類土器（第195図764、766、769、771）、第6、5、3～1層より第 群5、6類土器（第195図767、772）第 群土器（第195図765、768、770、773）が出土している。石器は、第5層より敲磨器類2類Eが1点（第226図219）、4類Aが1点（第226図217）、第4層より不定形石器3類が1点（第209図77）出土している。石製品は、第4層より円形岩版が1点（第236図33）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第433号土坑**（第147図）

- [位置・確認層] A C - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径81cm、底面は長径67cm、深さは28cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。
- [底面] 北側及び南側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第438号土坑**（第147図）

- [位置・確認層] A E - 142、143グリッドに位置する。第 層、第442号土坑覆土において確認した。

- [ 重複 ] 第439号土坑、第442号土坑と重複し、本遺構は第439号土坑、第442号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は190cm×150cm、底面は209cm×165cm、深さは112cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 20層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第19、10、9、3、1層、覆土より第 群3類、6類土器（第196図774～778）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第439号土坑（第147図）

- [ 位置・確認層 ] A E - 142、143グリッドに位置する。第 層、第438号土坑覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第438号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径132cm、底面は長径99cm、深さは118cmである。
- [ 壁 ] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第9、7、6、4～1層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第196図779～783）が出土している。石器は、第7層より敲磨器類2類Bが2点（第226図220、223）、覆土より石匙2類が1点（第209図78）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第440号土坑（第147図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は47cm×32cm、底面は33cm×22cm、深さは26cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群土器（第196図784）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第441号土坑（第147図）

- [ 位置・確認層 ] A D - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は90cm×68cm、底面は長径134cm、深さは145cmである。

[ 壁 ] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 5層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5、4層より第 群6類土器(第196図785、788)、第5、4層、覆土より第 群6類土器(第177図68、第196図789)、第 群土器(第196図786、789、)が出土している。石器は、第5層より敲磨器類2類Bが1点(第226図226)、2類Eが1点(第226図221)、4類Aが1点(第226図222)、覆土より敲磨器類2類Bが1点(第226図225)、石皿・台石2類が1点(第226図224)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第442号土坑(第148図)

[ 位置・確認層 ] A E - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第438号土坑、第443号土坑、第450号土坑と重複し、本遺構は第438号土坑、第443号土坑より新しく第450号土坑より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径100cm、底面は長径145cm、深さは112cmである。

[ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。北側は、外側へ立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 9層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第5～3、1層、覆土より第 群3類、5 a類、6類土器(第196図790～792、794)、第3層より第 群土器(第196図793)が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Dが1点(第227図227)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第443号土坑(第148図)

[ 位置・確認層 ] A D・A E - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第442号土坑、第444号土坑、第445号土坑、第450号土坑と重複し、本遺構は第442号土坑、第444号土坑、第445号土坑、第450号土坑より古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不明出、開口部は最長146cm、底面は最長88cm、深さは87cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 部分的に起伏等あるが、全体としてほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 17層に分層した。黒～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第14、10、5、2層、覆土より第 群6類土器(第196図795、798、800、804)、第14、11、7、5～3、覆土より第 群6類土器(第196図797)、第 群土器(第196図796、799、801～803)が出土している。石器は、第6層より不定形石器1類Fが1点(図示していない)、覆土より敲磨器類2類Eが1点(第227図228)出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第444号土坑**（第148図）

- [位置・確認層] A E - 143グリッドに位置する。第 層、第443号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第312号土坑、第443号土坑、第445号土坑と重複し、本遺構は第443号土坑、第445号土坑より新しく第312号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径87cm、底面は長径61cm、深さは67cmである。
- [壁] 外側へ揺るやかに立ち上がる。
- [底面] 部分的に起伏が有るが、全体としてほぼ平坦であると思われる。
- [堆積土] 5層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第445号土坑**（第148図）

- [位置・確認層] A E - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第443号土坑、第444号土坑、第450号土坑と重複し、本遺構は第443号土坑より新しく第444号土坑より古く第450号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は120cm×105cm、底面は94cm×89cm、深さは42cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 5層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

**第447号土坑**（第148図）

- [位置・確認層] A D - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は42cm×32cm、底面は長径32cm、深さは20cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第448号土坑**（第148図）

- [位置・確認層] A D - 142グリッドにおいて確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は42cm×30cm、底面は24cm×20cm、深さは16cmである。
- [壁] 外側へ揺るやかに立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。



- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第450号土坑（第148図）

- [ 位置・確認層 ] A E - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第442号土坑、第443号土坑、第445号土坑と重複し、本遺構は、第442号土坑、第443号土坑より新しく、第445号土坑との新旧関係は不明である。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径81cm、底面は長径85cm、深さは77cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] なし。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第452号土坑（第148図）

- [ 位置・確認層 ] A D・A E - 128グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長90cm、底面は最長78cm、深さは17cmである。
- [ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～にぶい黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群6類土器（第196図805）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第453号土坑（第149図）

- [ 位置・確認層 ] A C - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長120cm、底面は最長116cm、深さは20cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜して立ち上がる。
- [ 堆積土 ] 3層に分層した。暗褐～にぶい黄褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第3層より第 群6類土器（第196図806）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第454号土坑（第149図）

- [ 位置・確認層 ] A A・A B - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第850号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径80cm、底面は長径60cm、深さは9cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜して立ち上がる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第455号土坑 (第149図)

- [ 位置・確認層 ] X・Y - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第259号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径67cm、底面は長径57cm、深さは38cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第2層より第 群5 a類土器 (第196図807) が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第456号土坑 (第149図)

- [ 位置・確認層 ] Z・A A - 144、145グリッドに位置する。第 層、第407号土坑覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第361号土坑、第346号土坑、第407号土坑、第472号土坑と重複し、本遺構は第472号土坑より新しく第346号土坑、第361号土坑、第407号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は137cm×84cm、底面は長径169cm、深さは124cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 21層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第20、18、17、13、12、6、4、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器 (第197図808～814) が出土している。石器は、覆土より不定形石器4類が1点 (図示していない) 出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第457号土坑 (第149図)

- [ 位置・確認層 ] A C - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長102cm、底面は最長85cm、深さは50cmである。
- [ 壁 ] 全体としてやや外側に直線的に立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。
- [ 底面 ] 南側から北側へ傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 3層に分層した。褐～赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第458号土坑（第149図）

- [ 位置・確認層 ] Y・Z - 145グリッドに位置する。第 a層において確認した。
- [ 重複 ] 第365号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径104cm、底面は長径82cm、深さは131cmである。
- [ 壁 ] 外側へ部分的に起伏を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 18層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第12層より第 群6類土器（第197図815）、第12、9、6、5、2層より第 群8類土器（第197図816）、第 群土器（第197図817～820）が出土している。
- [ 時期 ] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第459号土坑（第149図）

- [ 位置・確認層 ] A F - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径22cm、底面は長径20cm、深さは19cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第460号土坑（第149図）

- [ 位置・確認層 ] Z - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第362号土坑、第407号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径70cm、底面は長径57cm、深さは42cmである。
- [ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 6層に分層した。暗褐～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第461号土坑**（第150図）

〔位置・確認層〕X - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整形で、開口部は最長115cm、底面は最長102cm、深さは28cmである。

〔壁〕外側へ部分的に起伏を伴い立ち上がる。

〔底面〕中央部から外側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

〔堆積土〕3層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、覆土より第 群土器（第197図821）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第462号土坑**（第150図）

〔位置・確認層〕A B - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整形で、開口部は最長66cm、底面は最長66cm、深さは12cmである。

〔壁〕やや外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕若干の起伏が有るがほぼ平坦である。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

**第463号土坑**（第150図）

〔位置・確認層〕A E - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整形で、開口部は長径47cm、底面は29cm×20cm、深さは21cmである。

〔壁〕外側へ揺るやかに立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、覆土より第 群土器（第197図822）が出土している。

〔時期〕不明である。

**第465号土坑**（第150図）

〔位置・確認層〕A G - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は最長141cm、底面は最長129cm、深さは97cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕西側から東側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕7層に分層した。黒褐～にぶい黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積

と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第197図823)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第466号土坑(第150図)

[位置・確認層] A G - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径103cm、底面は長径82cm、深さは115cmである。

[壁] 外側へ揺るやかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 10層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第8～5、3、1層、覆土より第 群5、6類土器(第176図62、第197図824) 第 群土器(第197図825～829)が出土している。石器は、第9層より大石平型石筥が1点(第209図79)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第467号土坑(第150図)

[位置・確認層] A F - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第479号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径160cm、底面は長径130cm、深さは70cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。暗褐から褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第197図830、831)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Fが1点(図示していない)出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第234図82)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第468号土坑(第150図)

[位置・確認層] Z - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長72cm、底面は最長66cm、深さは64cmである。

[壁] 全体としてややオーバーハングし、立ち上がる。北側は、直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第469号土坑 (第150図)

[ 位置・確認層 ] A B - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第497号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長200cm、底面は最長204cm、深さは57cmである。

[ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 起伏を有する。

[ 堆積土 ] 3層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 石器は、第1層より敲磨器類2類Eが1点(第227図230)、5類が1点(第227図231)出土している。

[ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第470号土坑 (第151図)

[ 位置・確認層 ] Z・A A - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径172cm、底面は164cm×122cm、深さは75cmである。

[ 壁 ] 全体として起伏を伴い立ち上がる。

[ 底面 ] 起伏を有する。

[ 堆積土 ] 10層に分層した。暗褐～赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群5 a、6類土器(第197図832～837) 覆土より第 群土器(第197図838)が出土している。石器は、覆土より敲磨器類4類Cが1点(第227図229)出土している。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第471号土坑 (第151図)

[ 位置・確認層 ] A A・A B - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径91cm、底面は64cm×47cm、深さは36cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、黒褐色土は角礫を含む。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第472号土坑 (第151図)

[ 位置・確認層 ] A A - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第456号土坑、第529号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で開口部は最長202cm、底面は最長176cm、深さは69cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、3層より第 群3類、6類土器（第197図839～843）、覆土より第 群土器（第197図844）が出土している。石器は、第9層より石鏃3類3が1点（第209図82）、不定形石器4類が1点（図示していない）、敲磨器類2類Eが1点（第227図232）、第4層より石鏃3類1が1点（第209図81）、3類3が1点（第209図80）、第2層より不定形石器4類が1点（図示していない）、敲磨器類2類Bが1点（第227図233）、覆土より敲磨器類4類Aが1点（第227図234）、砥石が1点（第227図235）、石皿・台石1類が1点（第228図239）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第473号土坑（第151図）

[位置・確認層] A E・A F - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、146cm×120cm、底面は長径122cm、深さは120cmである。

[壁] 全体として若干オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 16層に分層した。黒～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第475号土坑（第151図）

[位置・確認層] A F - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径15cm、底面は長径11cm、深さは28cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第476号土坑（第151図）

[位置・確認層] A D - 140グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径160cm、底面は139cm×95cm、深さは69cmである。

[壁] 全体として外側へ立ち上がる。部分的に起伏を伴う。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第197図845)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第477号土坑(第152図)

[位置・確認層] A F - 140グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第487号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は136cm×170cm、底面は123cm×146cm、深さは80cmである。

[壁] 外側へ揺るやかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器(第197図846)が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(第210図83)、1類Bが1点(図示していない)、2類が1点(図示していない)、3類が2点(第210図84、85)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第478号土坑(第152図)

[位置・確認層] A G - 140グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長105cm、底面は長径90cm、深さは86cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北西側はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 9層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第9、7～1層、覆土より第 群6類土器(第197図847、850)、第 群土器(第197図848、849、851～853)が出土している。石器は、第5層より石皿・台石1類が1点(第228図236)出土している。土製品は、第9層より土器片利用土製品が1点(第234図83)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第479号土坑(第152図)

[位置・確認層] A F - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第467号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長125cm、底面は最長108cm、深さは84cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。



[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 8 類土器（第198図854）が出土している。石器は、覆土より敲磨器類 4 類 A が 1 点（第228図237）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第480号土坑（第152図）

[位置・確認層] A E - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は158cm×130cm、底面は最長164cm、深さは100cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏を有する。

[堆積土] 6層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 5、3、1 層より第 群 3 類、6 類土器（第198図855～857）が出土している。石器は、第 5 層より石匙 2 類が 1 点（第210図86）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第481号土坑（第152図）

[位置・確認層] A D - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長86cm、底面は最長61cm、深さは20cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から起伏を伴い中央部へ傾斜する。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第483号土坑（第152図）

[位置・確認層] Z・A A - 143、144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第484号土坑、第508号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径183cm、底面は長径197cm、深さは84cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏が有るがほぼ平坦である。北西壁側に底面ピットを有する。

[堆積土] 13層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 6 類土器（第198図858～860）が出土している。石器は、第13層よ

り石皿・台石1類が1点(第228図240)、第5層より石匙2類が1点(第210図87)、覆土より石筥2類が1点(第210図89)、不定形石器1類Bが1点(図示していない)、石核が1点(図示していない)出土している。土製品は、覆土より耳飾が1点(第図)出土している。石製品は、第1層より採集石製品が1点(第236図34)、覆土より耳飾が1点(第236図35)、採集石製品が1点出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第484号土坑(第153図)

[位置・確認層] Z・AA-144グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第483号土坑、第508号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径162cm、底面は長径160cm、深さは109cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南側は、オーバーハングする。

[底面] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。

[堆積土] 18層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、1層、覆土より第1群6類土器(第198図861～863)が出土している。石器は、覆土より石鏃3類2が1点(第210図88)、石匙1類が1点(第211図91)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第485号土坑(第153図)

[位置・確認層] Z-144グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第484号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は長径104cm、底面は長径176cm、深さは144cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 20層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第18、16、12、8層、覆土より第1群6類土器(第198図864～867)、覆土より第2群土器(第198図868)が出土している。石器は、第12層より不定形石器1類Aが1点(第211図92)、第11層より石匙2類が1点(第210図90)、第10層より敲磨器類3類が1点(第229図241)、覆土より不定形石器1類Dが1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)、石核が1点(図示していない)、抉入扁平磨製石器が1点(第229図242)、敲磨器類4類Bが1点(第228図238)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第487号土坑(第153図)

[位置・確認層] AF-140グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] 第477号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は212cm×200cm、底面は191cm×180cm、深さは66cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 南側から北側へ起伏を伴い傾斜する。

[ 堆積土 ] 4層に分層した。褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器(第198図870)、覆土より第 群土器(第198図869)が出土している。石製品は、覆土より円形岩版が1点(第236図36)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第488号土坑(第153図)

[ 位置・確認層 ] A A・A B - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径156cm、底面は149cm×122cm、深さは135cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 北西側は、一部オーバーハングする。

[ 堆積土 ] 13層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、焼土、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 石器は、第6層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)、第5層より石匙1類が1点(第211図93)、第4層より敲磨器類4類Aが1点(第229図243)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代の土坑と思われる。

#### 第489号土坑(第154図)

[ 位置・確認層 ] A F - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径174cm、底面は長径160cm、深さは57cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 8層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第3、1層、覆土より第 群6類土器(第198図871)、第1層より第 群土器(第198図872)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第490号土坑(第154図)

[ 位置・確認層 ] A B・A C - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長180cm、底面は最長130cm、深さは91cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4、2、1層より第 群6類土器(第198図873～875)が出土している。石器は、第1層より石匙2類が1点(第211図94)、不定形石器1類Cが1点(第212図95)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第493号土坑(第154図)

[位置・確認層] Z-144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第508号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径192cm、底面は長径180cm、深さは50cmである。

[壁] 北側はオーバーハングする。南側は、外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 中央部から外側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土製品は、第8層より土器片利用土製品が1点(第234図84)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第495号土坑(第154図)

[位置・確認層] Z-144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は80cm×61cm、底面は52cm×49cm、深さは10cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。南側に底面ピットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第496号土坑(第154図)

[位置・確認層] AD・AE-141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第413号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模]

[壁] 北側は、オーバーハングする。南側は、外側へ立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 11層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第4層より石匙2類が1点(第212図96)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代の土坑と思われる。

**第497号土坑**（第154図）

- [位置・確認層] A A・A B - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第469号土坑、第499号土坑、第7号配石遺構と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径152cm、底面は長径130cm、深さは61cmである。
- [壁] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [底面] 起伏を有する。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第498号土坑**（第154図）

- [位置・確認層] A C - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長32cm、底面は最長28cm、深さは14cmである。
- [壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第499号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A A - 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第497号土坑、第8号配石遺構と重複し、本遺構は、第497号土坑より古く、第8号配石遺構より新しい。
- [平面形・規模]
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。黒褐～明褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第500号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A G - 140、141グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は163cm×125cm、底面は136cm×114cm、深さは53cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側は一部オーバーハングする。
- [底面] 南側から北側へ起伏を伴い傾斜する。

- [ 堆積土 ] 3層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第2、1層、覆土より第 群6類土器（第198図876、877）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第508号土坑（第155図）

- [ 位置・確認層 ] Z - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第483号土坑、第484号土坑、第493号土坑と重複し、本遺構は第484号土坑より新しく第483号土坑、第493号土坑より古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長112cm、底面は最長102cm、深さは27cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ立ち上がると思われる。
- [ 底面 ] 部分的に起伏を有する。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群4類土器（第198図878）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第529号土坑（第155図）

- [ 位置・確認層 ] A A - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第472号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径33cm、底面は長径27cm、深さは20cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 若干の起伏が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第663号土坑（第155図）

- [ 位置・確認層 ] A D - 130、131グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径121cm、底面は長径144cm、深さは62cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第4層、覆土より第 群6類土器（第198図879）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第668号土坑（第155図）

- [ 位置・確認層 ] A F - 130、131グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。

- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は42cm×28cm、底面は40cm×23cm、深さは13cmである。
- [ 壁 ] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。南西側は一部オーバーハングする。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群6類土器(第198図880)、第 群土器(第198図881)が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第779号土坑(第155図)**

- [ 位置・確認層 ] A F・A G - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長30cm、底面は最長19cm、深さは20cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第780号土坑(第155図)**

- [ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は44cm×28cm、底面は18cm×15cm、深さは42cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的にたちあがり、開口部付近で屈曲する。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第781号土坑(第155図)**

- [ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径49cm、底面は長径44cm、深さは25cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群3類土器(第198図882)、第 群土器(第198図883)が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第782号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径33cm、底面は19cm、深さは20cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第783号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長35cm、底面は最長23cm、深さは35cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第784号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長21cm、底面は最長20cm、深さは25cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第785号土坑**（第155図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径31cm、底面は23cm、深さは24cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。



[ 時期 ] 不明である。

#### 第786号土坑 (第155図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径33cm、底面は22cm × 18cm、深さは48cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第787号土坑 (第155図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径32cm、底面は長径26cm、深さは24cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、暗褐色土を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第788号土坑 (第155図)

[ 位置・確認層 ] A F - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径26cm、底面は最長17cm、深さは23cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群 6類土器 (第198図884) が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第789号土坑 (第156図)

[ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円で、開口部は48cm × 38cm、底面は最長25cm、深さは43cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第790号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長25cm、底面は長径14cm、深さは18cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第791号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円形で、開口部は30cm×26cm、底面は23cm、深さは28cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第793号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A E - 144、145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径26cm、底面は最長18cm、深さは44cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第794号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は21cm×17cm、底面は13cm×9cm、深さは17cmである。

- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第795号土坑 (第156図)**

- [ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円形で、開口部は34cm×29cm、底面は28cm×23cm、深さは8cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第796号土坑 (第156図)**

- [ 位置・確認層 ] A E - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径24cm、底面は長径17cm、深さは22cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第797号土坑 (第156図)**

- [ 位置・確認層 ] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径37cm、底面は最長28cm、深さは22cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第798号土坑A**（第156図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第798号土坑 B と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径30cm、底面は長径26cm、深さは42cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、黒褐色土、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第798号土坑B**（第156図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第798号土坑 A と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径22cm、底面は長径13cm、深さは33cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] なし。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第821号土坑**（第156図）

- [位置・確認層] A B - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は20cm×16cm、底面は16cm、深さは28cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第842号土坑**（第156図）

- [位置・確認層] A B - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は19cm×16cm、底面は長径9cm、深さは25cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第850号土坑 (第156図)

[ 位置・確認層 ] A A - 130、131グリッドに位置する。第 a 層、第 層において確認した。

[ 重複 ] 第454号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は152cm×60cm、底面は158cm×54cm、深さは69cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部起伏を伴う。

[ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 7層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第6、5層より第 群5 a類、6類土器(第198図885～887)が出土している。

[ 時期 ] 遺構確認層より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第856号土坑 (第156図)

[ 位置・確認層 ] A A - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円形で、開口部は27cm×24cm、底面は最長20cm、深さは22cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第857号土坑 (第156図)

[ 位置・確認層 ] A B - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径19cm、底面は最長10cm、深さは19cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第858号土坑 (第156図)

[ 位置・確認層 ] A B - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長21cm、底面は最長13cm、深さは10cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第860号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A B - 151グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径25cm、底面は長径20cm、深さは31cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第861号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A C - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径17cm、底面は長径12cm、深さは11cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第862号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A C - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径12cm、底面は長径20cm、深さは13cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第869号土坑** (第156図)

- [ 位置・確認層 ] A C - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径27cm、底面は長径14cm、深さは13cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第870号土坑（第156図）

[ 位置・確認層 ] A C - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長23cm、底面は13cm × 11cm、深さは15cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第873号土坑（第156図）

[ 位置・確認層 ] A D - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長20cm、底面は最長13cm、深さは19cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第874号土坑（第156図）

[ 位置・確認層 ] A D - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径17cm、底面は長径10cm、深さは17cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群 6 類土器（第198図888）が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第875号土坑（第157図）

[ 位置・確認層 ] A D - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は29cm×23cm、底面は長径14cm、深さは39cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第198図889)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第876号土坑(第157図)

[位置・確認層] A D - 152グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は20cm×16cm、底面は長径14cm、深さは24cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第886号土坑(第157図)

[位置・確認層] A G - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径22cm、底面は最長15cm、深さは7cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第887号土坑(第157図)

[位置・確認層] A G - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は24cm×16cm、底面は18cm×11cm、深さは7cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。



**第888号土坑A**（第157図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層、第888号土坑 B 覆土において確認した。
- [重複] 第888号土坑 B と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は長径27cm、底面は長径22cm、深さは24cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以後の土坑と思われる。

**第888号土坑B**（第157図）

- [位置・確認層] A F - 144グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第888号土坑 A と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長61cm、底面は長径 6 cm、深さは33cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 1 層より第 群 3 類土器（第198図890）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第898号土坑**（第157図）

- [位置・確認層] X - 150、151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第915号土坑、第918号土坑と重複し、本遺構は、第915号土坑より古い。第918号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径100cm、底面は長径194cm、深さは94cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 外側から中央部に若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、パミス、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 5、2、1 層より第 群 5 a 類、6 類土器（第198図891～893）、第 1 層より第 群土器（第198図894）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第899号土坑**（第157図）

- [位置・確認層] X - 147、148グリッドに位置する。第 層、第902号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第902号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長86cm、底面は最長84cm、深さは166cmである。
- [壁] 起伏を伴いオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部に傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 8 類土器 (第198図896) 第 群土器 (第198図895) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第900号土坑 (第157図)

[位置・確認層] X - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は70cm×83cm、底面は83cm×118cm、深さは128cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。褐～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群第 5 a 類土器 (第199図897) が出土している。石器は、覆土より敲磨器類 4 類 D が 1 点 (第229図245) 半円状扁平打製石器が 1 点 (第229図246) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第901号土坑 (第157図)

[位置・確認層] X - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長92cm、底面は長径122cm、深さは146cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。また北側及び南側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、パミス、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 6～4、2、1層、覆土より第 群 3～5 類土器 (第199図898、900、902) 第 群土器 (第199図899、901、903～905) が出土している。石器は、覆土より敲磨器類 4 類 A が 1 点 (第229図244) 出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が 1 点 (第234図85) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第902号土坑 (第157図)

[位置・確認層] X - 147、148グリッドに位置する。第 層、第899号土坑覆土において確認した。

[重複] 第899号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長140cm、底面は長径100cm、深さは138cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。開口部付近は、外側へ大きく開く。

- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第4～1層より第 群4、8、9類土器（第199図906、907、909）、第 群土器（第199図908）が出土している。石器は、覆土より礫石錘1類が1点（第229図248）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第234図86）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第903号土坑（第158図）

- [ 位置・確認層 ] X - 148グリッドに位置する。第 層、第953号土坑覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第953号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長132cm、底面は174cm×109cm、深さは132cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 12層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第11、9～7、5、4、2層、覆土より第 群4、6、8類土器（第176図63、第199図911、913、914、917）第 群土器（第176図63、第199図910、912、915、916）が出土している。石器は、第9層より敲磨器類4類Bが1点（第229図249）、第7層より不定形石器1類Cが1点（第212図97）、第5層より剥離のある礫が1点（第212図98）、覆土より敲磨器類2類Eが1点（第229図247）、4類Bが1点（第230図251）出土している。土製品は、第9層より土器片利用土製品が1点（第234図87）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第904号土坑（第158図）

- [ 位置・確認層 ] X - 148、149グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第953号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長106cm、底面は最長108cm、深さは60cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈するものと思われる。
- [ 底面 ] 南側から北側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 3層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群2 a、5類土器（第199図918、919）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第905号土坑（第158図）

- [ 位置・確認層 ] X - 149グリッドに位置する。第 層、第919号土坑覆土において確認した。
- [ 重複 ] 第919号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長114cm、底面は最長116cm、深さは11cmである。

[ 壁 ] 全体として起伏を伴いやや外側へ立ち上がる。一部オーバーハングする。

[ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 9層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群2 a類土器(第199図920)、第 群土器(第199図921)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第906号土坑(第158図)

[ 位置・確認層 ] X - 151グリッドに位置する。第 層、第951号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第951号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円形で、開口部は132cm×96cm、底面は112cm×99cm、深さは81cmである。

[ 壁 ] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。壁際に南側を除いて巡る溝を有する。

[ 堆積土 ] 8層に分層した。黒～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。第7層は、第 層崩落土の可能性がある。

[ 出土遺物 ] 土器は、第4、1層、覆土より第 群6類土器(第199図922、924)、第2、1層より第 群5、11類土器(第199図923、925)が出土している。石器は、覆土より敲磨器類2類Aが2点(第230図252、253)、2類Eが1点(第229図250)、3類が1点(第230図254)出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第907号土坑(第158図)

[ 位置・確認層 ] X - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第209号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は138cm×44cm、底面は122cm×39cm、深さは27cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] 起伏が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐～明褐色土が堆積し、パミス、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群8類土器(第199図926)が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第911号土坑(第158図)

[ 位置・確認層 ] A A - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長84cm、底面は最長66cm、深さは21cmである。

[ 壁 ] 全体として外側へ起伏を伴い立ち上がる。

[ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第912号土坑（第158図）

- [ 位置・確認層 ] Z - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は最長208cm、底面は最長206cm、深さは41cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 起伏を有する。
- [ 堆積土 ] 3層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第915号土坑（第159図）

- [ 位置・確認層 ] X - 151グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第898号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径103cm、底面は106cm×95cm、深さは114cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。中央部から北側よりに底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 6層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器（第199図931）第5～1層より第 群4類土器（第176図64、第199図929、932）第 群土器（第199図927、928、930）が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第916号土坑（第159図）

- [ 位置・確認層 ] X - 150グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第278号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長88cm、底面は最長104cm、深さは125cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。開口部付近は大きく外側へ立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 7層に分層した。黒褐～黄褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器（第200図933）第 群3、5類土器（第200図934、935）が出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第234図88）出土している。石製品は、覆土より円形岩版が1点（第236図37）出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第917号土坑（第159図）

[位置・確認層] X - 149、150グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第195号土坑、第278号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径97cm、底面は長径93cm、深さは121cmである。

[壁] オーバーハングし袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒～橙色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。第5層は、第 層崩落土の可能性はある。

[出土遺物] 土器は、第3～1層、覆土より第 群6、8類土器（第200図936、939）第 群土器（第200図937、938）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第918号土坑（第159図）

[位置・確認層] X - 150グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第898号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は118cm×97cm、底面は長径190cm、深さは109cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6～4、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器（第200図940～943）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第919号土坑（第159図）

[位置・確認層] X - 148、149グリッドに位置する。第953号土坑覆土において確認した。

[重複] 第905号土坑、第953号土坑と重複し、本遺構は第953号土坑より新しく、第905号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は計測不能で、底面は長径154cm、深さは140cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈するものと思われる。

[底面] 外側から中央部へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。暗褐～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3～5類土器（第200図944～946）が出土している。石器は、敲磨器類4類Bが1点（第230図255）出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第234図89）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第950号土坑**（第159図）

- [位置・確認層] X・Y - 151、152グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は86cm×68cm、底面は長径60cm、深さは25cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 起伏を有する。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第951号土坑**（第160図）

- [位置・確認層] X・Y - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第906号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長87cm、底面は最長157cm、深さは113cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第4、3層、覆土より第 群3類、6類土器（第200図947、948）、覆土より第 群4類土器（第200図949）が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第952号土坑**（第160図）

- [位置・確認層] W・X - 149グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長74cm、底面は最長122cm、深さは125cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。黒褐～橙色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群5類土器（第200図951）、第 群土器（第200図950）が出土している。石器は、覆土より礫石錘3類が1点（第230図256）、敲磨器類4類Dが1点（第230図257）出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第953号土坑**（第160図）

- [位置・確認層] X - 148、149グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第903号土坑、第904号土坑、第919号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は計測不能、底面は最長178cm、深さは170cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈するものと思われる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 13層に分層した。黒～明赤褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群3類土器(第200図952)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第962号土坑(第160図)

[位置・確認層] Y-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円で、開口部は46cm×36cm、底面は最長23cm、深さは52cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がり、開口部付近で屈曲する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第200図953)が出土している。

[時期] 不明である。

#### 第980号土坑(第160図)

[位置・確認層] Y-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第1034号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長72cm、底面は最長16cm、深さは53cmである。

[壁] 底面から直線低に立ち上がり、開口部付近は、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第981号土坑(第160図)

[位置・確認層] Y-143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は28cm×27cm、底面は24cm×22cm、深さは31cmである。

[壁] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第200図954)、第 群土器(第200図955)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。



**第982号土坑（第160図）**

[位置・確認層] X・Y - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径57cm、底面は長径38cm、深さは57cmである。

[壁] 全体として東側に傾き立ち上がる。西側は、一部オーバーハングする。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群8類土器（第200図956）、第 群土器（第200図957）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第1034号土坑（第160図）**

[位置・確認層] Y - 143グリッドに位置する。第 層、第980号土坑において確認した。

[重複] 第980号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長54cm、底面は最長38cm、深さは65cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器（第200図958、959）が出土している。

[時期] 不明である。

**第1035号土坑（第160図）**

[位置・確認層] Y - 143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径133cm、底面は長径123cm、深さは86cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第9、7、6層より第 群5a、6類土器（第200図960、961）が出土している。

石器は、第2層より敲磨器類4類Bが1点（第230図258）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第1066号土坑（第161図）**

[位置・確認層] X - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長39cm、底面は最長29cm、深さは30cmである。

[壁] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。

[底面外側から中央部へ傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群土器(第200図962)が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第1067号土坑(第161図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長67cm、底面は最長58cm、深さは27cmである。
- [ 壁 ] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1082号土坑(第161図)**

- [ 位置・確認層 ] X - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長82cm、底面は最長88cm、深さは45cmである。
- [ 壁 ] 全体として外側へ起伏を伴い立ち上がる。西側は、一部オーバーハングする。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ起伏が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1084号土坑(第161図)**

- [ 位置・確認層 ] X - 140グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径74cm、底面は長径64cm、深さは28cmである。
- [ 壁 ] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。暗褐～褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1086号土坑(第161図)**

- [ 位置・確認層 ] X - 142グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長42cm、底面は最長32cm、深さは36cmである。

- [ 壁 ] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第1088号土坑（第161図）

- [ 位置・確認層 ] X - 140グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径29cm、底面は最長12cm、深さは29cmである。
- [ 壁 ] 底面から直線的に立ち上がり、開口部付近で外側へ屈曲する。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第1098号土坑（第161図）

- [ 位置・確認層 ] X - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は28cm×23cm、底面は21cm×16cm、深さは36cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第1101号土坑（第161図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な楕円形で、開口部は22cm×18cm、底面は15cm×13cm、深さは11cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第1102号土坑（第161図）

- [ 位置・確認層 ] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径14cm、底面は長径10cm、深さは5cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒～黒褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第1103号土坑 (第161図)

[位置・確認層] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径18cm、底面は8cm、深さは23cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がり、開口部付近で外側に屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第1104号土坑 (第161図)

[位置・確認層] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径15cm、底面は10cm×6cm、深さは10cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第1105号土坑 (第161図)

[位置・確認層] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径17cm、底面は8cm×6cm、深さは13cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒色土～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

**第1106号土坑**（第161図）

〔位置・確認層〕 Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、開口部は長径24cm、底面は18cm×12cm、深さは27cmである。

〔壁〕 外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕 ほぼ平坦である。

〔堆積土〕 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 不明である。

**第1107号土坑**（第161図）

〔位置・確認層〕 Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、開口部は20cm×16cm、底面は長径12cm、深さは16cmである。

〔壁〕 外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕 西側から東側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 不明である。

**第1108号土坑**（第161図）

〔位置・確認層〕 Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整な円形で、開口部は長径26cm、底面は長径20cm、深さは43cmである。

〔壁〕 外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕 西側から東側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 不明である。

**第1109号土坑**（第161図）

〔位置・確認層〕 Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整な楕円形で、開口部は21cm×13cm、底面は最長11cm、深さは19cmである。

〔壁〕 外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕 ほぼ平坦である。

〔堆積土〕 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1110号土坑 (第161図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径17cm、底面は長径10cm、深さは9cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1111号土坑 (第161図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径29cm、底面は長径18cm、深さは46cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第1層より第 群6類土器 (第200図963) が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

**第1112号土坑 (第161図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径18cm、底面は長径6cm、深さは23cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1113号土坑 (第161図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層、第1114号土坑覆土において確認した。

[ 重複 ] 第1114号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長25cm、底面は最長17cm、深さは12cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。

- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

**第1114号土坑 (第161図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第1113号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長36cm、底面は最長8cm、深さは26cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 中央部から外側へ傾斜が見られる。東壁側に底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 3層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群9類土器 (第200図964) が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

**第1115号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長23cm、底面は最長16cm、深さは11cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜を有する。
- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1116号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129、130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径14cm、底面は長径8cm、深さは7cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ若干の傾斜を有する。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1117号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第1118号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は長径30cm、底面は長径12cm、深さは22cmである。

- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 南側から東側へ傾斜を有する。北壁側に底面ピットを有する。
- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1118号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第1117号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径18cm、底面は長径13cm、深さは28cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 黒～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1119号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ]
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1120号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径18cm、底面は長径9cm、深さは15cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

**第1121号土坑 (第162図)**

- [ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。



[重複] なし。

[平面形・規模]

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第1124号土坑 (第162図)

[位置・確認層] X - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模]

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側は開口部付近で段状の起伏を有する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒～黄褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第200図965)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第1135号土坑 (第162図)

[位置・確認層] X - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長46cm、底面は24cm×18cm、深さは38cmである。

[壁] 外側へ起伏を伴い立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第1140号土坑 (第162図)

[位置・確認層] X - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長88cm、底面は最長60cm、深さは43cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

**第1141号土坑（第162図）**

- [位置・確認層] X - 141グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長31cm、底面は最長22cm、深さは23cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第1146号土坑（第162図）**

- [位置・確認層] Y Z - 130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径17cm、底面は長径9cm、深さは10cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 3層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第1147号土坑（第162図）**

- [位置・確認層] Y - 129・130グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模]
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

**第1148号土坑（第162図）**

- [位置・確認層] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径22cm、底面は長径14cm、深さは24cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 5層に分層した。黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1149号土坑 (第162図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ]

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐～褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1150号土坑 (第162図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径22cm、底面は長径14cm、深さは22cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒～黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1151号土坑 (第162図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ]

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

**第1152号土坑 (第163図)**

[ 位置・確認層 ] Y - 129グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径17cm、底面は長径11cm、深さは7cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

- [ 堆積土 ] 黒色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第1275号土坑 (第163図)

- [ 位置・確認層 ] A B - 147グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径29cm、底面は最長23cm、深さは7cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

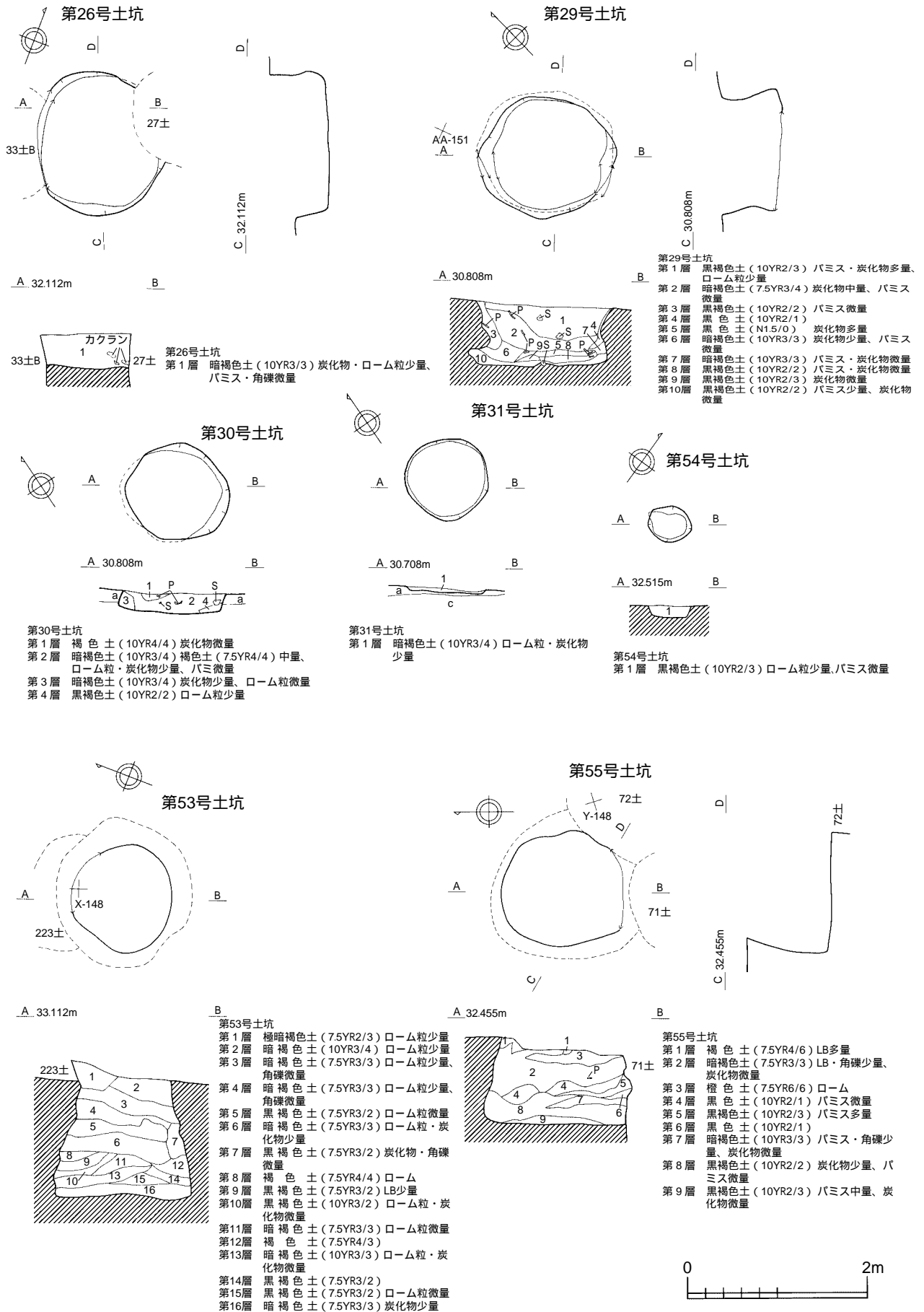
#### 第1276号土坑 (第163図)

- [ 位置・確認層 ] A B - 145グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第1277号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整形で、開口部は最長120cm、底面は最長176cm、深さは96cmである。
- [ 壁 ] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [ 底面 ] 若干の起伏が有るがほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第1層、覆土より第 群3類、5a類、6類土器(第176図65、第200図966～968)が出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

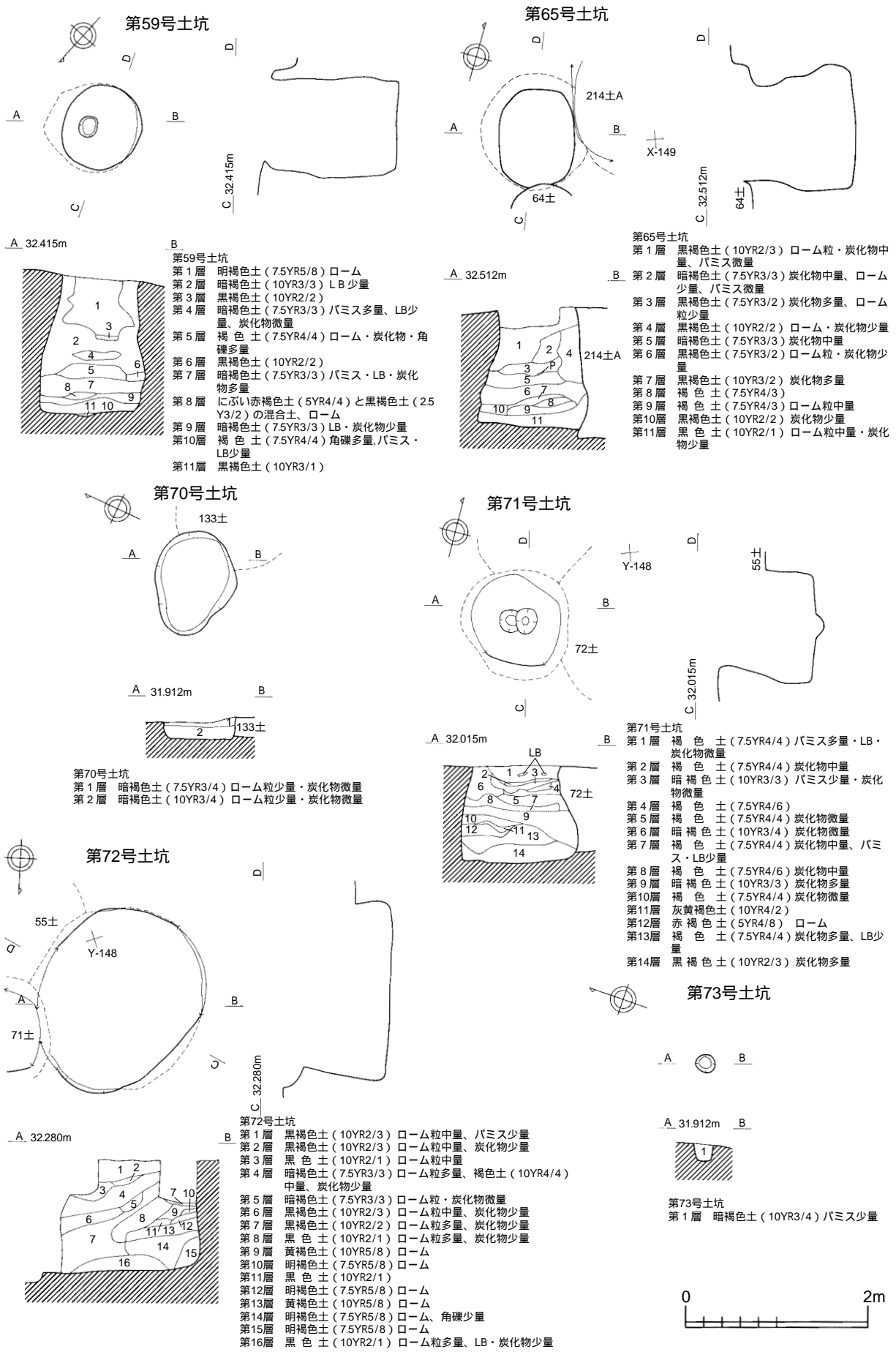
#### 第1277号土坑 (第163図)

- [ 位置・確認層 ] A A・A B - 145、146グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] 第1276号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は124cm×104cm、底面は118cm×106cm、深さは88cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。部分的にオーバーハングする。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 4層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] 土器は、第4、2、1層より第 群6類土器(第200図969、972、974)、第4～1層より第 群6類土器(第176図66、第200図973、975)、第 群土器(第200図970、971)が出土している。石器は、第1層より不定形石器3類が1点(第212図99)出土している。土製品は、第4層より土器片利用土製品が2点(第234図90、91)、第3層より土器片利用土製品が2点(第234図92、93)、覆土より土器片利用土製品が1点(第234図94)出土している。
- [ 時期 ] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

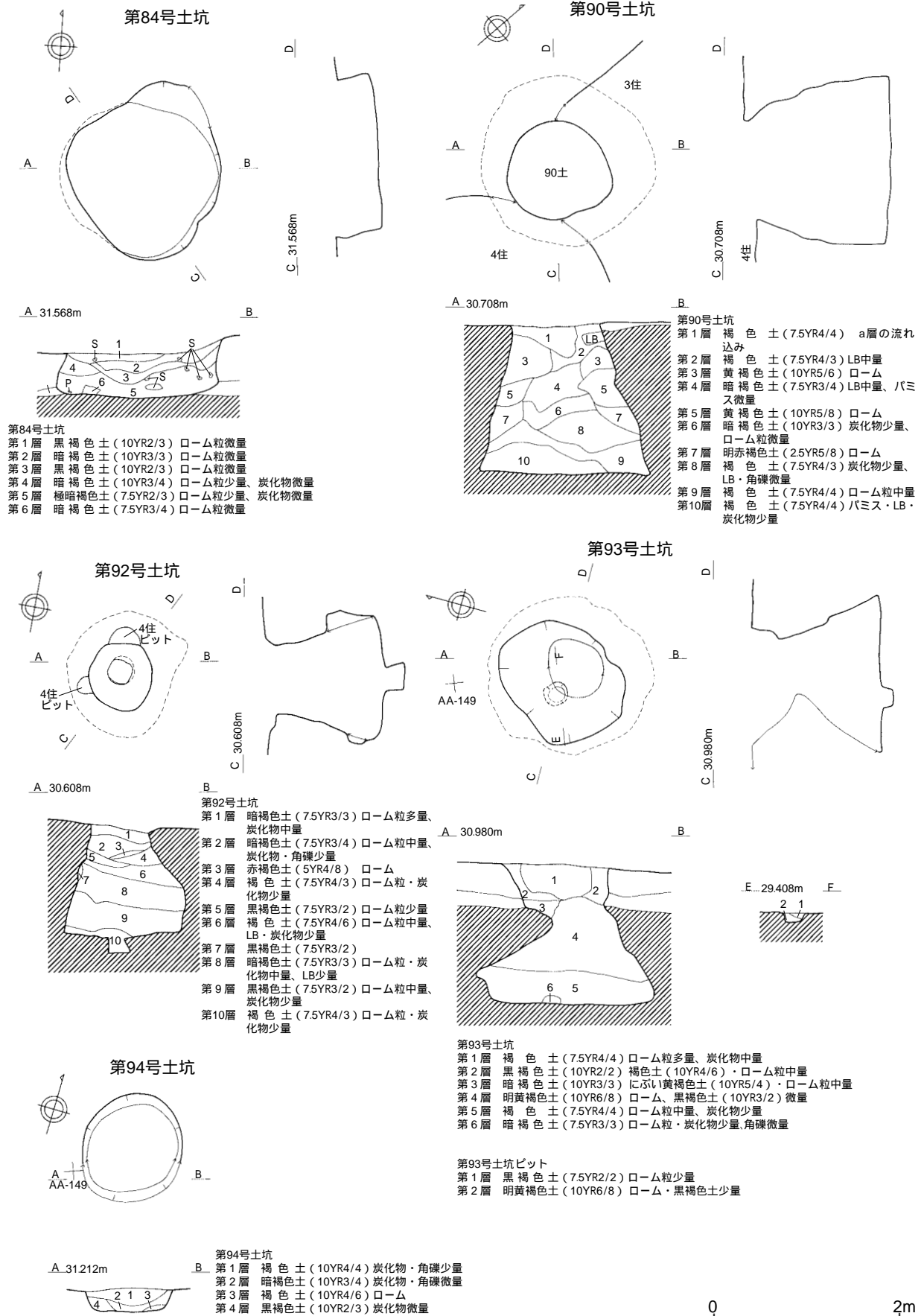
(小野)



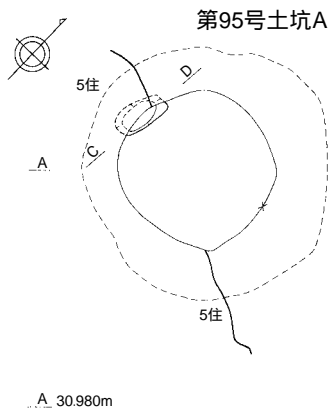
第109図 土坑 (1) (26±・29~31±・53~55±)



第110図 土坑 (2) (59土・65土・70~73土)

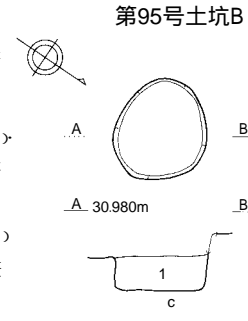


第111図 土坑 (3)(84土・90土・92~94土)

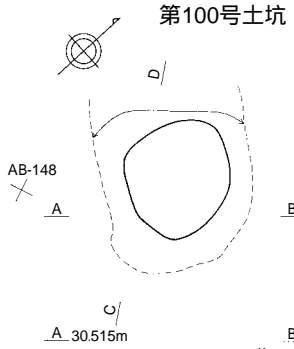
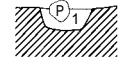
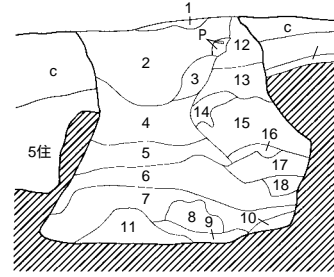


- 第95号土坑A  
 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒多量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒多量、炭化物中量、角礫少量  
 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 黒色土 (10YR2/1) > ローム粒・炭化物少量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物多量、ローム粒・角礫少量  
 第5層 黒褐色土 (7.5YR2/2) 炭化物多量、ローム粒・角礫微量  
 第6層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム、角礫多量  
 第7層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒・炭化物中量  
 第8層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒中量、暗褐色土 (7.5YR3/4) > LB少量  
 B. 第9層 黒色土 (10YR2/1) 暗褐色土 (7.5YR3/4) ・ローム粒少量  
 第10層 紅黄褐色土 (10YR7/4) 褐色土 (7.5YR4/6) 少量  
 第11層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム、黒色土少量  
 第12層 黒色土 (7.5YR2/1) ローム粒中量、炭化物微量  
 第13層 黒褐色土 (10YR3/1) ローム粒中量、黒色土 (10YR2/1) 少量  
 第14層 暗褐色土 (10YR3/3) パミス・褐色土 (7.5YR4/4) 少量  
 第15層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム、黒褐色土 (7.5YR2/2) 少量  
 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 黒色土 (10YR2/1) 少量  
 第17層 紅黄褐色土 (10YR7/4) ローム、黒色土 (10YR2/1) 少量  
 第18層 紅黄褐色土 (10YR7/4) 黒色土 (10YR2/1) 中量

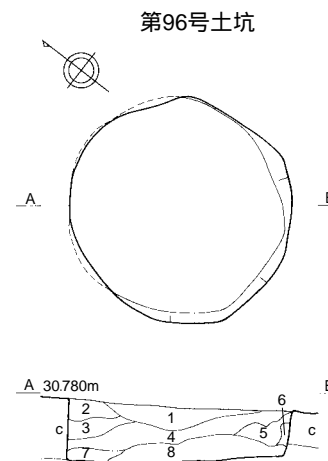
第95号土坑Aビット  
 第1層 赤褐色土 (5YR4/8) 暗褐色土多量



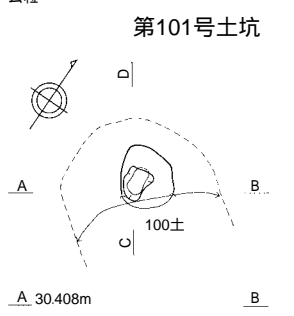
- 第95号土坑B  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物・角礫少量



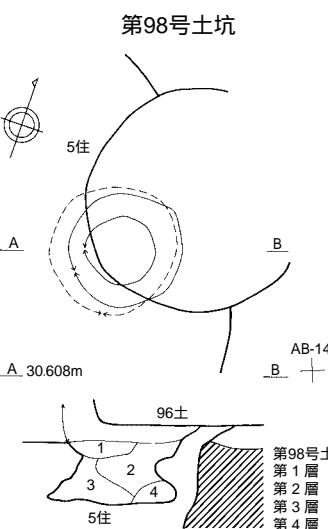
- 第100号土坑  
 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・炭化物少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物微量



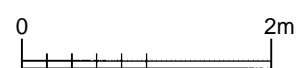
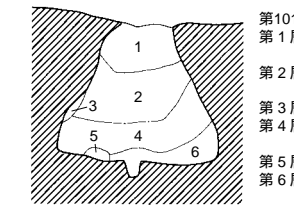
- 第96号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) パミス・ローム粒中量、炭化物少量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒・炭化物少量  
 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒・炭化物少量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒多量、炭化物・角礫少量  
 第5層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物・角礫少量  
 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・炭化物少量  
 第7層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物微量  
 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒・炭化物多量



- 第101号土坑  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物多量、ローム粒中量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量、炭化物少量、角礫微量  
 第3層 橙色土 (7.5YR7/6) ローム  
 第4層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒多量、炭化物少量  
 第5層 橙色土 (7.5YR7/6) ローム  
 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量、角礫微量

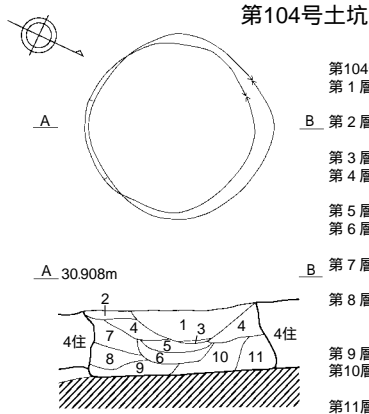


- 第98号土坑  
 第1層 明褐色土 (5YR5/8) 褐色土 (7.5YR4/4) 少量、ローム粒微量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物少量  
 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・炭化物微量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量

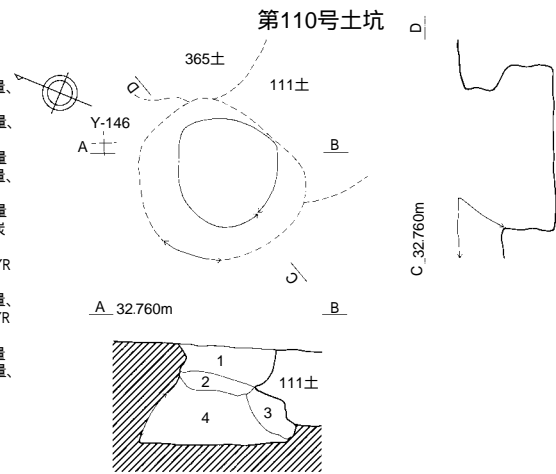


第112図 土坑 (4) (95土A・B・96土・98土・100土・101土)

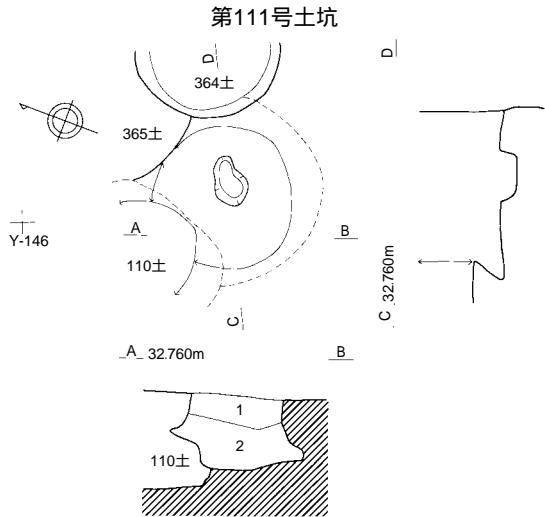




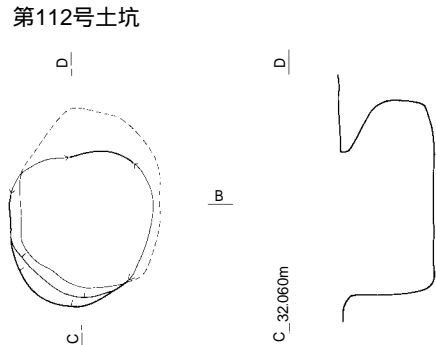
- 第104号土坑
- 第1層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、炭化物微量
  - 第3層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒微量
  - 第4層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒多量、炭化物中量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒・炭化物少量
  - 第7層 黒褐色土 (7.5YR2/2) 黒色土 (10YR2/1) 多量、ローム粒中量
  - 第8層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒中量、黒色土 (10YR2/1)・褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物少量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、黒色土 (10YR2/1)・角礫少量
  - 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/3)



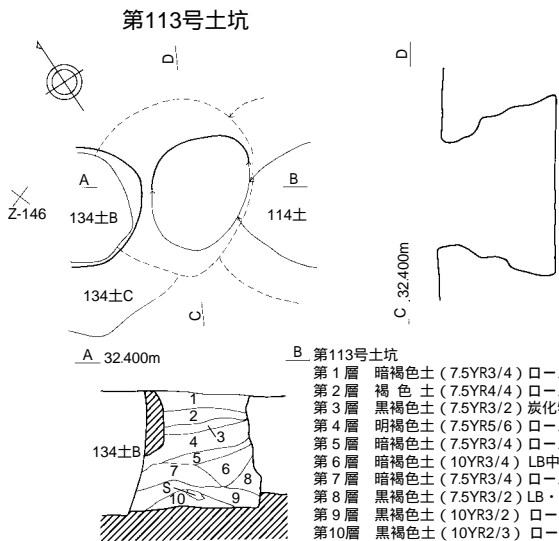
- 第110号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物多量、LB中量、パミス少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・炭化物少量、角礫微量
  - 第3層 明褐色土 (7.5YR5/6) パミス・炭化物多量、ローム粒少量
  - 第4層 黒褐色土 (7.5YR3/2)



- 第111号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物多量、パミス・焼土少量、角礫微量
  - 第2層 黒褐色土 (10YR2/3) 土器多量、パミス中量、炭化物少量

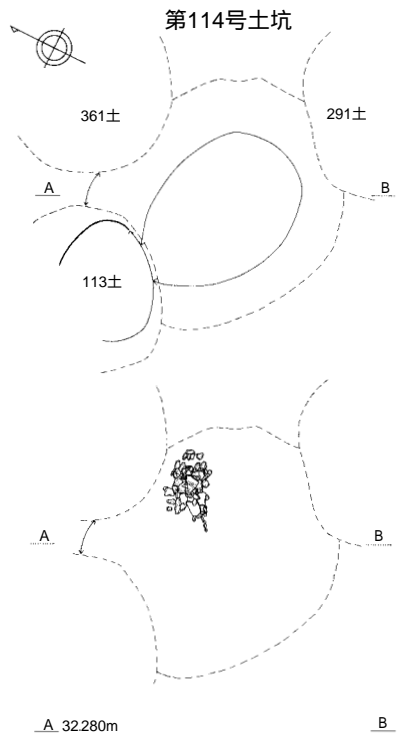


- 第112号土坑
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/6) LB多量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒多量、LB中量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・ローム粒少量
  - 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒多量、LB中量
  - 第5層 明褐色土 (7.5YR5/8) ローム
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、炭化物少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、LB少量、炭化物微量
  - 第8層 赤褐色土 (5YR4/8) LB・暗褐色土多量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
  - 第10層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム、角礫少量
  - 第11層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム、角礫中量

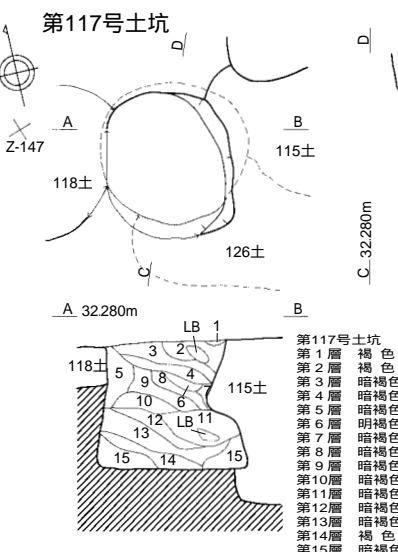


- 第113号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒・炭化物・角礫少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒中量、炭化物微量
  - 第3層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物少量
  - 第4層 明褐色土 (7.5YR5/6) ローム粒・炭化物少量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量
  - 第6層 暗褐色土 (10YR3/4) LB中量、ローム粒・炭化物少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、LB・炭化物少量
  - 第8層 黒褐色土 (7.5YR3/2) LB・ローム粒少量
  - 第9層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量
  - 第10層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、LB少量

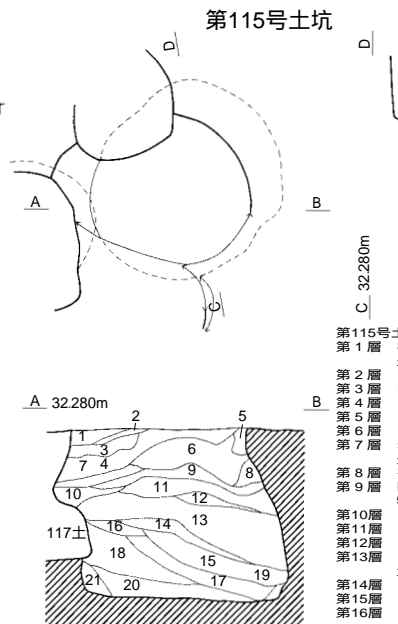
第113図 土坑 (5)(104土・110~113土)



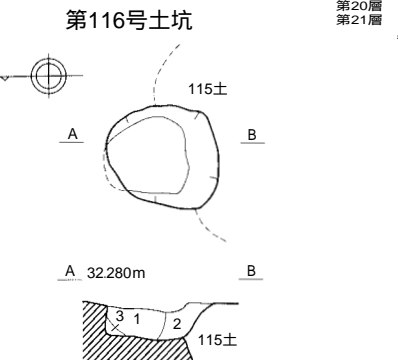
- 第114号土坑**
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) □-ム粒少量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量、LB・炭化物少量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・□-ム粒・炭化物少量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-ム粒・炭化物少量
  - 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物少量、LB・□-ム粒微量
  - 第7層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・□-ム粒・炭化物少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・炭化物中量
  - 第9層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-ム粒・炭化物少量
  - 第10層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒少量、炭化物微量
  - 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB中量、□-ム粒少量
  - 第12層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒少量
  - 第13層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量
  - 第14層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-ム粒中量
  - 第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量
  - 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-ム粒中量
  - 第17層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量



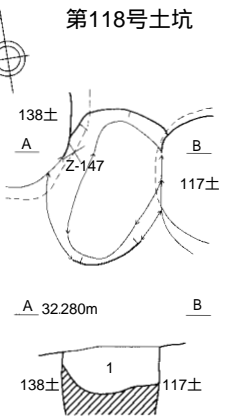
- 第117号土坑**
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-ム粒中量、角礫少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) LB中量、□-ム粒・炭化物少量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・炭化物少量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物中量、□-ム粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒・炭化物少量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR5/8) □-ム粒少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・炭化物少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・炭化物多量、LB少量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、炭化物中量、パミス少量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量、黒色土 (10YR2/1)・LB・炭化物少量
  - 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、LB中量、炭化物少量
  - 第12層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒多量、炭化物・角礫少量
  - 第13層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒多量、炭化物中量、LB少量
  - 第14層 褐色土 (7.5YR4/3) □-ム粒中量、炭化物少量
  - 第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、LB・炭化物・角礫少量



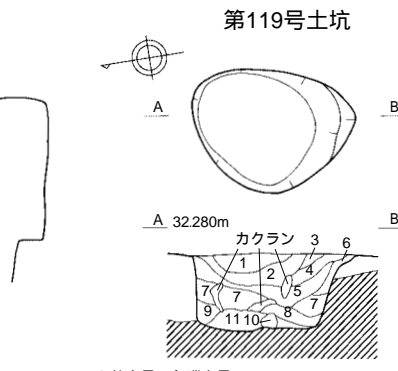
- 第115号土坑**
- 第1層 橙色土 (7.5YR6/8) □-ム、角礫多量、□-ム粒少量
  - 第2層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-ム、炭化物微量
  - 第3層 明赤褐色土 (5YR5/8) □-ム、炭化物微量
  - 第4層 にじみ褐色土 (10YR4/3) □-ム粒多量、炭化物少量
  - 第5層 にじみ褐色土 (10YR5/3) □-ム粒・炭化物少量
  - 第6層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-ム、炭化物少量
  - 第7層 赤褐色土 (5YR4/8) □-ム、黒褐色土 (7.5YR3/4) 少量
  - 第8層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム粒多量、炭化物微量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、LB中量、炭化物微量
  - 第10層 黒色土 (10YR2/1) LB多量、角礫少量
  - 第11層 黒褐色土 (10YR2/2) □-ム粒多量、炭化物少量
  - 第12層 黄褐色土 (10YR5/8) □-ム
  - 第13層 明赤褐色土 (5YR5/8) □-ム、角礫多量、炭化物少量
  - 第14層 黒褐色土 (10YR2/2) □-ム粒多量、炭化物少量
  - 第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量
  - 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、LB中量、炭化物少量
  - 第17層 黄褐色土 (10YR5/8) □-ム、暗褐色土 (7.5YR3/4) 少量
  - 第18層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、炭化物少量
  - 第19層 暗褐色土 (7.5YR3/4)
  - 第20層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量、角礫少量
  - 第21層 赤褐色土 (5YR4/8) □-ム、暗褐色土 (7.5YR3/4)・黒色土 (10YR2/1) 少量



- 第116号土坑**
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-ム粒多量、LB少量
  - 第2層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-ム粒多量、LB少量
  - 第3層 褐色土 (10YR4/6) □-ム粒少量

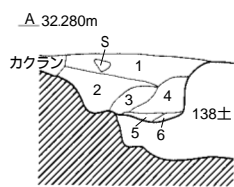
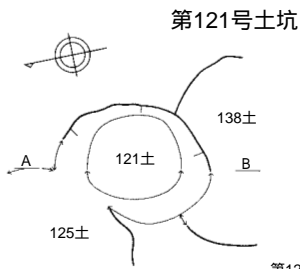


- 第118号土坑**
- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物中量、パミス・LB・□-ム粒少量



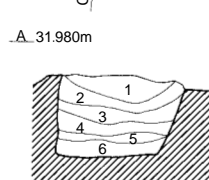
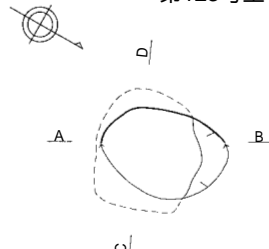
- 第119号土坑**
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒中量、LB・炭化物少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒多量、LB中量、炭化物少量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/3) □-ム粒中量、炭化物少量
  - 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量、□-ム粒少量
  - 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒多量、LB・炭化物少量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量、LB少量
  - 第7層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-ム粒多量、炭化物少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒多量
  - 第9層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒中量
  - 第10層 にじみ褐色土 (5YR4/4) □-ム粒多量
  - 第11層 褐色土 (7.5YR4/4) LB中量、□-ム粒少量
  - 第12層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量

第114図 土坑 (6)(114~116土・117~119土)



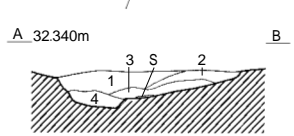
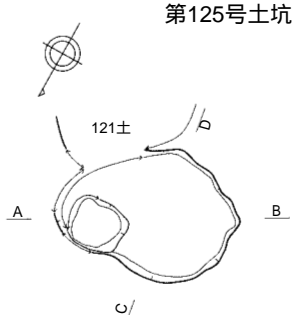
- 第121号土坑
- B 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、炭化物・角礫少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、炭化物少量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、LB・炭化物少量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量
  - 第6層 橙色土 (7.5YR7/8) と橙色土 (5Y R6/8) の混合土

第123号土坑



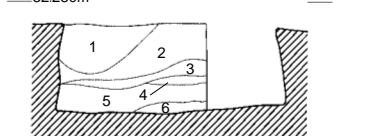
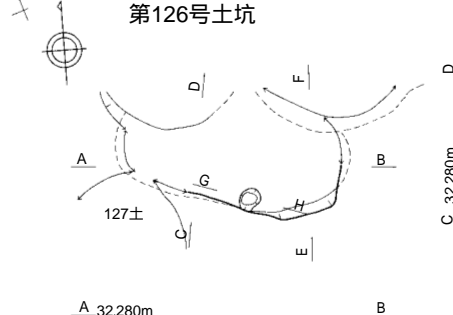
- 第123号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、LB中量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒多量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒中量、炭化物少量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、LB・炭化物少量
  - 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) LB・ローム粒少量
  - 第6層 明黄褐色土 (10YR7/6) ローム

第125号土坑



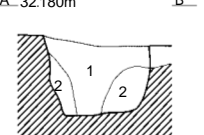
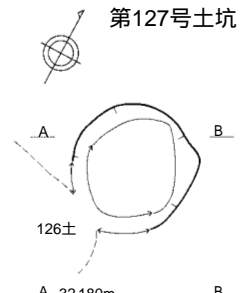
- 第125号土坑
- 第1層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒多量、パミス少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、パミス少量
  - 第3層 黒褐色土 (2.5YR3/2) パミス中量、ローム粒少量
  - 第4層 暗灰黄色土 (2.5YR4/2) ローム粒多量、暗褐色土 (10YR3/4) 少量
  - 第5層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒中量

第126号土坑



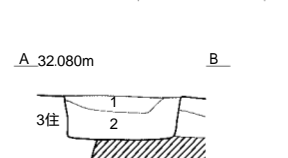
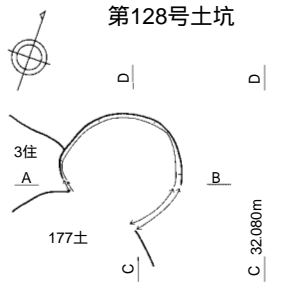
- 第126号土坑
- 第1層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム、角礫多量、暗褐色土 (7.5YR3/4) 少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・炭化物中量
  - 第3層 黄褐色土 (10YR5/6) 暗褐色土 (10YR3/3) 中量、ローム粒少量、角礫微量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、炭化物少量
  - 第5層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒中量、パミス・LB少量
  - 第6層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒中量

第127号土坑



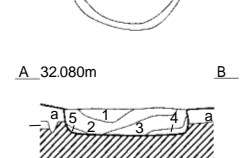
- 第127号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物少量、ローム粒微量
  - 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒中量、炭化物少量

第128号土坑



- 第128号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒多量、黒色土 (10YR2/1)・角礫少量

第129号土坑

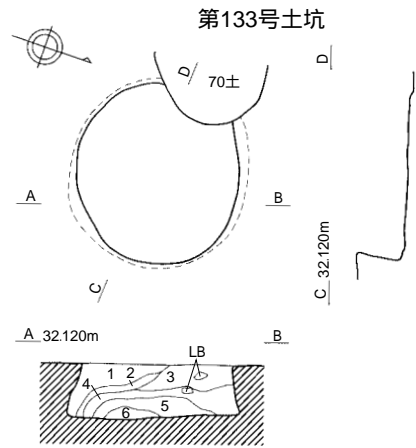


- 第129号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量
  - 第2層 黒褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒・炭化物中量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物少量

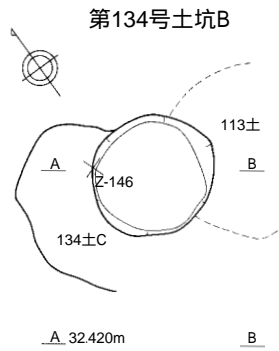
第132号土坑



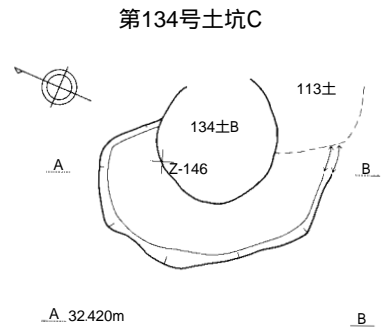
第115図 土坑 (7) (121土・123土・125~129土・132土)



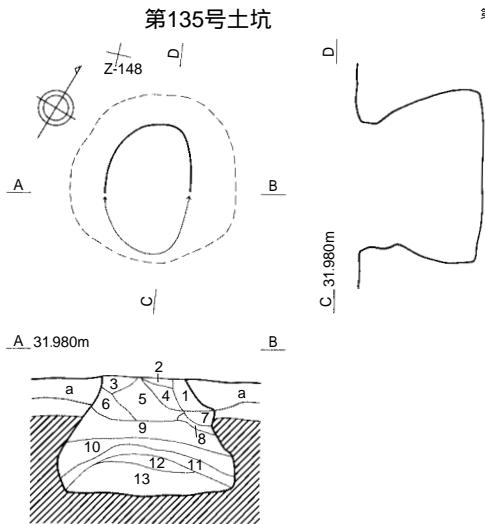
- 第133号土坑  
 第1層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) パミス・炭化物・角礫微量  
 第2層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 暗赤褐色土 (5YR3/6) 少量、炭化物微量  
 第4層 黒褐色土 (10YR2/3) と暗褐色 (10YR3/4) の混合土、暗赤褐色土 (5YR3/6) 少量  
 第5層 黒褐色土 (10YR2/3) と暗褐色土 (10YR3/3) の混合土  
 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4)



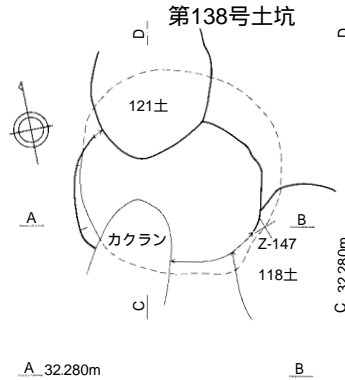
- 第134号土坑B  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒多量、炭化物少量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・角礫微量  
 第3層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒中量、炭化物少量、LB微量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) LB中量、ローム粒・炭化物微量  
 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/3) LB・ローム粒多量



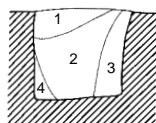
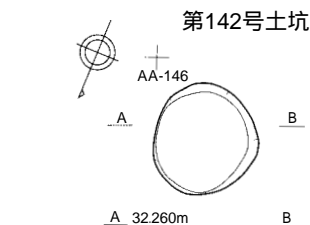
- 第134号土坑C  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、パミス少量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、パミス少量  
 第3層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、暗褐色土混入



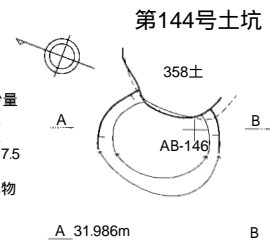
- 第135号土坑  
 第1層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒中量、LB少量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量  
 第3層 赤褐色土 (5YR4/6) ローム、暗褐色土 (7.5YR3/3) 少量  
 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量、角礫微量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) パミス・ローム粒少量、角礫微量  
 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) パミス・ローム粒少量  
 第7層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒多量、角礫微量  
 第8層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒中量  
 第9層 赤褐色土 (2.5YR4/8) ローム、黒褐色土 (10YR2/2) 少量  
 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) と明黄褐色土 (10YR6/6) の混合土、LB・ローム粒少量  
 第11層 黒褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量  
 第12層 明赤褐色土 (5YR5/8) ローム、角礫多量  
 第13層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量



- 第138号土坑  
 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量、角礫微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、LB・角礫少量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、炭化物中量  
 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、炭化物少量  
 第6層 黒色土 (7.5YR2/1) ローム粒多量、暗褐色土 (7.5YR3/4)・炭化物少量  
 第7層 黒褐色土 (10YR2/3) 土器中量、ローム粒・炭化物少量  
 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物少量  
 第9層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物少量  
 第10層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒多量、炭化物少量  
 第11層 黒褐色土 (10YR2/2) LB多量  
 第12層 橙褐色土 (7.5YR6/8) ローム、黒褐色土 (10YR2/3) 少量  
 第13層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物少量  
 第14層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 黒色土 (7.5YR2/1)・LB・ローム粒少量



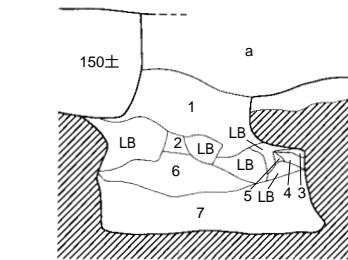
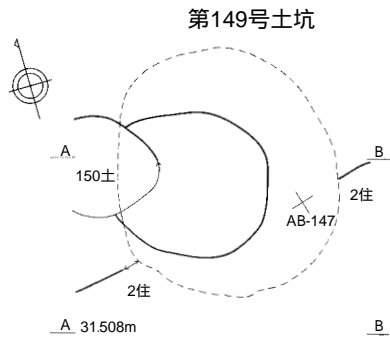
- 第142号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量、パミス微量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量、パミス・炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量、炭化物微量  
 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量



- 第144号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) パミス・ローム粒・炭化物・角礫少量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒多量、パミス・炭化物・角礫少量  
 第3層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量、炭化物微量

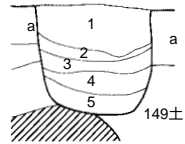
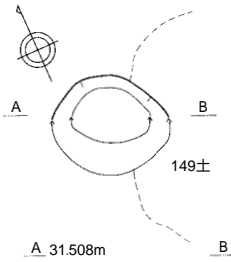


第116図 土坑 (8) (133土・134土B~135土・138土・142土・144土)



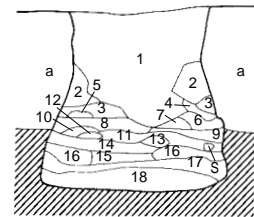
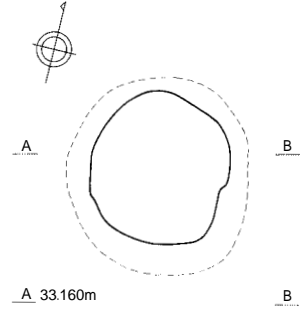
- 第149号土坑  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) パミス多量、炭化物中量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4)  
 第3層 明赤褐色土 (5YR5/8) ローム  
 第4層 暗赤褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物微量  
 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB中量、炭化物微量  
 第6層  
 第7層 明褐色土 (7.5YR5/6) ローム

第150号土坑



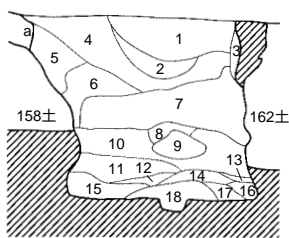
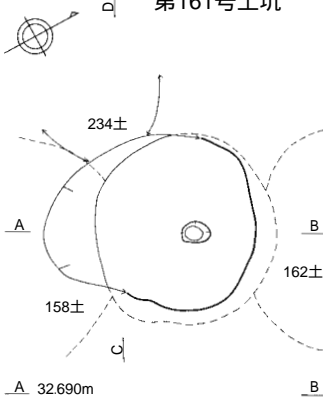
- 第150号土坑  
 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物中量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物少量  
 第3層 明黄褐色土 (10YR6/6) ローム、褐色土 (10YR4/4) 少量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・炭化物中量、LB少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・炭化物少量

第157号土坑

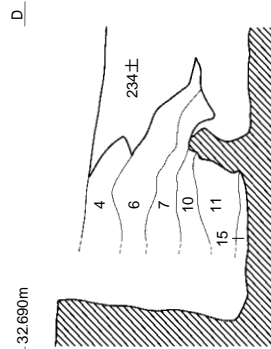


- 第157号土坑  
 第1層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒・角礫微量  
 第2層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) ローム、円礫・角礫微量  
 第3層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量  
 第4層 黒褐色土 (10YR3/2) LB少量  
 第5層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) ローム  
 第6層 黒褐色土 (10YR3/1) ローム粒少量  
 第7層 灰黄褐色土 (10YR4/2) LB中量  
 第8層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、LB微量  
 第9層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) LB少量、角礫微量  
 第10層 灰黄褐色土 (10YR4/2) 円礫多量、LB中量  
 第11層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒・円礫少量、LB微量  
 第12層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム  
 第13層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム、角礫微量  
 第14層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量  
 第15層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、角礫微量  
 第16層 黄褐色土 (10YR5/8) 暗褐色土 (10YR3/3) LB中量  
 第17層 黒褐色土 (10YR3/2)  
 第18層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量

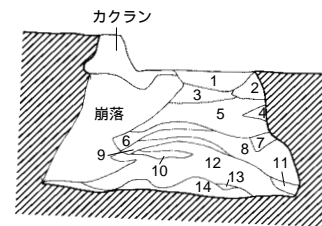
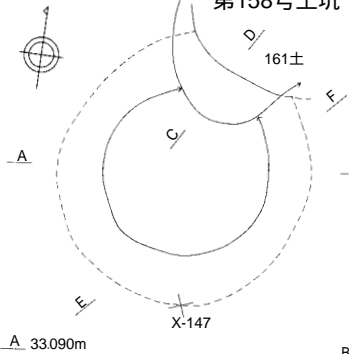
第161号土坑



- 第161号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・円礫・角礫少量、炭化物微量  
 第2層 黒色土 (10YR2/1) 炭化物多量、ローム粒少量  
 第3層 褐色土 (10YR4/4) ローム  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・ローム粒少量、炭化物微量  
 第5層 褐色土 (10YR4/6) ローム、角礫多量  
 第6層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) ローム粒・角礫多量  
 第7層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム、角礫多量  
 第8層 褐色土 (10YR4/4) LB・ローム粒少量、角礫微量  
 第9層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム、角礫多量  
 第10層 褐色土 (10YR4/6) ローム、角礫中量  
 第11層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム  
 第12層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・炭化物少量  
 第13層 黒褐色土 (10YR3/2) LB少量  
 第14層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム  
 第15層 褐色土 (10YR4/4) LB・ローム粒中量、LB・炭化物少量、角礫微量  
 第16層 暗褐色土 (10YR3/2) LB・ローム粒少量  
 第17層 褐色土 (10YR4/6) ローム、角礫少量  
 第18層 黒褐色土 (10YR3/2) LB・ローム粒少量、炭化物微量

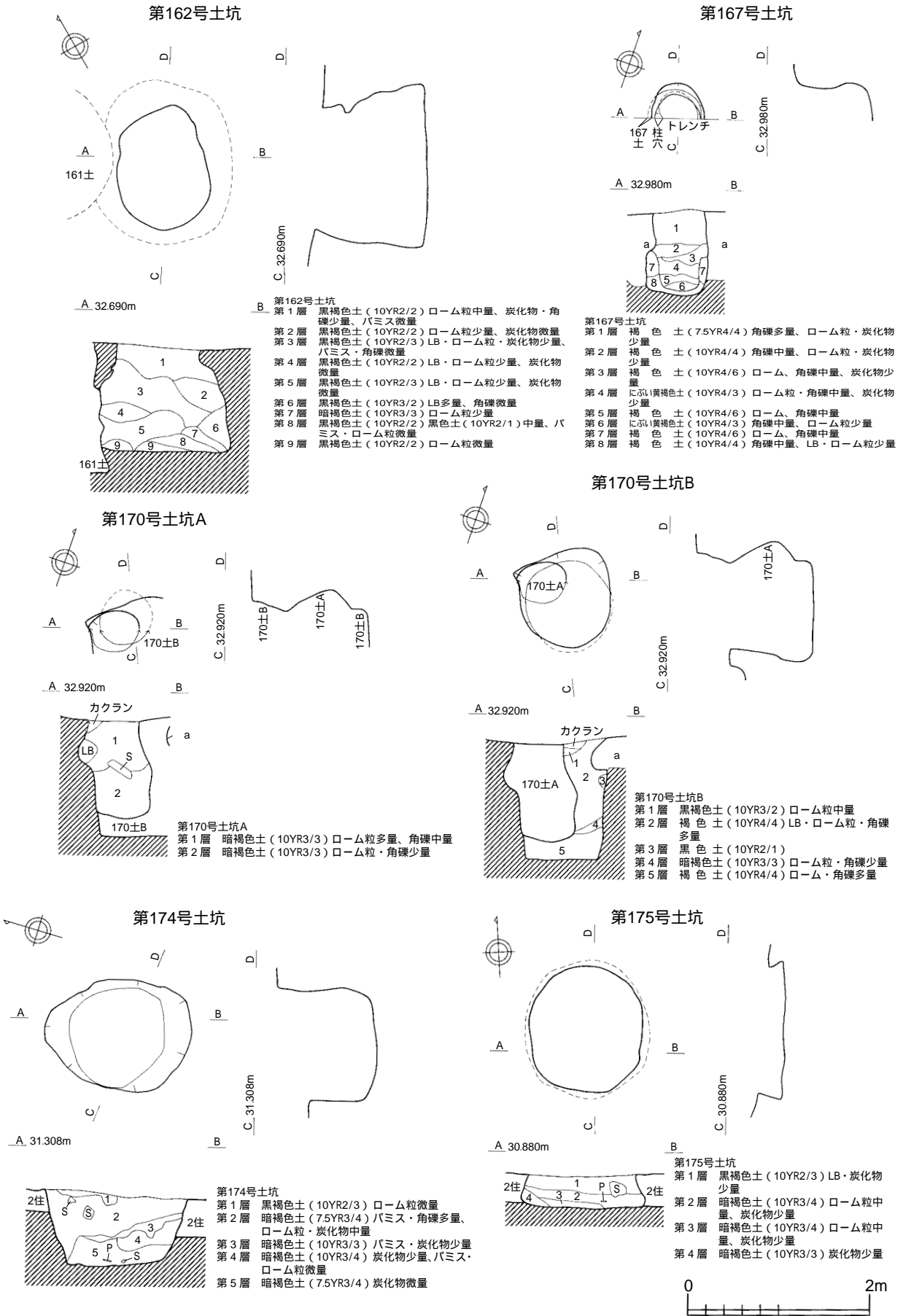


第158号土坑

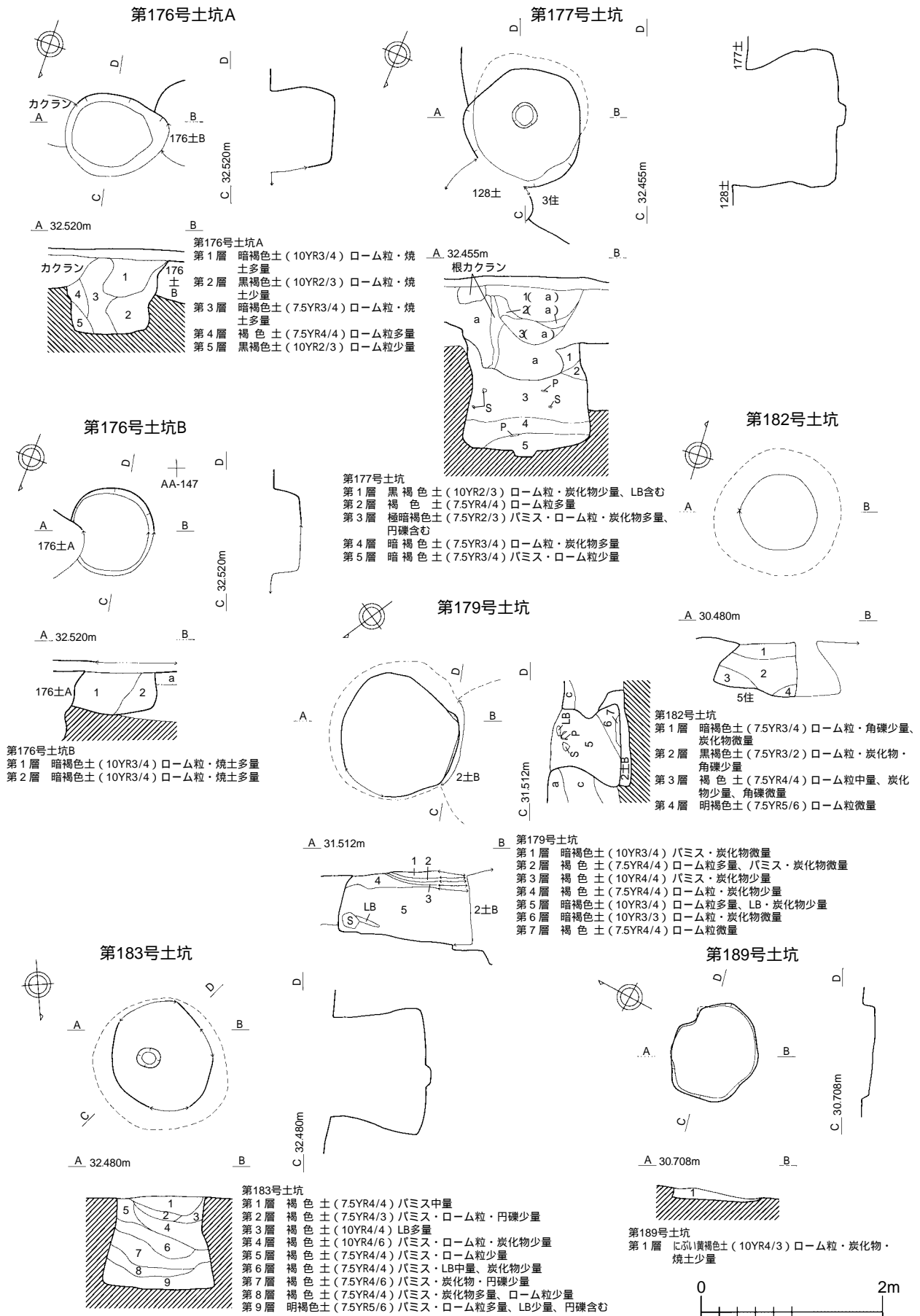


- 第158号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) パミス・角礫多量、炭化物・焼土少量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) パミス・炭化物少量  
 第3層 褐色土 (7.5YR4/6) パミス多量、炭化物・角礫少量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物多量、パミス少量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物多量、パミス少量  
 第6層 明褐色土 (7.5YR5/6) パミス多量、LB・炭化物少量  
 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) パミス多量、炭化物少量  
 第8層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、炭化物少量  
 第9層 明赤褐色土 (5YR5/6) 炭化物少量  
 第10層 黒褐色土 (7.5YR3/2) パミス・炭化物多量、ローム粒少量  
 第11層 黒褐色土 (7.5YR3/2) パミス・炭化物多量  
 第12層 明褐色土 (7.5YR5/6) パミス・炭化物多量、焼土・角礫少量  
 第13層 褐色土 (7.5YR4/3) パミス少量  
 第14層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム

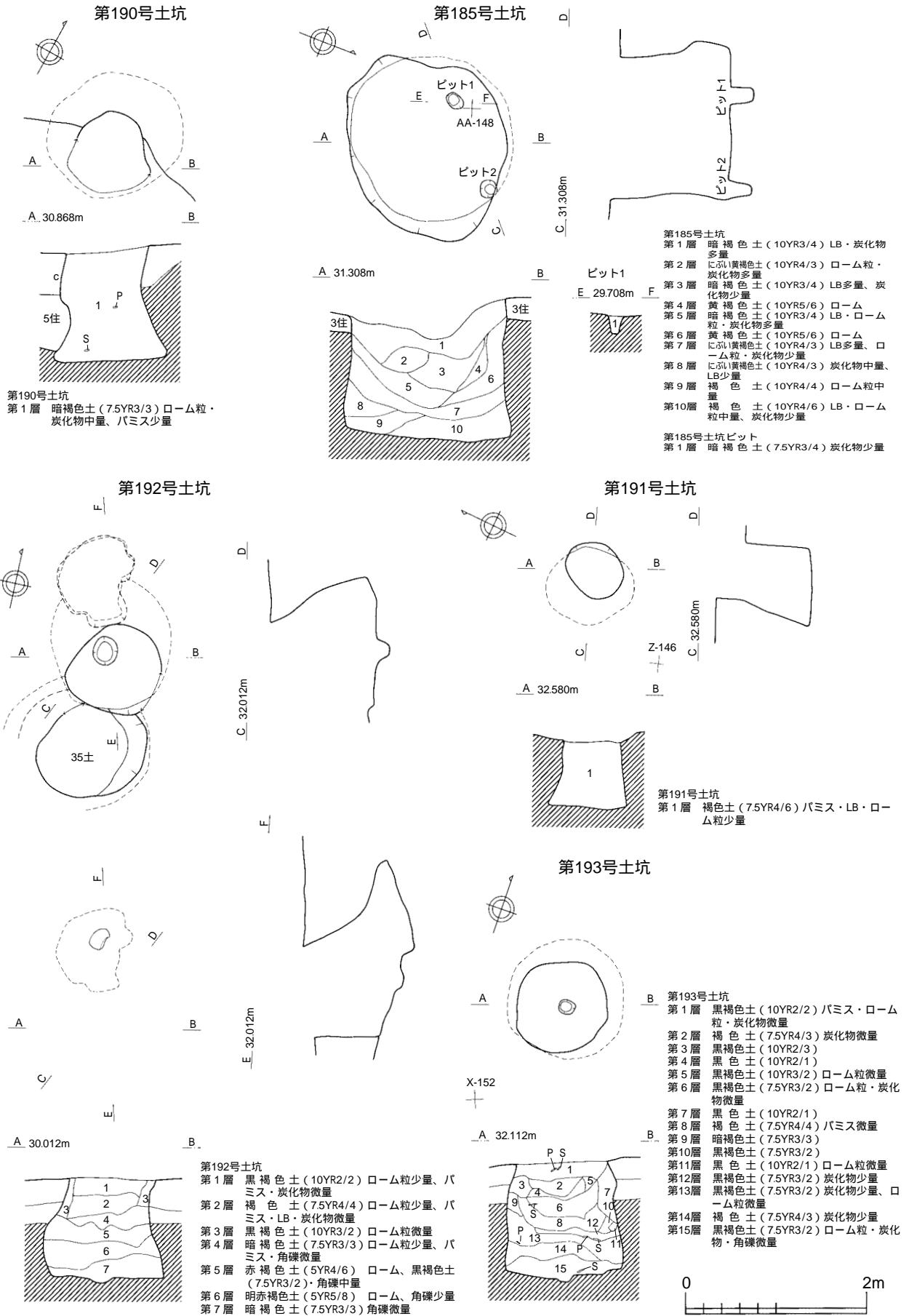
第117図 土坑 (9) (149土・150土・157土・158土・161土)



第118図 土坑 (10) (162土・167土・170土A・B・174土・175土)

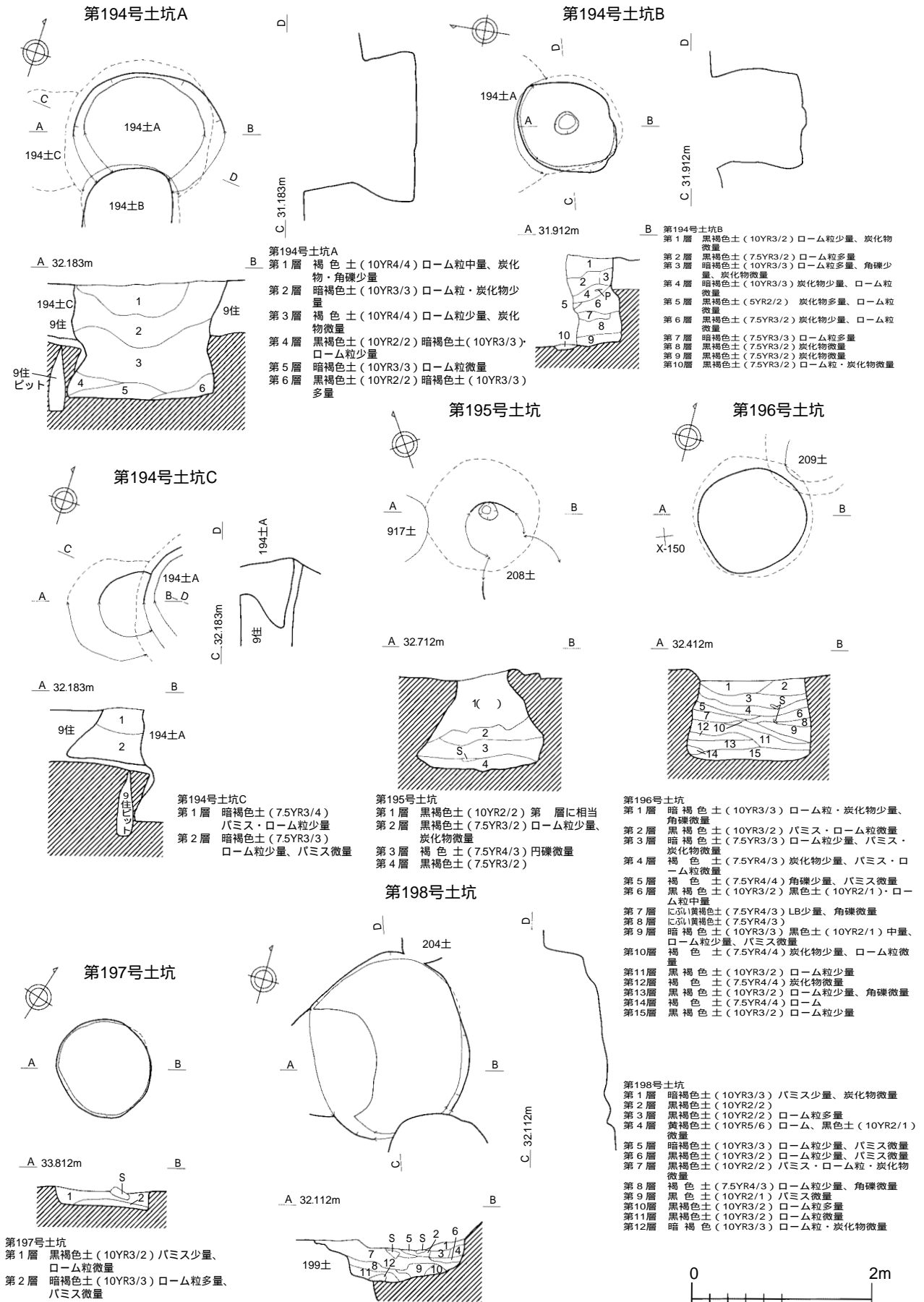


第119図 土坑 (11)(176±A・B・177±・179±・182±・183±・189±)

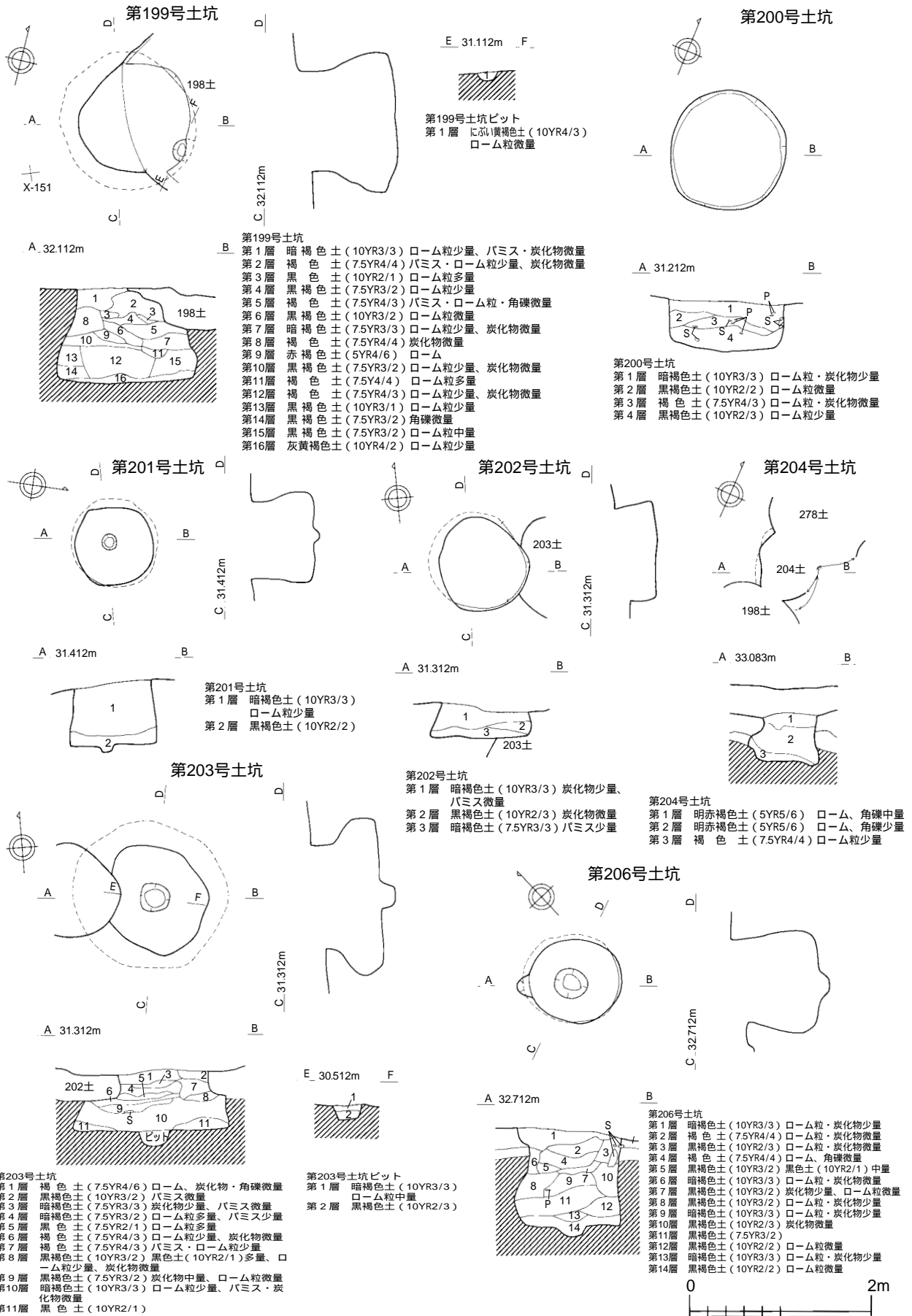


第120図 土坑 (12)(185土・190~193土)

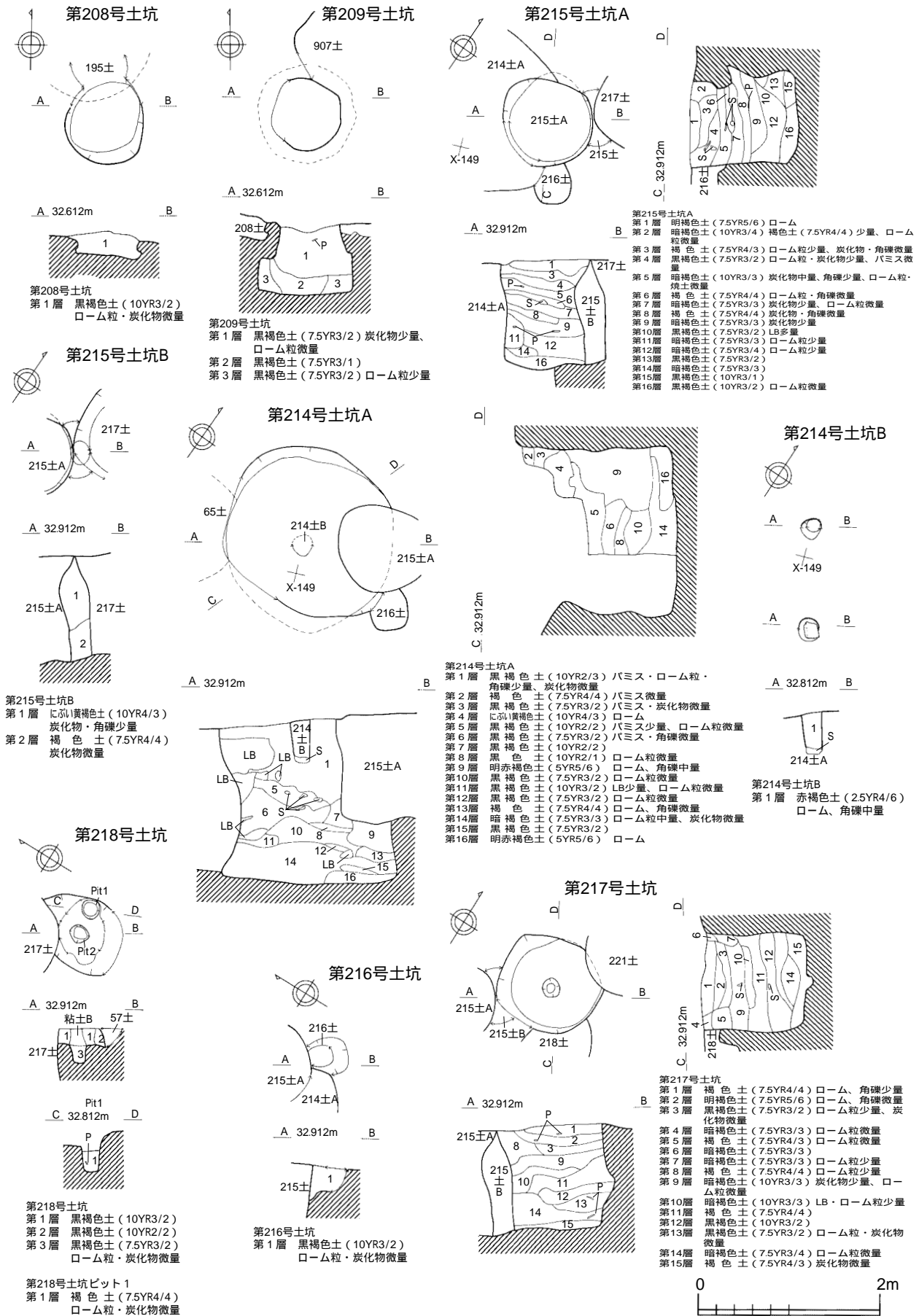




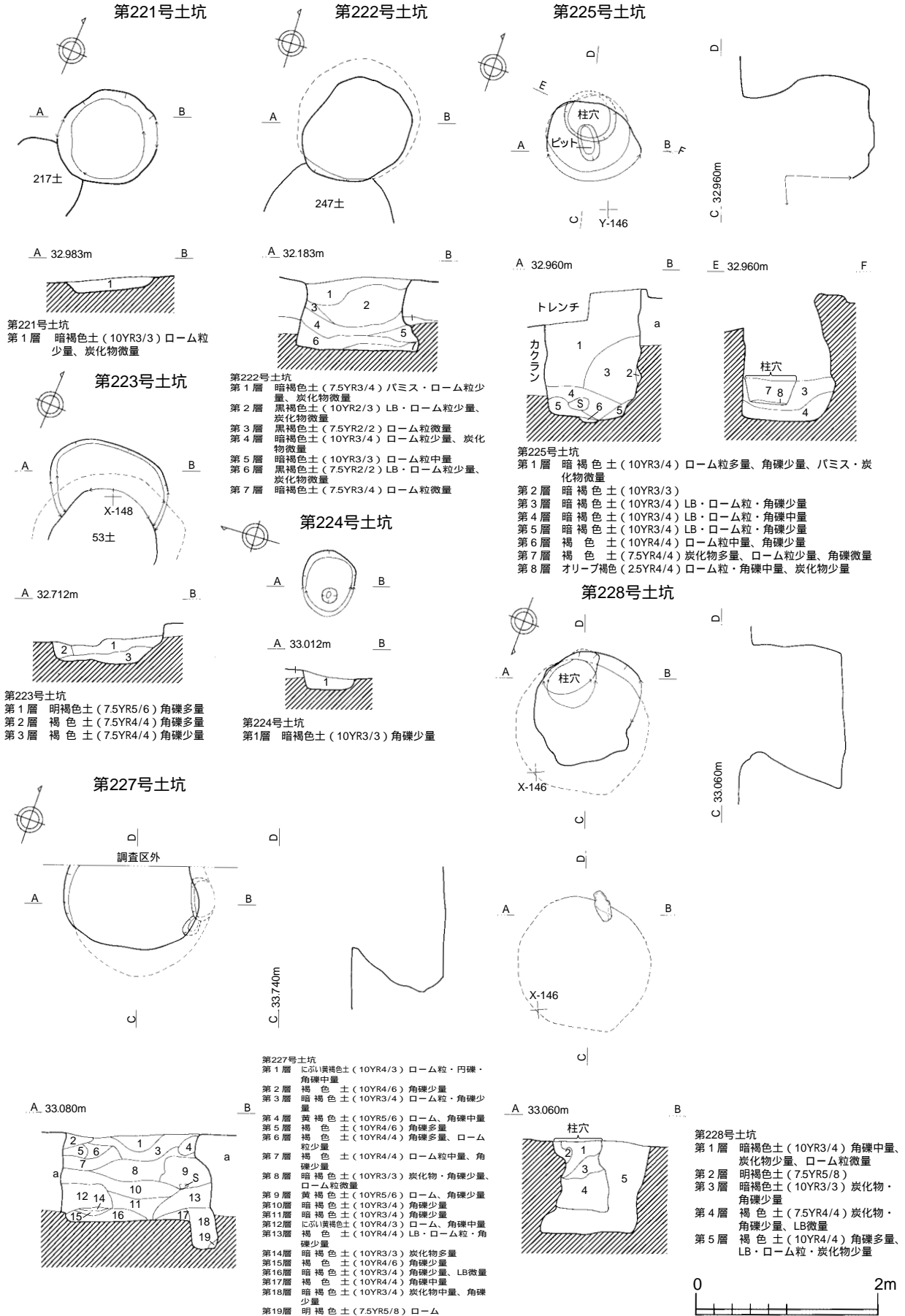
第121図 土坑 (13)(194土A~198土)



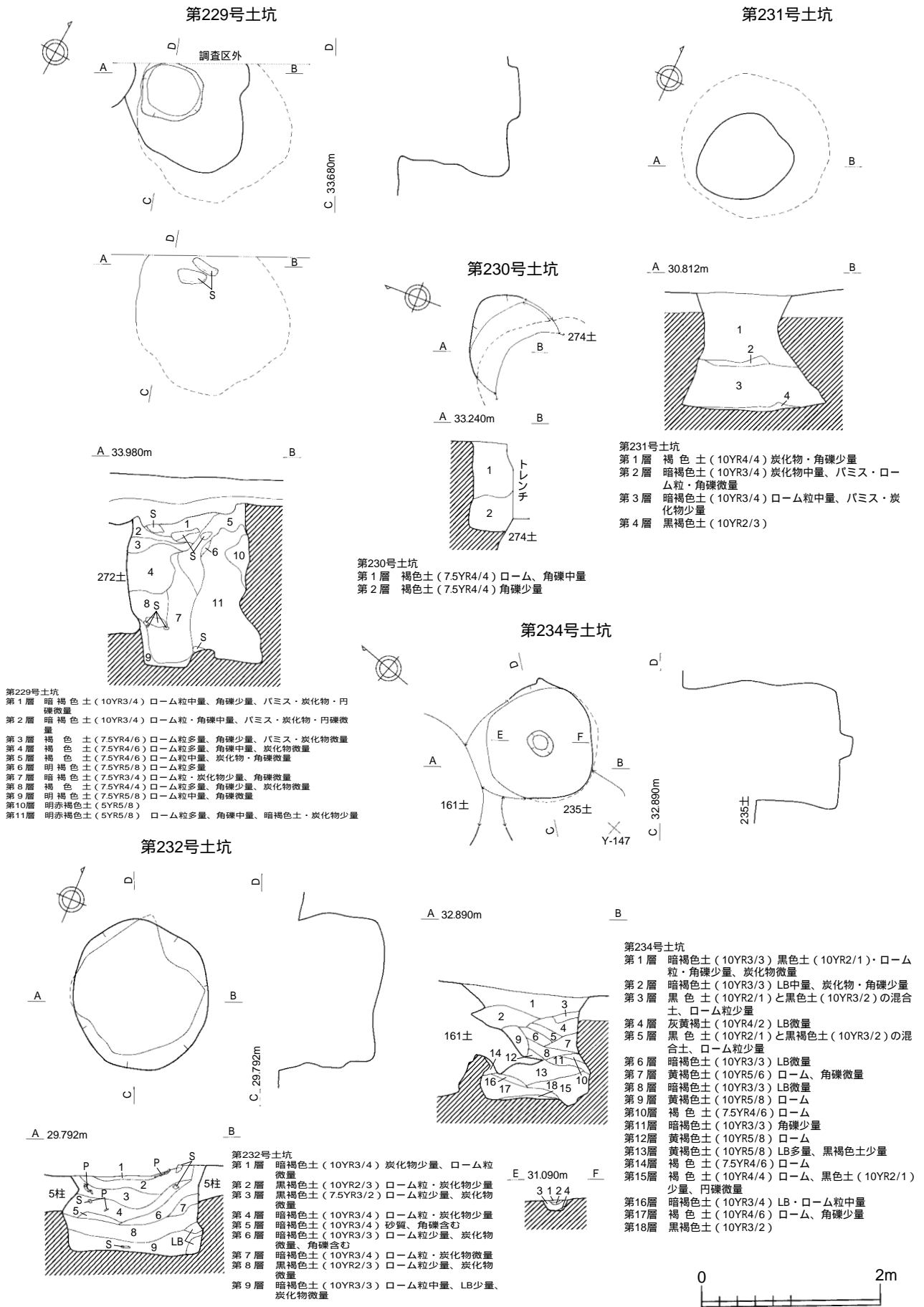
第122図 土坑 (14) (199 ~ 204土・206土)



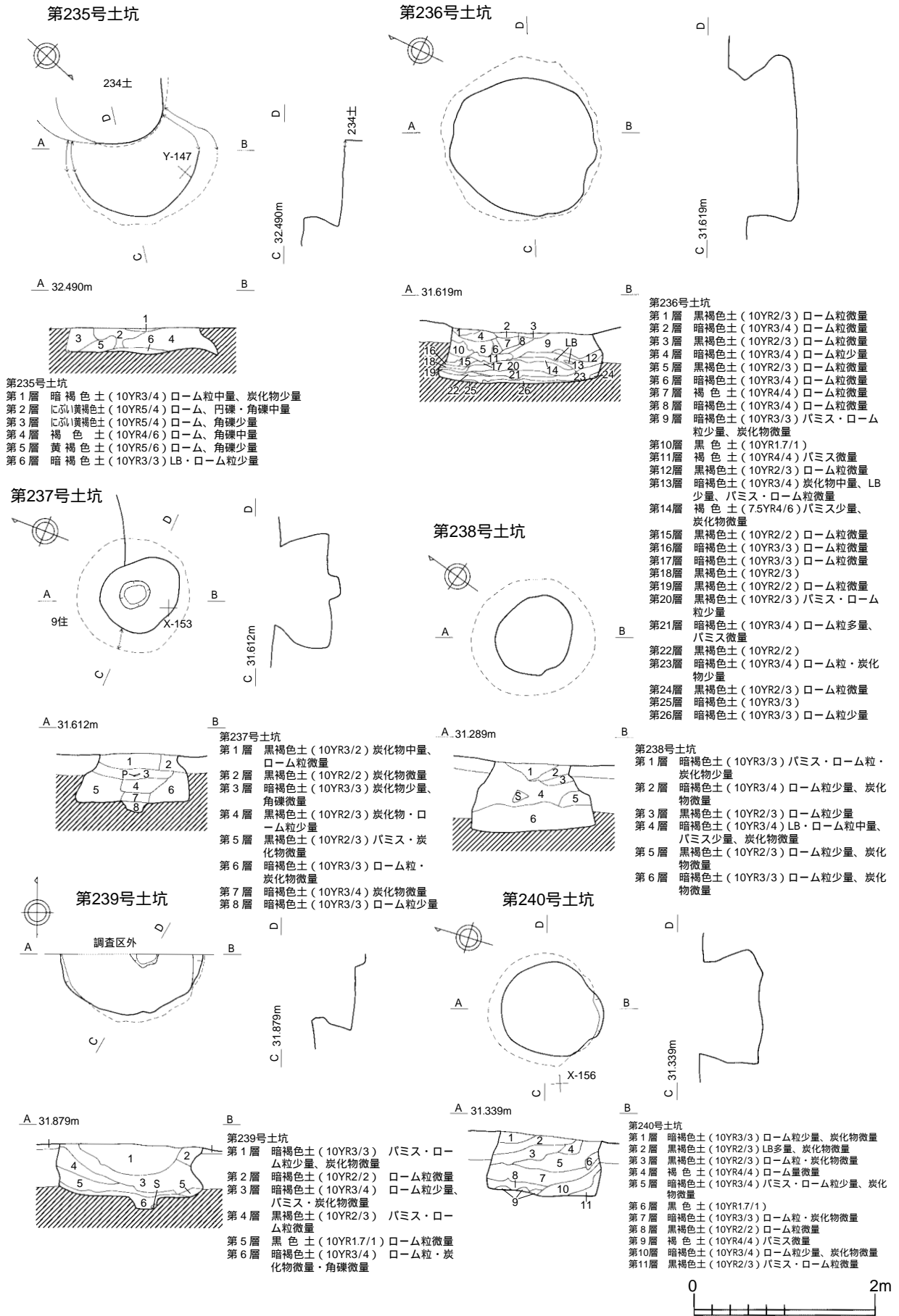
第123図 土坑 (15)(208±・209±・214±A~218±)



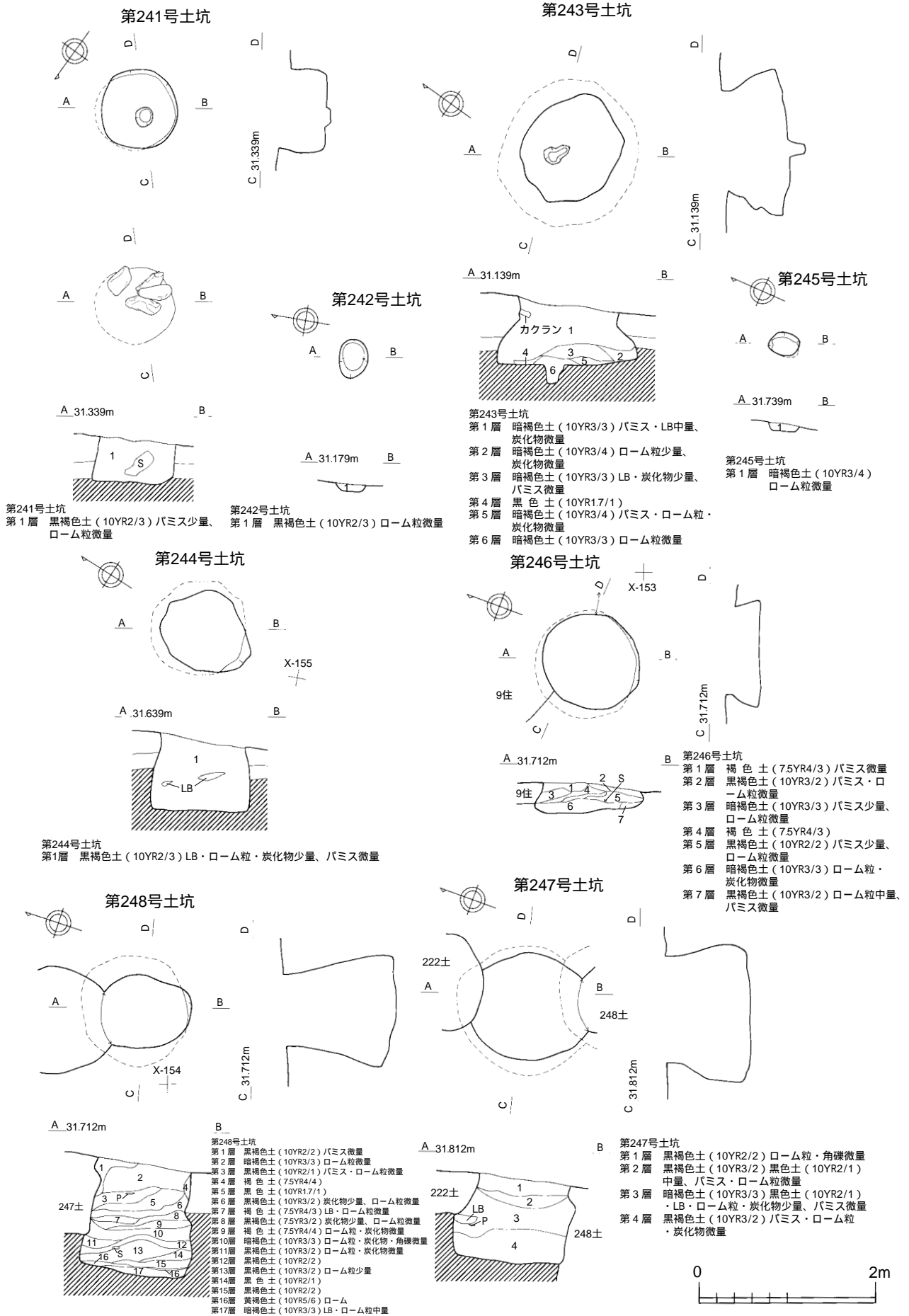
第124図 土坑 (16)(221土~225土・227土・228土)



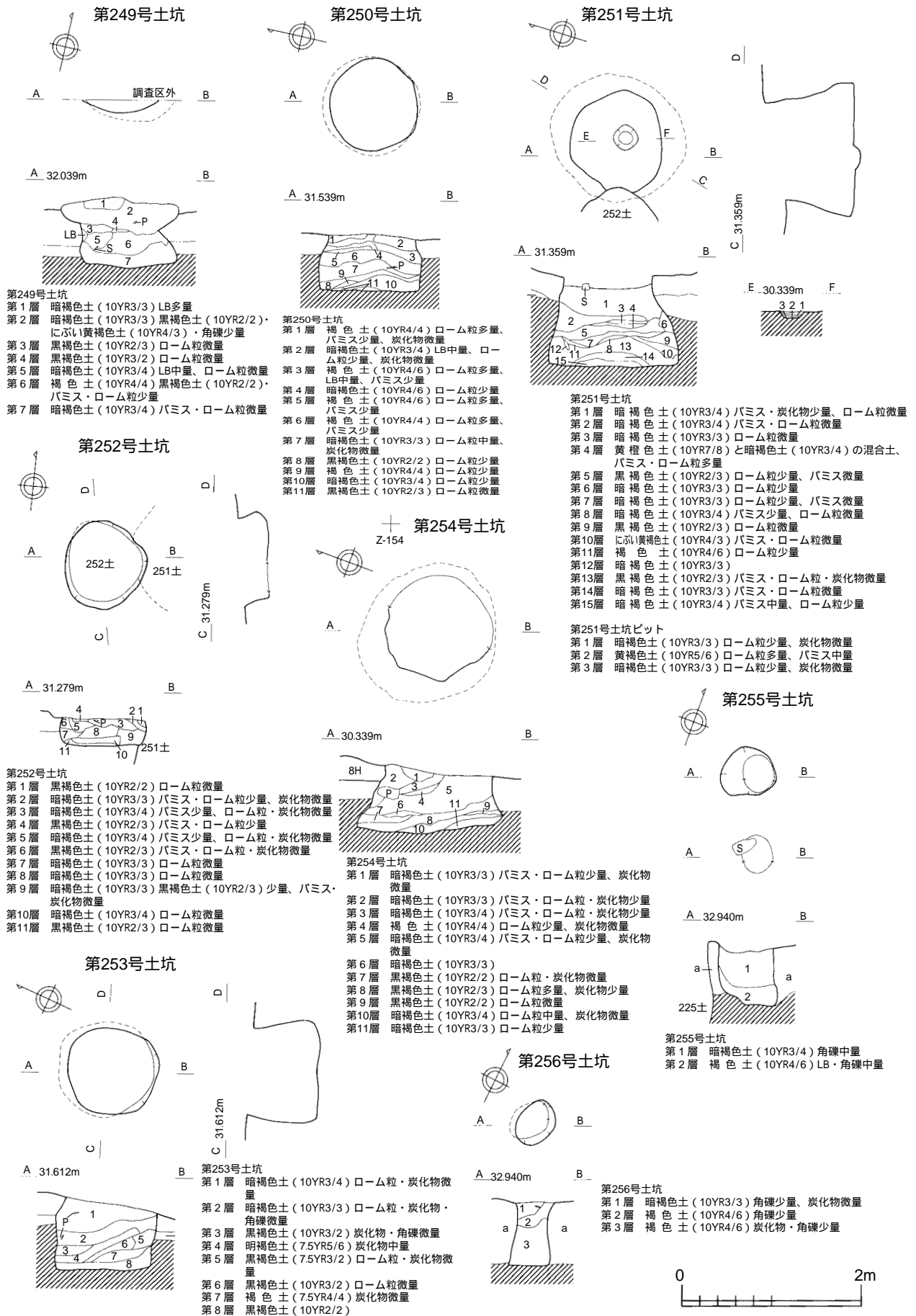
第125図 土坑 (17)(229~232土・234土)



第126図 土坑 (18)(235土~240土)



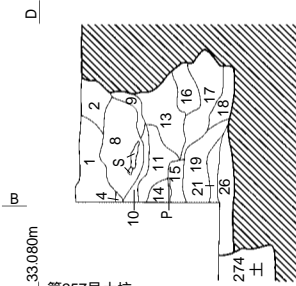
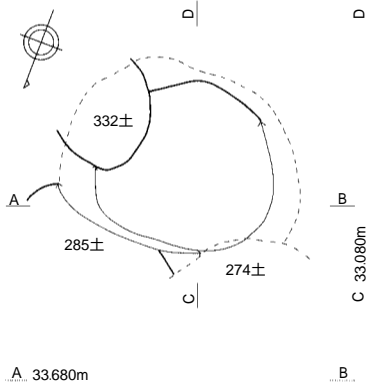
第127図 土坑 (19)(241~248土)



第128図 土坑 (20) (249 ~ 256土)



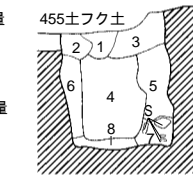
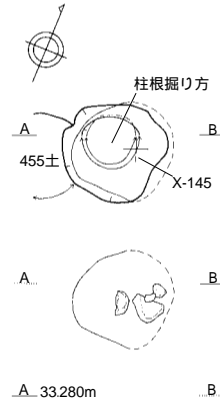
第257号土坑



第257号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、炭化物・円礫少量
- 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第3層 褐色土 (10YR4/6) 角礫中量、炭化物微量
- 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量
- 第5層 紅褐色土 (10YR4/3) 角礫中量、炭化物少量
- 第6層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量
- 第7層 紅褐色土 (10YR4/3) 土器多量、炭化物・角礫中量
- 第8層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒多量、炭化物少量、円礫微量
- 第9層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量、炭化物微量
- 第10層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物中量、□-△粒少量、LB微量
- 第11層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫中量
- 第12層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物中量、□-△粒少量
- 第13層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒・炭化物少量、LB・円礫微量
- 第14層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△粒・炭化物微量
- 第15層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒少量
- 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB中量、円礫微量
- 第17層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量
- 第18層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第19層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒多量、暗褐色土 (7.5YR3/4)・炭化物少量
- 第20層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫中量
- 第21層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量、LB微量
- 第22層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫中量
- 第23層 褐色土 (10YR4/6) 角礫中量
- 第24層 紅褐色土 (10YR4/3) LB・炭化物微量
- 第25層 黒褐色土 (10YR3/1) 角礫微量
- 第26層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量

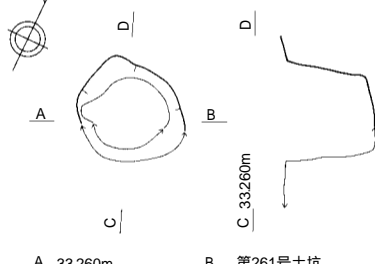
第259号土坑



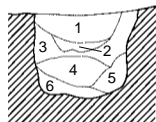
第259号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒少量
- 第3層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒・角礫中量、円礫微量
- 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第5層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒・角礫少量
- 第6層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒・角礫少量
- 第7層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量
- 第8層 オリブ褐色土 (2.5YR4/3) 角礫少量

第261号土坑



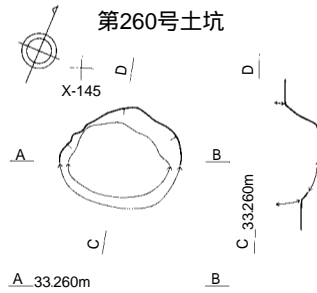
A 33.260m



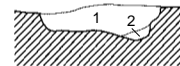
B 第261号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、炭化物微量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫多量
- 第3層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫中量
- 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量、炭化物少量、□-△粒微量
- 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫少量
- 第6層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫中量

第260号土坑



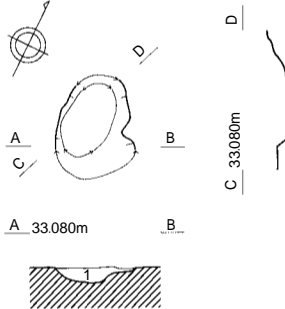
A 33.260m



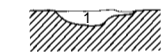
第260号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量
- 第2層 褐色土 (10YR4/6) 角礫少量

第262号土坑



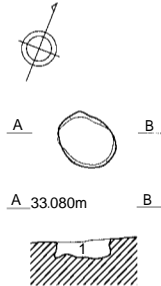
A 33.080m



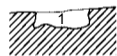
第262号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量

第264号土坑



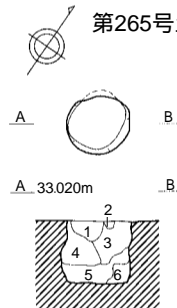
A 33.080m



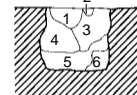
第264号土坑

- 第1層 褐色土 (10YR4/6) 角礫少量

第265号土坑



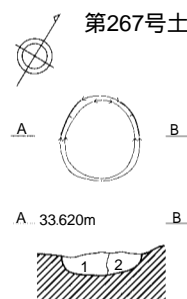
A 33.020m



第265号土坑

- 第1層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物・角礫少量
- 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) 角礫少量
- 第3層 褐色土 (10YR4/6) 角礫中量
- 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、炭化物少量
- 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫中量
- 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量、角礫中量

第267号土坑



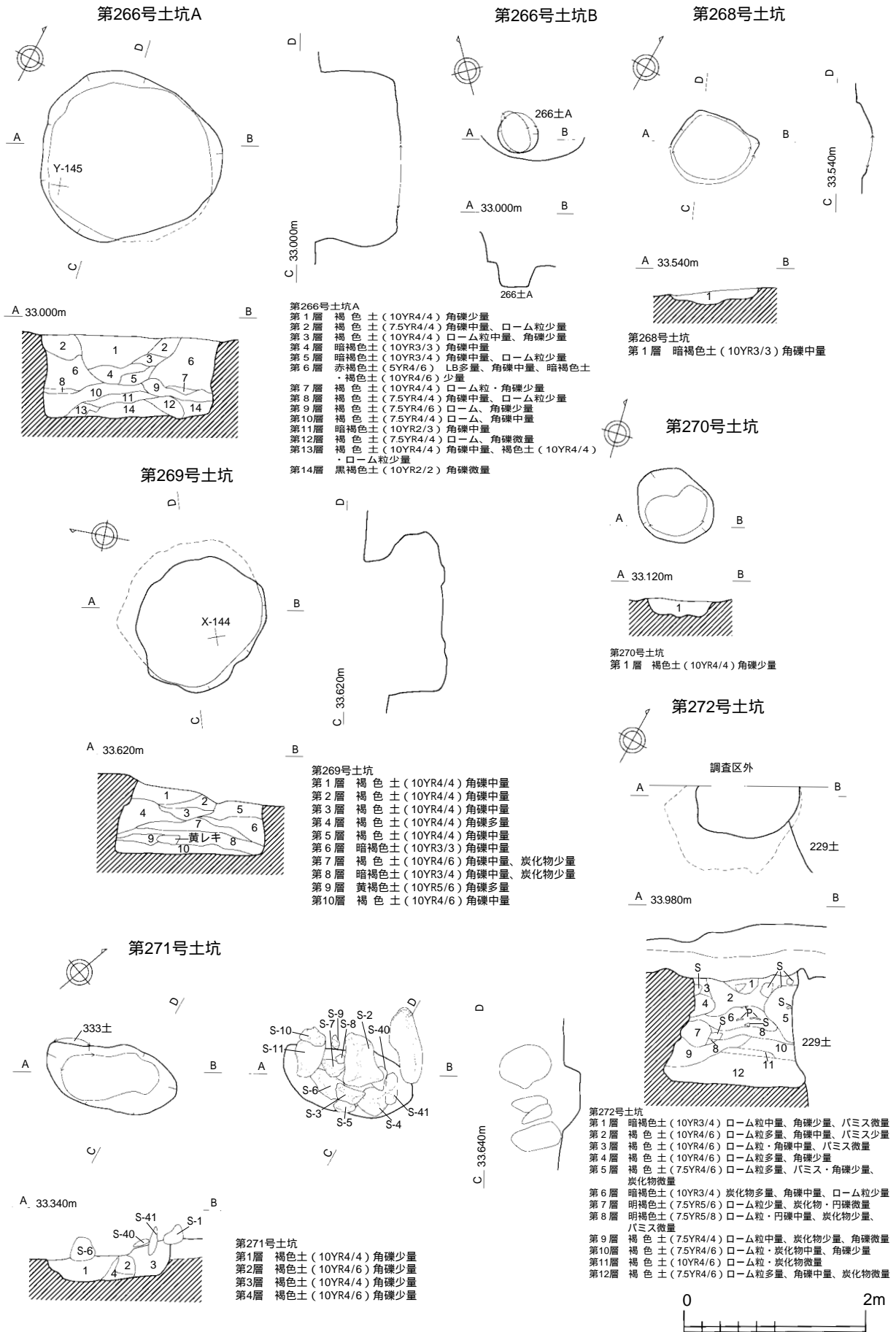
A 33.620m



第267号土坑

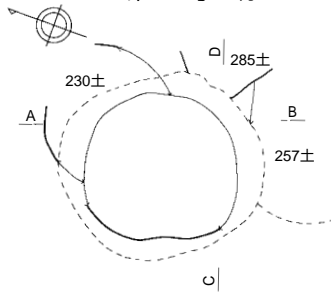
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量
- 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量

第129図 土坑 (21) (257土・259~262土・264土・265土・267土)

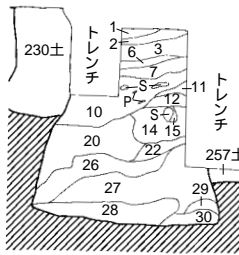


第130図 土坑 (22) (266±A・B・268~272土)

第274号土坑



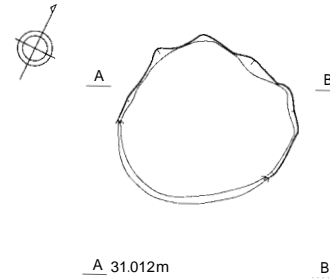
A 33.080m



第274号土坑

- 第1層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒中量
- 第2層 明褐色土 (7.5YR5/8) 褐色土 (7.5YR4/4) ・ローム粒中量
- 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) 黒褐色土 (10YR2/3) ・ローム粒少量、炭化物微量
- 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・炭化物微量
- 第5層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量、円礫微量
- 第6層 褐色土 (7.5YR4/8) 炭化物少量
- 第7層 明褐色土 (7.5YR5/8) 褐色土 (7.5YR4/4) ・ローム粒中量、炭化物少量、円礫微量
- 第8層 褐色土 (7.5YR4/6) 暗褐色土 (7.5YR3/4) ・炭化物中量、ローム粒微量
- 第9層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物多量、ローム粒少量、円礫・角礫微量
- 第10層 赤褐色土 (5YR4/8) 暗褐色土 (7.5YR3/4) ・ローム粒・円礫中量、炭化物少量
- 第11層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒・炭化物中量
- 第12層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 赤褐色土 (5YR4/8) ・ローム粒少量、炭化物・円礫微量
- 第13層 赤褐色土 (5YR4/8) ・ローム粒中量、褐色土 (7.5YR4/6) ・角礫少量、炭化物微量
- 第14層 黒褐色土 (10YR2/3) 赤褐色土 (5YR4/8) ・炭化物少量
- 第15層 黄褐色土 (10YR5/6) ローム、角礫微量
- 第16層 明褐色土 (7.5YR5/8) ローム粒中量、暗褐色土 (7.5YR3/4) ・炭化物・角礫少量

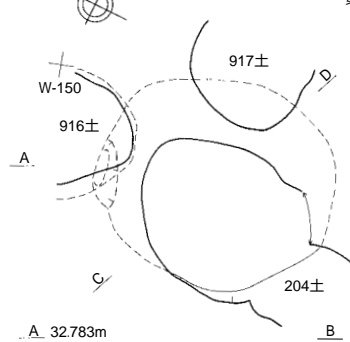
第279号土坑



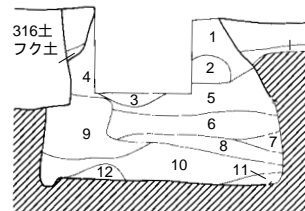
A 31.012m

- 第17層 褐色土 (7.5YR4/6) 黒褐色土 (10YR2/3) ・ローム粒少量、炭化物微量
- 第18層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム粒中量、黒褐色土 (10YR2/3) ・角礫少量
- 第19層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・ローム粒中量、炭化物微量
- 第20層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量、LB少量
- 第21層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム粒微量
- 第22層 赤褐色土 (5YR4/8) ローム粒中量
- 第23層 褐色土 (7.5YR4/4) 赤褐色土 (5YR4/8) ・ローム粒多量
- 第24層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒少量
- 第25層 暗褐色土 (7.5YR5/8) ローム粒少量、炭化物・角礫微量
- 第26層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量
- 第27層 明褐色土 (7.5YR5/8)
- 第28層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、LB少量、ローム粒微量
- 第29層 黒褐色土 (10YR3/2)
- 第30層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量、角礫少量

第278号土坑



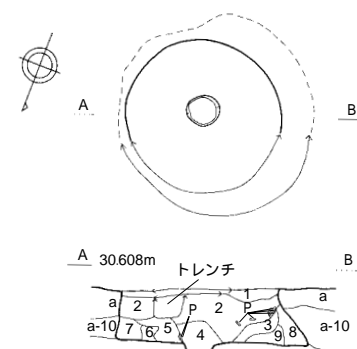
A 32.783m



第278号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第2層 黄褐色土 (10YR5/8) ローム、角礫少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量
- 第4層 褐色土 (10YR4/4) LB・ローム粒少量
- 第5層 褐色土 (10YR4/6) 炭化物・角礫少量、ローム粒微量
- 第6層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒中量
- 第7層 黒褐色土 (10YR2/2) LB少量
- 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第9層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム、褐色土 (10YR4/6) 微量
- 第10層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・ローム粒少量
- 第11層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム
- 第12層 明黄褐色土 (10YR6/8) ローム、褐色土 (10YR4/6) 少量

第280号土坑

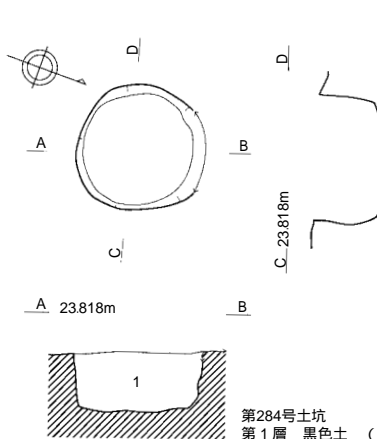


A 30.608m

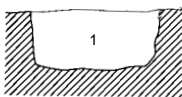
第280号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/3) 土器・炭化物多量、ローム粒中量、角礫少量、円礫微量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物少量、ローム粒微量
- 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物少量、ローム粒・円礫・角礫微量
- 第5層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物少量
- 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒微量
- 第7層 暗褐色土 (10YR3/4) 褐色土 (10YR4/4) ・ローム粒少量
- 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量
- 第9層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・炭化物中量

第284号土坑



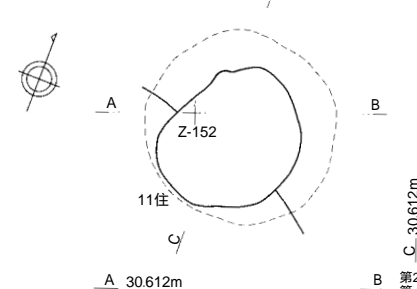
A 23.818m



第284号土坑

- 第1層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒少量

第281号土坑



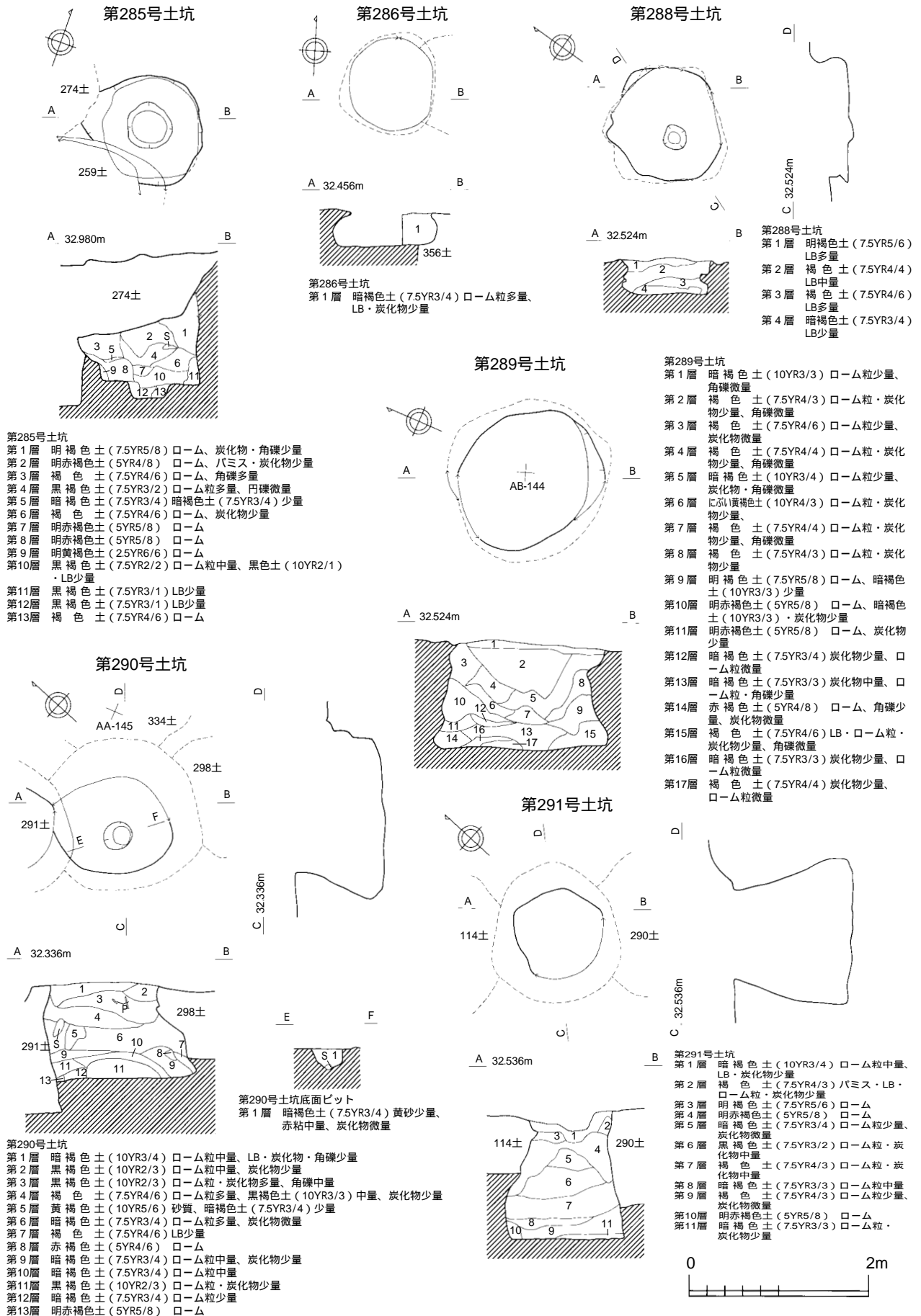
A 30.612m



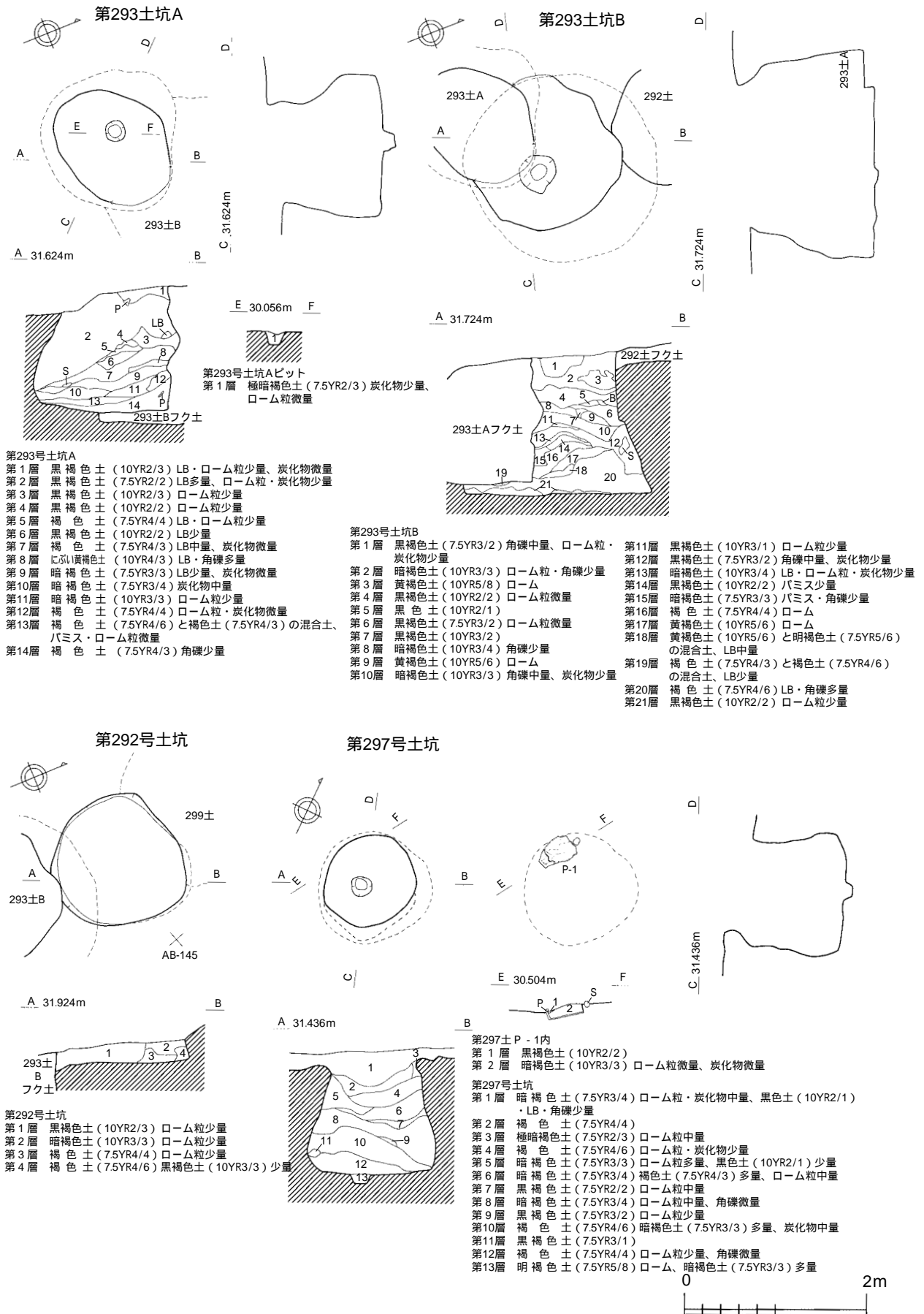
第281号土坑

- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) パミス・ローム粒・炭化物微量
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/3)
- 第3層 褐色土 (7.5YR4/4)
- 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) パミス微量
- 第5層 黒色土 (10YR2/1) ローム粒微量
- 第6層 赤褐色土 (10YR4/3) LB・ローム粒少量、パミス微量
- 第7層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒・炭化物少量
- 第8層 暗褐色土 (10YR3/1) ローム粒多量
- 第9層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物少量
- 第10層 黒色土 (10YR2/1) パミス・ローム粒微量
- 第11層 黒褐色土 (10YR3/2) LB・ローム粒・炭化物微量
- 第12層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、角礫微量
- 第13層 褐色土 (7.5YR4/4)

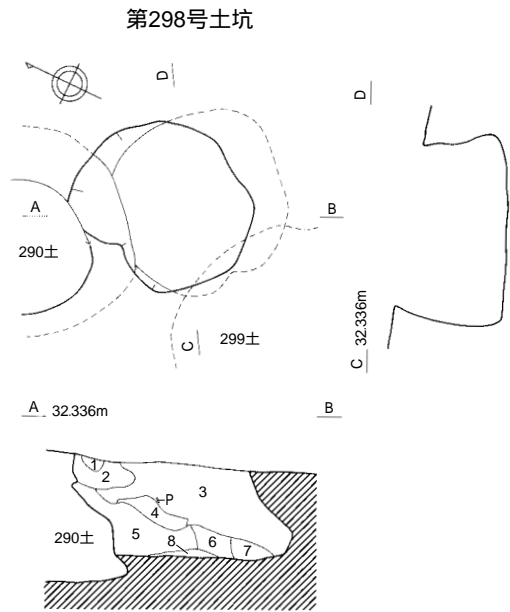
第131図 土坑 (23)(274土・278~281土・284土)



第132図 土坑 (24) (285土・286土・288~291土)

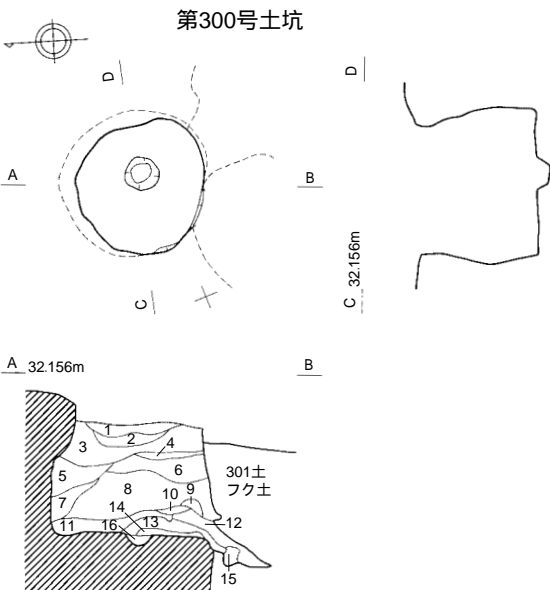


第133図 土坑 (25) (292土・293土A・293土B・297土)



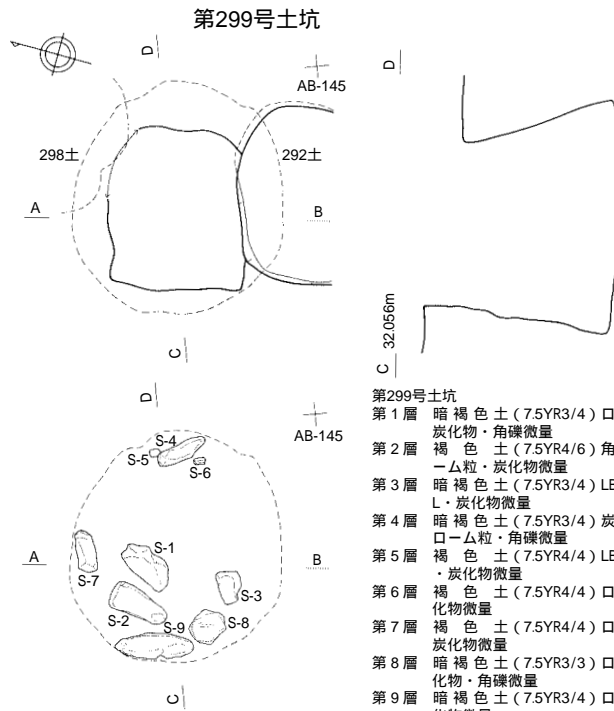
第298号土坑

- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第2層 明黄褐色土 (10YR7/6) □-△、暗褐色土 (10YR3/4) 多量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒多量、炭化物・角礫少量
- 第4層 黑褐色土 (7.5YR3/2) LB多量
- 第5層 明赤褐色土 (5YR5/8) □-△
- 第6層 黑褐色土 (7.5YR2/2) □-△粒中量、LB少量、炭化物微量
- 第7層 黑褐色土 (10YR2/3) 褐色土 (10YR4/3) ・□-△粒少量
- 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、炭化物微量



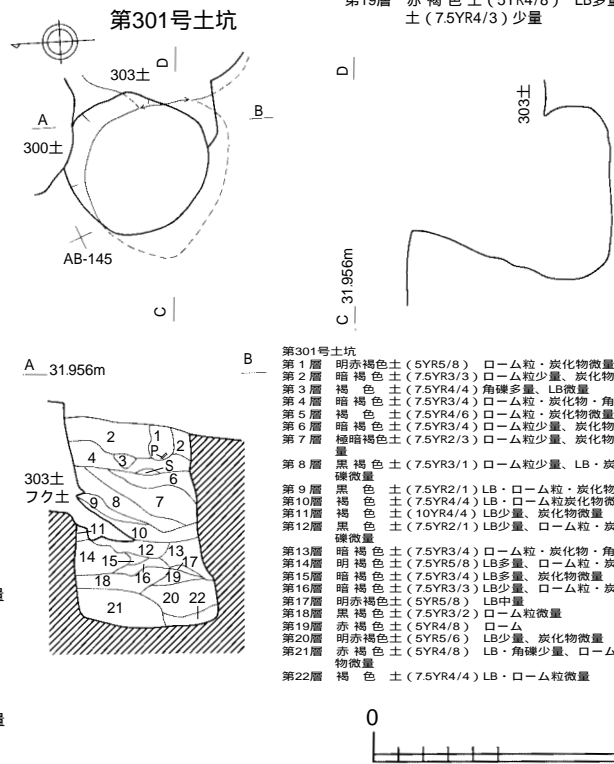
第300号土坑

- 第1層 褐色土 (7.5YR4/6) LB多量、□-△粒・炭化物微量
- 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物少量
- 第4層 黑褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物少量、LB・□-△粒微量
- 第5層 黑褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒少量、炭化物・角礫微量
- 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量、炭化物・角礫微量
- 第7層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 黑色土 (7.5YR1.7/1) ・□-△粒少量、炭化物微量
- 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物少量、角礫微量
- 第9層 黑色土 (7.5YR1.7/1) □-△粒・炭化物微量
- 第10層 黑褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒・炭化物少量
- 第11層 黑褐色土 (7.5YR3/2) 黑色土 (7.5YR1.7/1) ・□-△粒・炭化物微量
- 第12層 黑色土 (7.5YR1.7/1) □-△粒・炭化物微量
- 第13層 黄橙色土 (7.5YR7/8) □-△粒・炭化物微量
- 第14層 黑褐色土 (7.5YR2/2) 黑色土 (7.5YR1.7/1) 少量、□-△粒・炭化物微量
- 第15層 濃い褐色土 (7.5YR5/4) □-△粒微量
- 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 黑色土 (7.5YR1.7/1) 多量、□-△粒中量



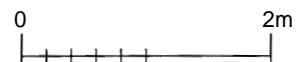
第299号土坑

- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量、炭化物・角礫微量
- 第2層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫多量、□-△粒・炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB・□-△粒L・炭化物微量
- 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物少量、□-△粒・角礫微量
- 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒・炭化物微量
- 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物微量
- 第7層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒微量、炭化物微量
- 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物・角礫微量
- 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物微量
- 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物・角礫微量
- 第11層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒・炭化物微量
- 第12層 明赤褐色土 (5YR5/8) LB多量、褐色土少量、炭化物微量
- 第13層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 黑褐色土 (7.5YR3/2) 少量、LB・□-△粒・炭化物微量
- 第14層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 褐色土 (7.5YR4/4) 中量、□-△粒微量
- 第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB少量、□-△粒微量
- 第16層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 褐色土 (7.5YR4/4) 中量、□-△粒微量
- 第17層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) □-△粒微量
- 第18層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB・□-△粒少量、炭化物微量
- 第19層 赤褐色土 (5YR4/8) LB多量、褐色土 (7.5YR4/3) 少量

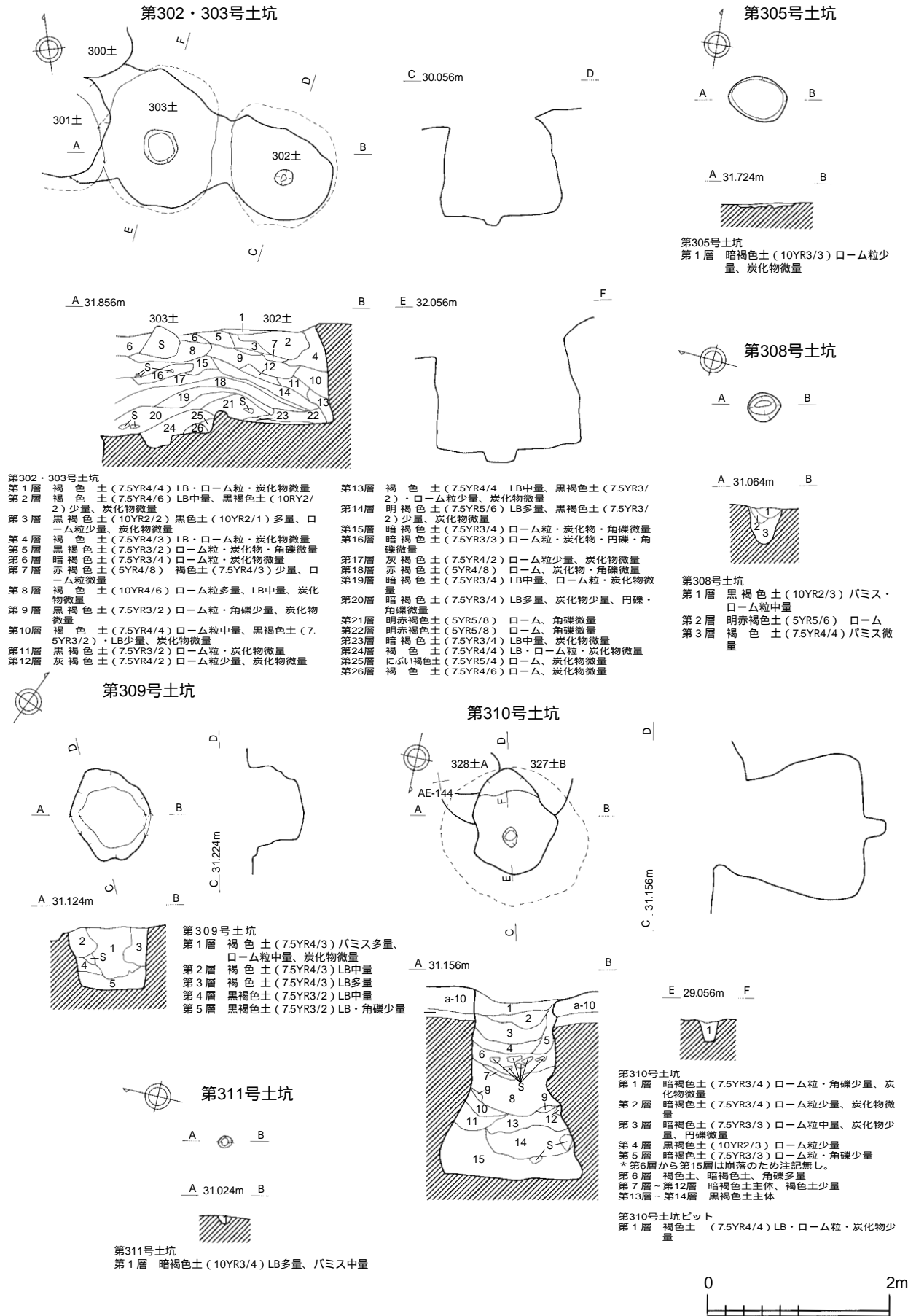


第301号土坑

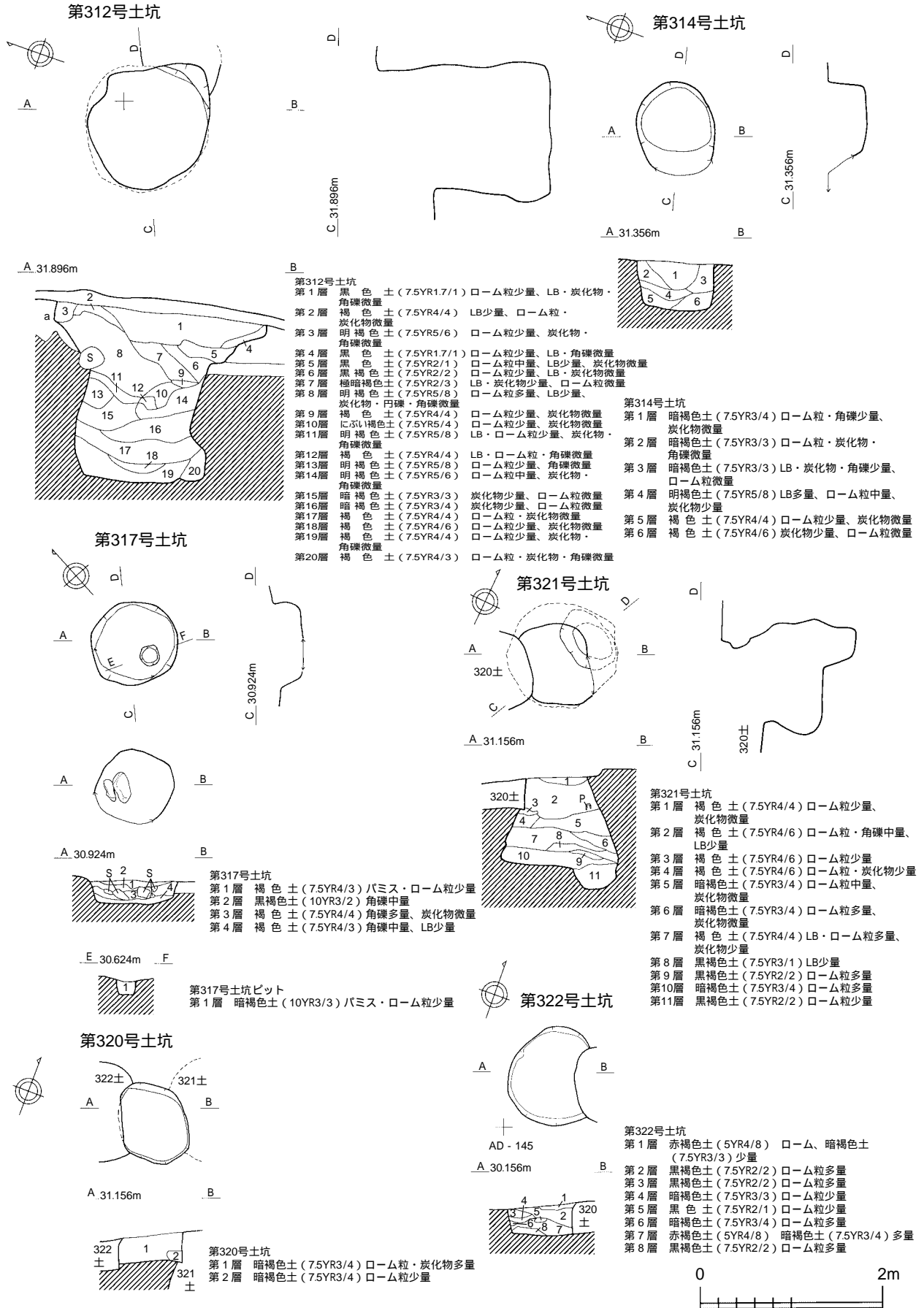
- 第1層 明赤褐色土 (5YR5/8) □-△粒・炭化物微量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒少量、炭化物微量
- 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、LB微量
- 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物・角礫微量
- 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒・炭化物微量
- 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第7層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) □-△粒少量、炭化物・角礫微量
- 第8層 黑褐色土 (7.5YR3/1) □-△粒少量、LB・炭化物・角礫微量
- 第9層 黑色土 (7.5YR2/1) LB・□-△粒・炭化物微量
- 第10層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒炭化物微量
- 第11層 褐色土 (10YR4/4) LB少量、炭化物微量
- 第12層 黑色土 (7.5YR2/1) LB少量、□-△粒・炭化物・角礫微量
- 第13層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物・角礫微量
- 第14層 暗褐色土 (7.5YR5/8) LB多量、□-△粒・炭化物微量
- 第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB多量、炭化物微量
- 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/3) LB少量、□-△粒・炭化物微量
- 第17層 明赤褐色土 (5YR5/8) LB中量
- 第18層 黑褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒微量
- 第19層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△
- 第20層 明赤褐色土 (5YR5/6) LB少量、炭化物微量
- 第21層 赤褐色土 (5YR4/8) LB・角礫少量、□-△粒・炭化物微量
- 第22層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒微量



第134図 土坑 (26) (298~301土)

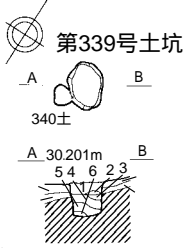
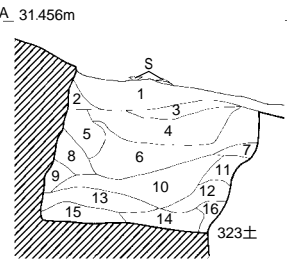
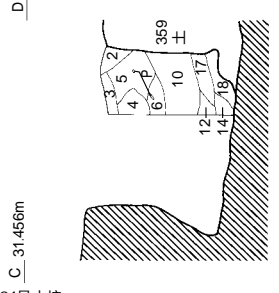
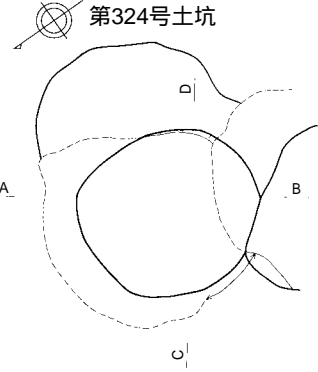
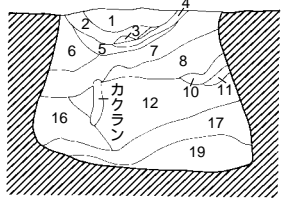
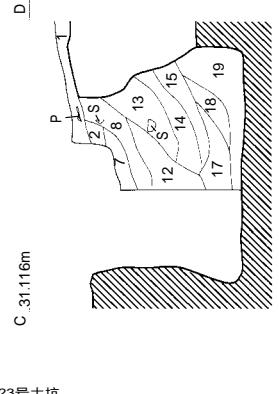
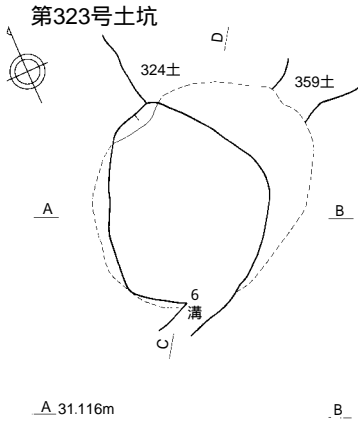


第135図 土坑 (27) (302土・303土・305土・308～311土)

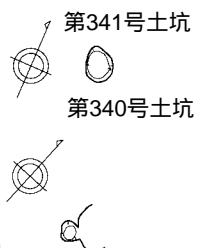


第136図 土坑 (28) (312土、314土、317土、320~322土)

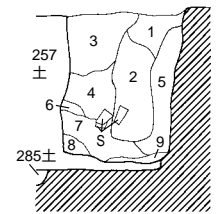
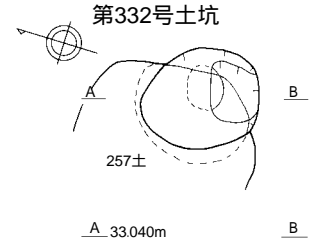




- 第339号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・角礫微量
  - 第2層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒・角礫微量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/3) □-△粒・角礫微量
  - 第4層 黒褐色土 (7.5YR2/2) □-△粒微量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 角礫微量
  - 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量



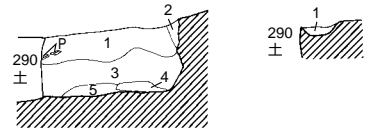
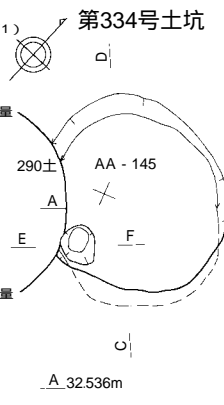
- 第342号土坑
- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒・角礫微量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) □-△粒・炭化物微量
  - 第3層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒微量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 褐色土 (7.5YR4/3) 少量、□-△粒・角礫微量



- 第332号土坑
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量、□-△粒少量、炭化物微量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫少量、炭化物・角礫微量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量、LB・炭化物少量
  - 第4層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量、LB・□-△粒少量
  - 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒・炭化物・角礫少量
  - 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物少量、LB微量
  - 第7層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物・角礫少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物少量、角礫微量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒少量、角礫微量

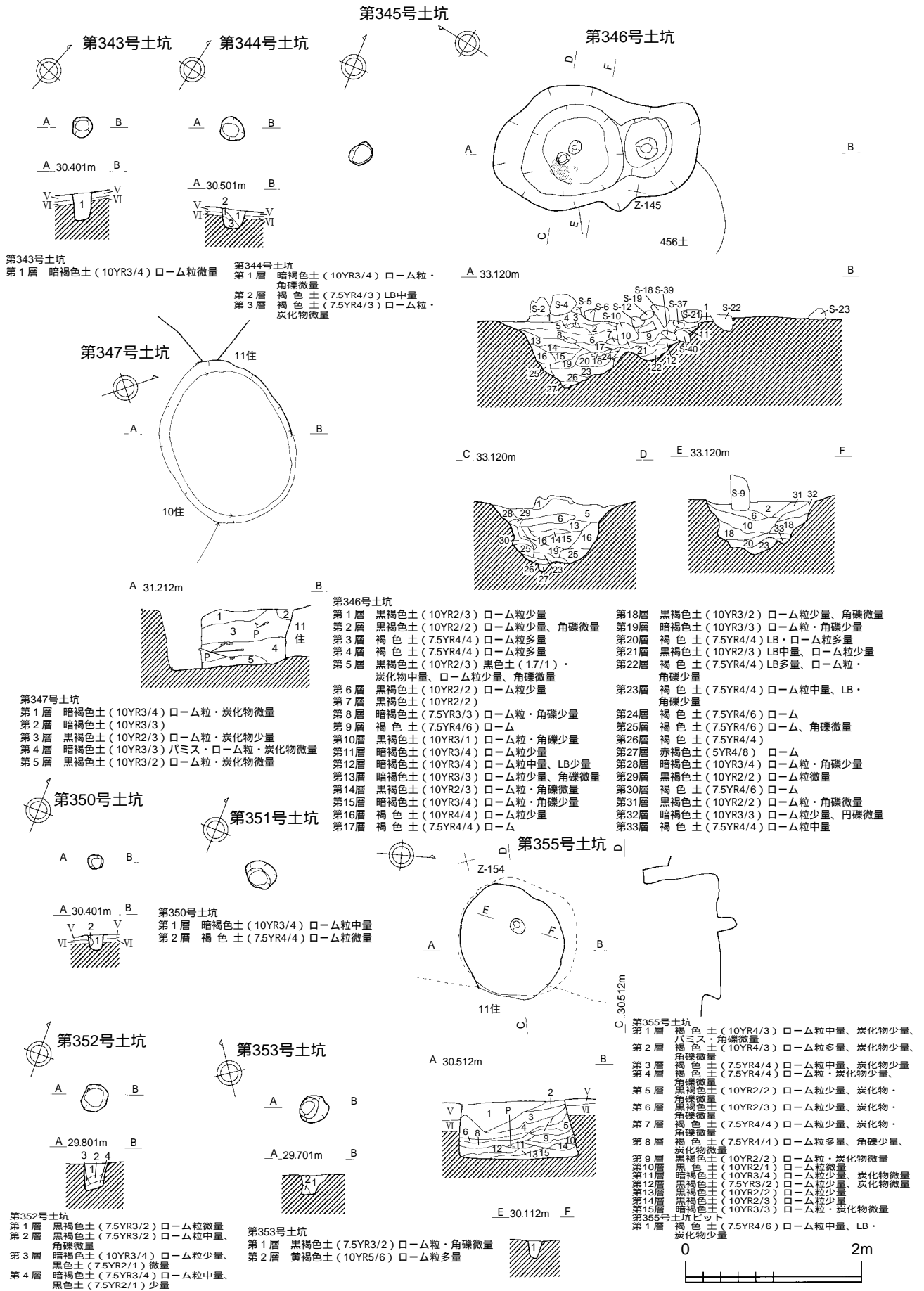


- 第333号土坑
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量

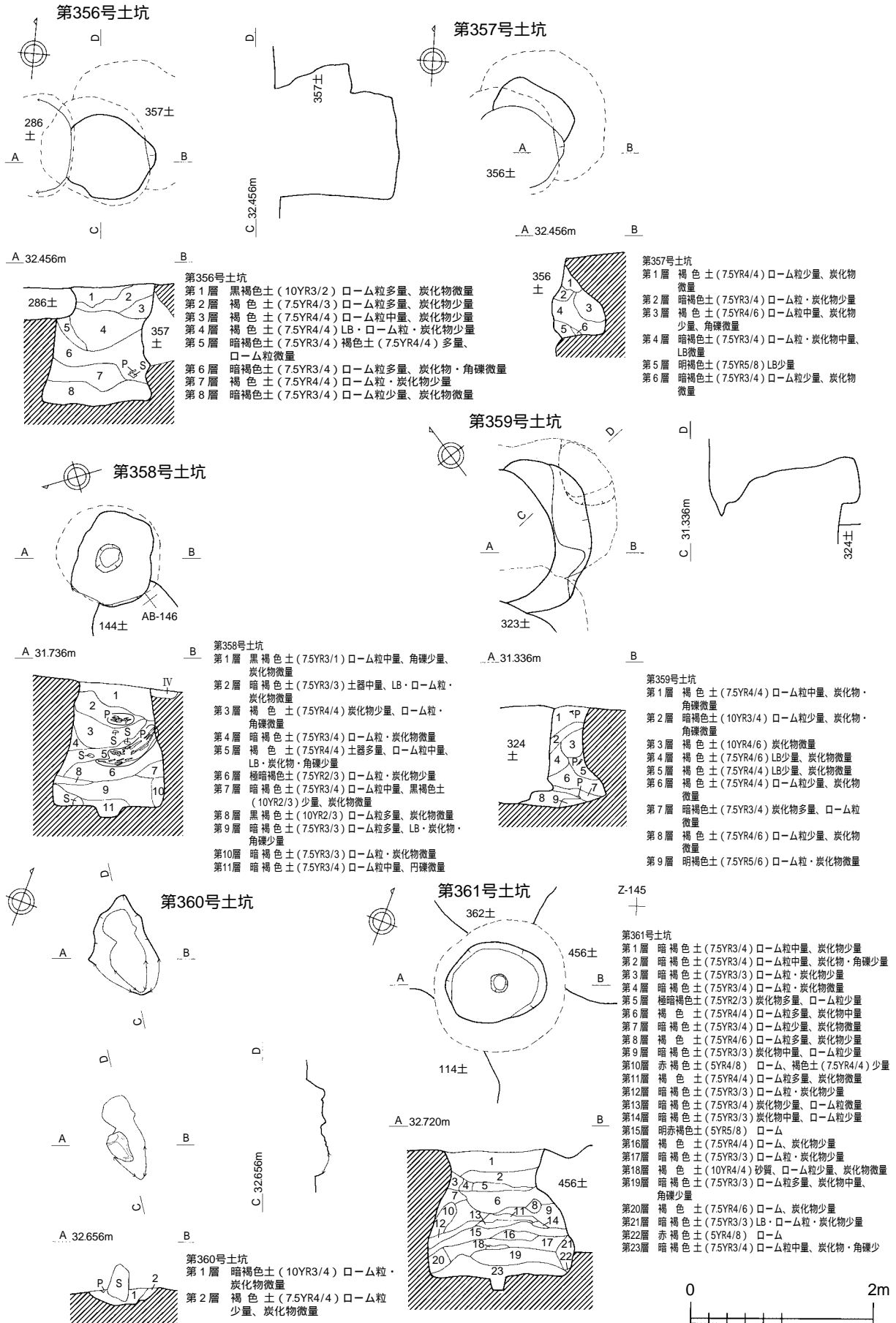


- 第334号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒中量、炭化物少量、角礫微量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫少量、
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒多量、褐色土 (7.5YR4/6) 少量、炭化物微量
  - 第4層 明赤褐色土 (5YR5/8) □-△、角礫微量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量
- 第334号土坑内ピット
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/3) 黄砂微量、赤粘中量、炭化物微量

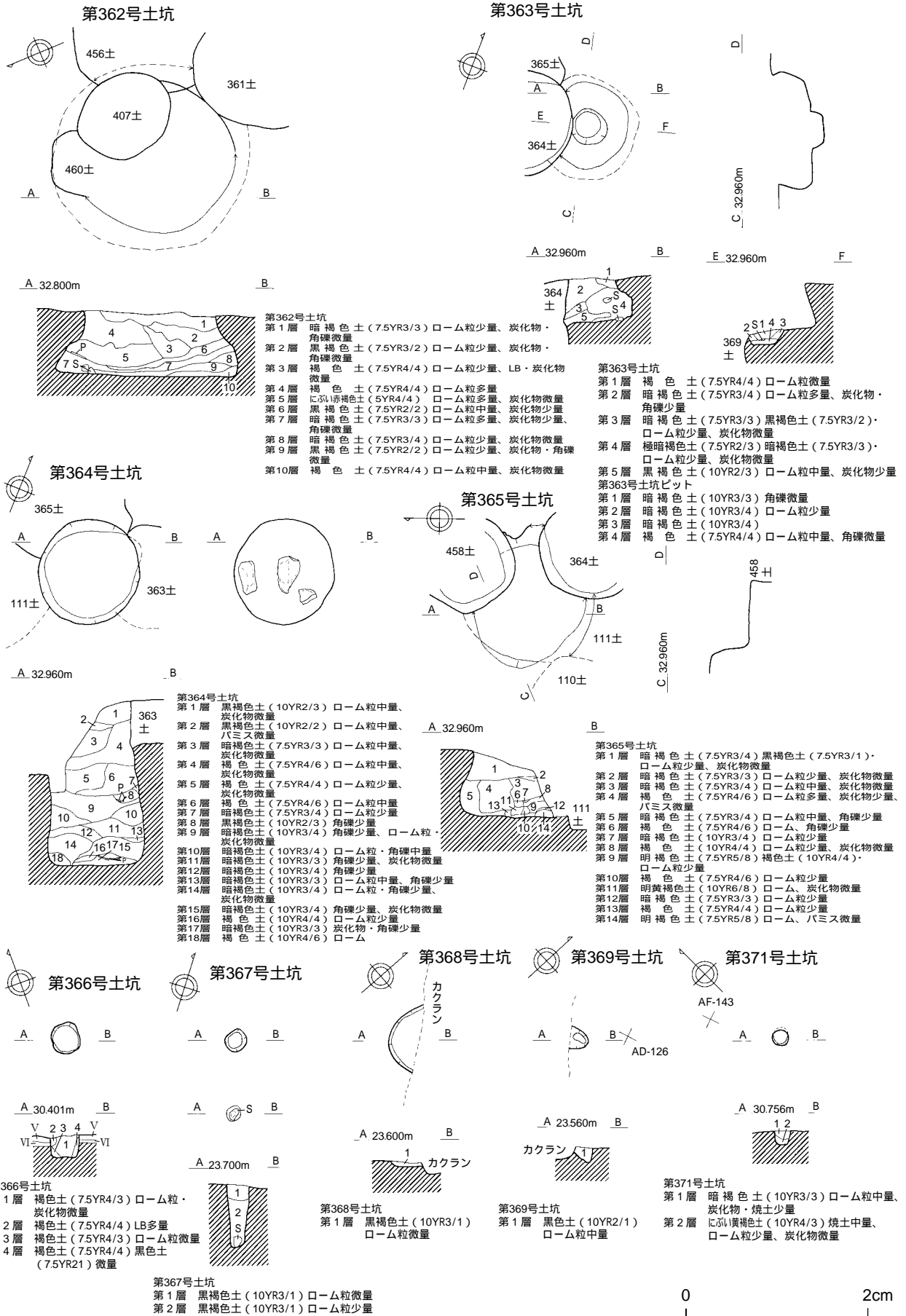
第137図 土坑 (29) (323土・324土・332~334土・339~342土)



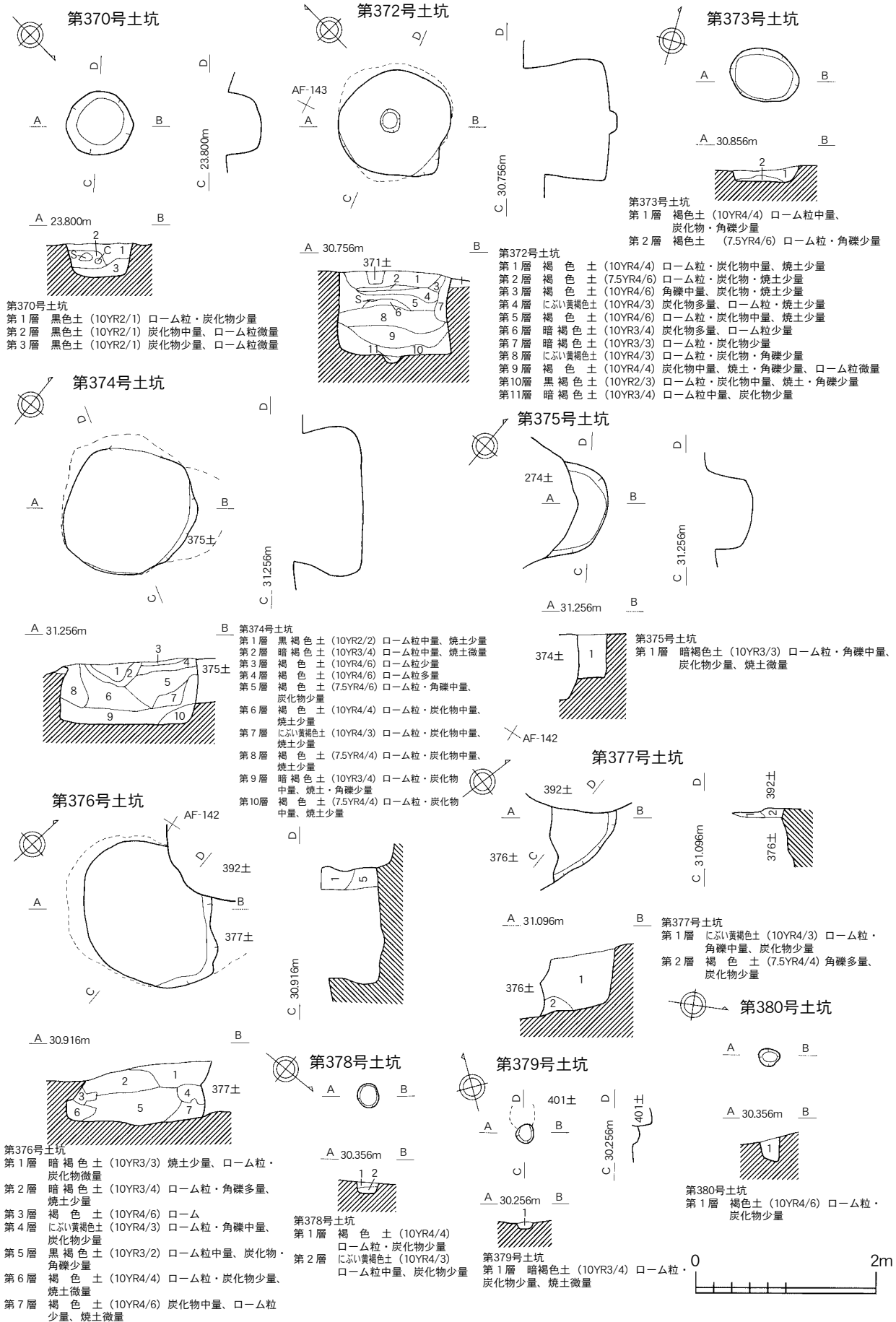
第138図 土坑 (30) (343 ~ 347土・350 ~ 353土・355土)



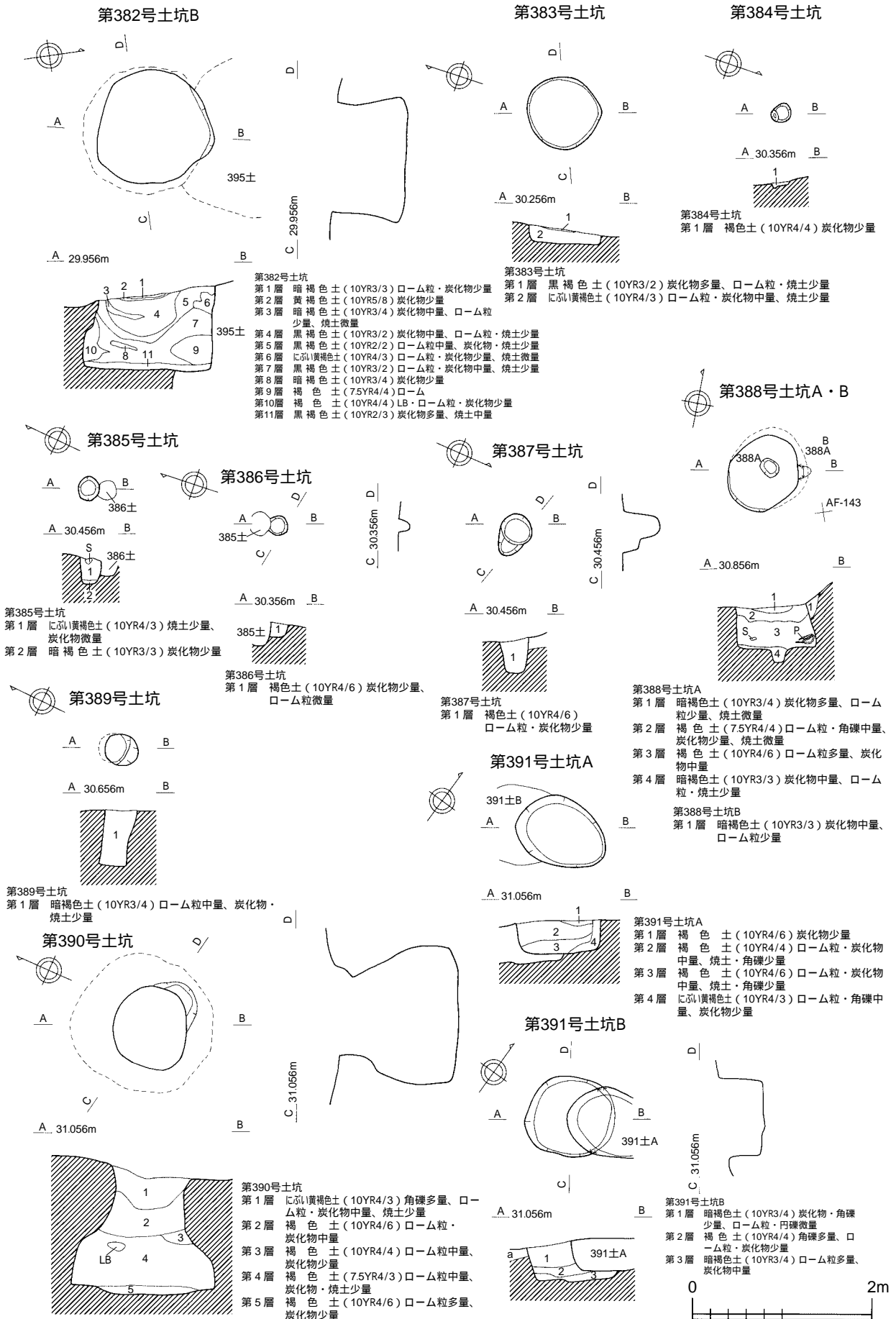
第139図 土坑 (31)(356土~361土)



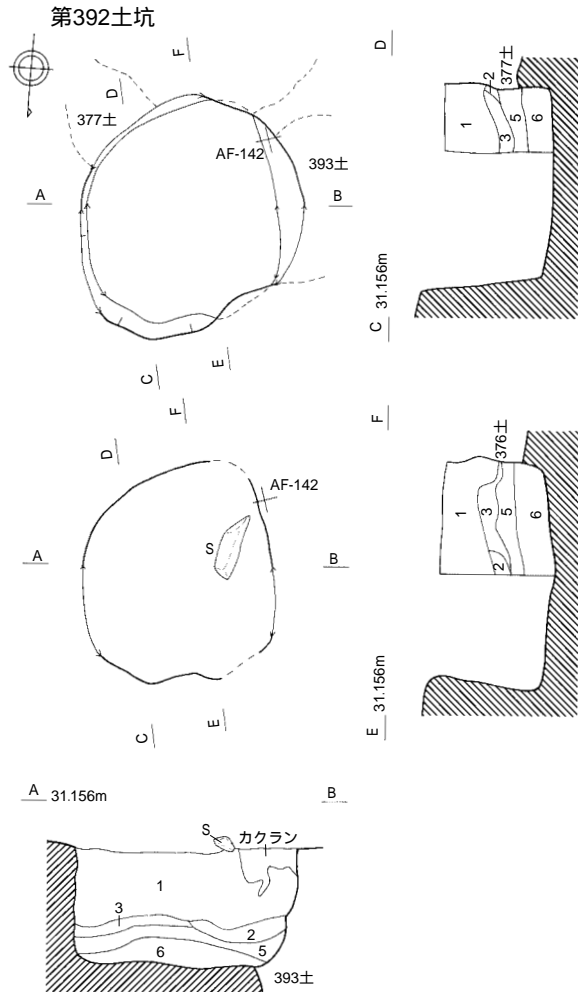
第140図 土坑 (32) (362 ~ 369土・371土)



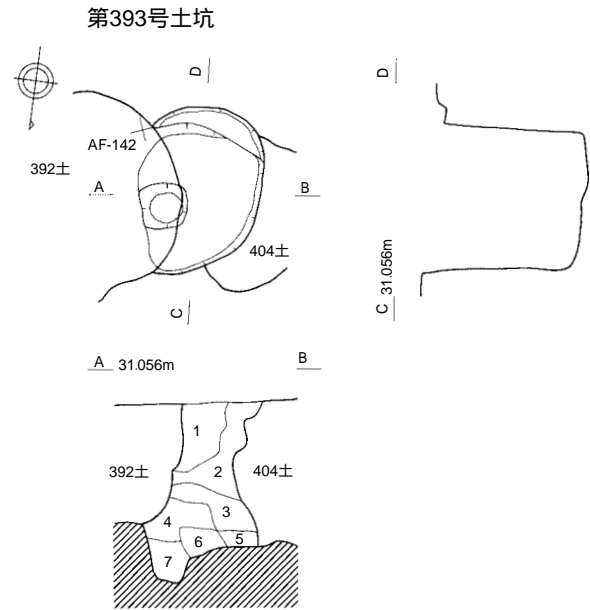
第141図 土坑 (33)(370土・372~380土)



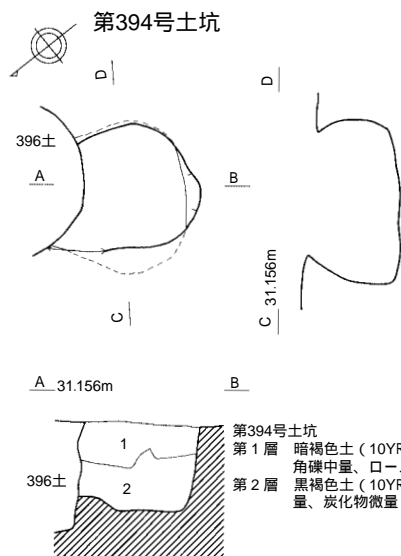
第142図 土坑 (34)(382~391土B)



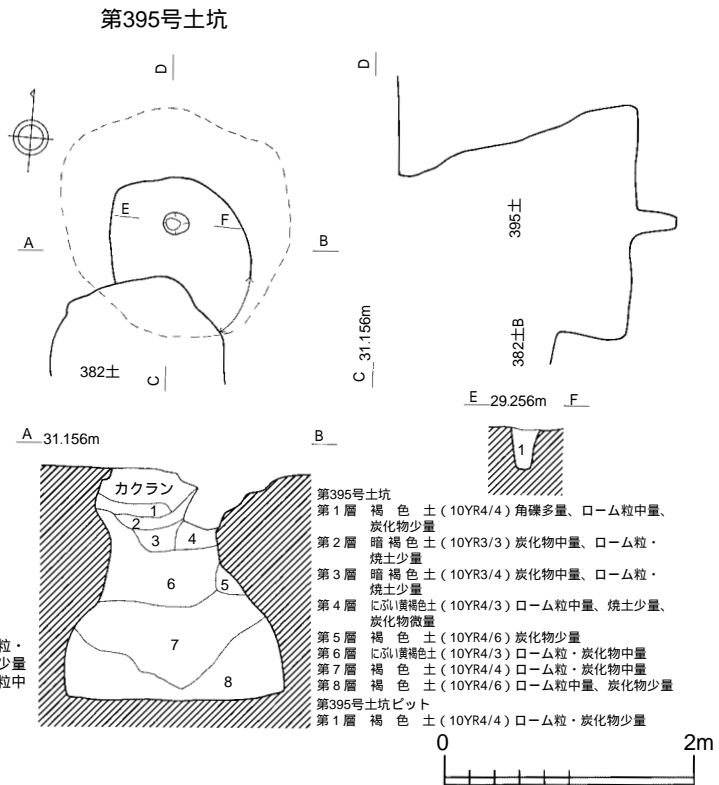
- 第392号土坑
- 第1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒中量、炭化物・焼土・角礫少量
  - 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物中量、焼土少量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物多量、ローム粒・焼土微量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物・焼土少量
  - 第5層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒中量、炭化物少量
  - 第6層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒中量、炭化物少量、焼土微量



- 第393号土坑
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物・角礫多量、ローム粒微量
  - 第2層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒・炭化物中量
  - 第3層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物少量
  - 第4層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒・炭化物中量、焼土少量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物多量、ローム粒・焼土少量
  - 第6層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物・焼土少量
  - 第7層 褐色土 (10YR4/6) 角礫多量、炭化物少量

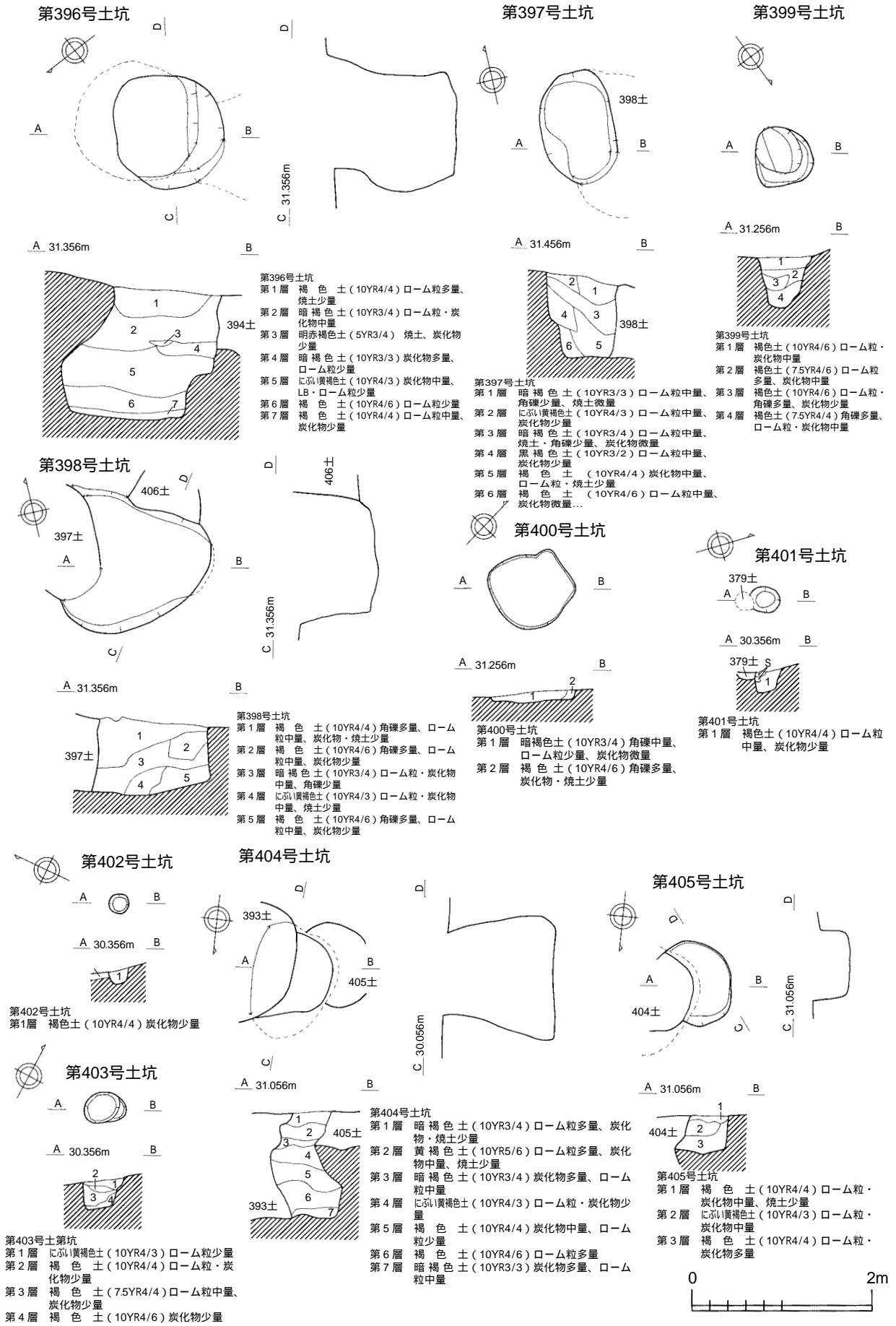


- 第394号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒・角礫中量、ローム粒・炭化物少量
  - 第2層 黒褐色土 (10YR3/2) ローム粒中量、炭化物微量



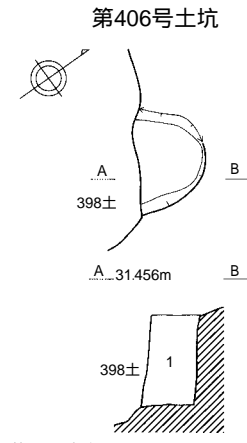
- 第395号土坑
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量、ローム粒中量、炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量、ローム粒・焼土少量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物中量、ローム粒・焼土少量
  - 第4層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒中量、焼土少量、炭化物微量
  - 第5層 褐色土 (10YR4/6) 炭化物少量
  - 第6層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) ローム粒・炭化物中量
  - 第7層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物中量
  - 第8層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒中量、炭化物少量
- 第395号土坑ビット
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒・炭化物少量

第143図 土坑 (35) (392 ~ 395±)

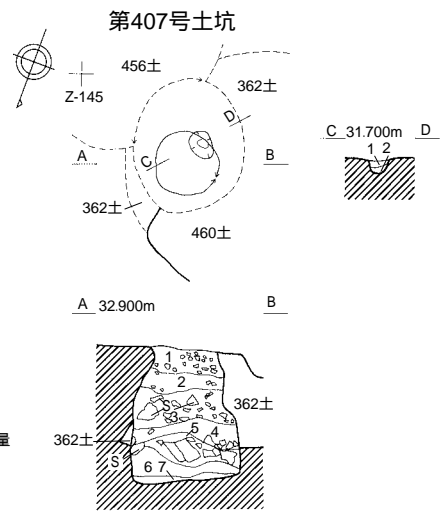


第144図 土坑 (36)(396~405土)

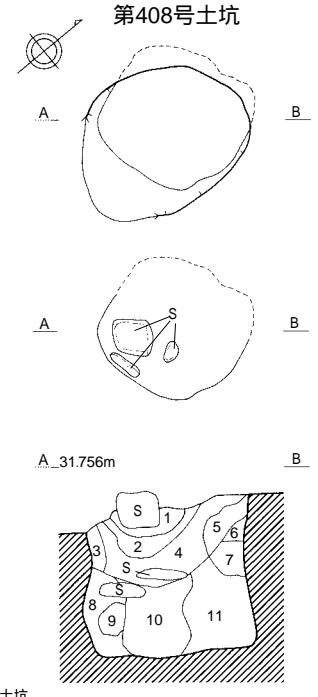




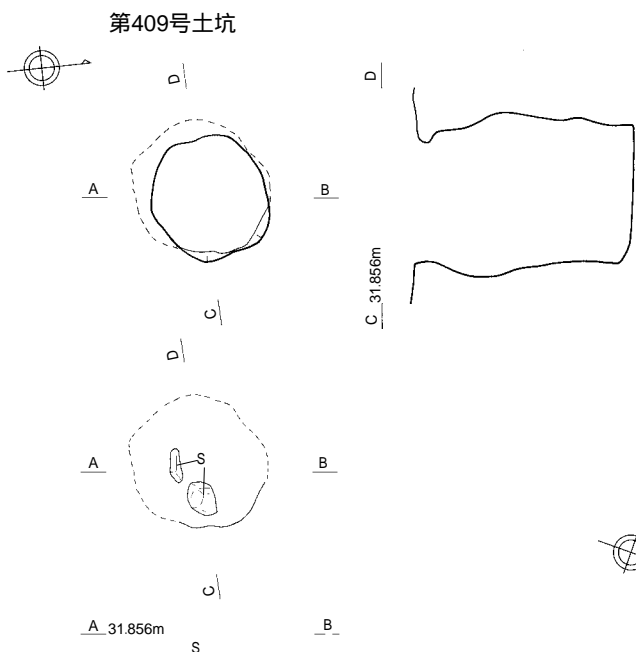
第406号土坑  
第1層 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) 角礫少量



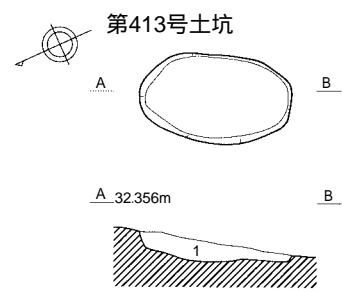
第407号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/6) 角礫多量、ローム粒微量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・角礫少量、炭化物微量  
第3層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、ローム粒微量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒・角礫中量  
第5層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、ローム粒少量  
第6層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量、角礫微量  
第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量  
第407号土坑ピット  
第1層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量



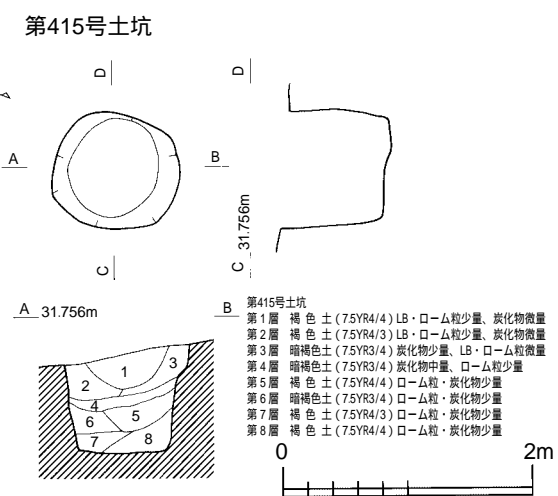
第408号土坑  
第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB多量、ローム粒中量、角礫少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量、炭化物微量  
第3層 明褐色土 (7.5YR5/6) ローム粒微量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒中量、炭化物微量  
第5層 明褐色土 (7.5YR5/8) 角礫中量、ローム粒少量  
第6層 明褐色土 (7.5YR5/8) ローム粒少量  
第7層 明褐色土 (7.5YR5/6) 角礫中量、ローム粒微量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒・角礫少量  
第9層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒中量、炭化物少量  
第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、炭化物少量、角礫微量  
第11層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫中量、ローム粒少量、炭化物微量



第409号土坑  
第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒中量、角礫少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物多量、ローム粒中量、角礫少量  
第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒・角礫少量、炭化物微量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物少量、角礫微量  
第5層 明赤褐色土 (5YR5/6) ローム、褐色土 (7.5YR4/3)、炭化物中量  
第6層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物少量、角礫微量  
第7層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物少量、角礫微量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒中量、炭化物、角礫少量  
第9層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物中量、ローム粒微量  
第10層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物微量  
第11層 褐色土 (7.5YR4/3) 炭化物多量、ローム粒微量  
第12層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物中量、ローム粒微量  
第13層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物少量、ローム粒微量  
第14層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物・角礫中量、ローム粒少量  
第15層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 炭化物中量、ローム粒・角礫少量



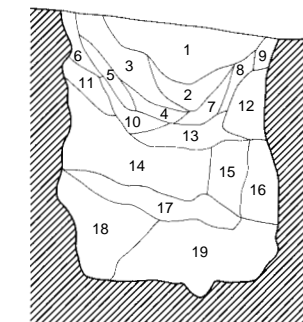
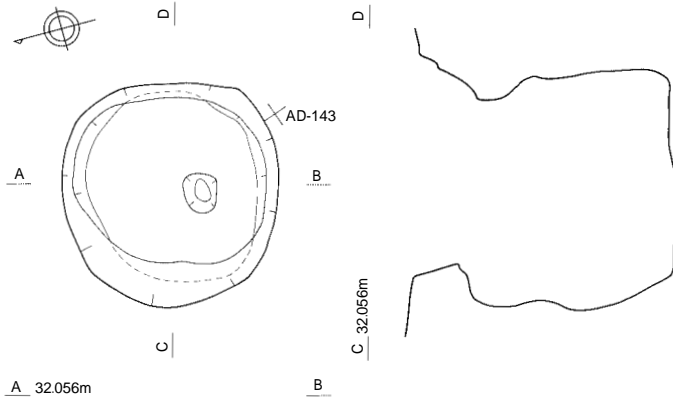
第413号土坑  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量



第415号土坑  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/3) LB・ローム粒少量、炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物少量、LB・ローム粒微量  
第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物中量、ローム粒少量  
第5層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・炭化物少量  
第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒・炭化物少量  
第7層 褐色土 (7.5YR4/3) ローム粒・炭化物少量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒・炭化物少量

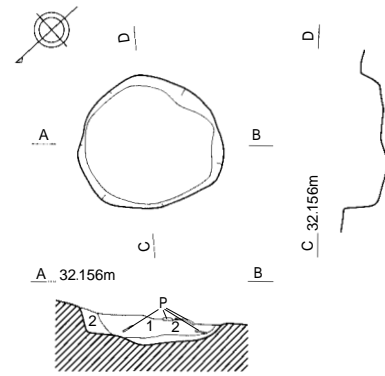
第145図 土坑 (37) (406 ~ 409土・413土・415土)

第418号土坑



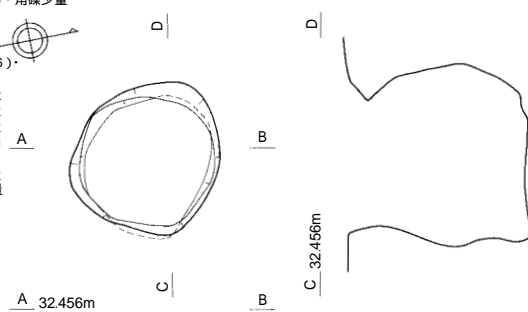
- 第418号土坑
- 第1層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、炭化物少量
  - 第2層 黒色土 (10YR1.7/1) □-△粒中量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、炭化物微量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物微量
  - 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量
  - 第6層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△、炭化物微量
  - 第7層 黒褐色土 (10YR2/2) □-△粒中量
  - 第8層 黒褐色土 (10YR2/2) □-△粒中量、炭化物少量
  - 第9層 黒褐色土 (10YR2/3) □-△粒少量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・炭化物・角礫少量
  - 第11層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△
  - 第12層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量、LB少量、炭化物微量
  - 第13層 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色土 (7.5YR4/6)・□-△粒少量
  - 第14層 褐色土 (10YR4/6) □-△、角礫多量
  - 第15層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△、角礫中量
  - 第16層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△、角礫多量
  - 第17層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒多量、角礫中量、炭化物少量
  - 第18層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、角礫中量
  - 第19層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 角礫多量、LB中量

第420号土坑



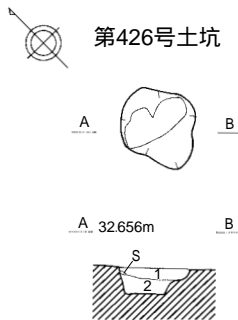
- 第420号土坑
- 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒少量、炭化物微量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/3) □-△粒中量

第423号土坑



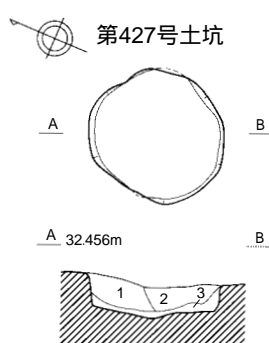
- 第423号土坑
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒中量、LB・角礫少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒中量、炭化物・角礫少量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物・角礫少量
  - 第4層 褐色土 (7.5YR5/4) □-△粒・角礫少量、炭化物微量
  - 第5層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒中量、角礫少量、炭化物微量
  - 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒中量、炭化物・角礫微量
  - 第7層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒多量、角礫少量、炭化物微量
  - 第8層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量、炭化物少量
  - 第9層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物中量、□-△粒・角礫少量
  - 第10層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒中量、炭化物・角礫少量
  - 第11層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物中量、□-△粒・角礫少量

第426号土坑



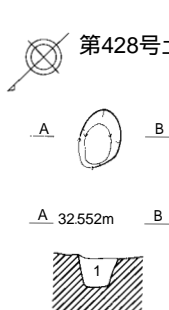
- 第426号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒中量、角礫少量
  - 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量

第427号土坑



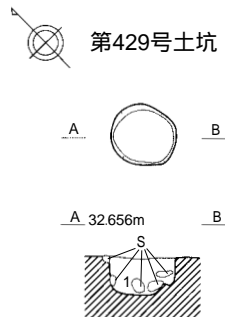
- 第427号土坑
- 第1層 黒褐色土 (10YR2/3) □-△粒多量、炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量、炭化物・角礫微量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒中量、炭化物微量

第428号土坑



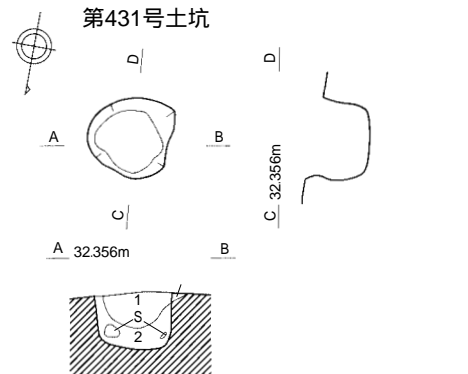
- 第428号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒中量、炭化物・角礫少量

第429号土坑



- 第429号土坑
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫多量、□-△量少量

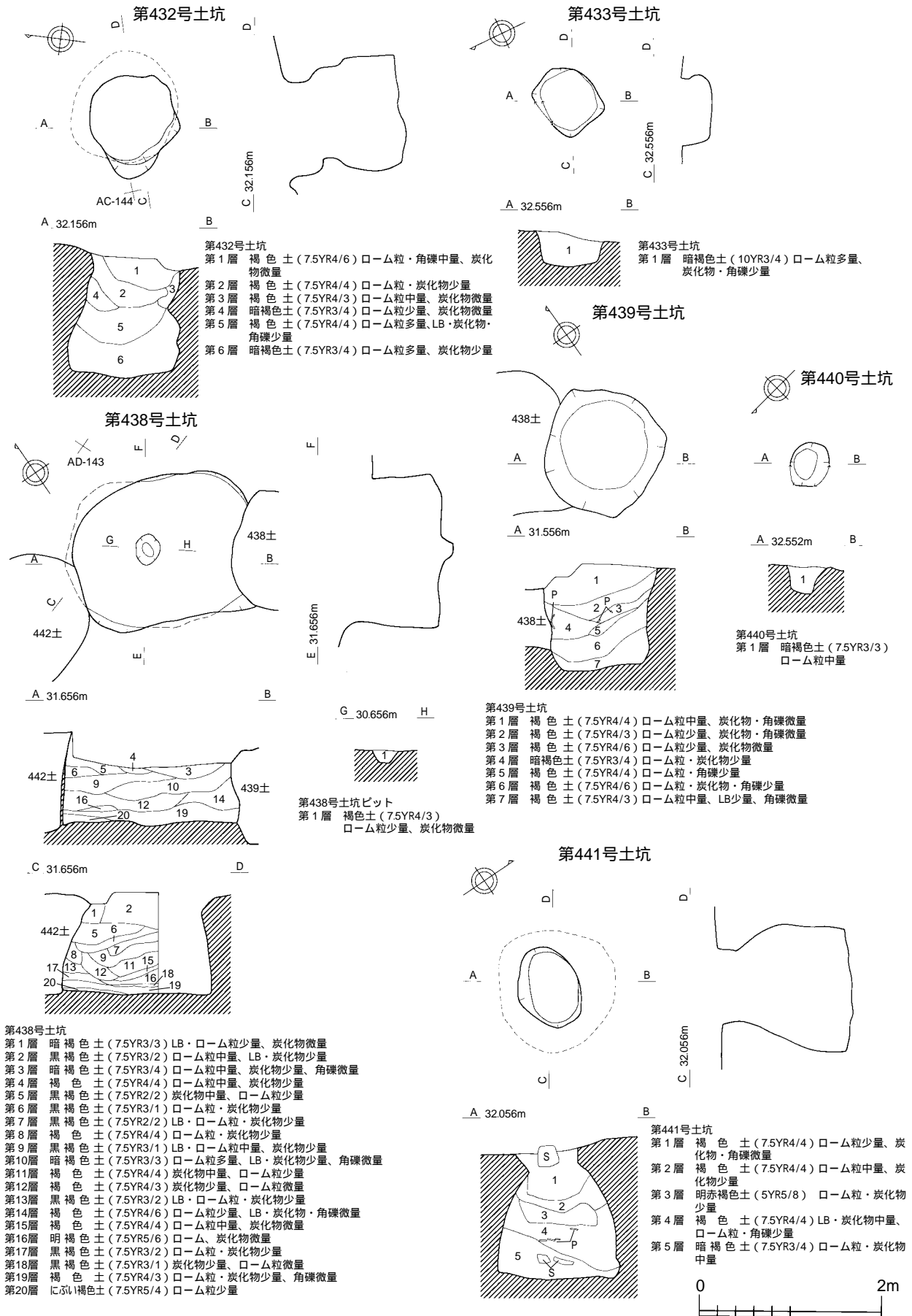
第431号土坑



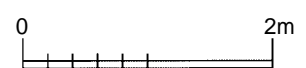
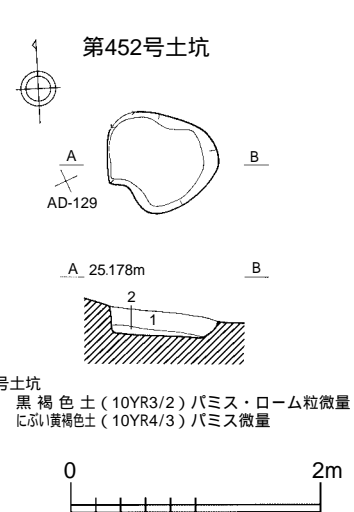
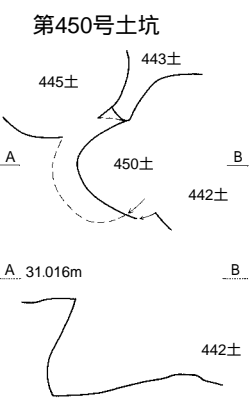
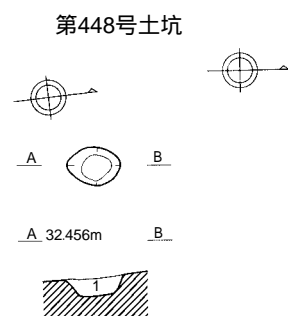
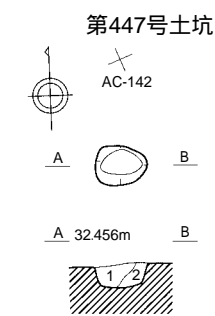
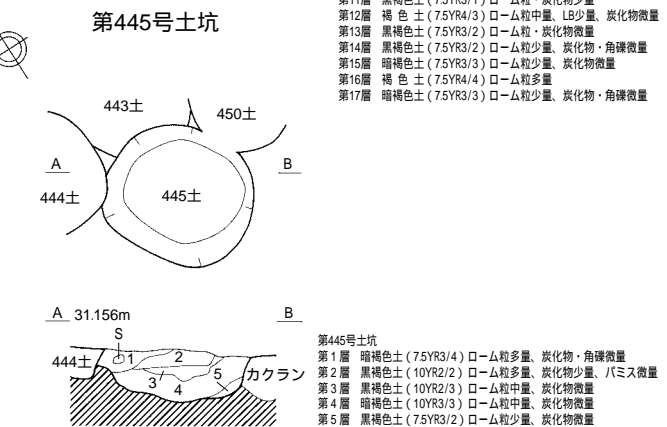
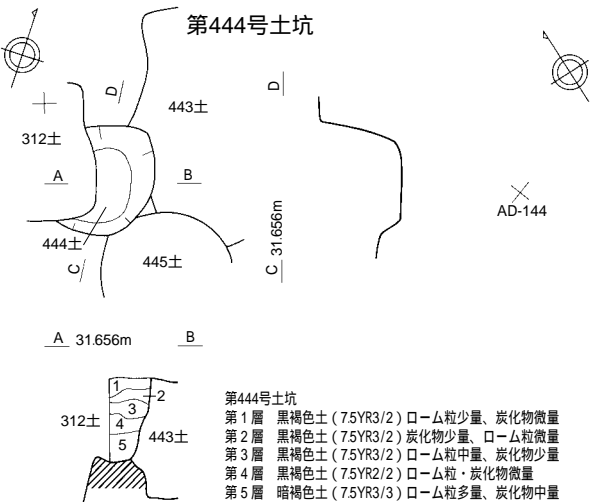
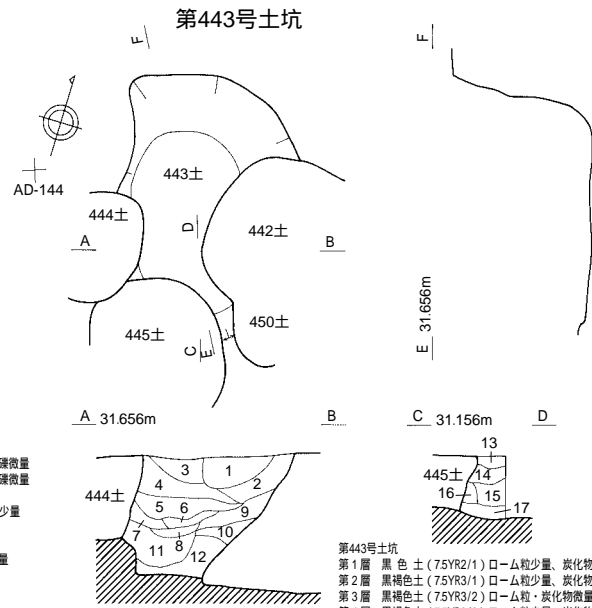
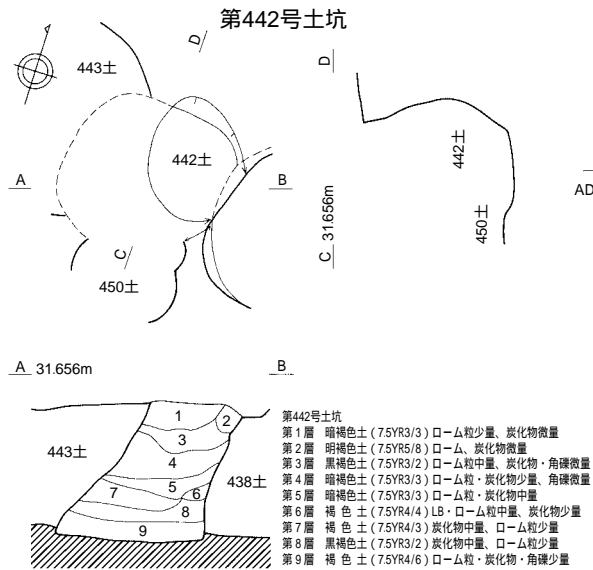
- 第431号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、LB少量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) LB・□-△粒少量、角礫微量



第146図 土坑 (38) (418土・420土・423土・426~429土・431土)

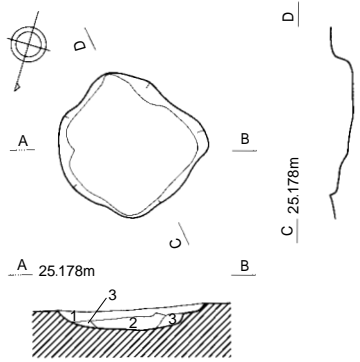


第147図 土坑 (39) (432土・433土・438~441土)



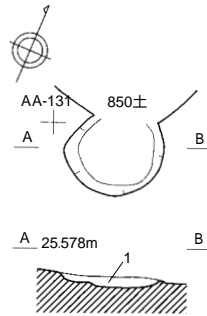
第148図 土坑 (40) (442 ~ 445土・447土・448土・450土・452土)

第453号土坑



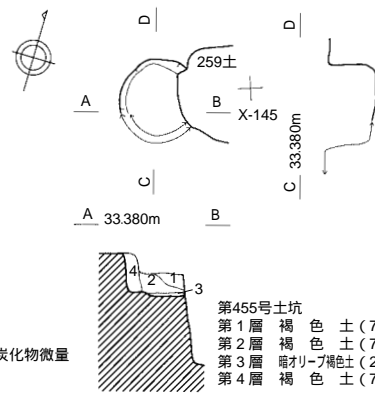
第453号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒・炭化物微量  
第2層 濃い黄褐色土 (10YR4/3) LB少量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/4)

第454号土坑



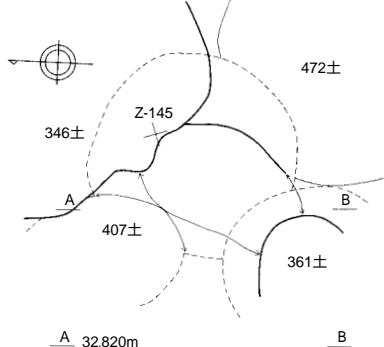
第454号土坑  
第1層 黒褐色土 (10YR2/2) □-ム粒少量、炭化物微量

第455号土坑



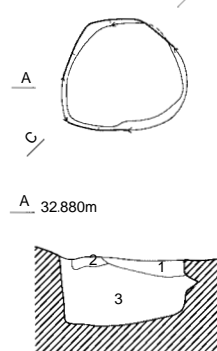
第455号土坑  
第1層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫中量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量  
第3層 暗赤褐色土 (2.5YR3/3) 角礫中量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/4)

第456号土坑



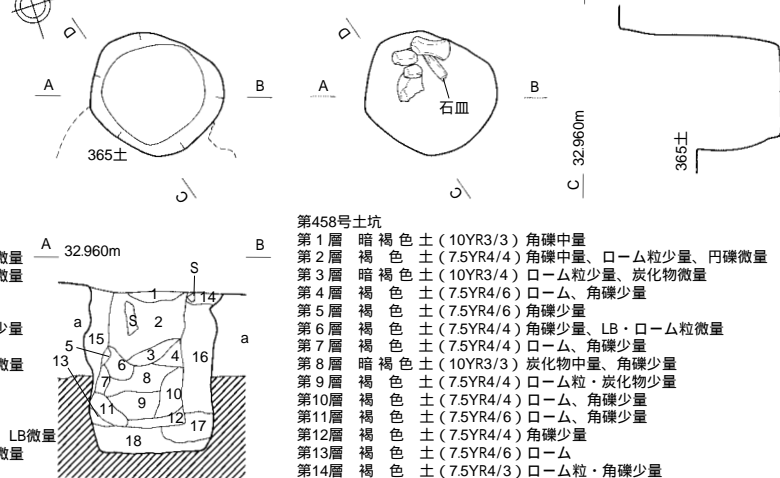
第456号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/6) □-ム、角礫中量  
第2層 褐色土 (10YR4/6) 角礫中量  
第3層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物・角礫少量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒・角礫少量、炭化物微量  
第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒中量、炭化物・角礫微量  
第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物中量、角礫少量  
第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・角礫少量  
第8層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、□-ム粒・炭化物少量  
第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物・角礫少量、円礫微量  
第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒少量、炭化物・角礫微量  
第11層 暗褐色土 (7.5YR5/8) □-ム  
第12層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物中量、LB微量  
第13層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒少量  
第14層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒・炭化物・角礫少量、LB微量  
第15層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・角礫少量、炭化物微量  
第16層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム  
第17層 暗褐色土 (10YR3/3) LB・□-ム粒・角礫少量  
第18層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量、円礫・角礫・微量  
第19層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒・角礫少量  
第20層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量、角礫少量  
第21層 褐色土 (7.5YR4/4) LB多量

第457号土坑



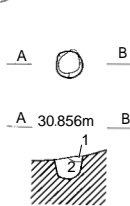
第457号土坑  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・角礫多量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫多量  
第3層 赤褐色土 (5YR4/8) LB・角礫多量

第458号土坑



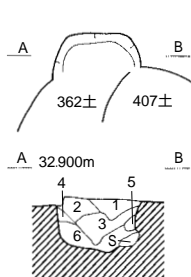
第458号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫中量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、□-ム粒少量、円礫微量  
第3層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒少量、炭化物微量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム、角礫少量  
第5層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫少量  
第6層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量、LB・□-ム粒微量  
第7層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム、角礫少量  
第8層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量、角礫少量  
第9層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム粒・炭化物少量  
第10層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム、角礫少量  
第11層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム、角礫少量  
第12層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量  
第13層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム  
第14層 褐色土 (7.5YR4/3) □-ム粒・角礫少量  
第15層 褐色土 (7.5YR4/4) □-ム、角礫中量、炭化物微量  
第16層 濃い赤褐色 (5YR4/4) □-ム、角礫中量  
第17層 褐色土 (7.5YR4/6) □-ム、角礫中量  
第18層 褐色土 (10YR4/6) □-ム、角礫多量

第459号土坑



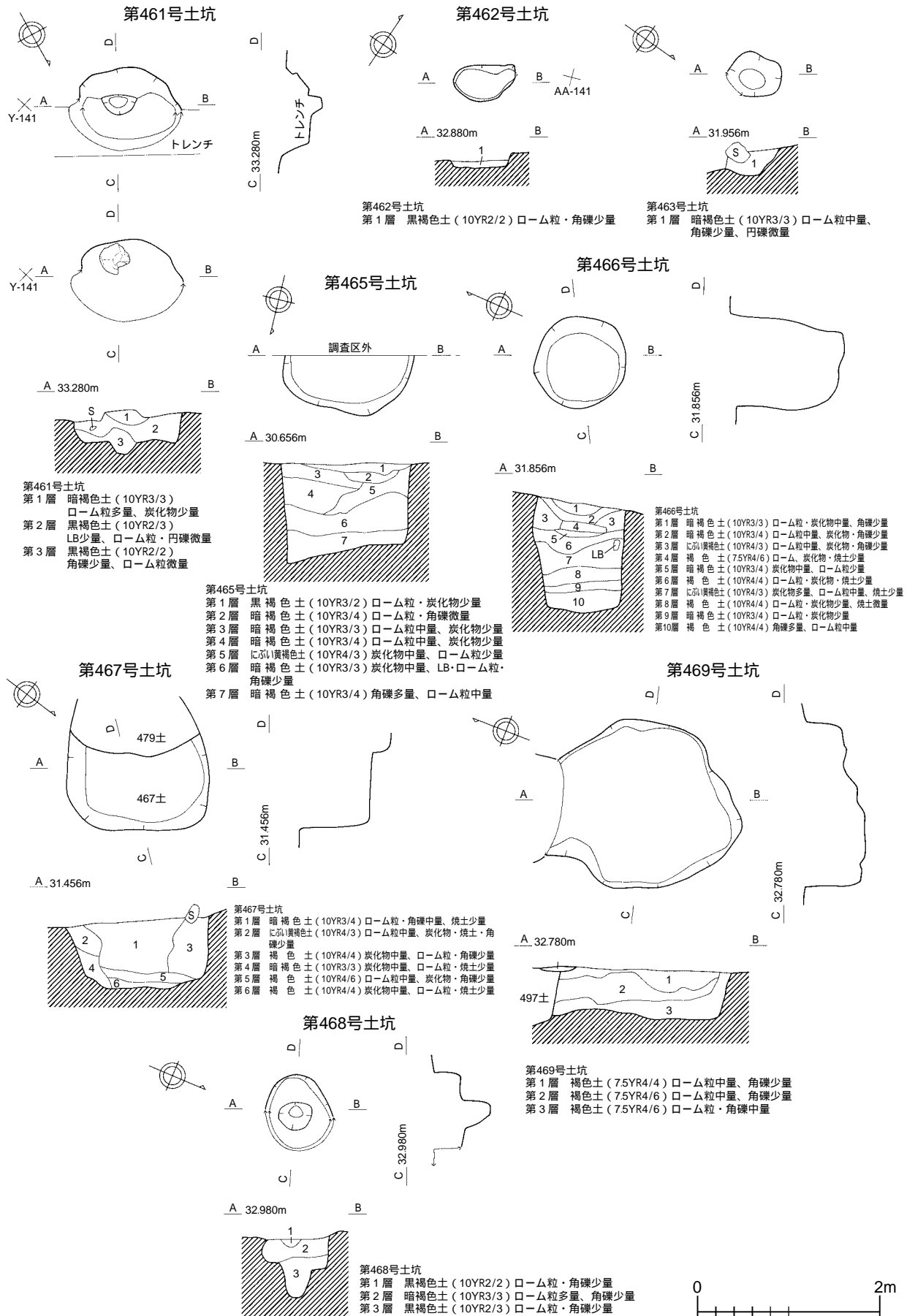
第459号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒、炭化物少量

第460号土坑



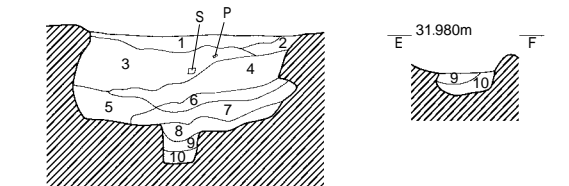
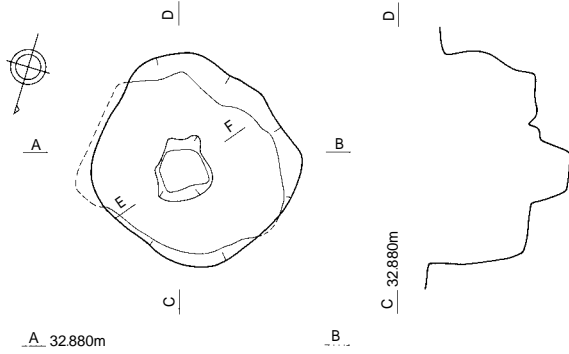
第460号土坑  
第1層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 角礫少量、炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-ム粒・炭化物・角礫少量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物・角礫少量  
第5層 赤褐色土 (5YR4/8) □-ム  
第6層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、□-ム粒少量

第149図 土坑 (41) (453~460土)



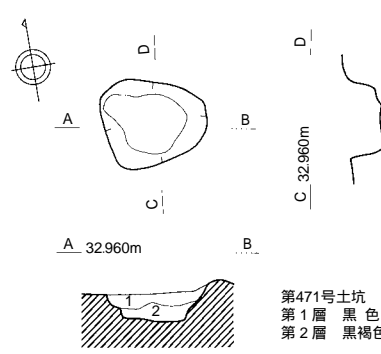
第150図 土坑 (42) (461土・462土・465～469土)

第470号土坑



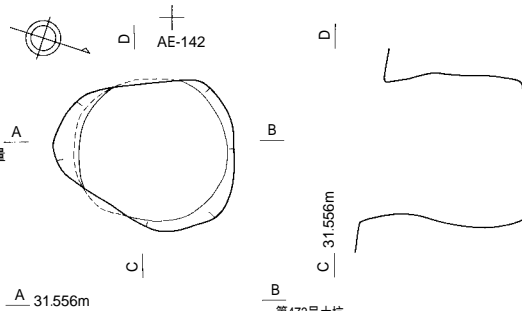
- 第470号土坑  
 第1層 にぶい赤褐色 (5YR4/3) 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒・炭化物・角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 角礫少量、□-△粒・炭化物微量  
 第3層 褐色土 (7.5YR4/3) □-△粒・角礫少量、炭化物微量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化物・角礫微量  
 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒中量、炭化物少量  
 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物微量  
 第7層 赤褐色土 (5YR4/6) 炭化物中量、□-△粒・角礫少量  
 第8層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物少量  
 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒少量  
 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 角礫少量

第471号土坑



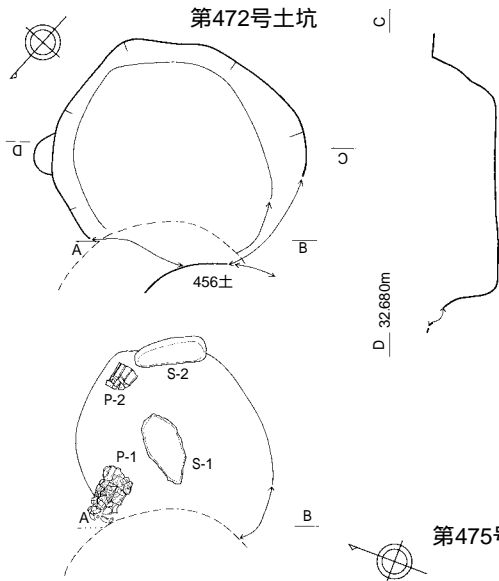
- 第471号土坑  
 第1層 黒色土 (10YR2/1)  
 第2層 黒褐色土 (10YR2/2) 角礫多量

第473号土坑



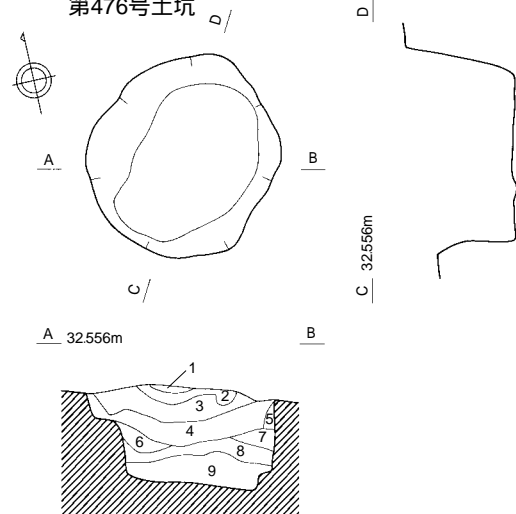
- 第473号土坑  
 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量、□-△粒・炭化物微量  
 第2層 黒色土 (7.5YR2/1) □-△粒・炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物微量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫少量、□-△粒・炭化物微量  
 第5層 赤褐色土 (5YR4/8) LB少量、炭化物微量  
 第6層 明褐色土 (7.5YR5/6) 角礫中量、炭化物少量、□-△粒微量  
 第7層 黒褐色土 (7.5YR2/2) 炭化物少量、□-△粒微量  
 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物少量、□-△粒微量  
 第9層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫多量、□-△粒・炭化物微量  
 第10層 褐色土 (7.5YR4/3) 炭化物少量、□-△粒微量  
 第11層 明褐色土 (7.5YR5/6) 炭化物中量、□-△粒・角礫少量  
 第12層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△粒少量、炭化物・角礫微量  
 第13層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒中量、角礫少量、炭化物微量  
 第14層 赤褐色土 (5YR4/6) □-△粒多量、角礫少量  
 第15層 にぶい赤褐色 (5YR4/4) □-△粒中量、角礫少量  
 第16層 赤褐色土 (5YR4/6) □-△粒・炭化物少量

第472号土坑



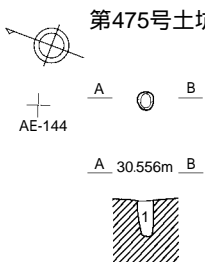
- 第472号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) LB・角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物少量、角礫微量  
 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・炭化物・角礫少量  
 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・角礫少量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒  
 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒・角礫少量  
 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒・角礫少量  
 第8層 黒褐色土 (10YR2/3) 炭化物少量  
 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物少量、□-△粒・角礫微量  
 第10層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒・角礫少量  
 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒中量

第476号土坑



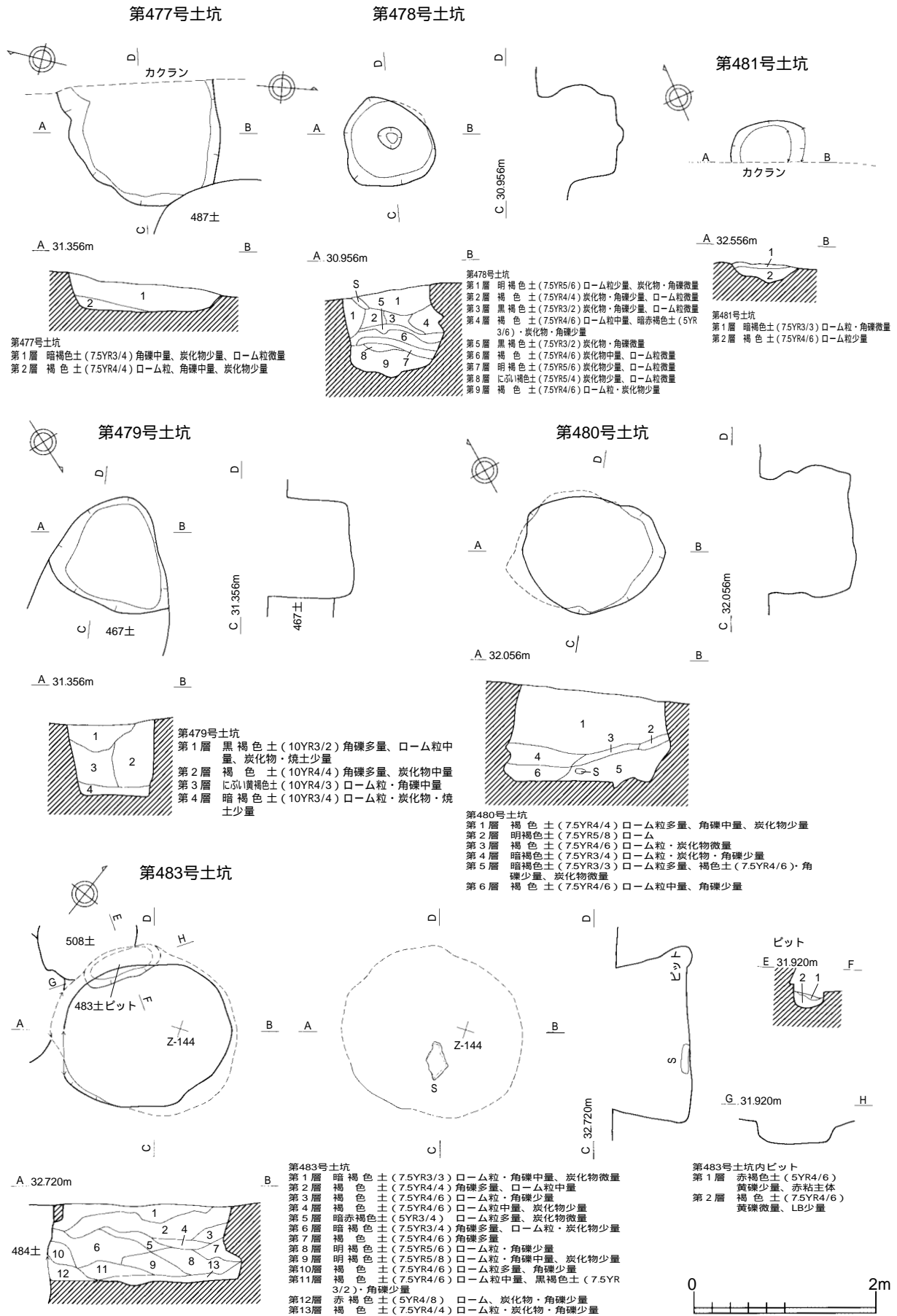
- 第476号土坑  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒少量、炭化物微量  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) □-△粒中量、LB少量、炭化物微量  
 第3層 黒褐色土 (7.5YR2/2) □-△粒多量、炭化物・角礫微量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒多量、炭化物少量  
 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □-△粒中量  
 第6層 褐色土 (7.5YR4/6) 角礫中量、□-△粒・炭化物少量  
 第7層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒少量、炭化物微量  
 第8層 にぶい褐色 (7.5YR5/4) □-△粒・炭化物少量  
 第9層 にぶい褐色 (7.5YR5/4) □-△粒中量、炭化物少量、角礫微量

第475号土坑



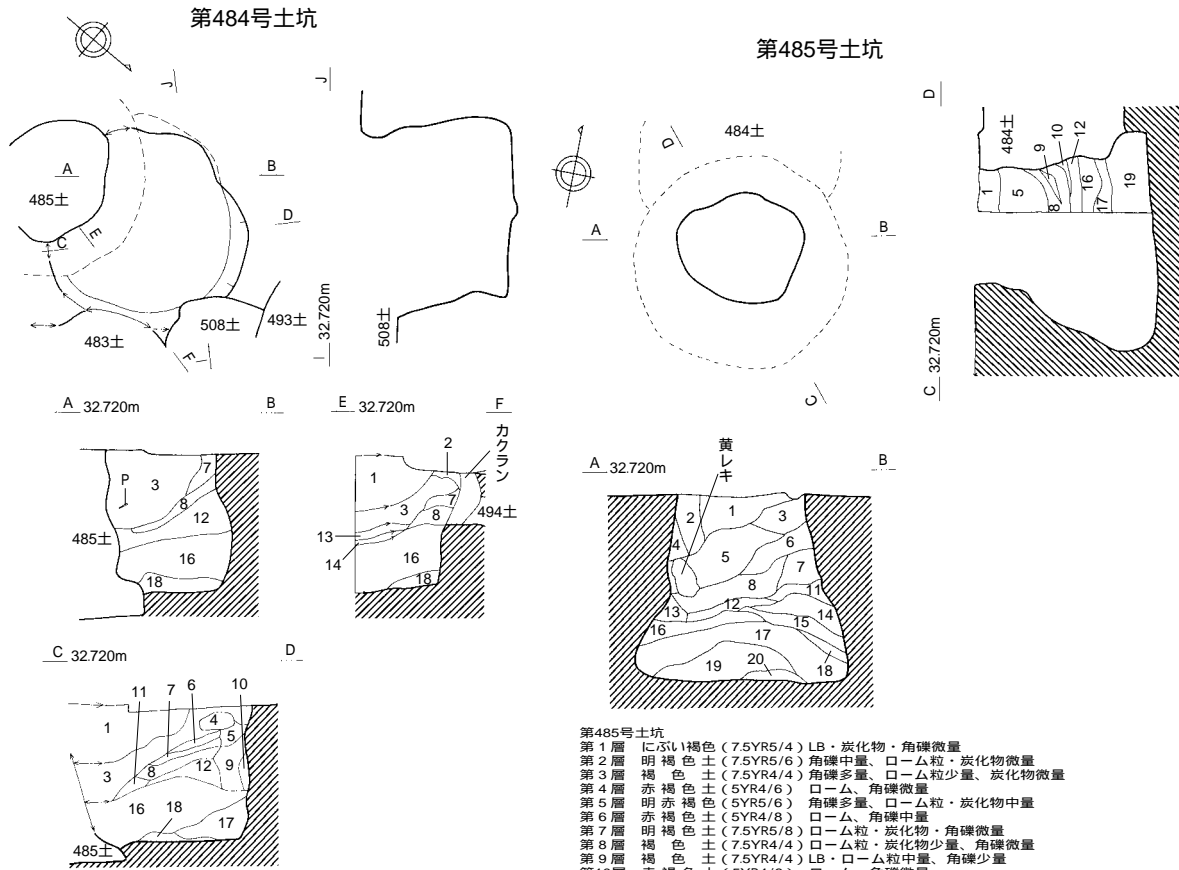
- 第475号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □-△粒・炭化物少量

第151図 土坑 (43)(470~473土・475土・476土)



第152図 土坑 (44) (477 ~ 481土・483土)





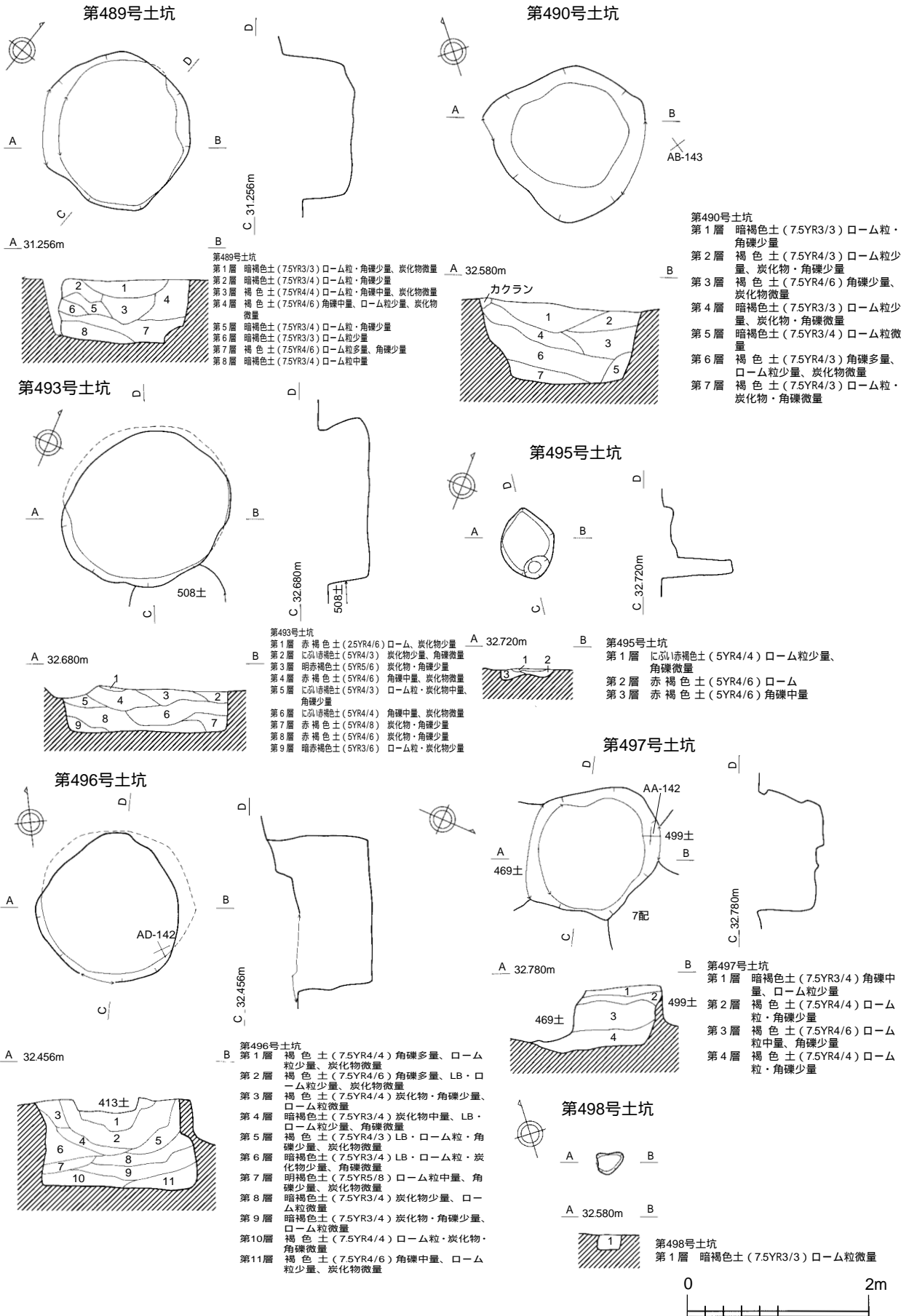
- 第484号土坑**
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 角礫中量・LB少量
  - 第2層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB・□-△粒・角礫少量、炭化物微量
  - 第4層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、角礫少量
  - 第5層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、角礫少量
  - 第6層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、角礫少量
  - 第7層 褐色土 (7.5YR4/6) LB・□-△粒・角礫少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB・□-△粒・角礫少量、炭化物微量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) LB・□-△粒・角礫少量、炭化物微量
  - 第10層 褐色土 (10YR4/4) LB中量
  - 第11層 褐色土 (10YR4/4) LB中量
  - 第12層 褐色土 (7.5YR4/4) LB中量
  - 第13層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△、角礫少量
  - 第14層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・角礫少量
  - 第15層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量、角礫少量
  - 第16層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△
  - 第17層 赤褐色土 (5YR4/6) □-△、角礫中量
  - 第18層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、角礫微量

- 第485号土坑**
- 第1層 にごり褐色 (7.5YR5/4) LB・炭化物・角礫微量
  - 第2層 明褐色土 (7.5YR5/6) 角礫中量、□-△粒・炭化物微量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、□-△粒少量、炭化物微量
  - 第4層 赤褐色土 (5YR4/6) □-△、角礫微量
  - 第5層 明赤褐色土 (5YR5/6) 角礫多量、□-△粒・炭化物中量
  - 第6層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△、角礫中量
  - 第7層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒・炭化物・角礫微量
  - 第8層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・炭化物少量、角礫微量
  - 第9層 褐色土 (7.5YR4/4) LB・□-△粒中量、角礫少量
  - 第10層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△、角礫微量
  - 第11層 赤褐色土 (5YR4/6) 角礫中量、LB・□-△粒少量、炭化物微量
  - 第12層 黒褐色土 (7.5YR2/2) LB・□-△粒中量、炭化物少量
  - 第13層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△、炭化物微量
  - 第14層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒中量、炭化物少量
  - 第15層 赤褐色土 (5YR4/6) 角礫中量、□-△粒少量、炭化物微量
  - 第16層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒・角礫中量、炭化物少量
  - 第17層 明赤褐色土 (5YR5/6) □-△粒少量、炭化物微量
  - 第18層 赤褐色土 (5YR4/8) □-△粒中量、褐色土 (7.5YR4/6) 少量、炭化物・角礫微量
  - 第19層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒中量、炭化物微量
  - 第20層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化物・角礫微量

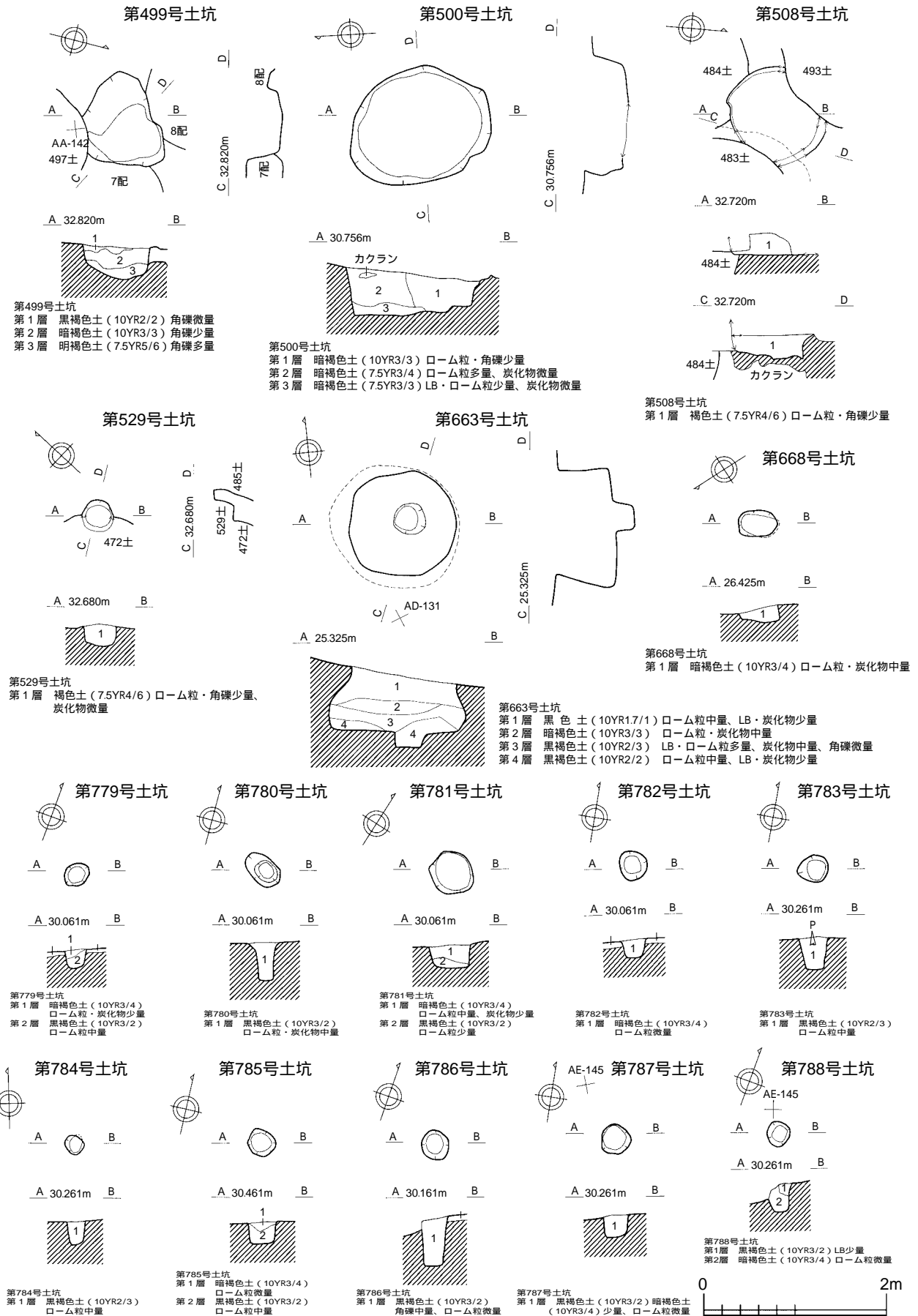
- 第487号土坑**
- 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量、炭化物少量、□-△粒微量
  - 第2層 明褐色土 (7.5YR5/6) □-△粒中量、炭化物・角礫少量
  - 第3層 明褐色土 (7.5YR5/8) □-△粒・角礫中量、炭化物少量
  - 第4層 褐色土 (7.5YR4/6) □-△粒・角礫中量、炭化物微量

- 第488号土坑**
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量、角礫微量
  - 第2層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒・角礫少量
  - 第3層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒・炭化物・焼土少量
  - 第4層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒・焼土・角礫少量
  - 第5層 黒褐色土 (10YR2/3) □-△粒・炭化物微量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 角礫多量
  - 第7層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 角礫多量
  - 第9層 暗褐色土 (10YR3/3) □-△粒微量
  - 第10層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量
  - 第11層 暗褐色土 (10YR3/3) □-△粒中量
  - 第12層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒微量
  - 第13層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量

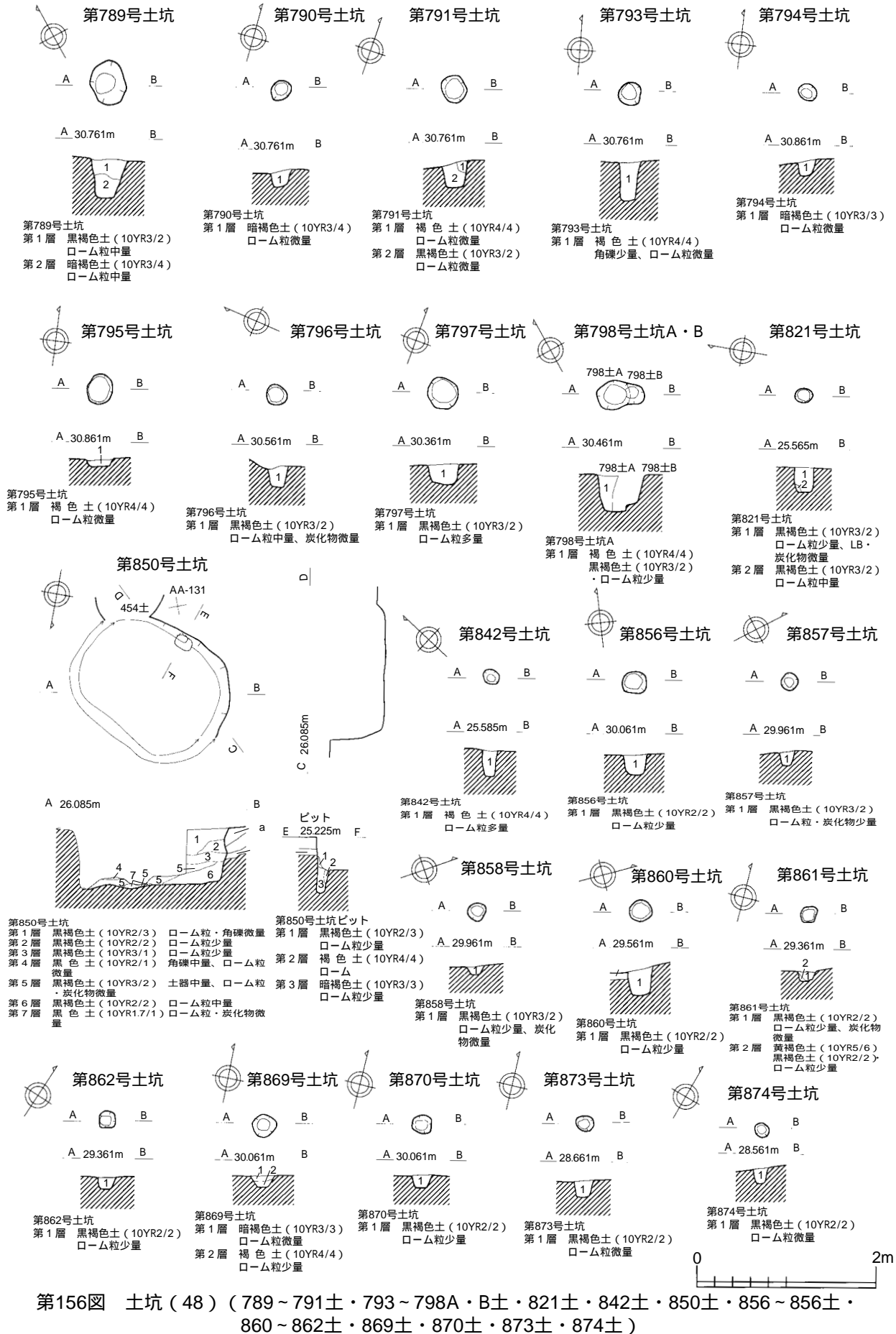
第153図 土坑 (45) (484土・485土・487土・488土)

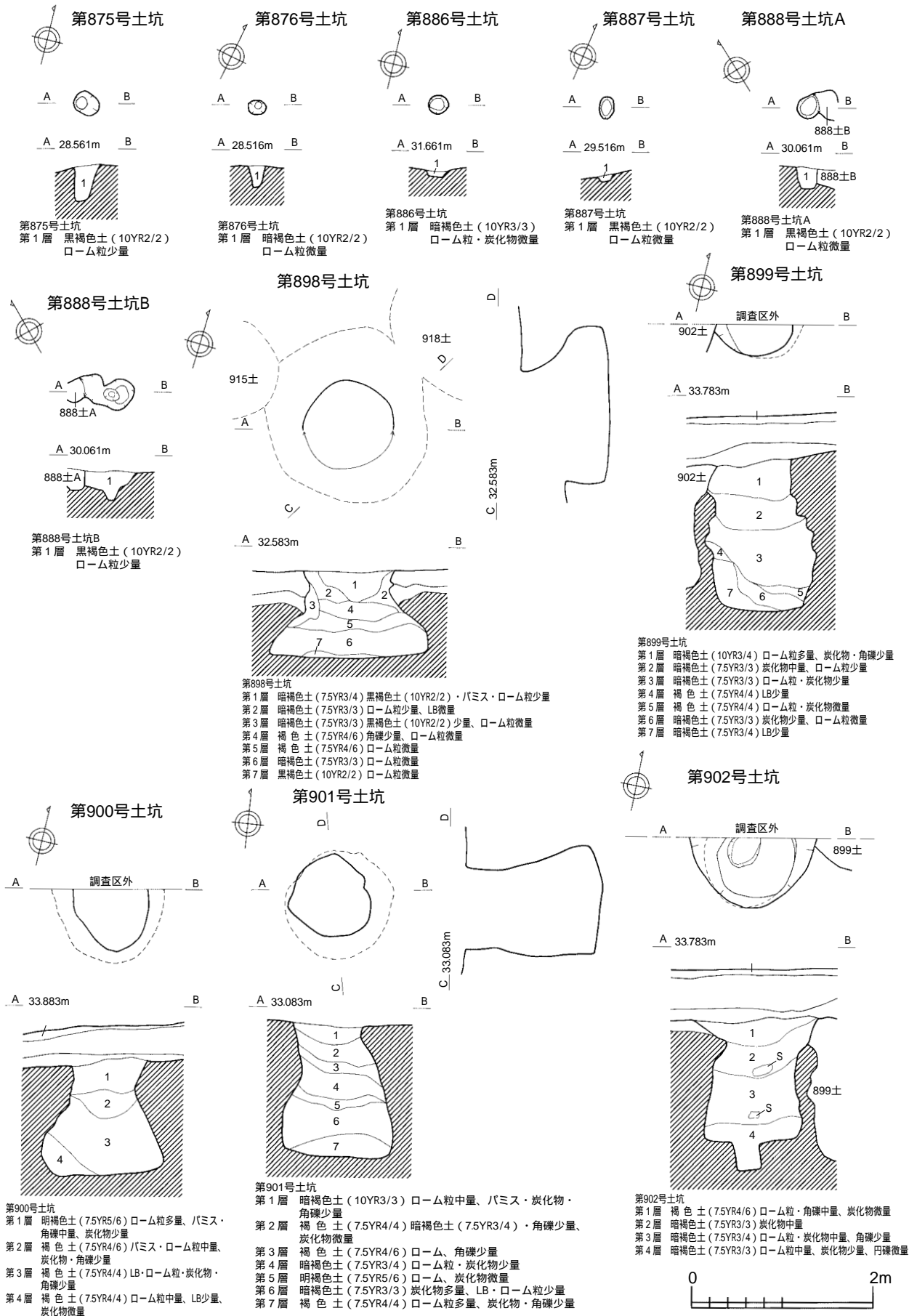


第154図 土坑 (46) (489土・490土・493土・495~498土)

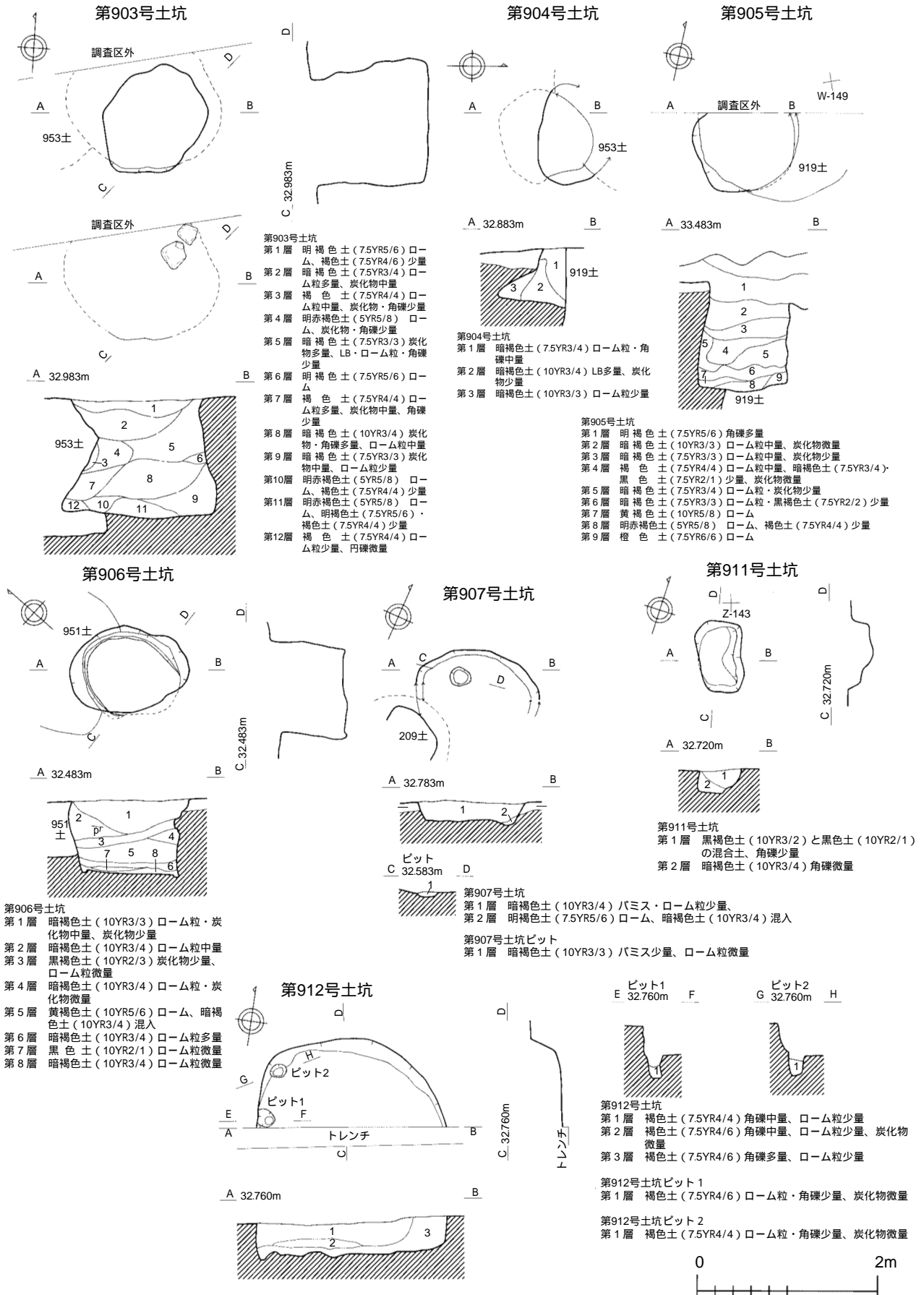


第155図 土坑 (47) (499土・500土・508土・529土・663土・668土・779~788土)

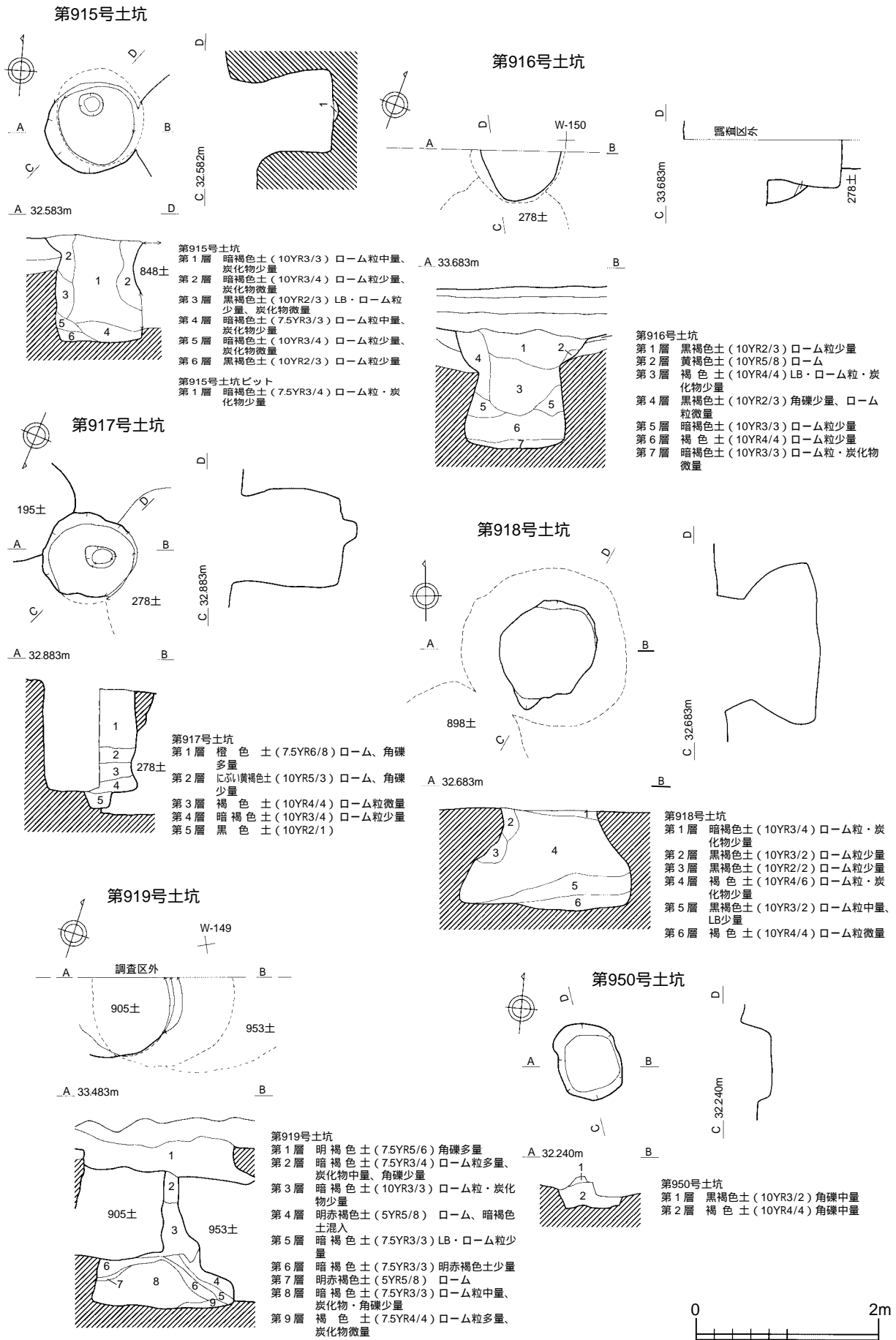




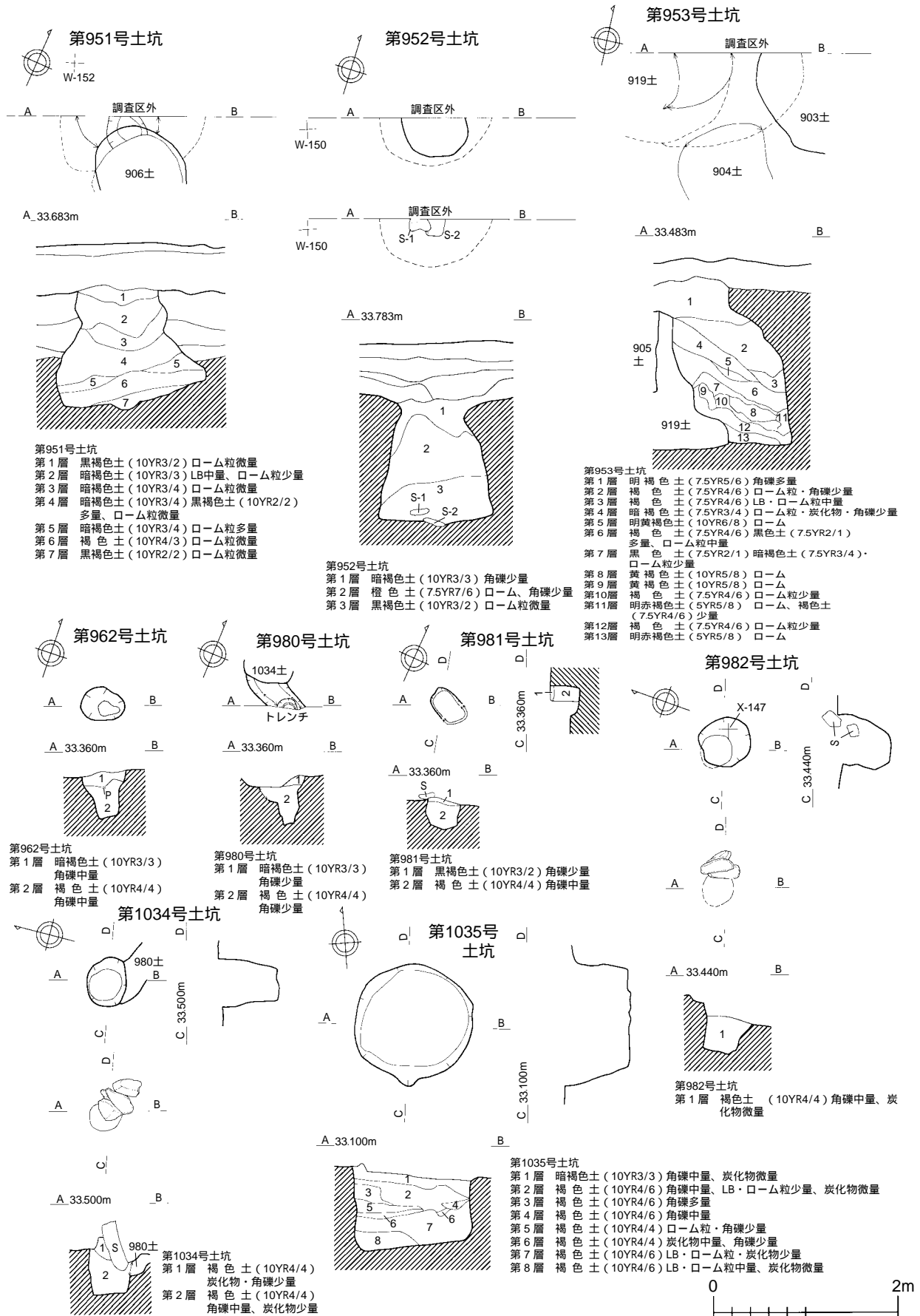
第157図 土坑 (49) (875土・876土・886~888土A・B・898~902土)



第158図 土坑 (50) (903 ~ 907土・911土・912土)

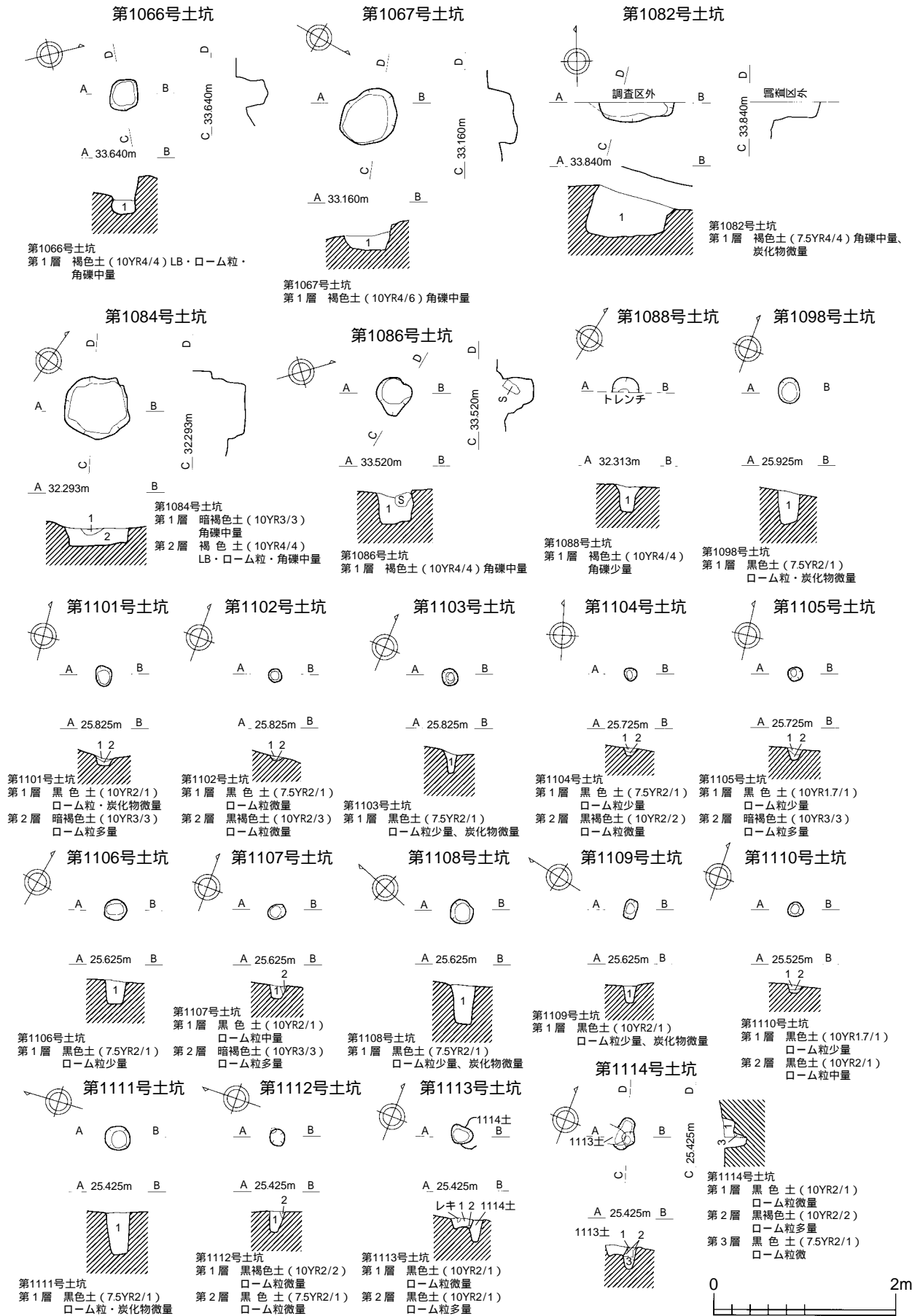


第159図 土坑 (51) (915 ~ 919土・950土)

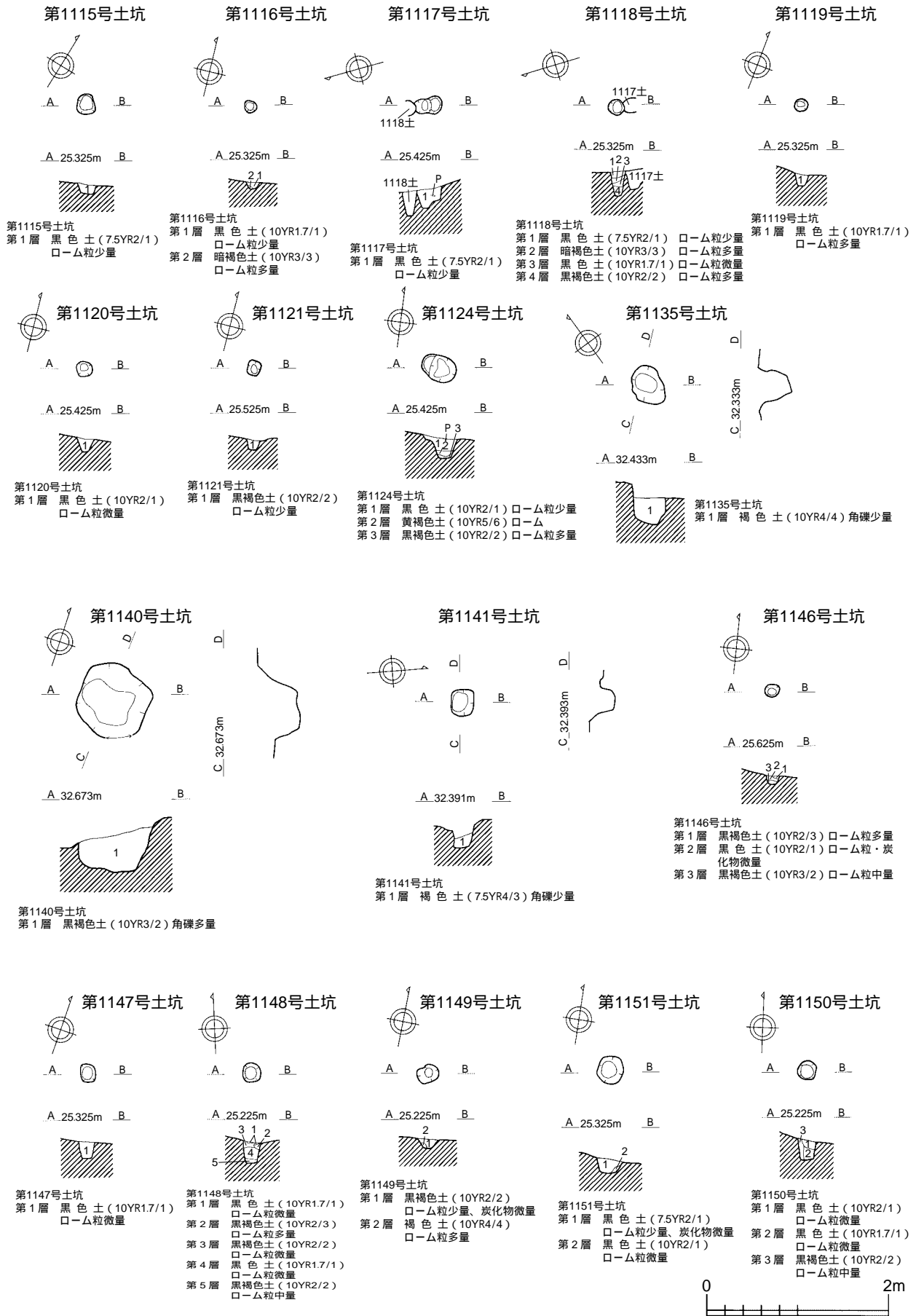


第160図 土坑 (52) (951 ~ 953土・962土・980 ~ 982土・1034土・1035土)

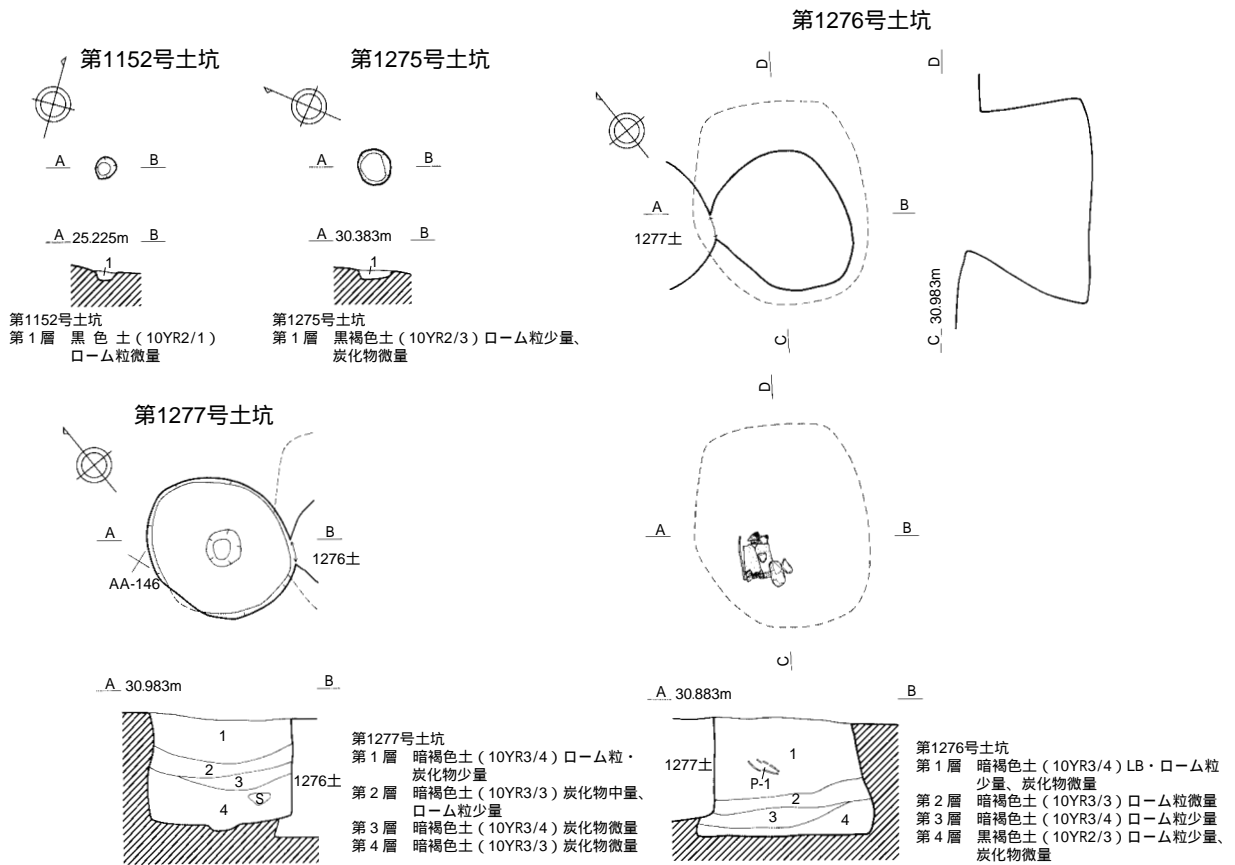




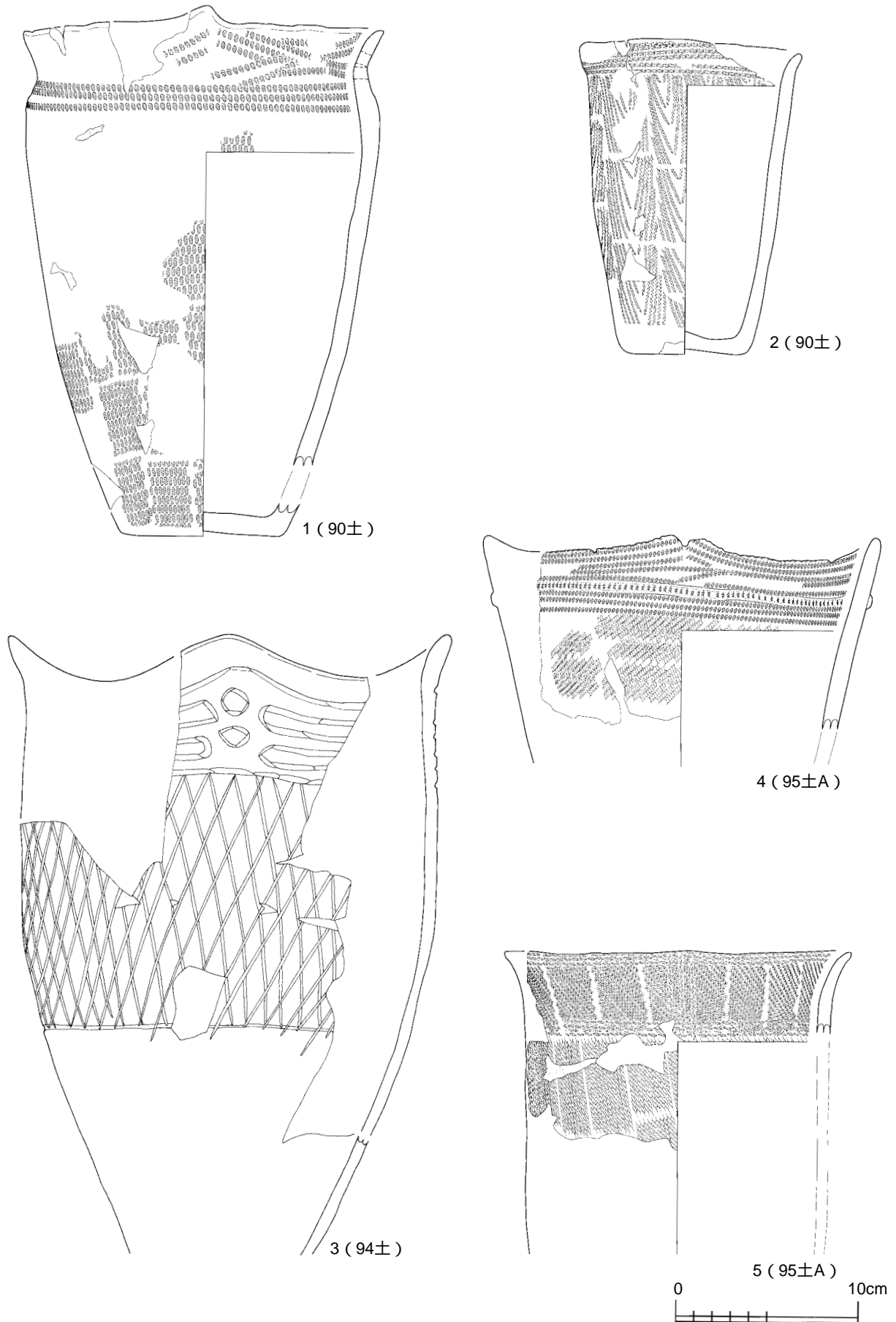
第161図 土坑 (53) X 1066土・1067土・1082土・1084土・1086土・1088土・1098土・1101~1114土)



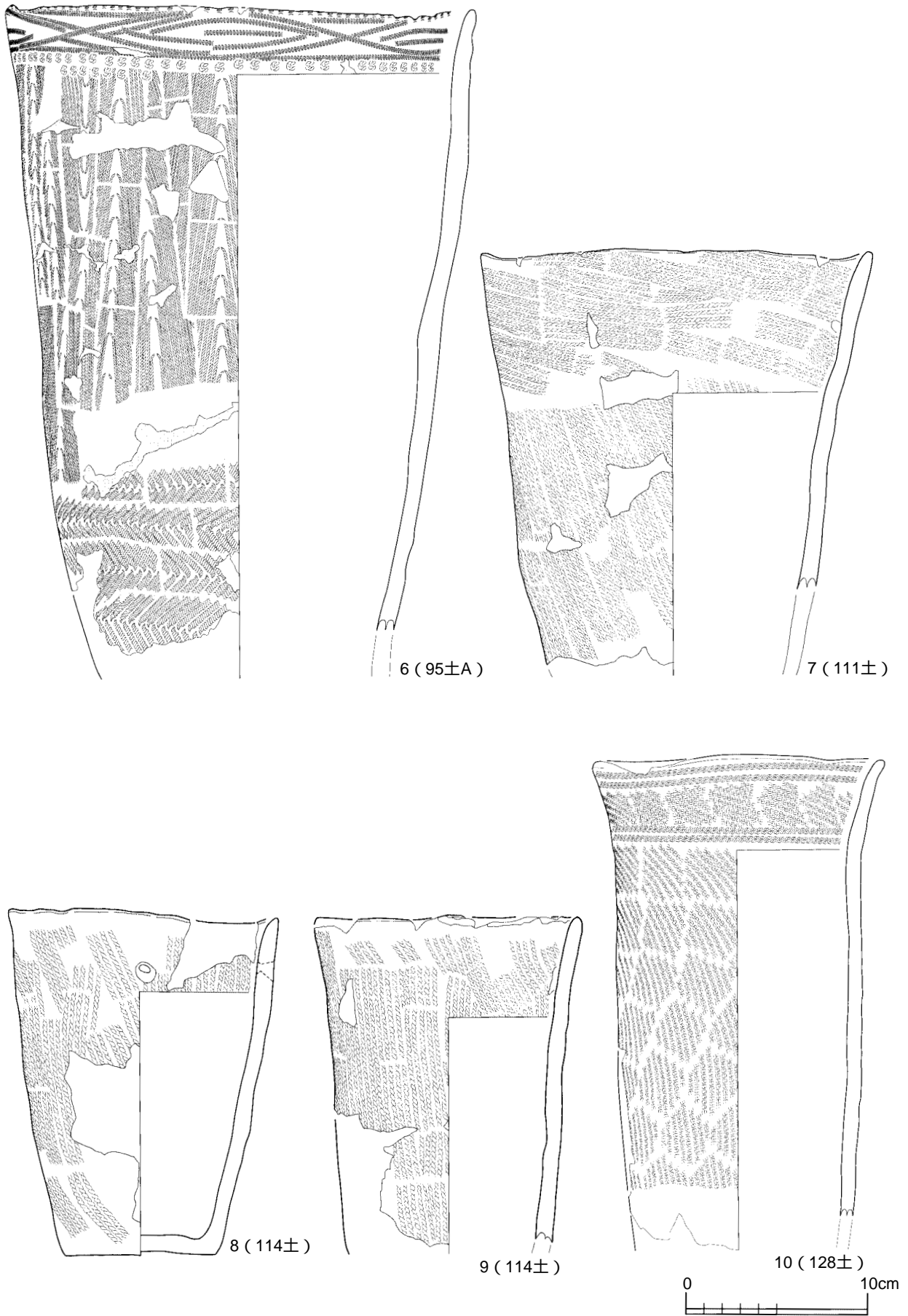
第162図 土坑 (54) (1115 ~ 1121土・1124土・1135土・1140土・1141土・1146 ~ 1151土)



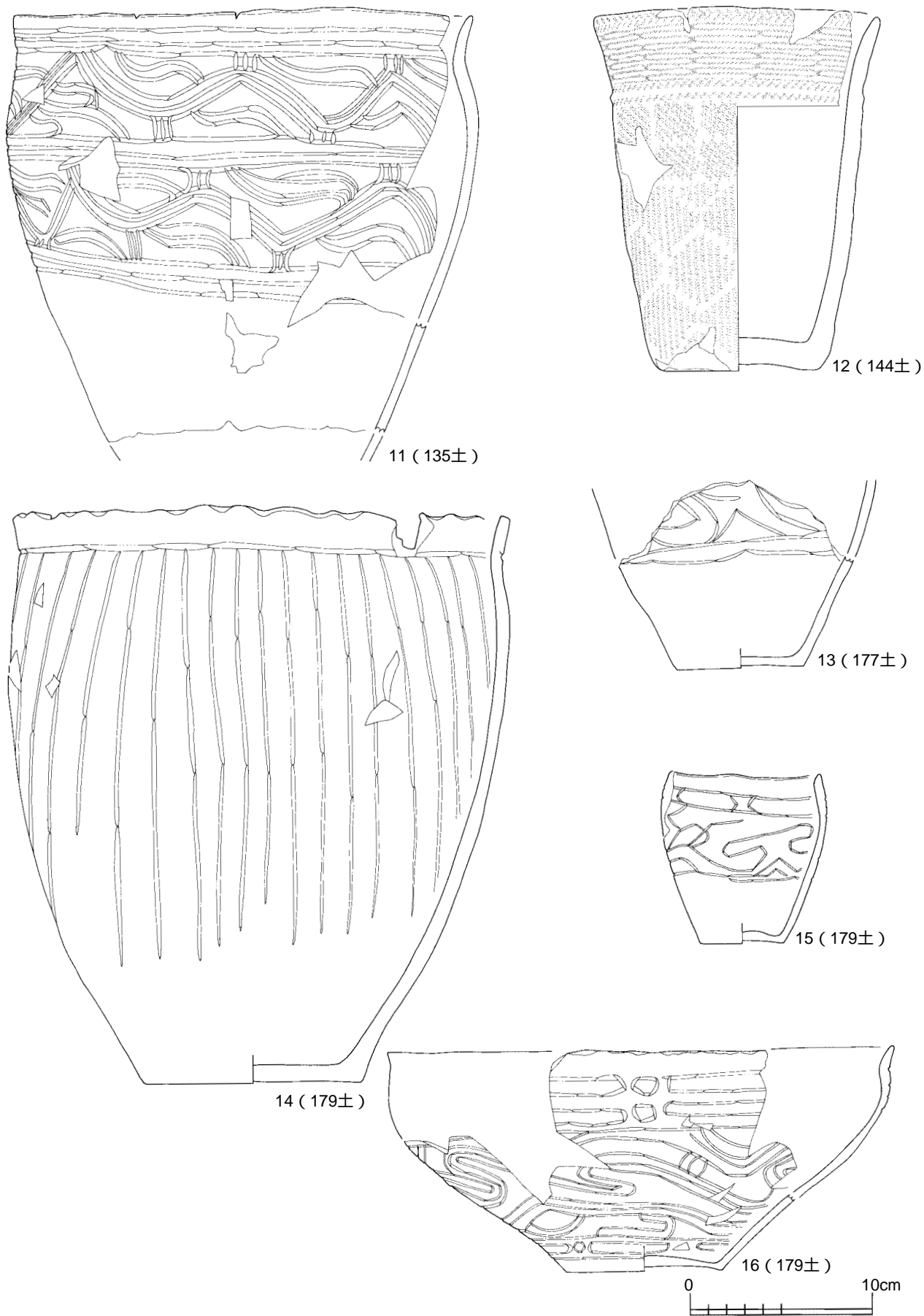
第163図 土坑 (55) (1152土・1275~1277土)



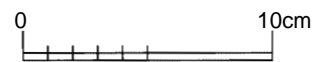
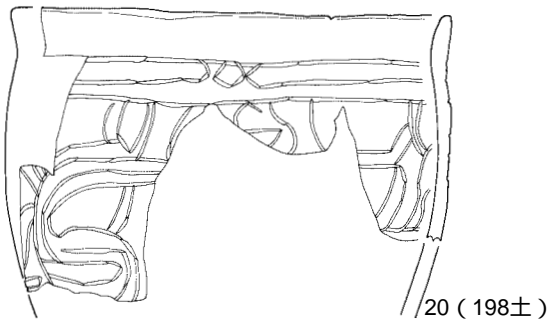
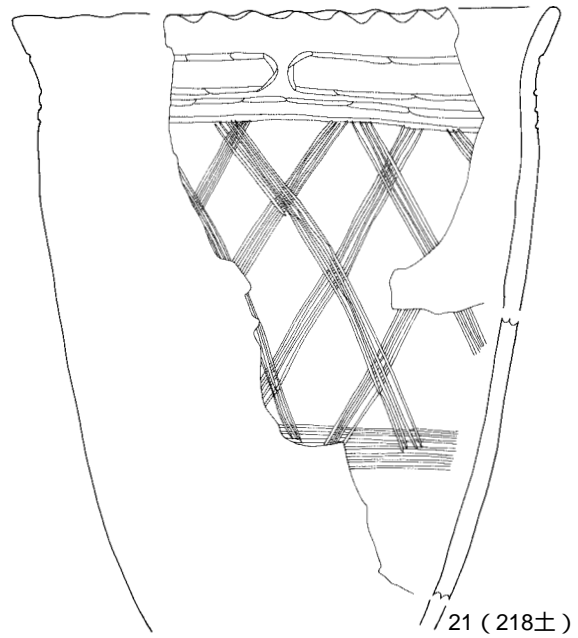
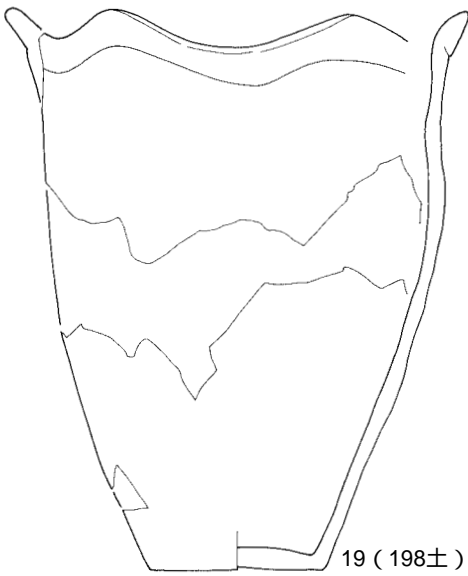
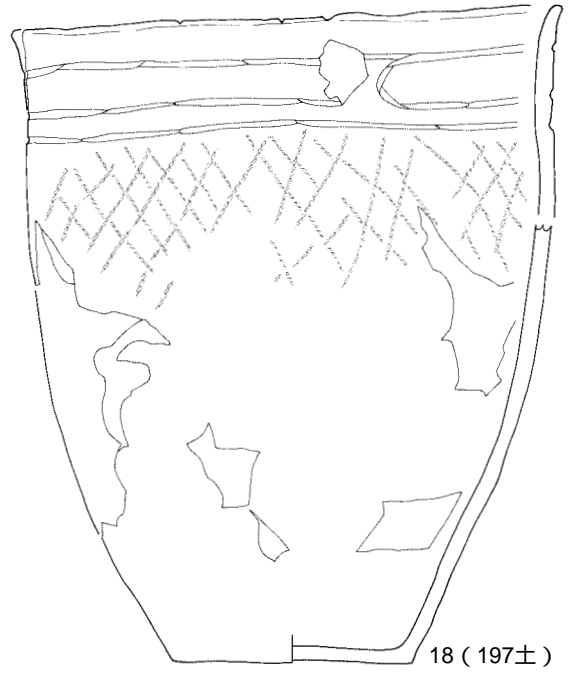
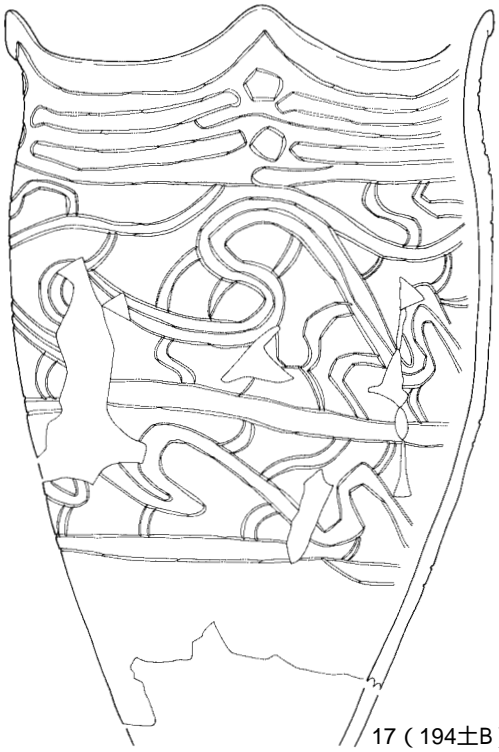
第164図 遺構内出土土器（土坑）(1)



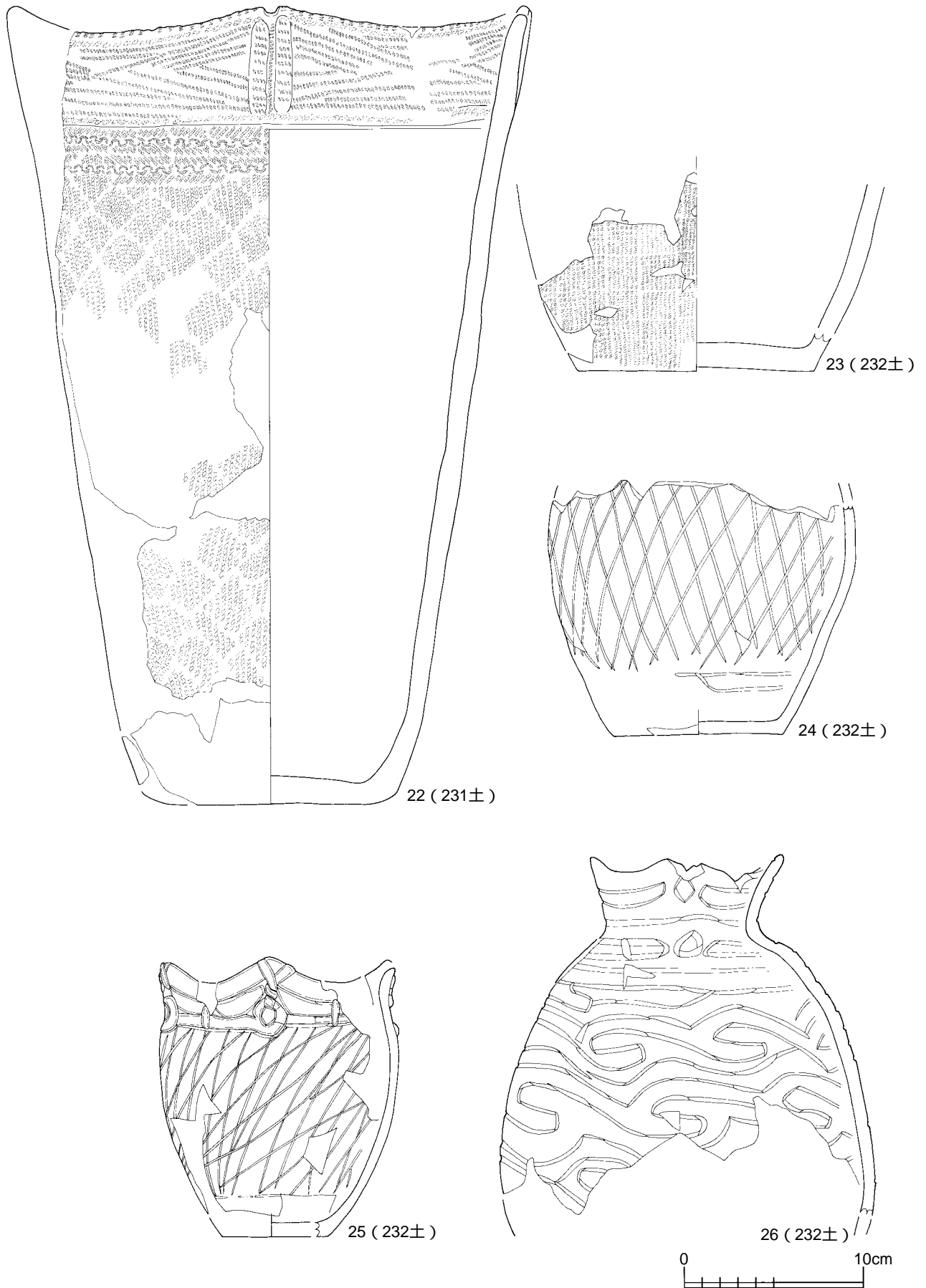
第165図 遺構内出土土器（土坑）(2)



第166図 遺構内出土土器(土坑)(3)

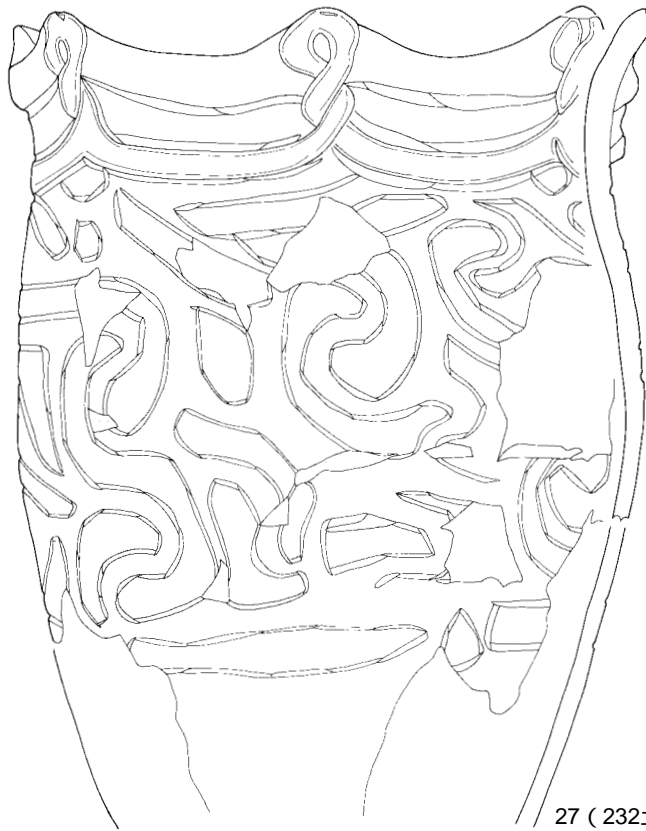


第167図 遺構内出土土器(土坑)(4)

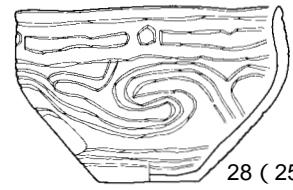


第168図 遺構内出土土器(土坑)(5)

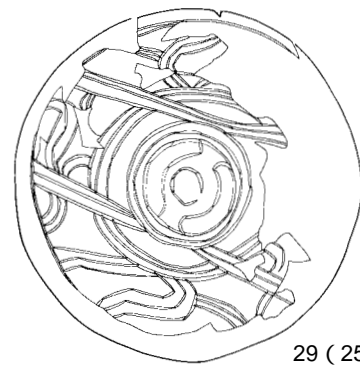
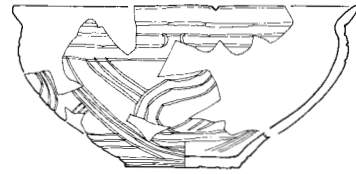




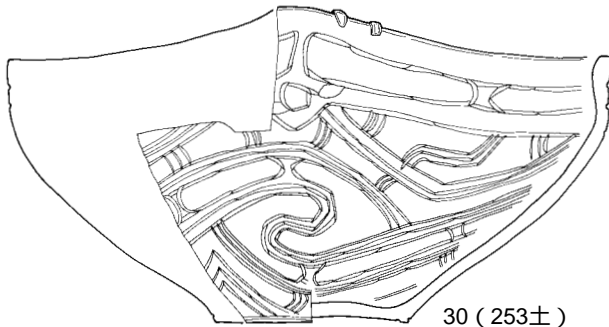
27 (232±)



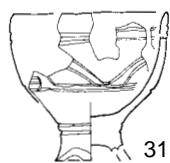
28 (251±)



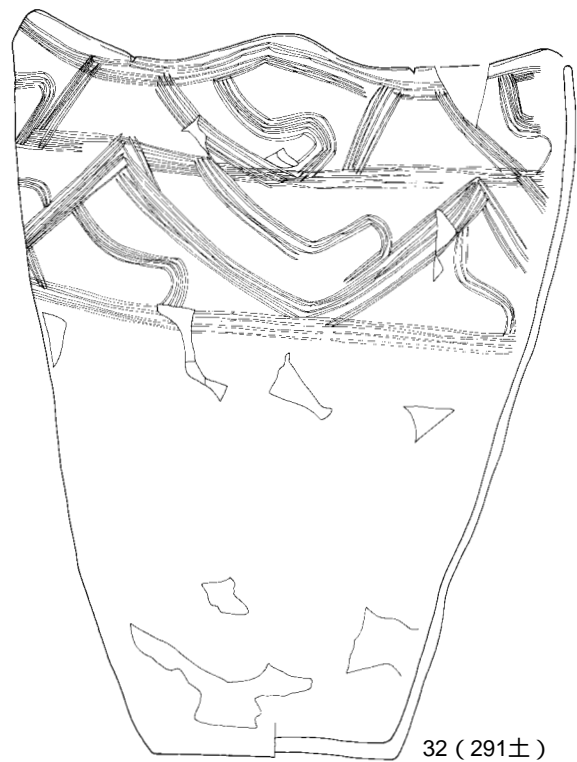
29 (252±)



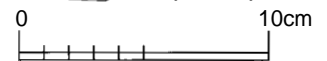
30 (253±)



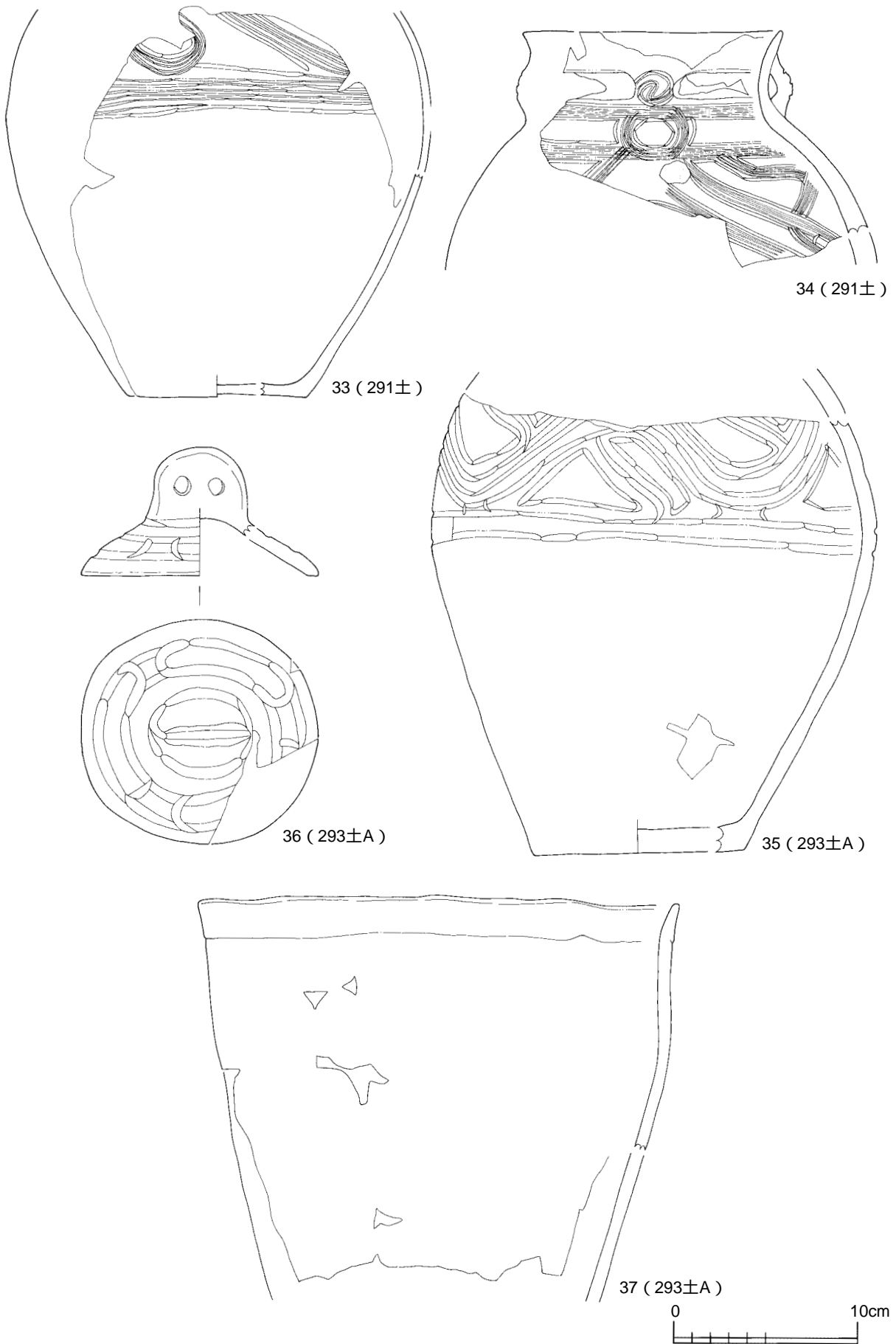
31 (274±)



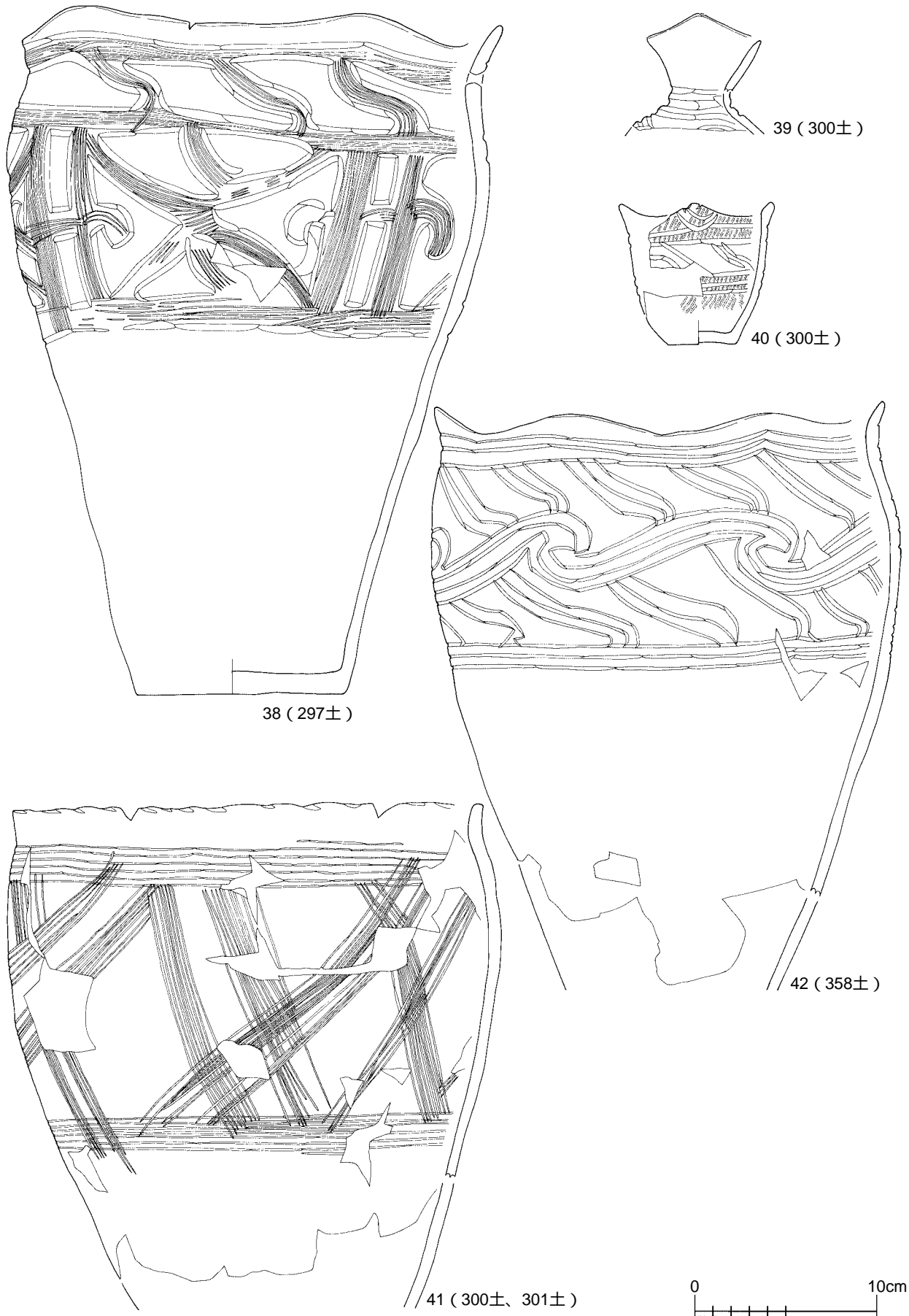
32 (291±)



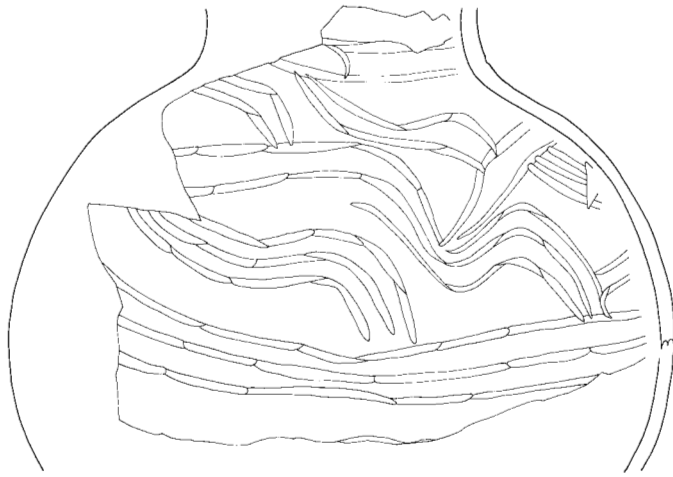
第169図 遺構内出土土(土坑)(6)



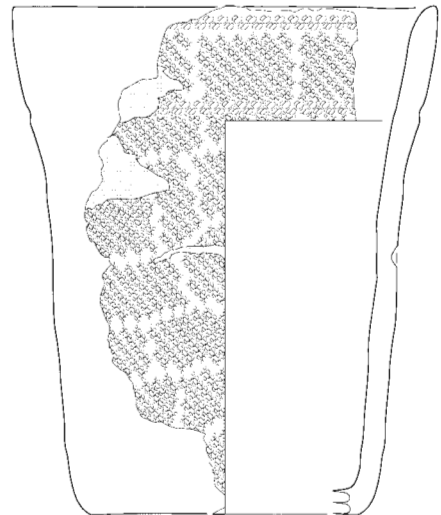
第170図 遺構内出土土器(土坑)(7)



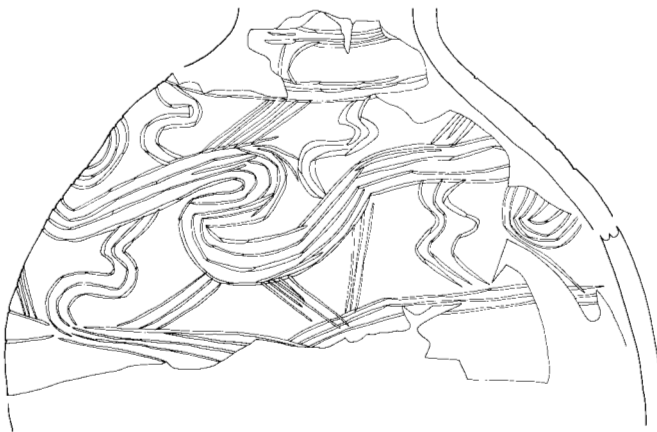
第171図 遺構内出土土器(土坑)(8)



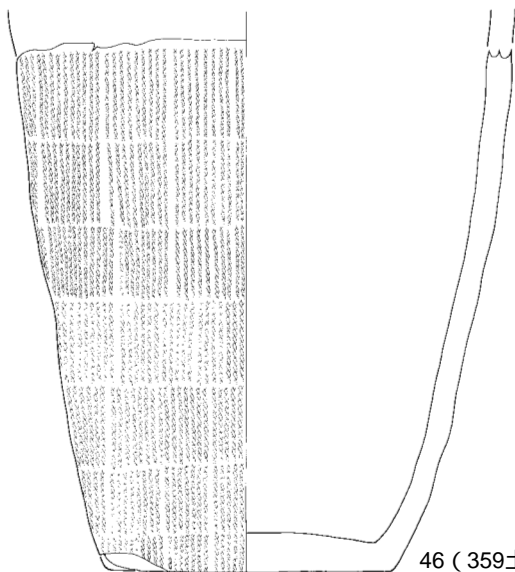
43 (358±)



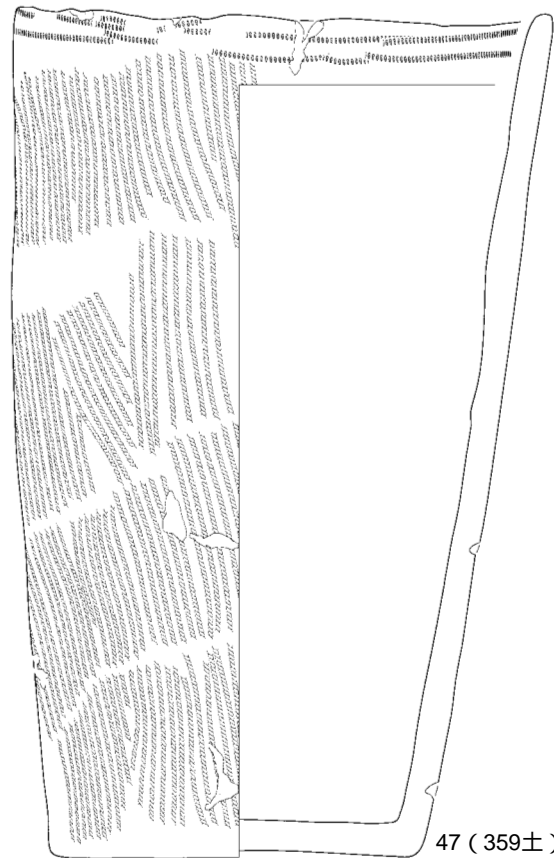
44 (358±)



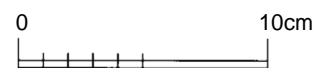
45 (358±)



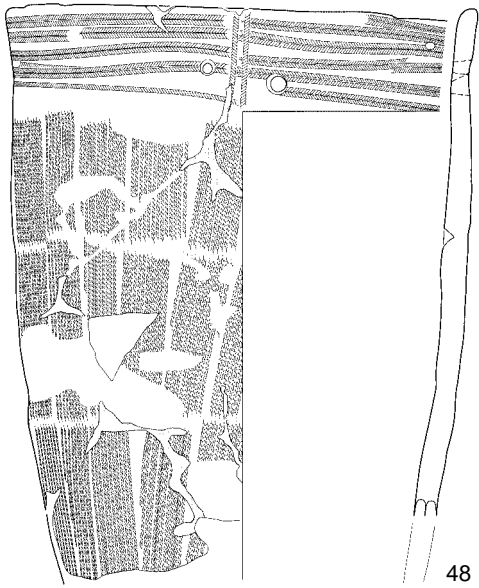
46 (359±)



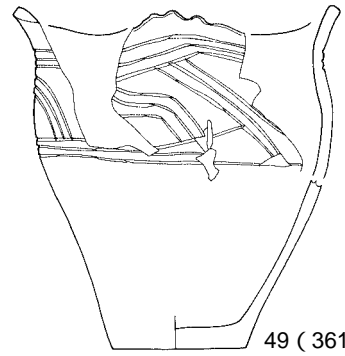
47 (359±)



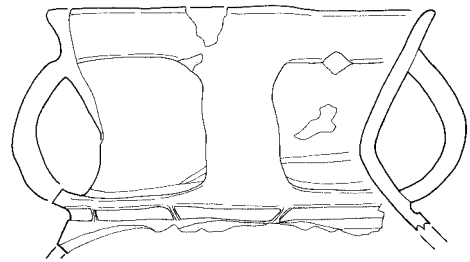
第172図 遺構内出土土器(土坑)(9)



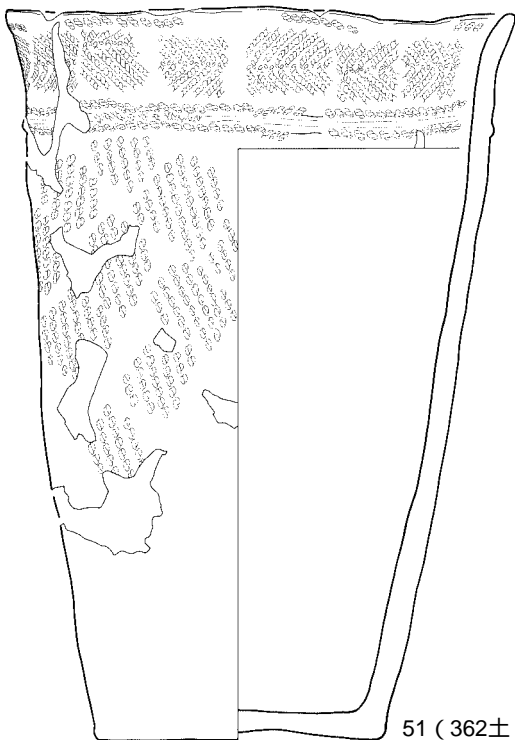
48 (359±)



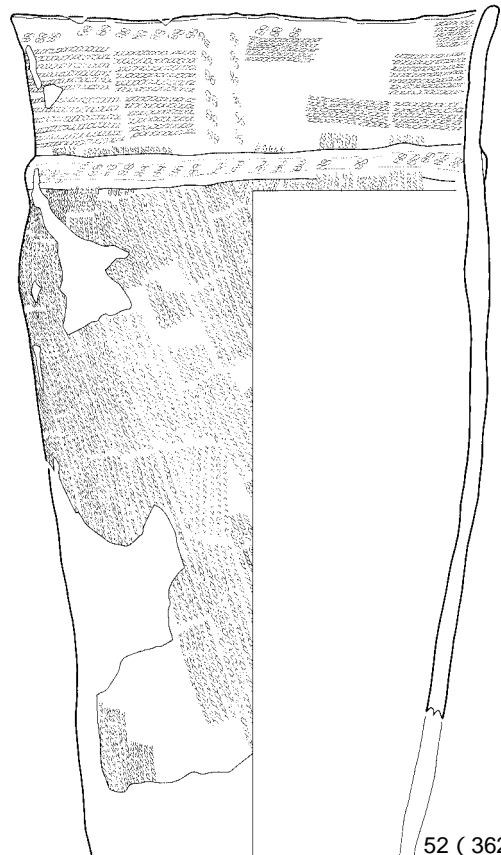
49 (361±)



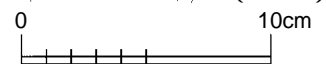
50 (361±)



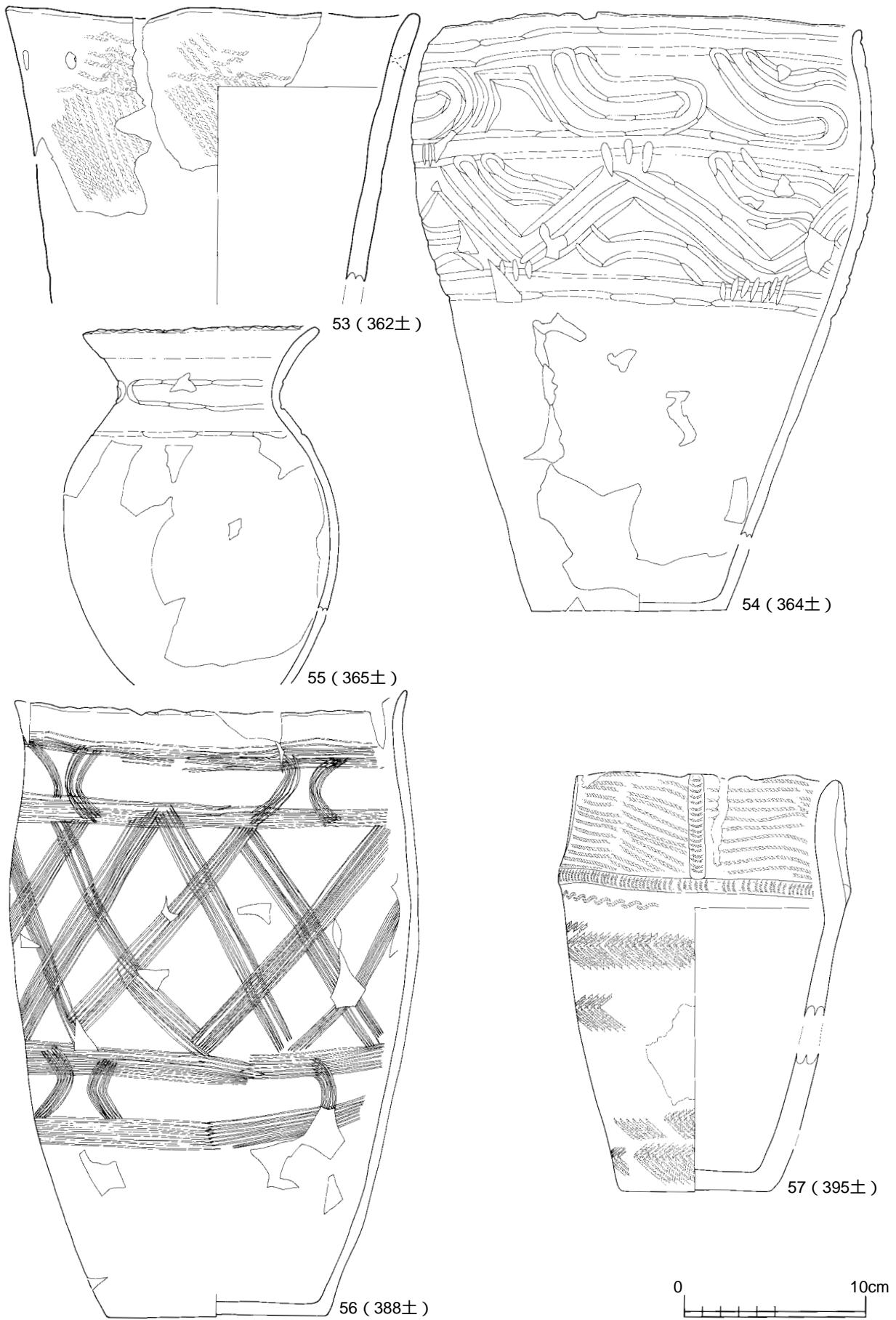
51 (362±)



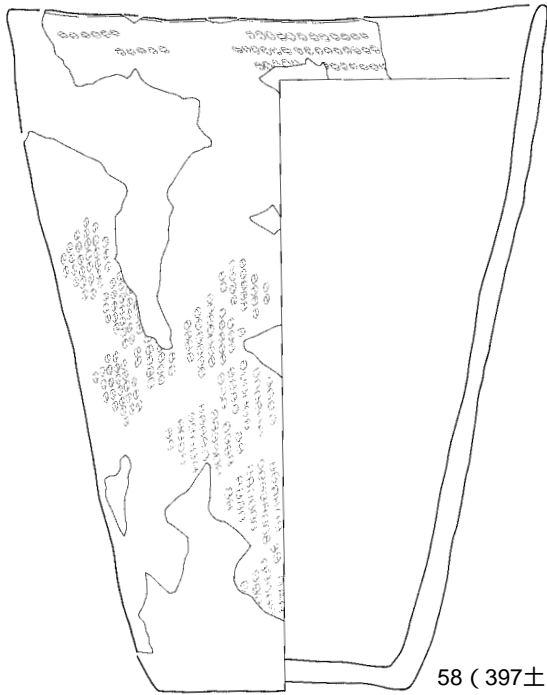
52 (362±)



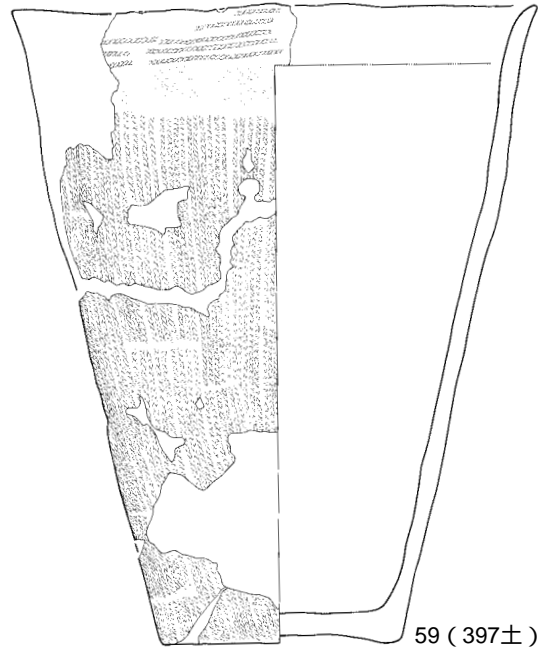
第173図 遺構内出土土器(土坑) (10)



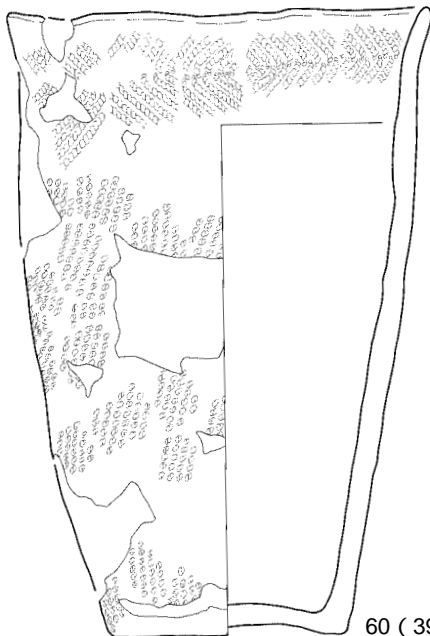
第174図 遺構内出土土器(土坑)(11)



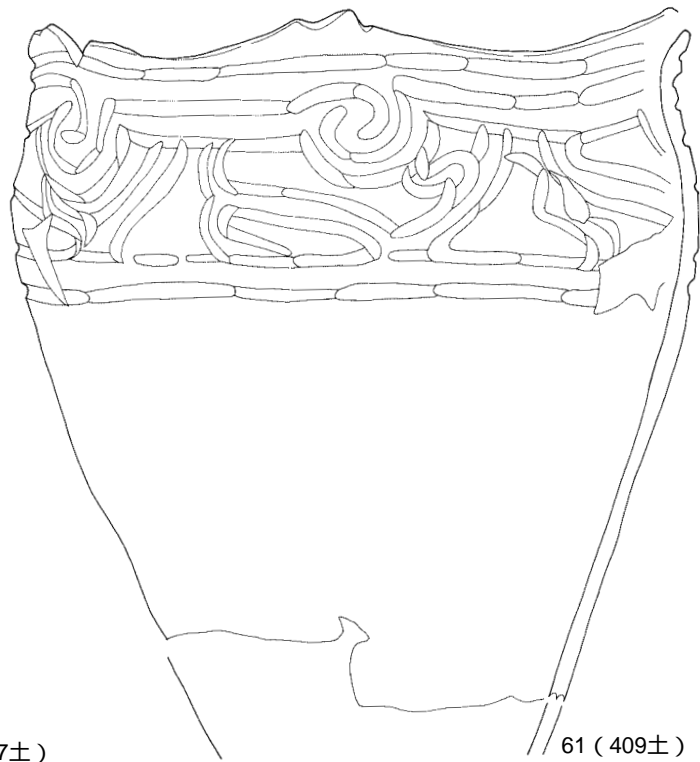
58 (397±)



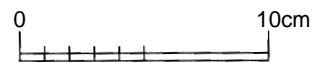
59 (397±)



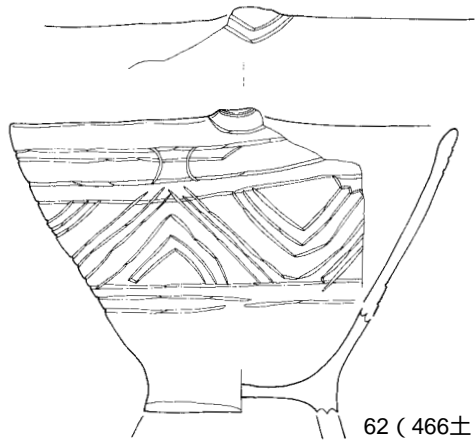
60 (397±)



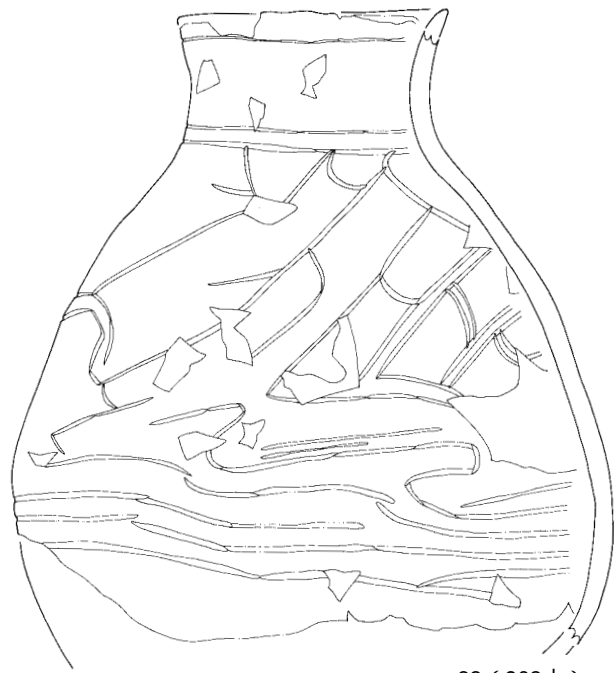
61 (409±)



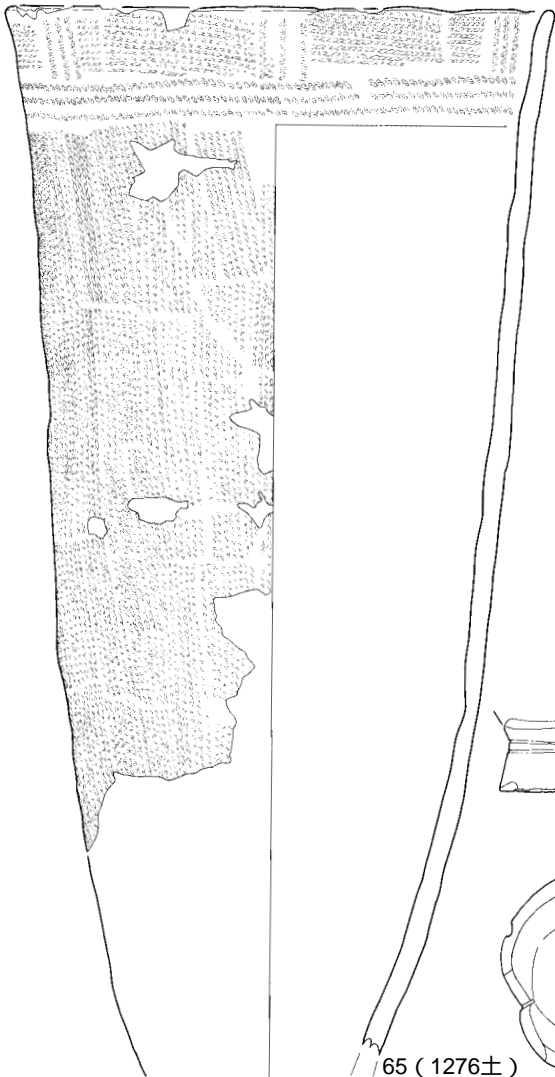
第175図 遺構内出土土器(土坑)(12)



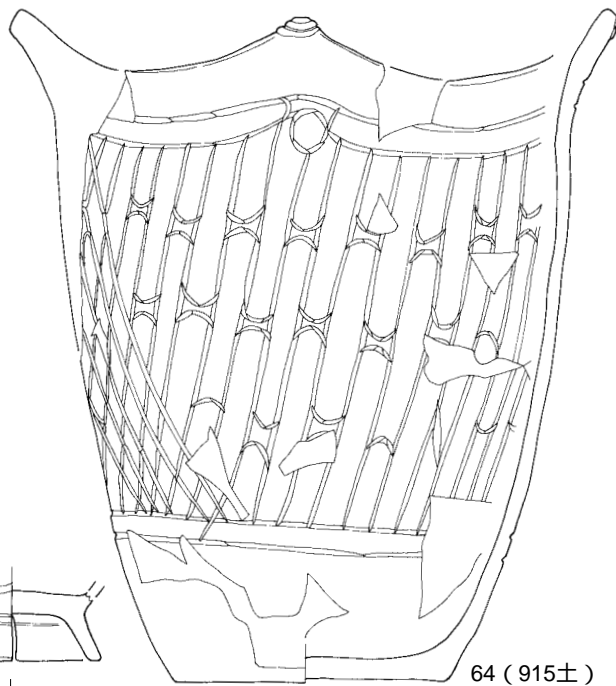
62 (466土)



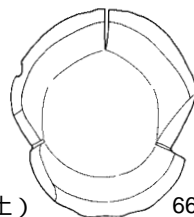
63 (903土)



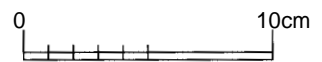
65 (1276土)



64 (915土)

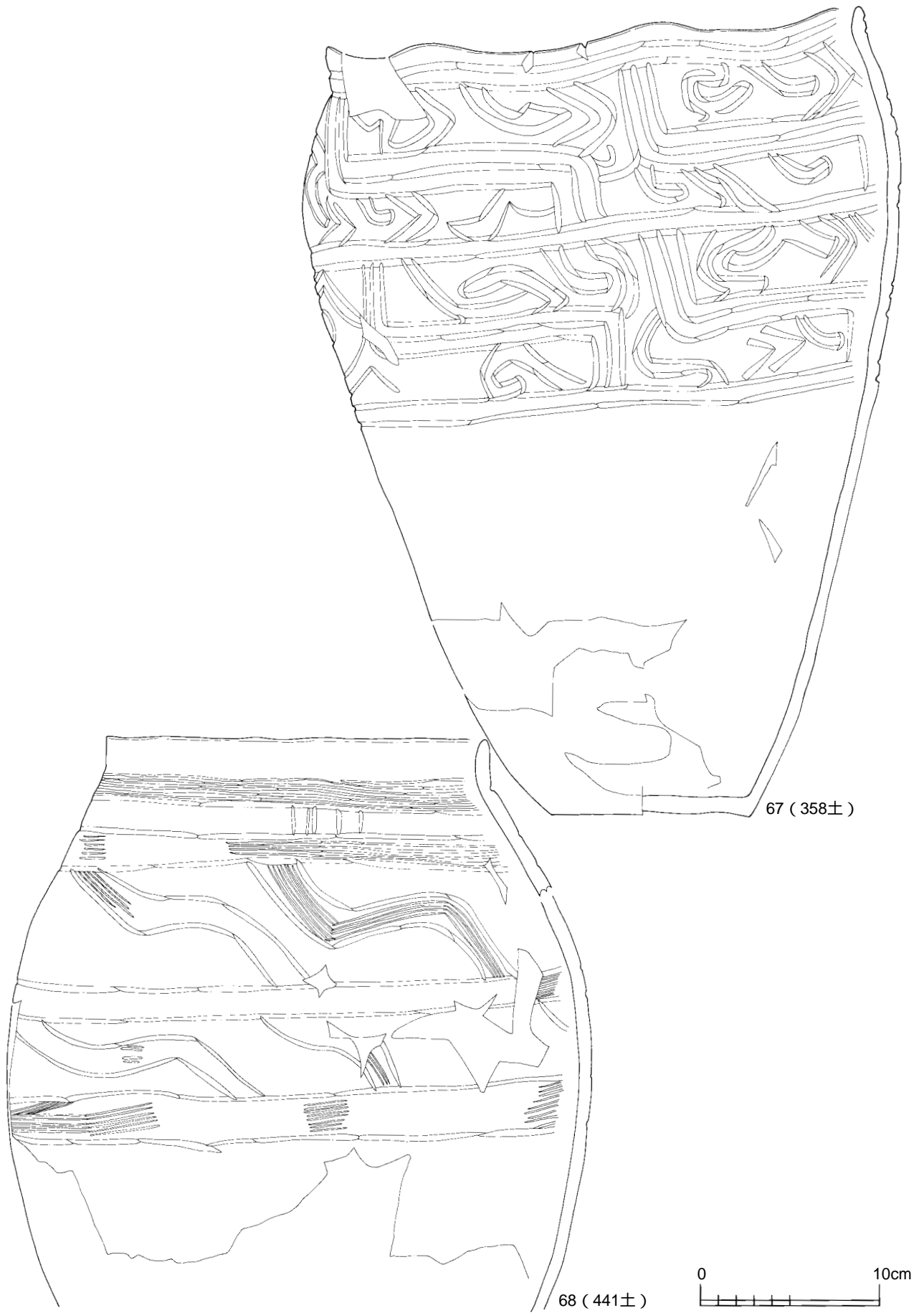


66 (1277土)

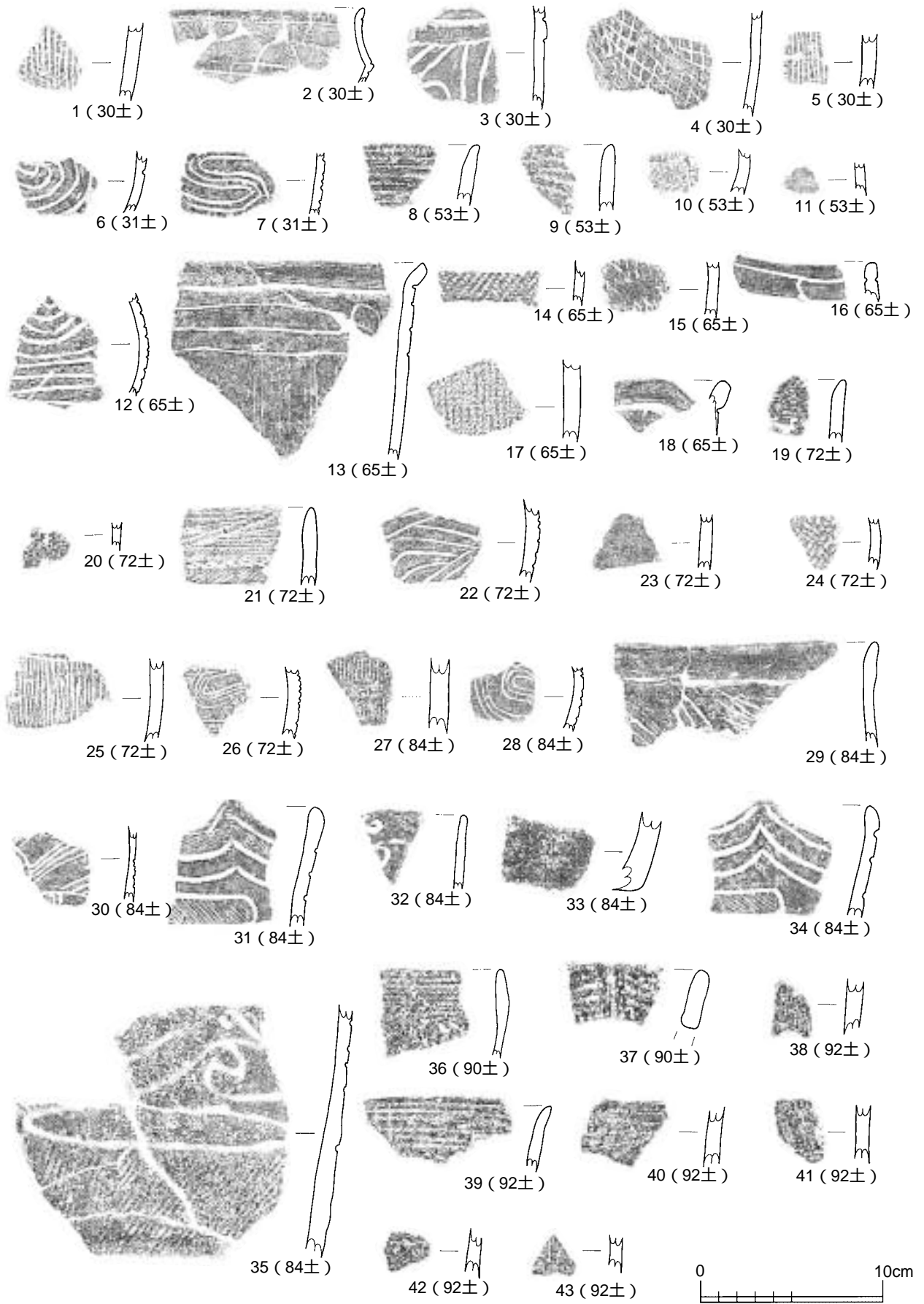


第176図 遺構内出土土器(土坑) (13)

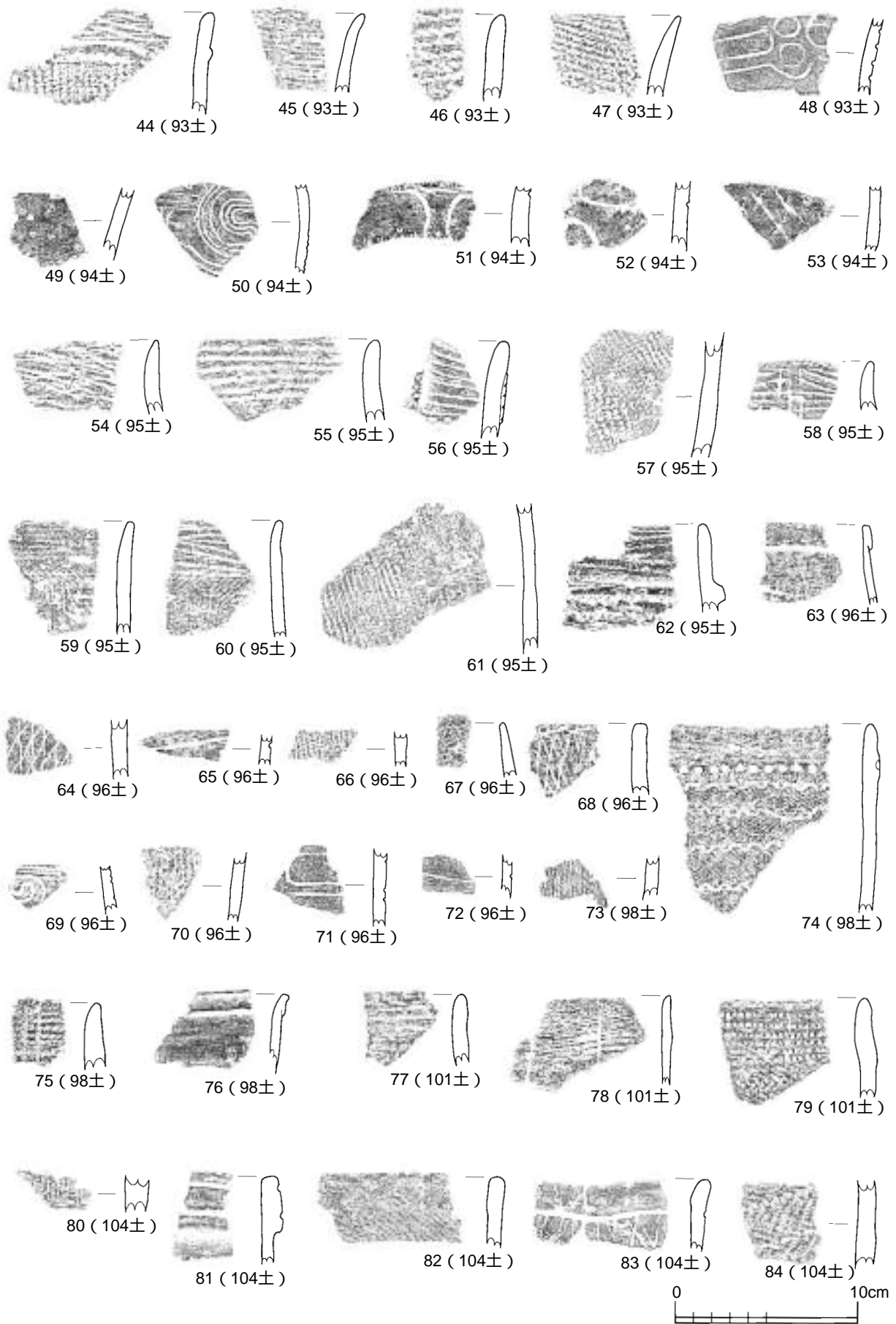




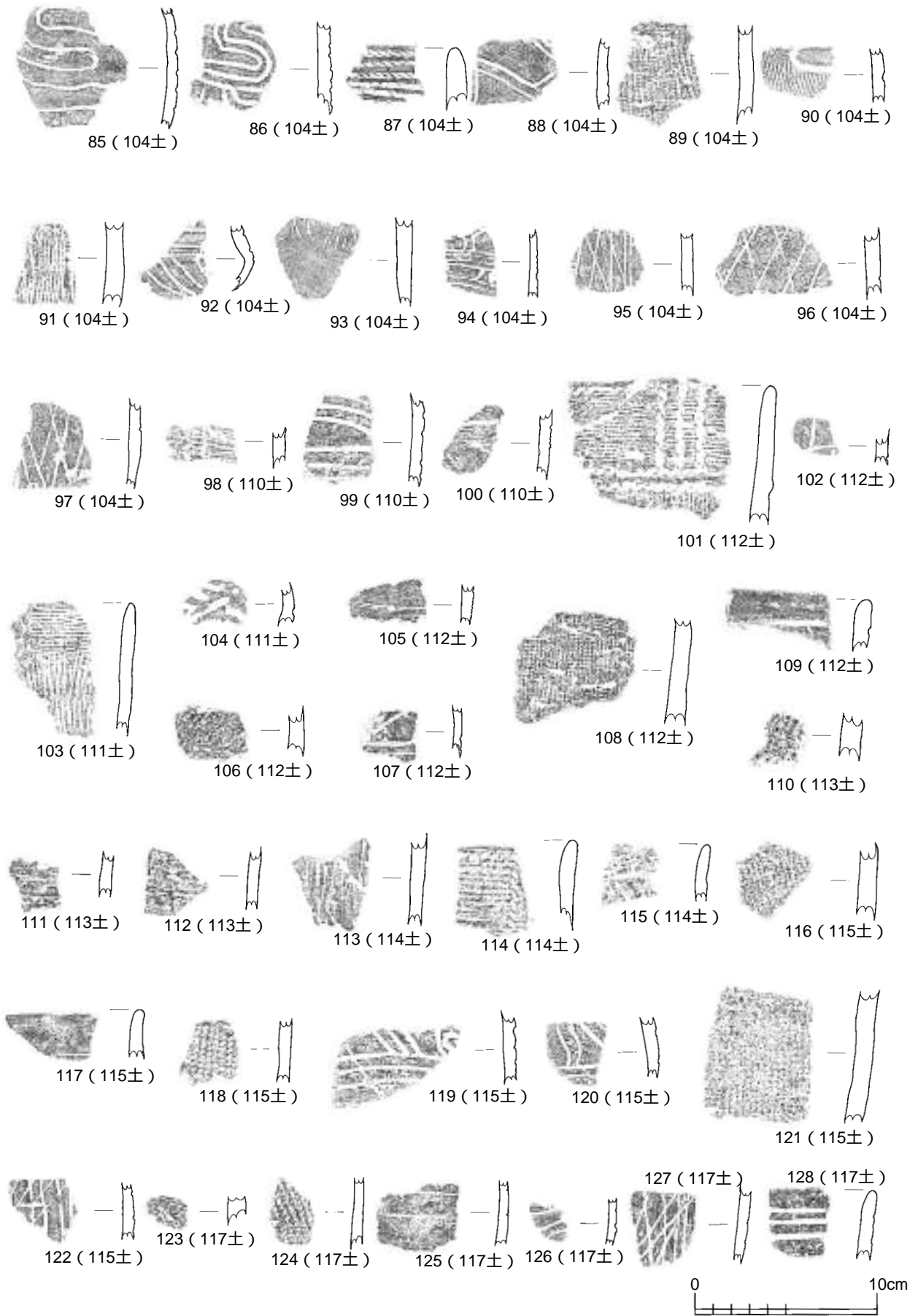
第177図 遺構内出土土器（土坑）(14)



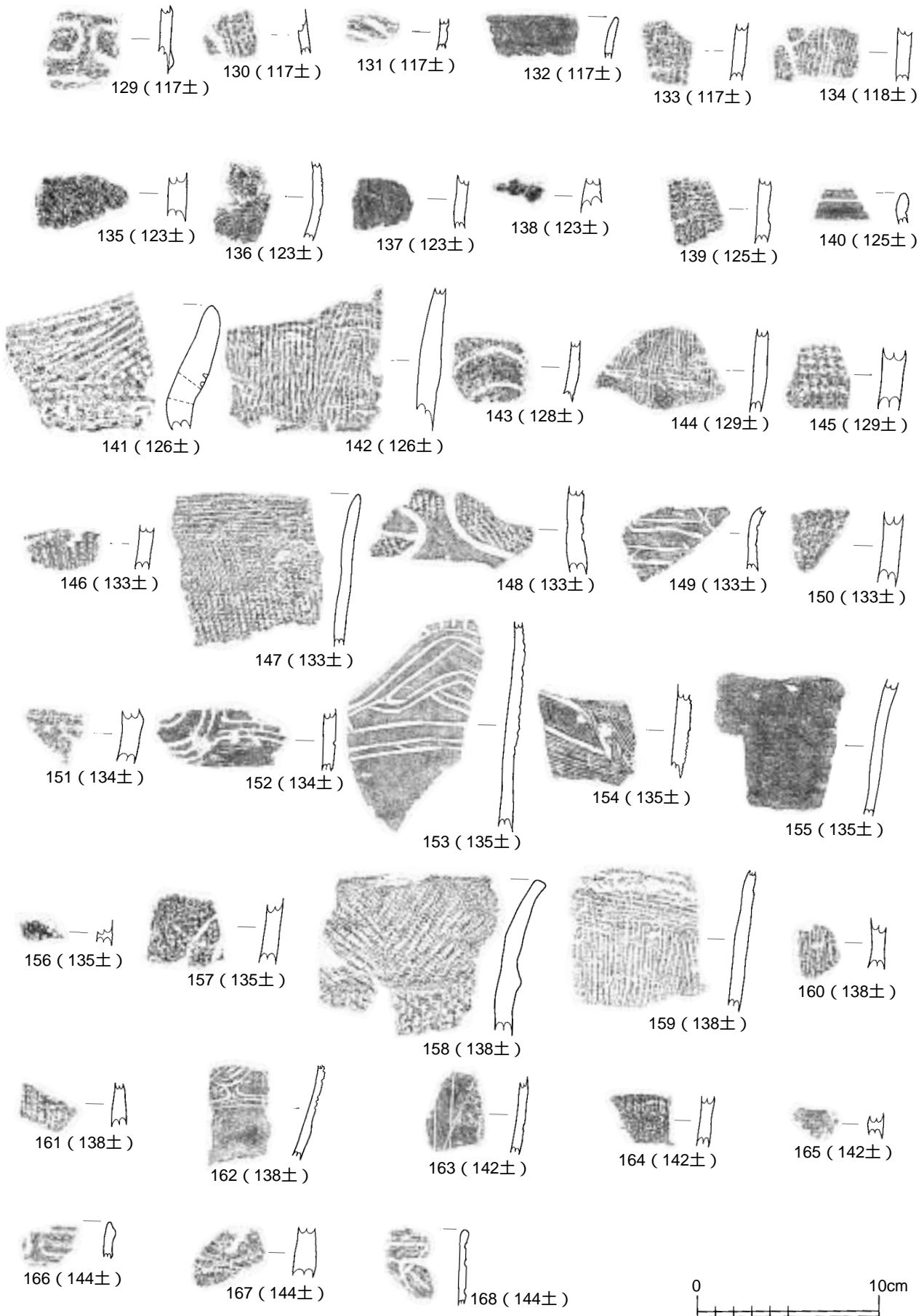
第178図 遺構内出土土器(土坑)(15)



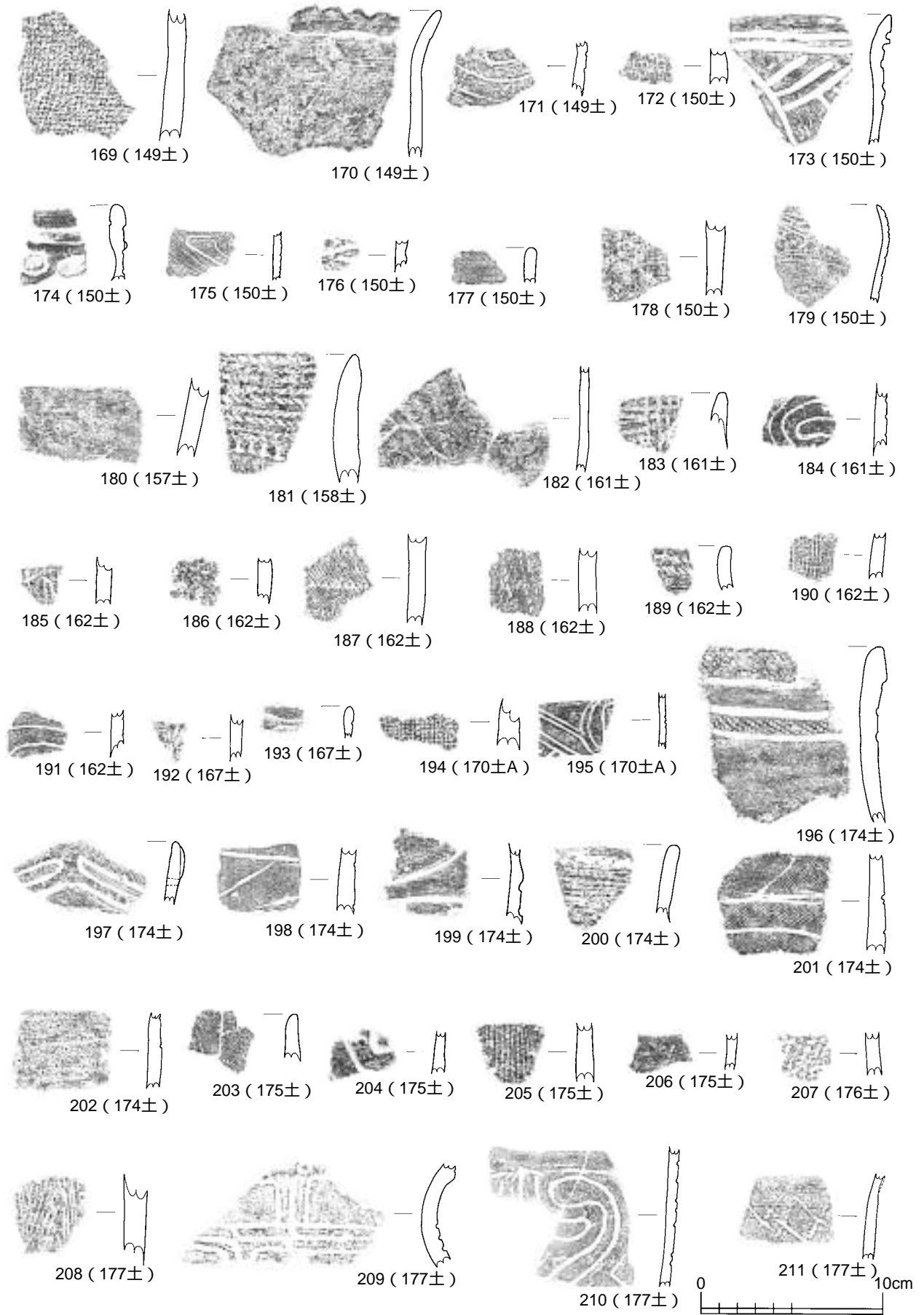
第179図 遺構内出土土器(土坑)(16)



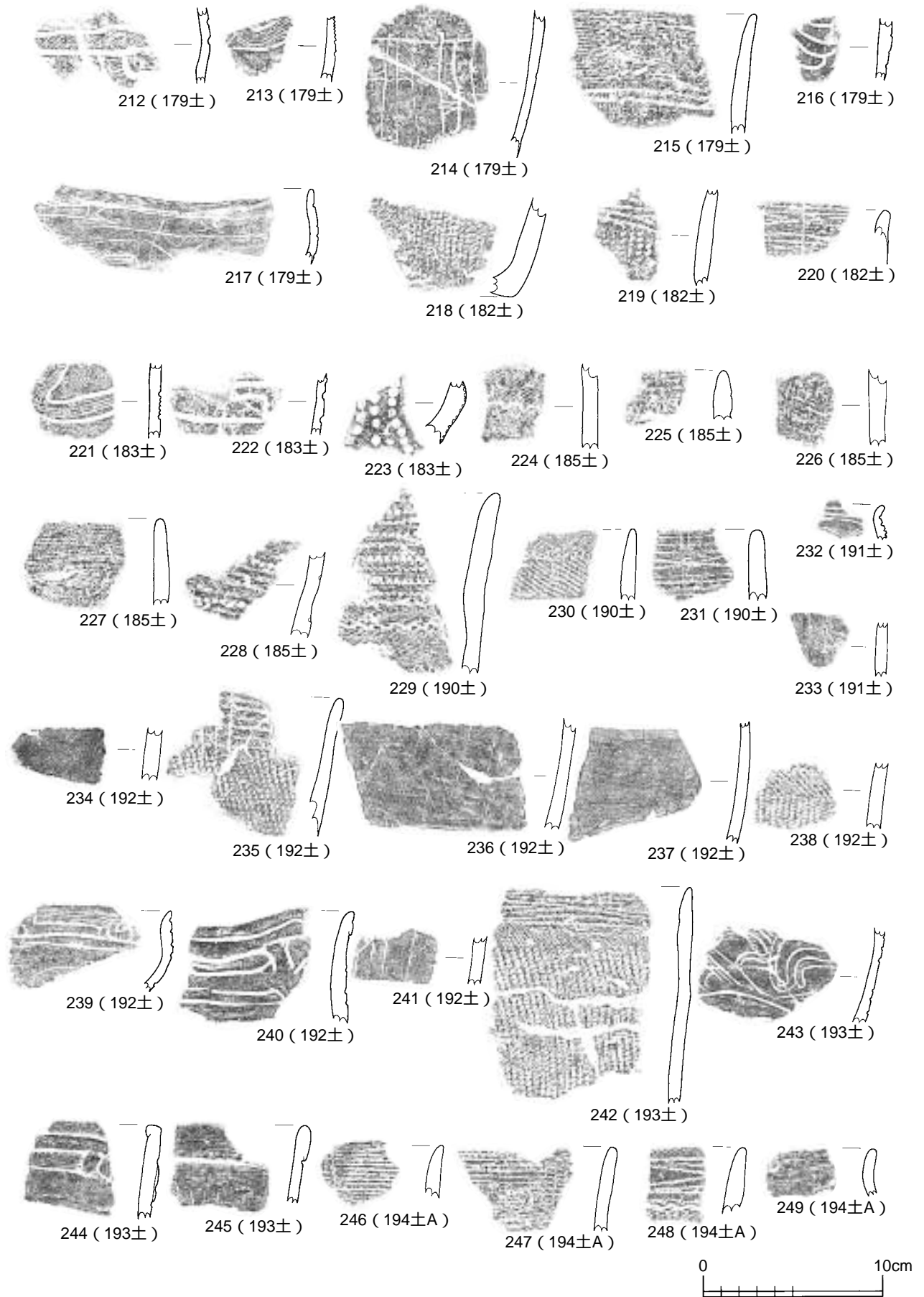
第180図 遺構内出土土器(土坑)(17)



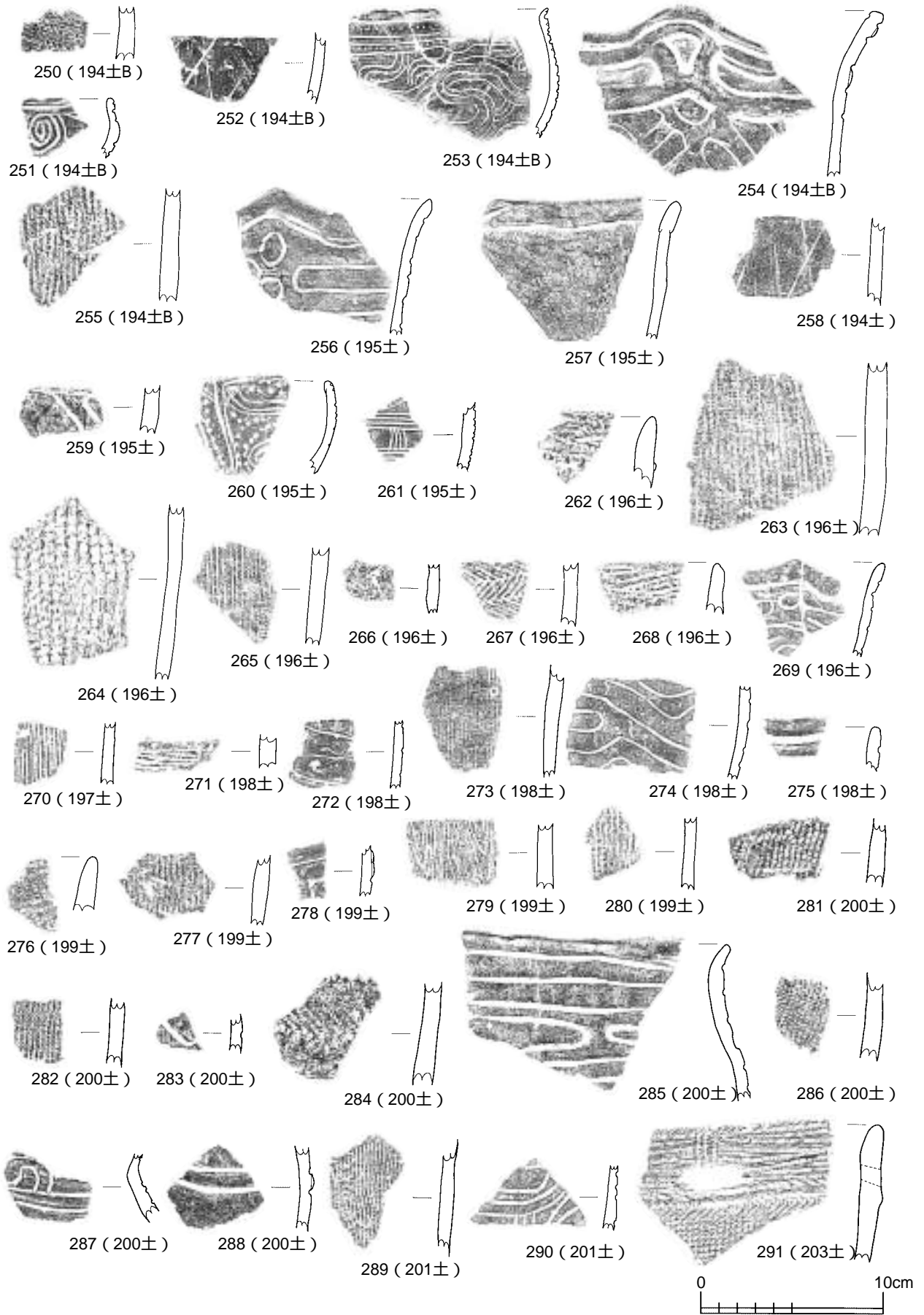
第181図 遺構内出土土器(土坑)(18)



第182図 遺構内出土土器(土坑)19

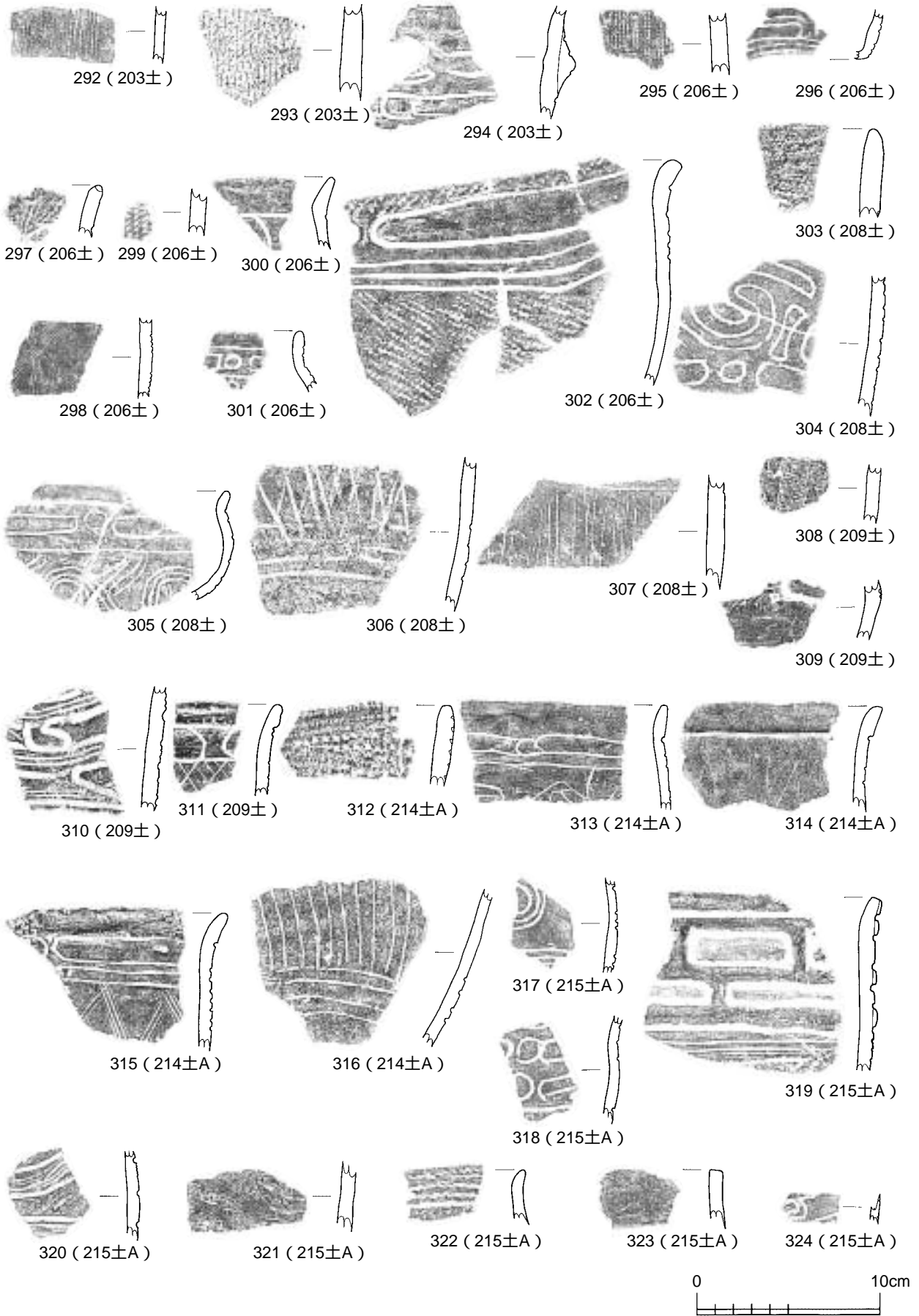


第183図 遺構内出土土器(土坑) (20)

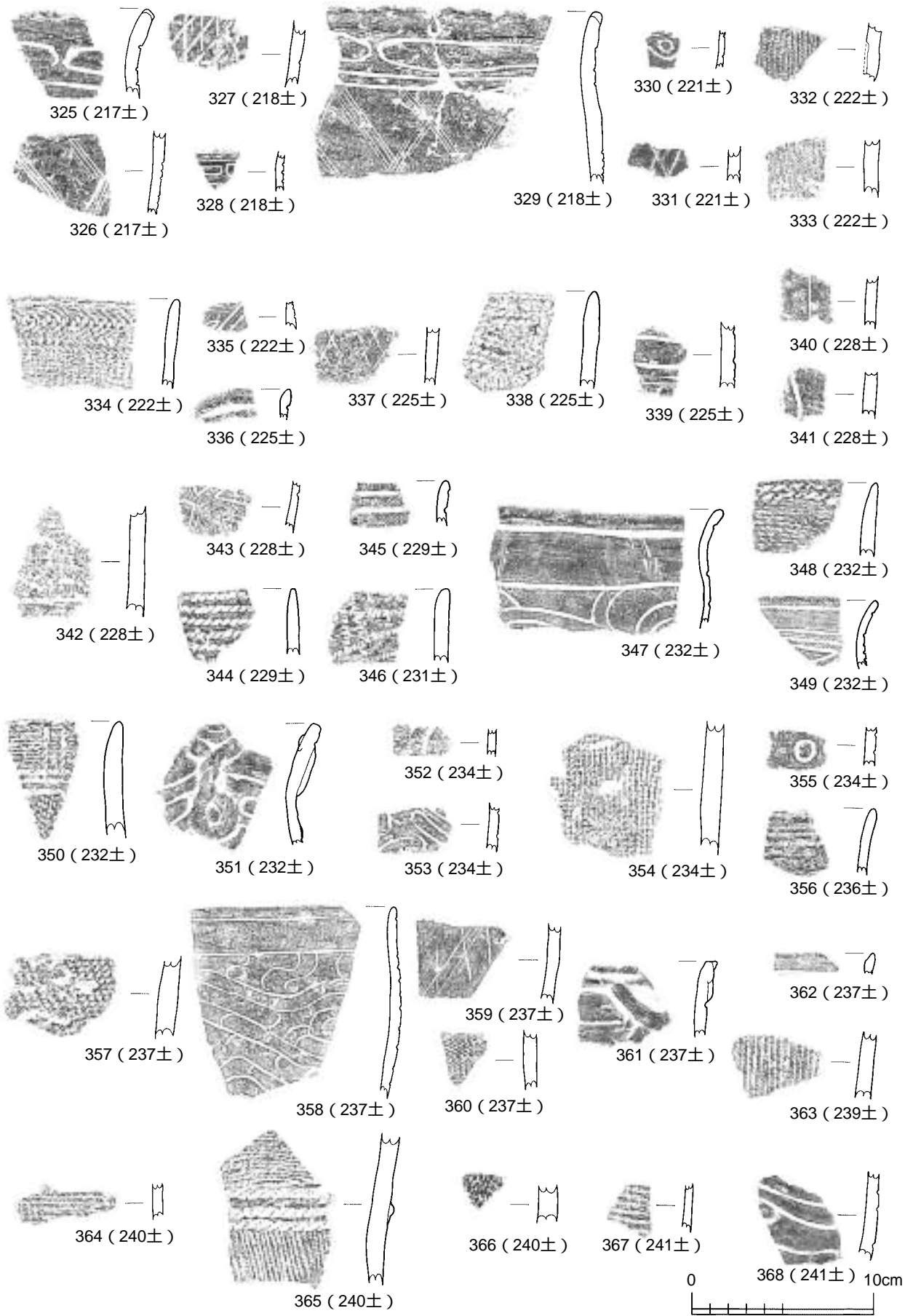


第184図 遺構内出土土器(土坑)(21)

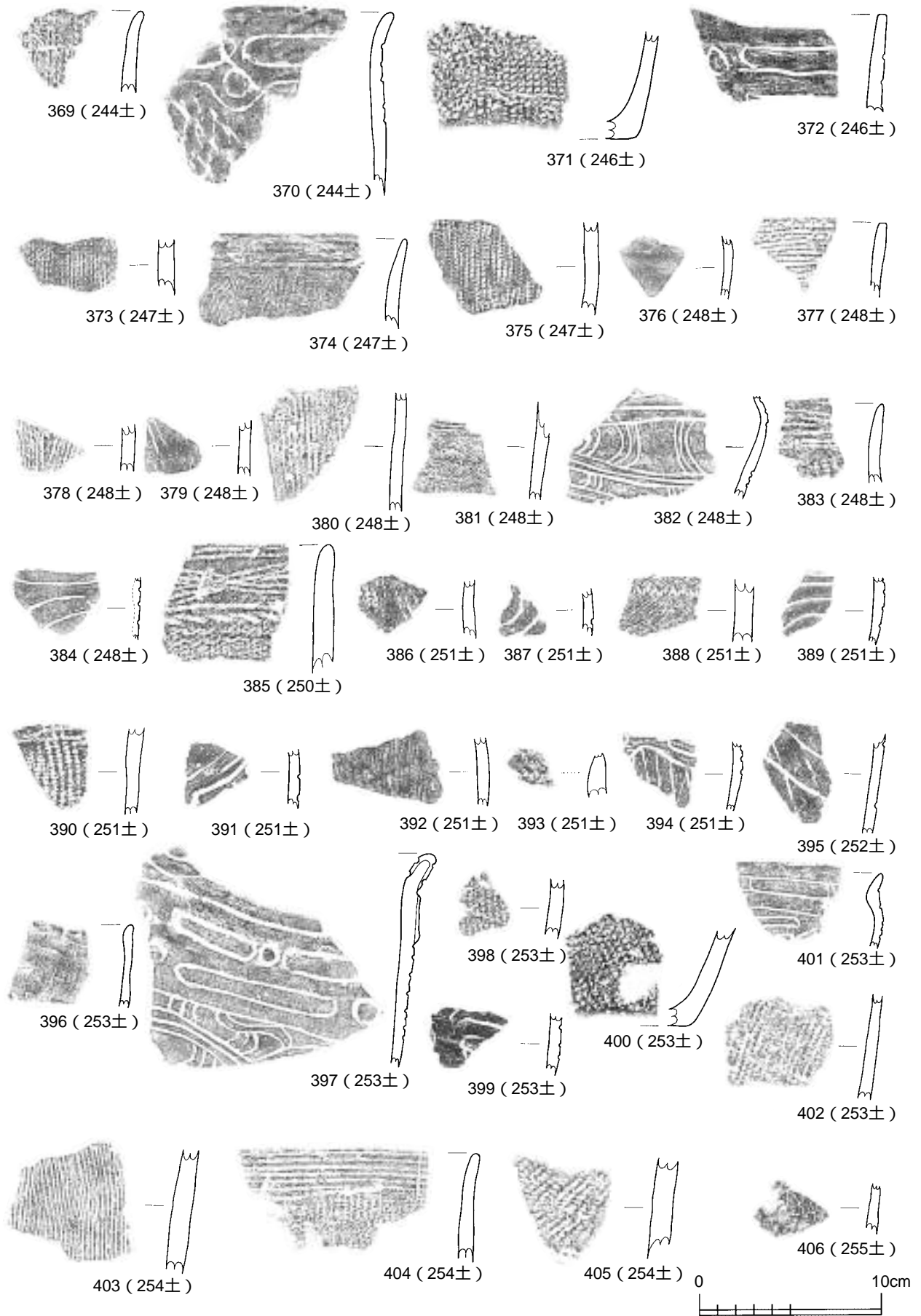




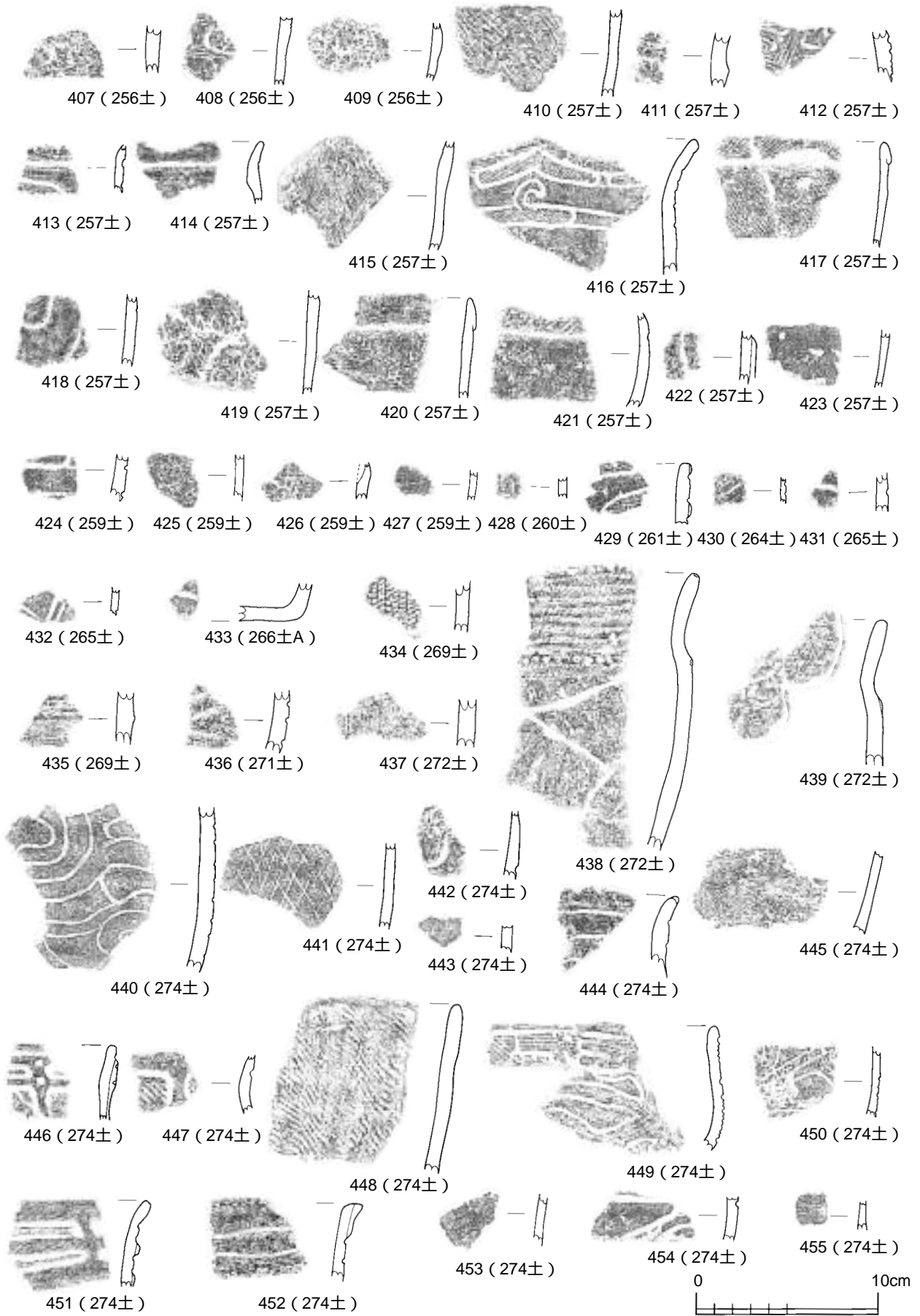
第185図 遺構内出土土器(土坑) (22)



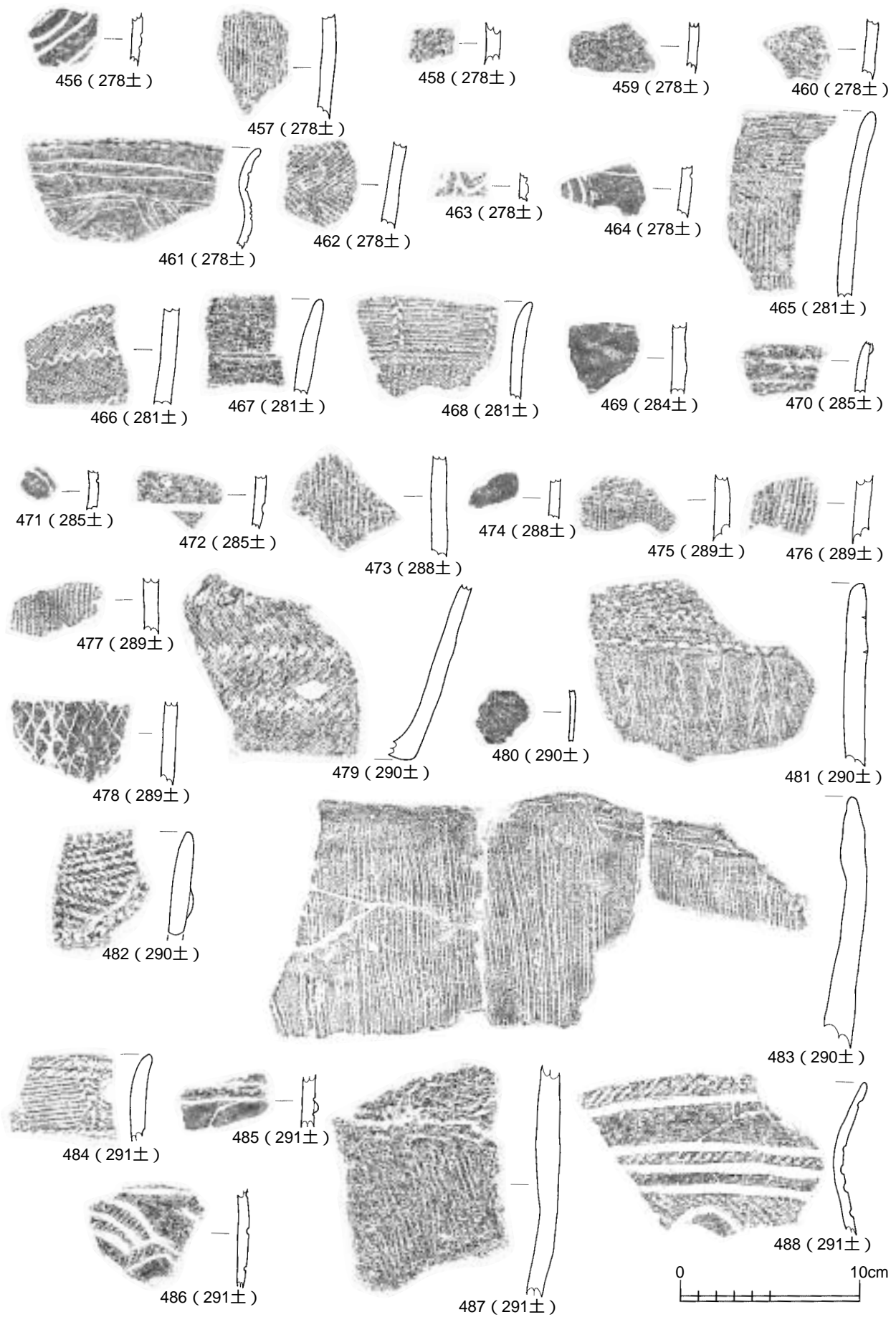
第186図 遺構内出土土器(土坑) (23)



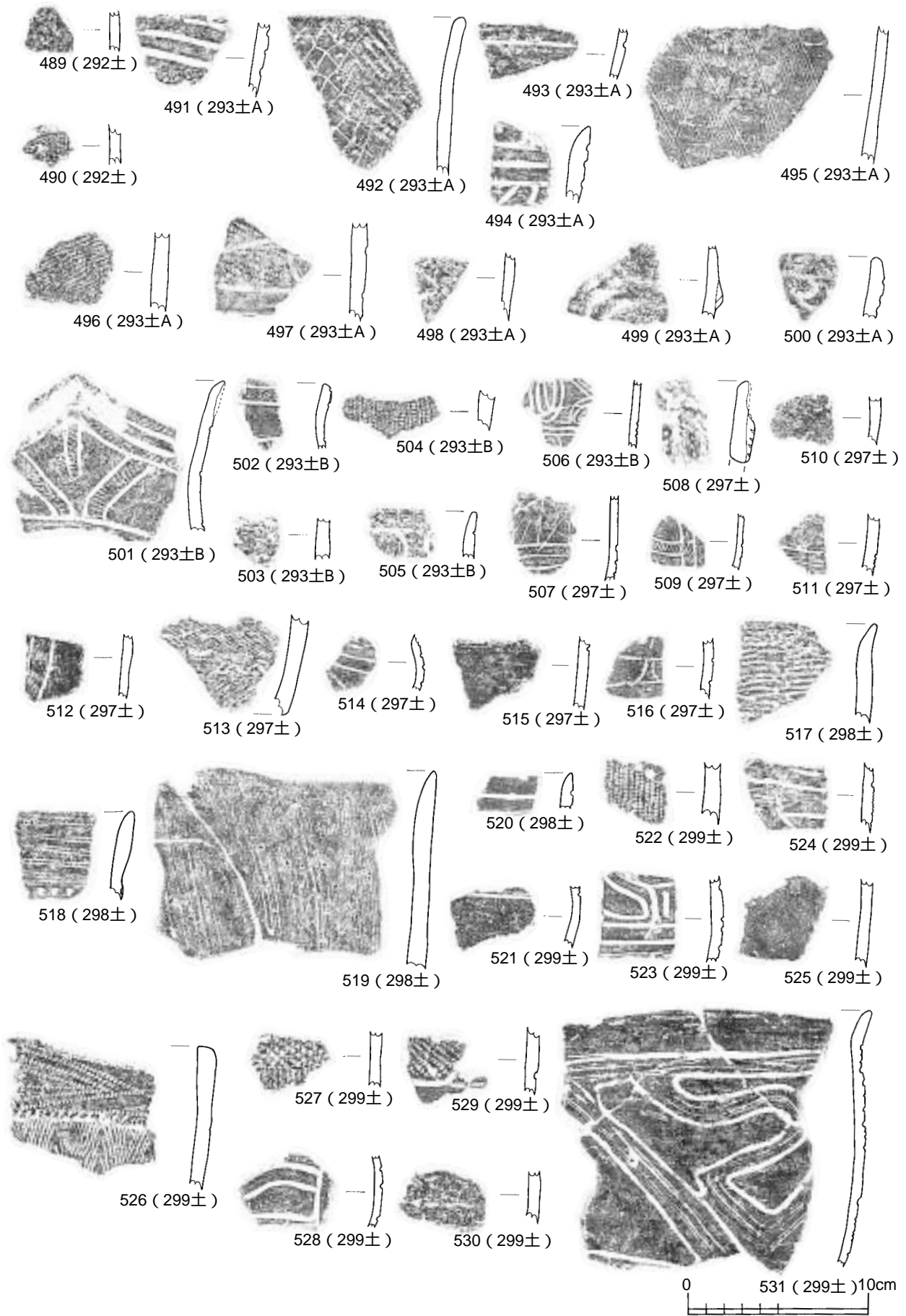
第187図 遺構内出土土器(土坑)(24)



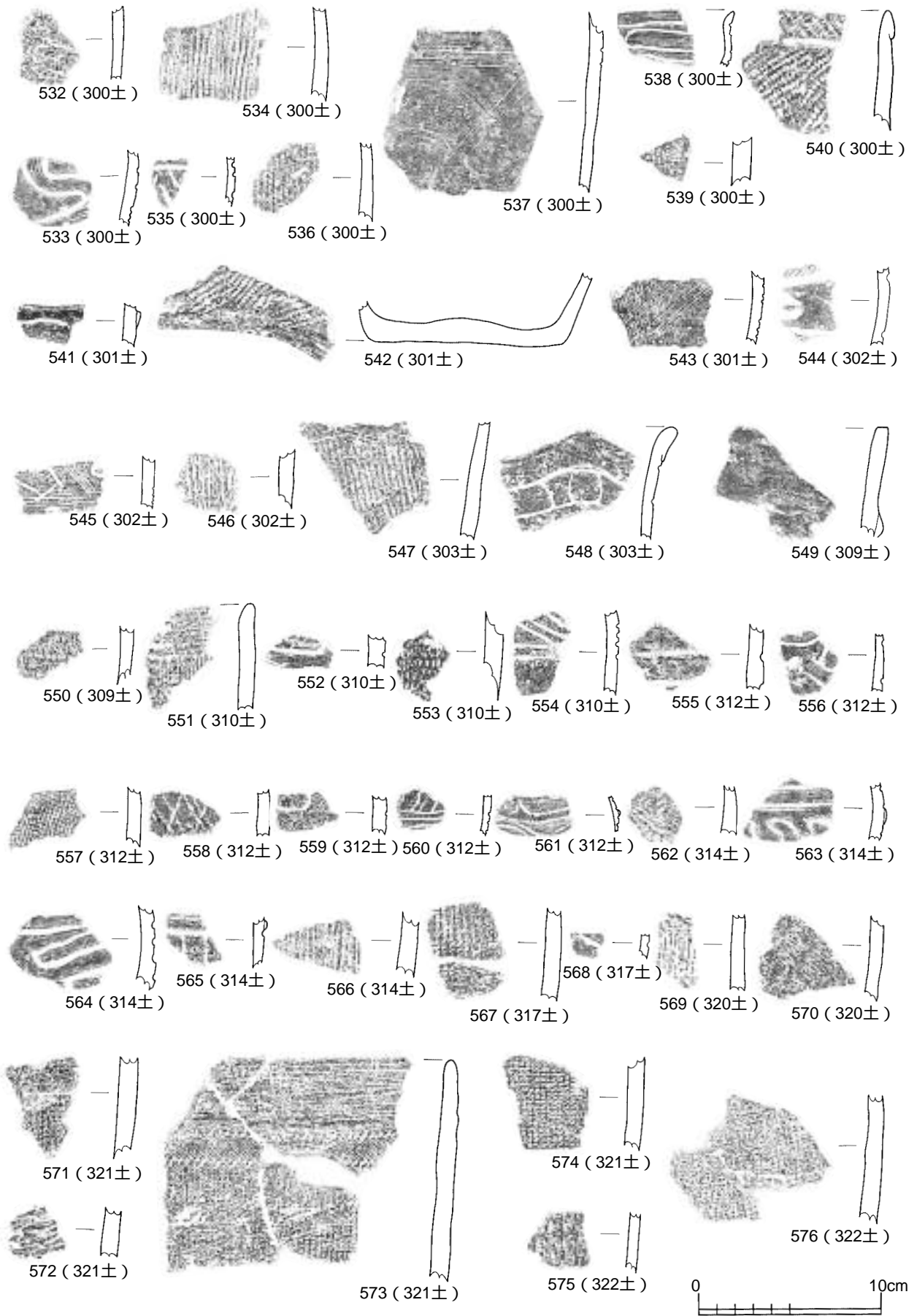
第188図 遺構内出土土器(土坑) (25)



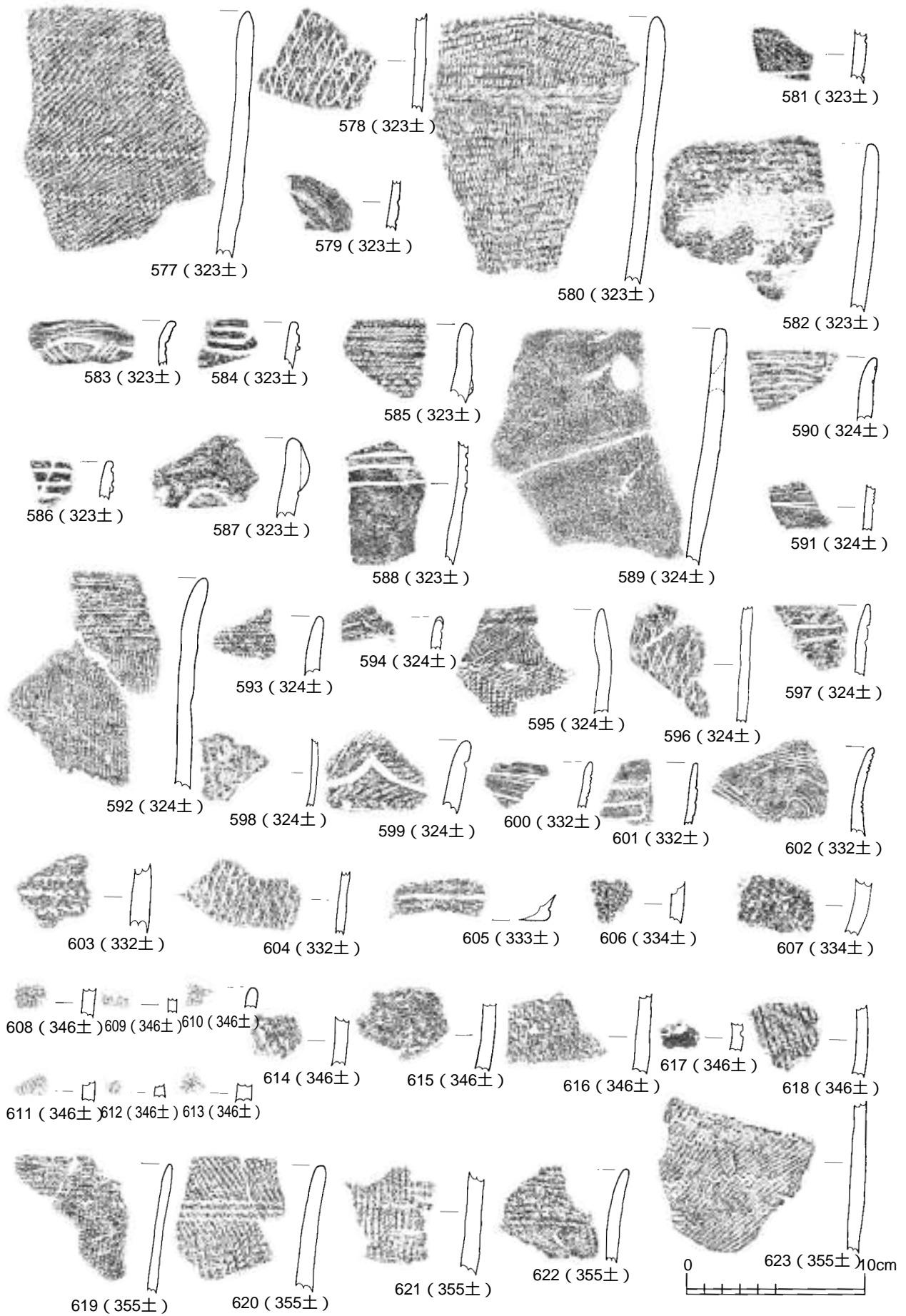
第189図 遺構内出土土器(土坑)(26)



第190図 遺構内出土土器(土坑)(27)

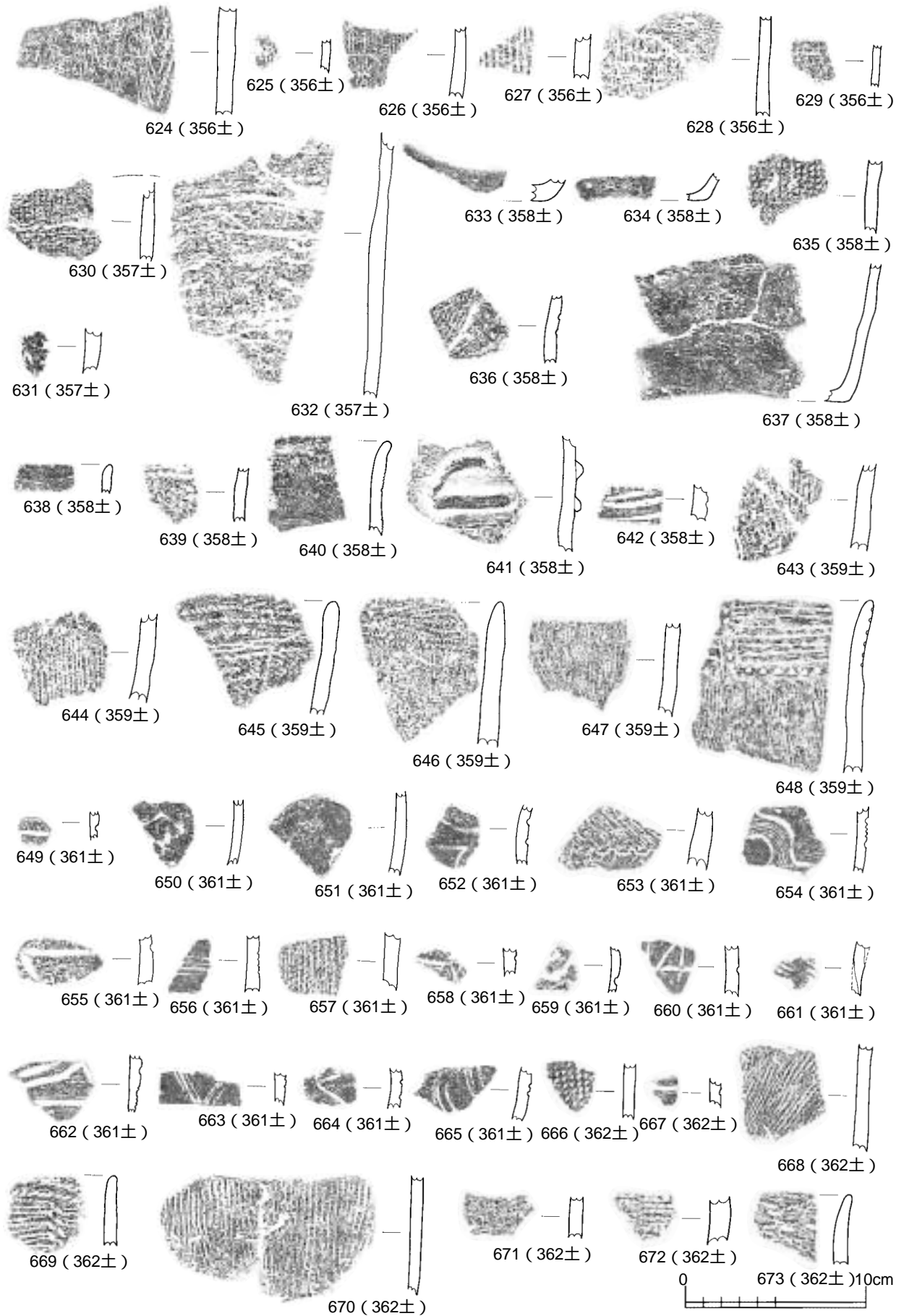


第191図 遺構内出土土器(土坑)(28)

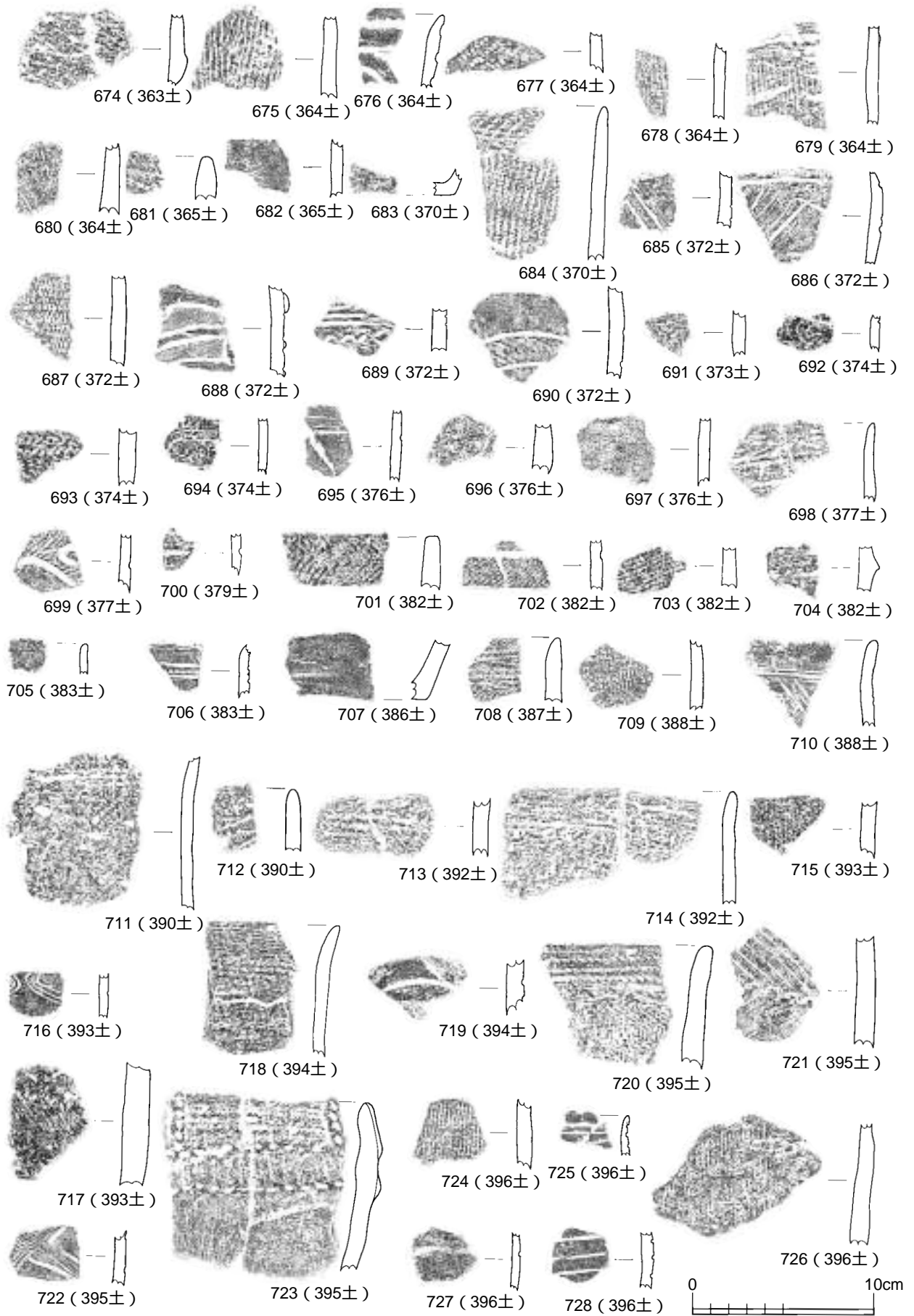


第192図 遺構内出土土器(土坑)29

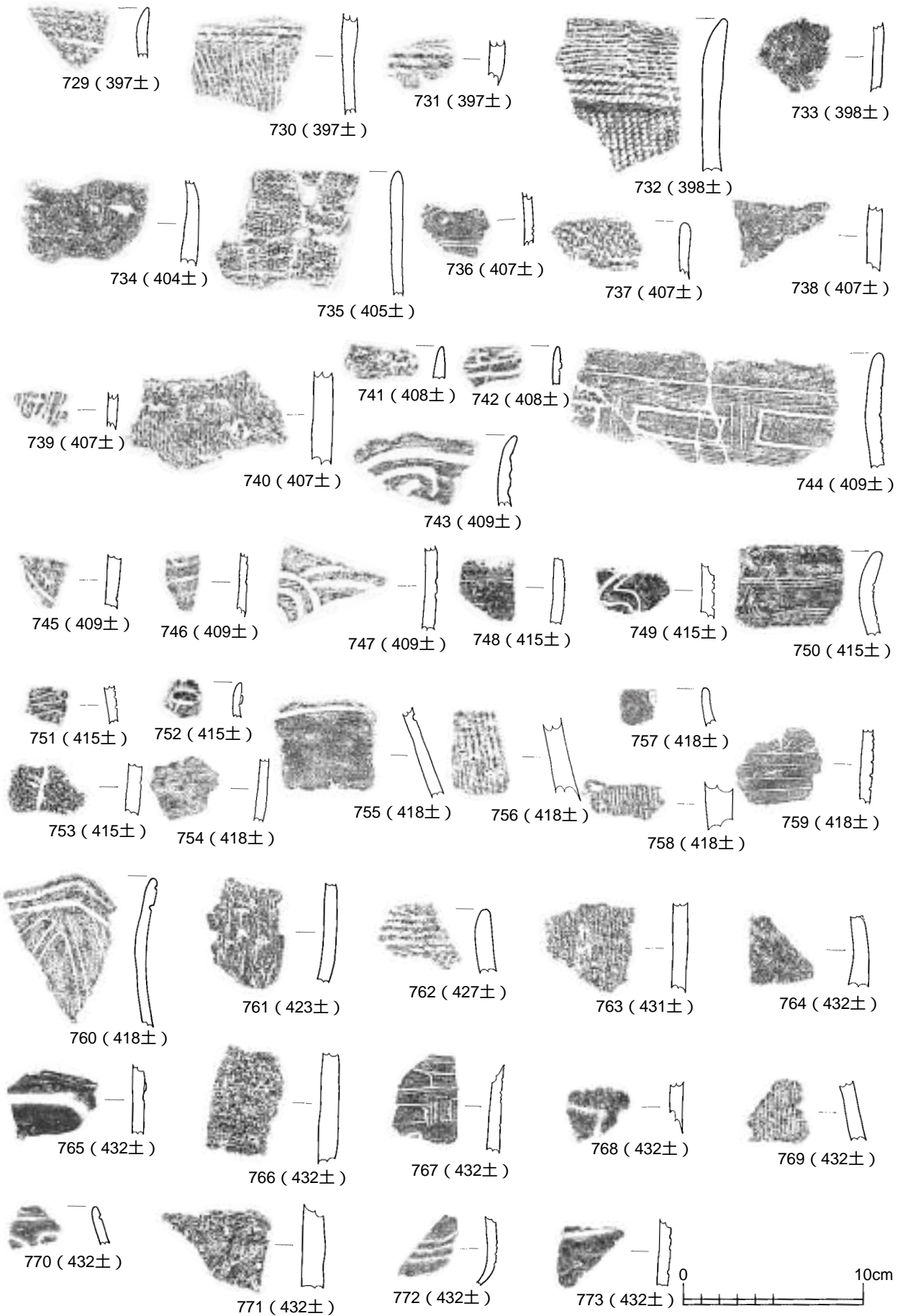




第193図 遺構内出土土器(土坑)(30)

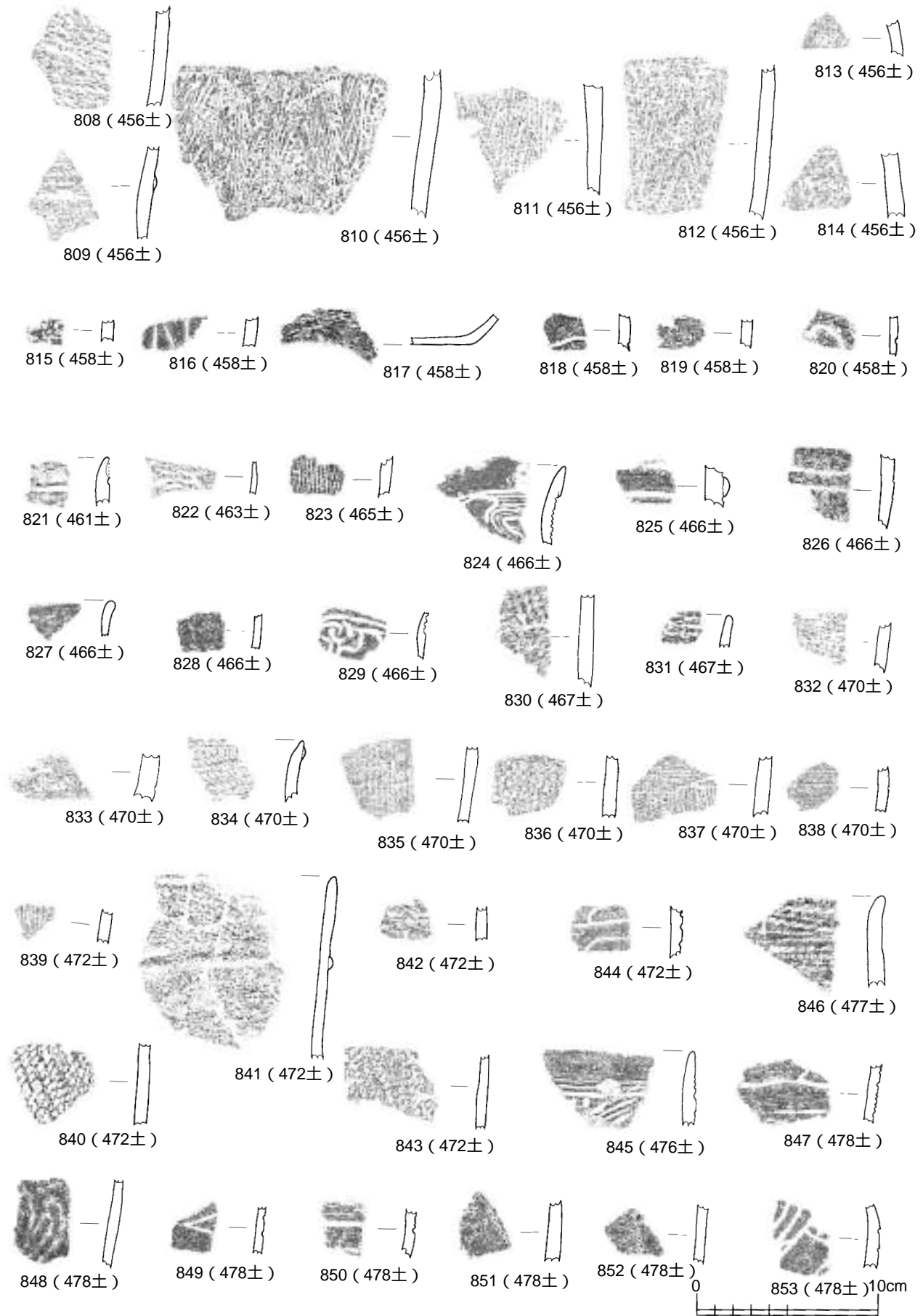


第194図 遺構内出土土器(土坑)(31)

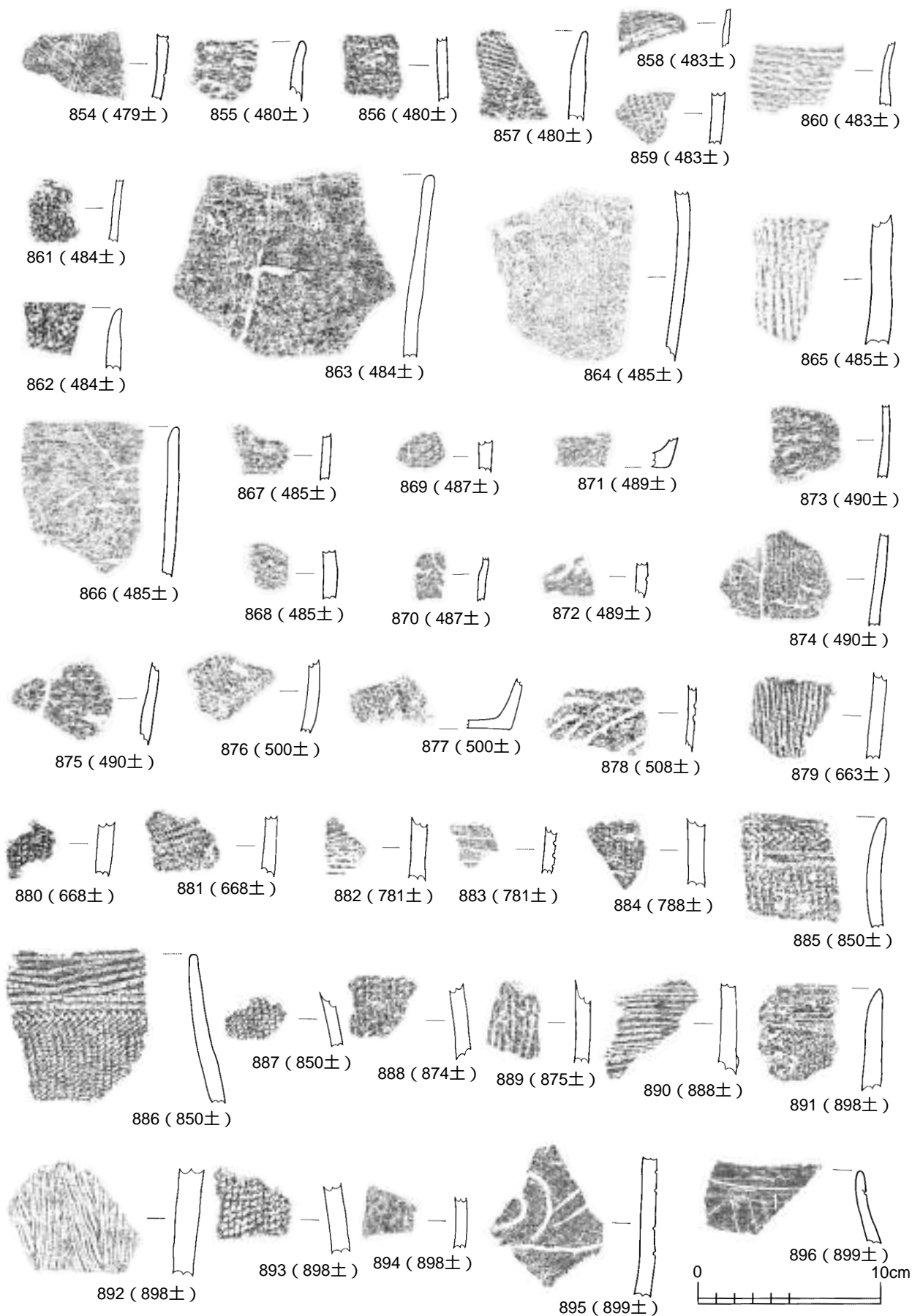


第195図 遺構内出土土器(土坑)32

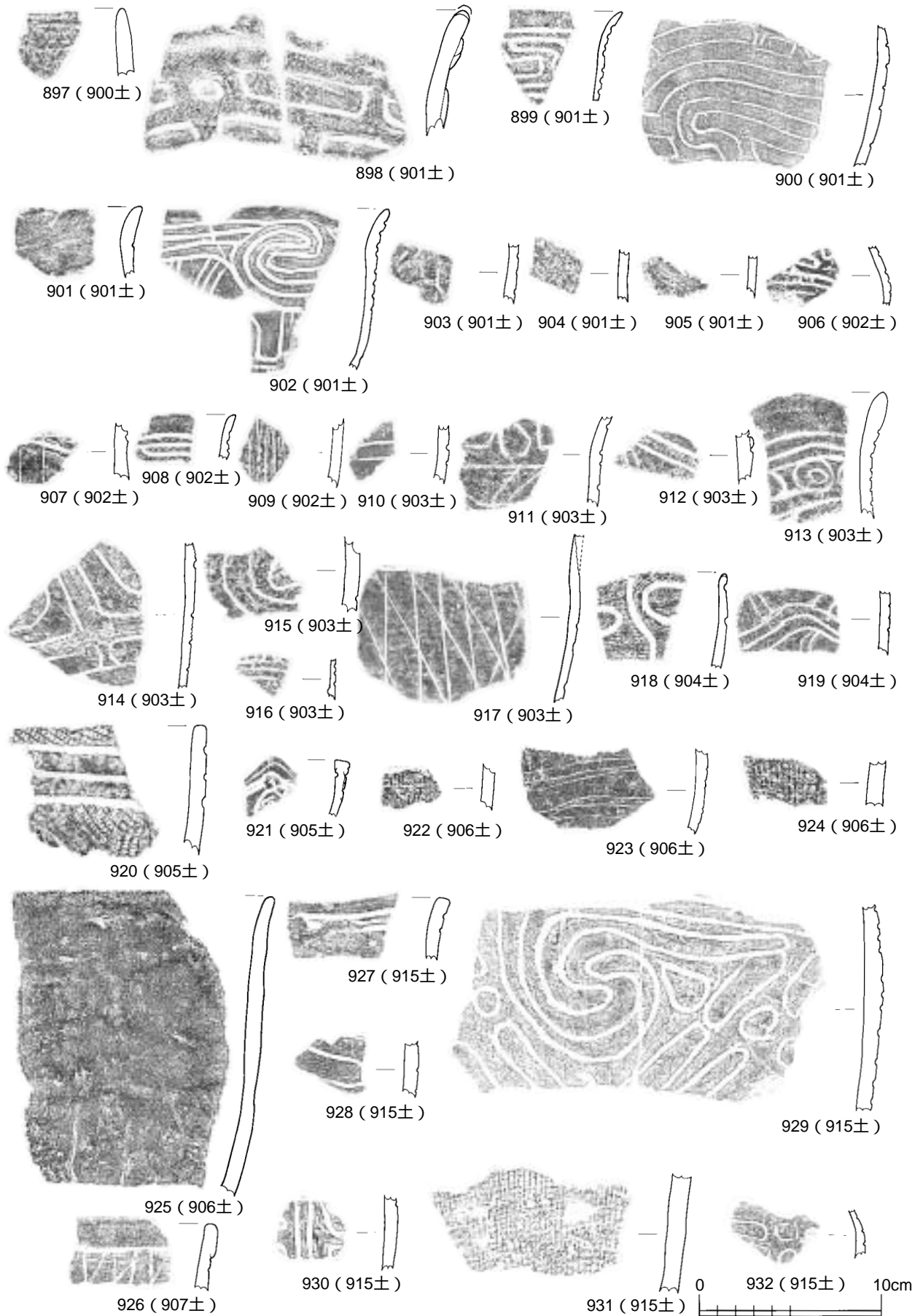




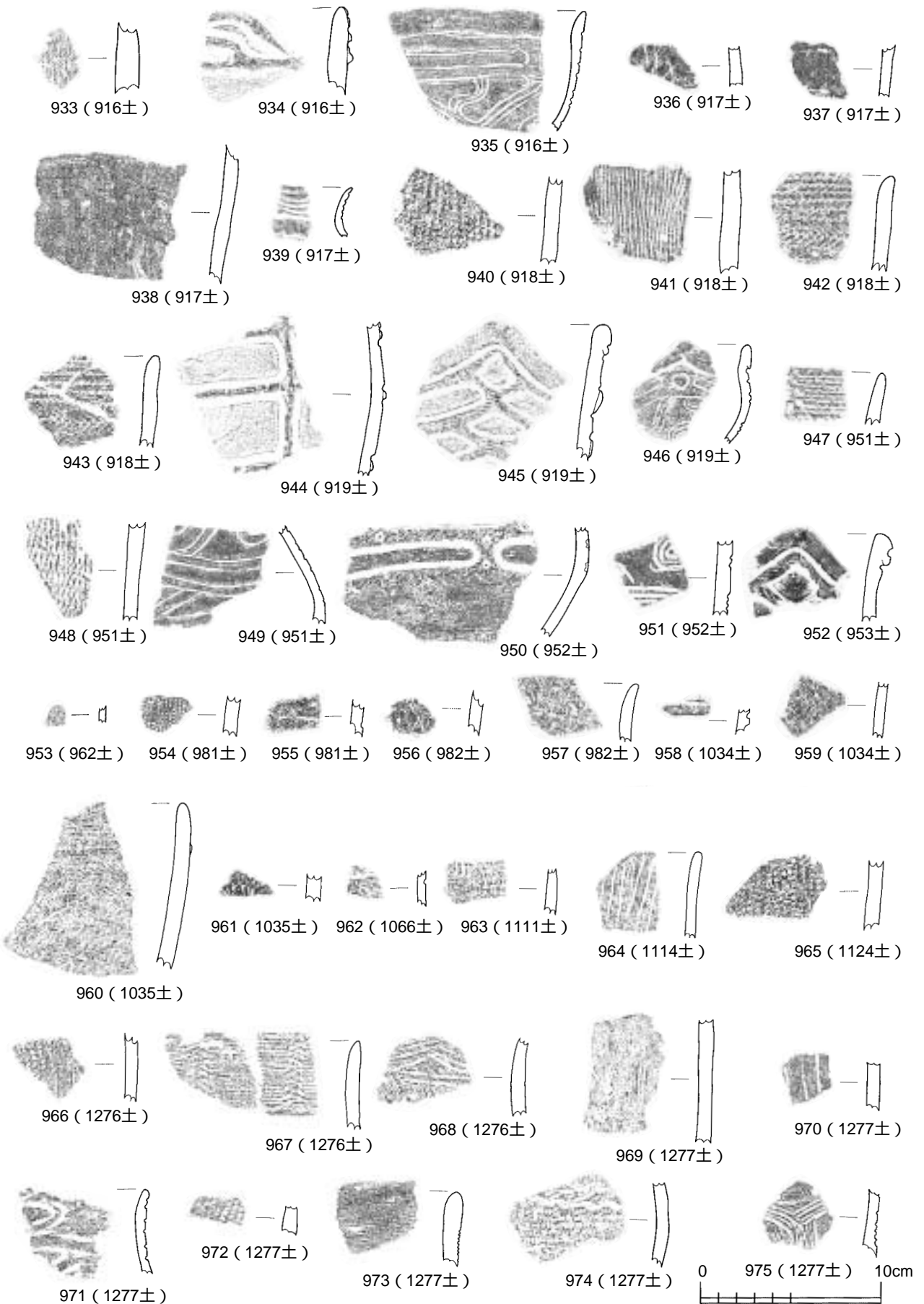
第197図 遺構内出土土器(土坑)(34)



第198図 遺構内出土土器(土坑)(35)

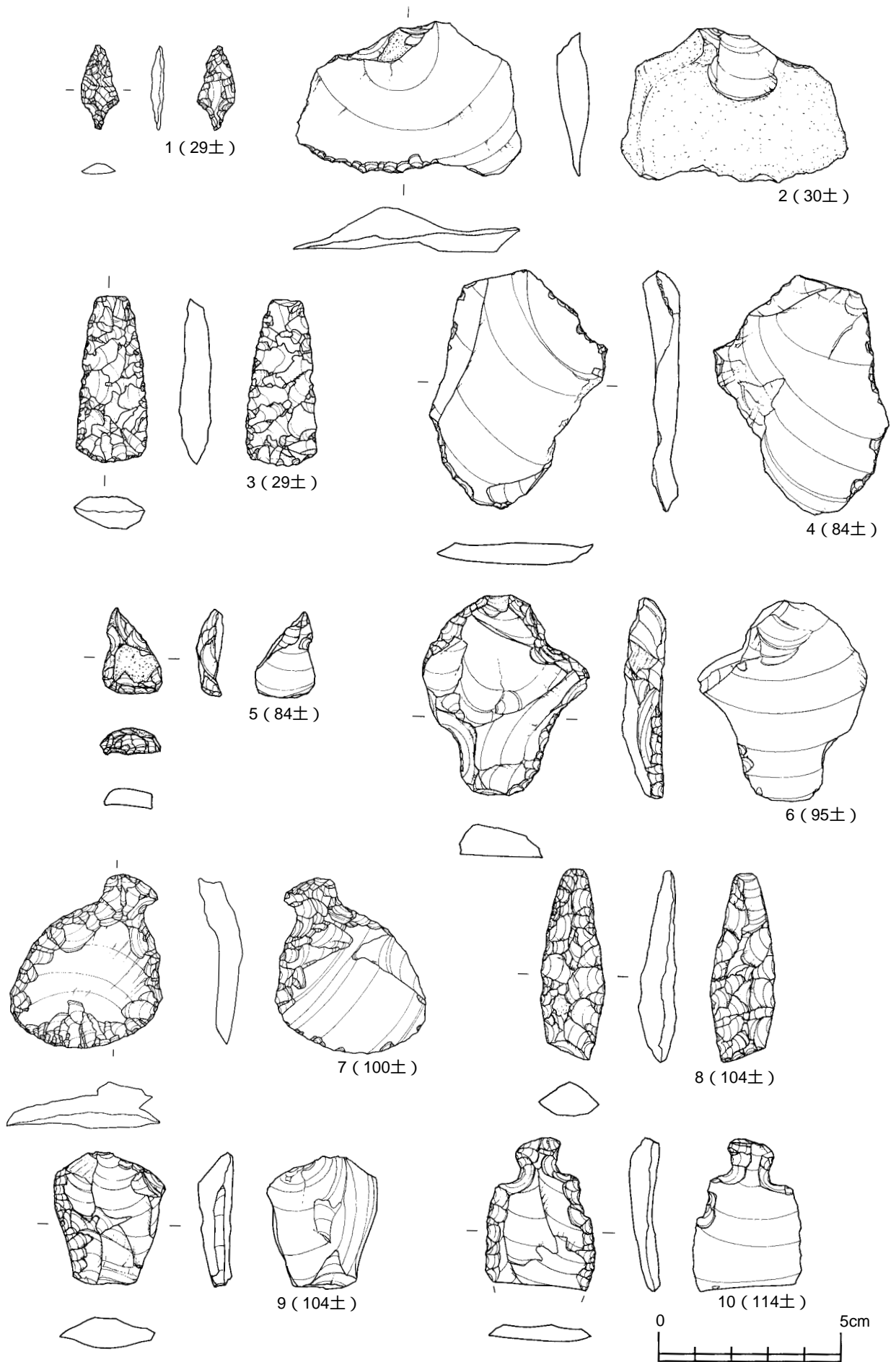


第199図 遺構内出土土器(土坑) (36)

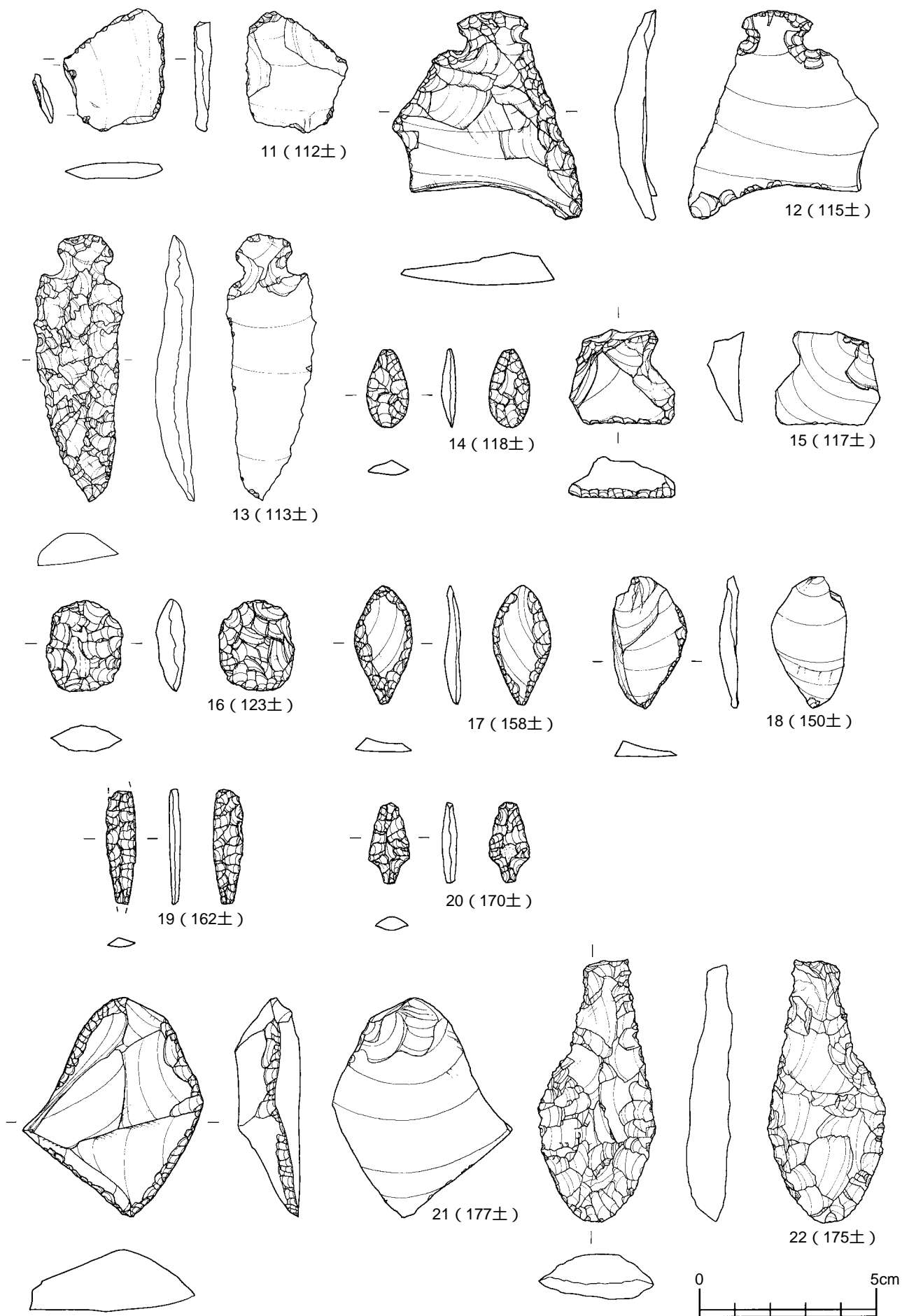


第200図 遺構内出土土器(土坑)37

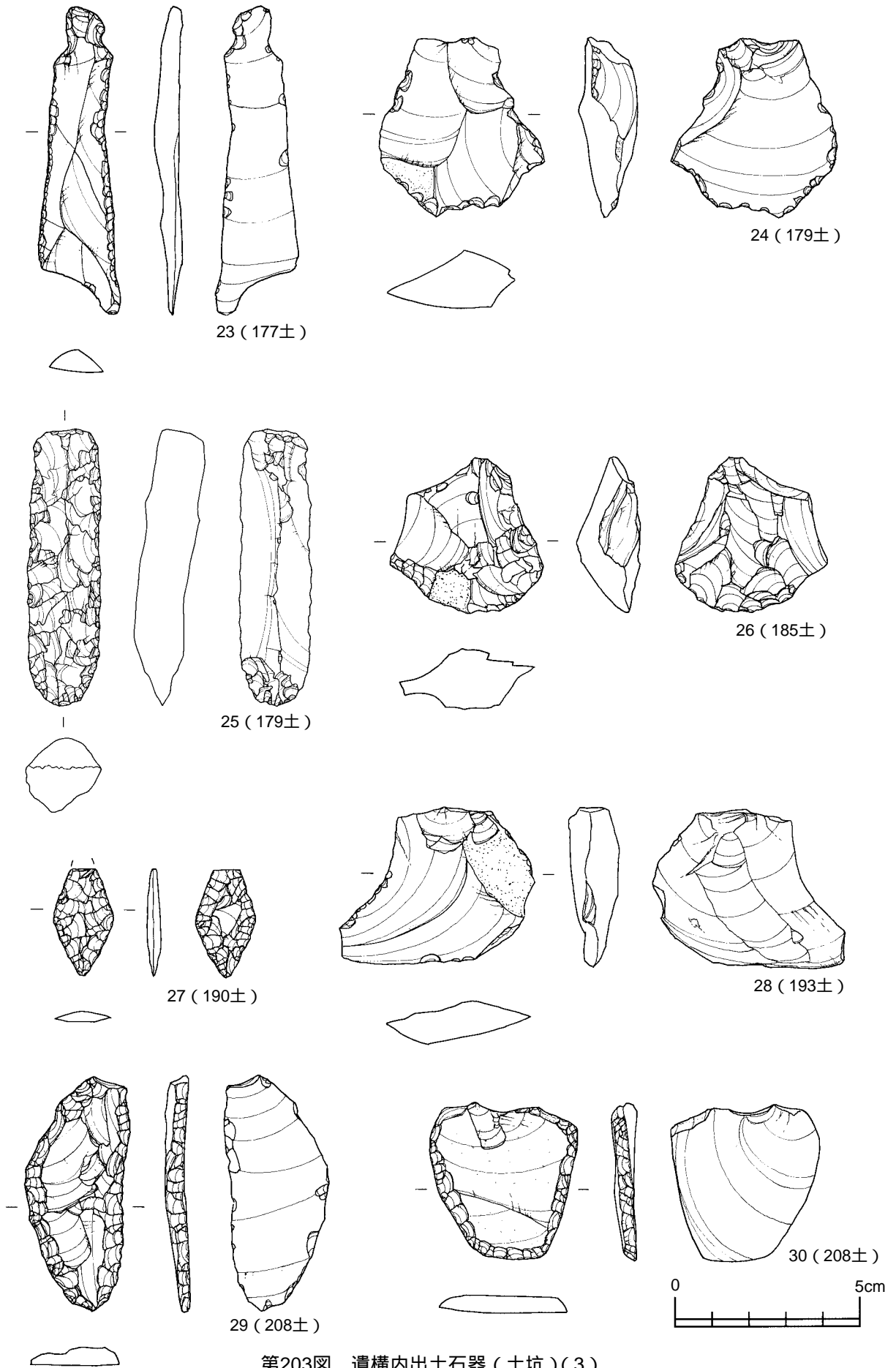


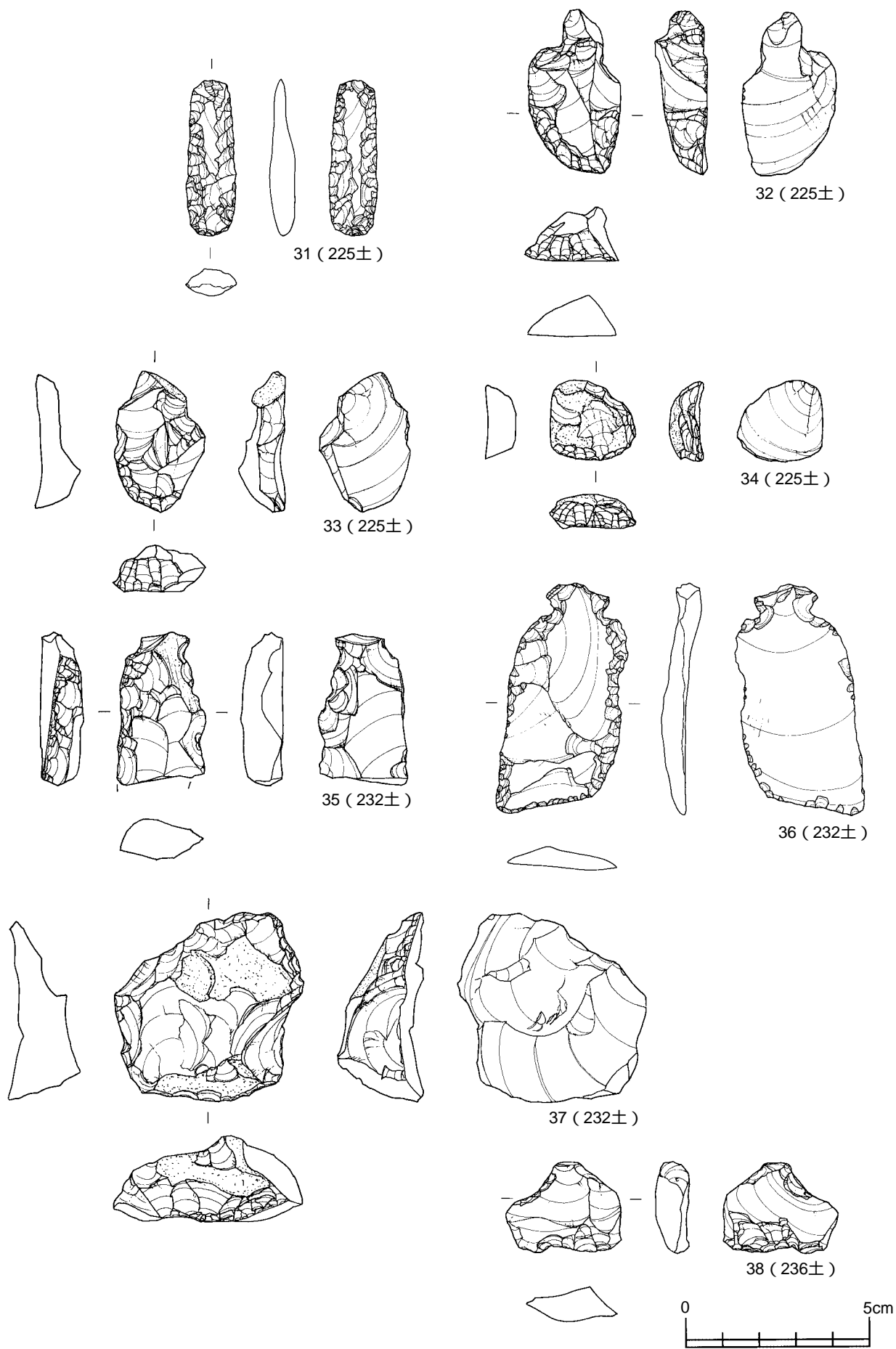


第201図 遺構内出土石器(土坑)(1)

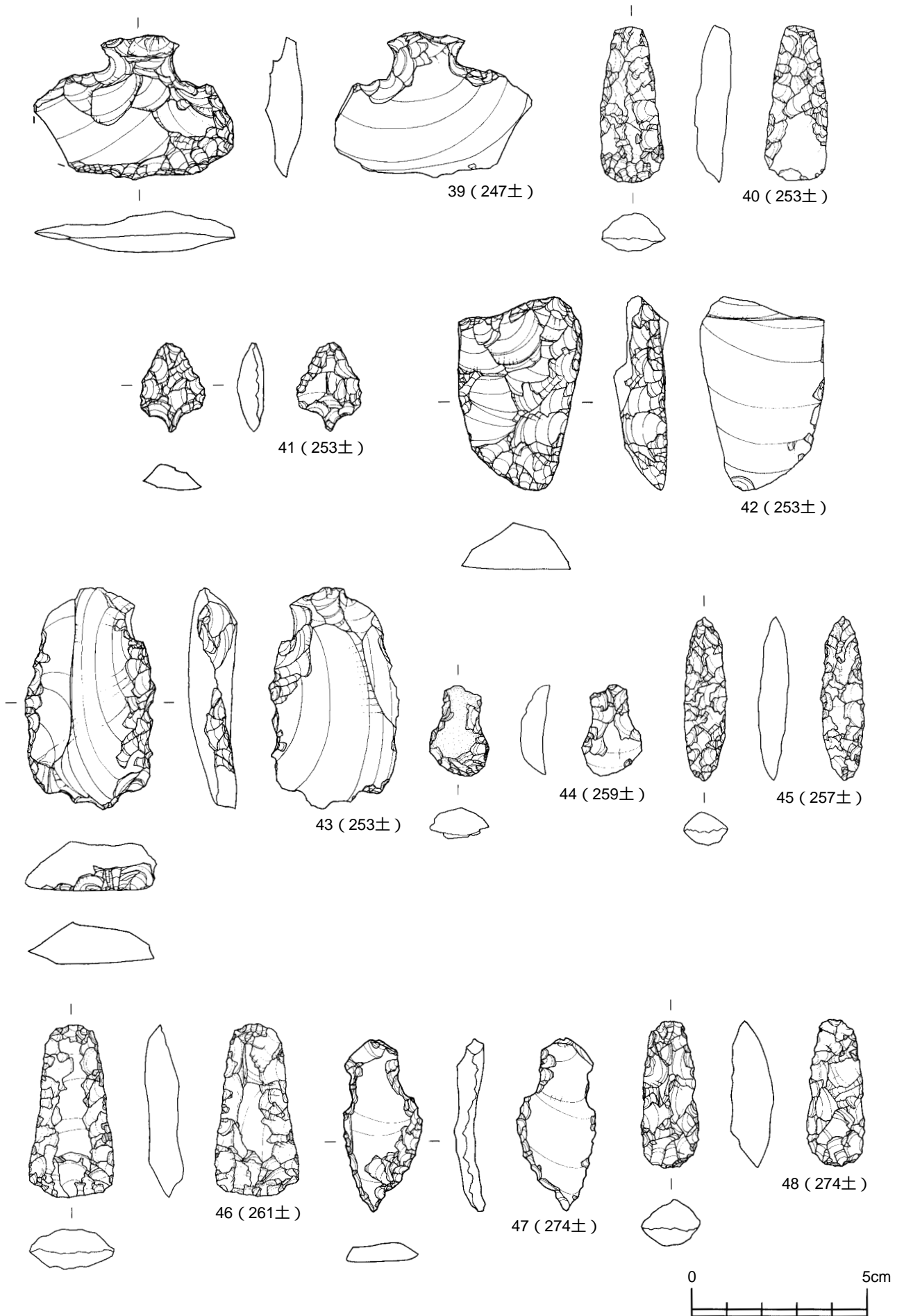


第202図 遺構内出土石器(土坑)(2)

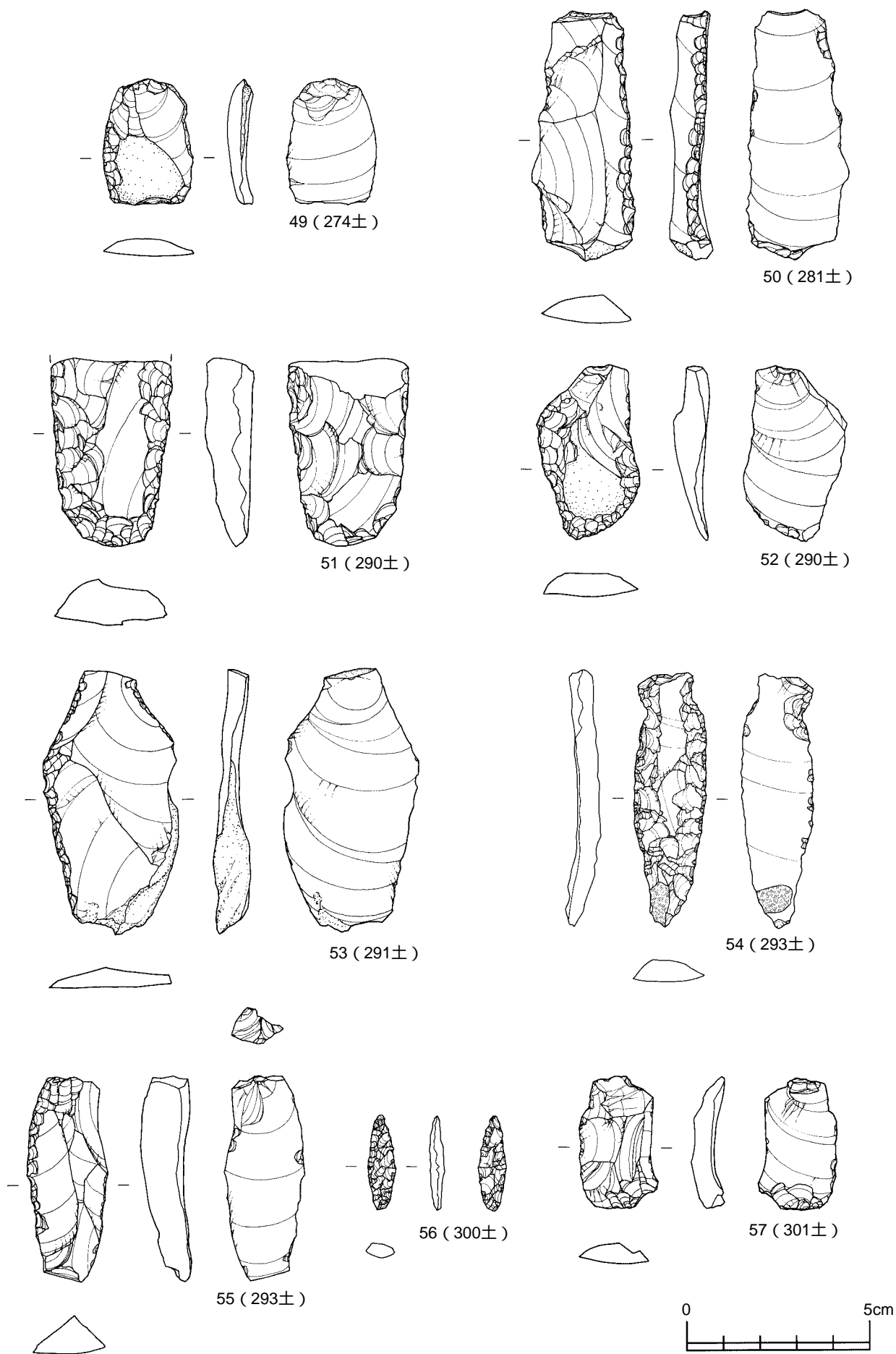




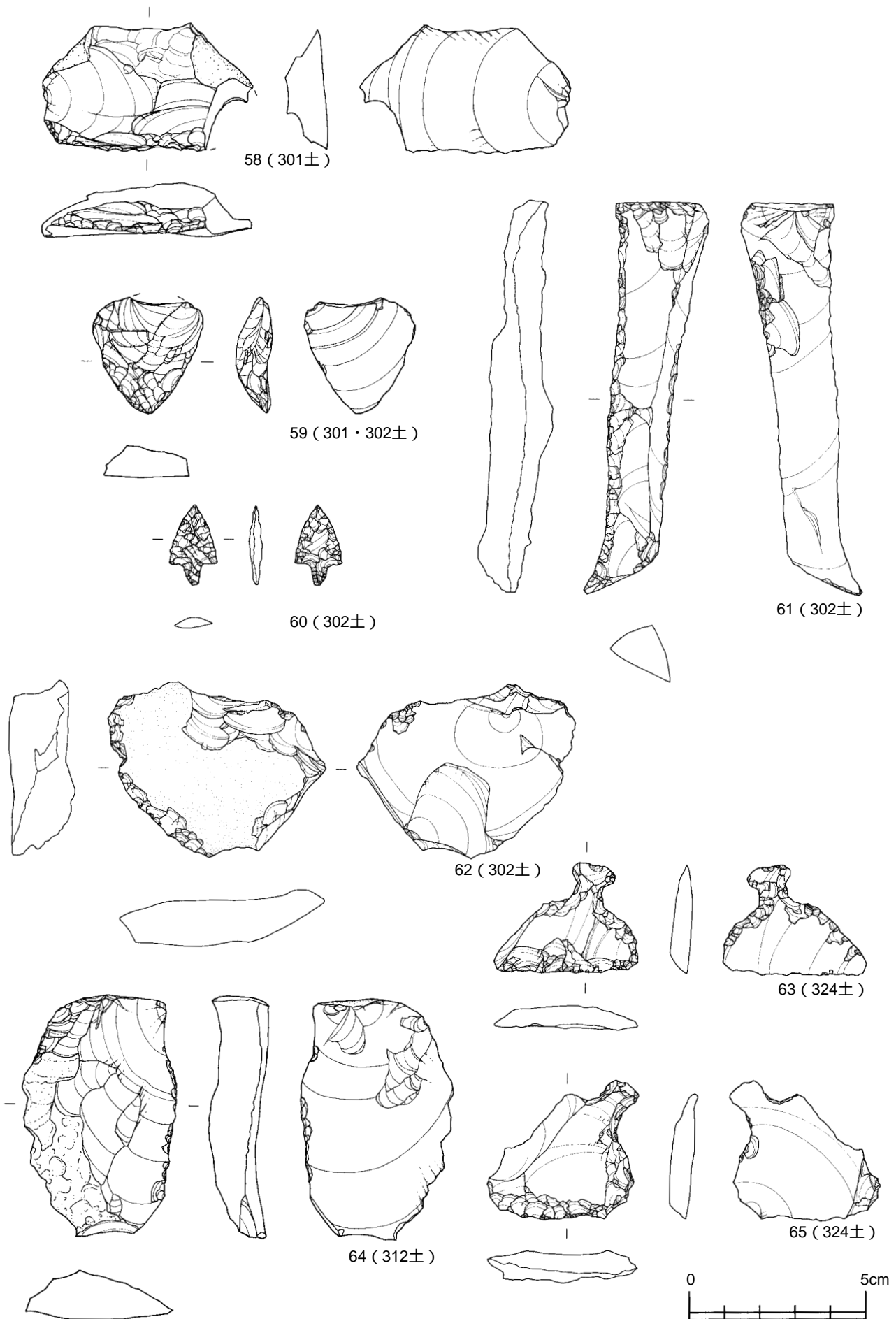
第204図 遺構内出土石器(土坑)(4)



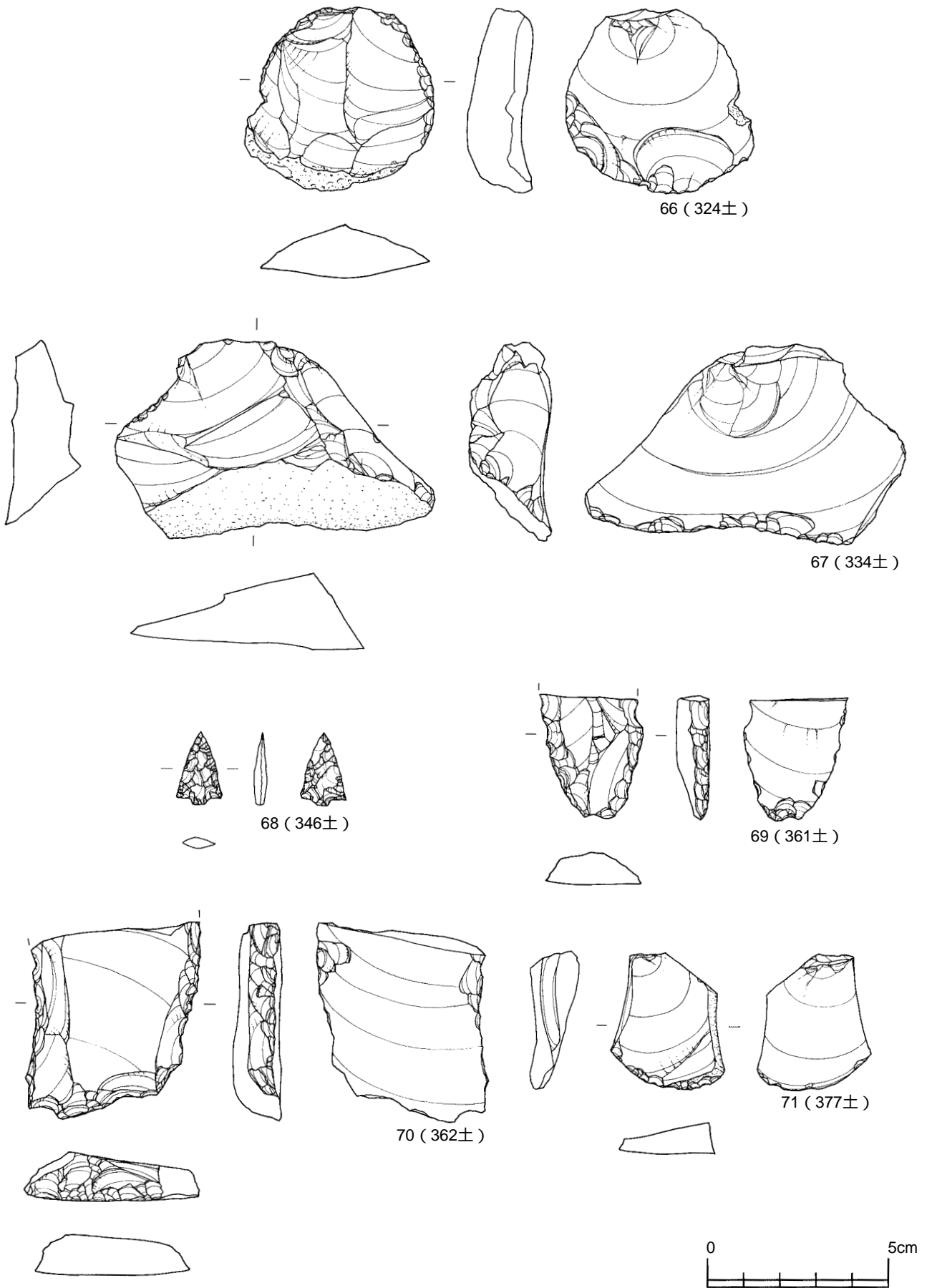
第205図 遺構内出土石器(土坑)(5)



第206図 遺構内出土石器(土坑)(6)

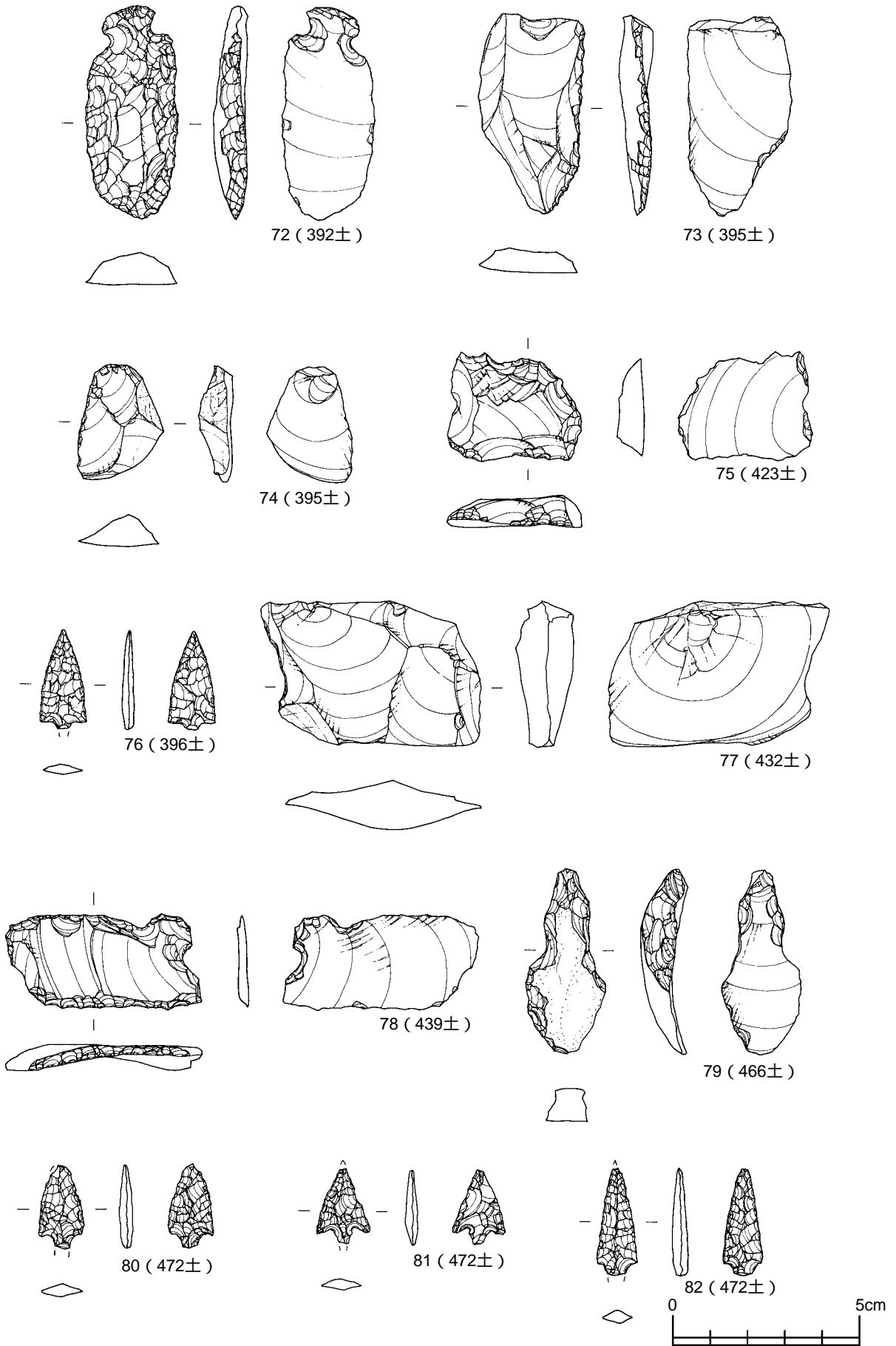


第207図 遺構内出土石器(土坑)(7)

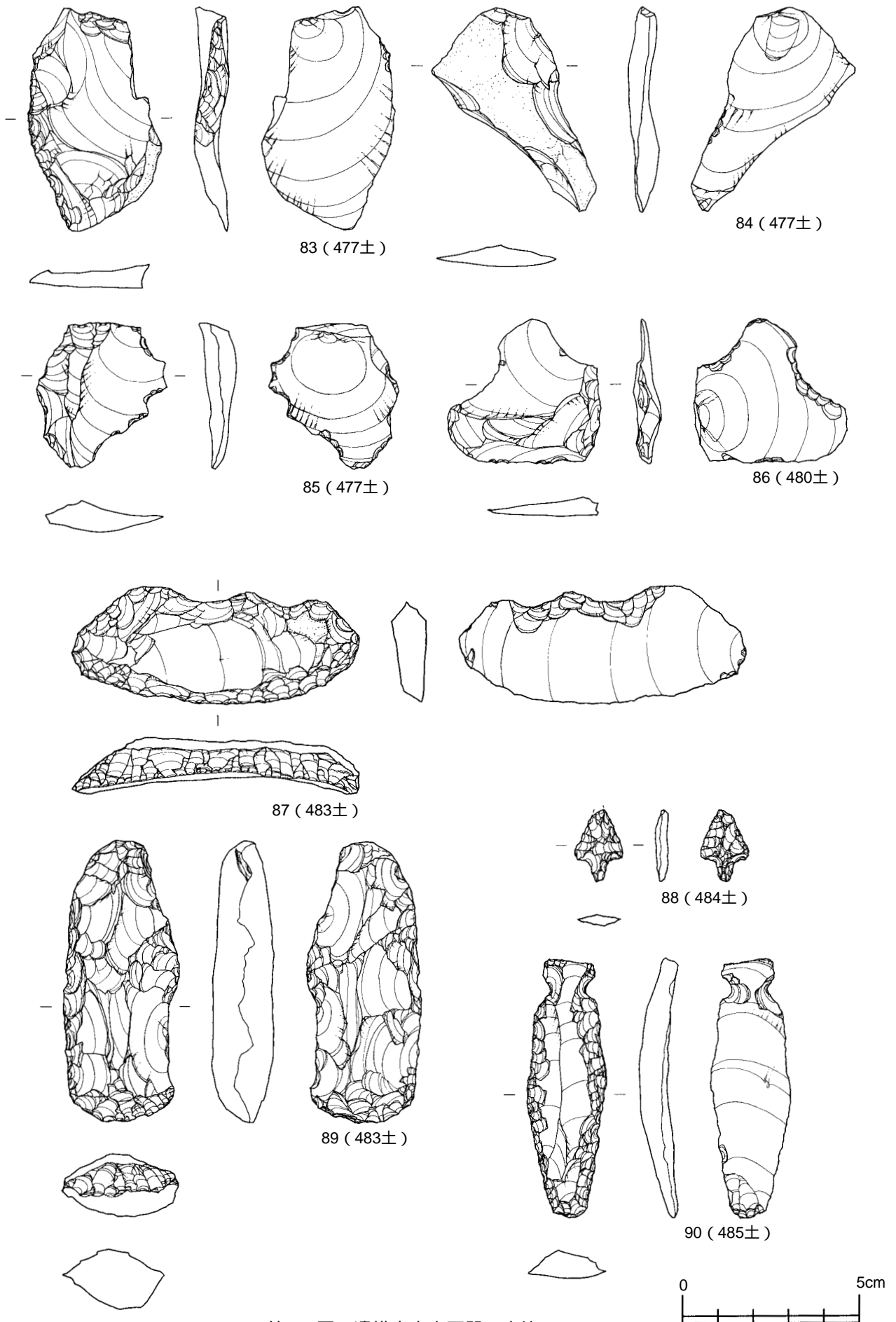


第208図 遺構内出土石器(土坑)(8)

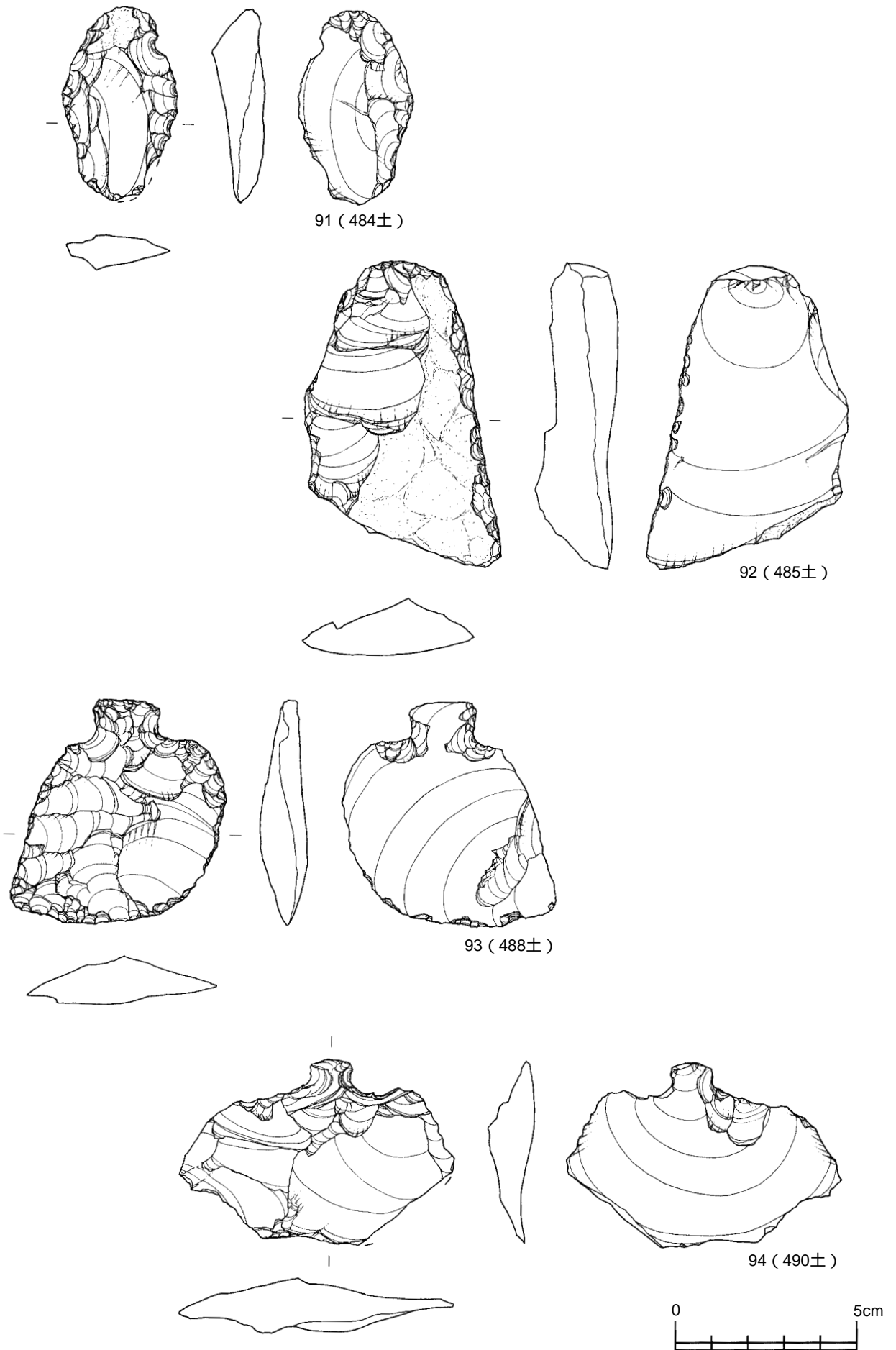




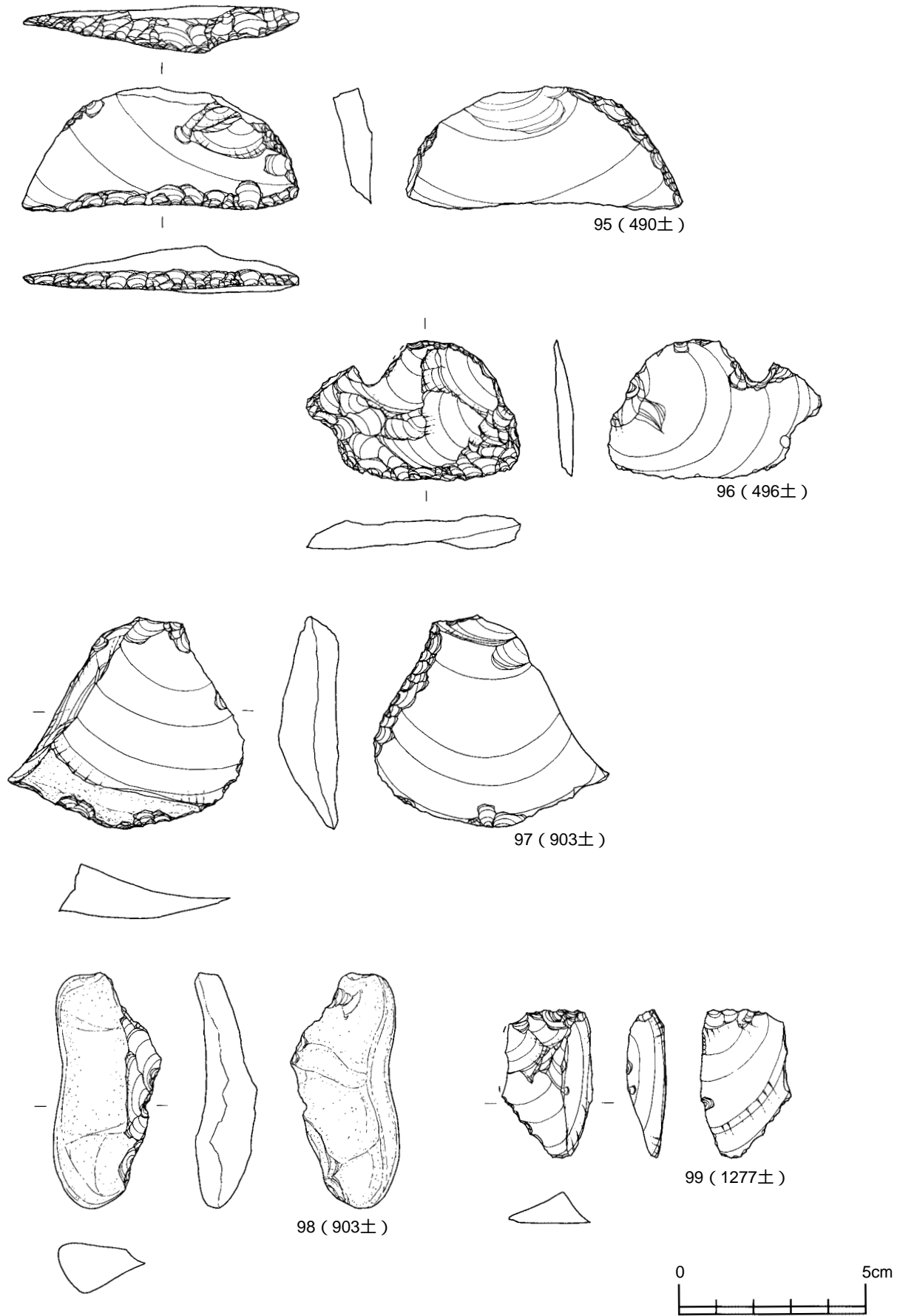
第209図 遺構内出土石器(土坑)(9)



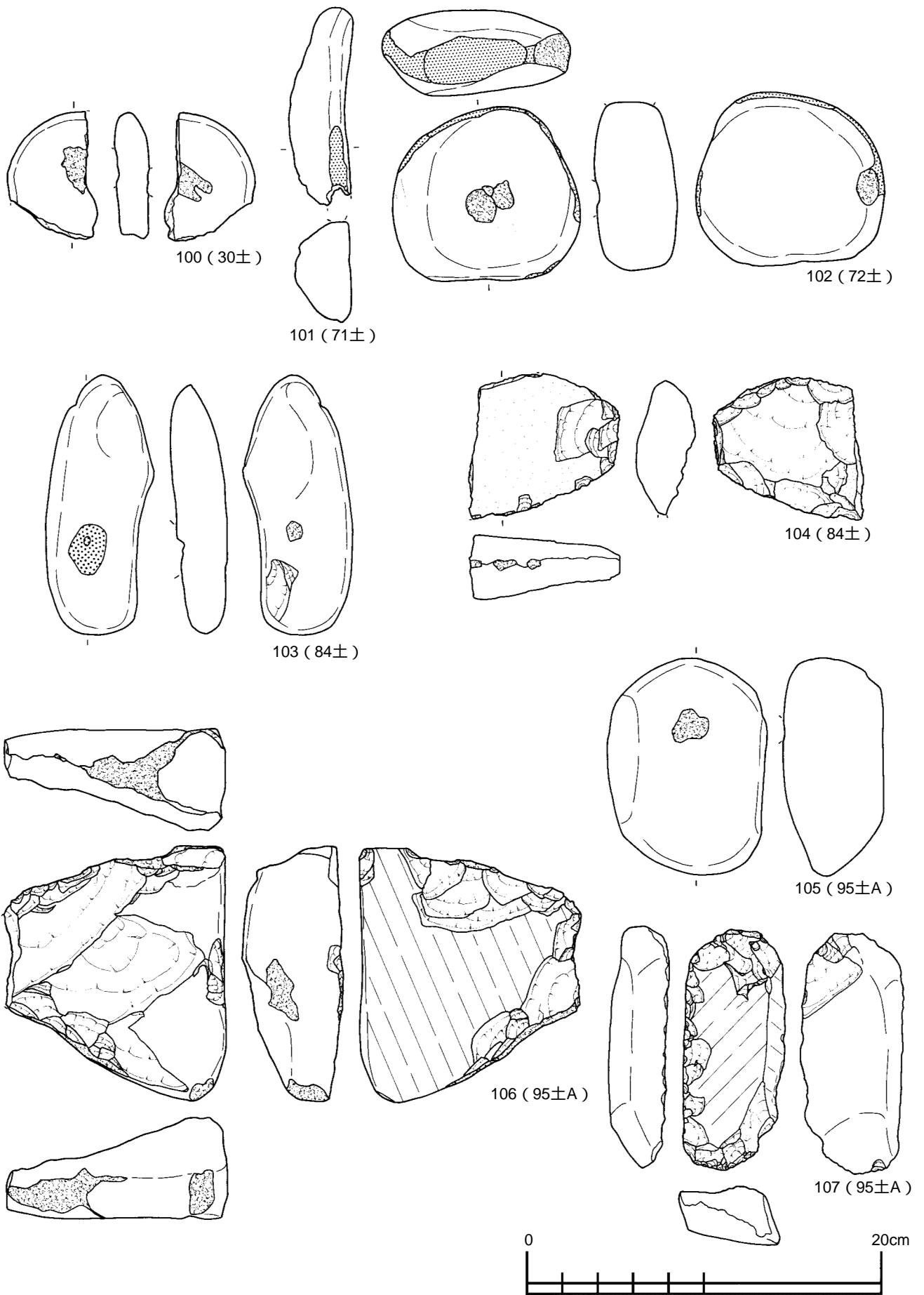
第210図 遺構内出土石器(土坑)(10)



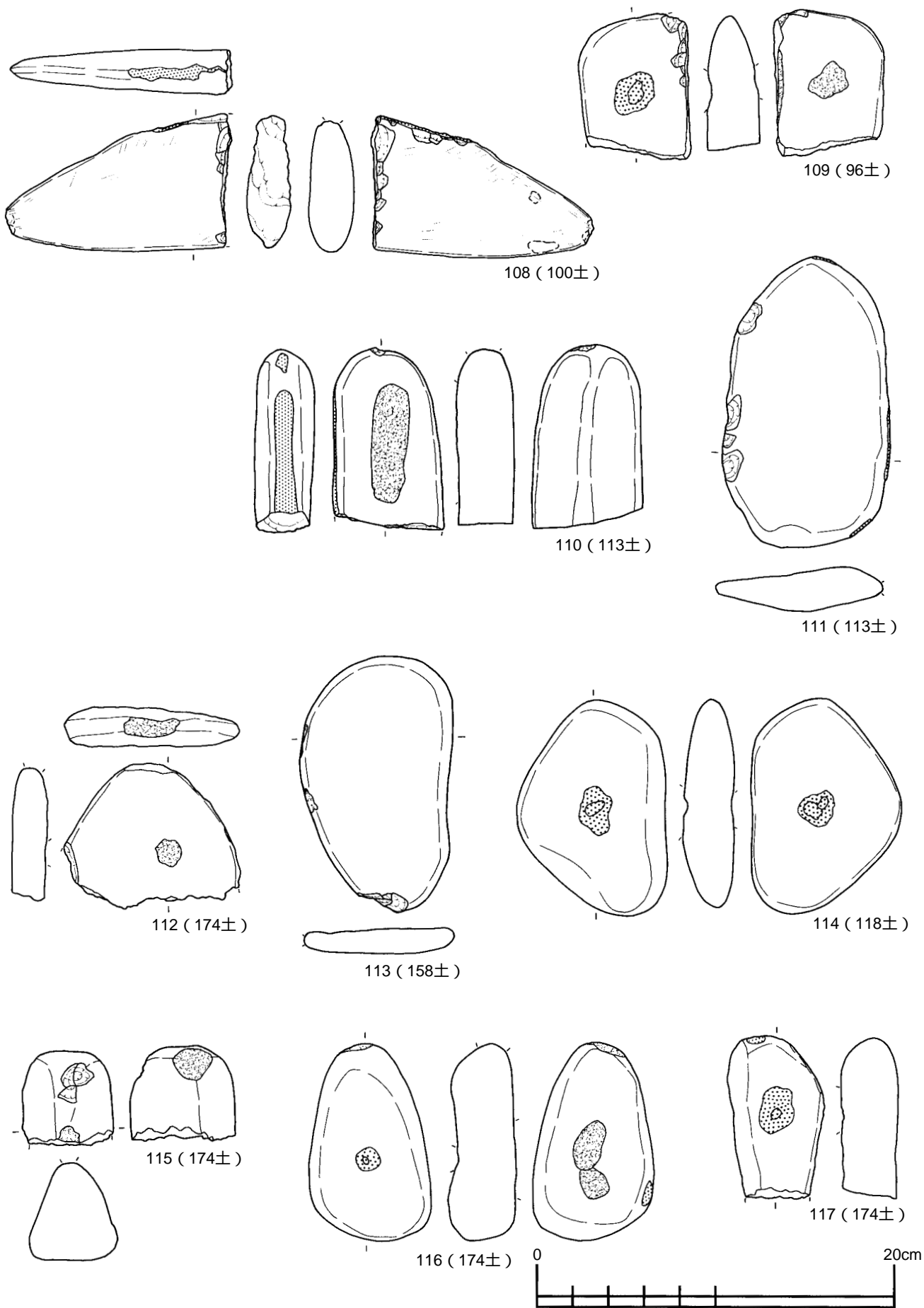
第211図 遺構内出土石器(土坑)(11)



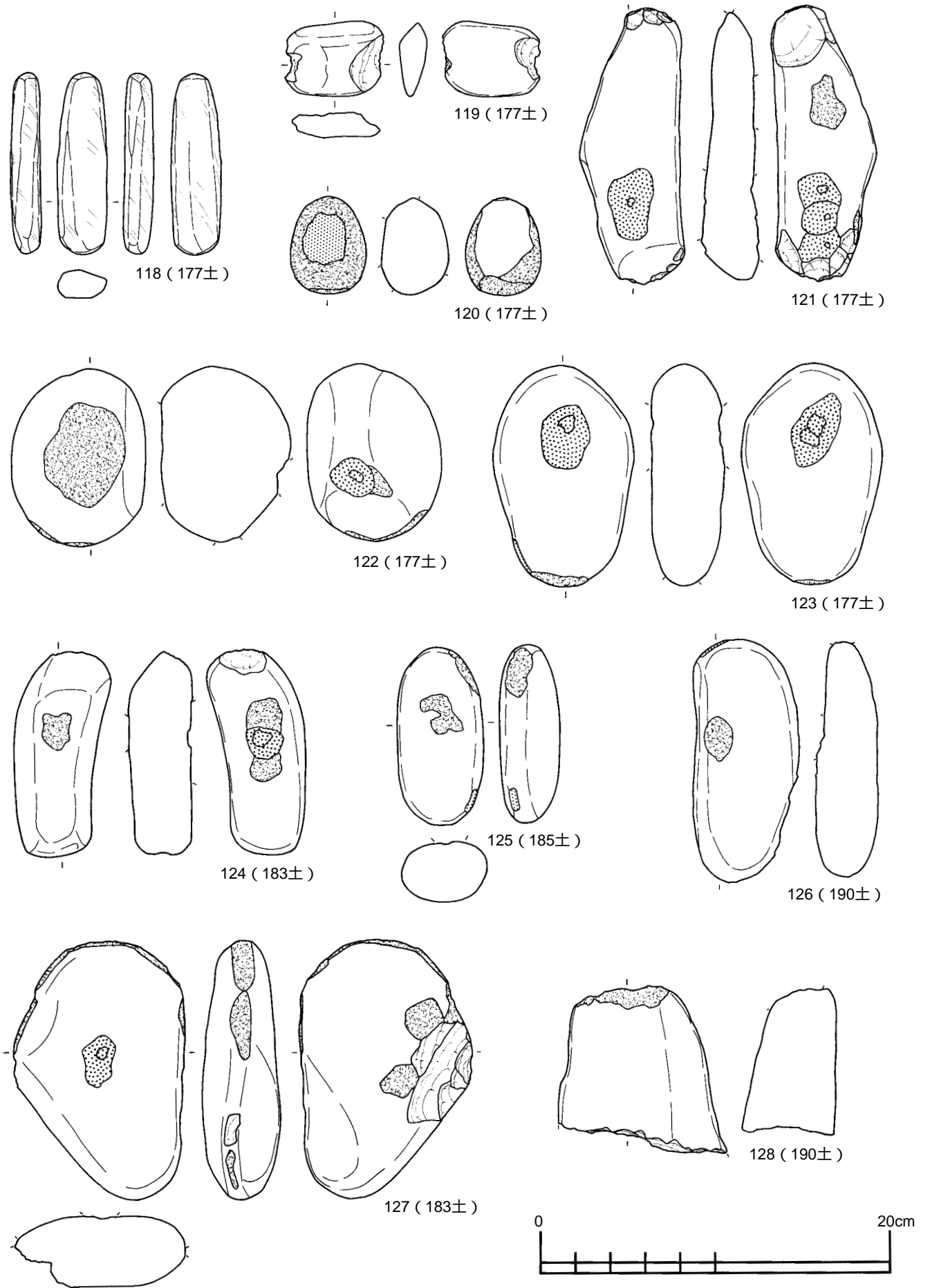
第212図 遺構内出土石器(土坑)(12)



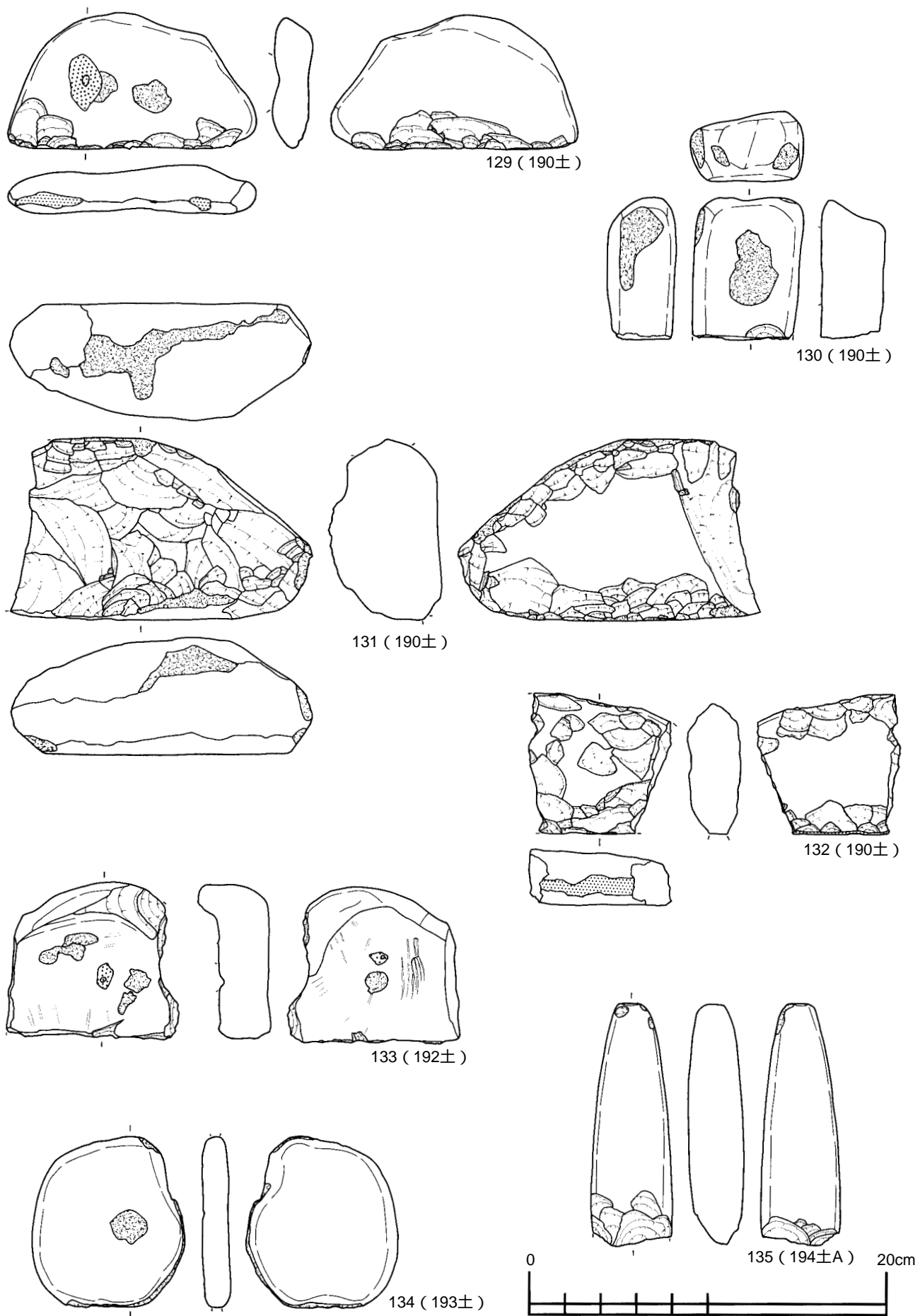
第213図 遺構内出土石器(土坑)(13)



第214図 遺構内出土石器(土坑)(14)

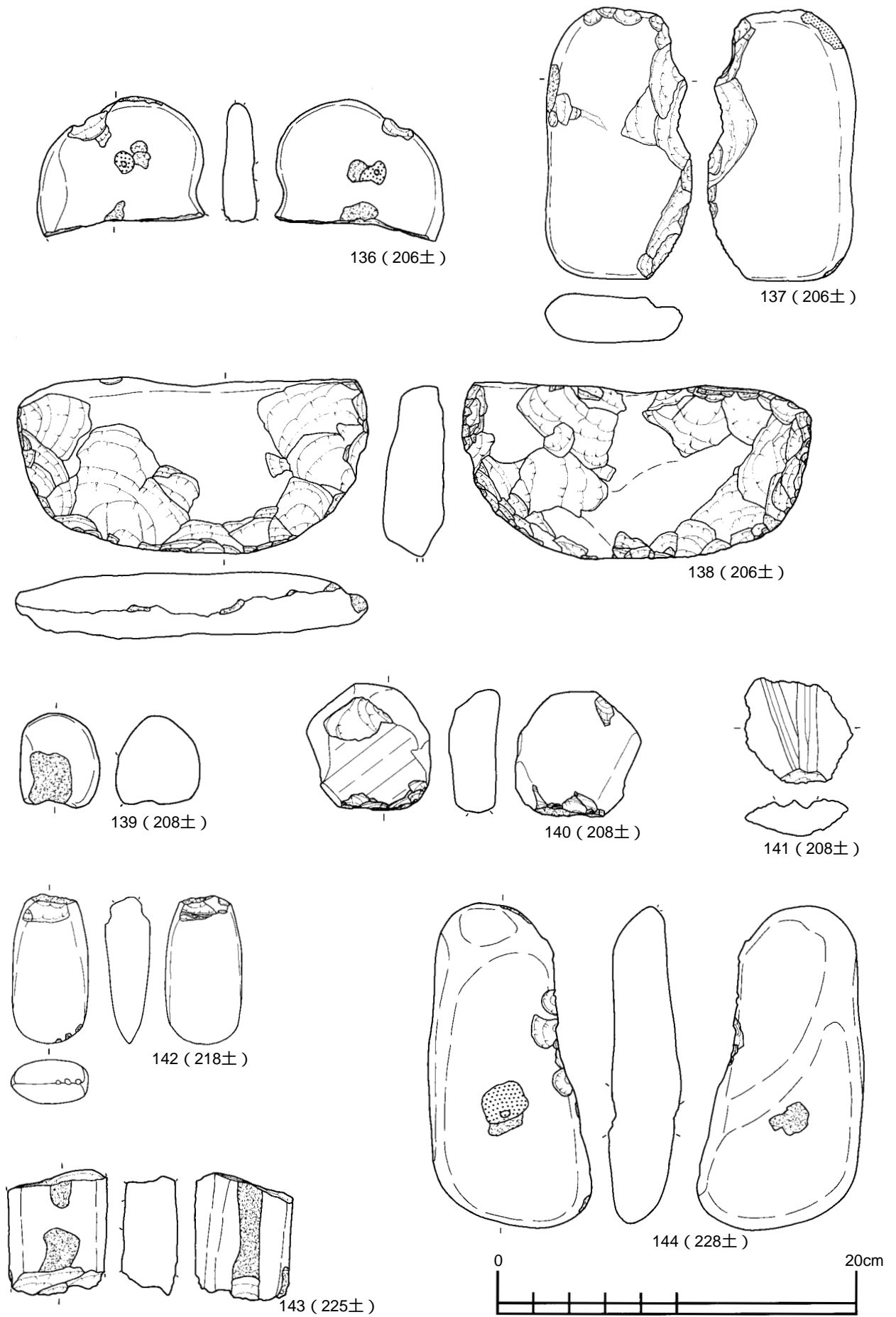


第215図 遺構内出土石器(土坑)(15)

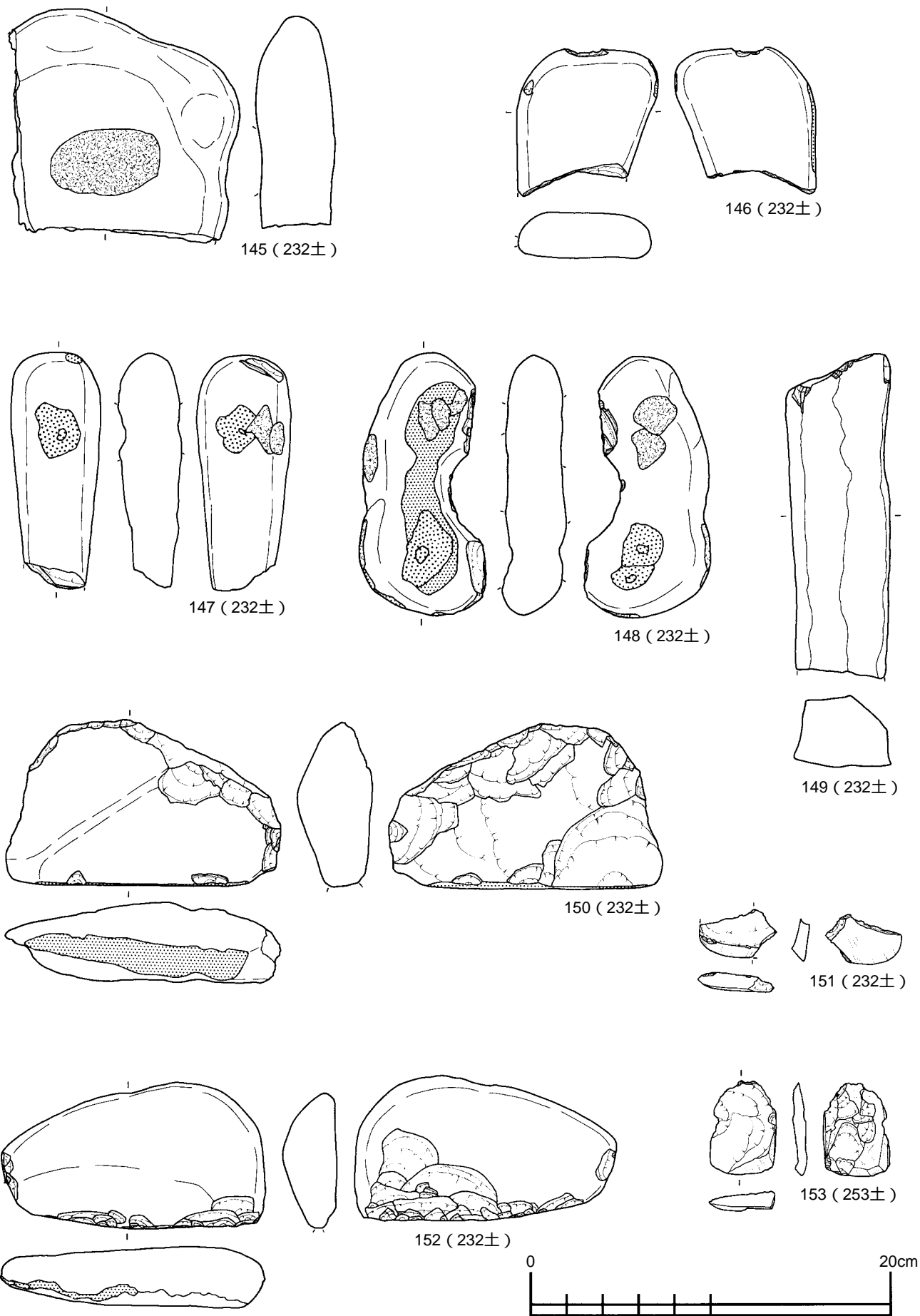


第216図 遺構内出土石器(土坑)(16)

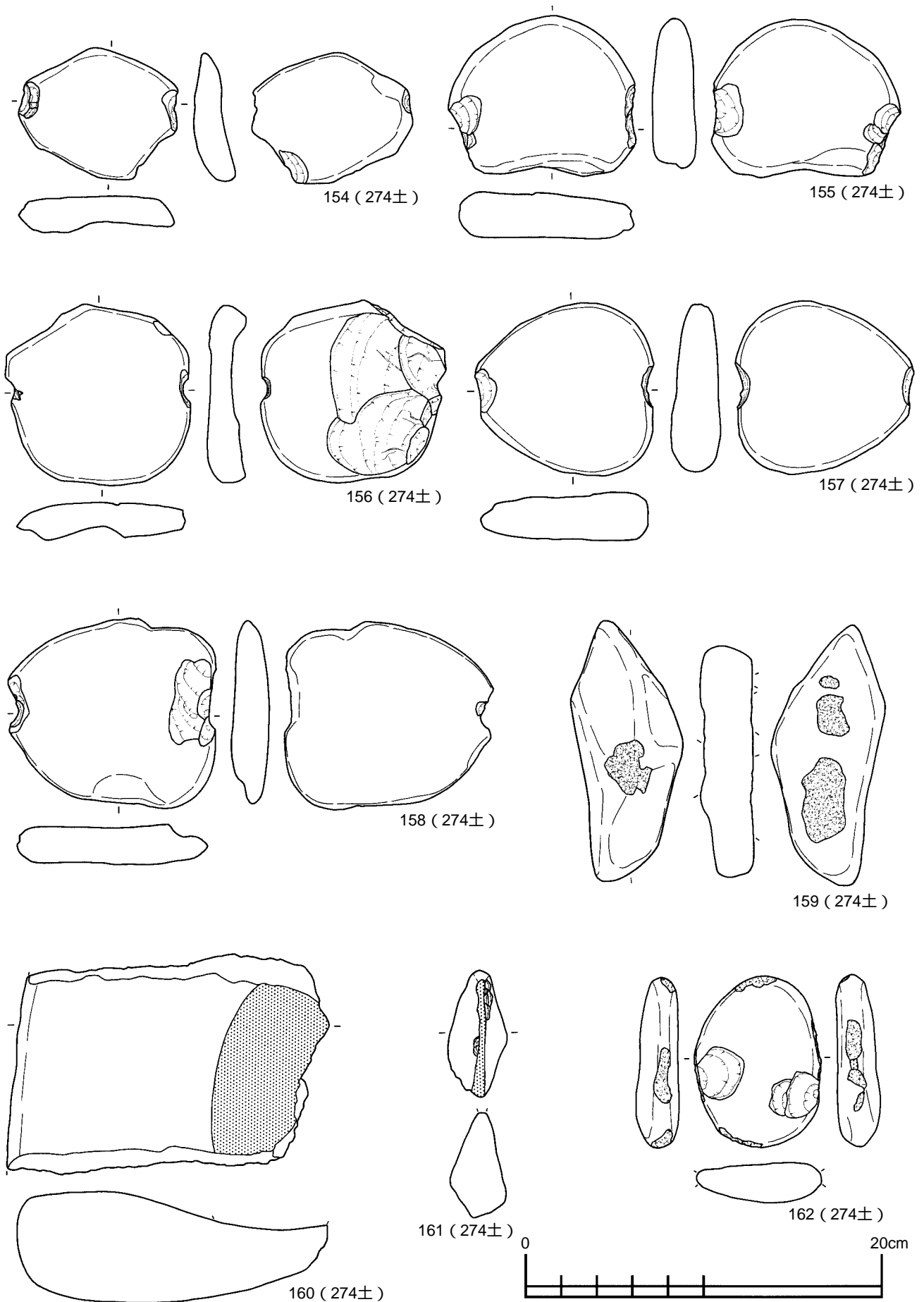




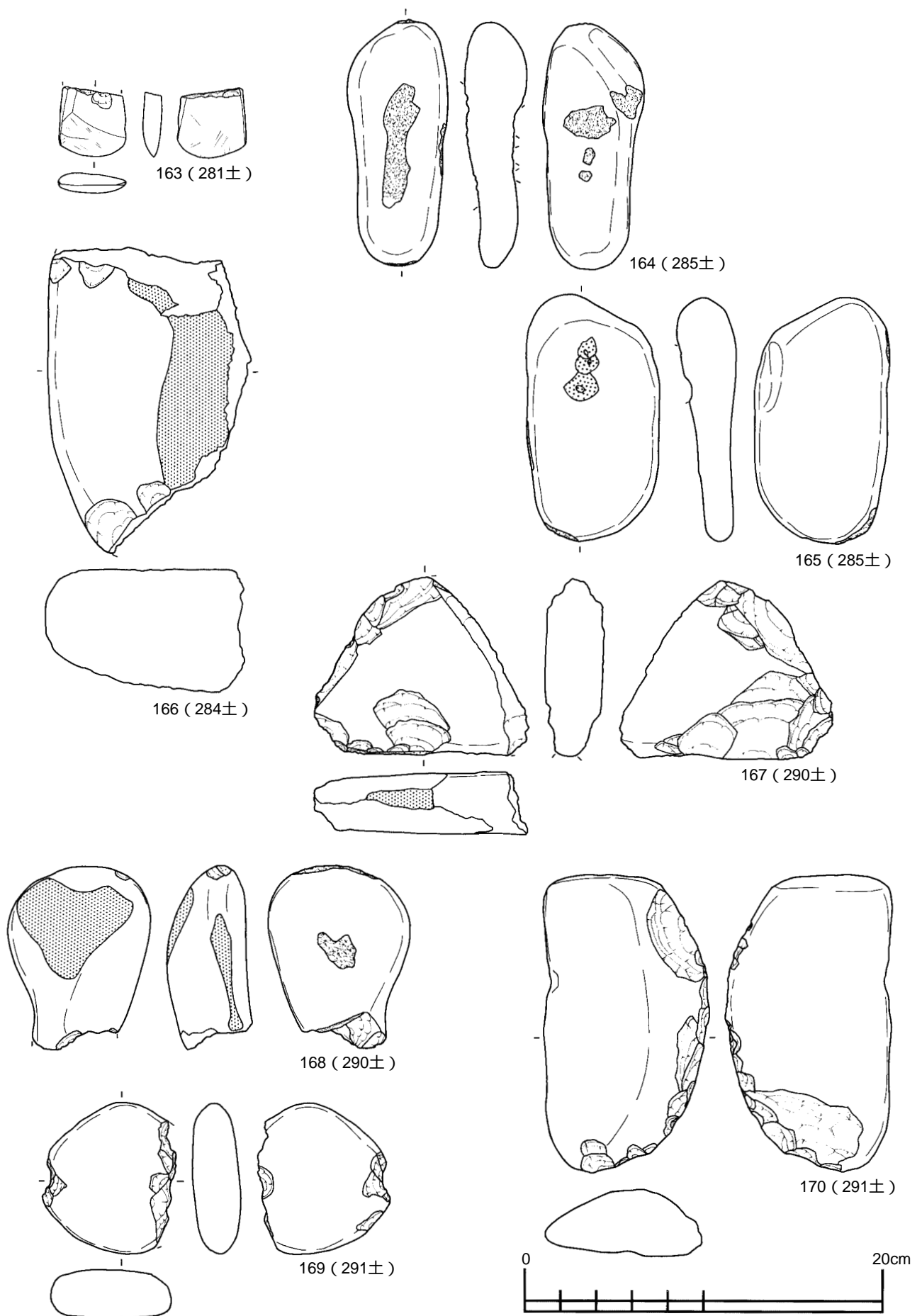
第217図 遺構内出土石器(土坑)(17)



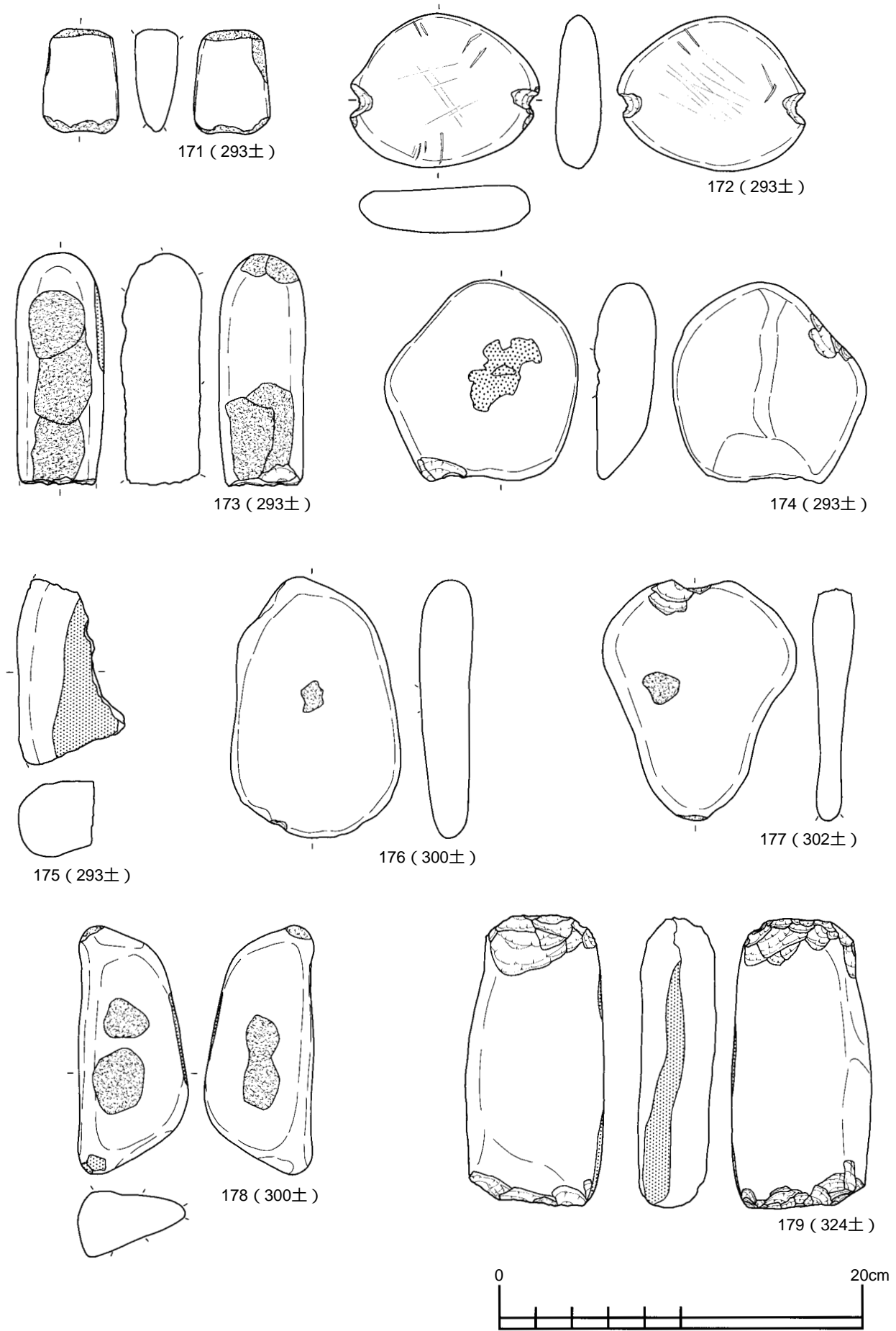
第218図 遺構内出土石器(土坑)(18)



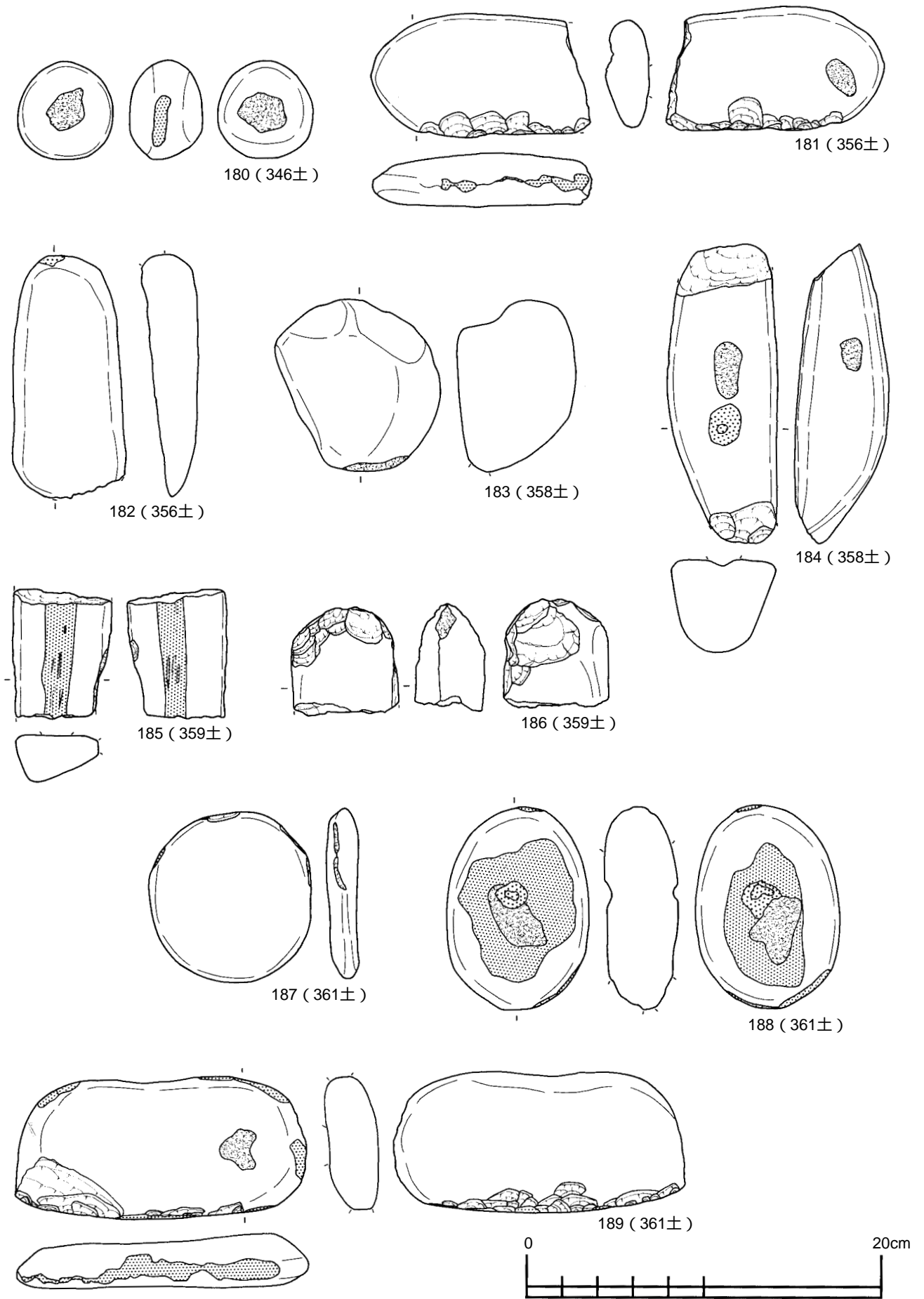
第219図 遺構内出土石器(土坑)(19)



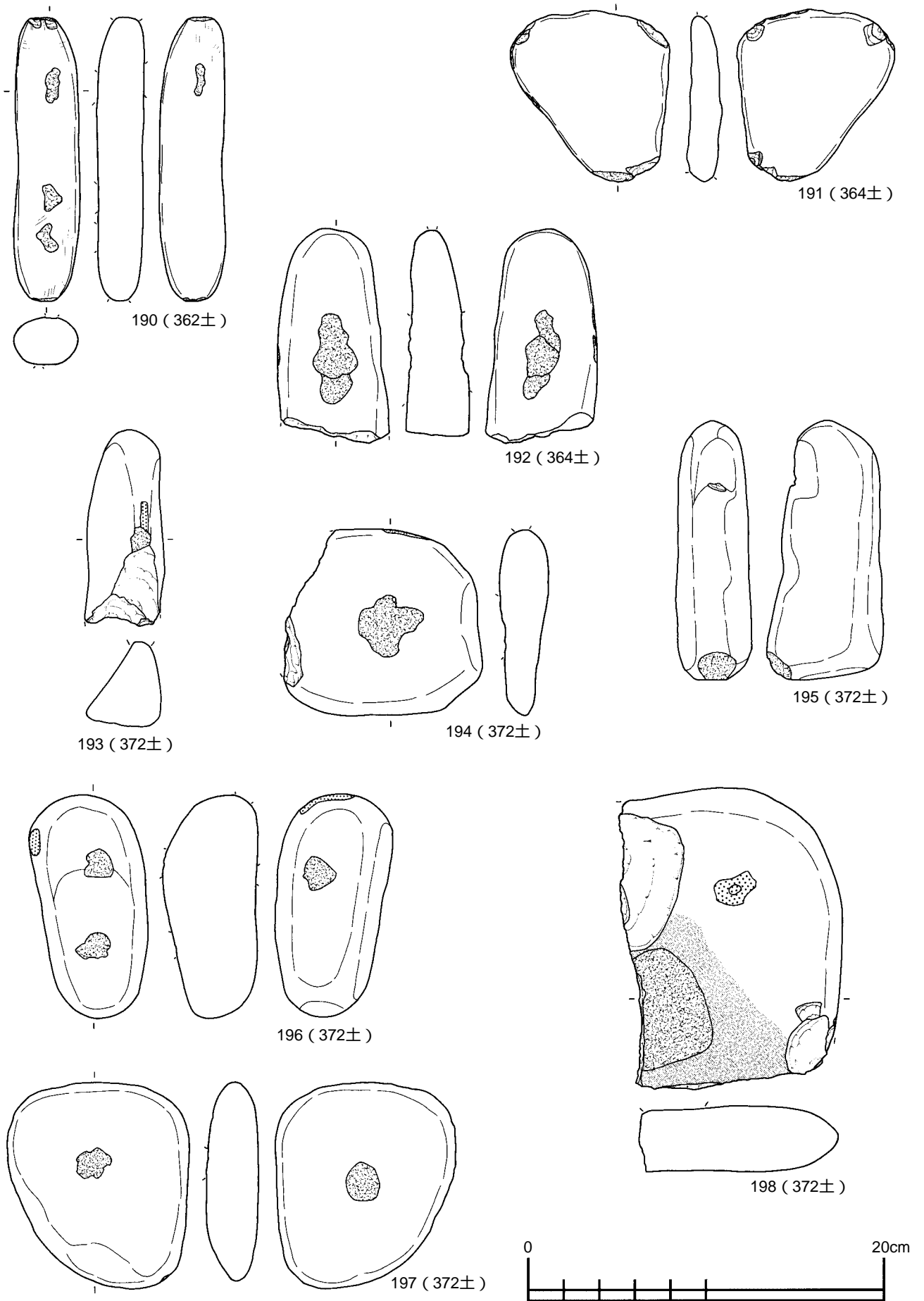
第220図 遺構内出土石器(土坑)(20)



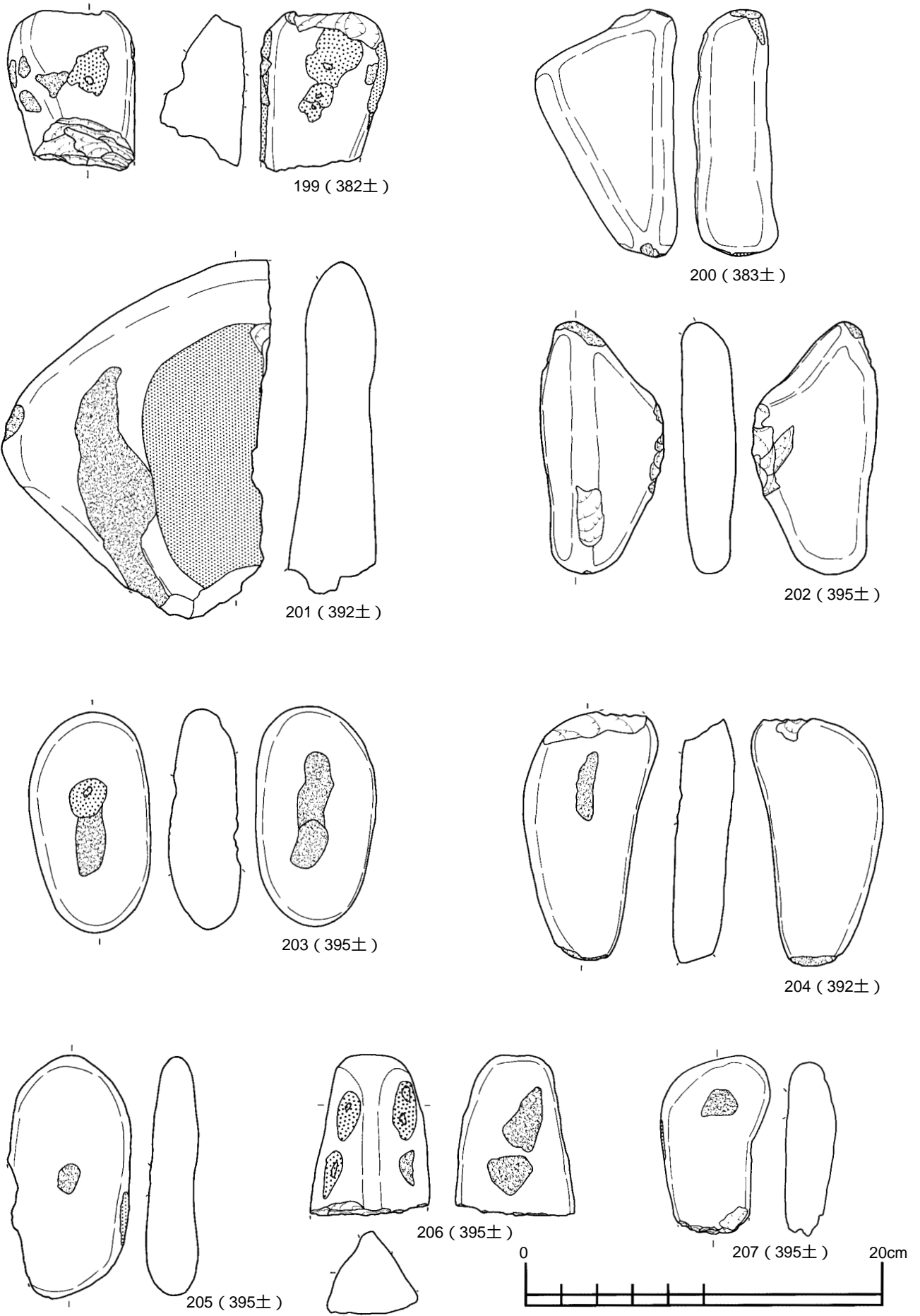
第221図 遺構内出土石器(土坑)(21)



第222図 遺構内出土石器(土坑)(22)

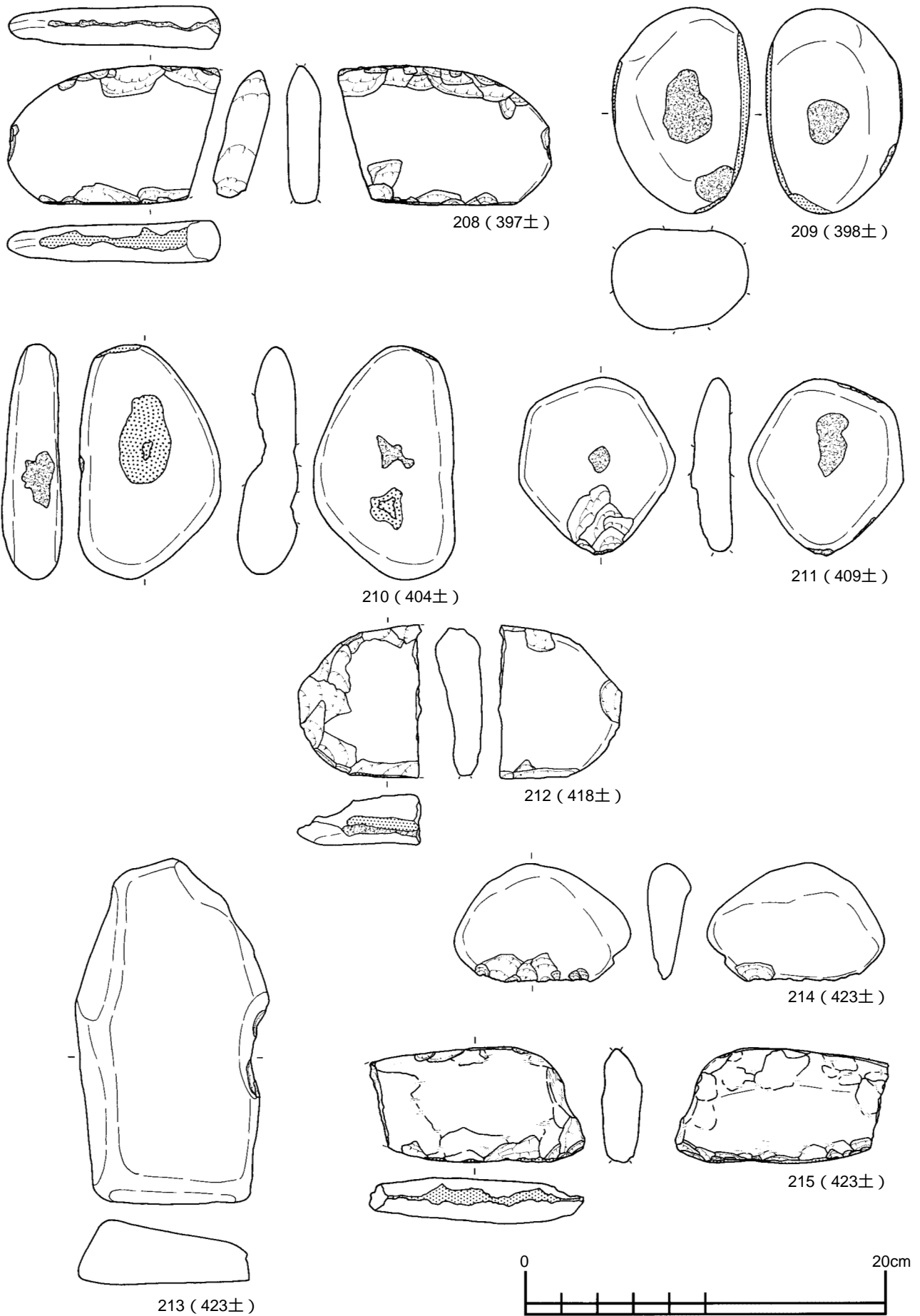


第223図 遺構内出土石器(土坑)(23)

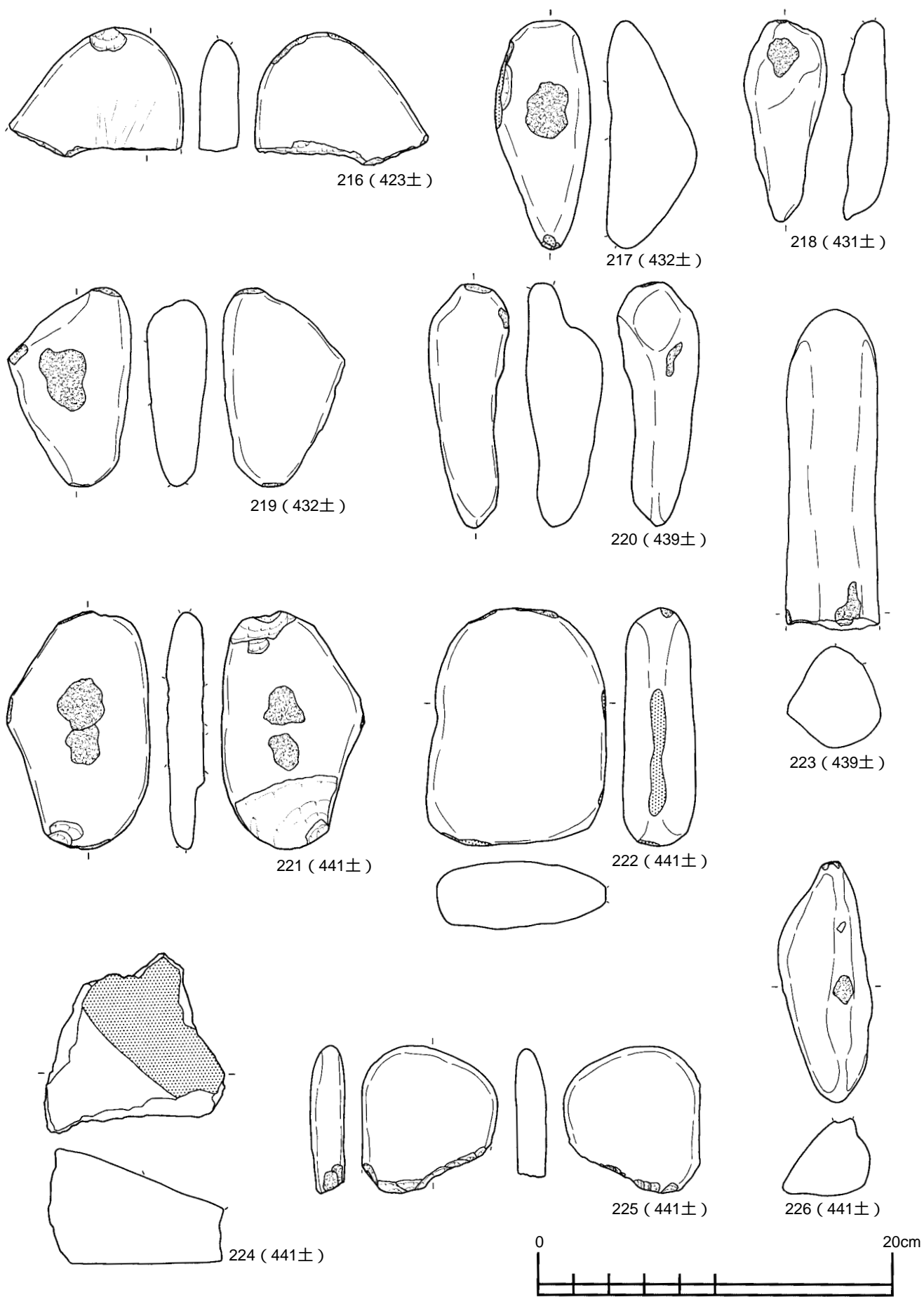


第224図 遺構内出土石器(土坑)(24)

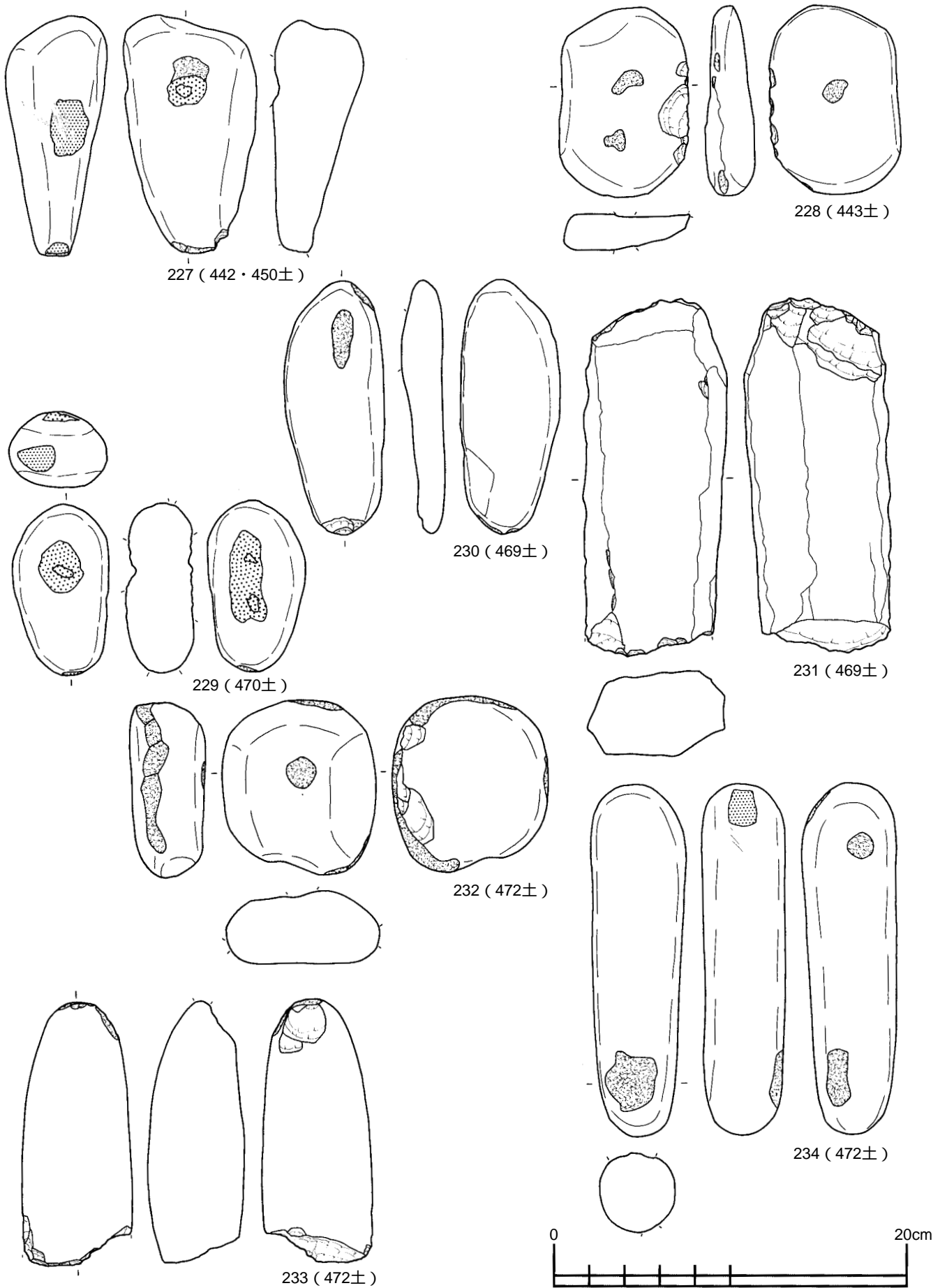




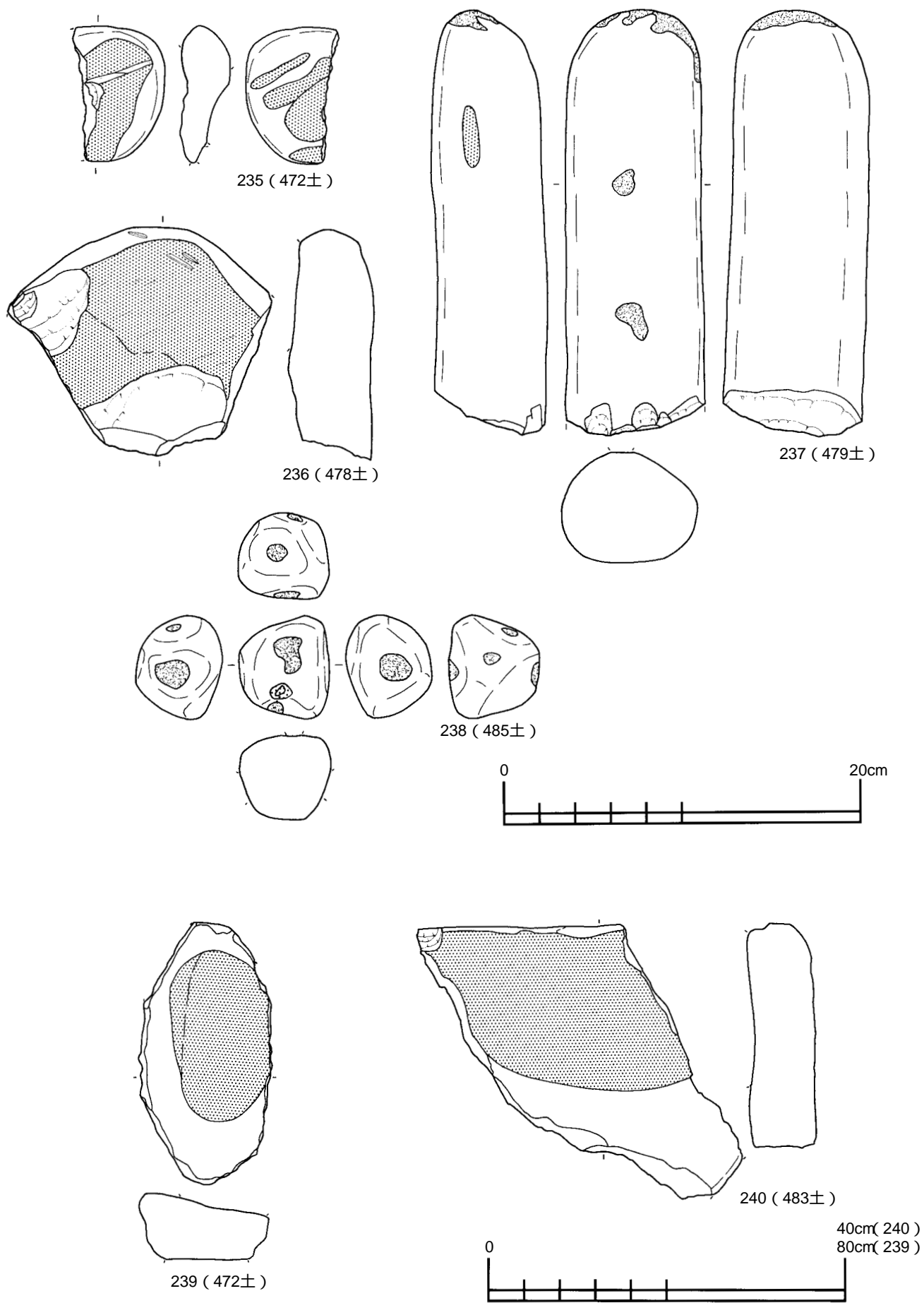
第225図 遺構内出土石器(土坑)(25)



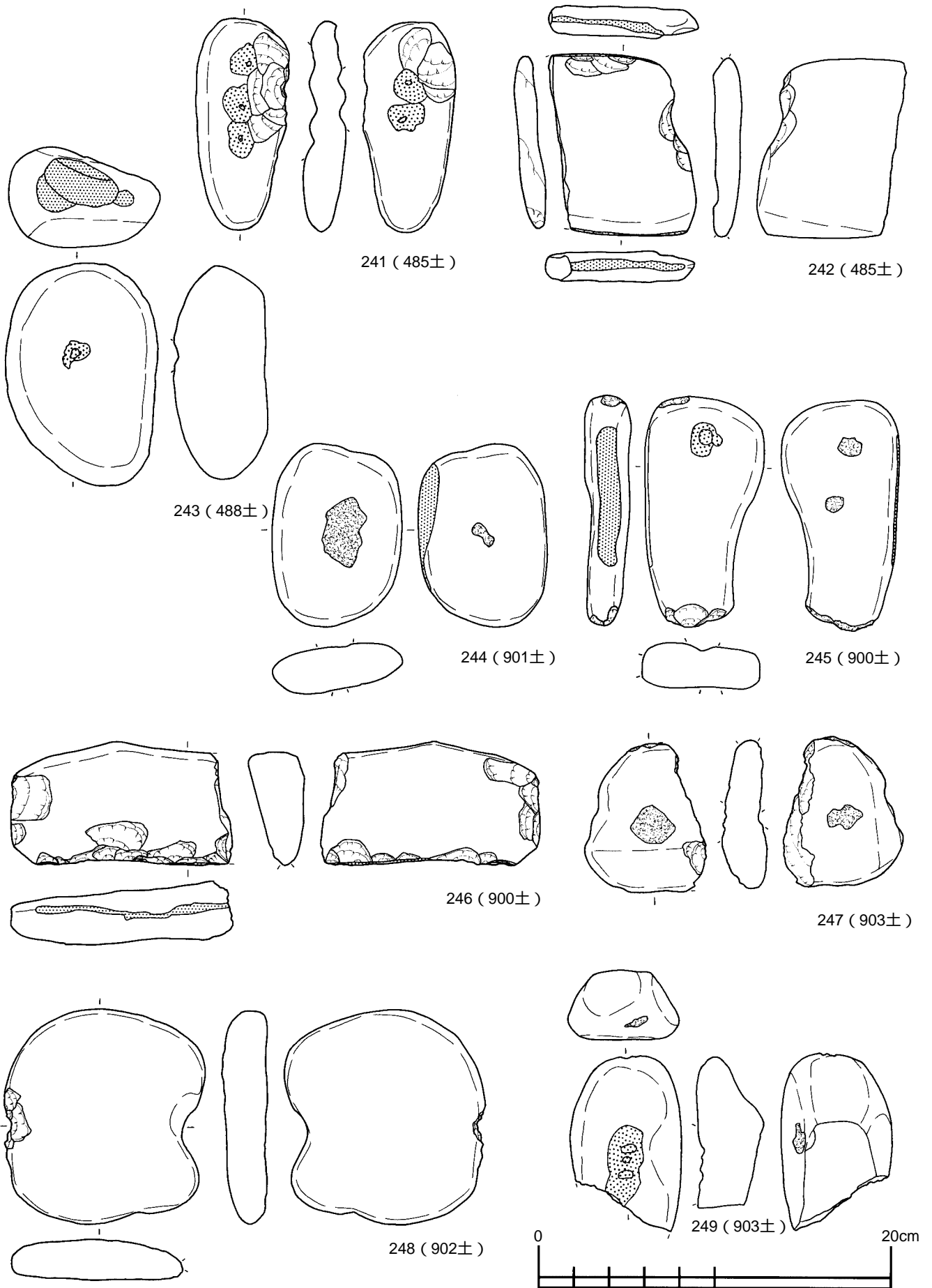
第226図 遺構内出土石器(土坑)(26)



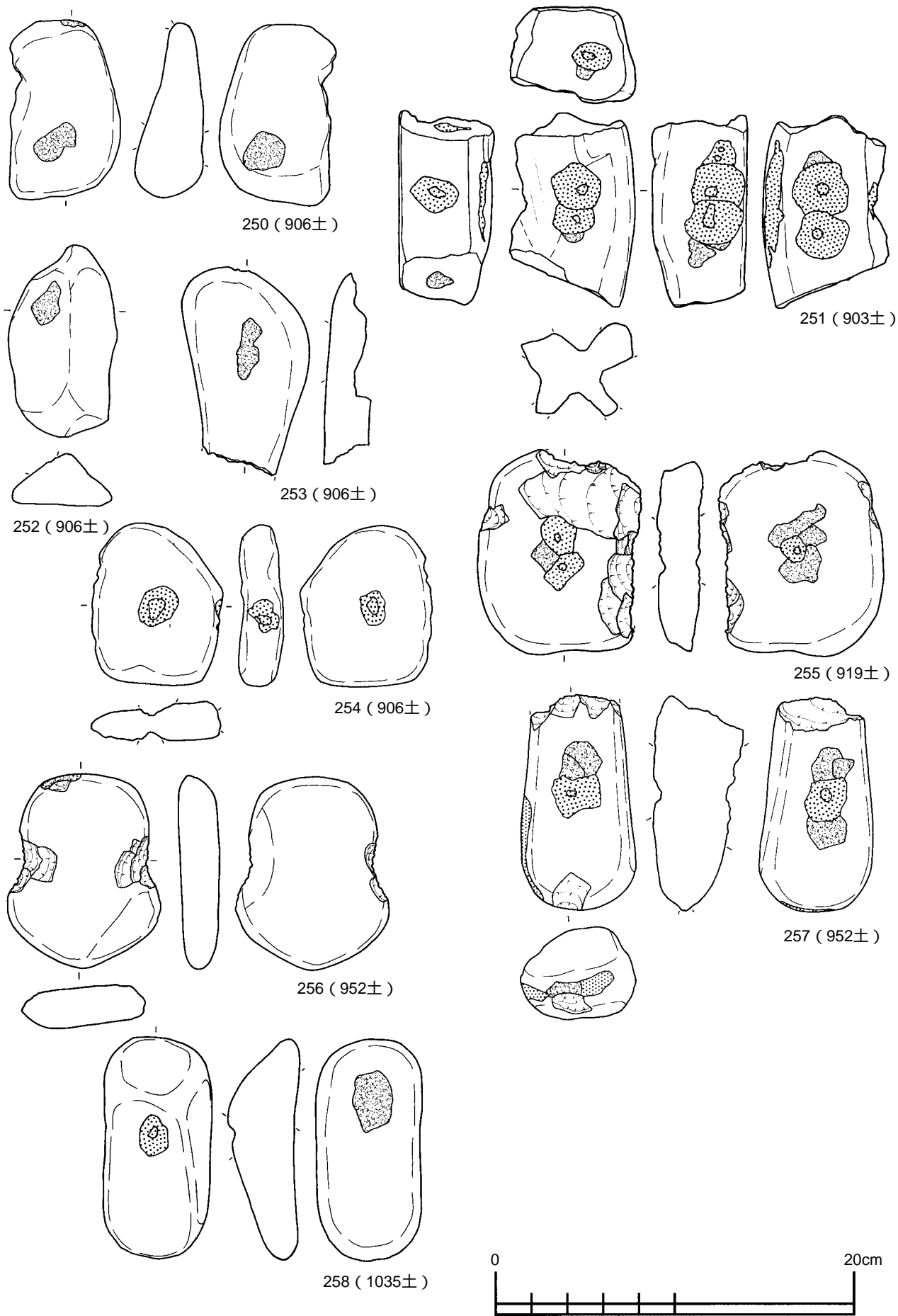
第227図 遺構内出土石器(土坑)(27)



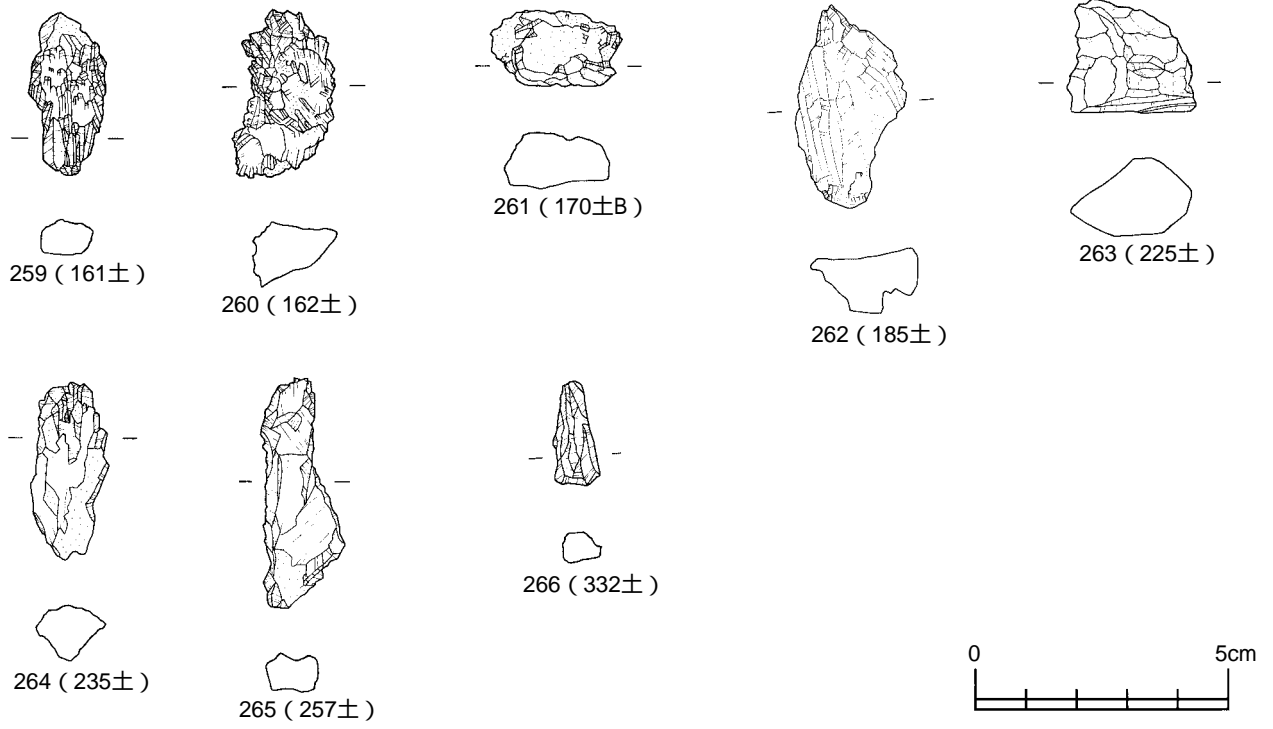
第228図 遺構内出土石器(土坑)(28)



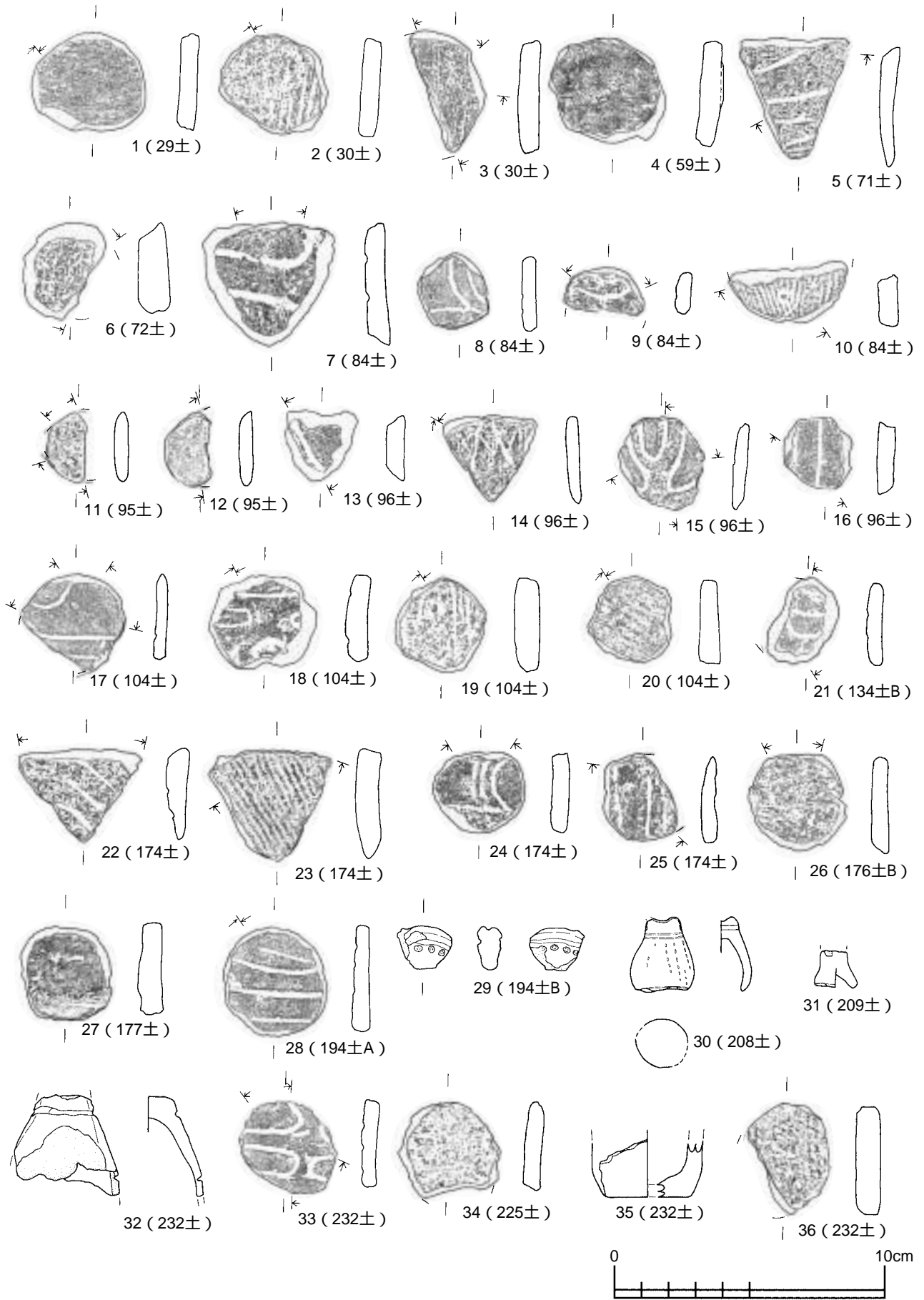
第229図 遺構内出土石器(土坑)(29)



第230図 遺構内出土石器(土坑)(30)

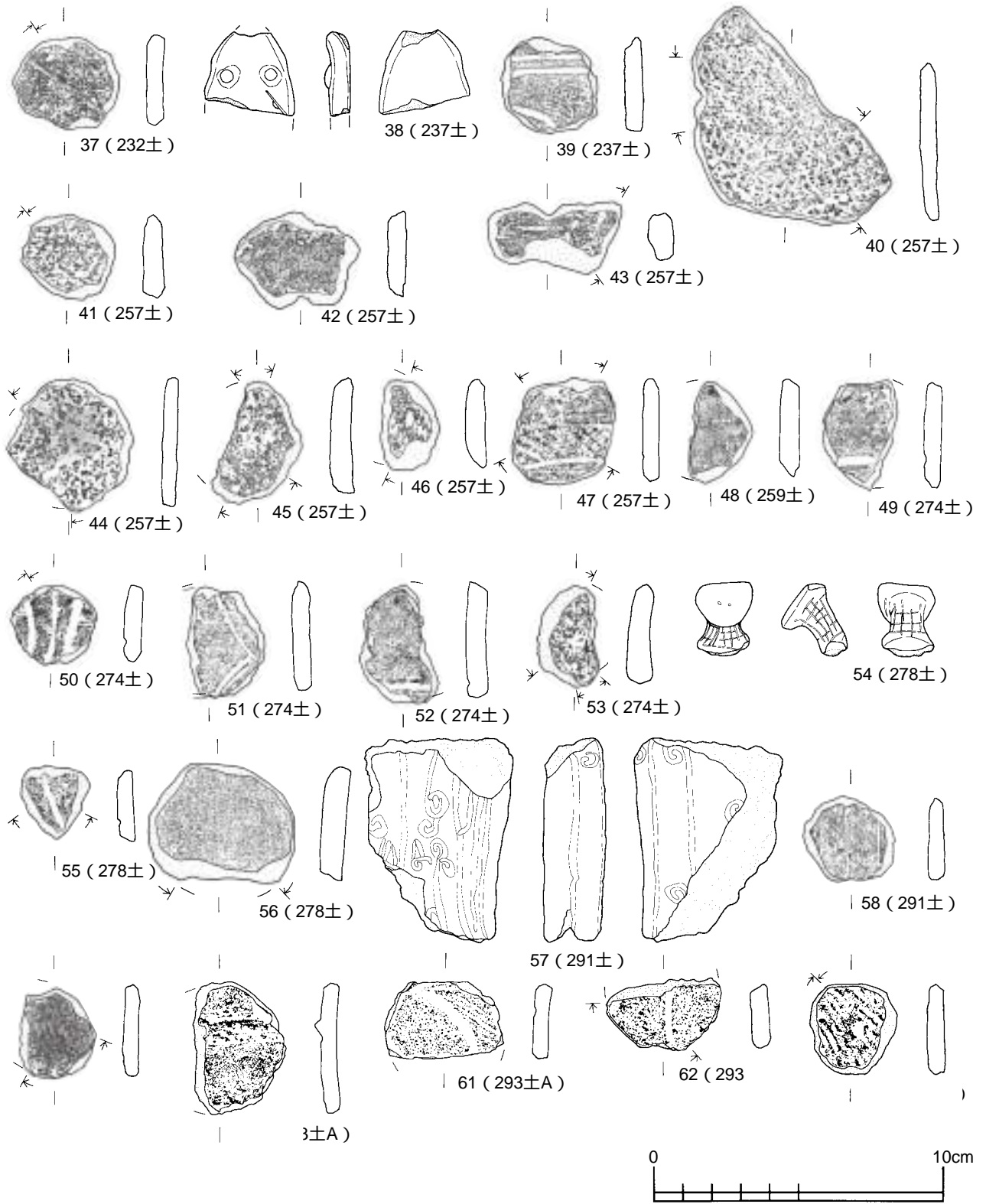


第231図 遺構内出土石器(土坑)(31)

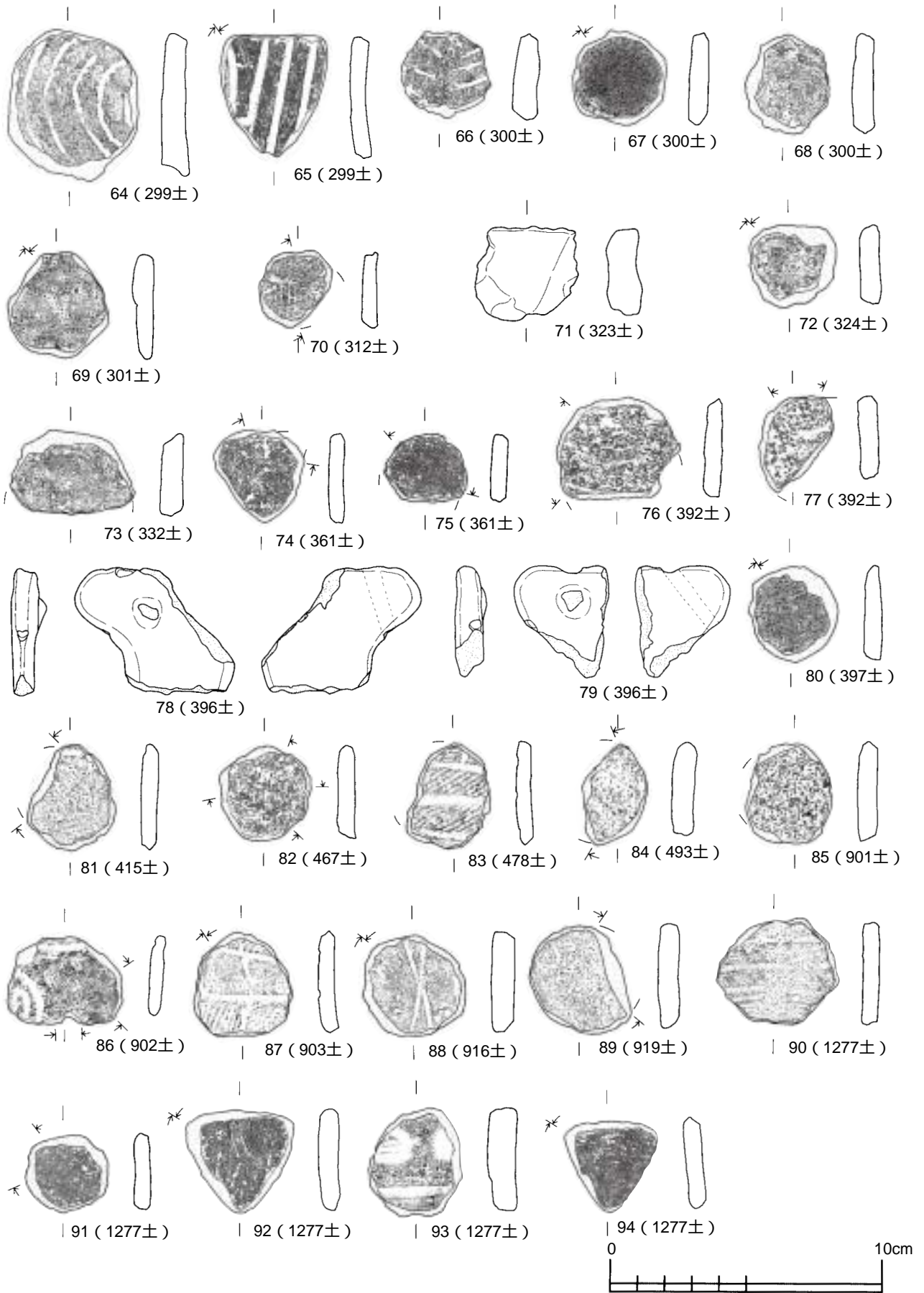


第232図 遺構内出土土製品（土坑）(1)

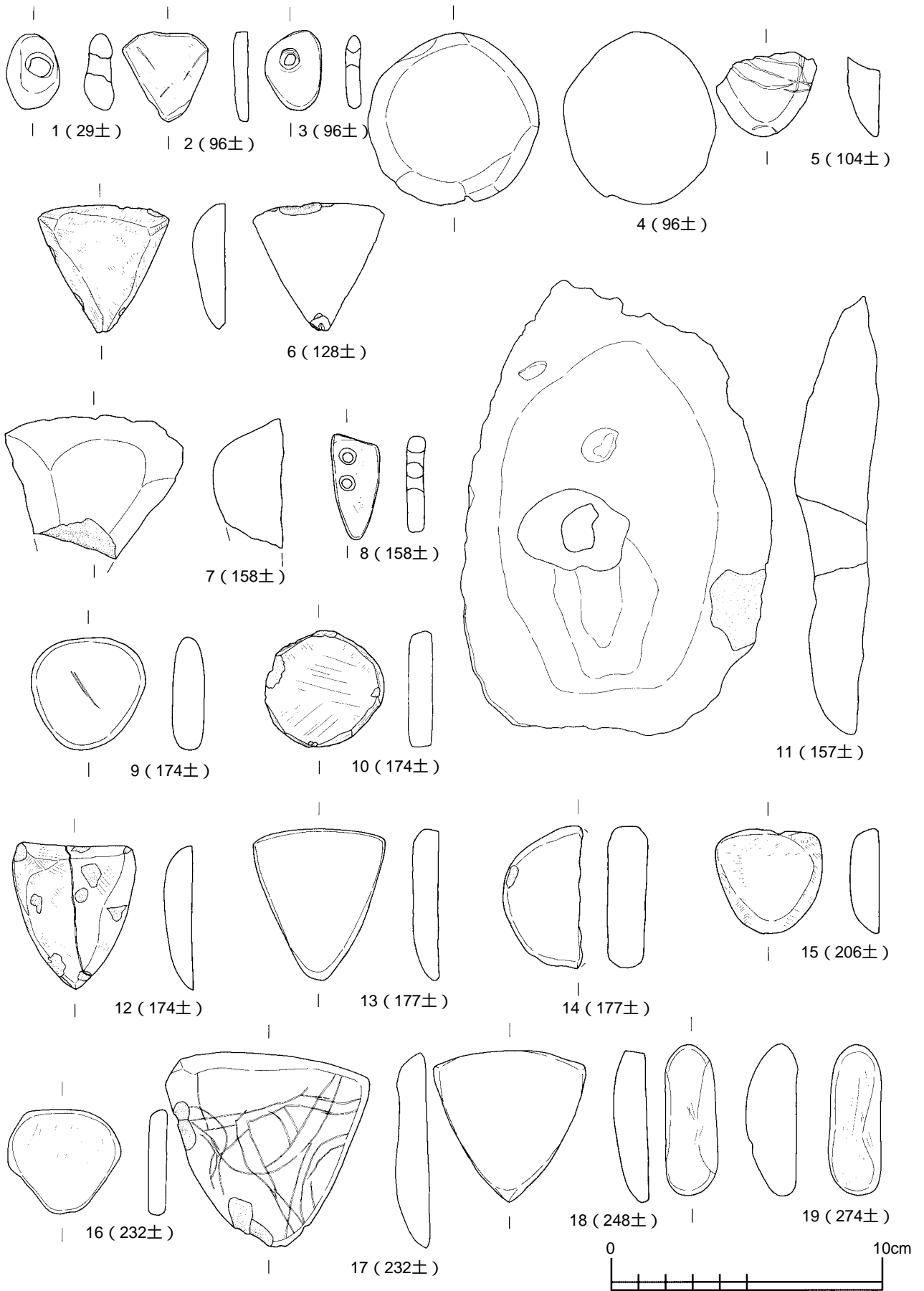




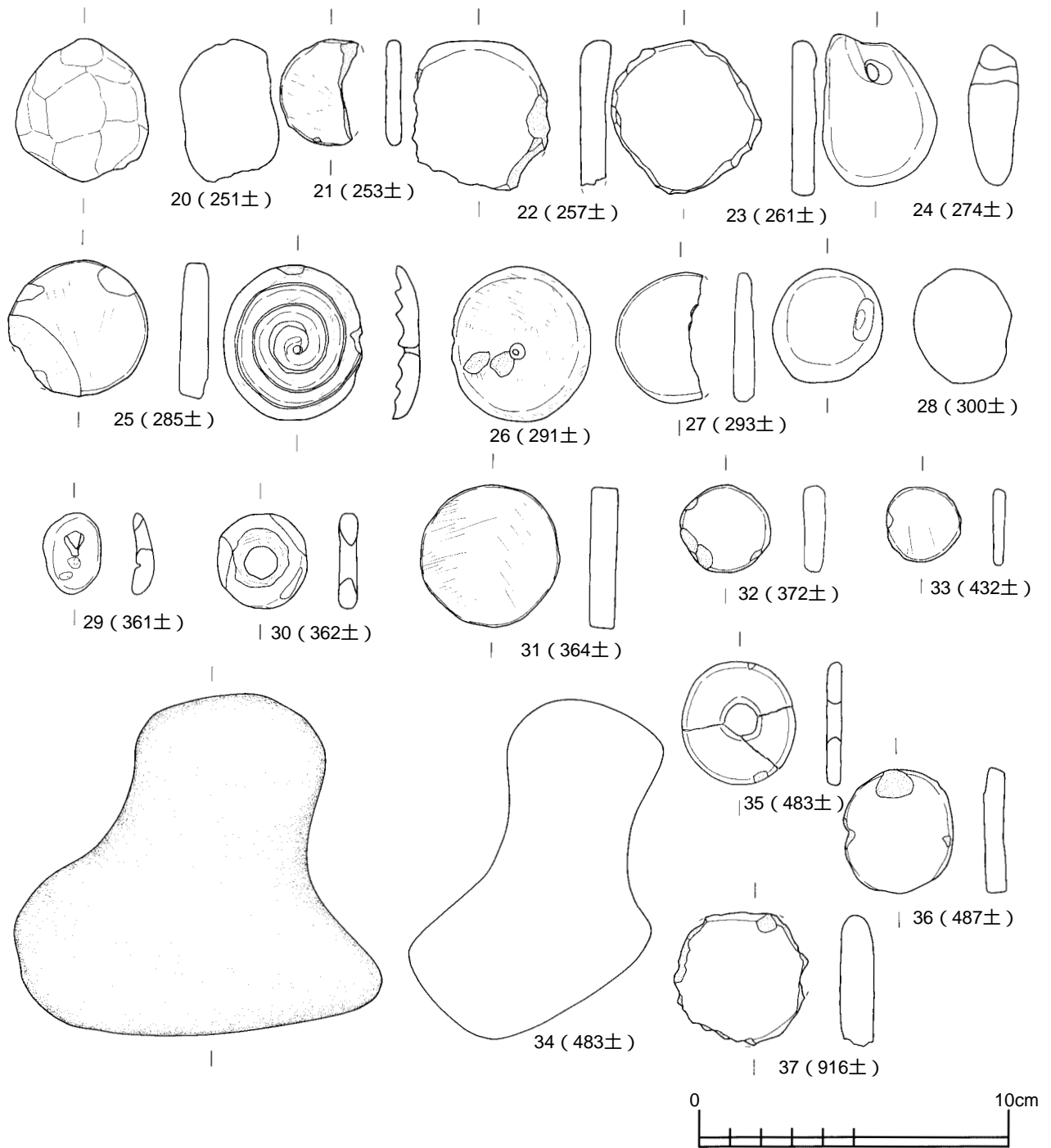
第233図 遺構内出土土製品(土坑)(2)



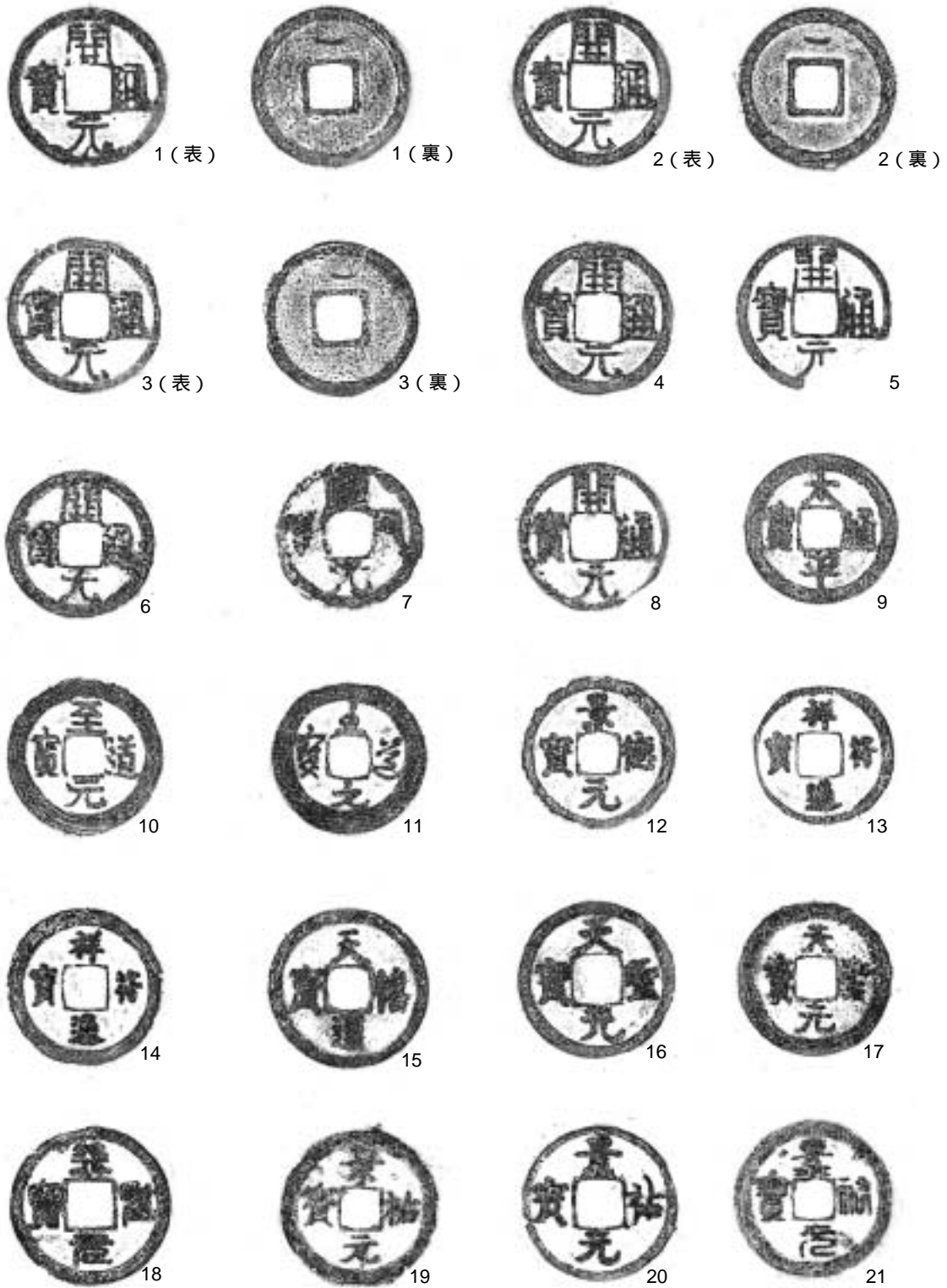
第234図 遺構内出土土製品(土坑)(3)



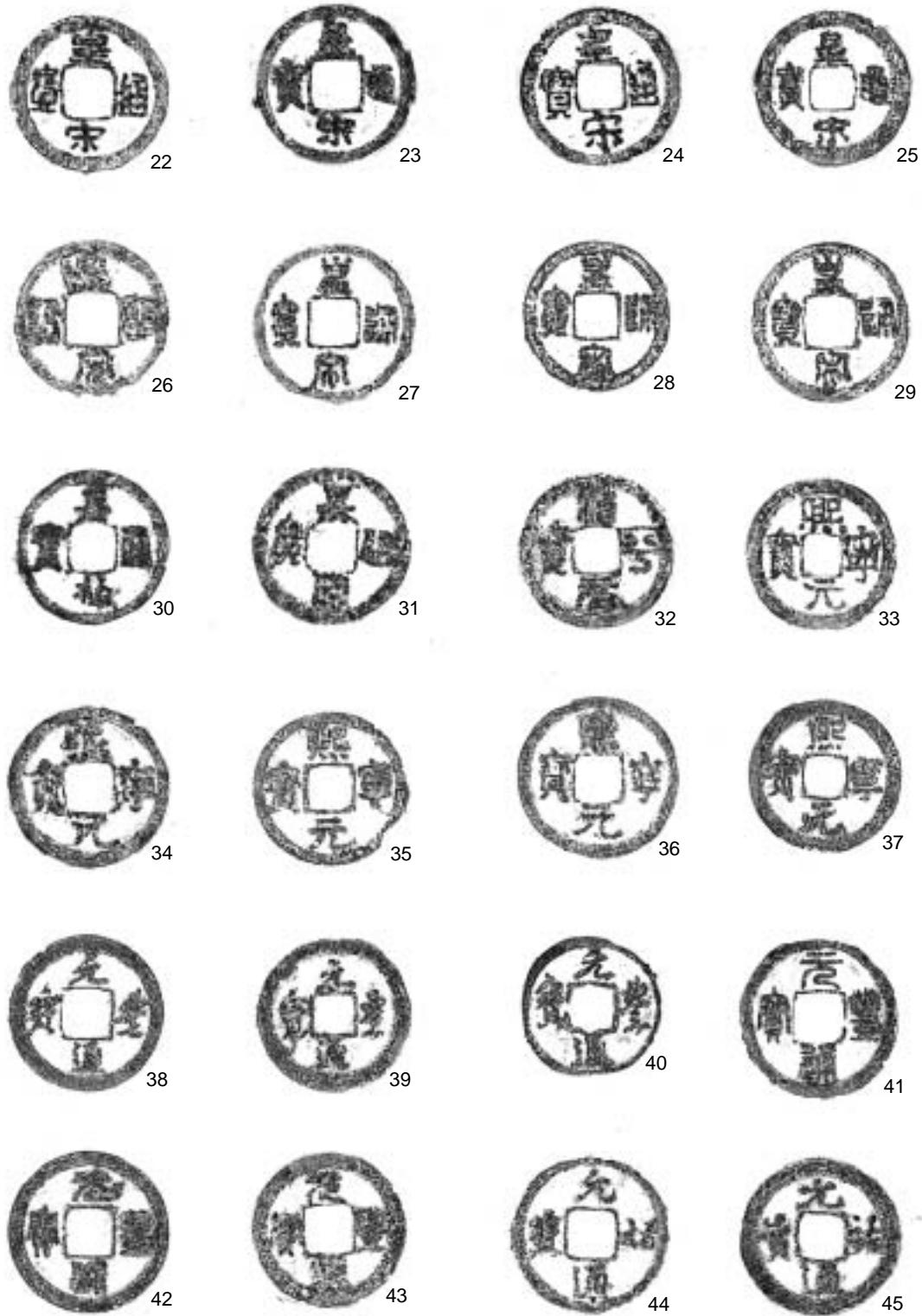
第235図 遺構内出土石製品(土坑)(1)



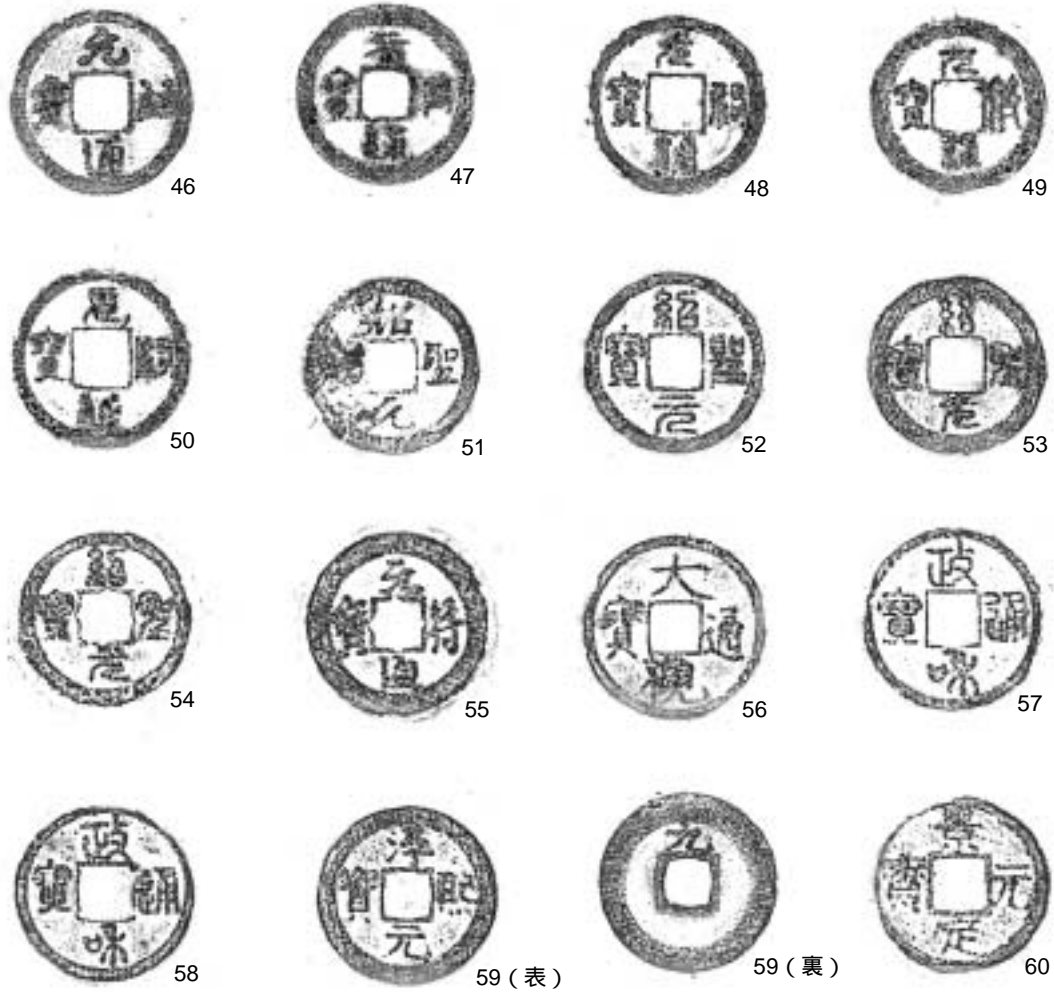
第236図 遺構内出土石製品（土坑）(2)



第237図 遺構内出土古銭(土坑)(1)



第238図 遺構内出土古銭（土坑）(2)



第239図 遺構内出土古銭(土坑)(3)

### 3. 埋設土器遺構

#### 第1号埋設土器遺構（第240図）

[位置・検出状況] AC - 150グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に礫と土器を半截した状況で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器上面の礫から土器最低面まで35cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器（第241図1）が正立した状態で埋設されていた。土器覆土上面から長さが20cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第2号埋設土器遺構（第240図）

[位置・検出状況] AC - 150グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで26cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器が2个体埋設されていた。上部に倒立した状態の土器（B）（第242図3）を、下部には正立した状態の土器（A）（第241図2）を検出した。覆土中から長さが11cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第3号埋設土器遺構（第240図）

[位置・検出状況] AC - 150グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で礫と土器を確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで30cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器（第242図4）が倒立した状態で埋設されていた。土器覆土上面から長さが18cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第4号埋設土器遺構（第240図）

[位置・検出状況] AB・AC - 150グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から最低面まで29cmを測る。



[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第242図5)が正立した状態で埋設されていた。土器覆土上面から長さが7cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第5号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC-150グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から最低面まで27cmを測る。

[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第242図6)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第6号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC-150グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで20cmを測る。

[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第243図7)が斜位の状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第8号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AB-151グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から最低面まで19cmを測る。

[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群6類に属する深鉢形土器(第243図8)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第10号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AB-151グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から最低面まで24cmを測る。

[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群6類に属する深鉢形土器(第243図9)が正立した状態で埋設されていた。

[ 時期 ] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第11号埋設土器遺構 (第240図)

[ 位置・検出状況 ] A B - 151グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[ 重複 ] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 明確な掘り方は確認できなかった。平面形は半截した状況で検出したため不明だが、円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から最低面まで15cmを測る。

[ 堆積土 ] 土器内部を1層に分層した。

[ 出土遺物・状況 ] 第群5 a類に属する深鉢形土器(第243図10)が正立した状態で埋設されていた。

[ 時期 ] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第12号埋設土器遺構 (第240図)

[ 位置・検出状況 ] A D - 156グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで17cmを測る。

[ 堆積土 ] 土器内部を1層に分層した。

[ 出土遺物・状況 ] 第群5 a類に属する深鉢形土器(第243図11)が正立した状態で埋設されていた。

[ 時期 ] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第15号埋設土器遺構 (第240図)

[ 位置・検出状況 ] A B - 155グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器上面の礫から土器最低面まで28cmを測る。

[ 堆積土 ] 土器内部を1層に分層した。

[ 出土遺物・状況 ] 第群5 a類に属する深鉢形土器(第244図12)が正立した状態で埋設されていた。土器覆土上面から長さが8cm程の礫を検出した。

[ 時期 ] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第16号埋設土器遺構 (第240図)

[ 位置・検出状況 ] A B - 155グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器上面の礫から土器最低面まで32cmを測る。

[ 堆積土 ] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第244図13)が斜位の状態で埋設されていた。土器内部から長さが15cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第18号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC - 152グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで30cmを測る。

[堆積土] 土器内部を3層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第244図14、15)が正立した状態で2個体重ね合わせて埋設されていた。土器覆土中から長さが15cm程の礫を検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第19号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC - 153グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで21cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第245図16)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第20号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AB・AC - 148グリッドで検出した。第4号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第4号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] ほぼ円形の平面形を呈する。規模は開口部で径23cmを測る。深さは土器最高面から掘り方底面まで20cmを測る。

[堆積土] 4層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群6類に属する深鉢形土器(第245図17)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第21号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC - 149グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 半截した状況で確認したため掘り方の平面形は不明だがほぼ円形を呈すると考えられる。深さは土器最高面から掘り方底面まで25cmを測る。

[堆積土] 3層に分層した。

[出土遺物・状況] 第群6類に属する深鉢形(第245図18)土器が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第22号埋設土器遺構(第240図)

[位置・検出状況] AC-149グリッドで検出した。第5号住居跡精査時に住居覆土中で確認した。

[重複] 第5号住居跡と重複する。本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで45cmを測る。

[堆積土] 3層に分層した。

[出土遺物・状況] 第群5a類に属する深鉢形土器が埋設されていた。外側の土器(A)(第246図19)は正立した状態で埋設され、その内側から底部を欠損した土器(B)(第246図20)を検出した。土器内部から敲磨器類2類B(第246図543)を1点検出した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第35号埋設土器遺構(第241図)

[位置・検出状況] AF-144グリッドで検出した。基本層序第c層精査中に土器を半截した状態で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかったが、円形を呈すると考えられる。規模は開口部で径25cmを測る。深さは土器最高面から最低面まで30cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第群6類に属する深鉢形土器(第246図21)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第38号埋設土器遺構(第241図)

[位置・検出状況] AB-129グリッドで検出した。基本層序第c層精査中に土器を半截した状態で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかったが、円形を呈すると考えられる。規模は開口部で径23cmを測る。深さは土器最高面から掘り方底面まで35cmを測る。

[堆積土] 5層に分層した。第2層中から多量の角礫が出土した。

[出土遺物・状況] 第群5a類に属する深鉢形土器(第246図22)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第39号埋設土器遺構(第241図)

[位置・検出状況] AE・AF-143グリッドで検出した。基本層序第c層精査中に土器と暗褐色土の落ち込みを確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 掘り方は不整な円形を呈する。規模は開口部で径31cmを測る。深さは土器最高面から掘り方底面まで28cmを測る。

[堆積土] 3層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第247図23)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第40号埋設土器遺構(第241図)

[位置・検出状況] A E - 153グリッドで検出した。基本層序第 c層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 掘り方は不整な円形を呈する。規模は開口部で径31cmを測る。深さは土器最高面から掘り方底面まで22cmを測る。

[堆積土] 4層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群6類に属する深鉢形土器(第247図24)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

#### 第41号埋設土器遺構(第241図)

[位置・検出状況] Z - 124グリッドで検出した。基本層序第 層精査中に土器を半截した状況で確認した。

[重複] なし。

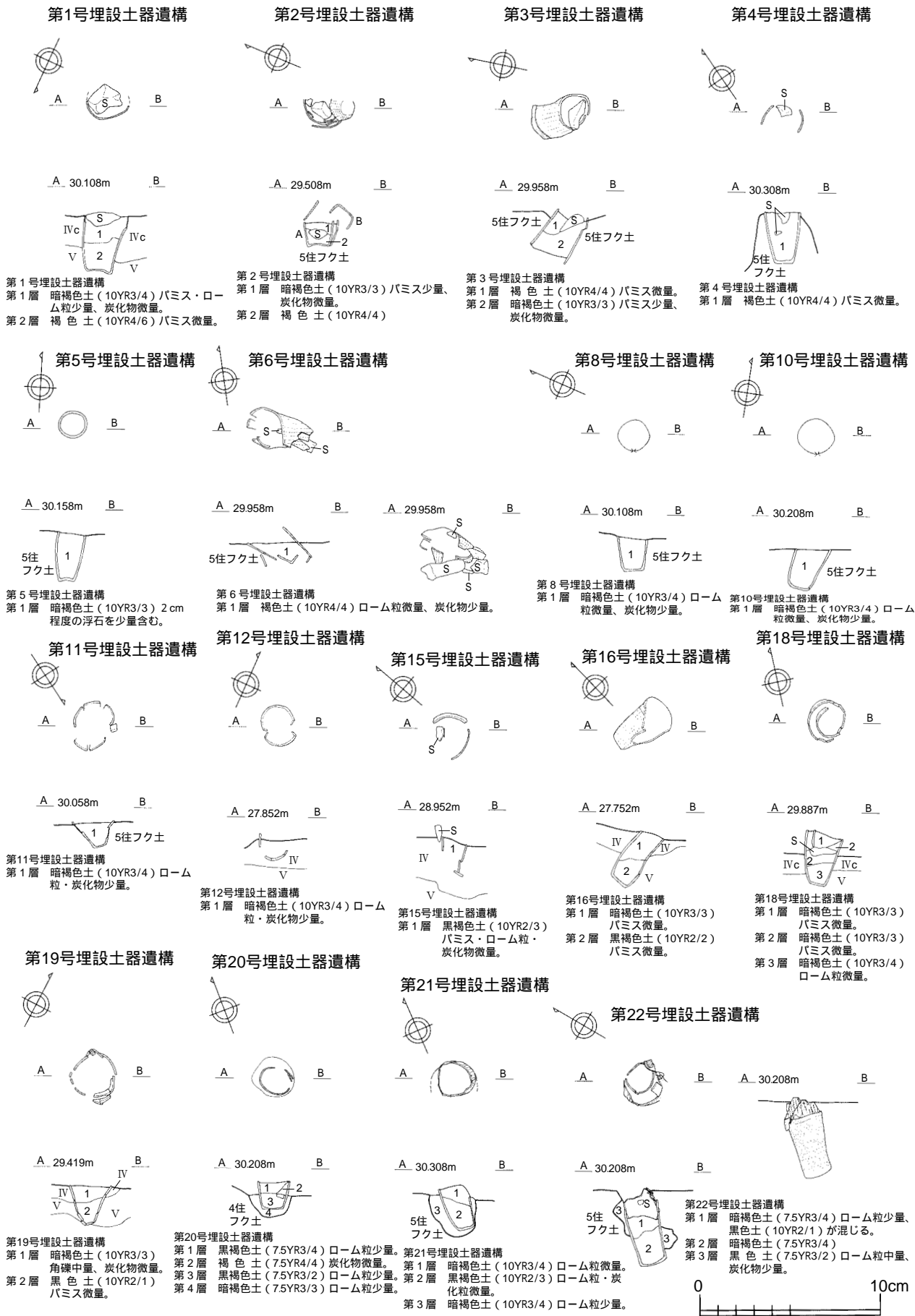
[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで18cmを測る。

[堆積土] 1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器(第247図25)が正立した状態で埋設されていた。土器内部から8cm程の礫を検出した。

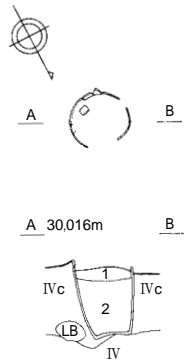
[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

(蝦名)



第240図 埋設土器遺構 (1) (1~6埋・8埋・10~12埋・15埋、16埋・18~22埋)

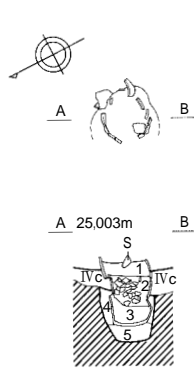
第35号埋設土器遺構



第35号埋設土器遺構

第1層 極暗褐色土 (7.5YR2/3) □-△粒少量、炭化物微量。  
第2層 褐色土 (7.5YR4/4) □-△粒少量、炭化粒・角礫微量。

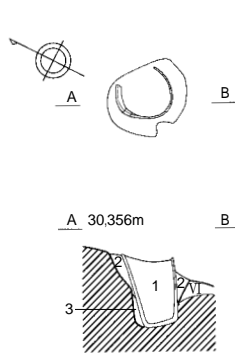
第38号埋設土器遺構



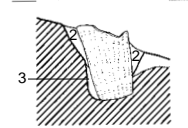
第38号埋設土器遺構

第1層 黑褐色土 (7.5YR3/1) 角礫少量。  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 角礫多量。  
第3層 黑褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒微量。  
第4層 暗褐色土 (10YR4/6) □-△粒少量。  
第5層 褐色土 (10YR4/6) LB-□-△粒微量。

第39号埋設土器遺構



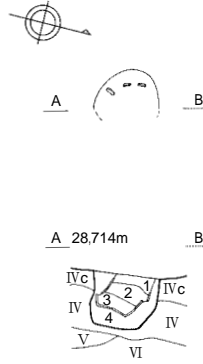
第39号埋設土器遺構



第39号埋設土器遺構

第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、炭化物少量。  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、炭化物微量。  
第3層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒少量。

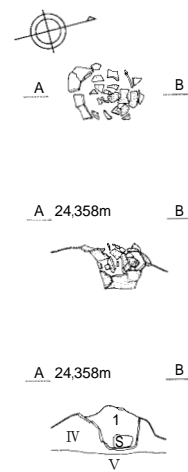
第40号埋設土器遺構



第40号埋設土器遺構

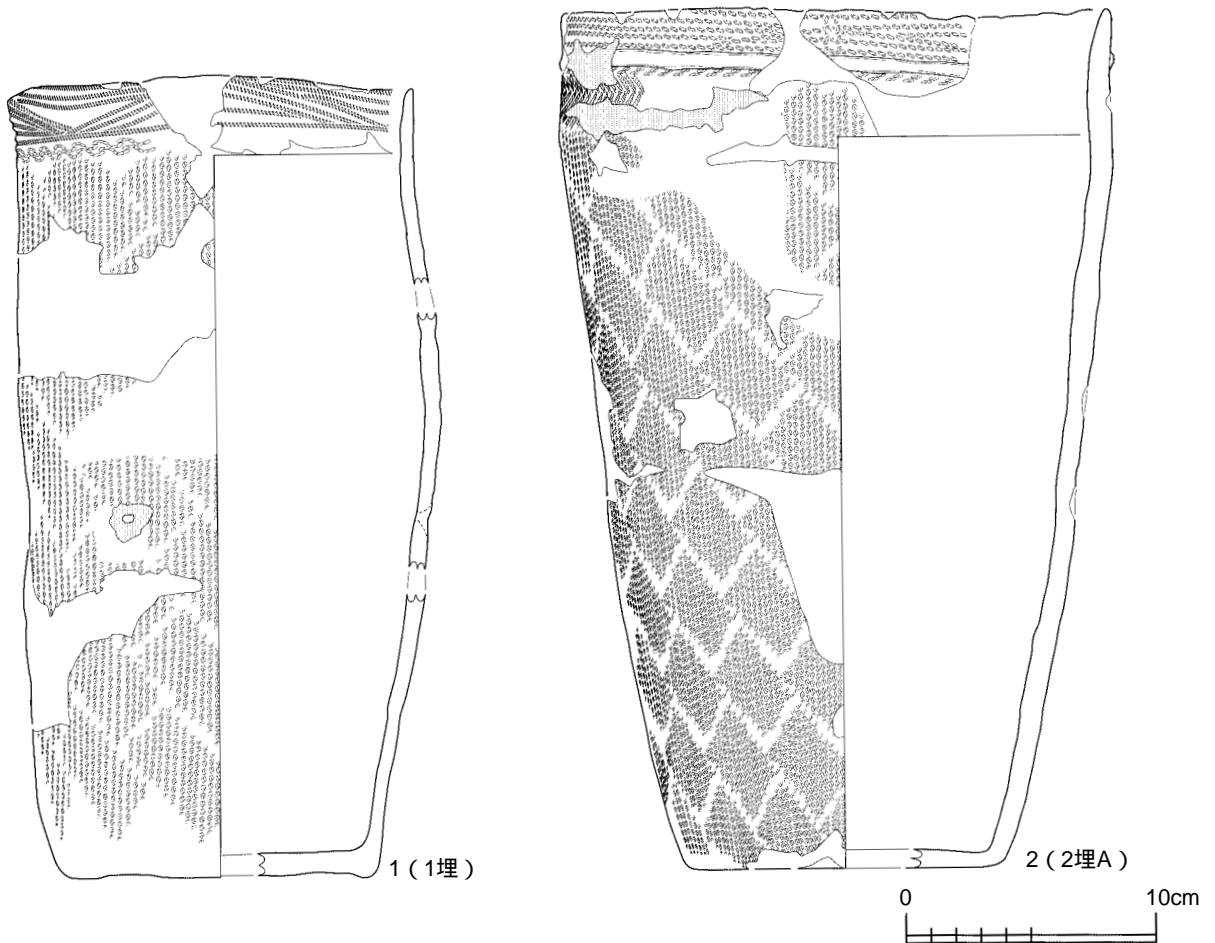
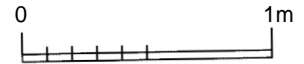
第1層 黑褐色土 (10YR2/3) □-△粒・炭化物微量。  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) □-△粒・炭化物少量。  
第3層 黑褐色土 (7.5YR3/2) □-△粒・炭化物少量。  
第4層 黑色土 (7.5YR2/1) □-△粒・炭化物少量。

第41号埋設土器遺構

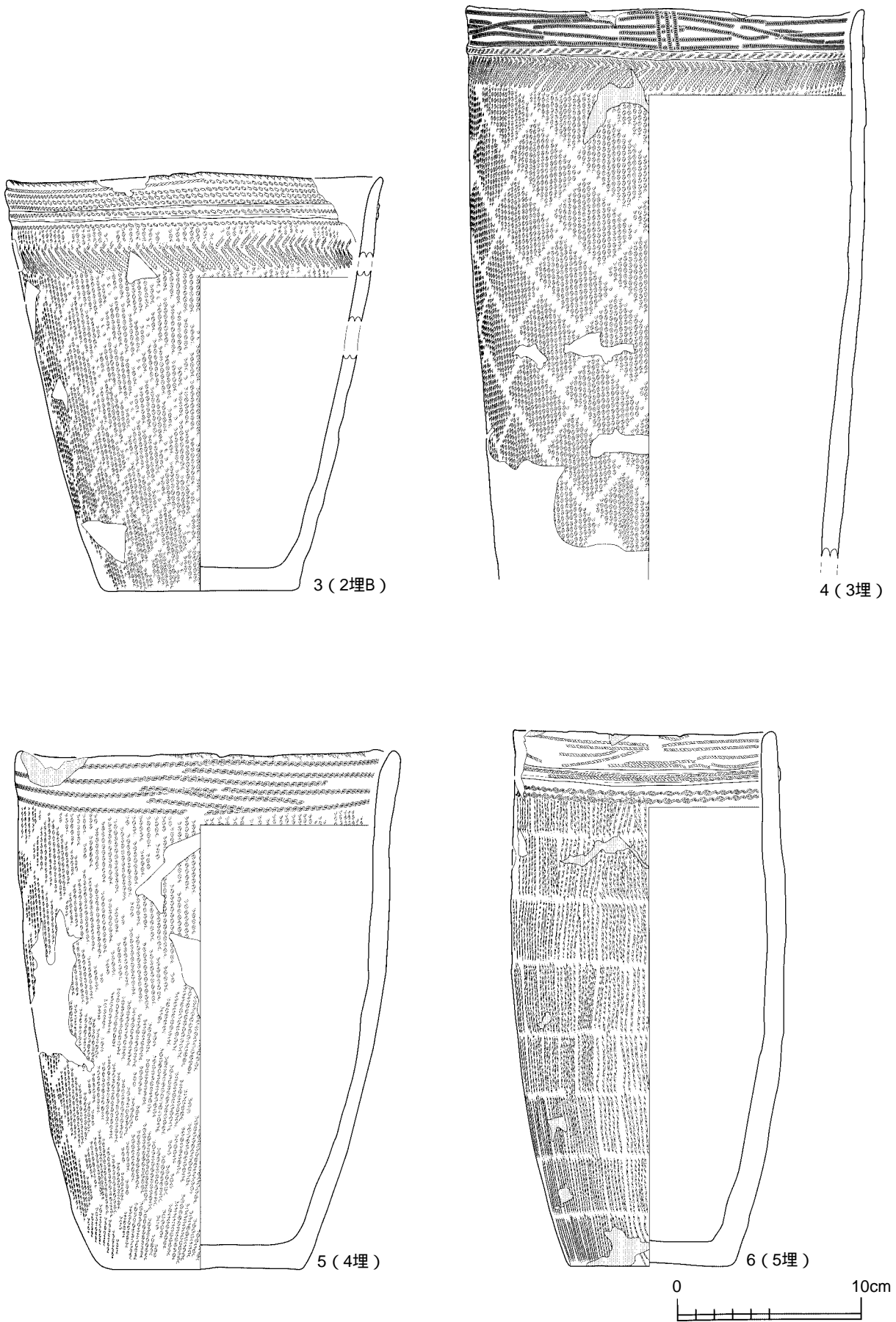


第41号埋設土器遺構

第1層 黑褐色土 (10YR2/3) □-△粒少量。

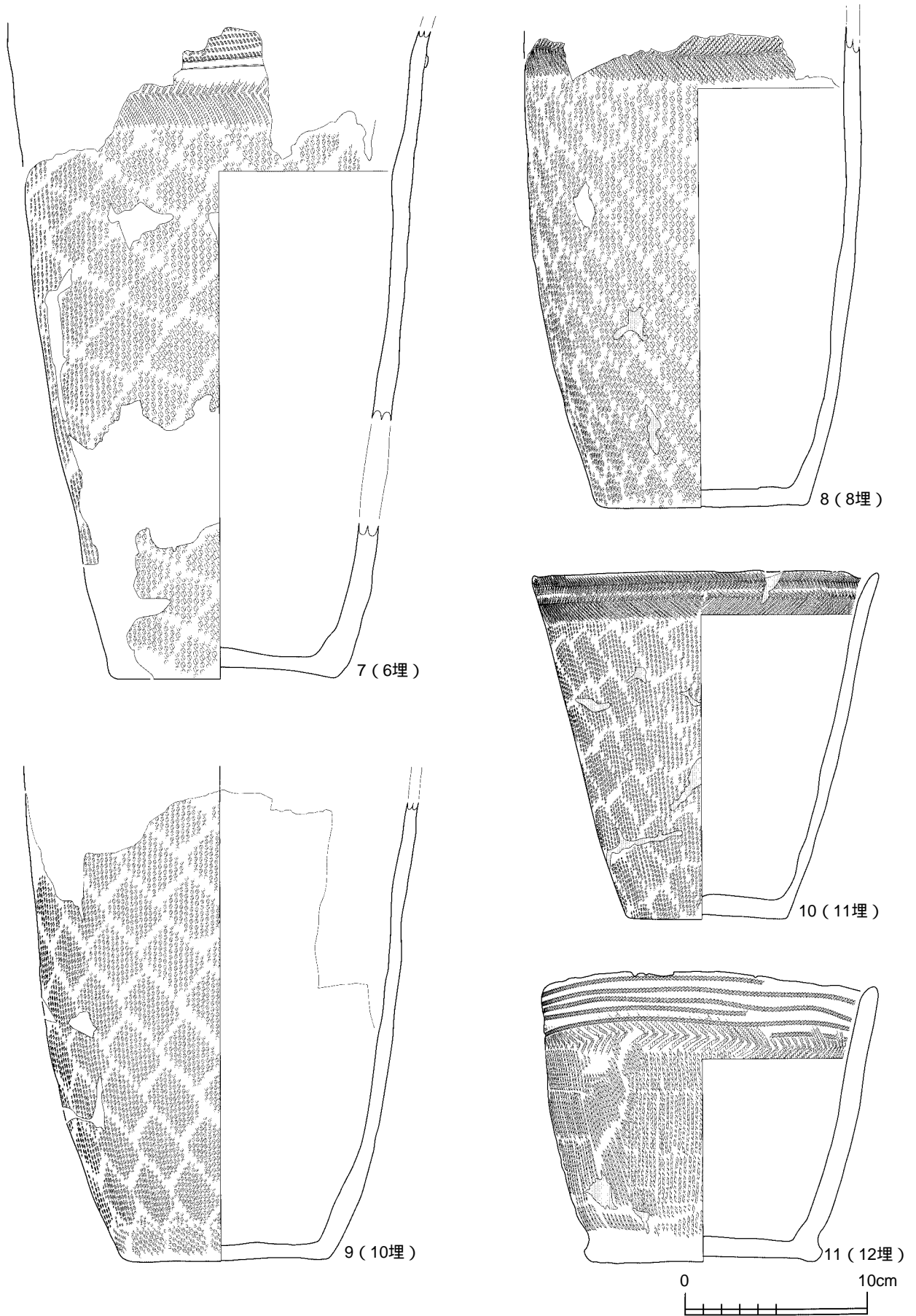


第241図 埋設土器遺構 (2) (35埋・38~41埋)・遺構内出土土器 (埋設土器遺構) (1)

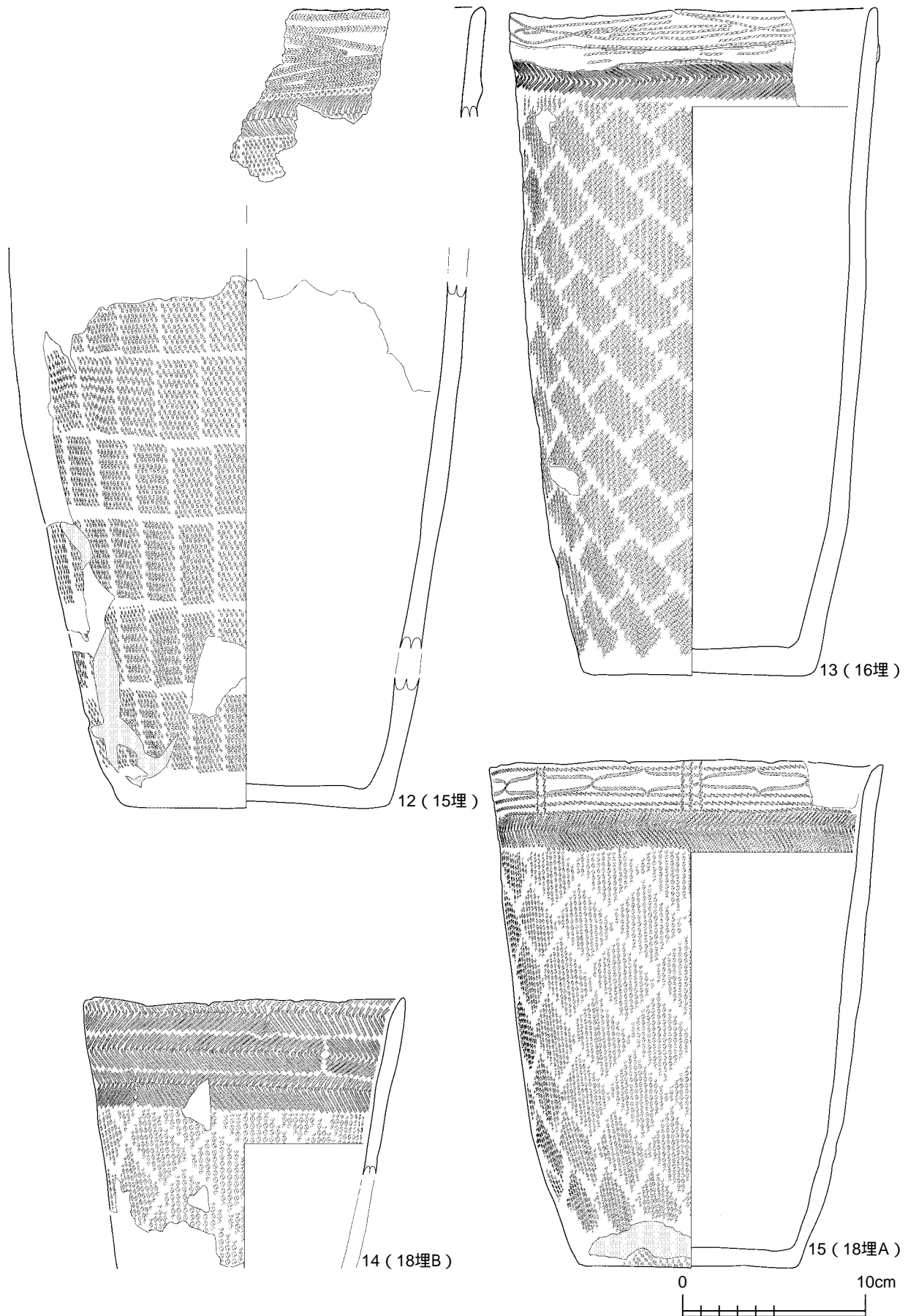


第242図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(2)

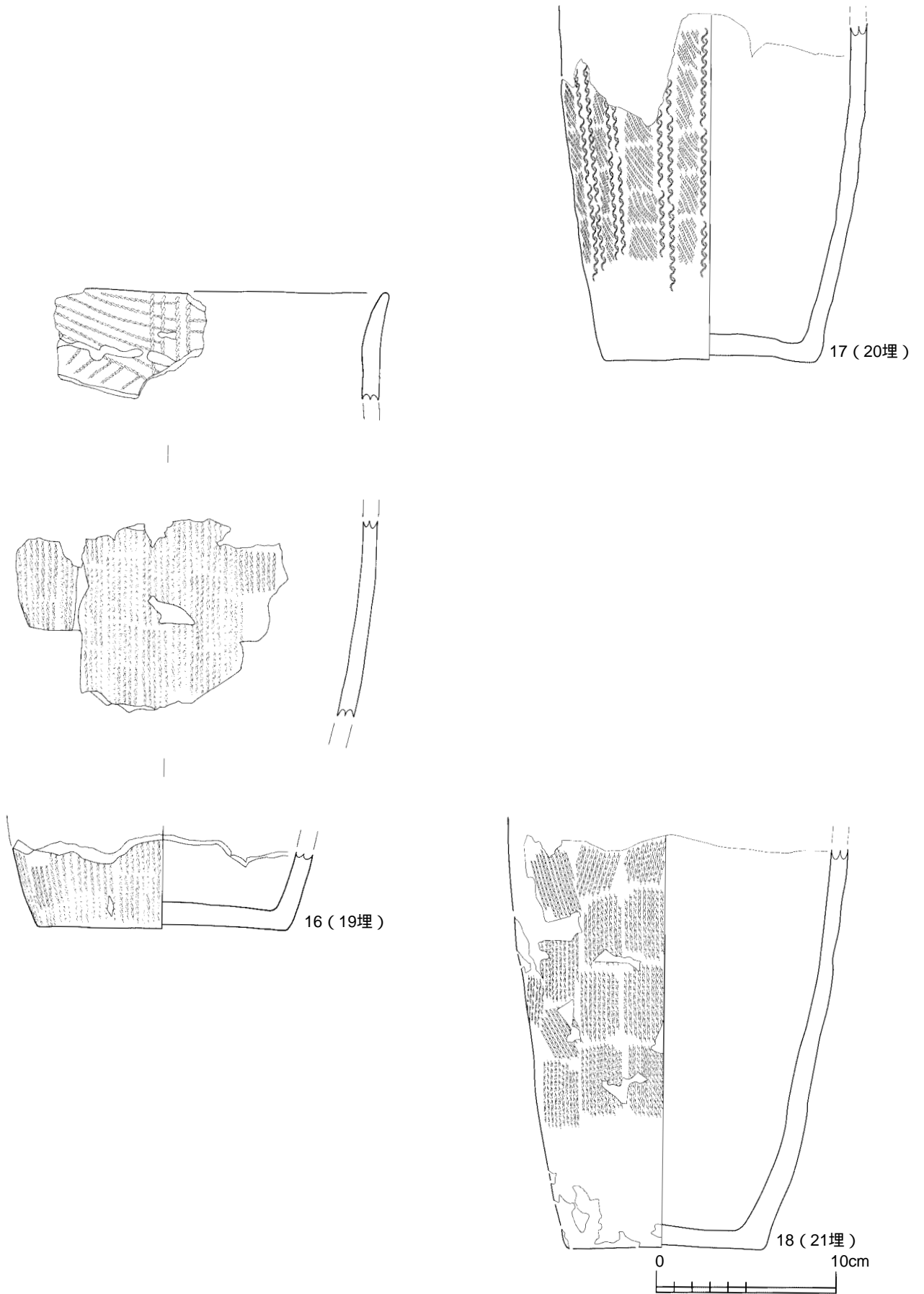




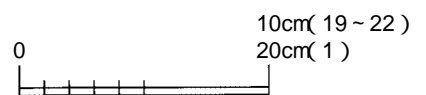
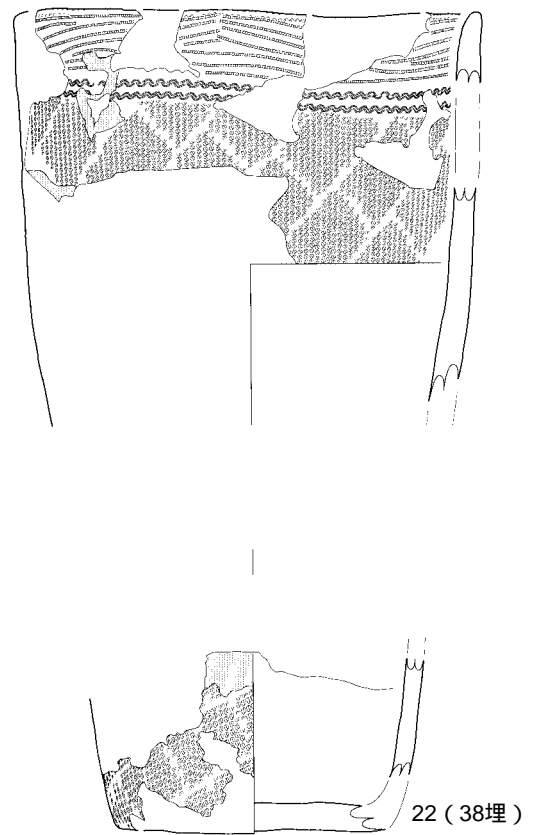
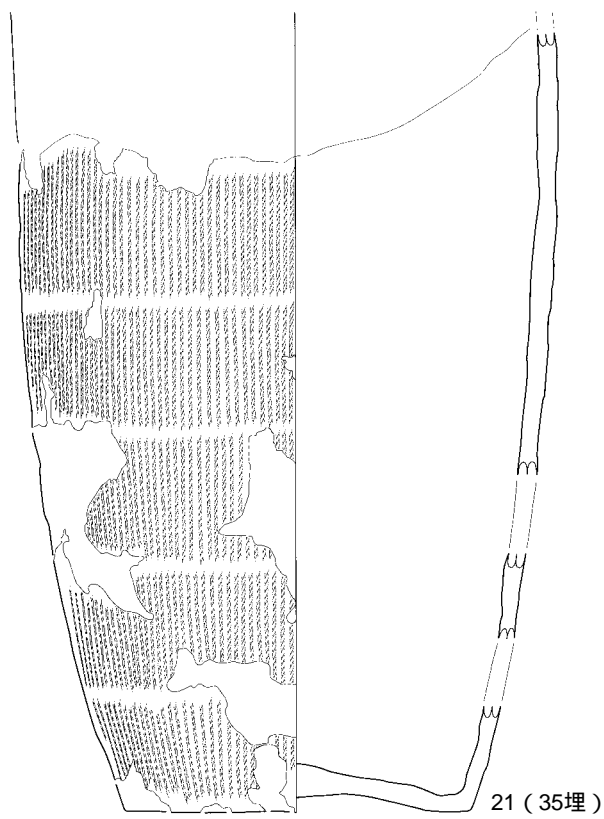
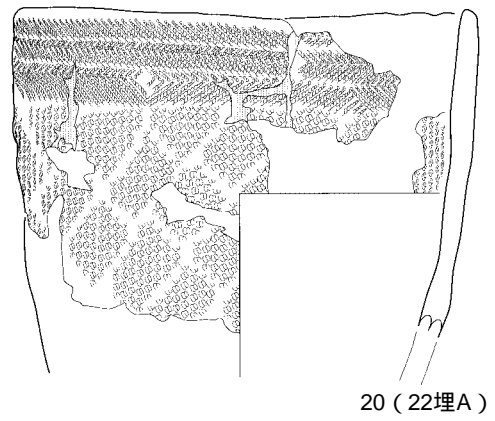
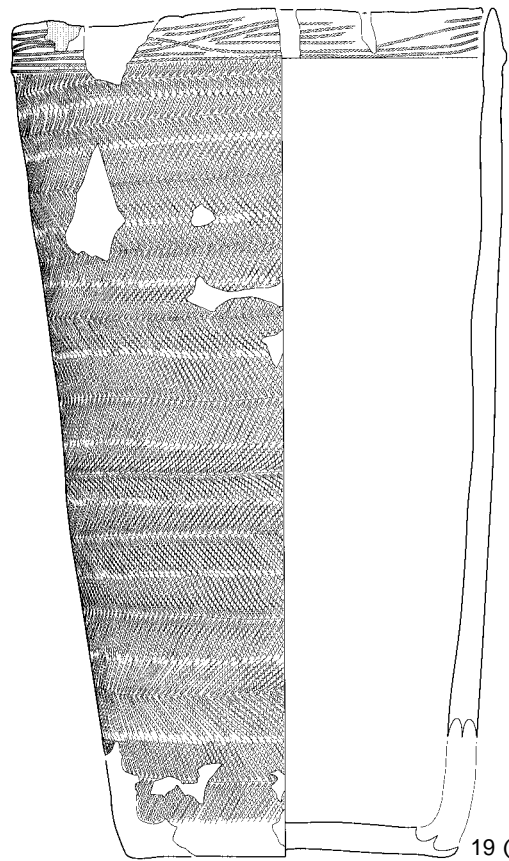
第243図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(3)



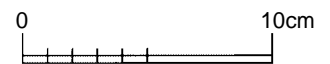
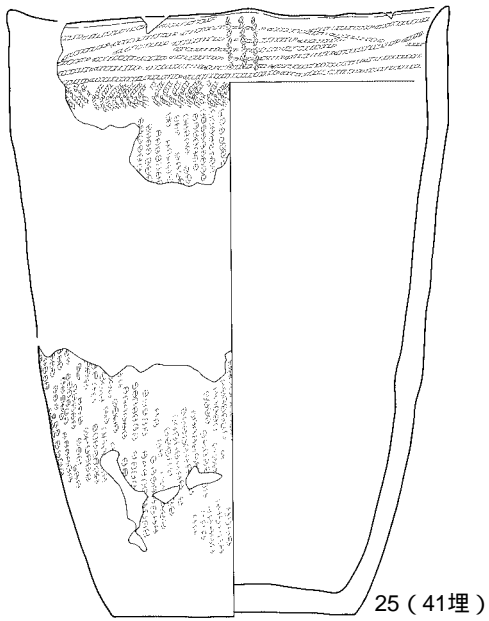
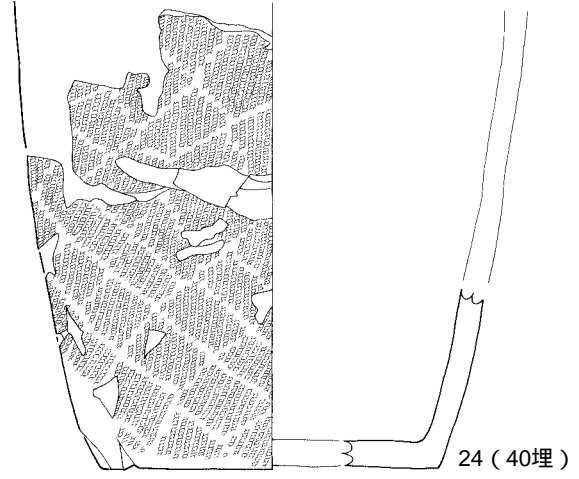
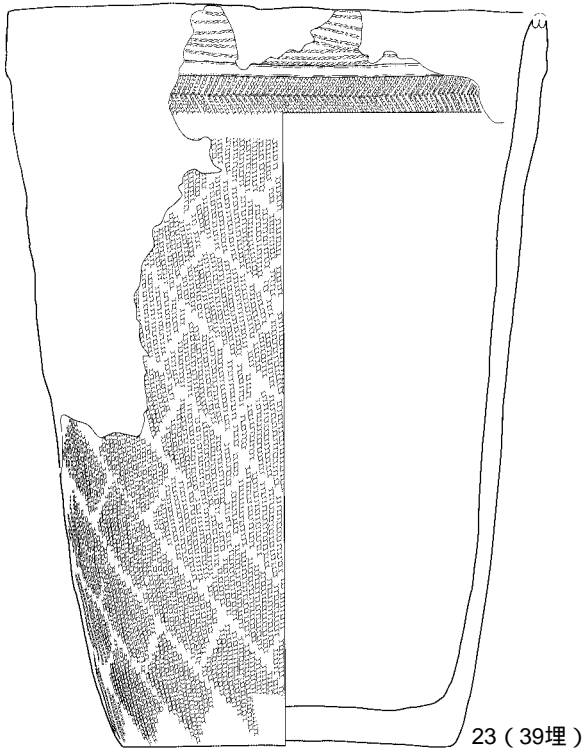
第244図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(4)



第245図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(5)



第246図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(6)・遺構内出土石器（埋設土器遺構）



第247図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(7)

#### 4. 配石遺構・石棺墓

##### 第1号石棺墓（第248図）

[位置・確認層] X 142、143グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第1083号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[形状・規模] 4点の板状摂理の石（S 3～5、7）をコの字状に立てて配置し側壁としている。S 3、5、7は、南東側へ傾いている。側壁内部には2点の板状摂理の石（S 1、2）が重ねておおむね水平に横たえており、蓋石の可能性が考えられる。敷石は出土していない。下部土坑の平面形は楕円形で、開口部は、164cm×87cm、底面は、142cm×68cm、深さは40cmである。長軸方向は、北東南西である。

[壁] 基盤の礫層を掘り込んでいるため、若干の凹凸が見られるが、全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。全体として北東側から南西側への傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。全体として暗褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 明確な時期は不明である。

##### 第2号石棺墓（第248図）

[位置・確認層] A A 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[形状・規模] 計8点の自然礫（S 1～4、9、16、17）及び石皿（S 10、第251図547）を下部土坑の壁際に立てかけるように配置し側壁としている。側壁内部には9点の自然礫（S 5～8、11～15）を西側に傾け重ねて配置している。また、これらの下部には板状摂理の石2点（S 18、19）及び1点の扁平な自然礫（S 22）を横たえており、これらは蓋石と考えられる。敷石は出土していない。下部土坑の平面形は不整形で、開口部は最長122cm、底面は最長110cm、深さは36cmである。長軸方向は、東 西である。

[壁] 基盤の礫層を掘り込んでいるため、若干の凹凸が見られるが、全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。

[堆積土] 3層に分層した。第2、3層は、暗褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。また第1層は黒褐色土が堆積し、混入物は微量であるが、礫が配置されている。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、覆土より石皿・台石1類が1点（第251図547）出土している。

[時期] 明確な時期は不明である。縄文時代の遺構と思われる。

##### 第3号石棺墓（第249図）

[位置・確認層] Y 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[形状・規模] 計5点の板状摂理の石（S 1～3、5、6）をコの字状に立てて配置し側壁としてい

る。S 1、2、5は南東側へ、S 3、6は南西側へそれぞれ傾いている。側壁内部では、2点の板状摺理の石（S 4、7）及び扁平な1点の自然礫（S 8）を確認した。これらは、蓋石ないし側壁として用いられたものかもしれないが、検出状況では判然としない。敷石は確認していない。下部土坑の平面形は楕円形で、開口部は140cm×95cm、底面は127cm×75cm、深さは50cmである。長軸方向は、北東 南西である。

[壁] 基盤の礫層を掘り込んでいるため、若干の凹凸が見られるが、全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。全体として、南西側から北東側への傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は褐色土が堆積し、角礫を含む。第1層は黒褐色土が堆積し、混入物は微量であるが礫が配置されている。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 明確な時期は不明である。

#### 第6号配石遺構（第249図）

[位置・確認層] Y 140グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[形状・規模] 計6点の板状節理の石（S 1、3、5）及び自然礫（S 2、4、6）をコの字状に壁側に立てかけるように配置している。下部土坑の平面形は楕円形で、開口部は120cm×77cm、底面は99cm×56cm、深さは27cmである。長軸方向は、北東 南西と思われる。

[壁] 基盤の礫層を掘り込んでいるため、凹凸が見られるが、全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。全体として、南西側から北東側への傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、角礫、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点（第251図544）出土している。

[時期] 明確な時期は不明である。出土遺物より縄文時代の遺構と思われる。

#### 第7号配石遺構（第249図）

[位置・確認層] AA、AB 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第497号土坑、第499号土坑と重複し、本遺構は第497号土坑、第499号土坑より古い。

[形状・規模] 計2点の石皿（S 3、第253図549）、扁平な自然礫を向かい合うように立てており、その周囲に大小の自然礫をおおむね横たわる状況で検出している。下部土坑の平面形は不整形で、開口部は最長138cm、底面は最長125cm、深さは43cmである。長軸方向は、北東 南西と思われる。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積するが、角礫を含む。第1層は、黒色土が堆積するが上位に礫が配置されている。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群土器（第251図1～3）第2層より第 群土器（第251図4～

6) 第1層より第 群6類土器(第251図7)が出土している。石器は、覆土より石皿・台石1類が3点(第251図545、546、第253図549)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期前葉もしくはそれ以前の遺構と思われる。

#### 第8号配石遺構(第250図)

[位置・確認層] A A 141、142グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第499号土坑と重複し、本遺構が古い。

[形状・規模] 計5点の板状摂理の石(S 1、5)及び自然礫(S 2、3、8)をコの字状に立てて配置しており側壁の可能性が考えられる。その外側では2点の扁平な自然礫(S 4、6)を、横たわる状況で検出している。内側の上部では2点の自然礫を、重なり横たわる状況で検出しており、蓋石の可能性も考えられる。内側の下部で1点の自然礫(S 11)を横たわる状況で検出している。その他1点の自然礫(S 7)を検出している。下部土坑の平面形は楕円形で、開口部は142cm×106cm、底面は132cm×92cm、深さは40cmである。長軸方向は、北東 南西である。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は基盤の風化した礫層である。全体として、南東側から北西側への傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐～褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群4類土器(第251図8)、第 群土器(第251図9、10)、覆土より第 群4類土器(第251図12)、第 群6類土器(第251図11)、第 群土器(第251図13)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期前葉もしくはそれ以前の遺構と思われる。

#### 第9号配石遺構(第250図)

[位置・確認層] A B 141グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[形状・規模] 確認面では、5点の自然礫(S 1～5)により囲んだ中央部に2点の大きめの自然礫(S 8、9)を重ねて配置しており、その周りに8点の小さい自然礫(S 6、7、11、17、18、20～23)を横たえて配置している。またその下部でも7点の小さい自然礫(S 10、12～16、19)をおおむね円形に配置している。また、土坑中位の北西側では、5点の小さい自然礫(S 24～28)をおおむね円形に立てて配置しており、その内側にはピット状に掘り込んだ形跡が見られる。下部土坑の平面形は円形で、開口部は81cm、底面は52cm、深さは53cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。北西側は、若干オーバーハングしているが、基盤の礫層を掘り込んでいるため、意図的なものかは、判然としない。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。

[堆積土] 5層に分層した。第4、5層は、褐色土が堆積し、角礫を含む。第3層は黒褐色土が堆積し、混入物は微量であるが、土坑中位の石組中の堆積であり、意図的な様相を呈する。第2層は、暗褐色土が堆積している。第1層は、黒褐色土が堆積し、混入物は微量であるが上位に礫が配置されている。人為堆積と思われる。



[出土遺物] 土器は、第2層より第 群4類土器(第251図15)、第 群土器(第251図14)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期前葉もしくはそれ以前の遺構と思われる。

#### 第11号配石遺構(第251図)

[位置・確認層] X 140グリッドに位置する。第 、 層において確認した。

[重複] なし。

[形状・規模] 計3点の石皿(S 1、第252図548)、板状節理の礫(S 5)、扁平な自然礫(S 2)を向かい合うように立てており、その外側を結ぶように2点の棒状の自然礫(S 3、4)を横たえている。その内側及び外側北西方向で大小様々の自然礫を、横たわる状況で検出した。また、下部土坑底面中央部で円礫を1点(S 18)検出した。下部土坑の平面形は不整形で、開口部は最長126cm、底面は最長95cm、深さは26cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。ただし、底面は、基盤の風化した礫層である。

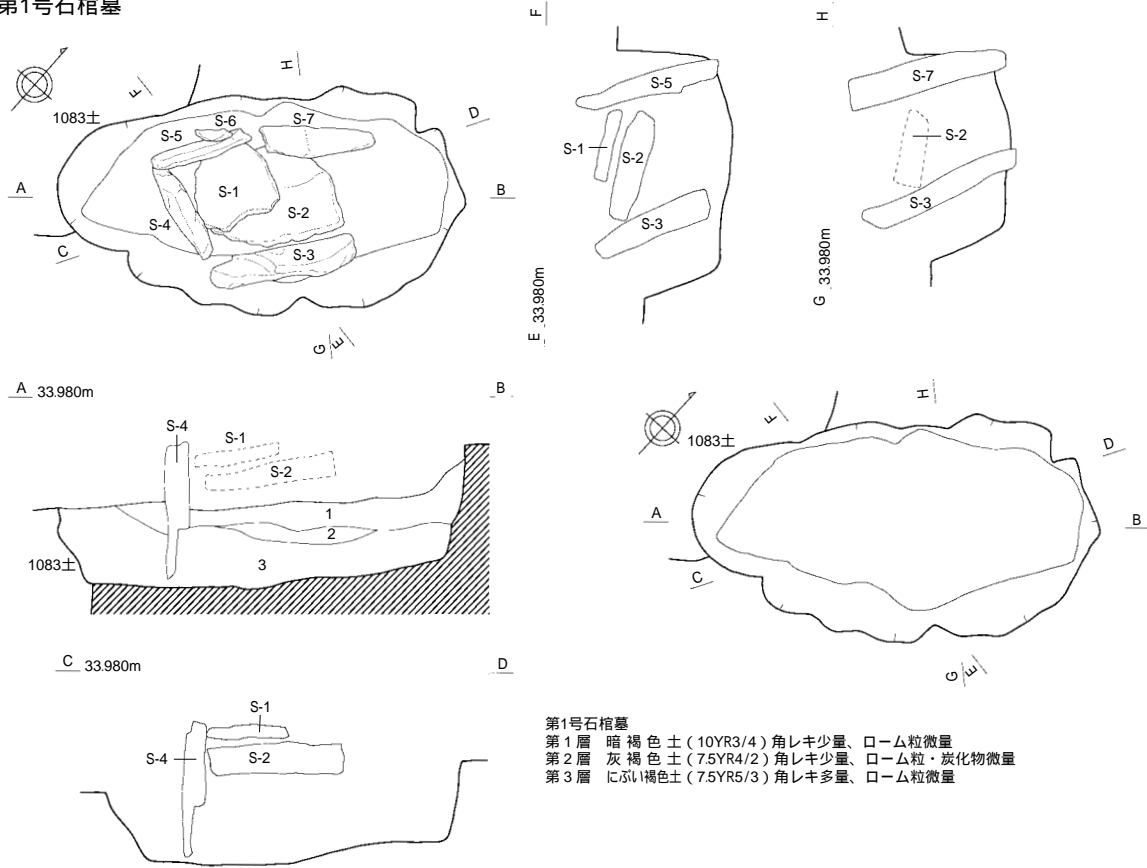
[堆積土] 6層に分層した。黒褐～暗褐色土が堆積し、各層ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群土器(第251図16)、第1層より第 群土器(第251図17～20)が出土している。石器は覆土より石皿・台石1類が1点(第251図548)出土している。

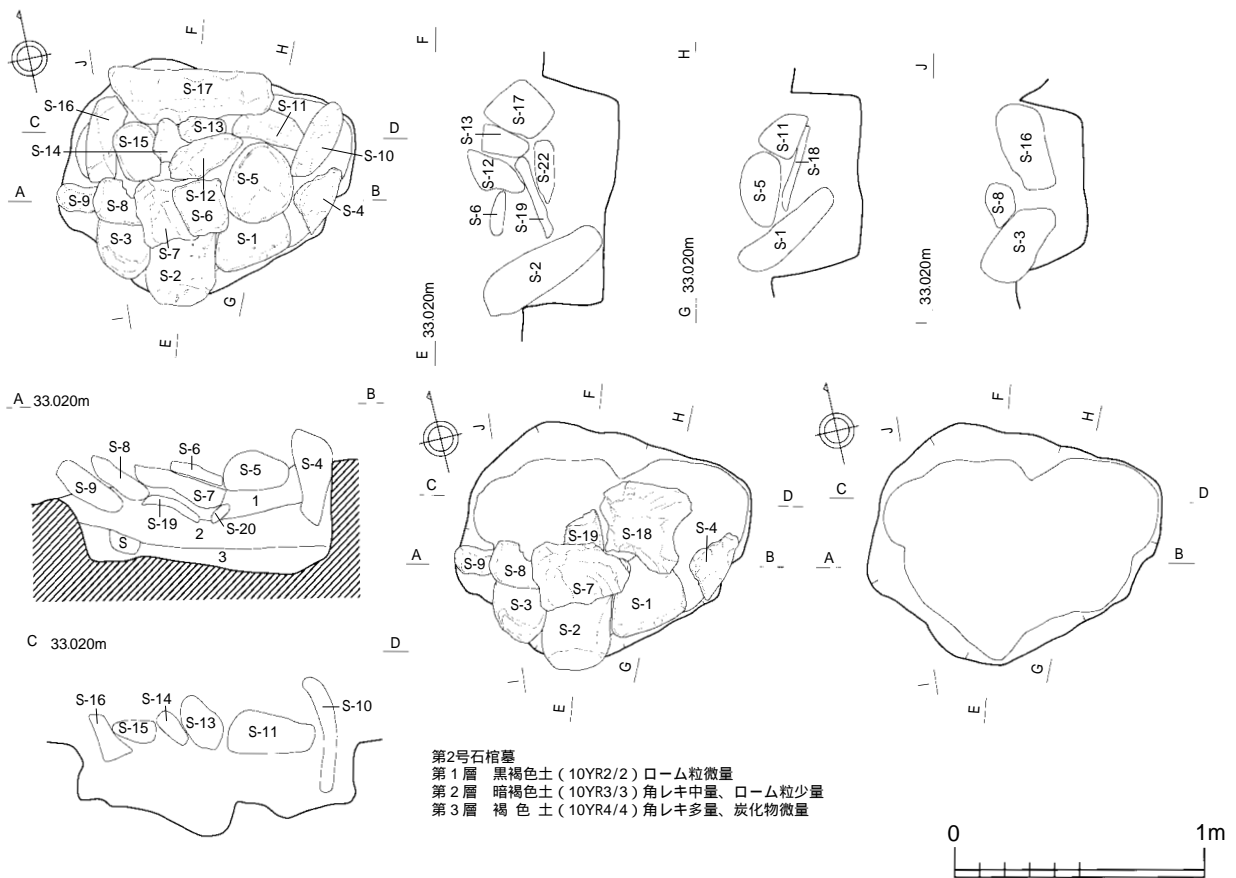
[時期] 出土遺物より縄文時代後期前葉もしくはそれ以前の遺構と思われる。

(小野)

第1号石棺墓

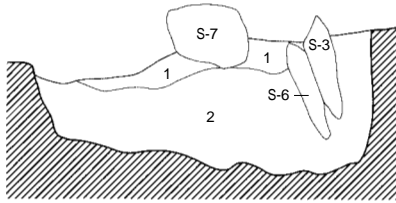
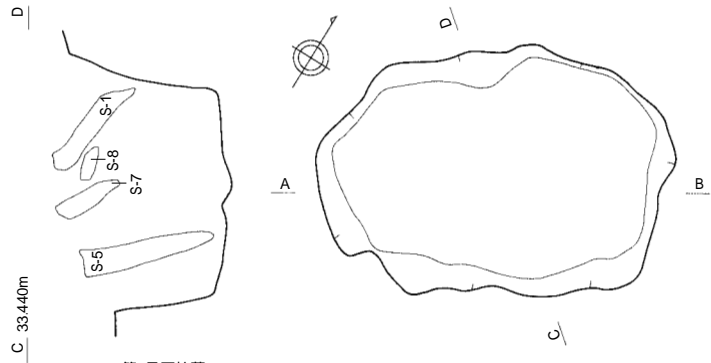
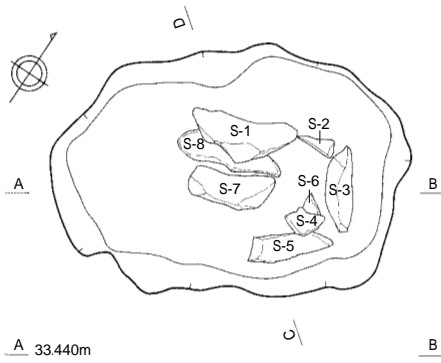


第2号石棺墓



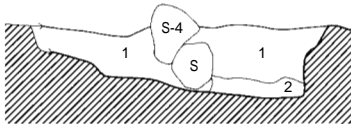
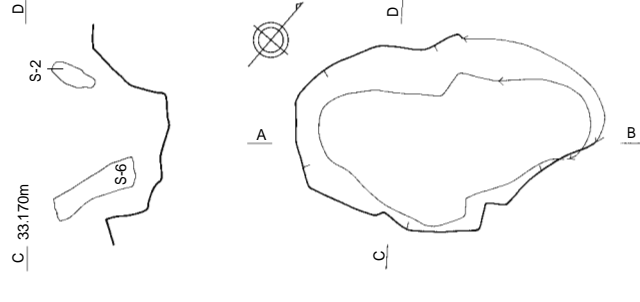
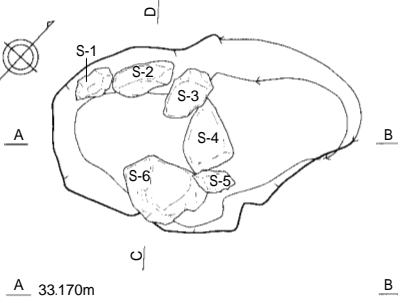
第248図 石棺墓・配石遺構(1)(1石・2石)

第3号石棺墓



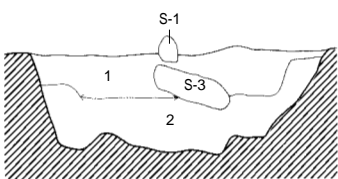
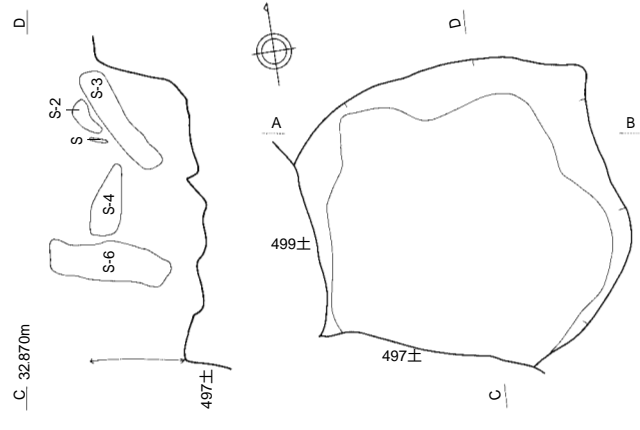
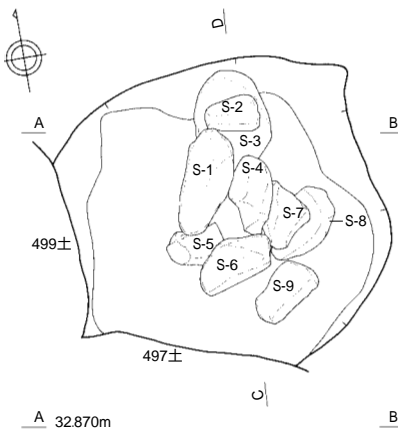
第3号石棺墓  
第1層 黒褐色土(10YR2/2)角レキ微量  
第2層 褐色土(10YR4/4)角レキ多量

第6号配石遺構

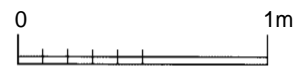


第6号配石遺構  
第1層 暗褐色土(7.5YR3/4)角レキ中量  
第2層 暗褐色土(7.5YR4/3)ローム粒多量、黒褐色土少量

第7号配石遺構

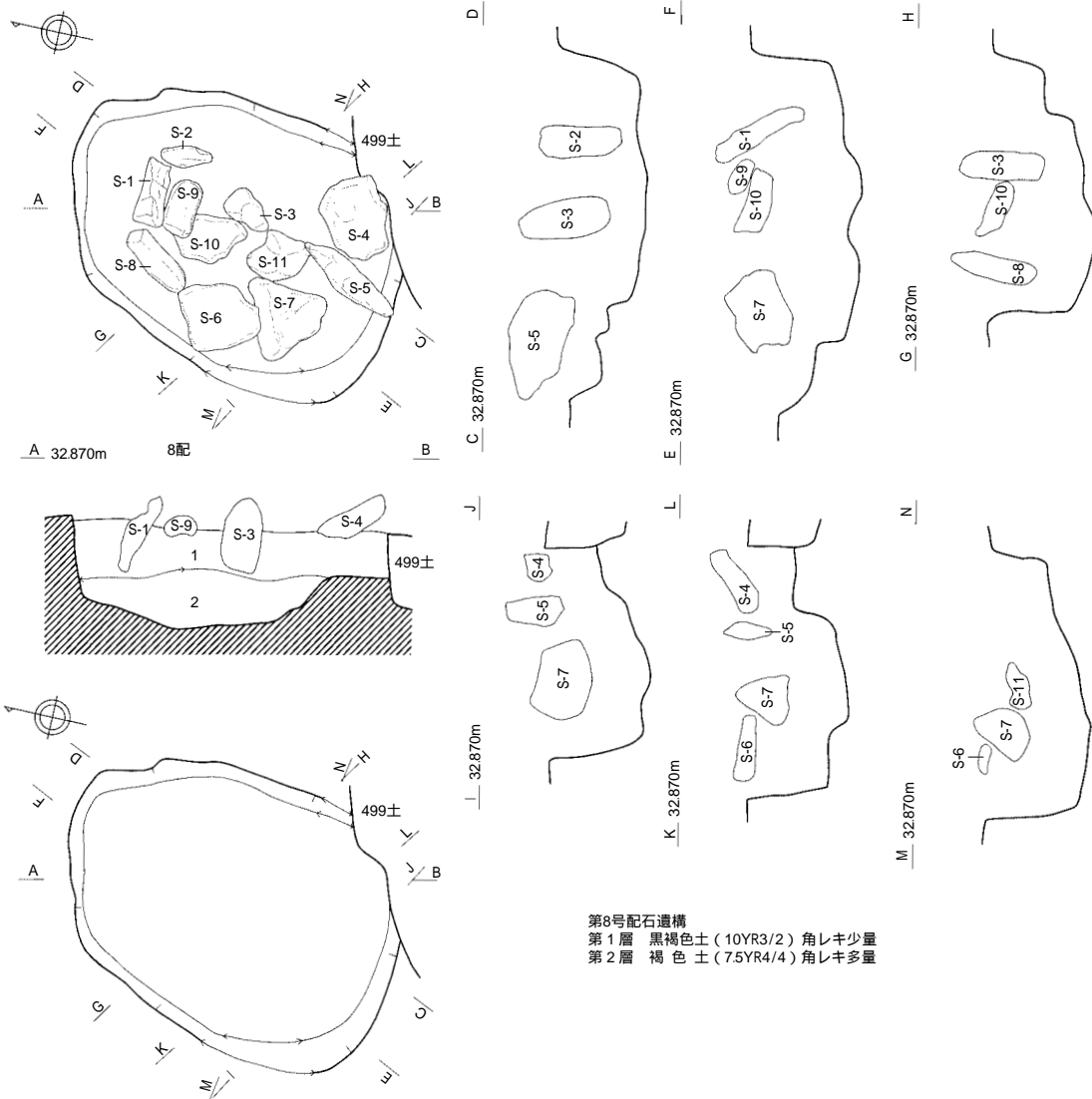


第7号配石遺構  
第1層 黒色土(10YR2/1)  
第2層 黒褐色土(10YR2/3)角レキ中量



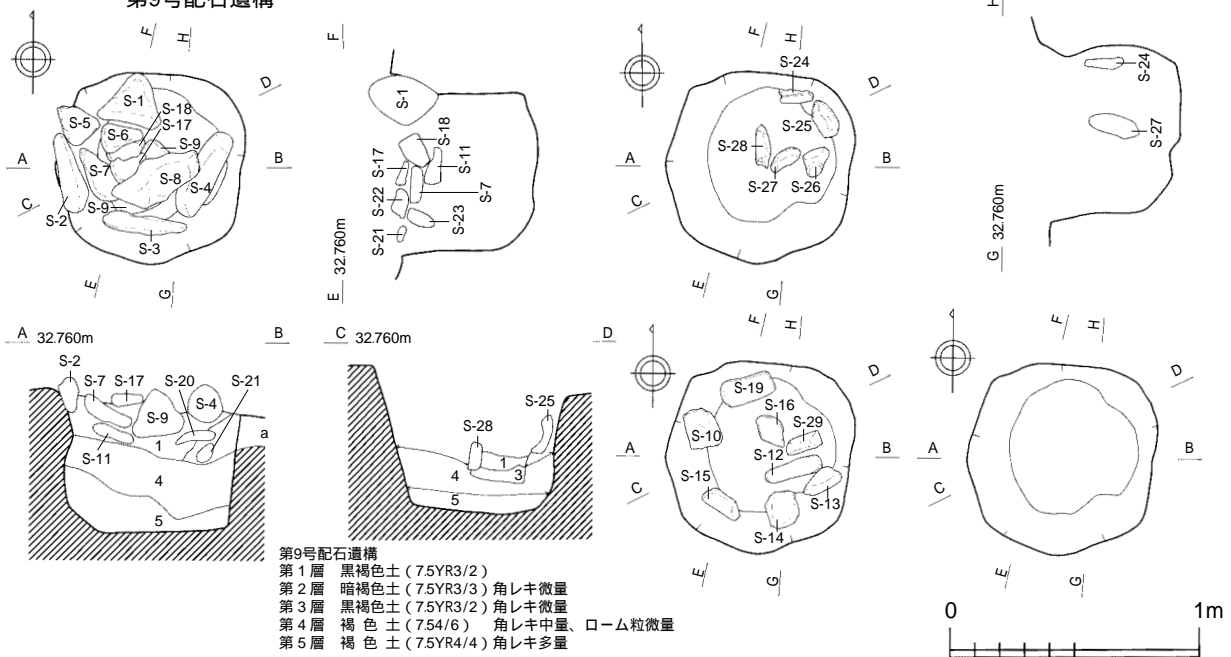
第249図 石棺墓・配石遺構(2)(3石・6配・7配)

第8号配石遺構



第8号配石遺構  
 第1層 黒褐色土 (10YR3/2) 角レキ少量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 角レキ多量

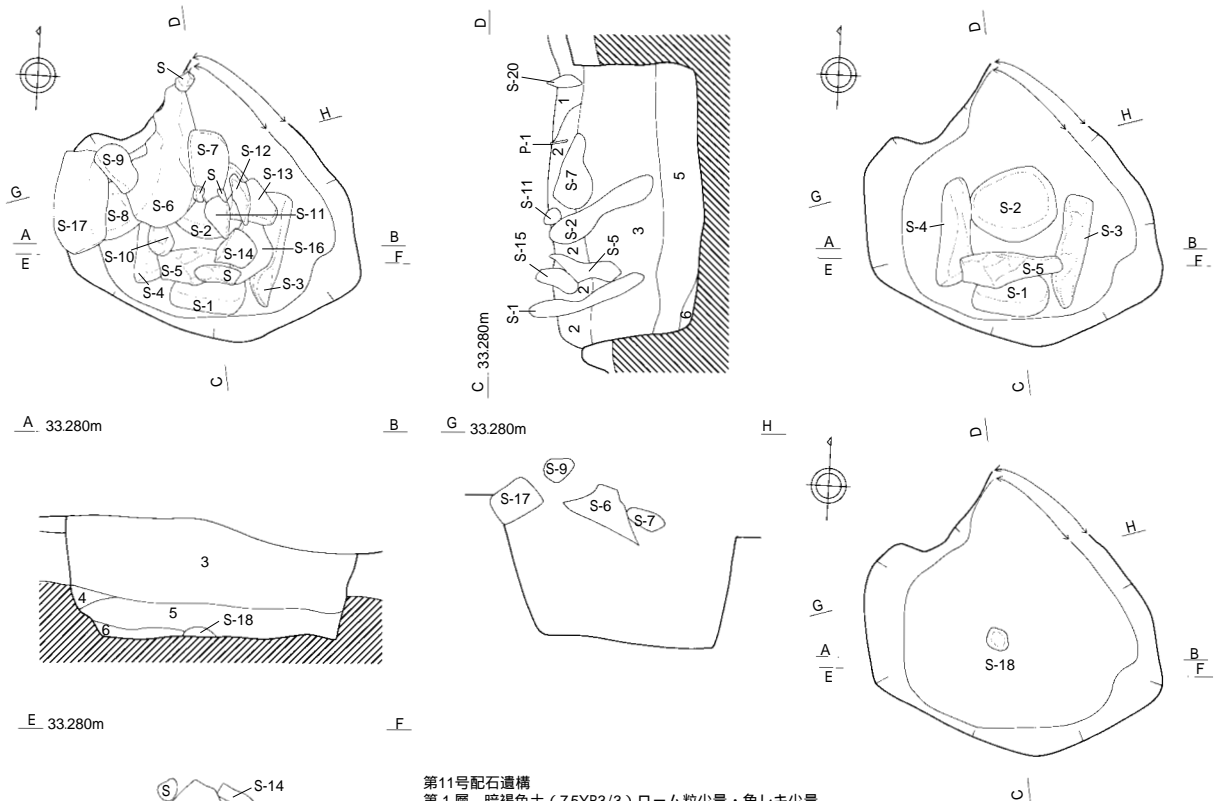
第9号配石遺構



第9号配石遺構  
 第1層 黒褐色土 (7.5YR3/2)  
 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 角レキ微量  
 第3層 黒褐色土 (7.5YR3/2) 角レキ微量  
 第4層 褐色土 (7.5Y/6) 角レキ中量、口-ム粒微量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) 角レキ多量

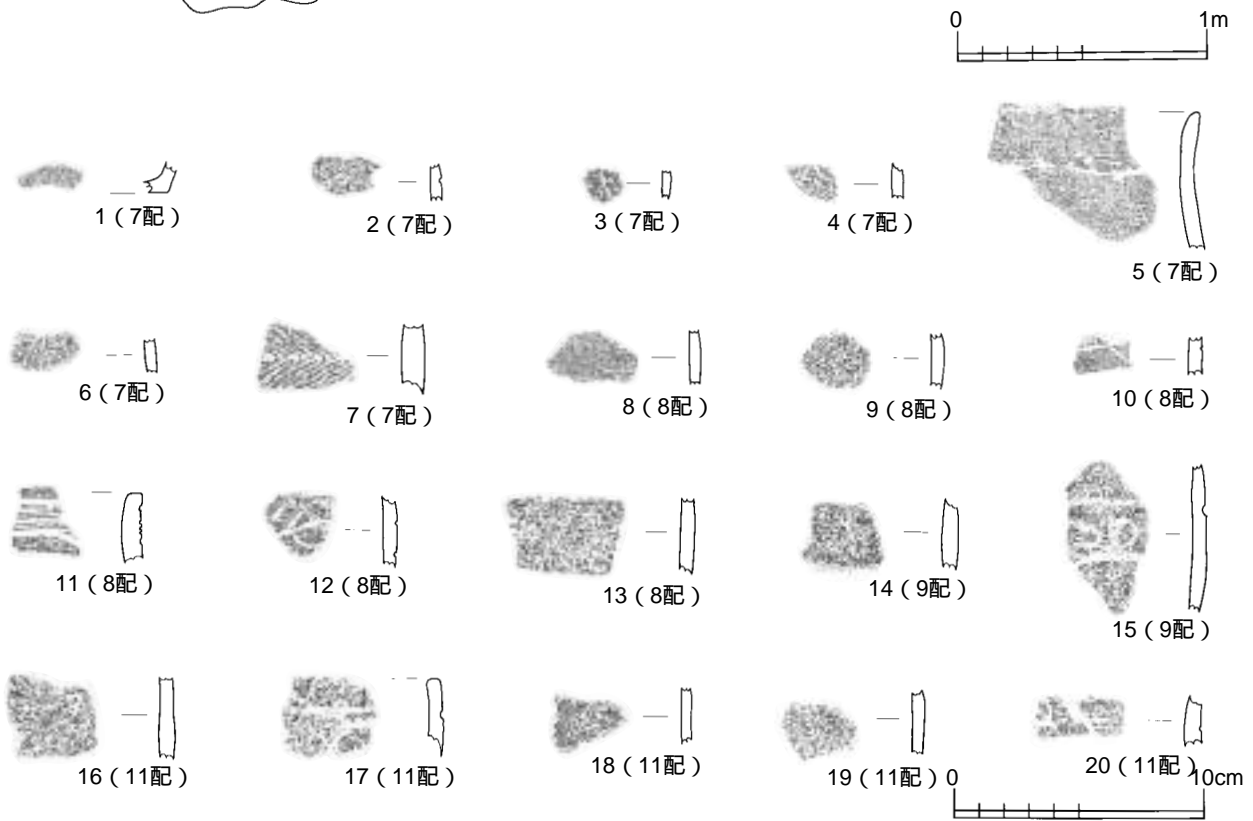
第250図 石棺墓・配石遺構 (3)(8配・9配)

第11号配石遺構

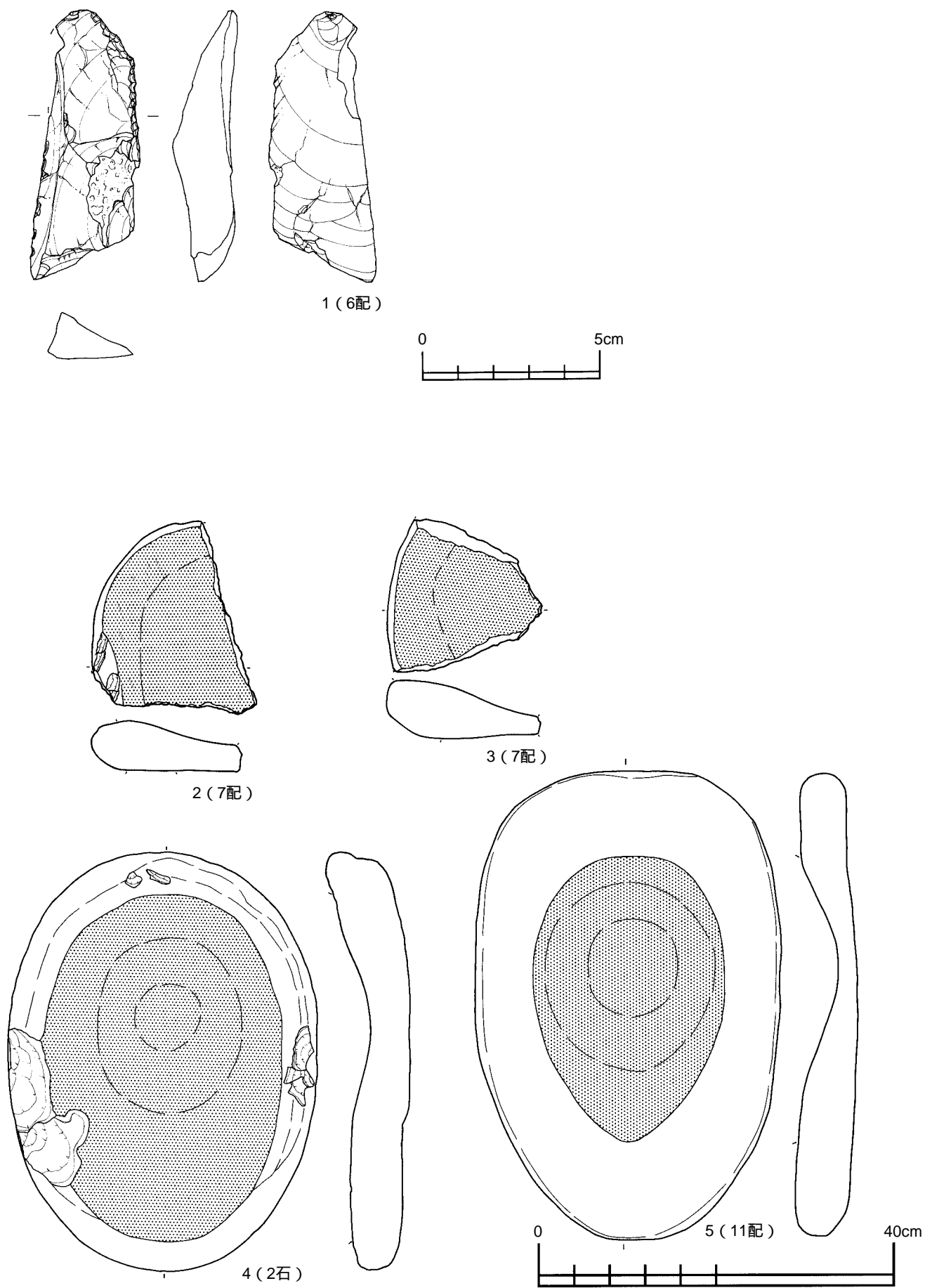


第11号配石遺構

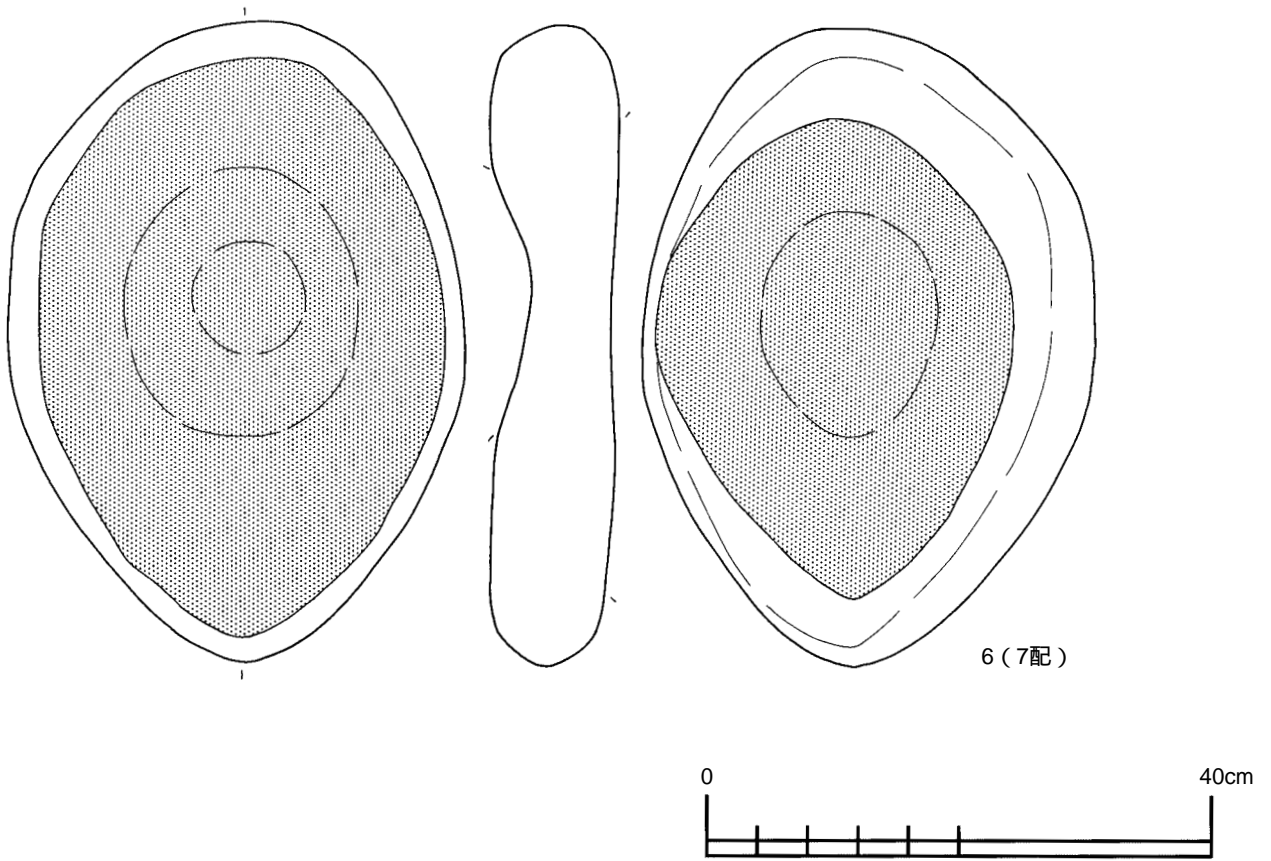
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量・角レキ少量
- 第2層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、角レキ少量、炭化物微量
- 第4層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量
- 第5層 黒褐色土 (10YR2/3) ローム粒・角レキ中量、炭化物少量、円レキ微量



第251図 石棺墓・配石遺構 (4) (11配)・遺構内出土土器 (配石遺構)



第252図 遺構内出土石器(石棺墓、配石遺構)(1)



6 (7配)

第253図 遺構内出土石器(石棺墓、陪葬遺構)(2)

## 第2節 出土遺物

平成11年度の調査で出土した遺物は、土器、石器、土製品、石製品、古銭等がある。出土遺物の全体量は、遺構内外を合わせ段ボール換算で550箱である。

土器は、縄文時代前期、中期、後期、晩期の土器が出土している。中でも第 群土器とした縄文時代前期の土器と第 群土器とした縄文時代後期の土器が主体となっている。

第 群土器では、縄文時代前期中葉から末葉の土器、第 群3類土器とした円筒下層b式土器、第 群5 a類土器とした円筒下層d<sub>1</sub>式土器が多数を占める。また、第 群土器では、縄文時代後期初頭から前半の土器、十腰内 式土器周辺の土器が多数を占める。これら主体を占める土器に次いで、第 群5 b類土器とした縄文時代前期末葉の円筒下層d<sub>2</sub>式土器が出土量には大差があるものの若干量出土している。その他、第 群7類土器とした大木系土器と考えられる個体が1点、第 群土器とした縄文時代中期の土器が2片、第 群土器とした縄文時代晩期の土器が1片出土している。

また、第 群土器では、遺構外より弓矢や四足を広げた動物をモチーフにしたと考えられる狩猟文土器が出土している。

石器は、石鏃、石槍、石錐、石匙、大石平型石篋、石篋、異形石器、不定形石器、その他の剥片石器、石斧、礫石錘、有溝石錘、敲磨器類、半円状扁平打製石器及び類似する石器、挟入扁平磨製石器及び類似する石器、剥離のある礫、擦切具、砥石、石皿、台石が出土している。その他水晶、剥片、石核が出土している。なお、石器については、出土点数が多数であり、図示せず表の記載のみとしたものもある。土製品は、土偶、鐸形土製品、ミニチュア土器、耳飾、有孔土製品、紐状土製品、笠形土製品、三角形土版、円形土版、土器片利用土製品、焼成粘土塊が出土している。中でも土器片利用土製品の出土点数が突出している。

石製品は、三角形岩版、円形岩版、その他の岩版、岩版関係資料、有孔石製品、球状石製品、碗状石製品、イモ貝状石製品、耳飾、線刻礫、採集石製品、石棒、石刀、軽石石製品、その他の石製品が出土している。その中で三角形岩版と円形岩版の出土点数が多い状況である。なお、本遺跡出土水晶については、石器の項で一括して述べているが、有孔石製品の1点に水晶を用いているものが有り、これは、これまで本遺跡で確認していなかった水晶を用いた加工品である。

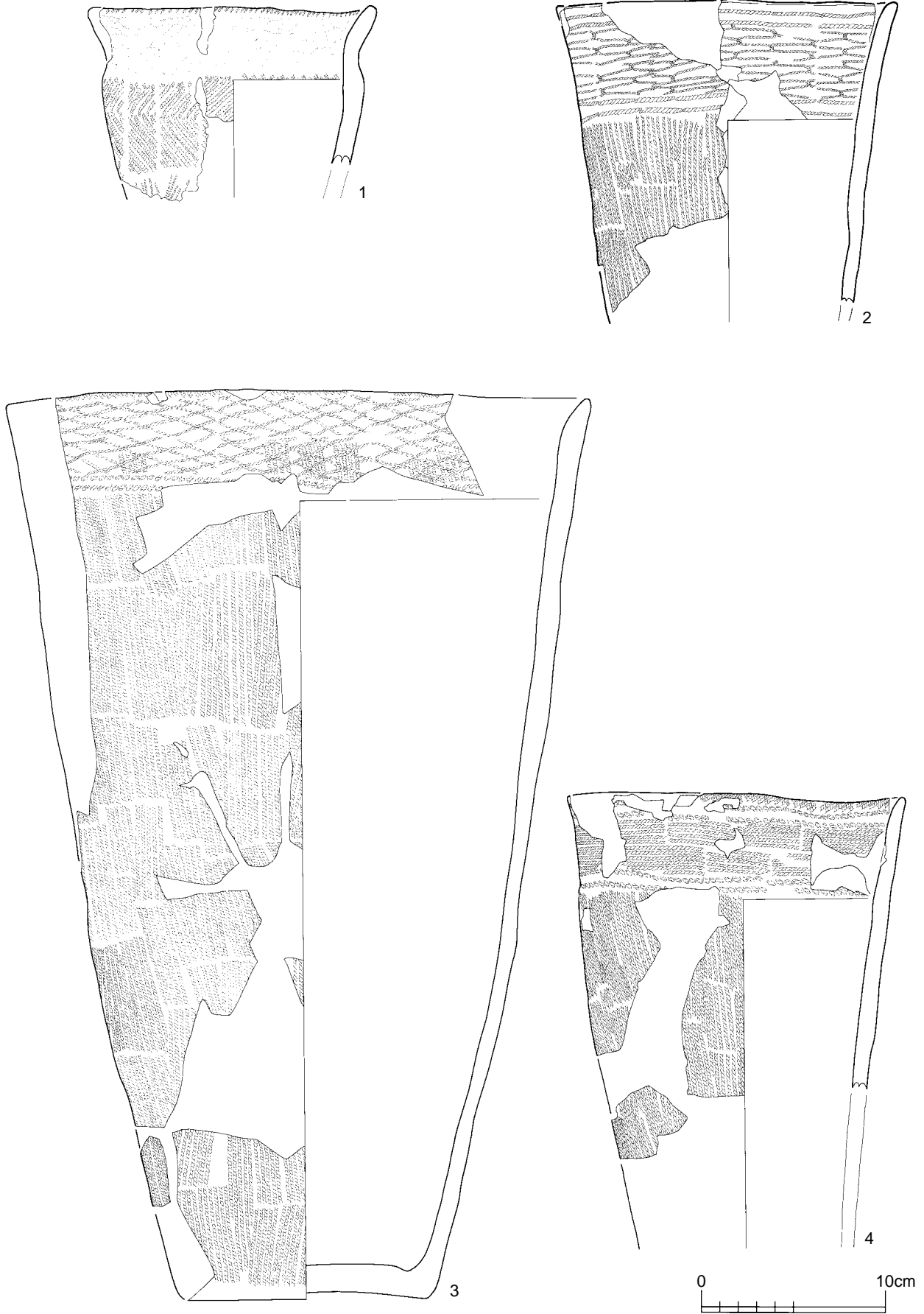
古銭は、第346号土坑より一括して出土しており、20種60枚が出土している。紐に括られた状況で出土している。

これらの出土遺物について本書では、実測図並びに拓影図、観察表、計測表の記載に留め、各々の詳細についての記述は、平成14年度以降に刊行予定である「稲山遺跡発掘調査報告書」に掲載する予定である。

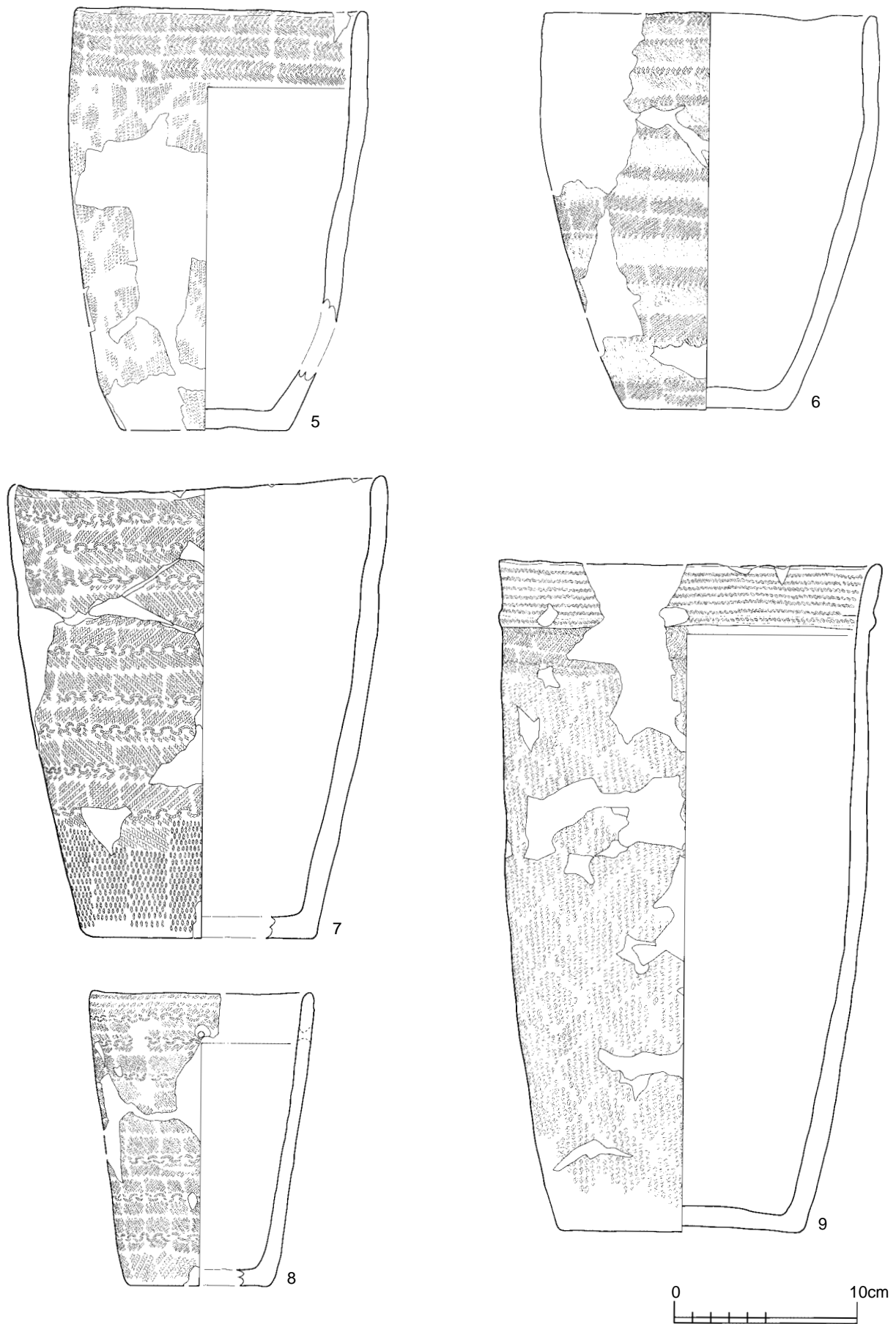
(小野)



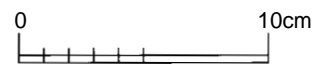
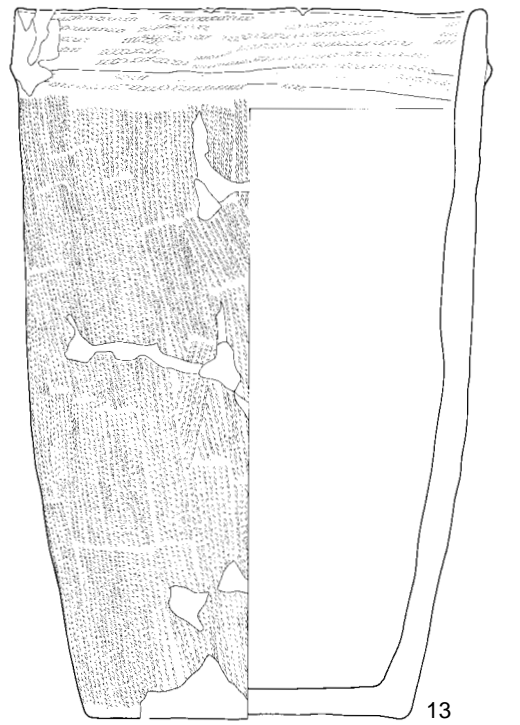
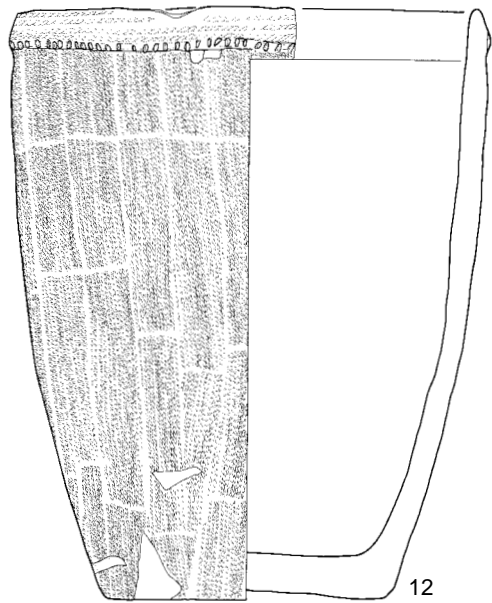
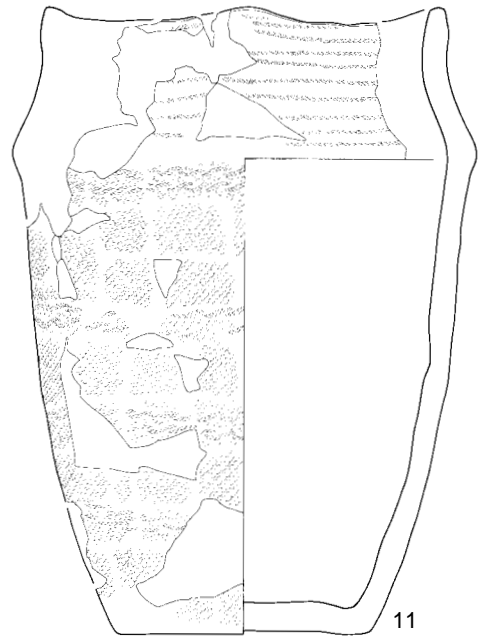
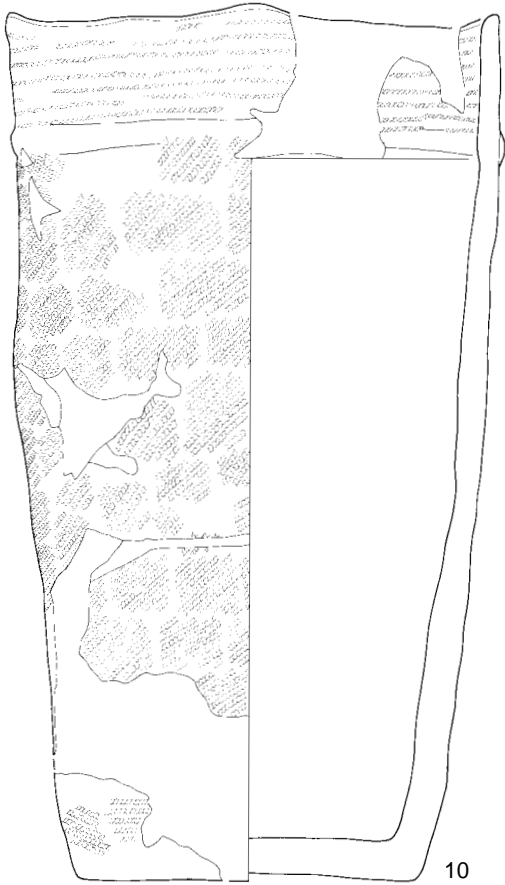
1. 土器  
第 群土器



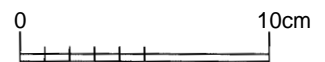
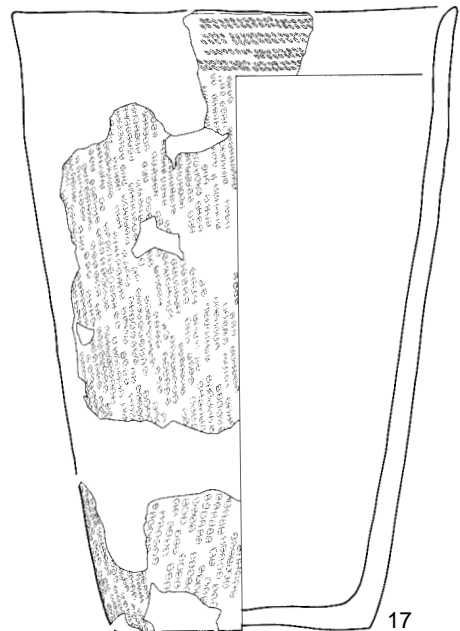
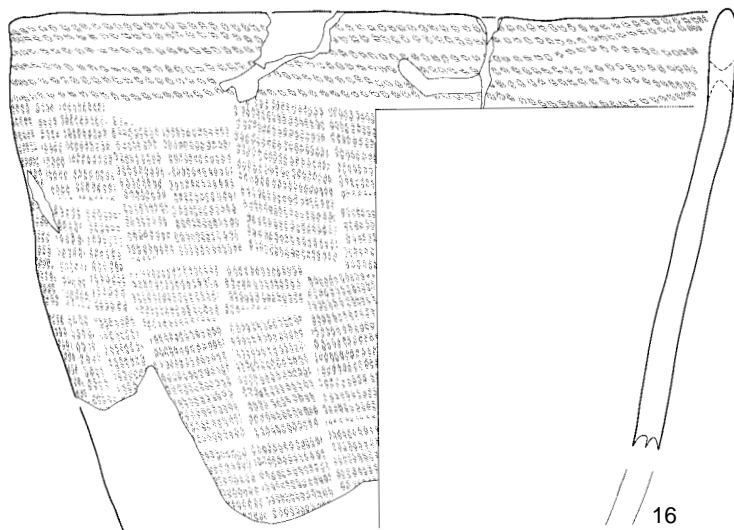
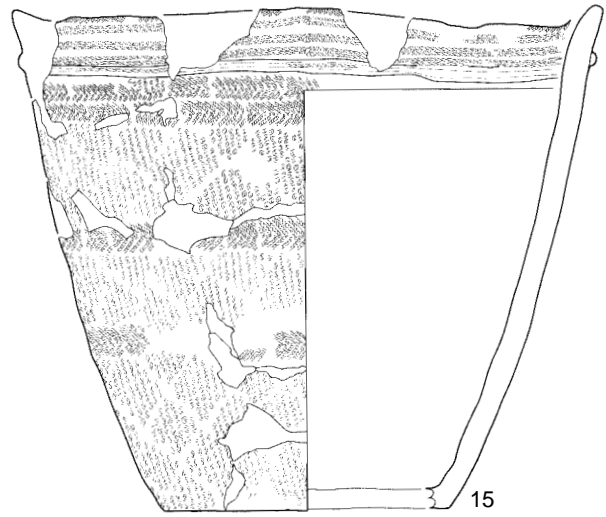
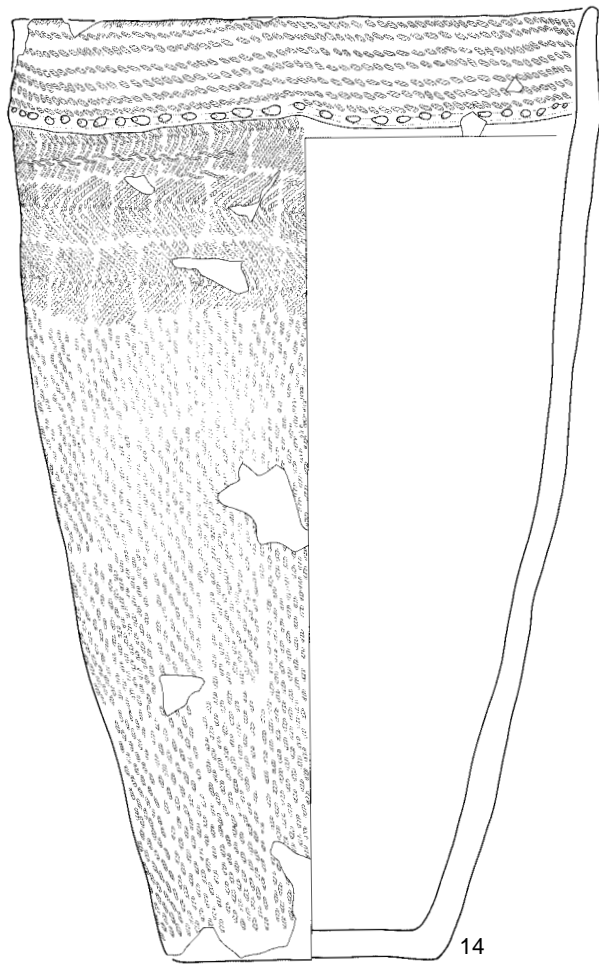
第254図 遺構外出土第 群土器 (1)



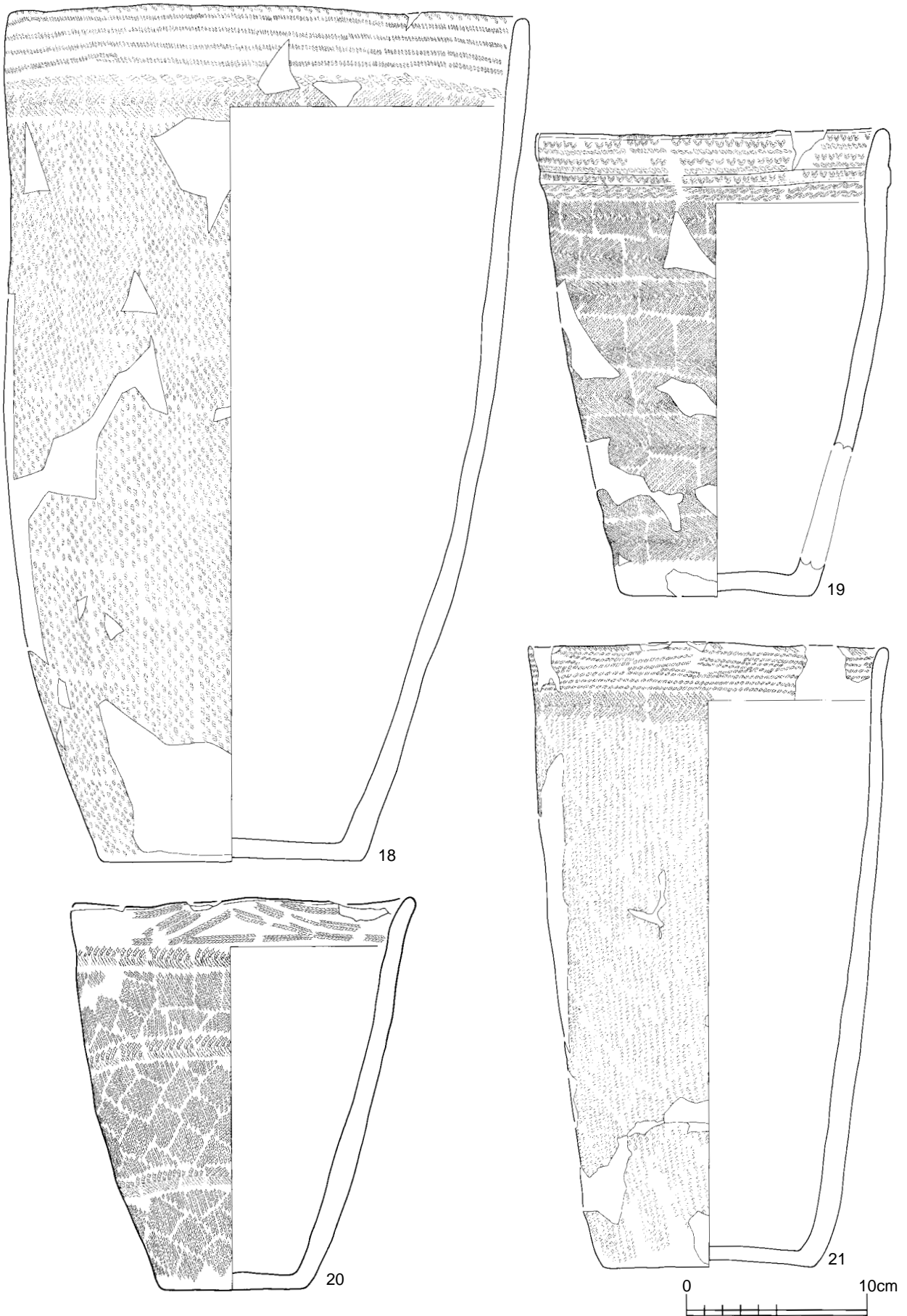
第255図 遺構外出土第 群土器(2)



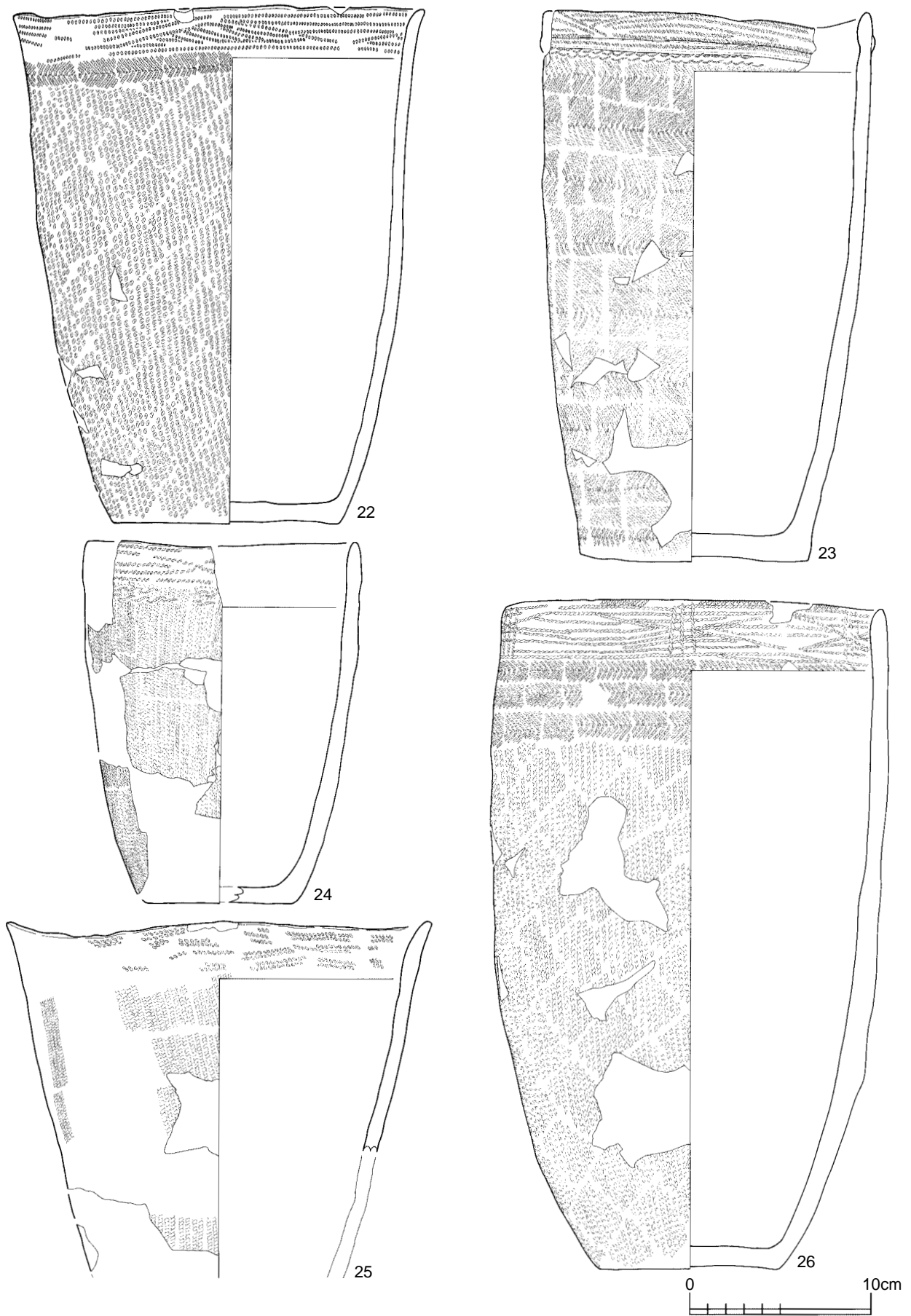
第256図 遺構外出土第 群土器(3)



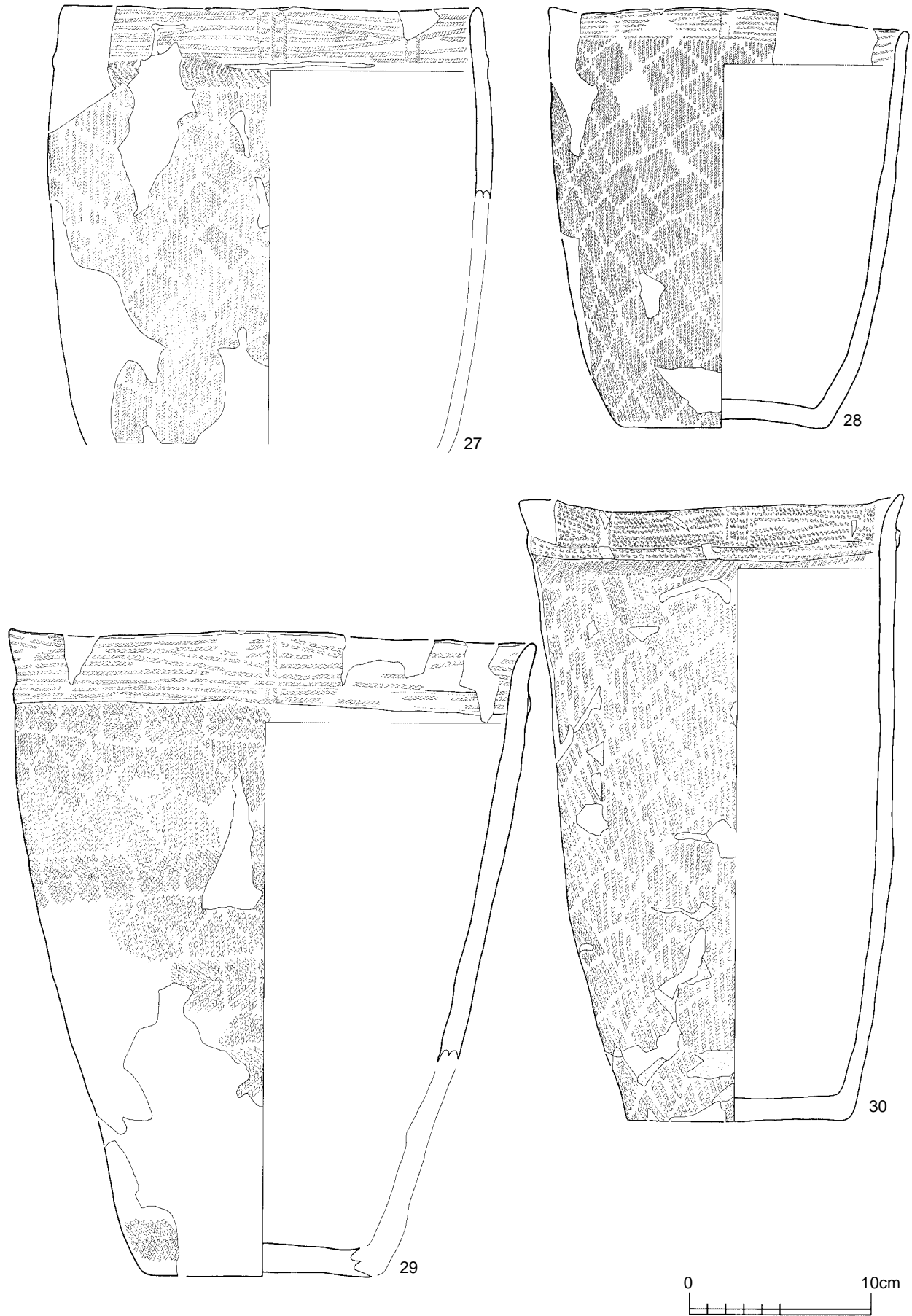
第257図 遺構外出土第 群土器(4)



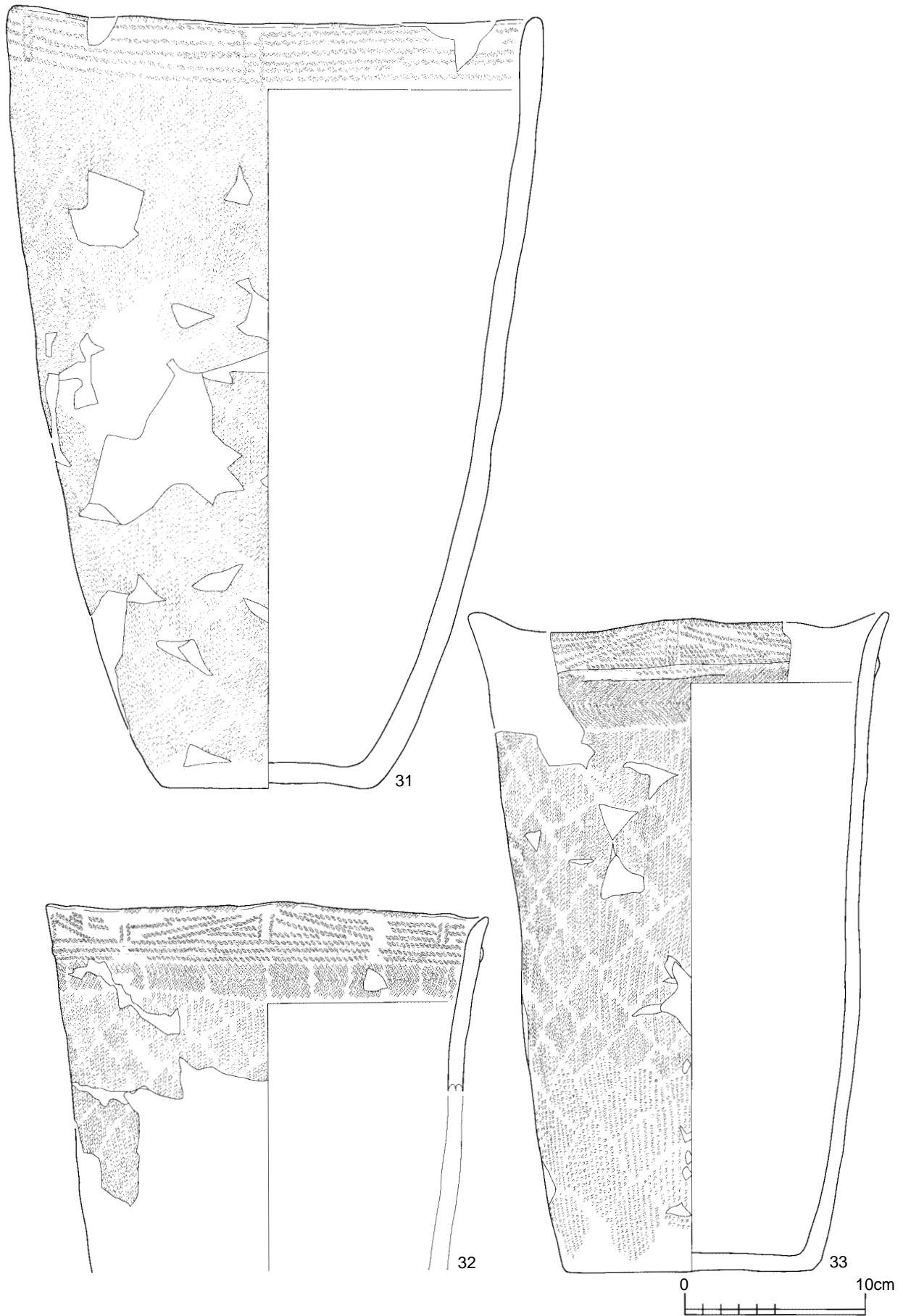
第258図 遺構外出土第 群土器(5)



第259図 遺構外出土第 群土器(6)

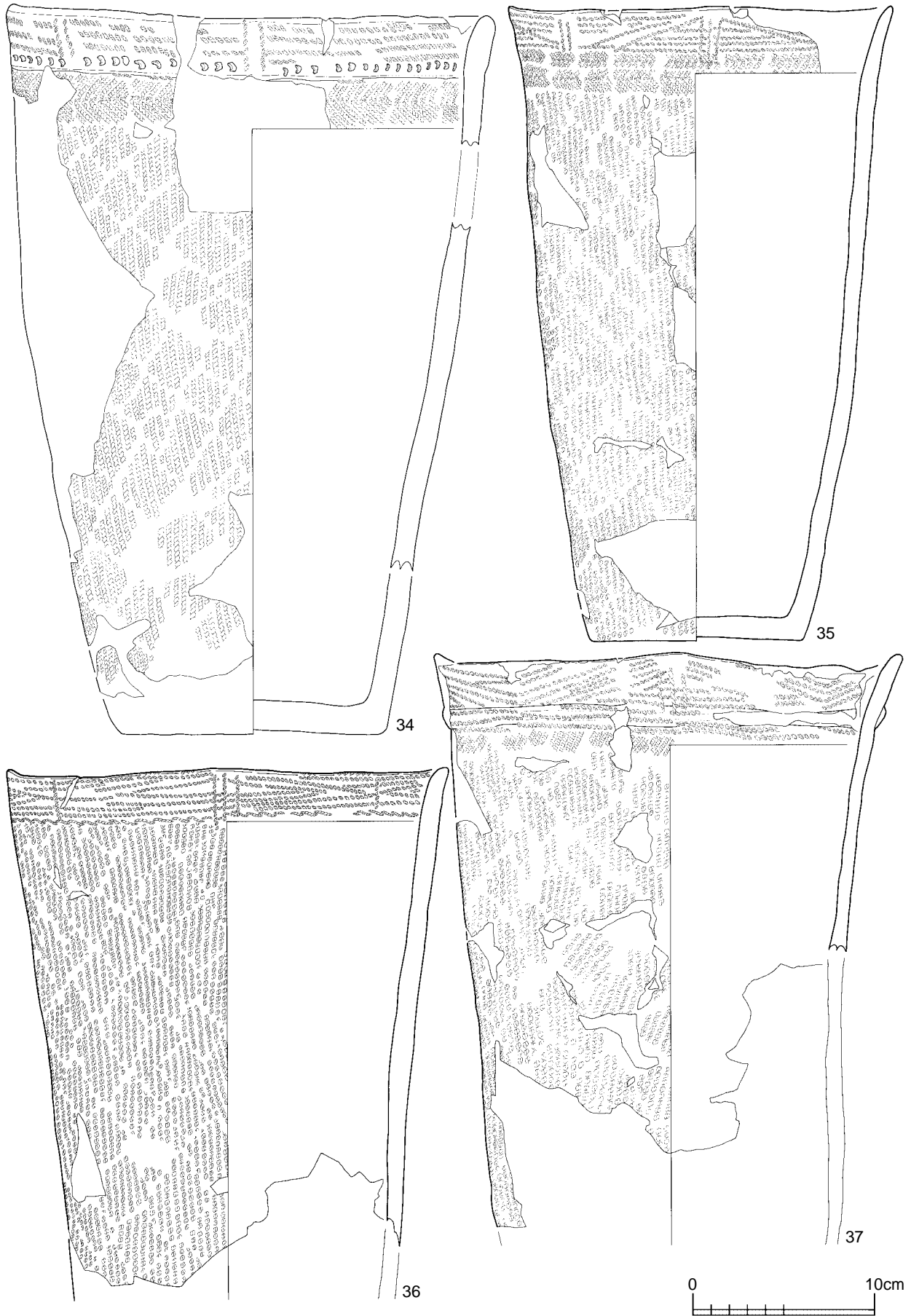


第260図 遺構外出土第 群土器(7)

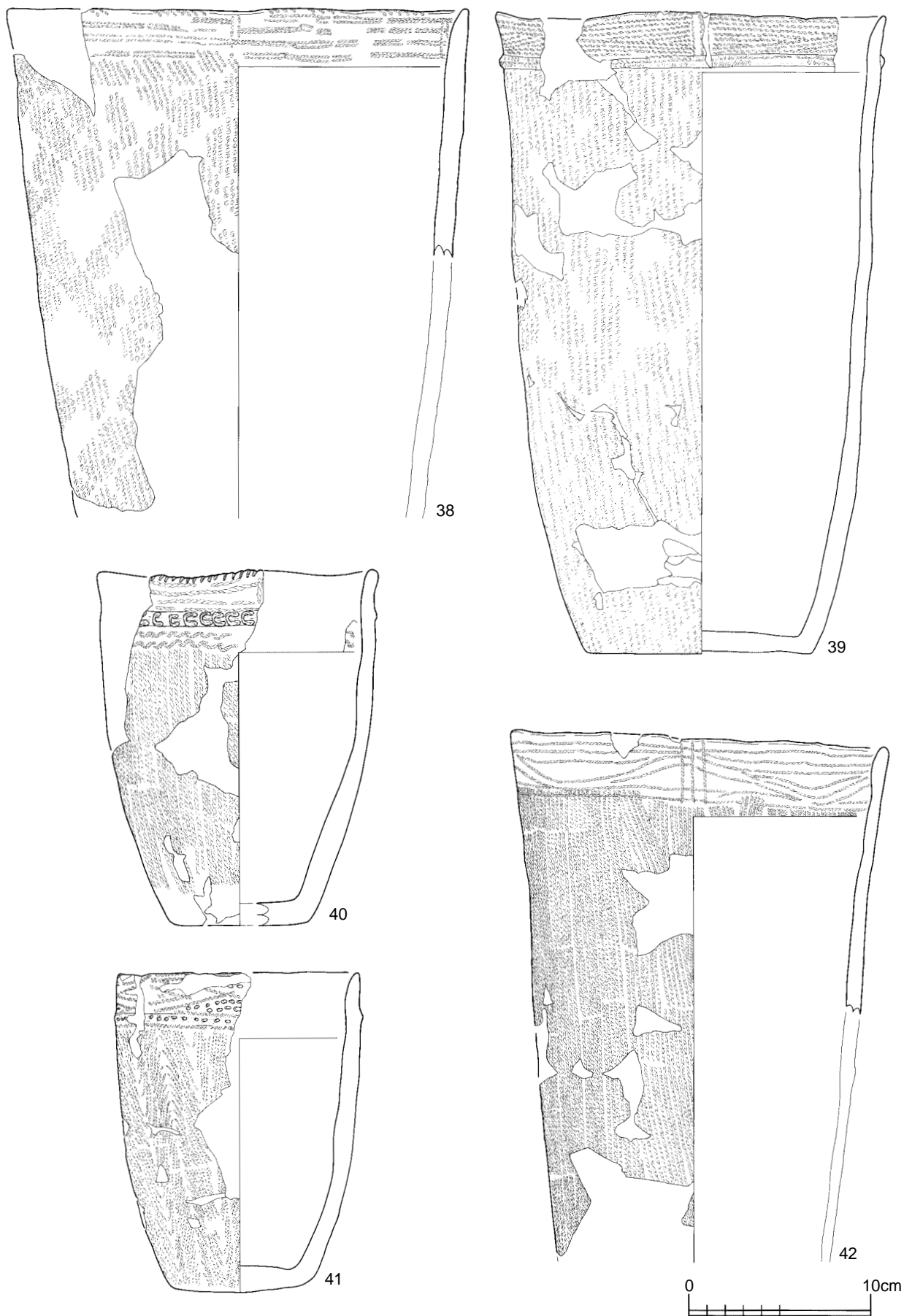


第261図 遺構外出土第 群土器(8)

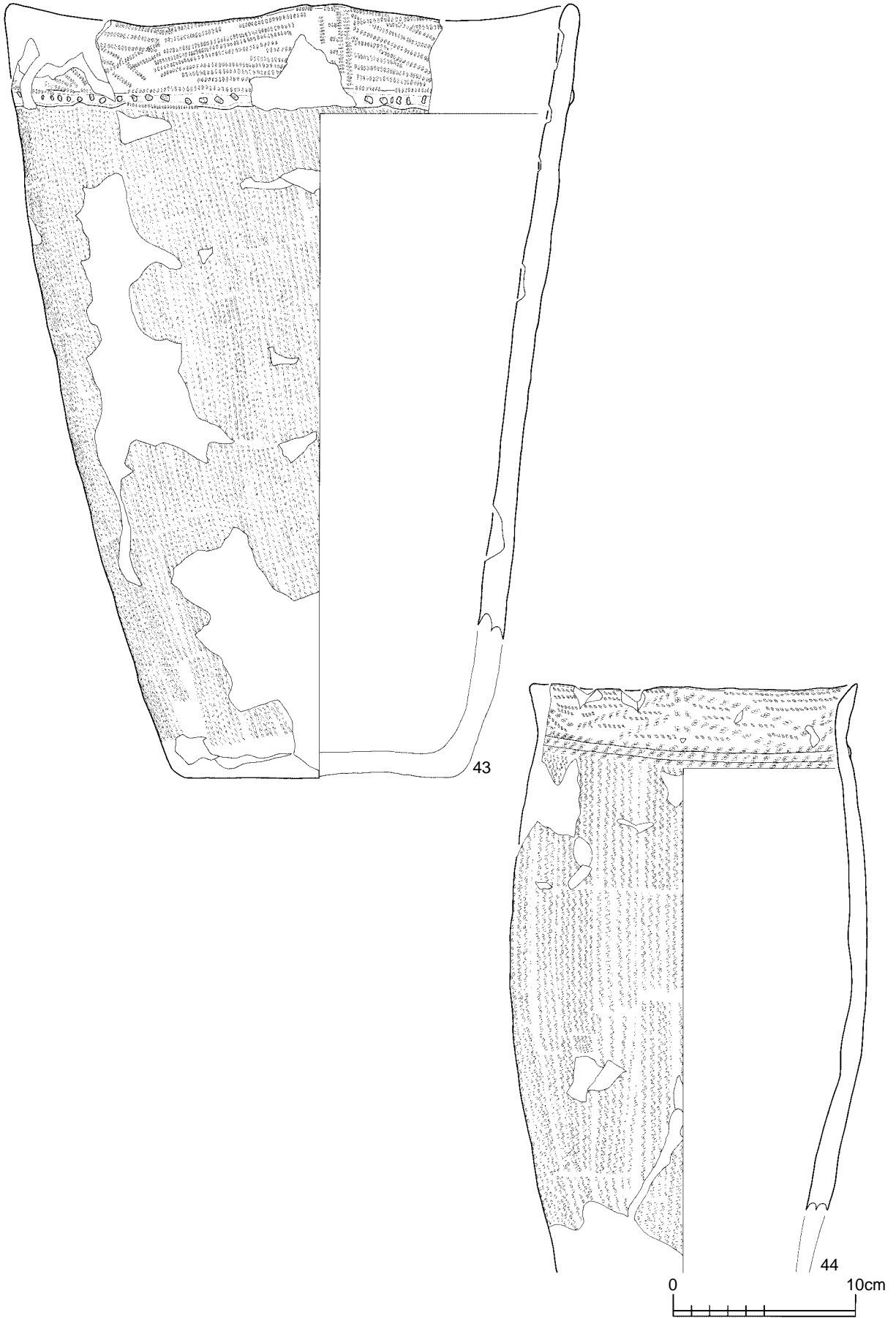




第262図 遺構外出土第 群土器(9)



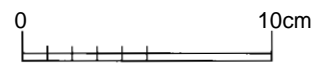
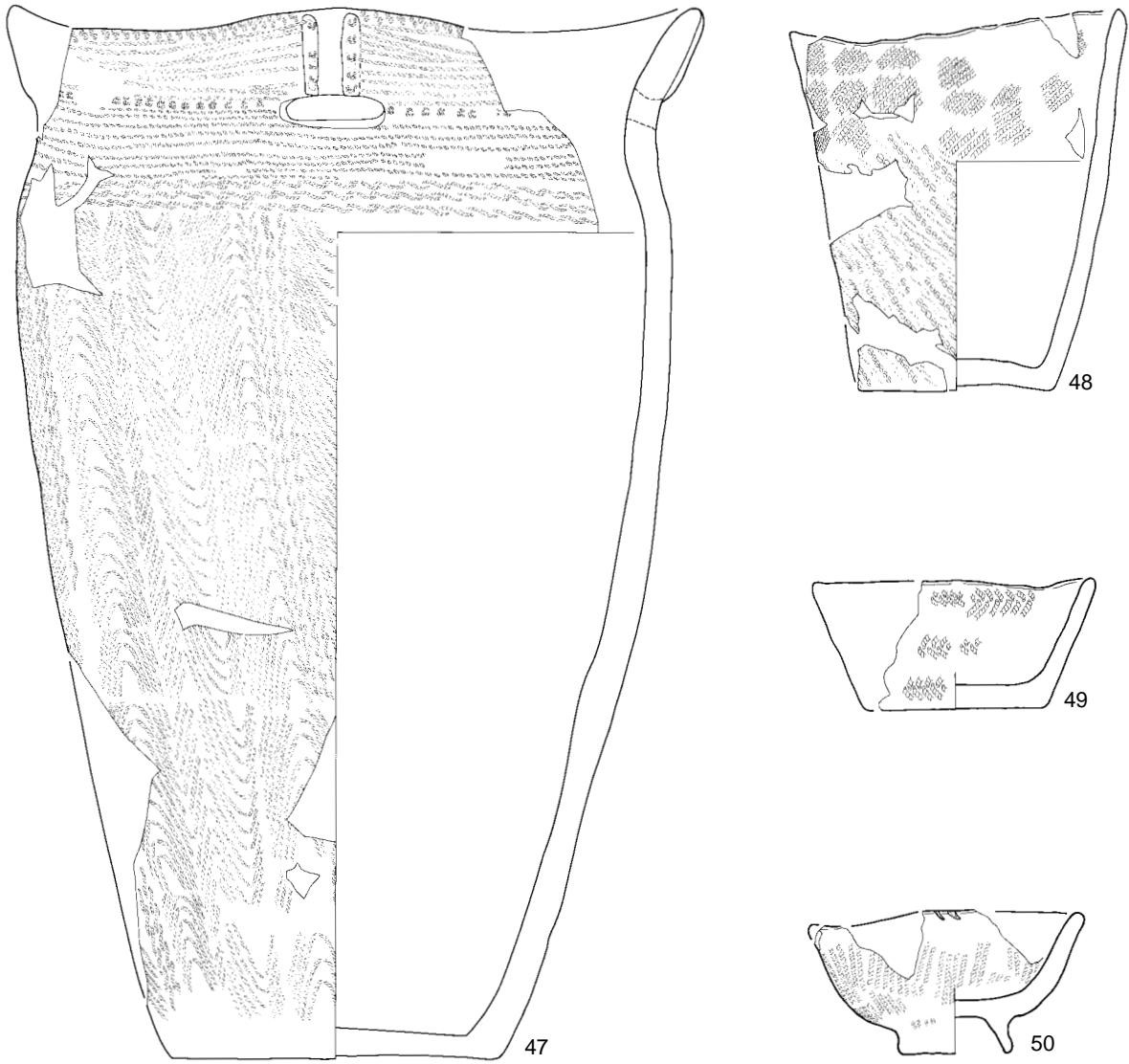
第263図 遺構外出土第 群土器 (10)



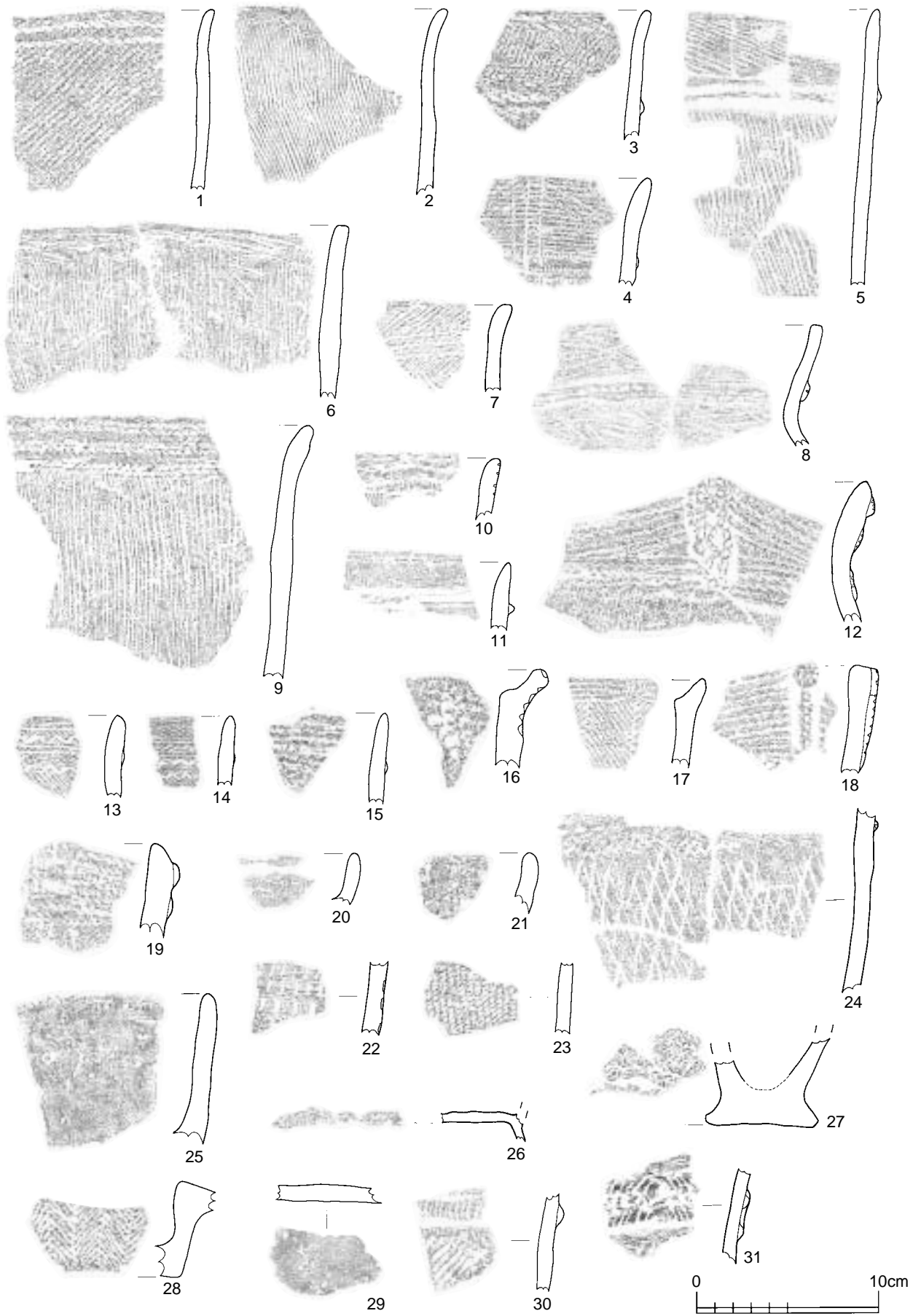
第264図 遺構外出土第 群土器(11)



第265図 遺構外出土第 群土器 (12)



第266図 遺構外出土第 群土器 (13)

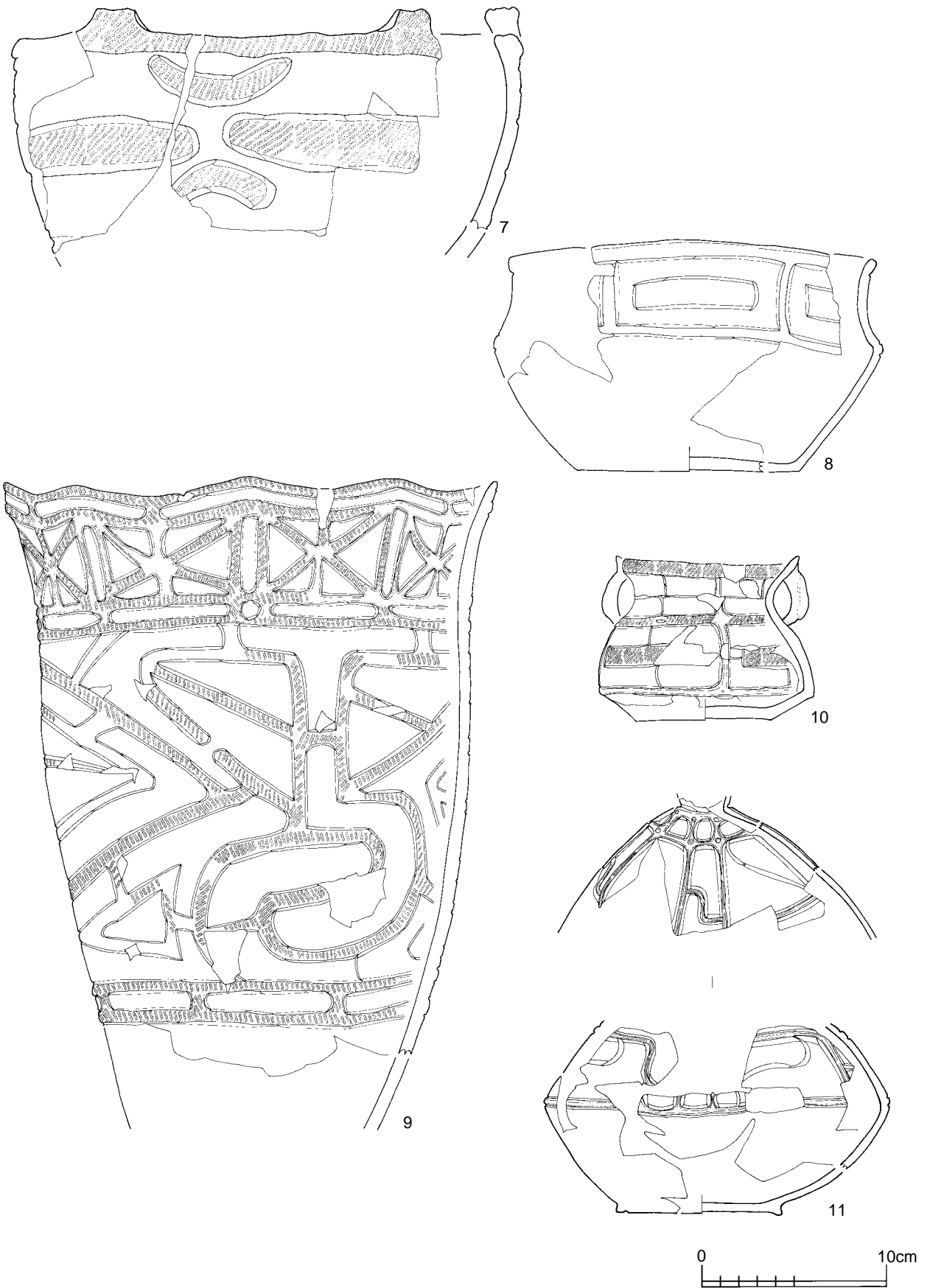


第267図 遺構外出土第 群・第 群土器

第 群土器

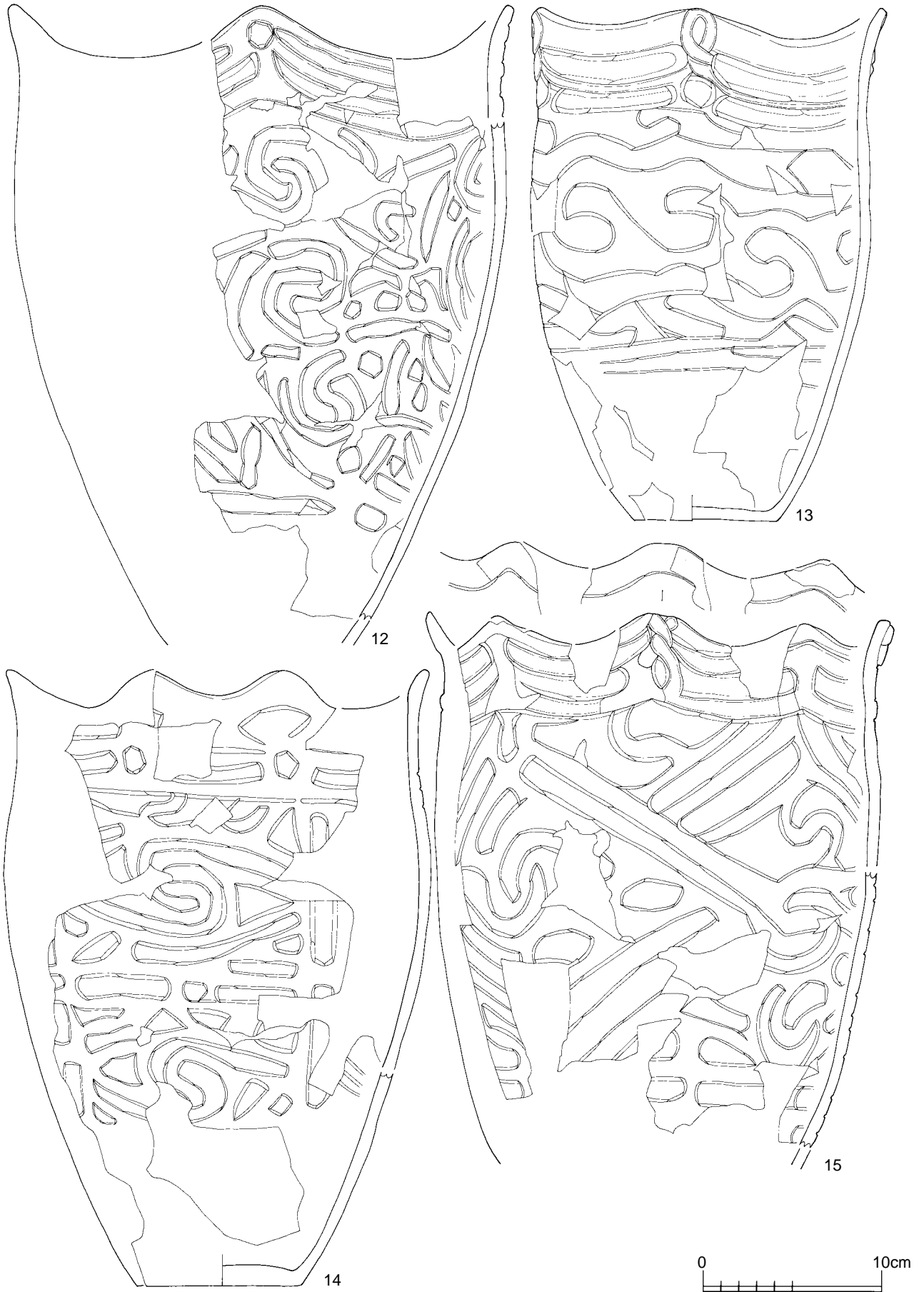


第268図 遺構外出土第 群土器(1)

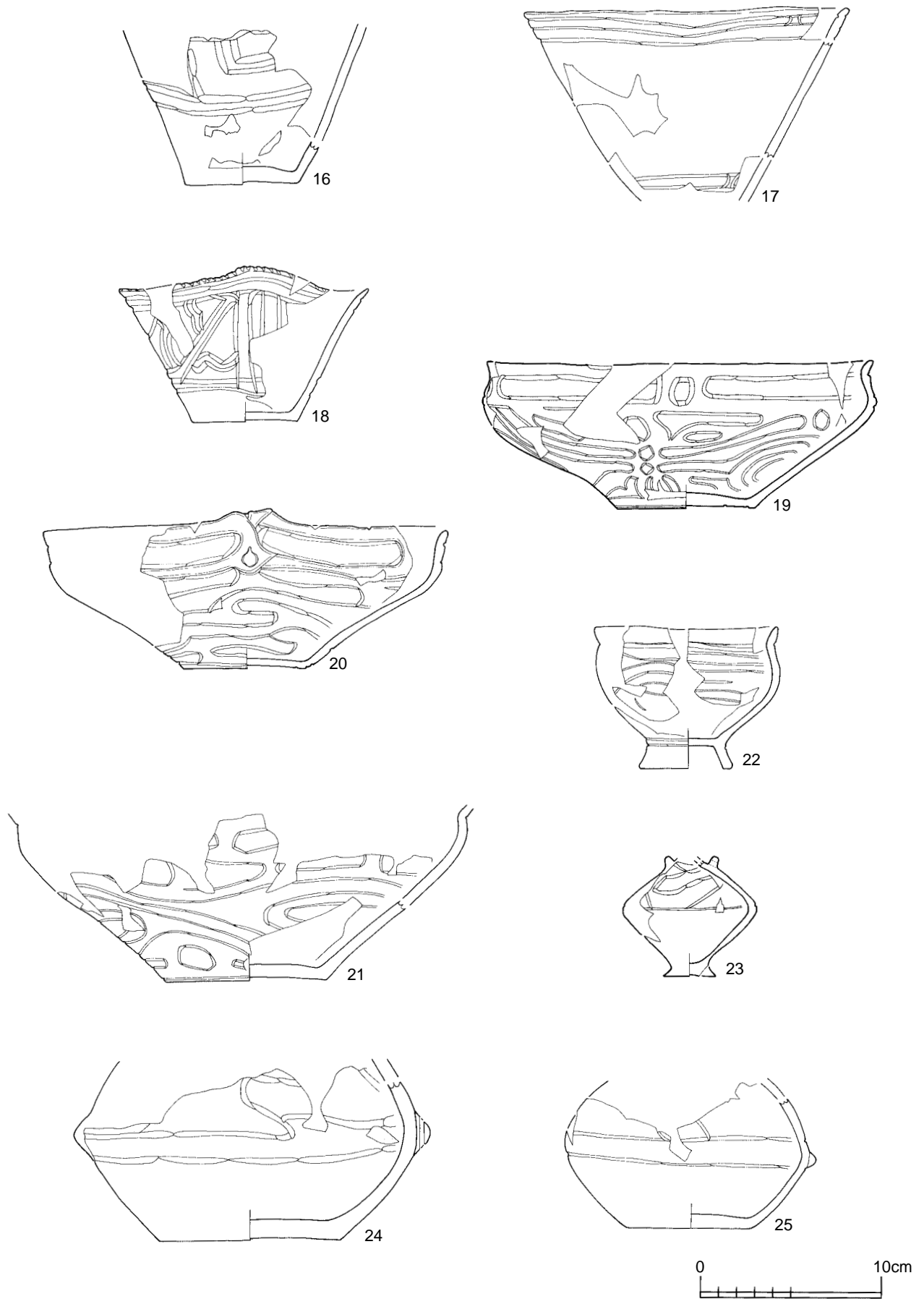


第269図 遺構外出土第 群土器(2)

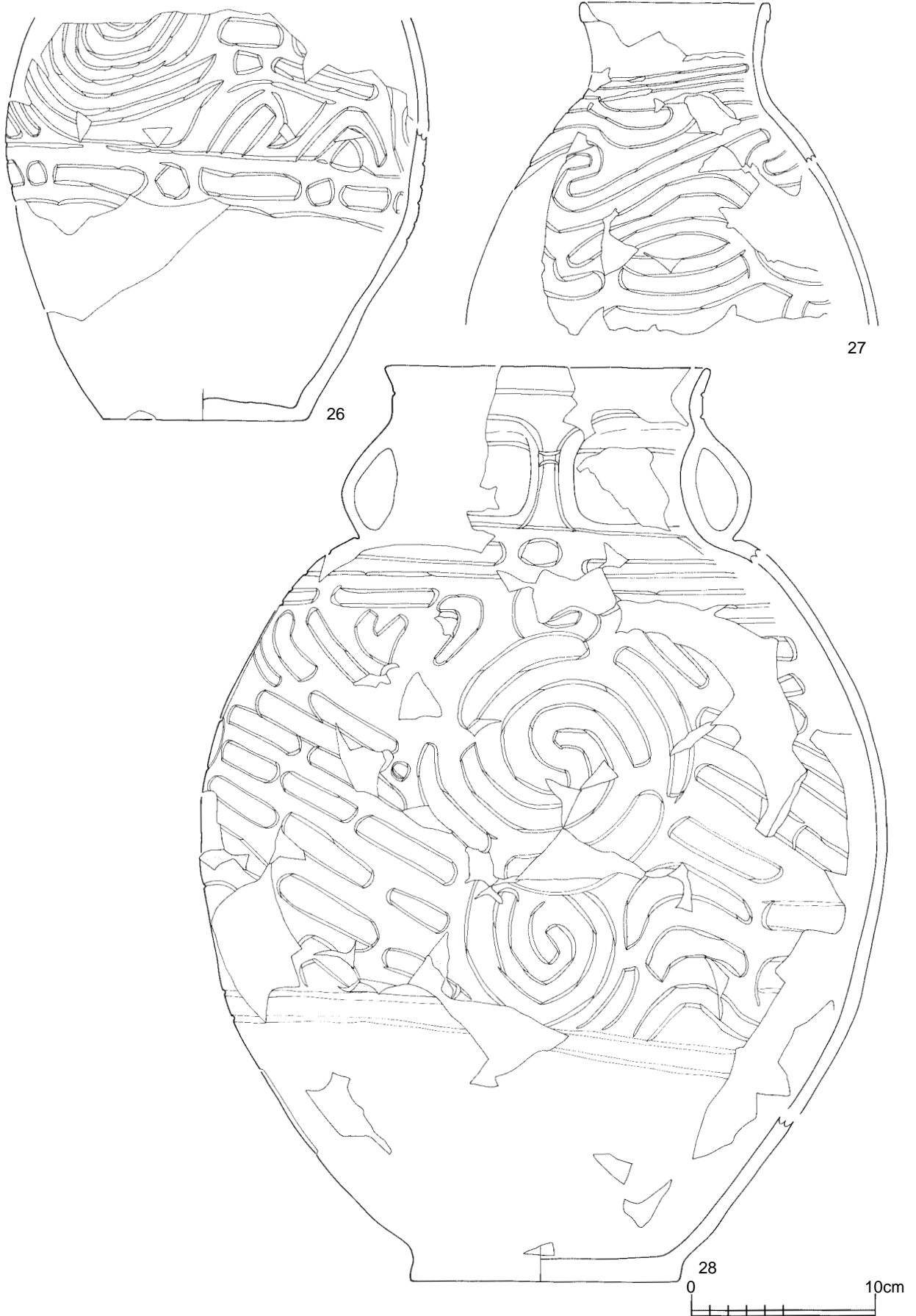




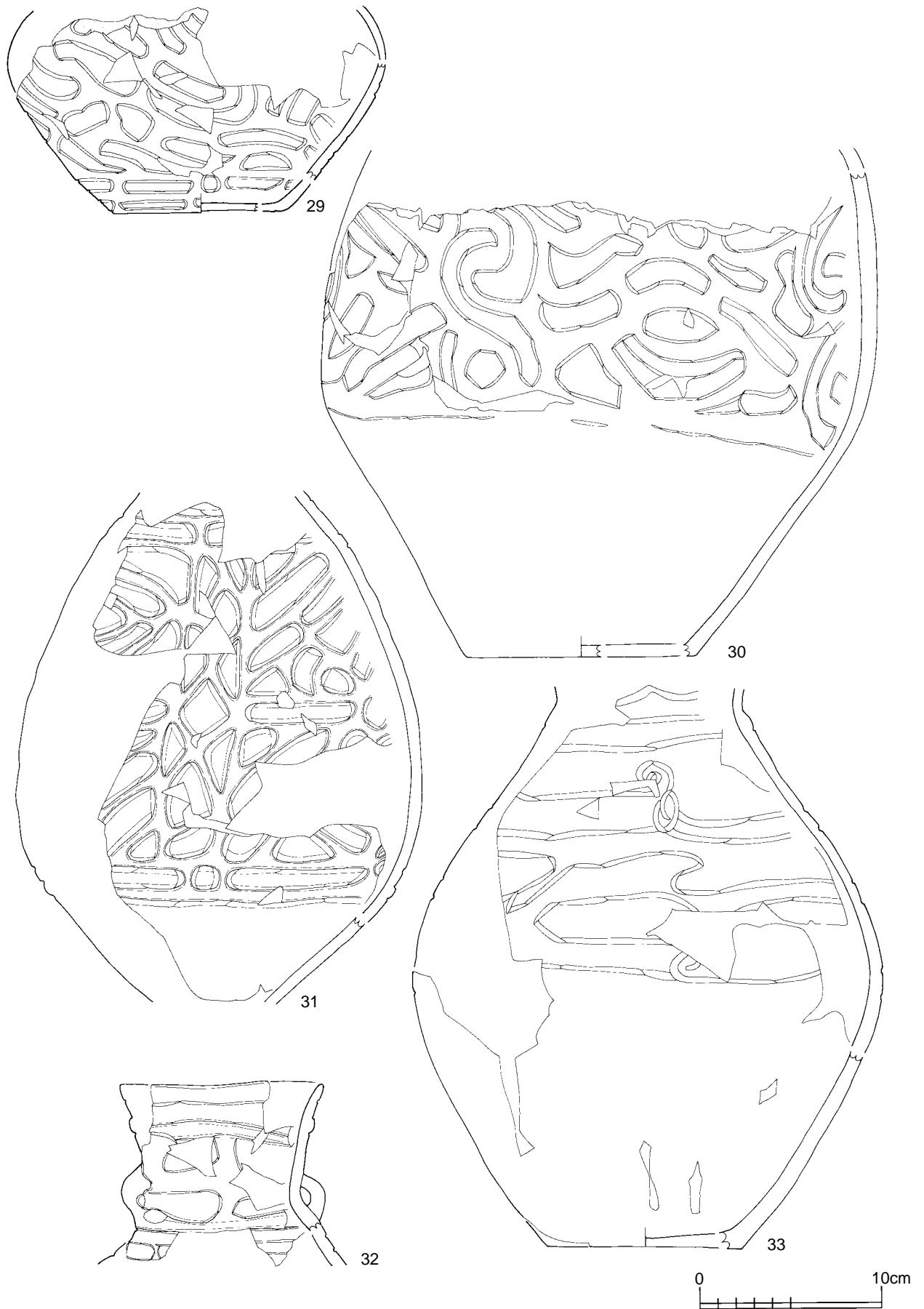
第270図 遺構外出土第 群土器(3)



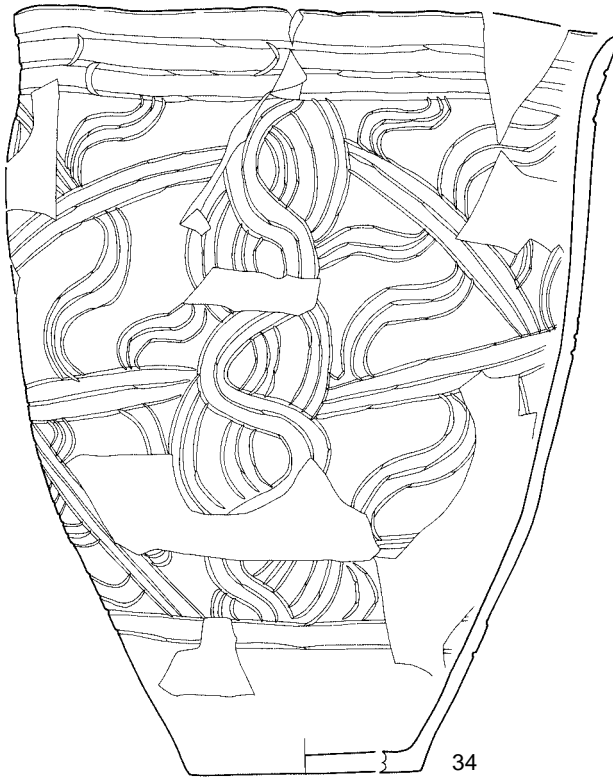
第271図 遺構外出土第 群土器(4)



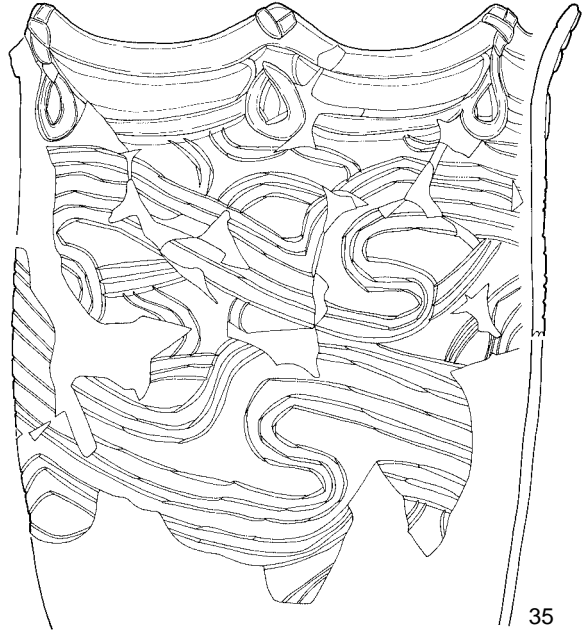
第272図 遺構外出土第 群土器(5)



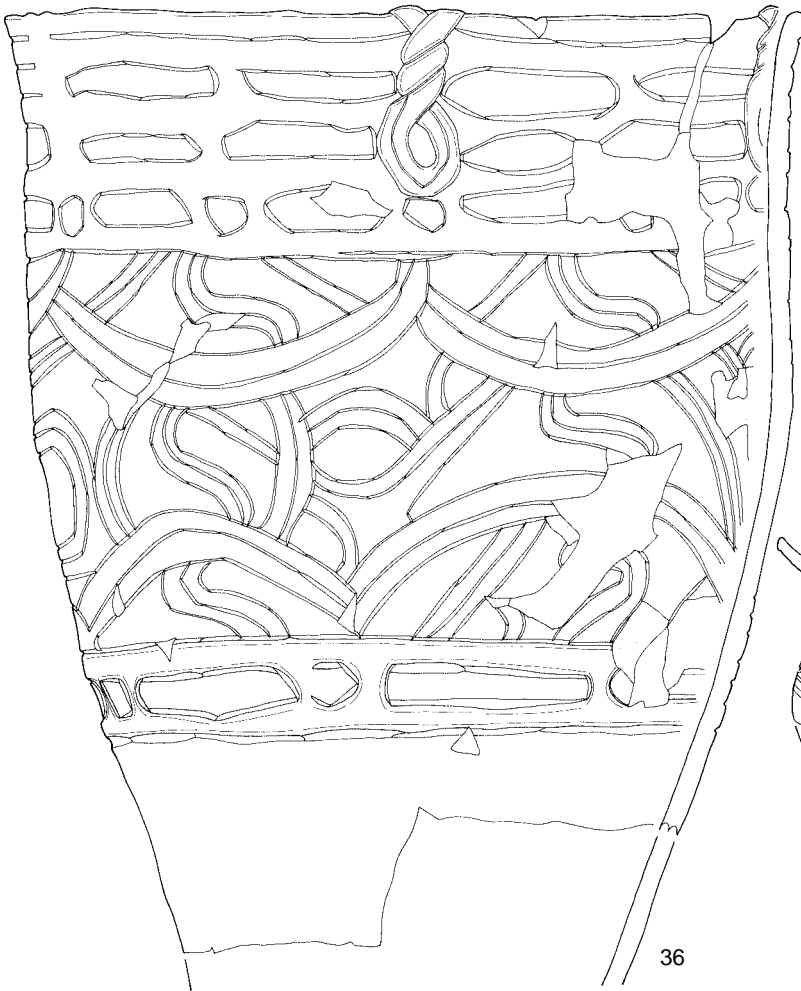
第273図 遺構外出土第 群土器(6)



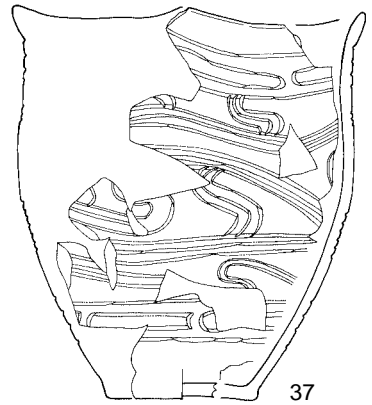
34



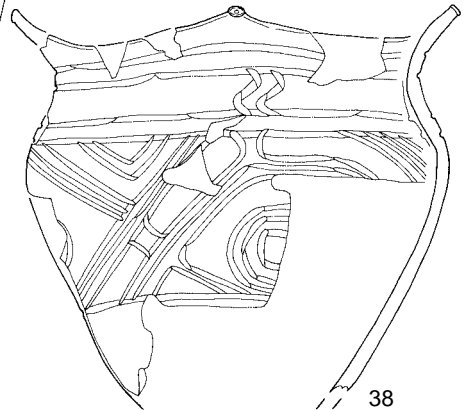
35



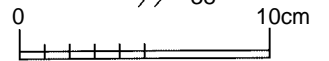
36



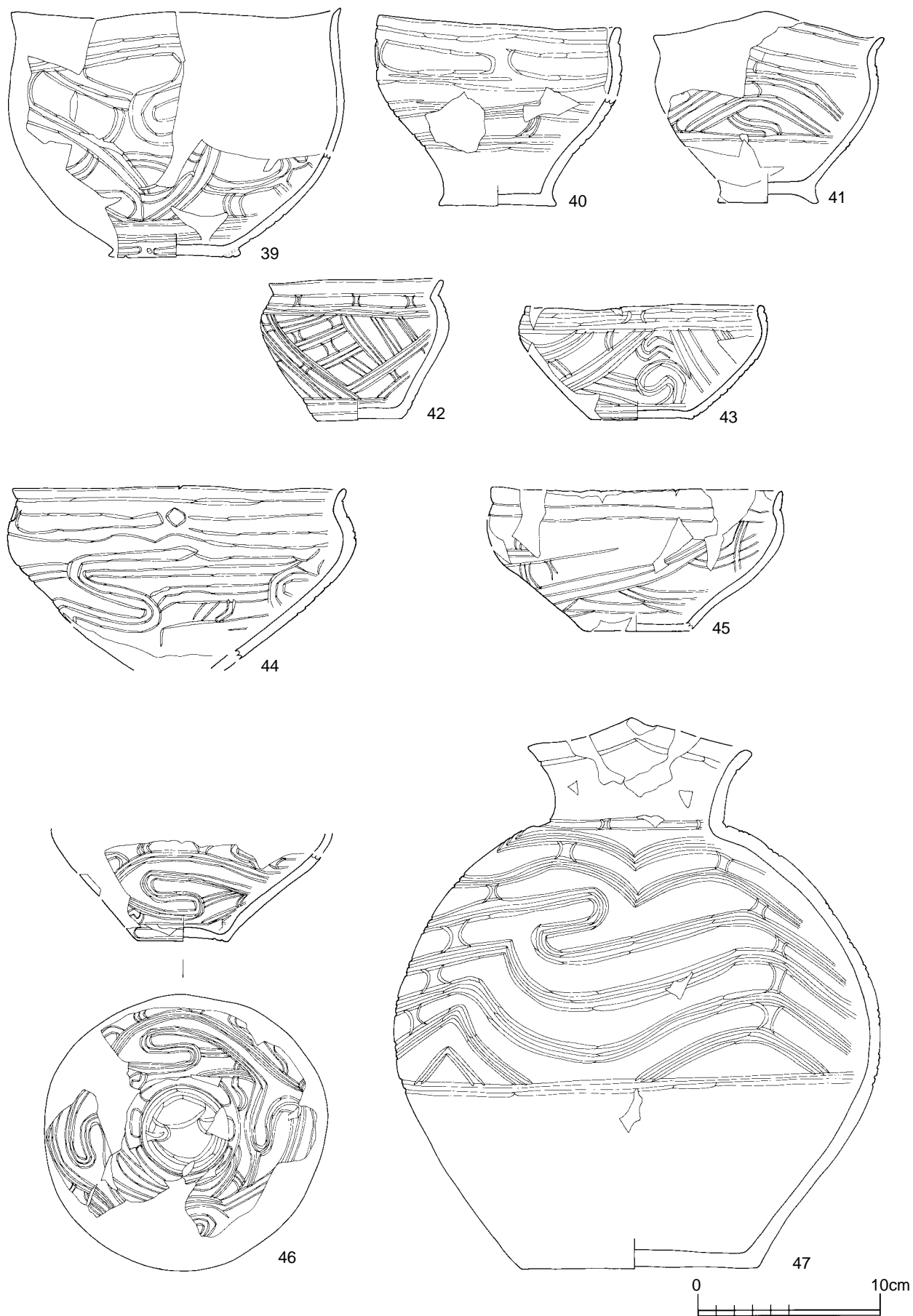
37



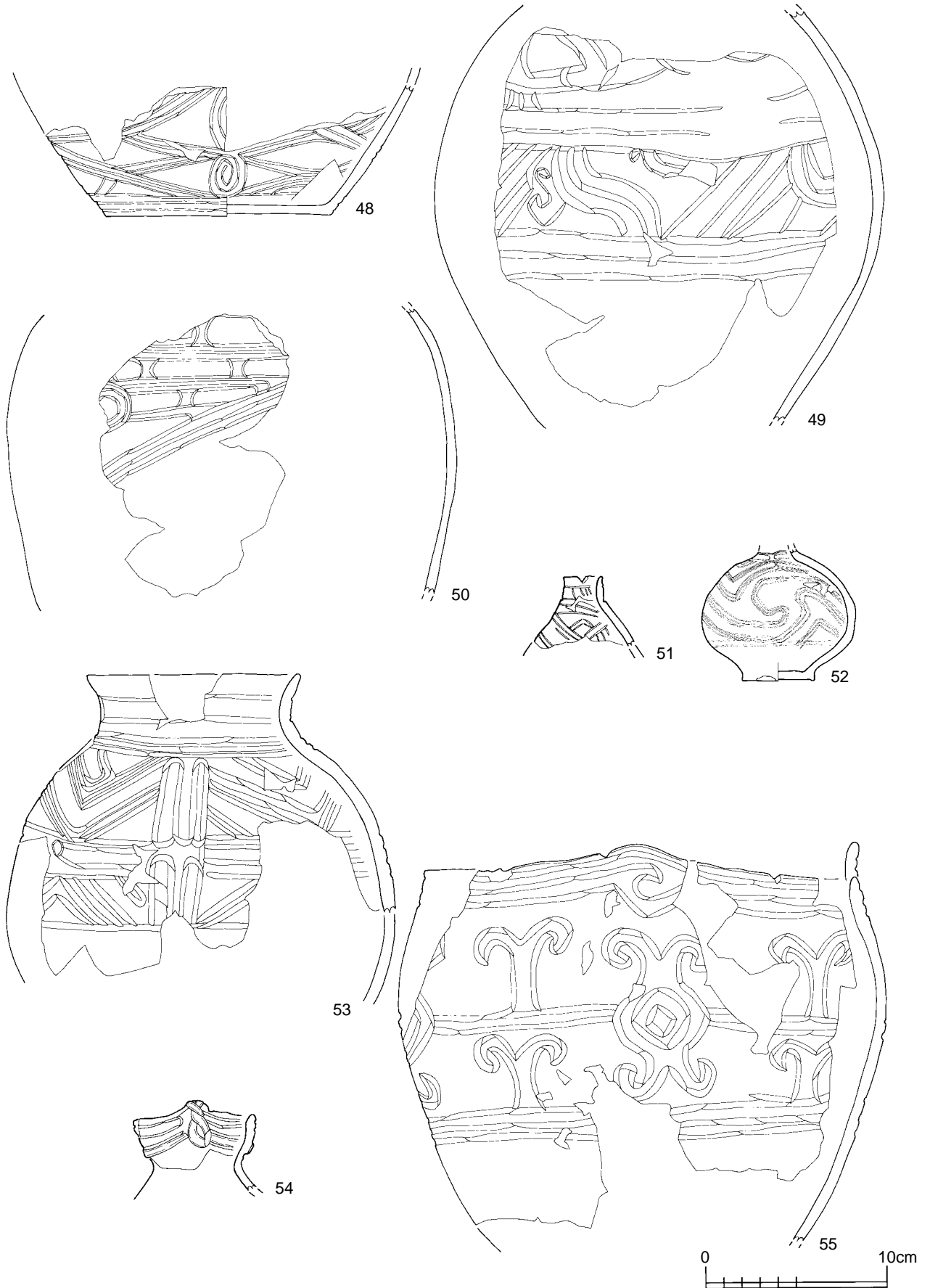
38



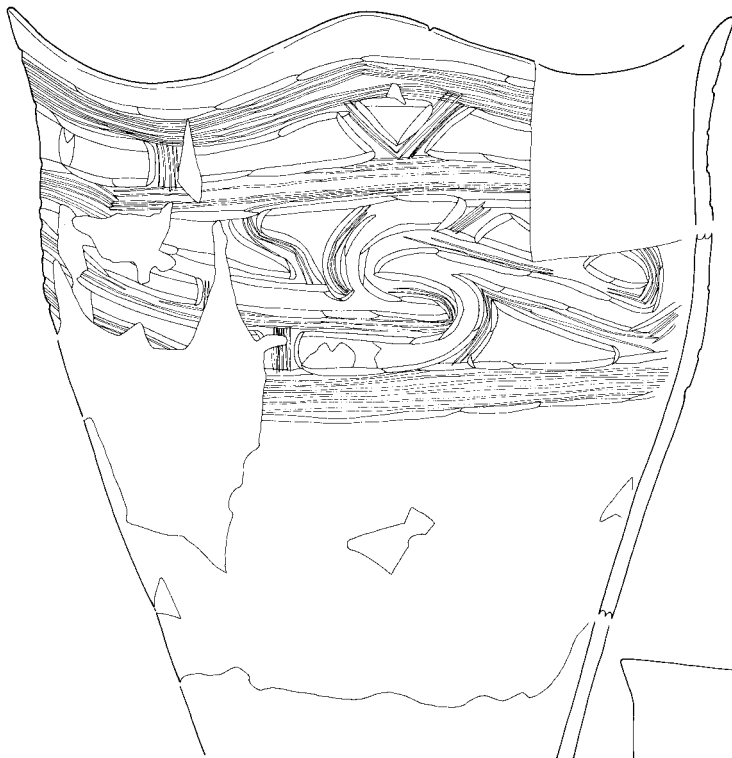
第274図 遺構外出土第 群土器(7)



第275図 遺構外出土第 群土器(8)



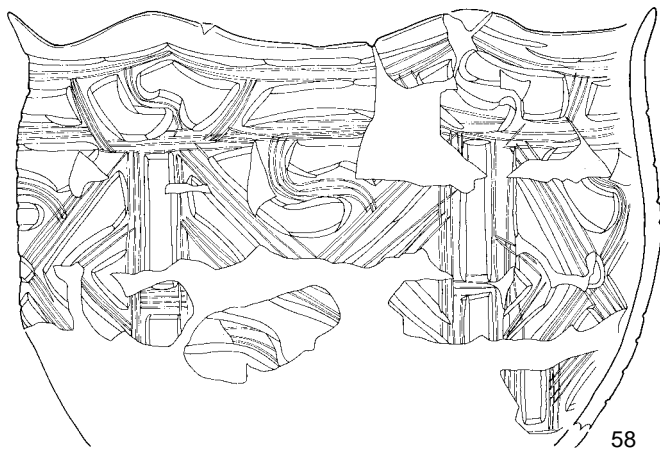
第276図 遺構外出土第 群土器(9)



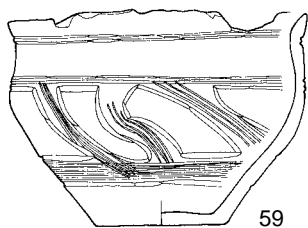
56



57



58

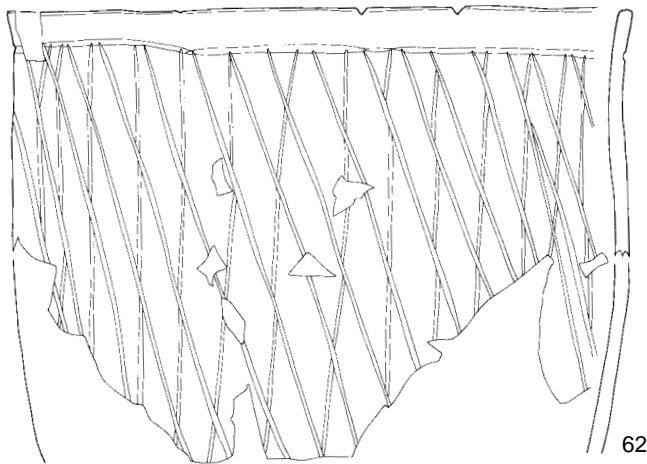
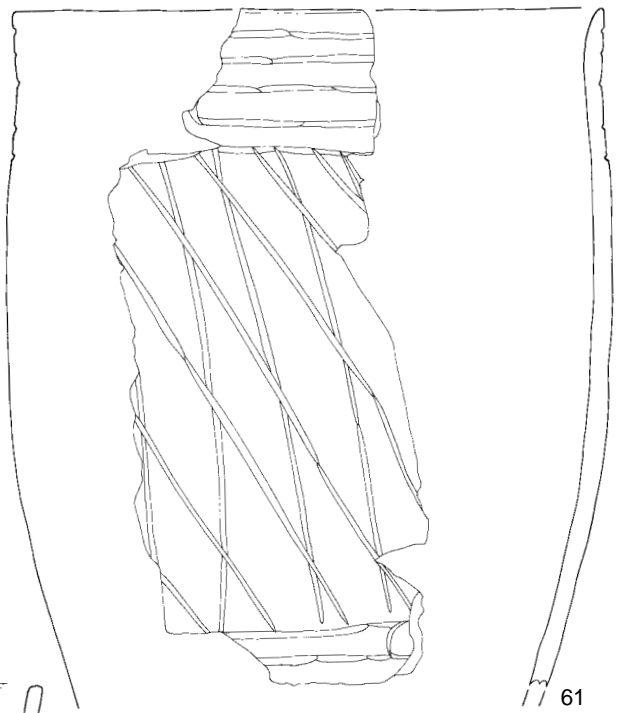
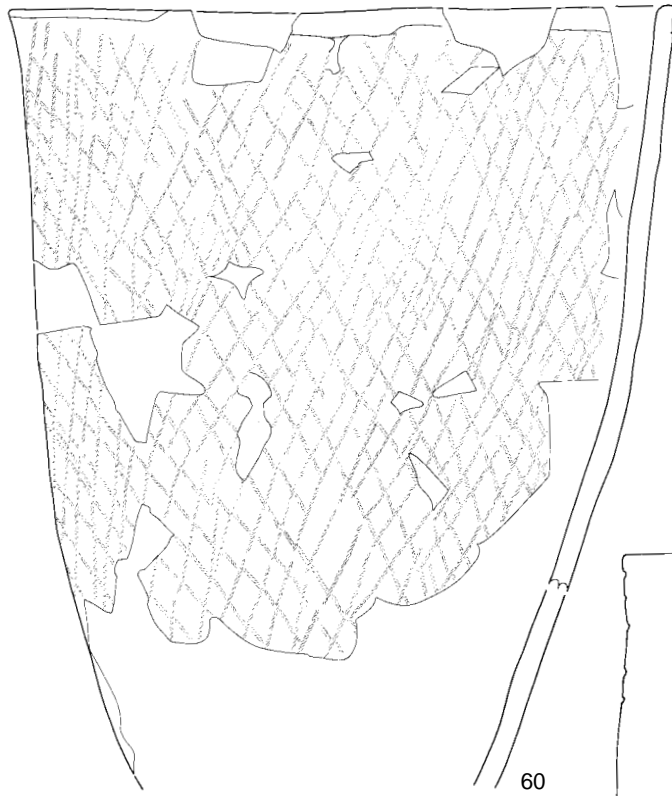


59

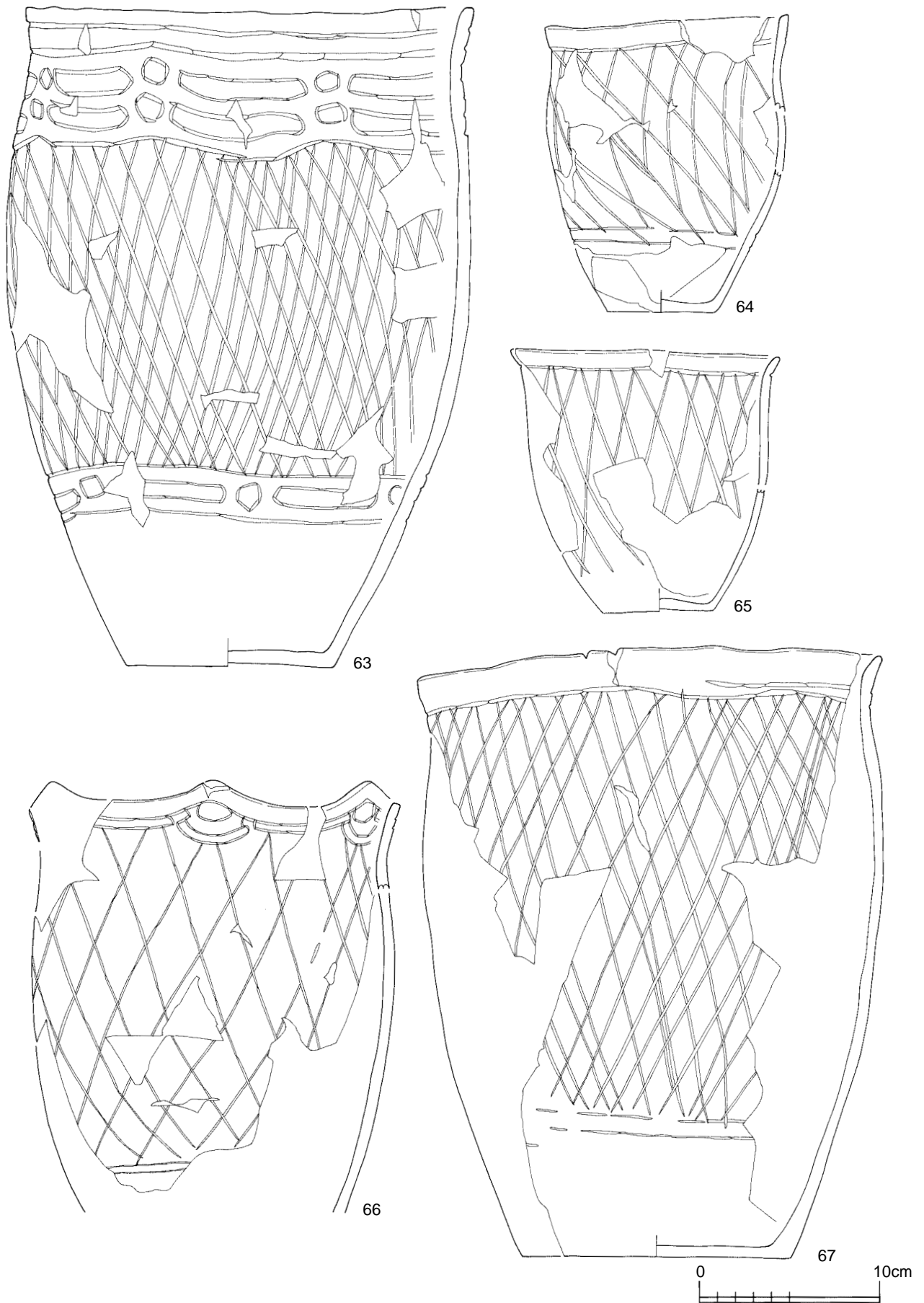


第277図 遺構外出土第 群土器(10)

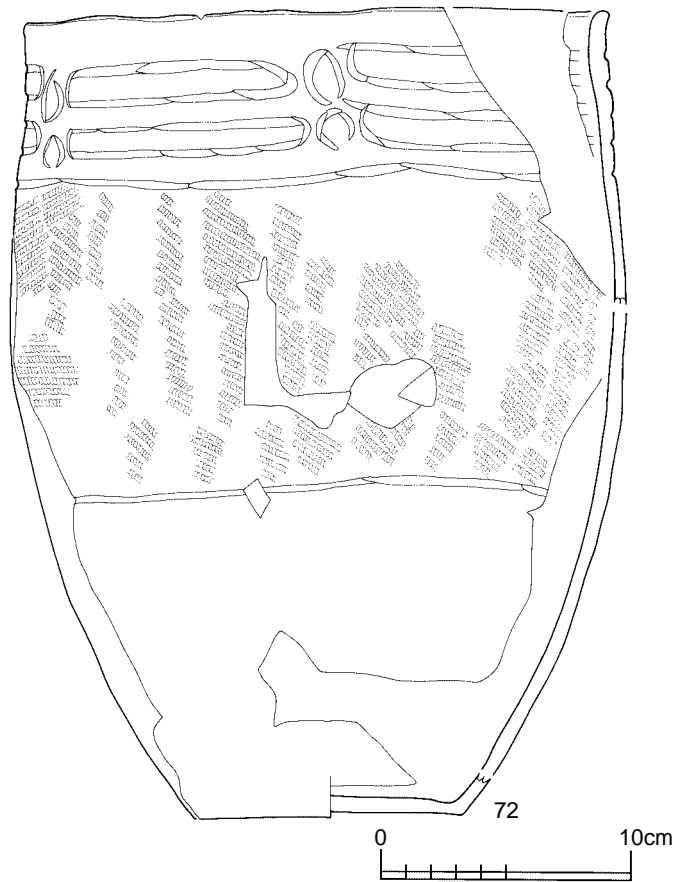
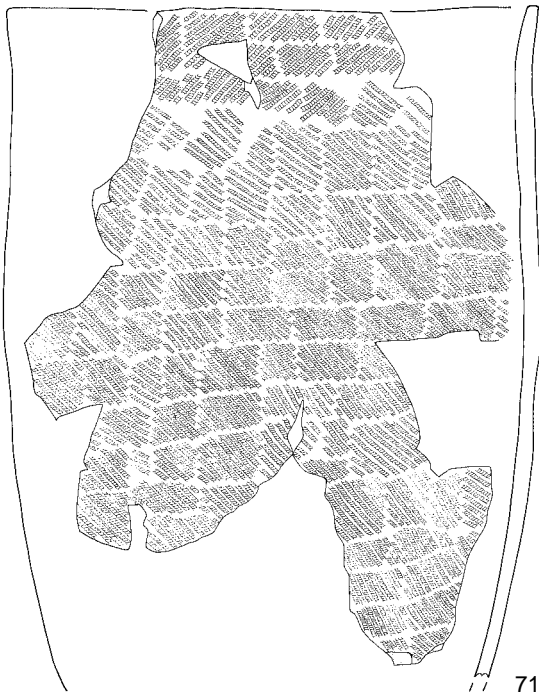
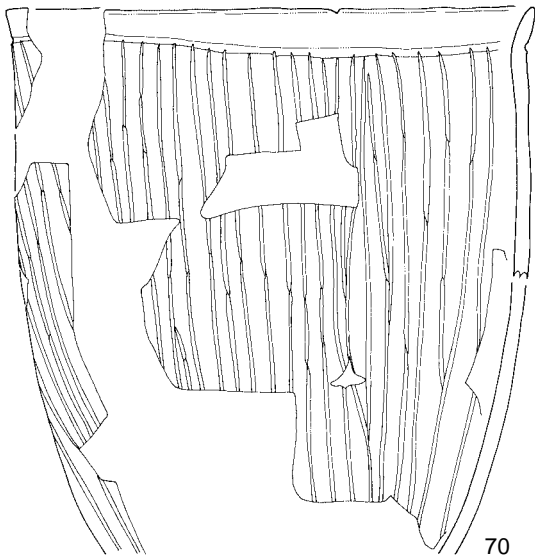
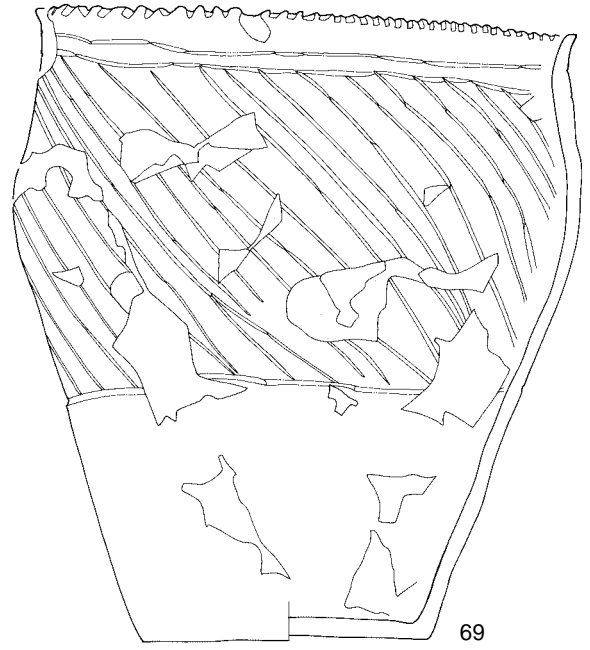
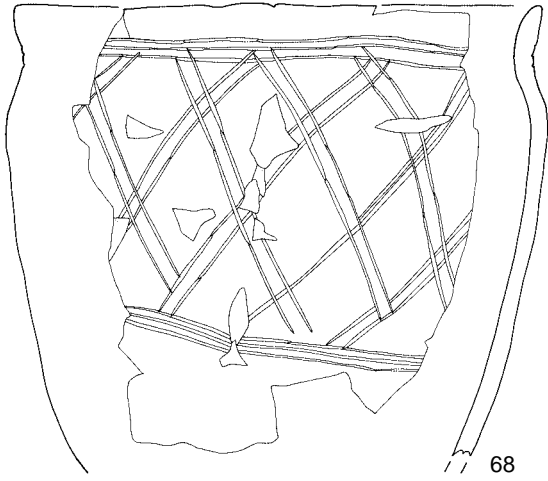




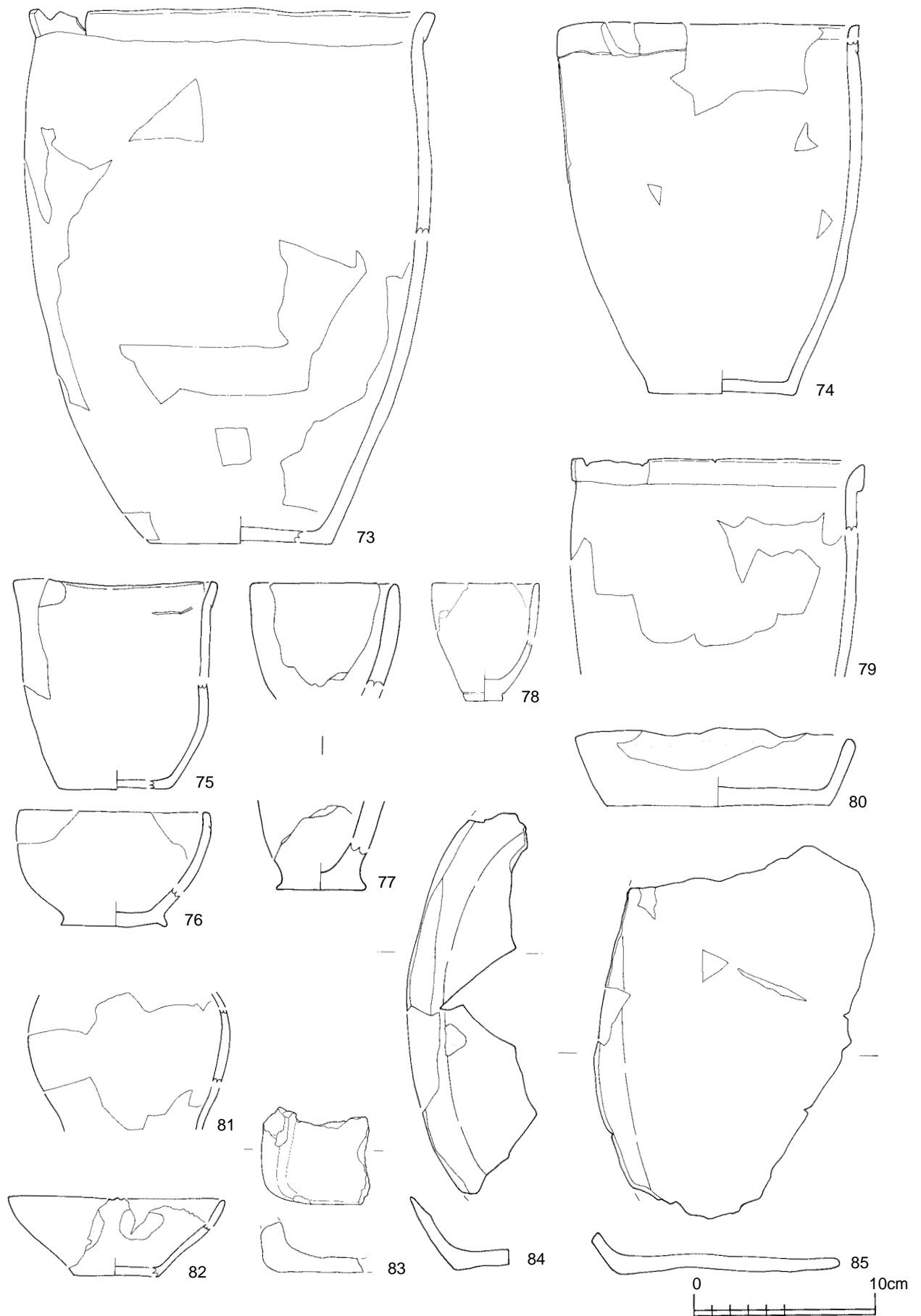
第278図 遺構外出土第 群土器(11)



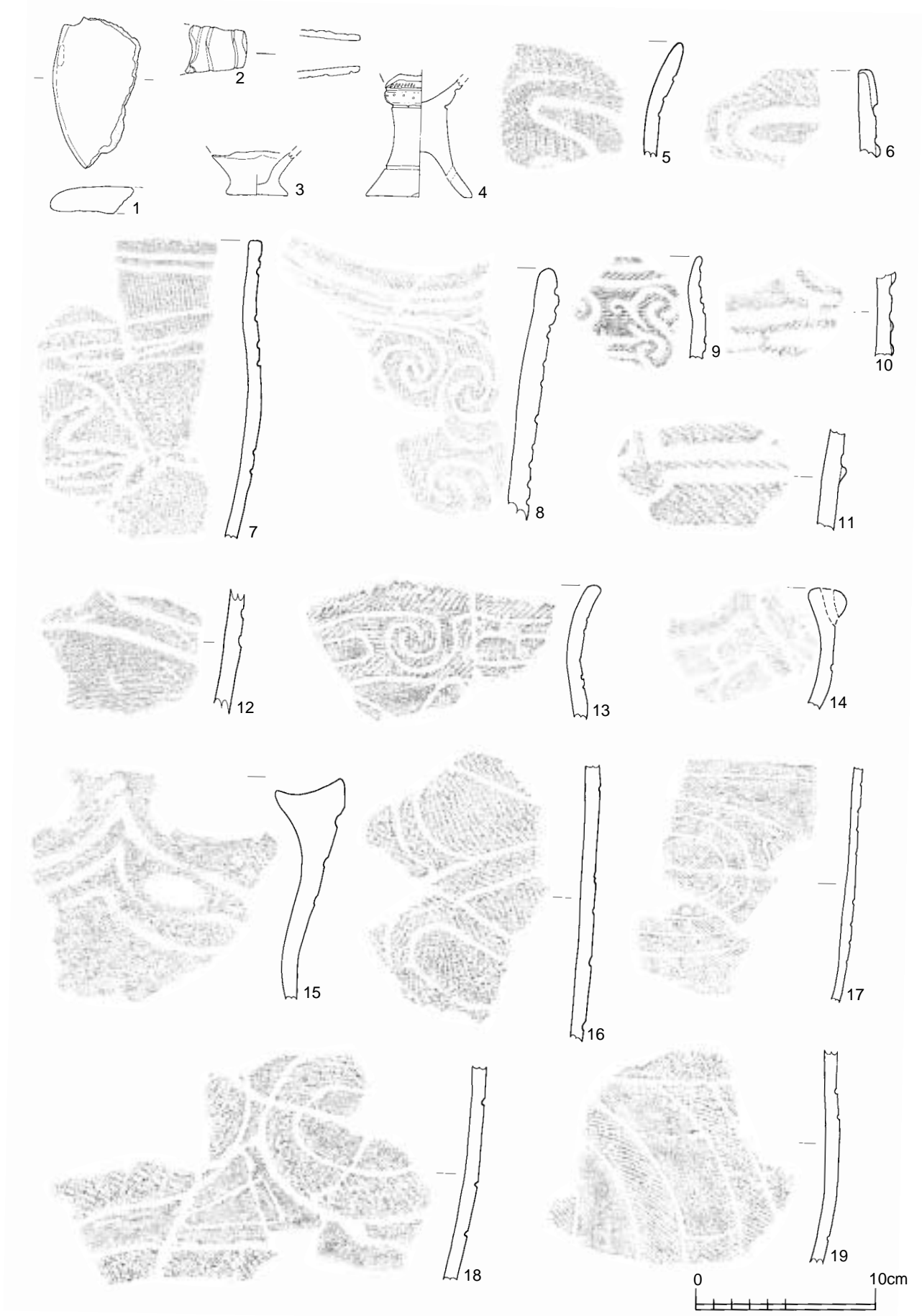
第279図 遺構外出土第 群土器 (12)



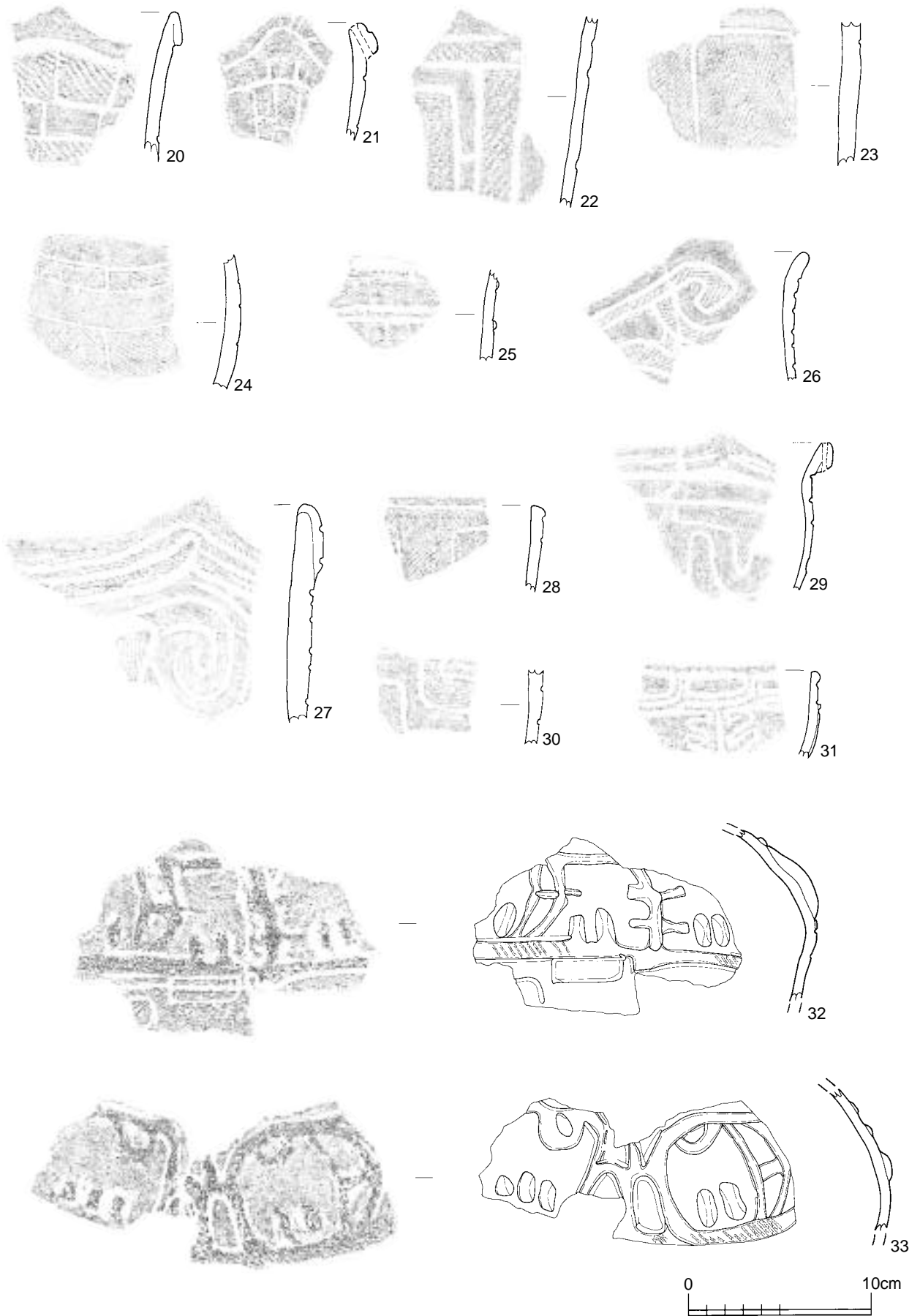
第280図 遺構外出土第 群土器 (13)



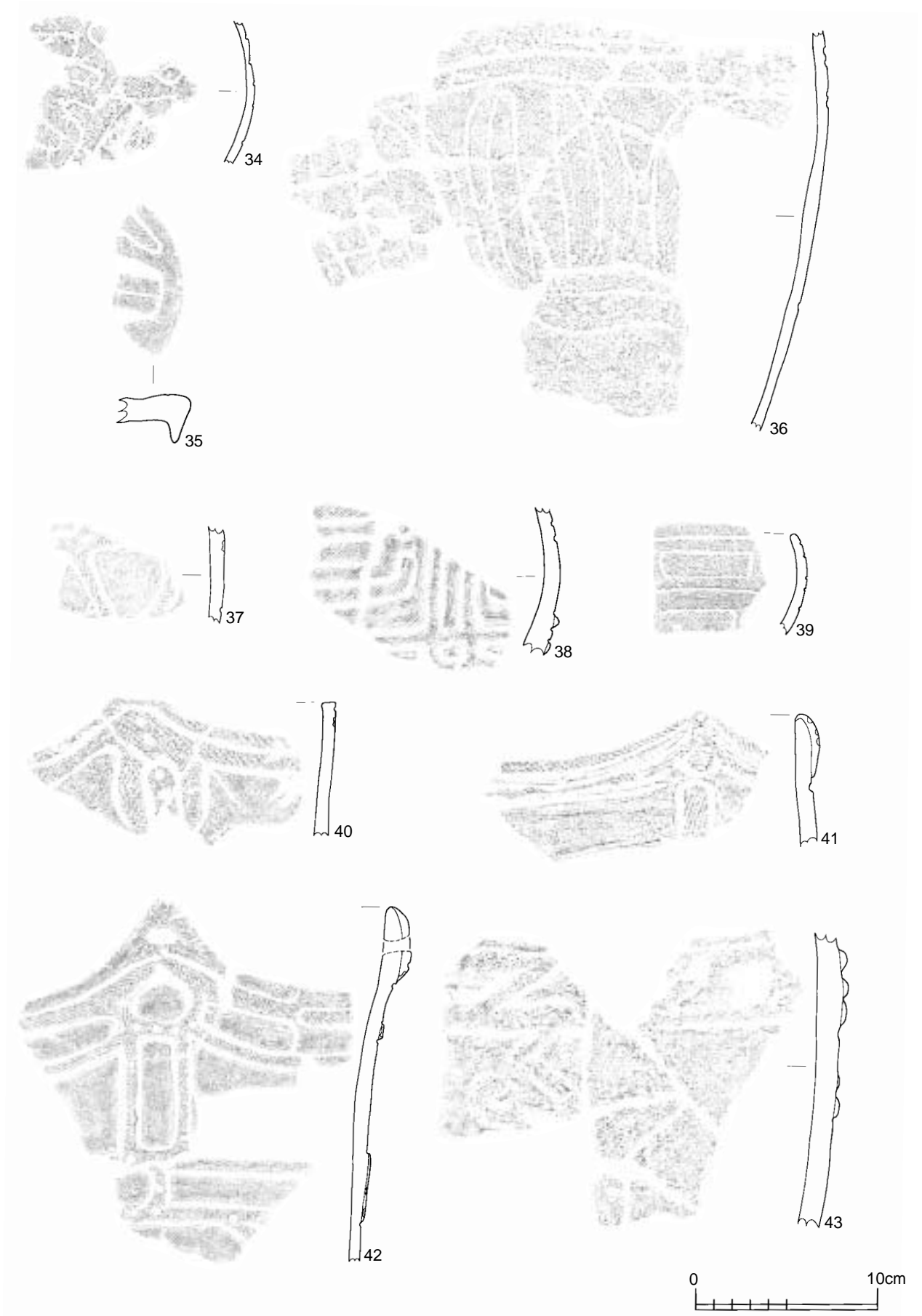
第281図 遺構外出土第 群土器 (14)



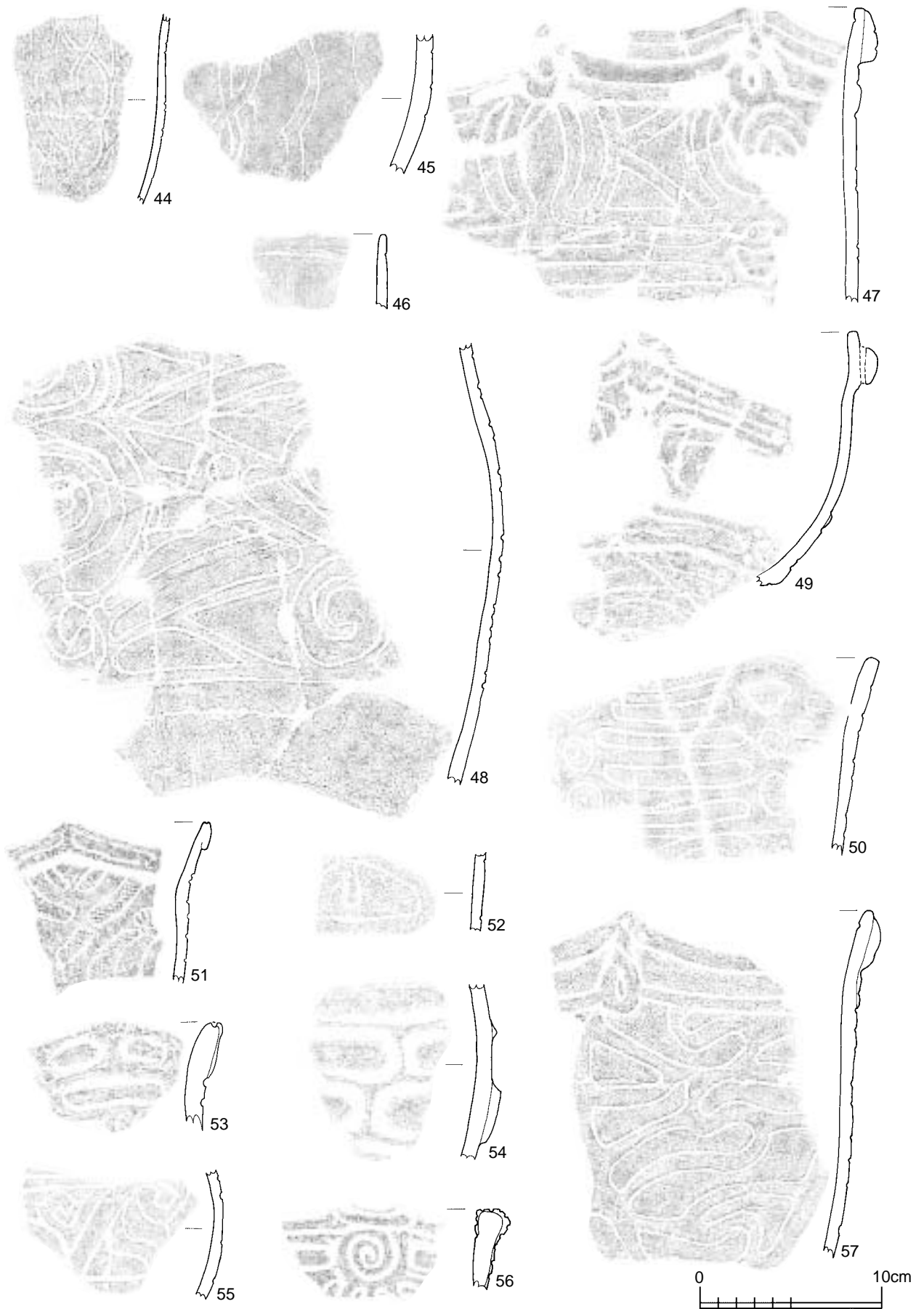
第282図 遺構外出土第 群土器 (15)



第283図 遺構外出土第 群土器 (16)

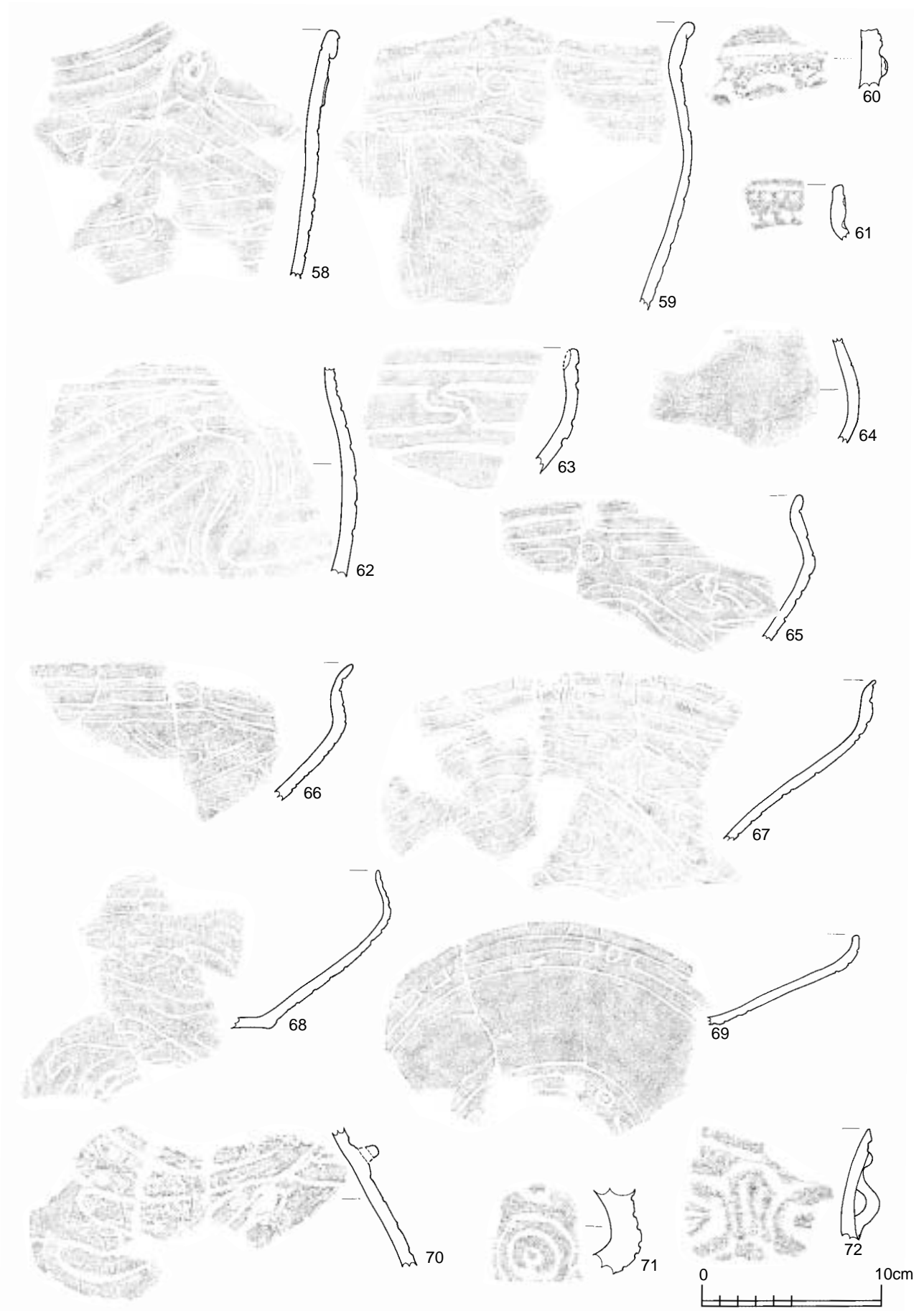


第284図 遺構外出土第 群土器 (17)

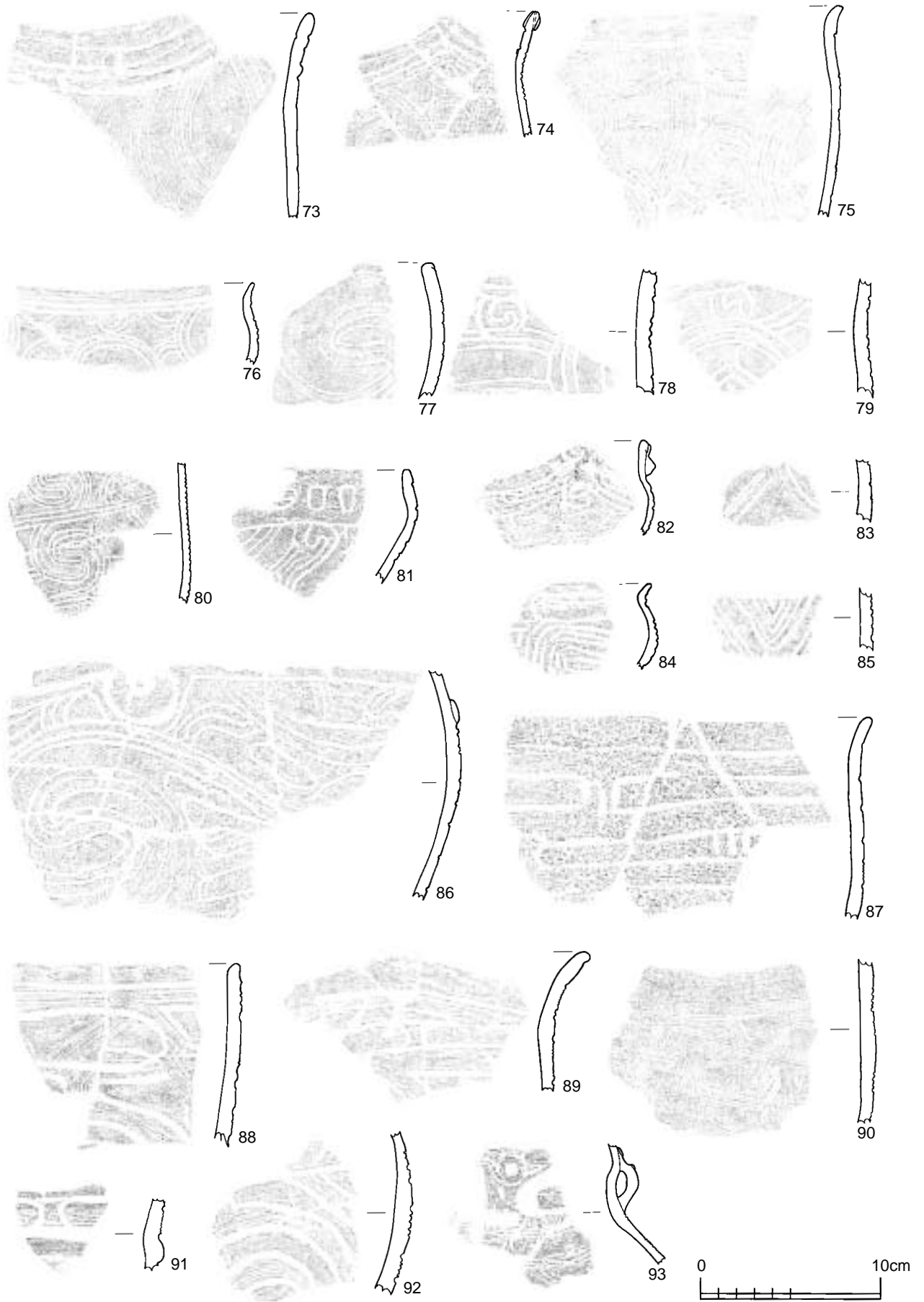


第285図 遺構外出土第 群土器 (18)

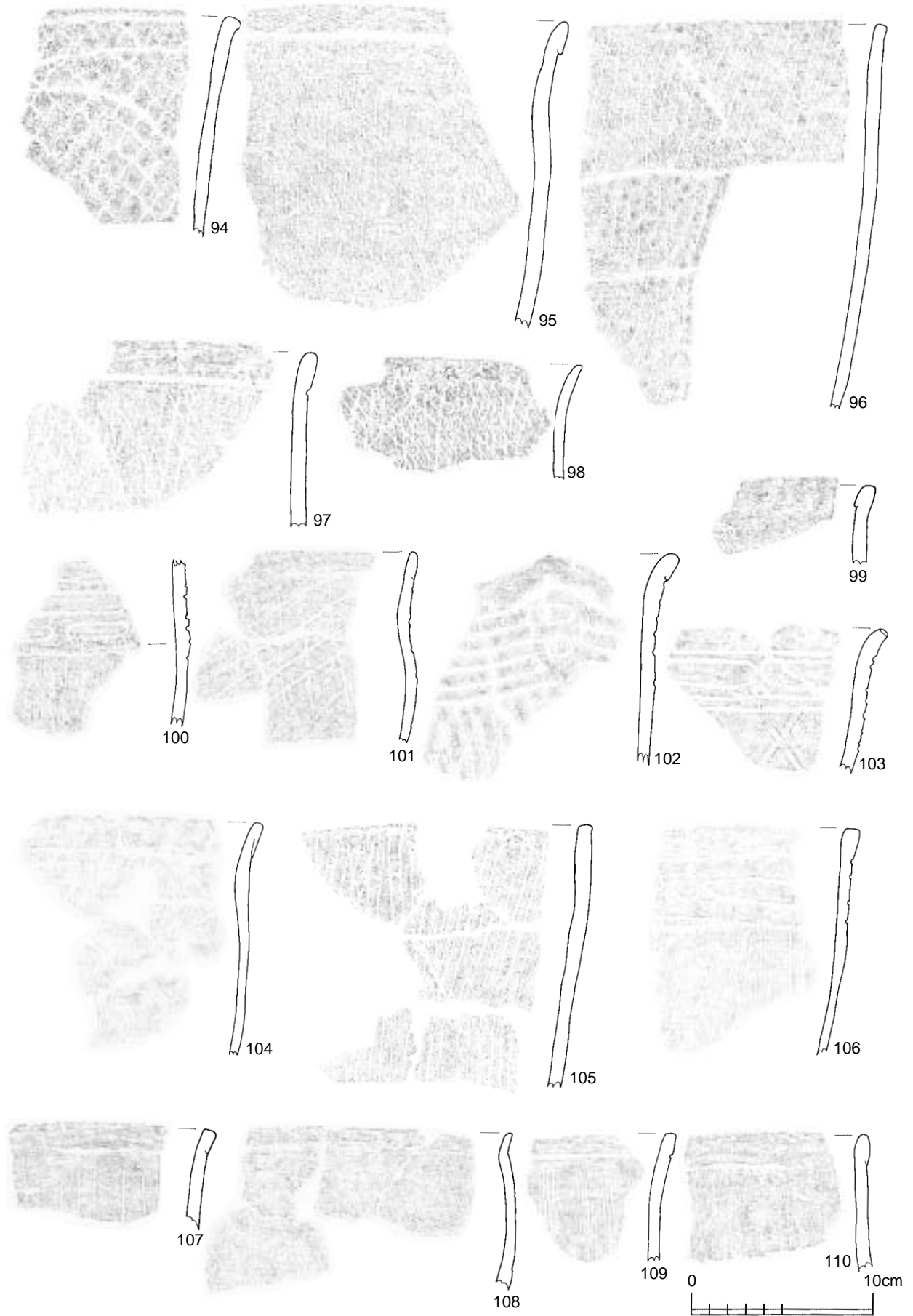




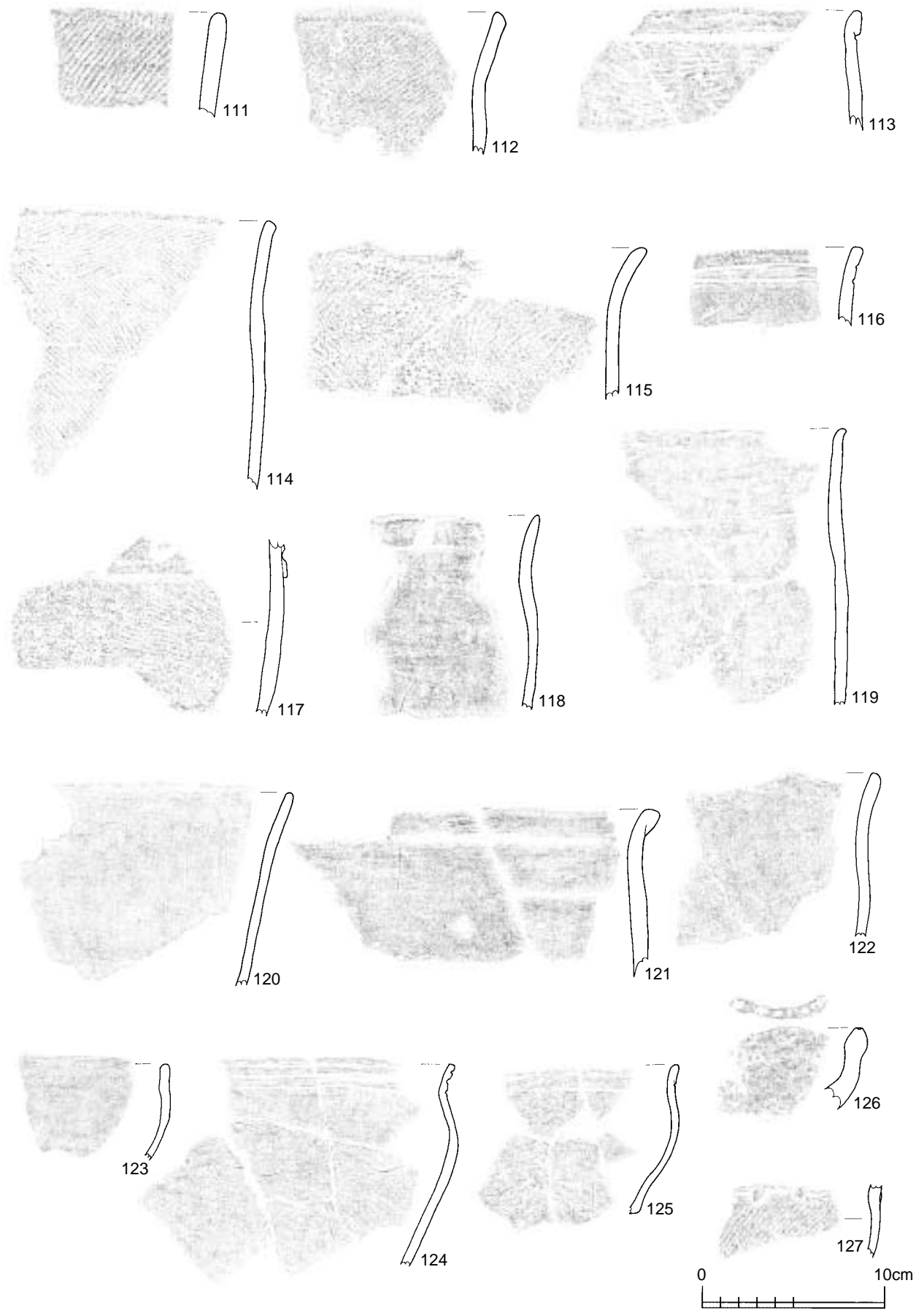
第286図 遺構外出土第 群土器 (19)



第287図 遺構外出土第 群土器 (20)

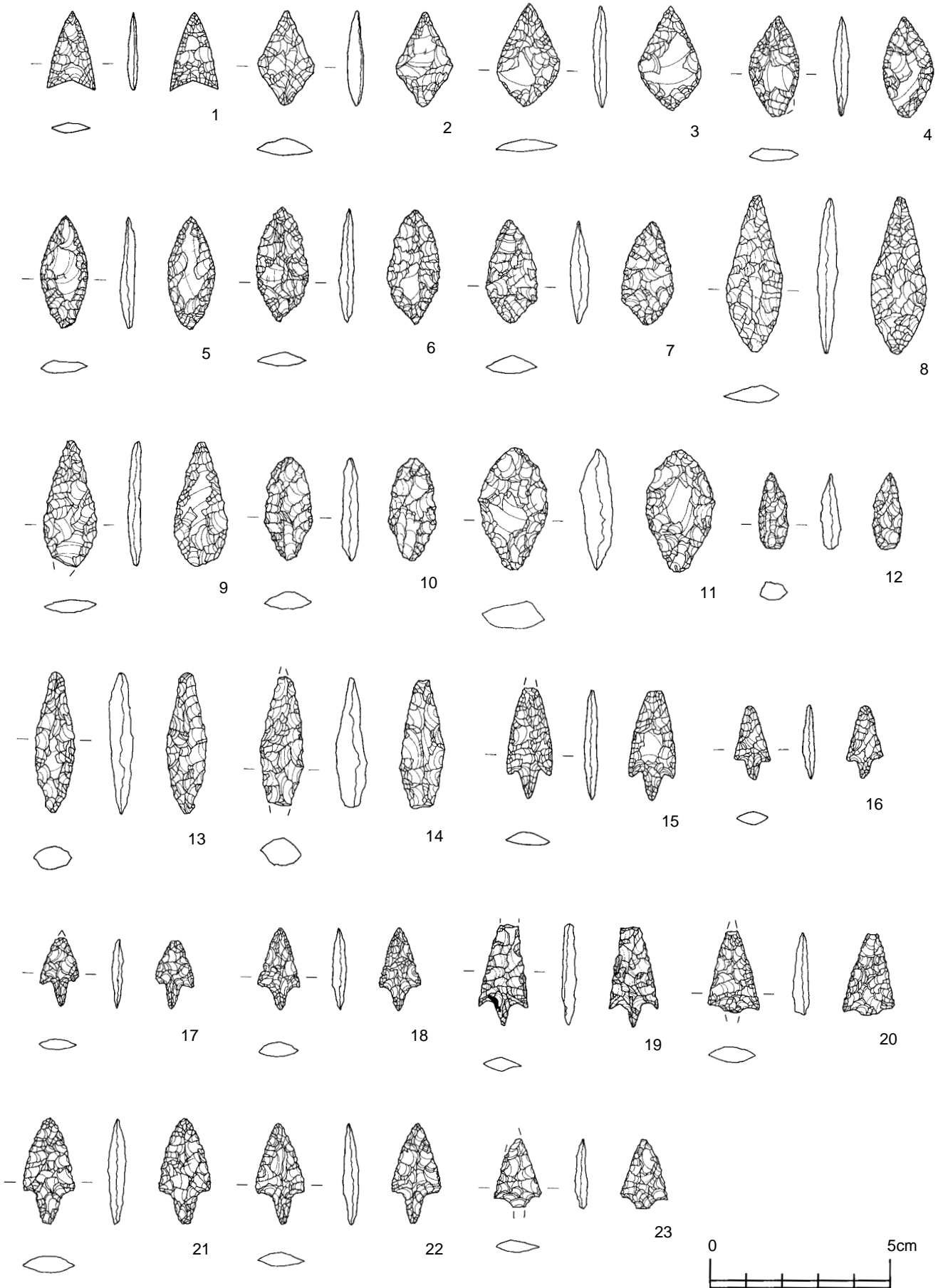


第288図 遺構外出土第 群土器 (21)

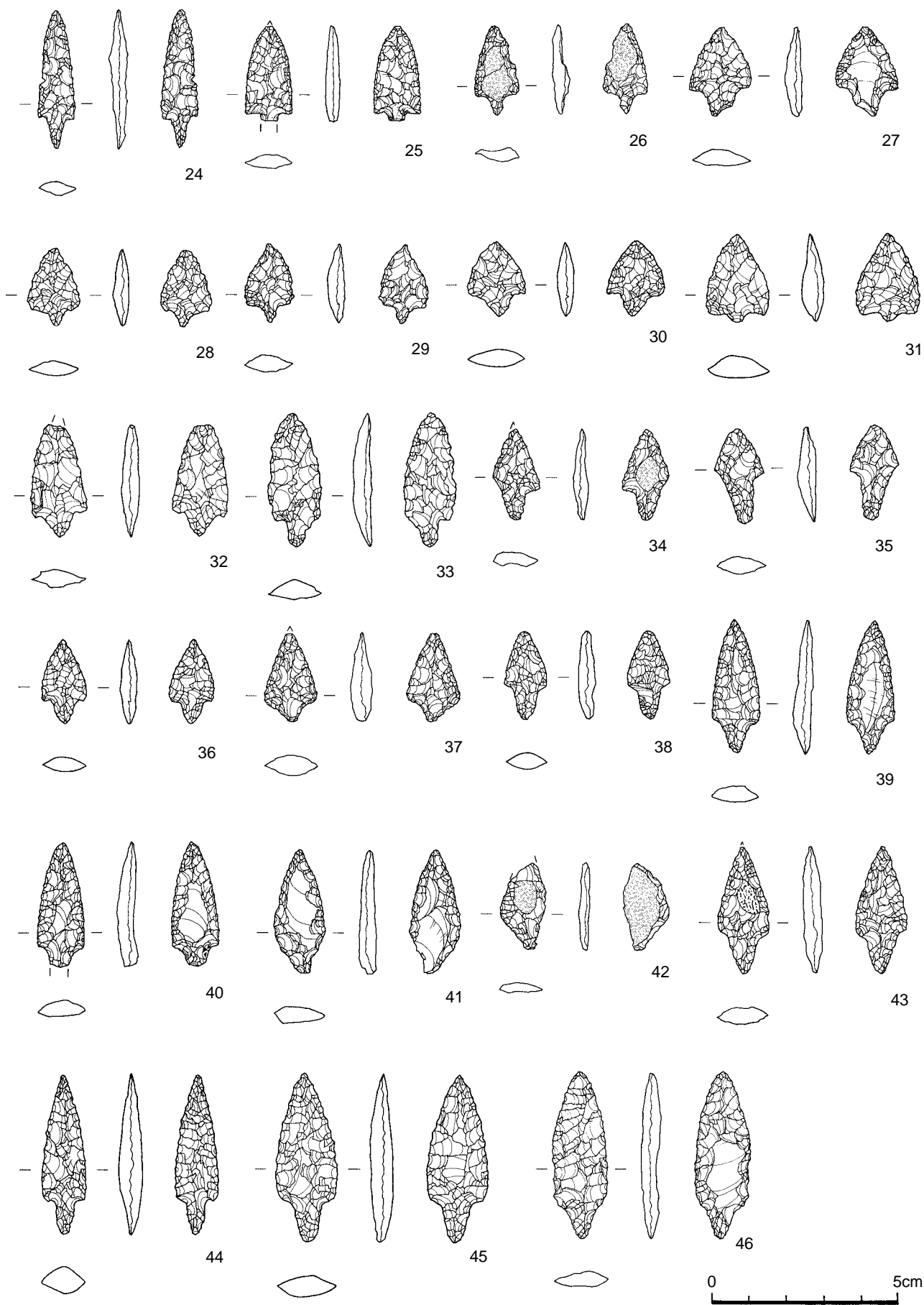


第289図 遺構外出土第 群・第 群土器(22)

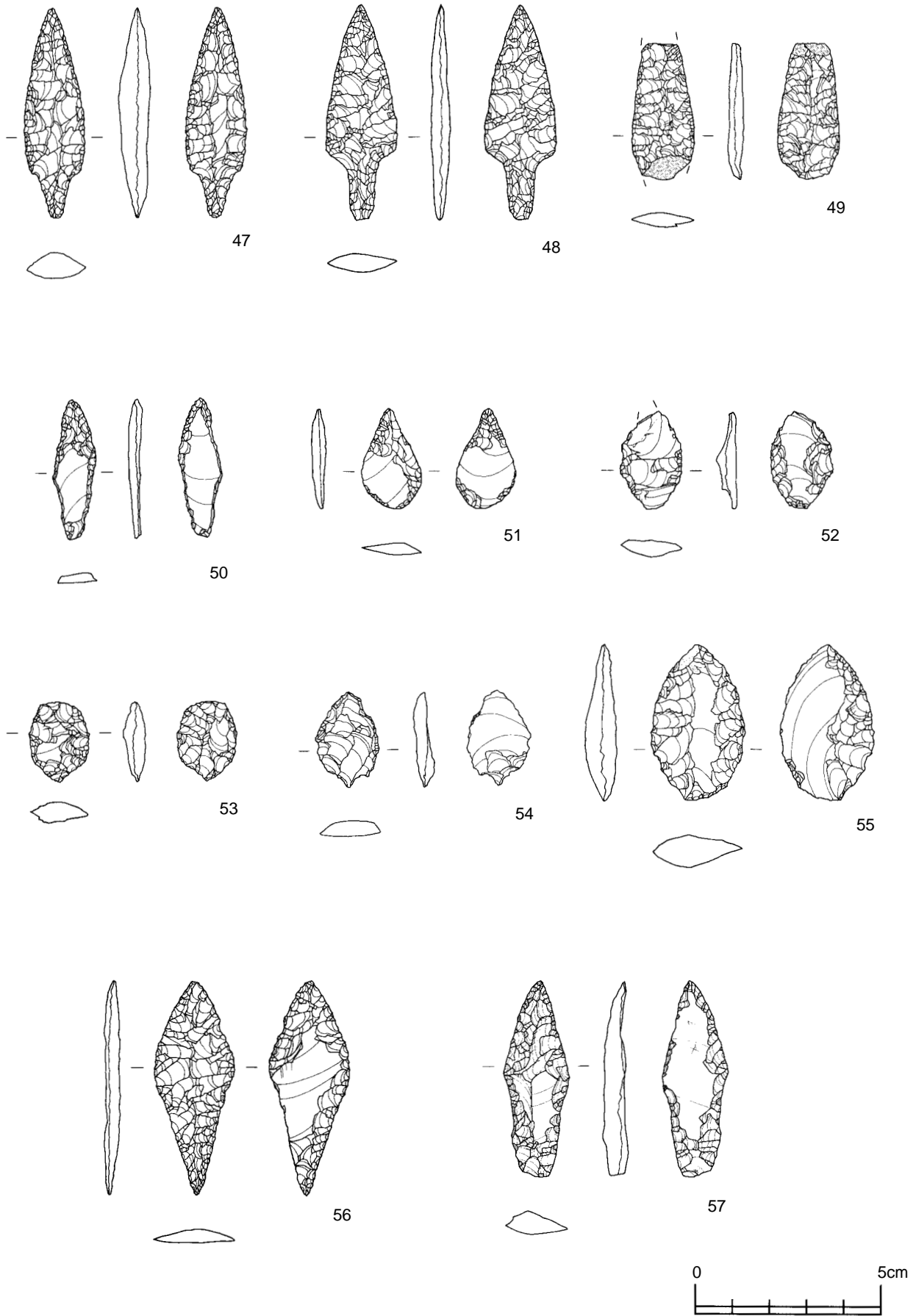
2. 石器



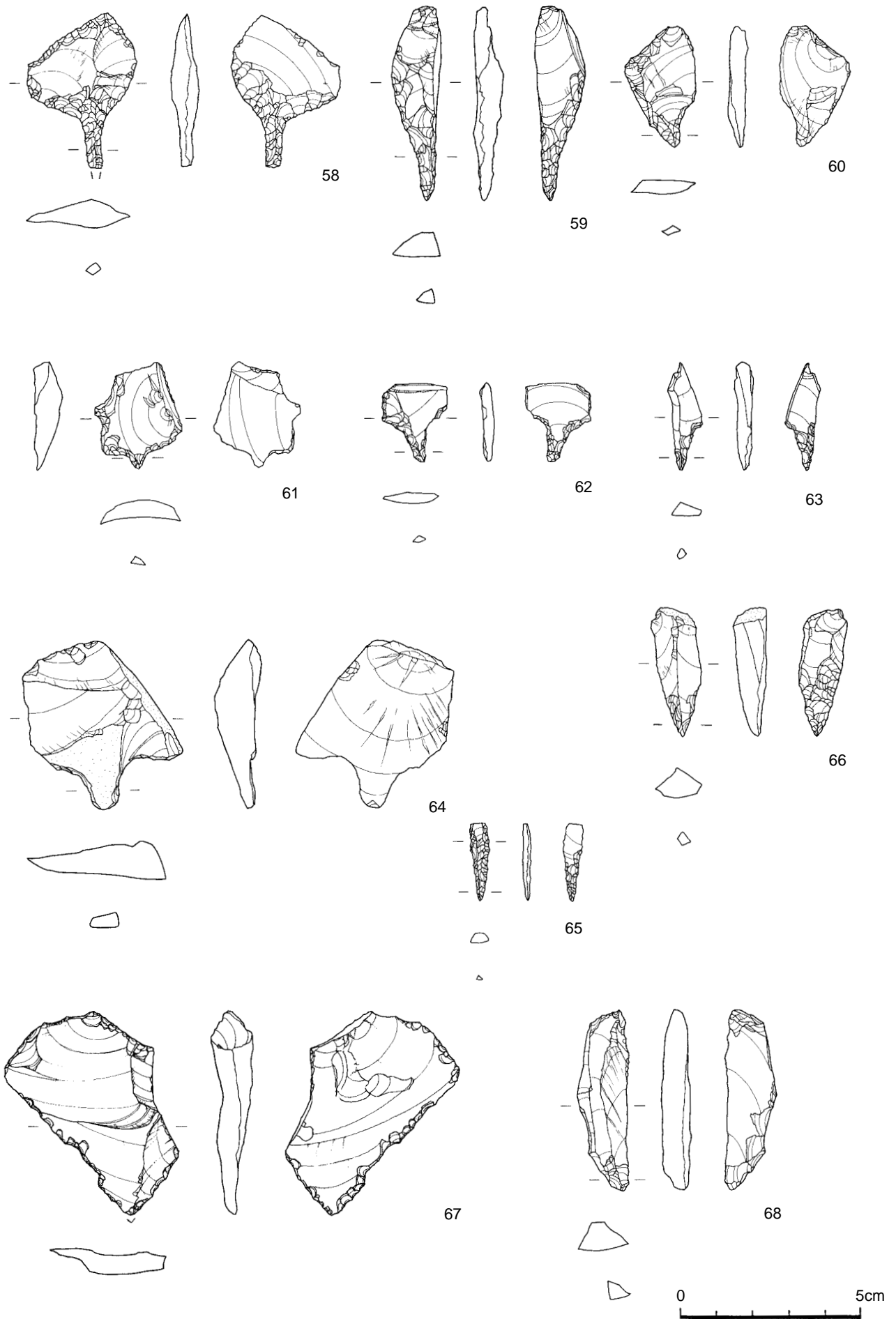
第290図 遺構外出土石器(1)



第291図 遺構外出土石器(2)

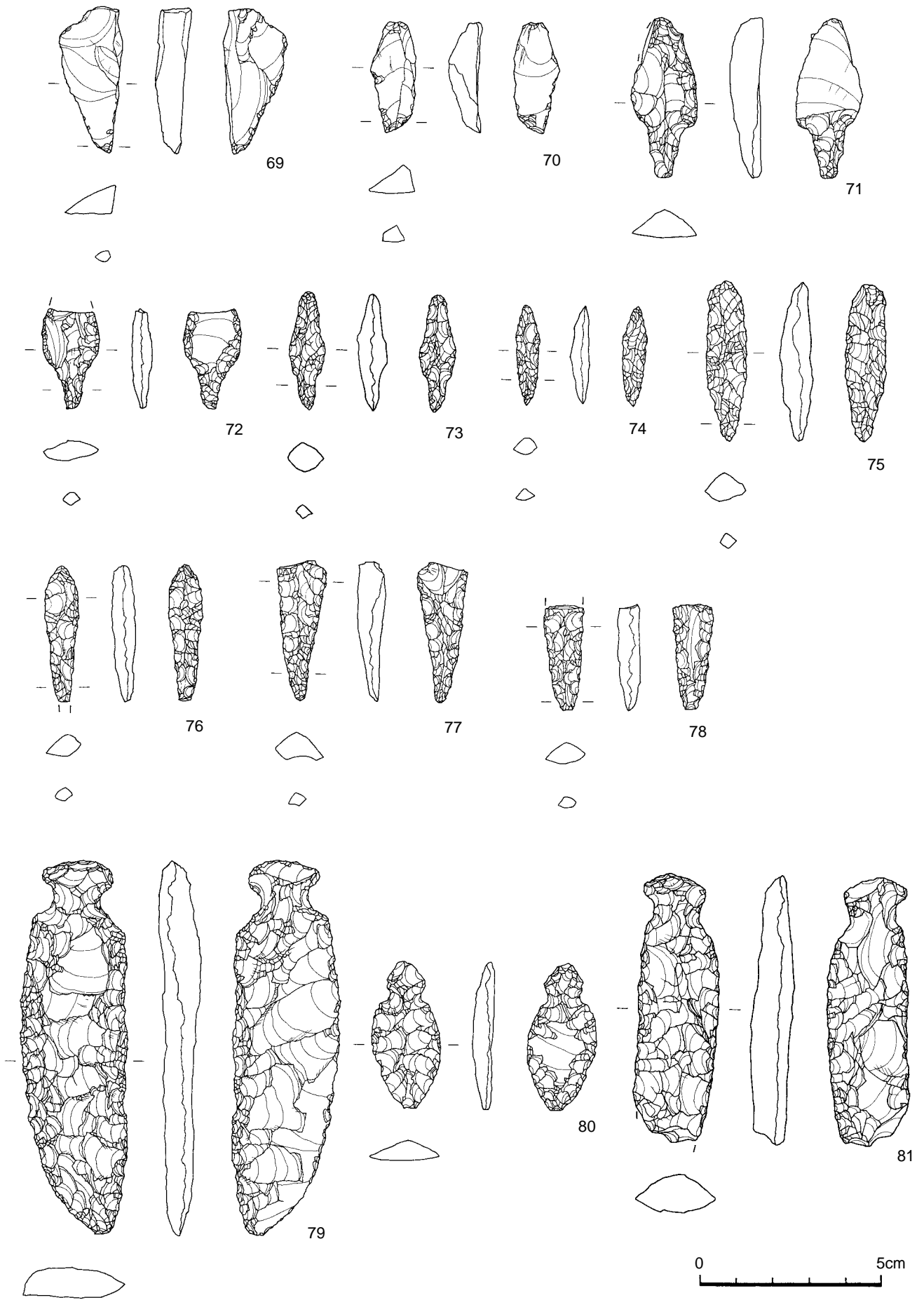


第292図 遺構外出土石器(3)

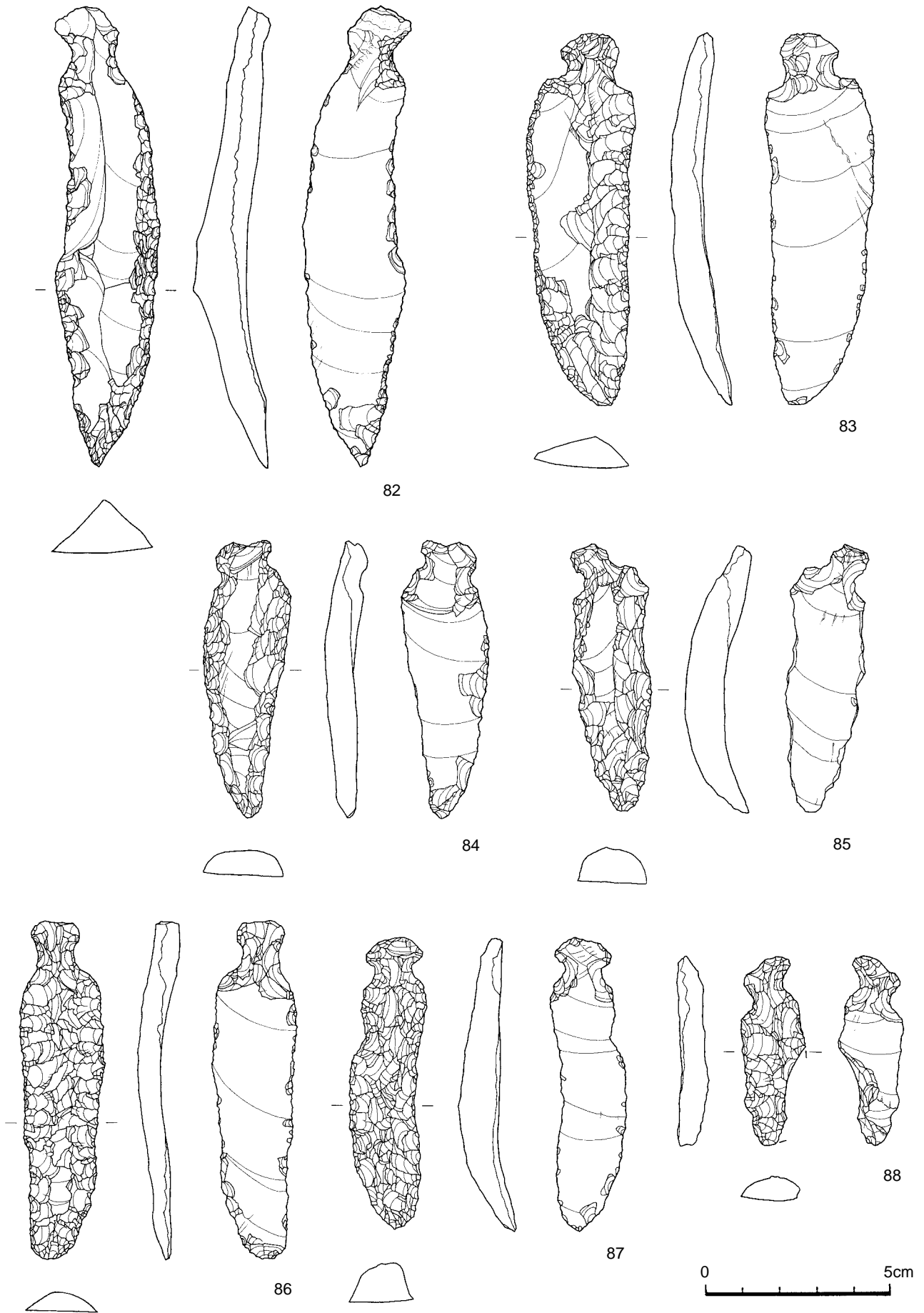


第293図 遺構外出土石器(4)

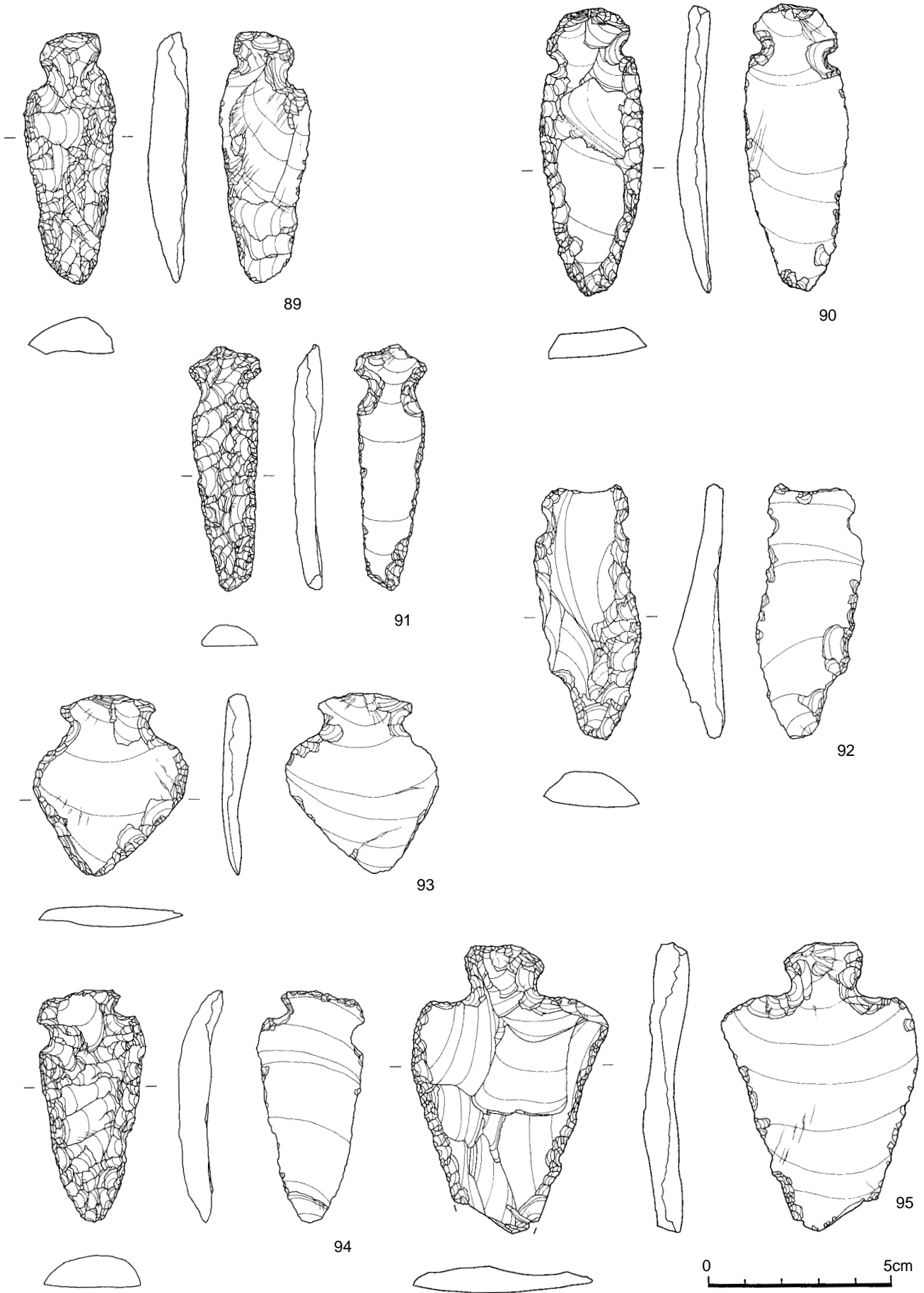




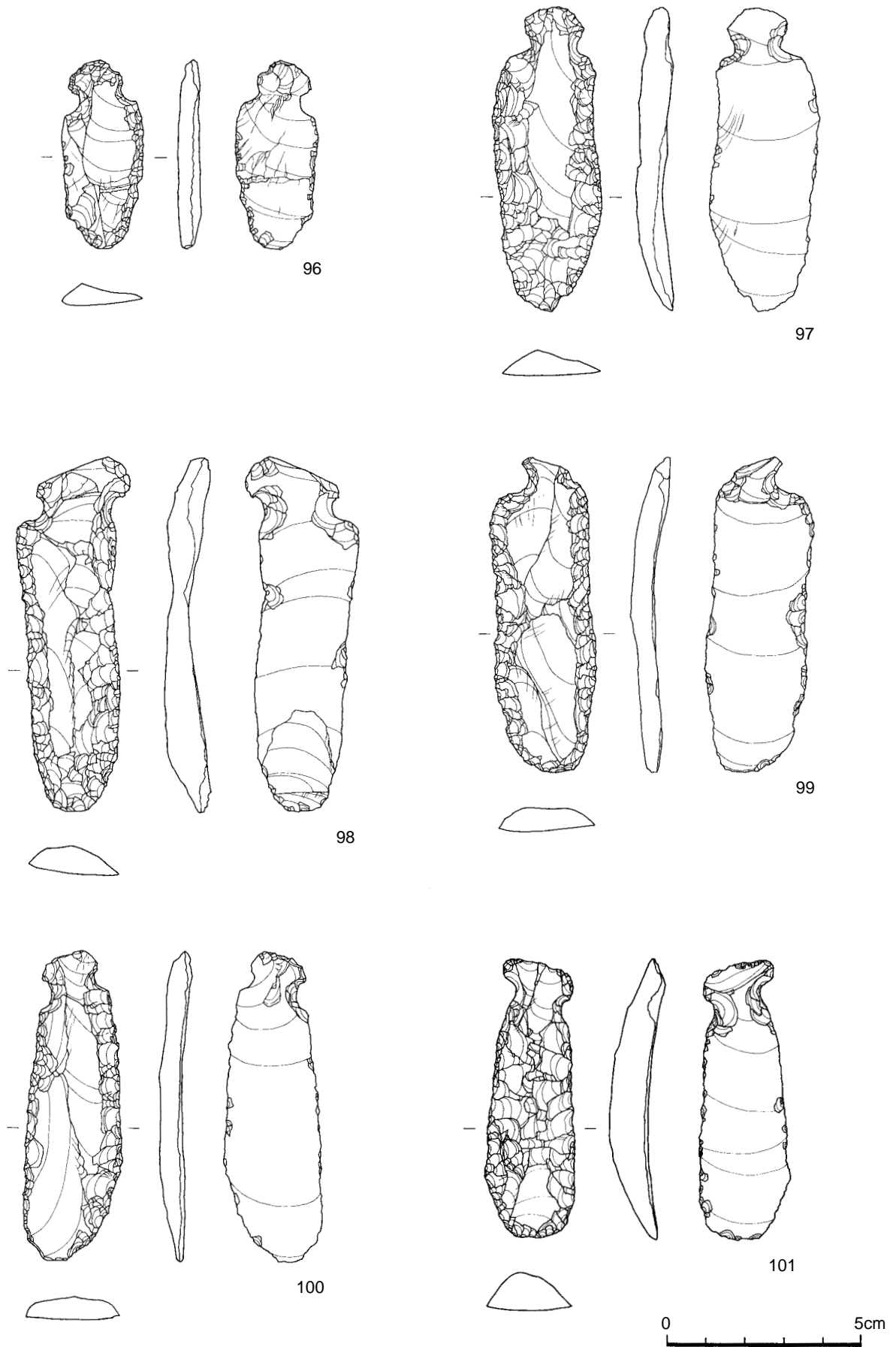
第294図 遺構外出土石器(5)



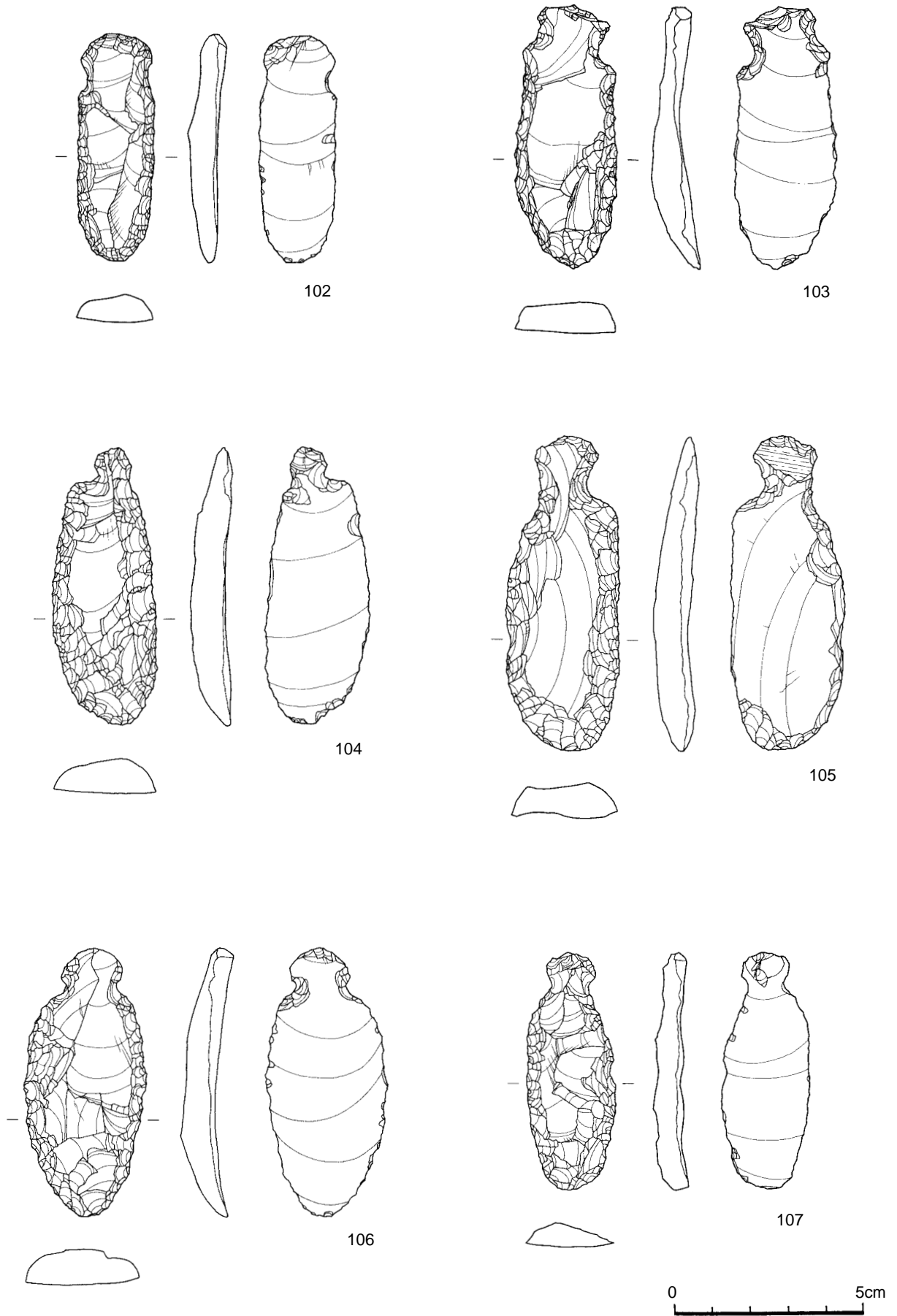
第295図 遺構外出土石器(6)



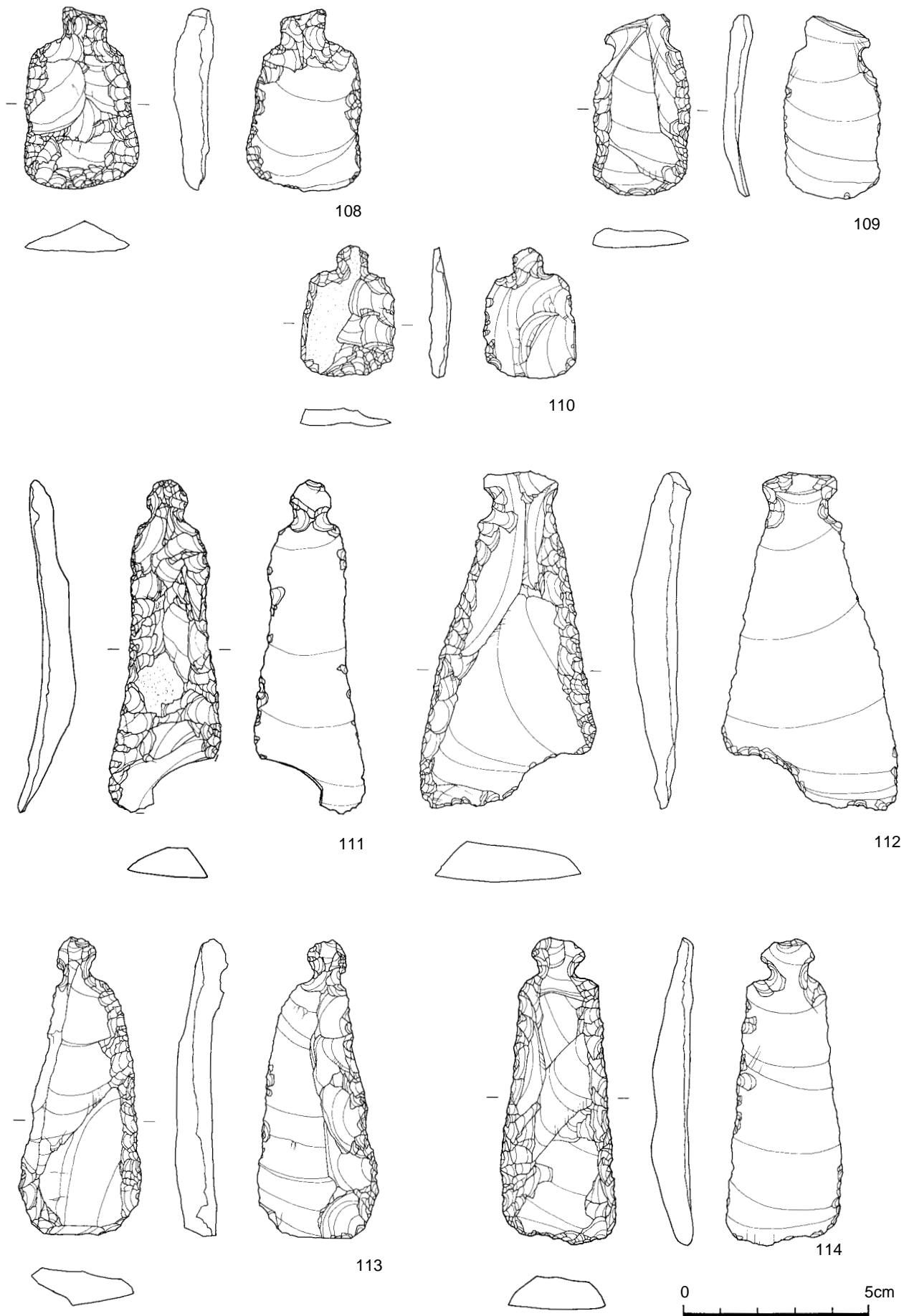
第296図 遺構外出土石器(7)



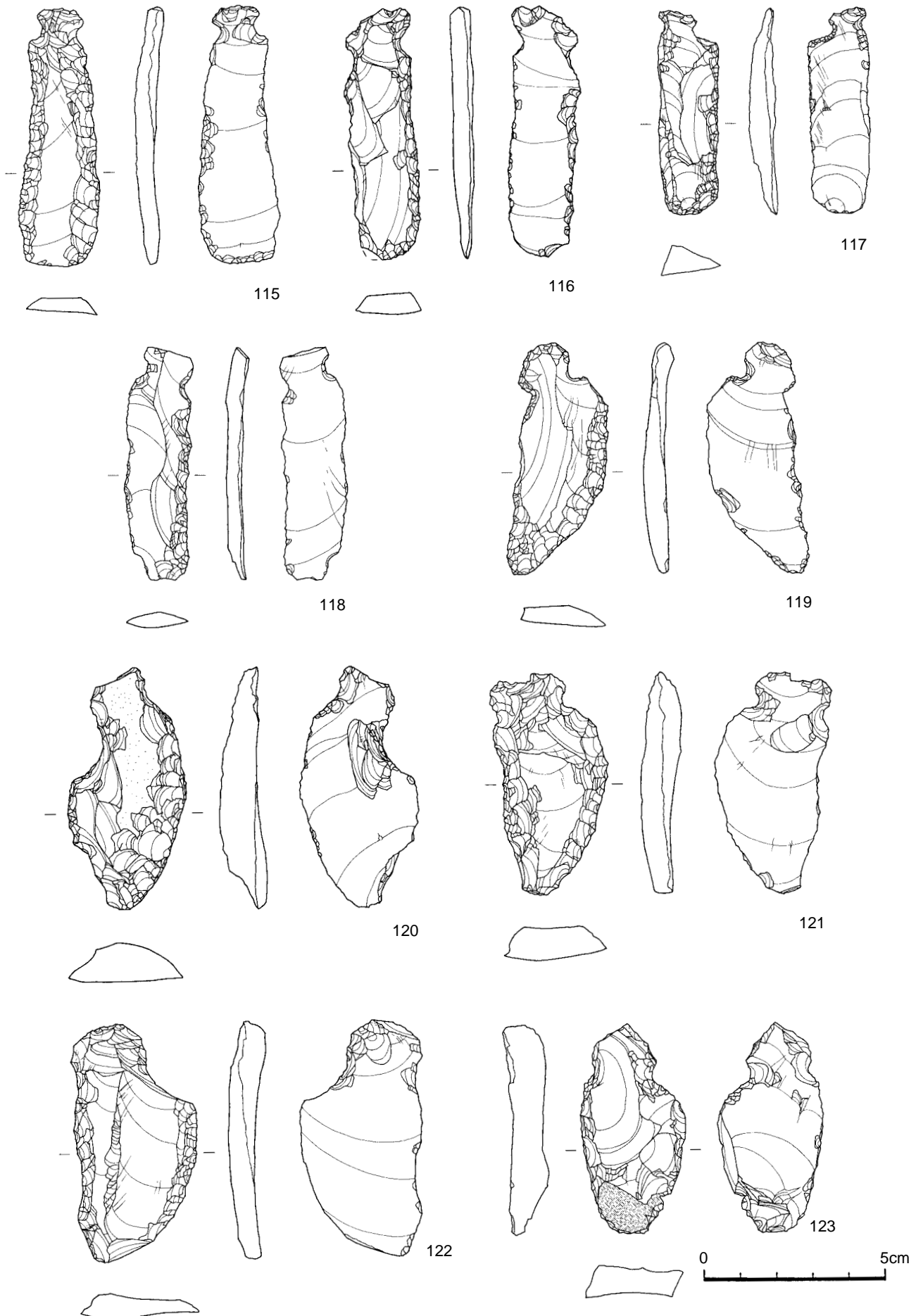
第297図 遺構外出土石器(8)



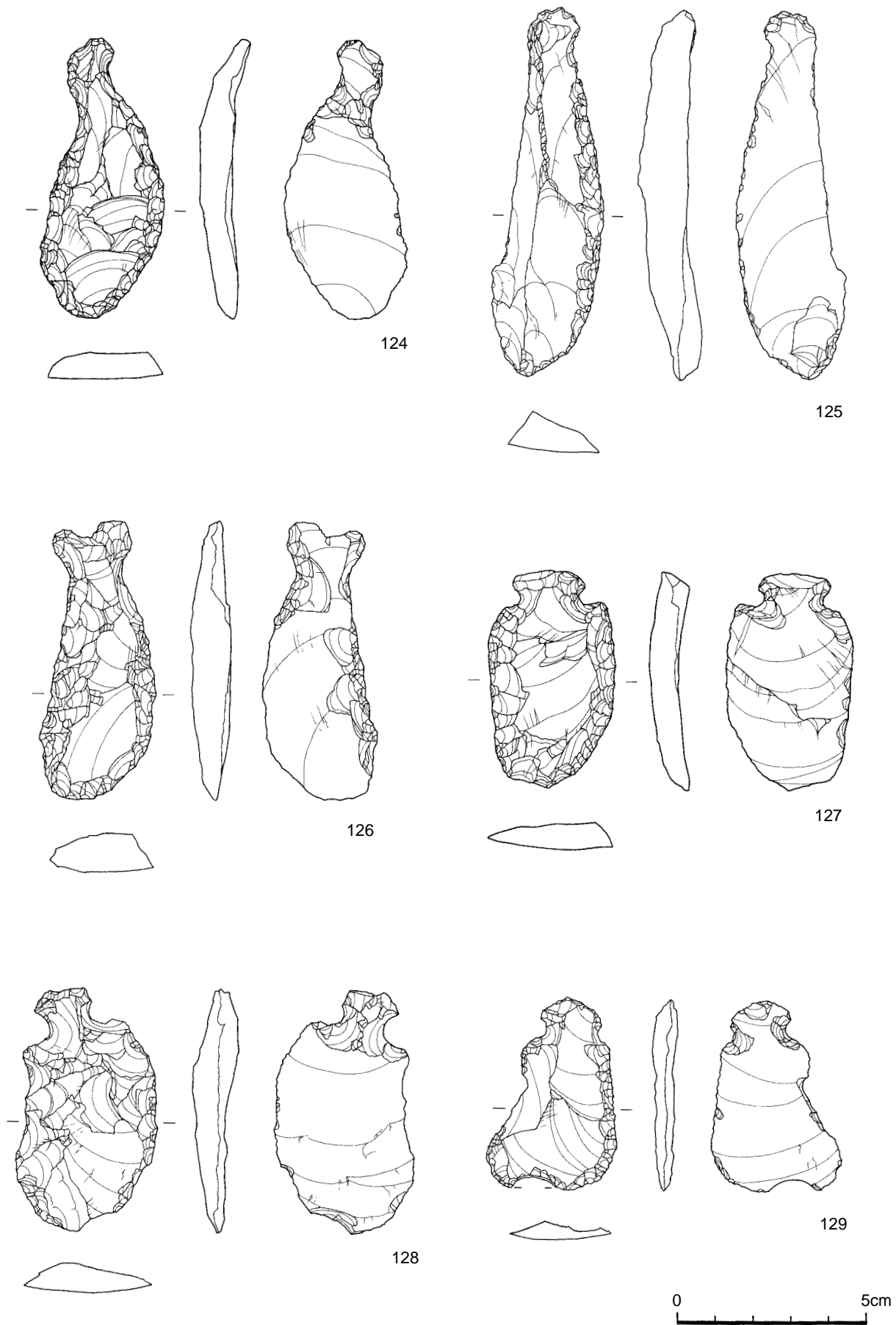
第298図 遺構外出土石器(9)



第299図 遺構外出土石器(10)

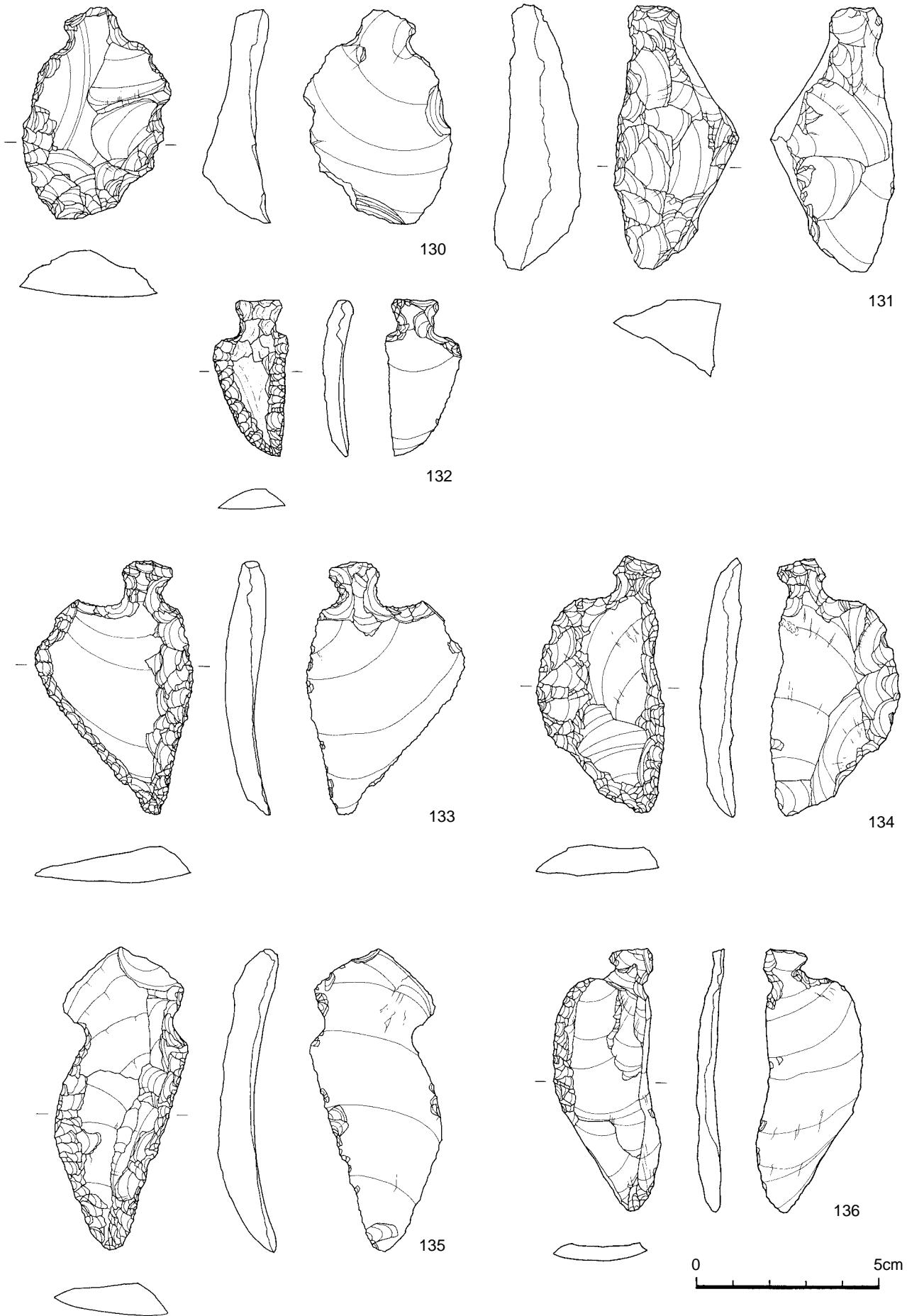


第300図 遺構外出土石器(11)

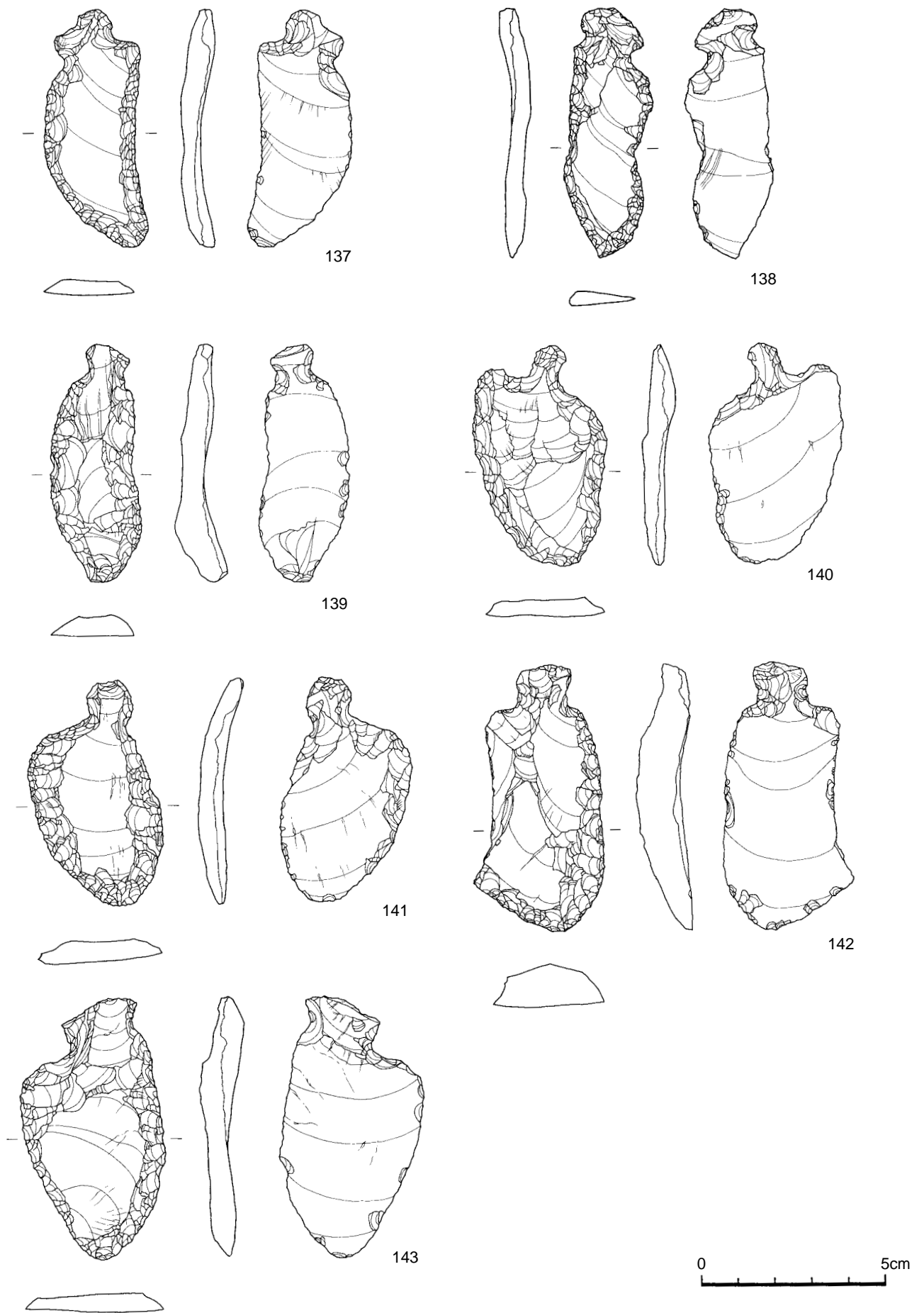


第301図 遺構外出土石器(12)

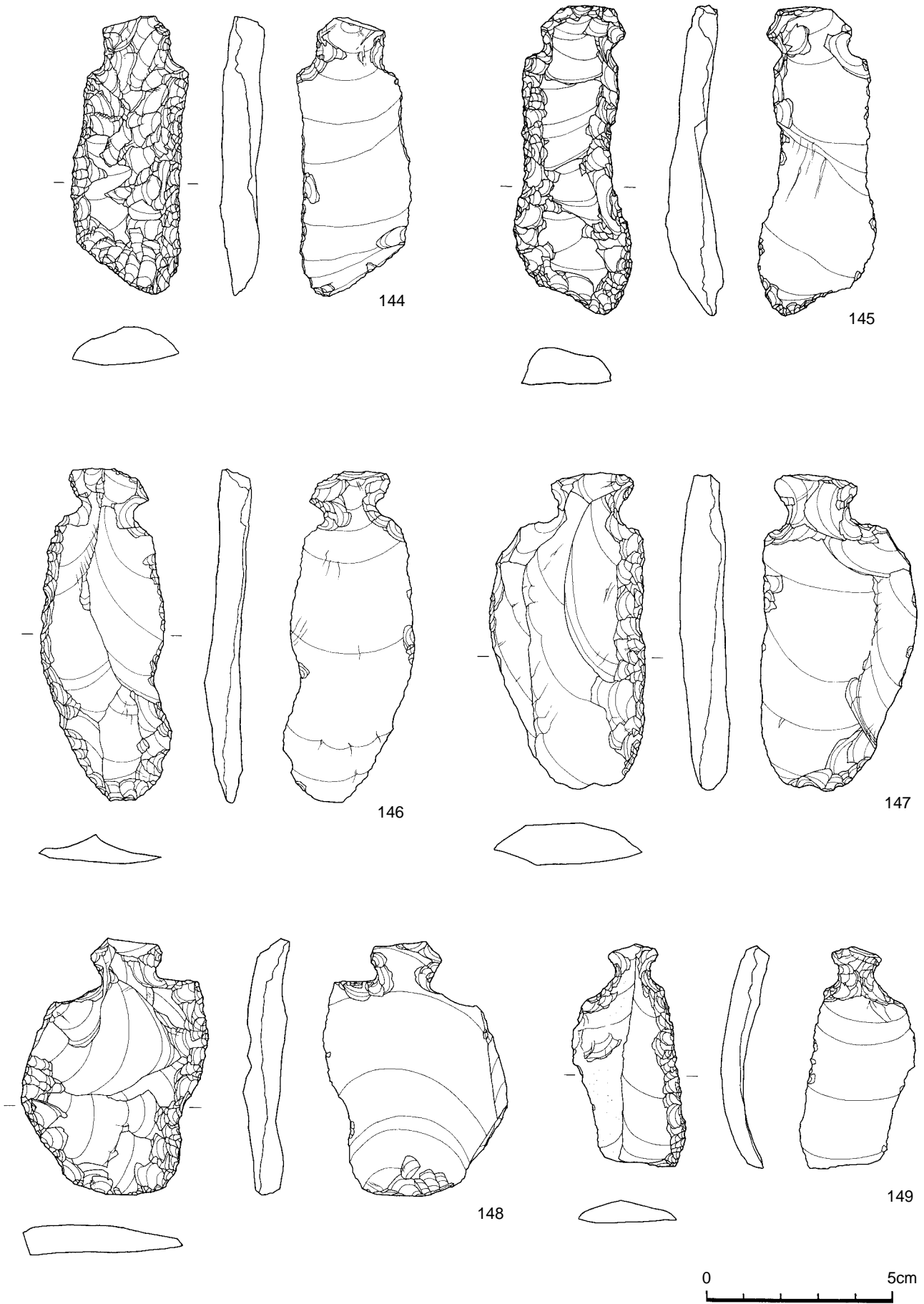




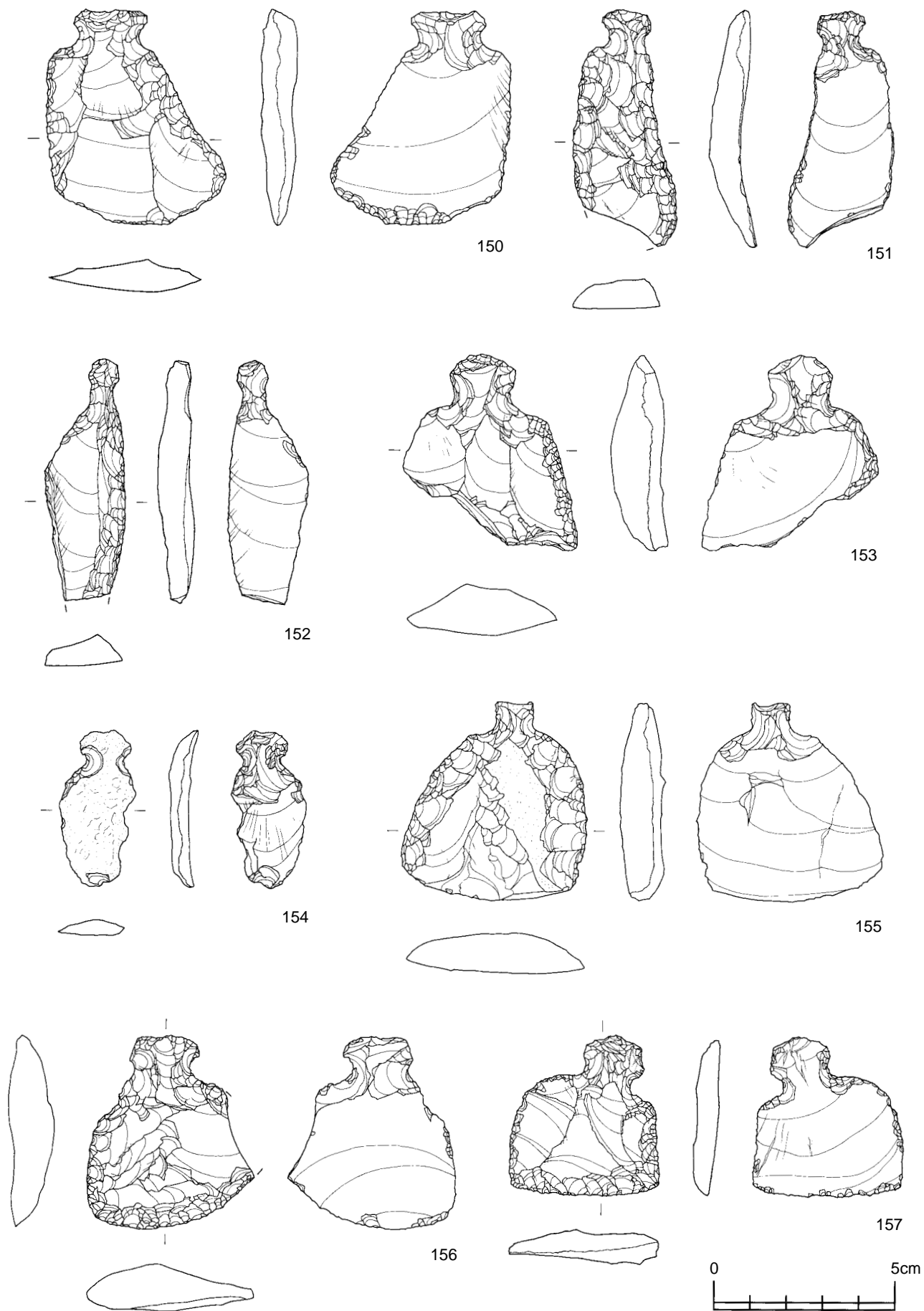
第302図 遺構外出土石器(13)



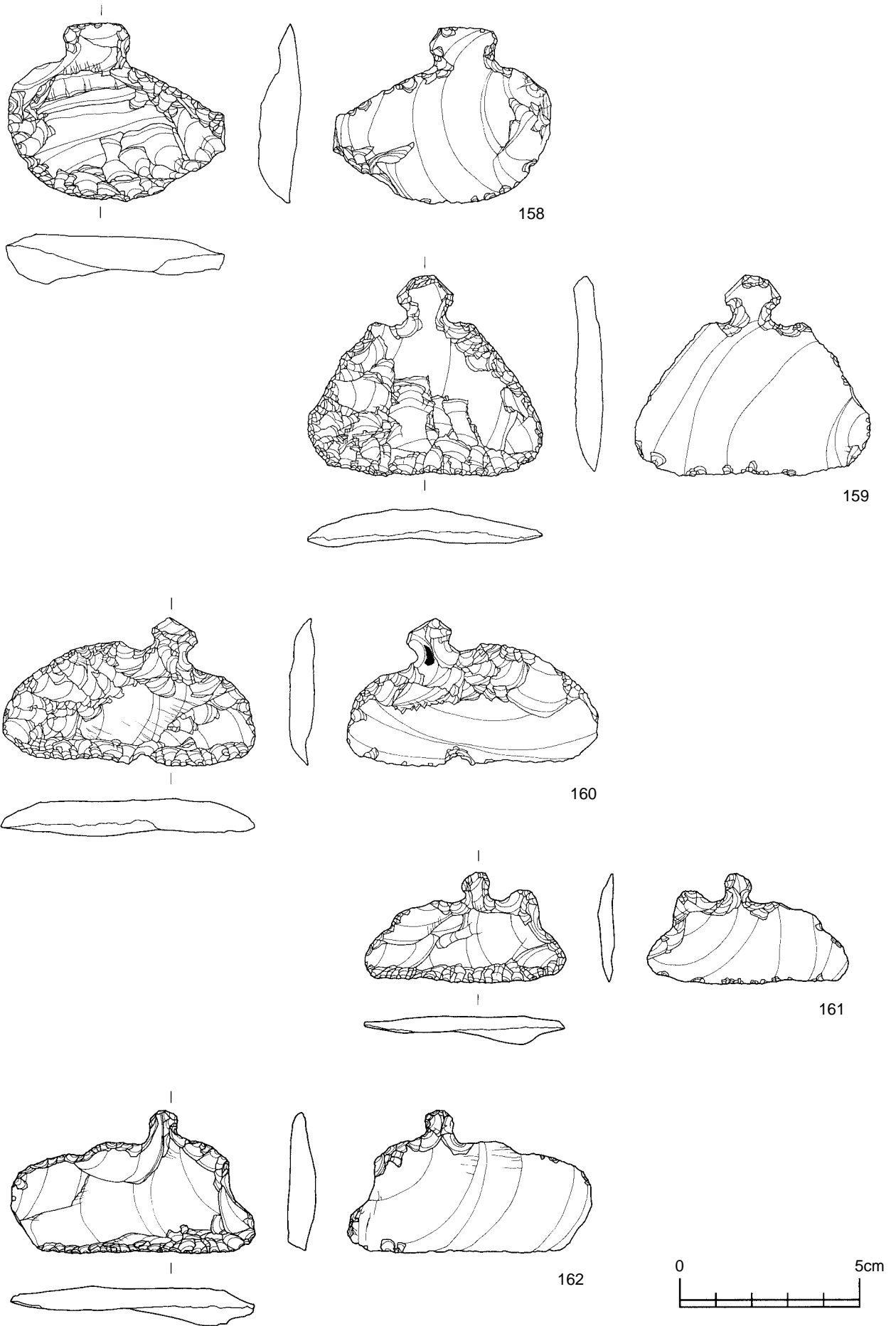
第303図 遺構外出土石器(14)



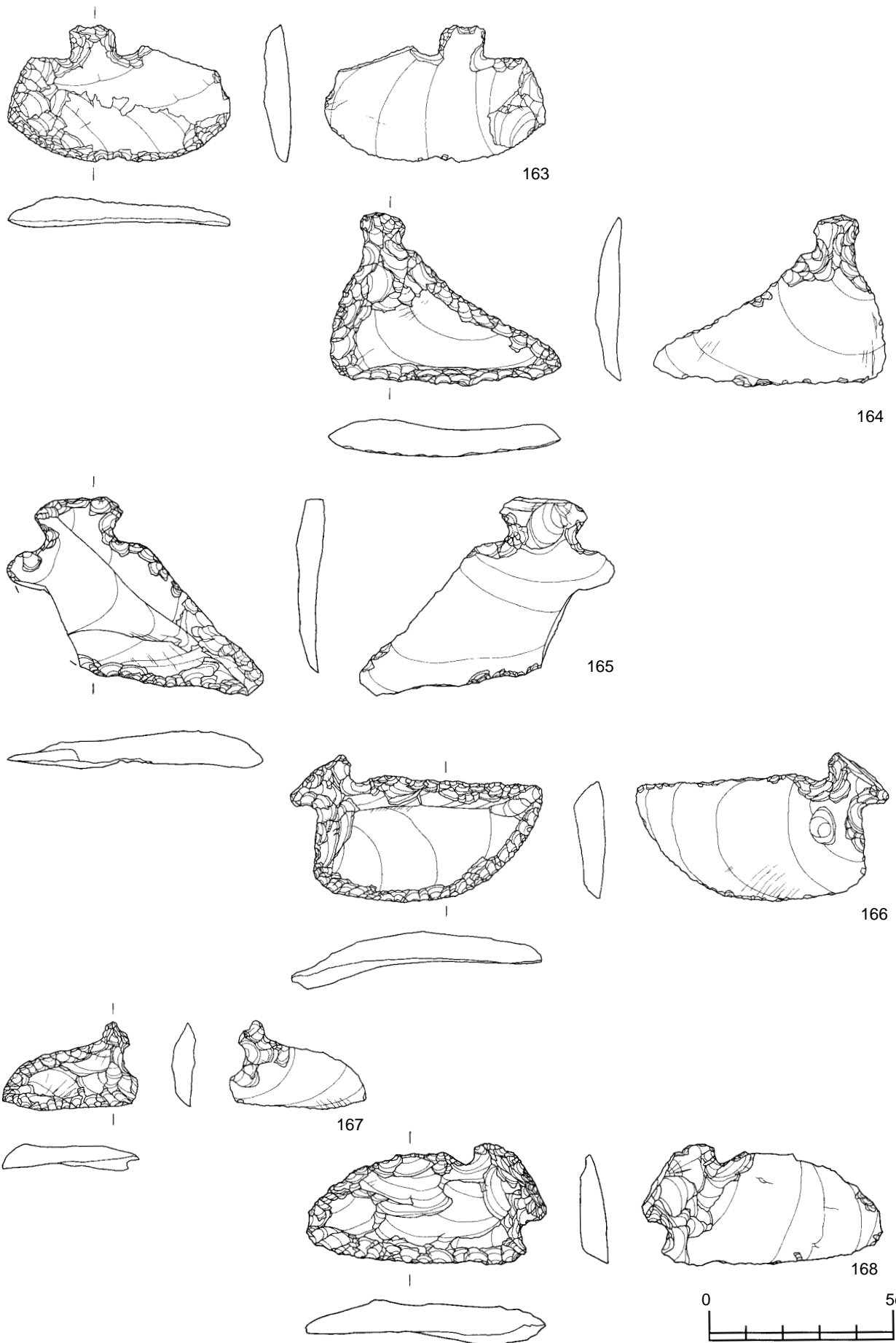
第304図 遺構外出土石器(15)



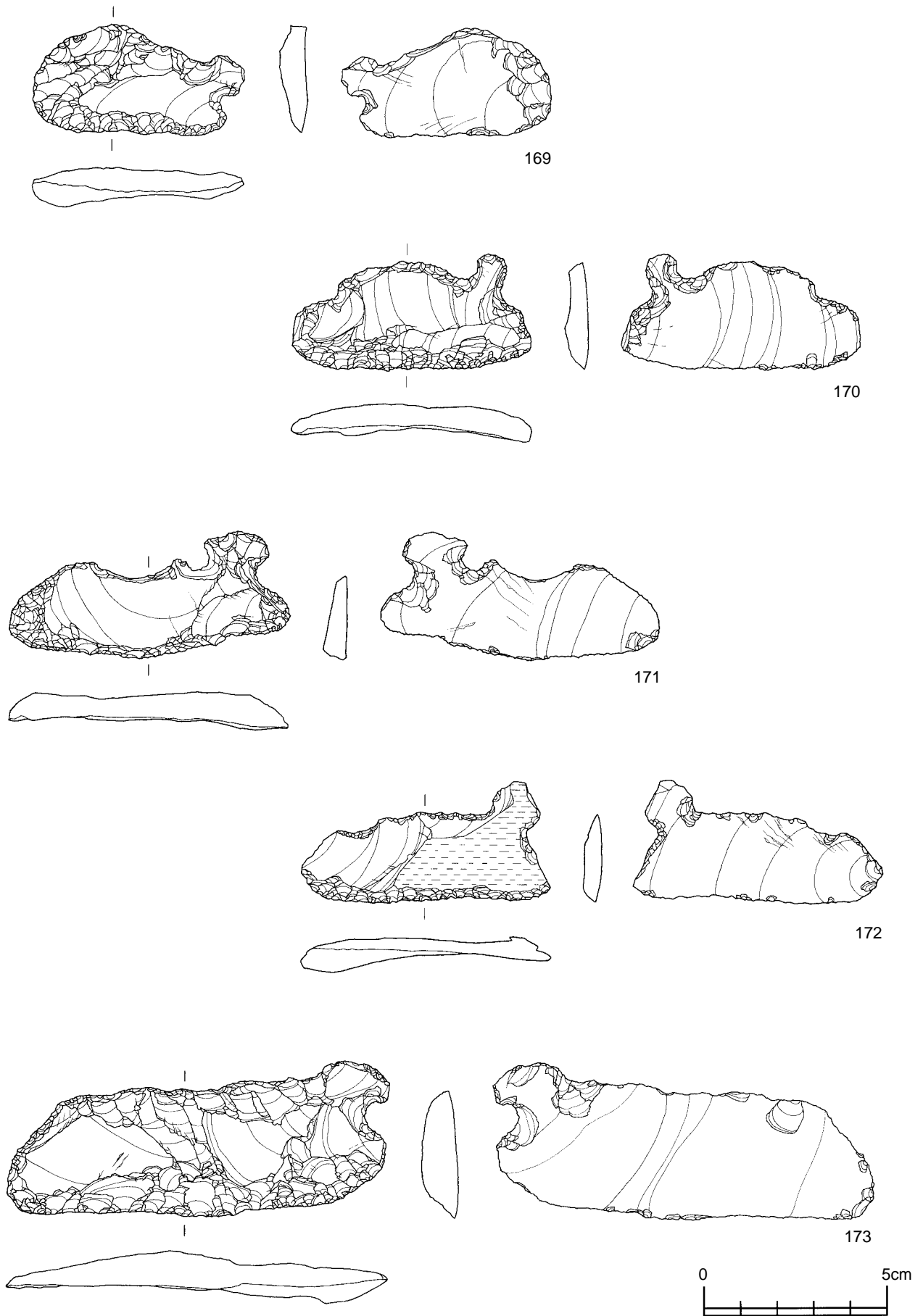
第305図 遺構外出土石器(16)



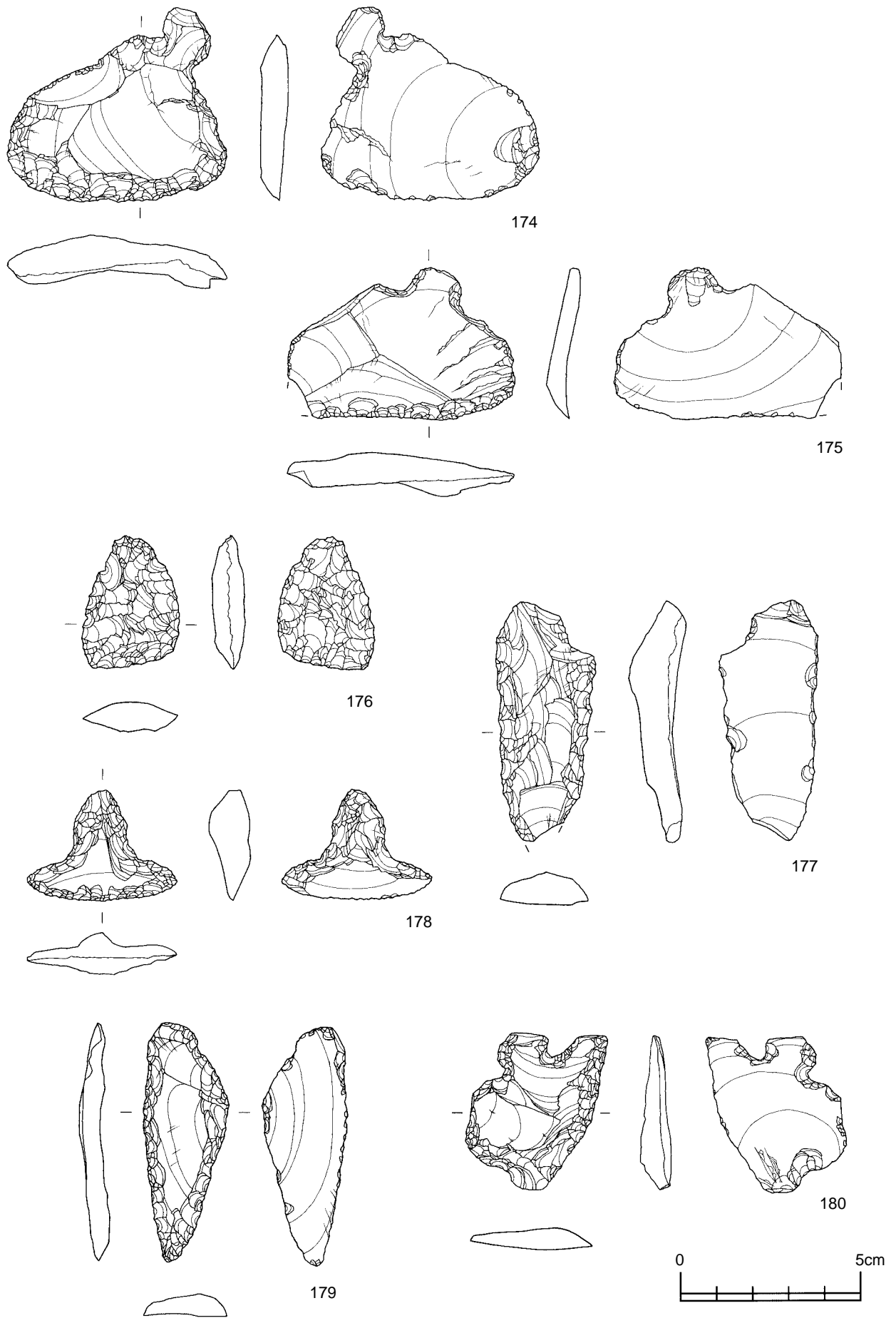
第306図 遺構外出土石器(17)



第307図 遺構外出土石器(18)

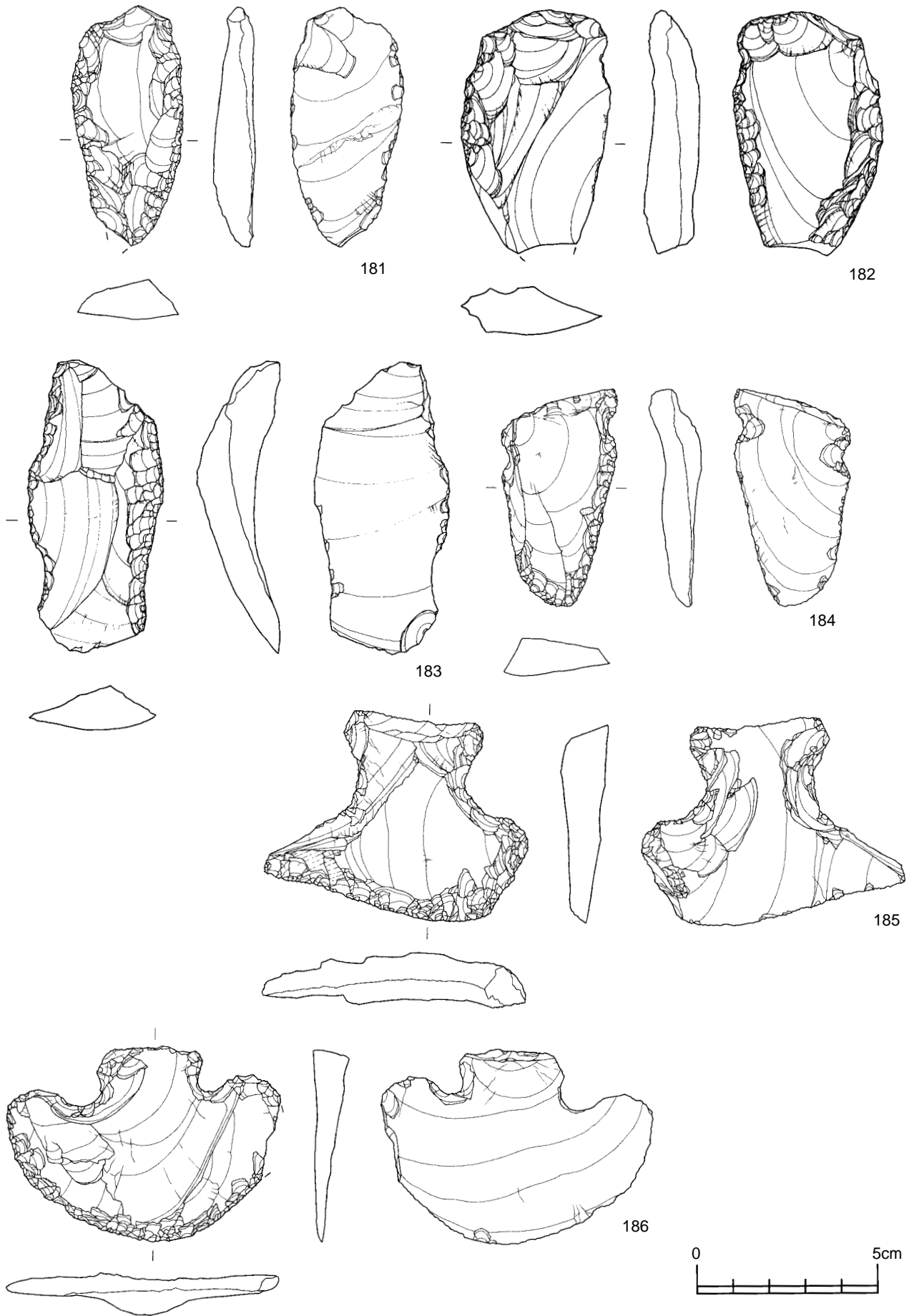


第308図 遺構外出土石器（19）

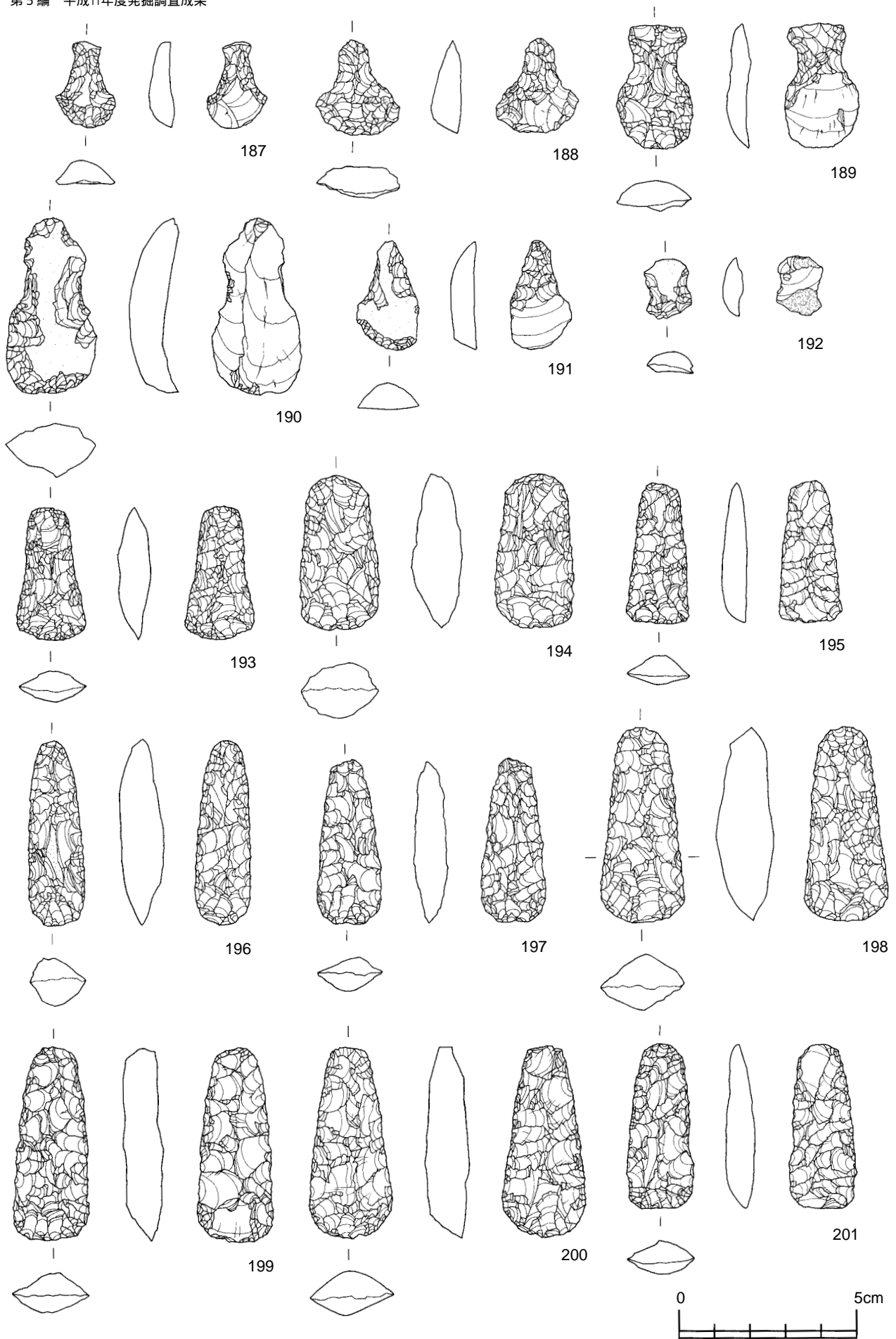


第309図 遺構外出土石器(20)

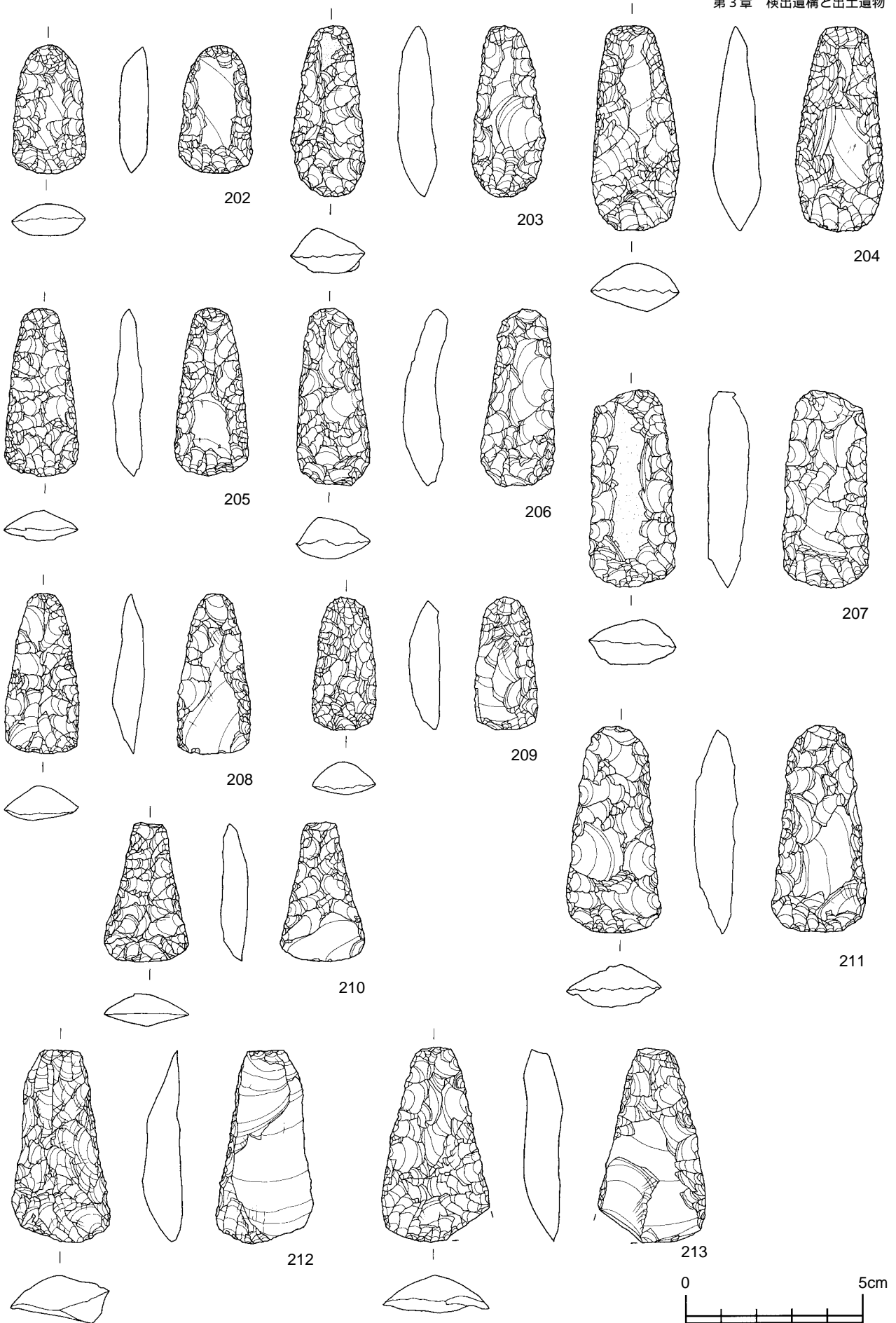




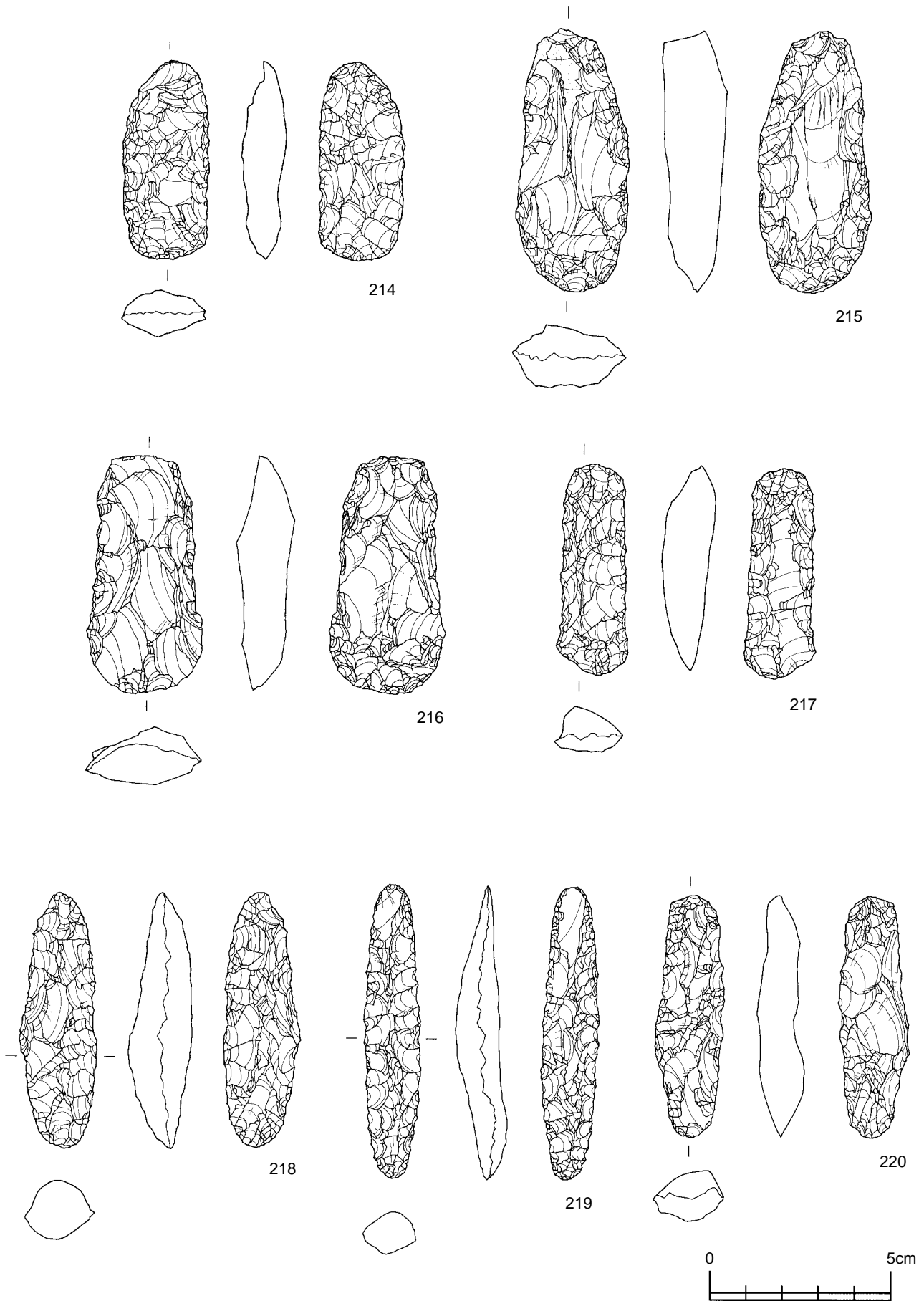
第310図 遺構外出土石器(21)



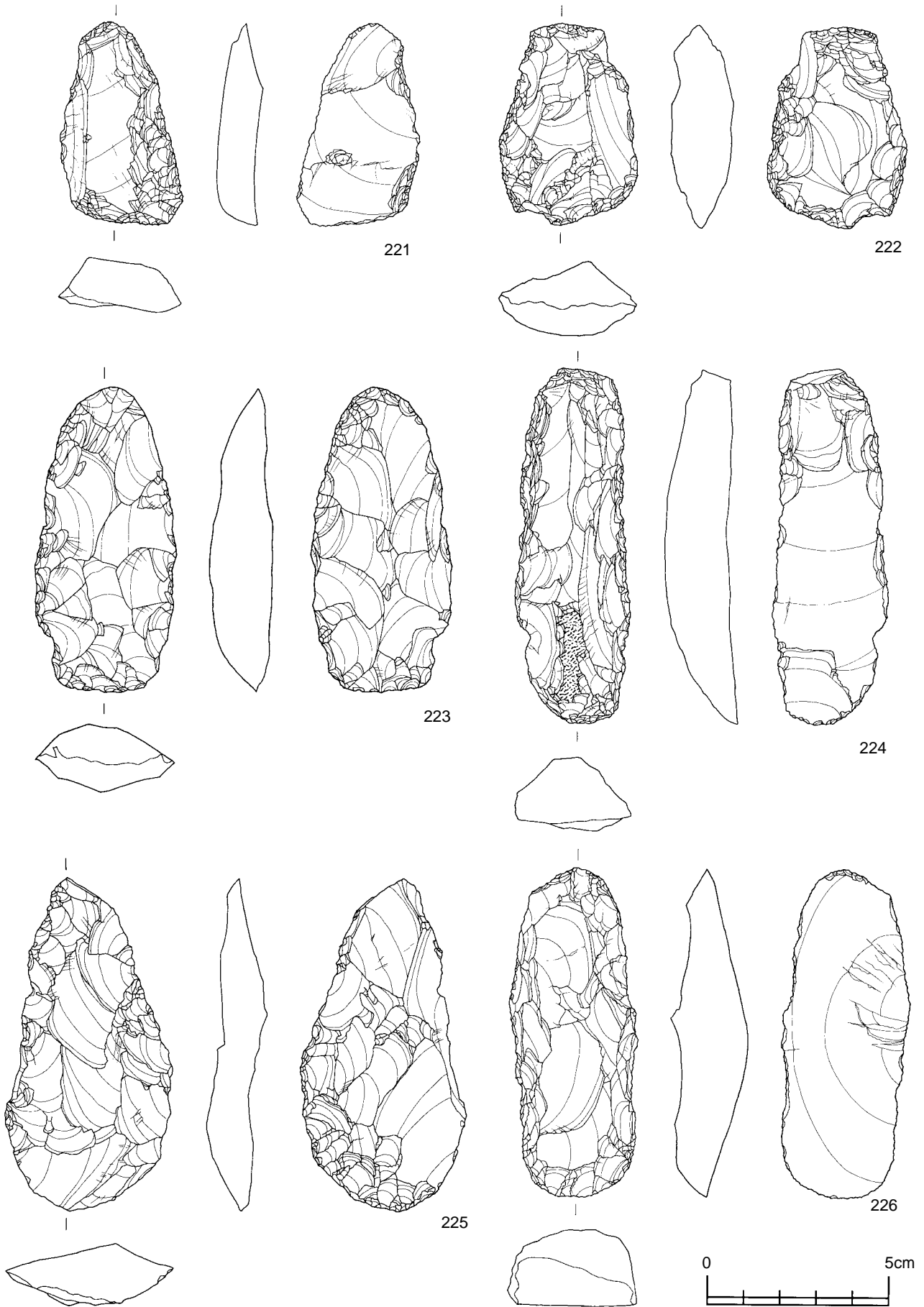
第311図 遺構外出土石器(22)



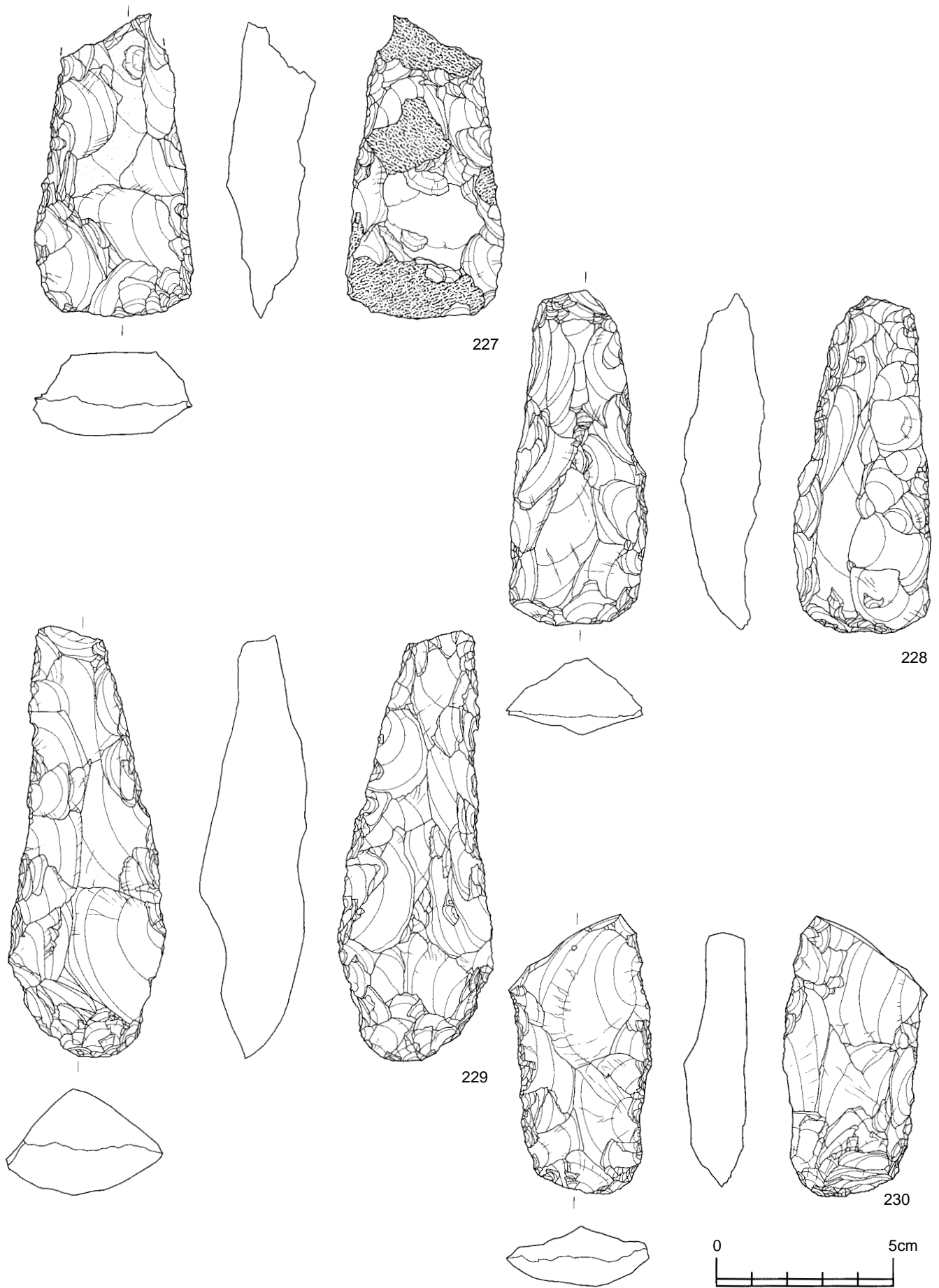
第312図 遺構外出土石器(23)



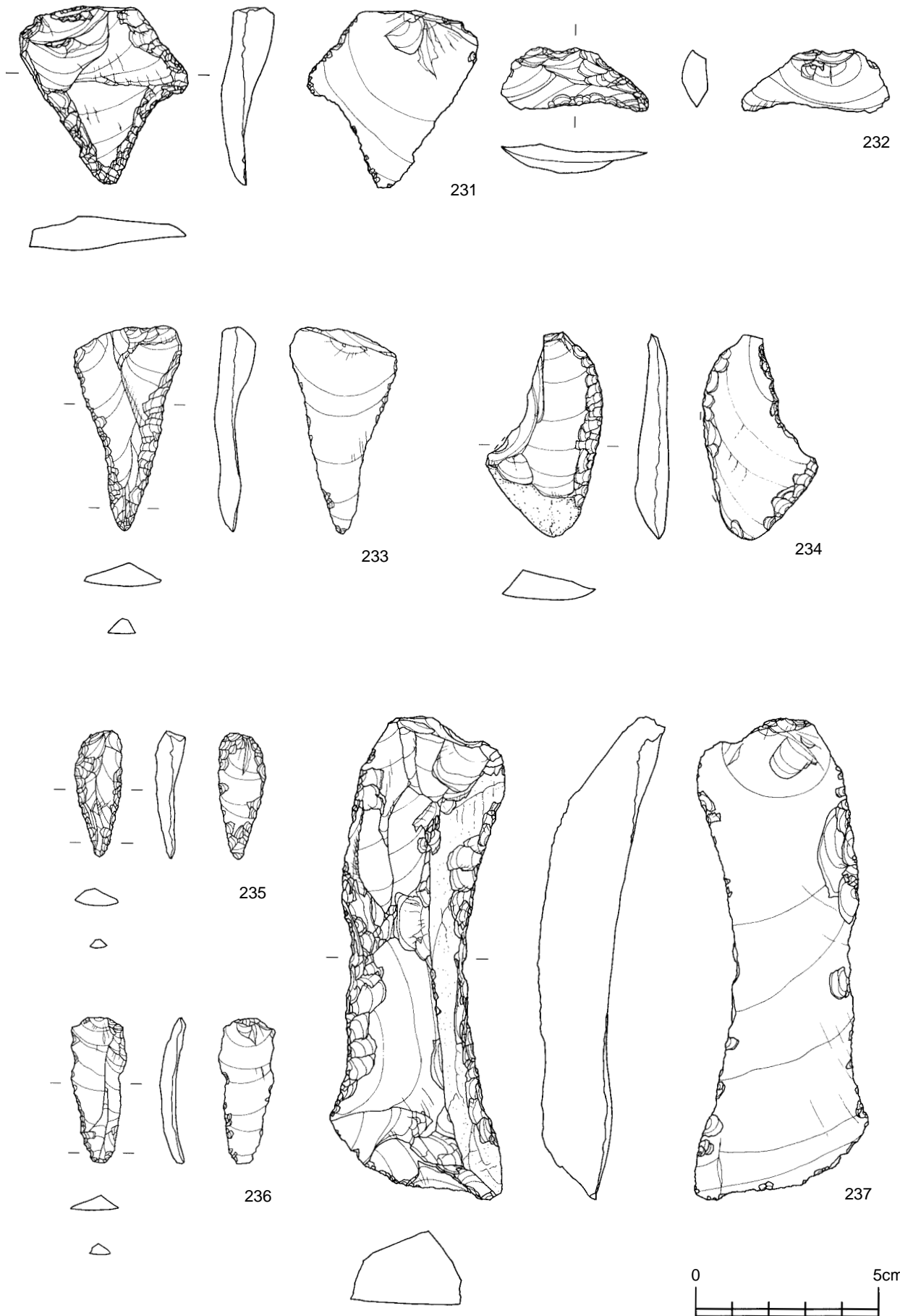
第313図 遺構外出土石器(24)



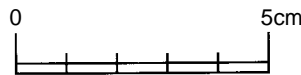
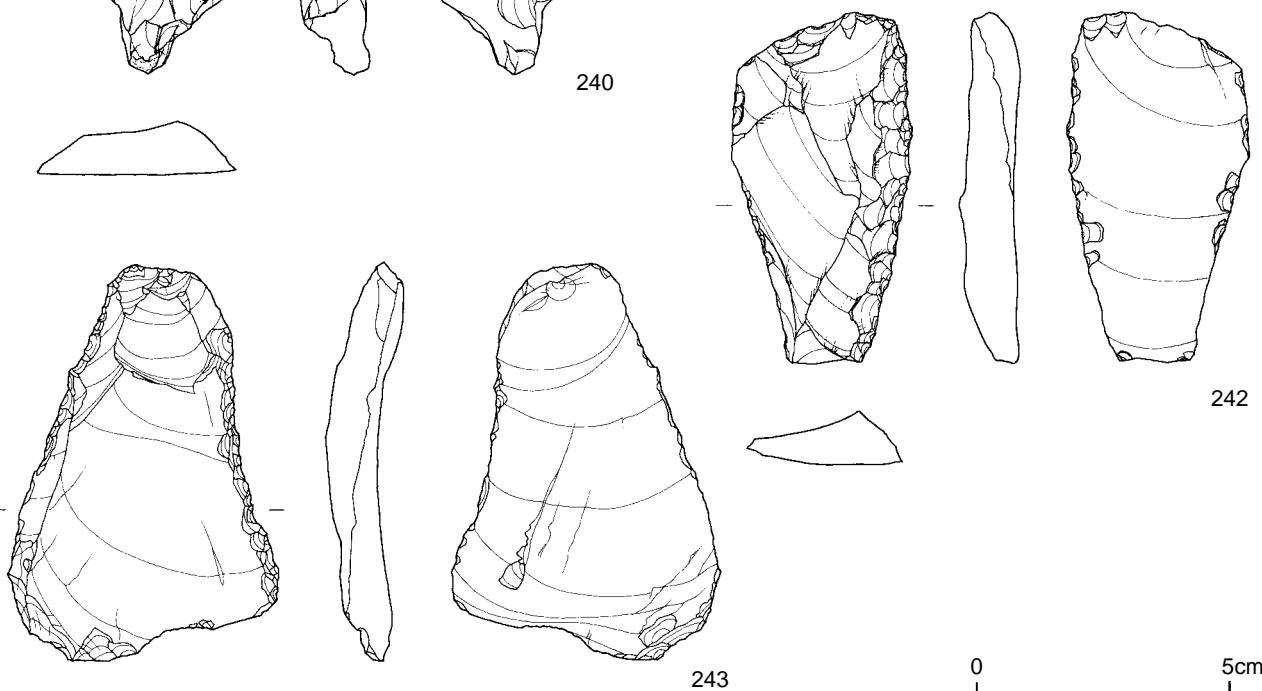
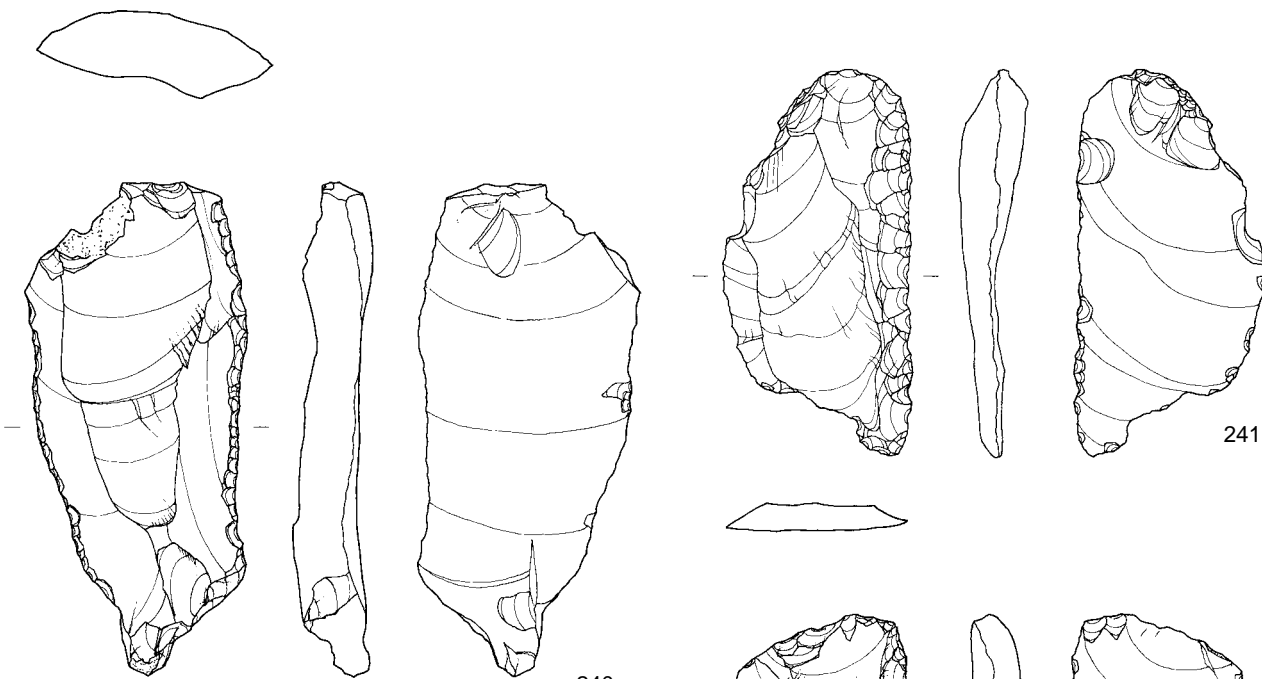
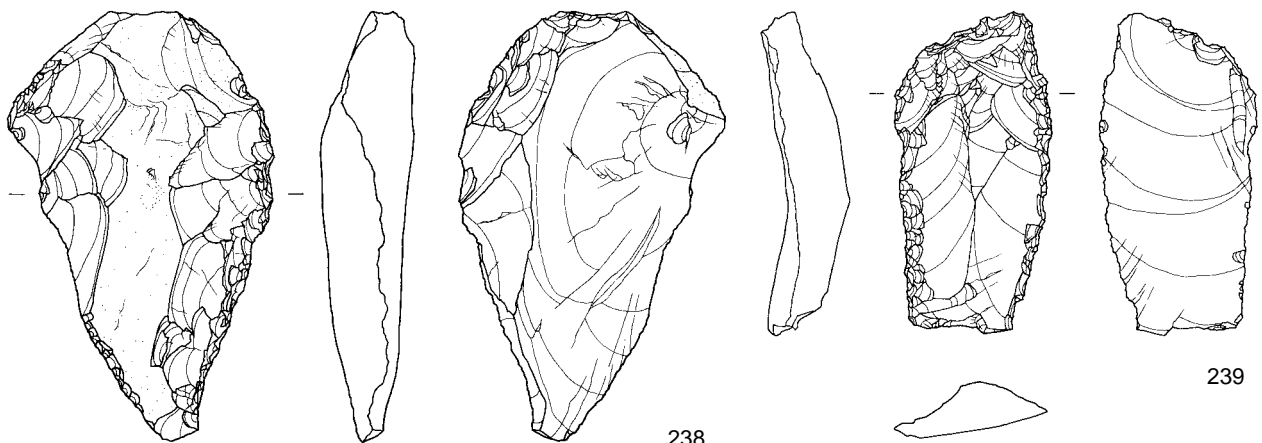
第314図 遺構外出土石器(25)



第315図 遺構外出土石器(26)

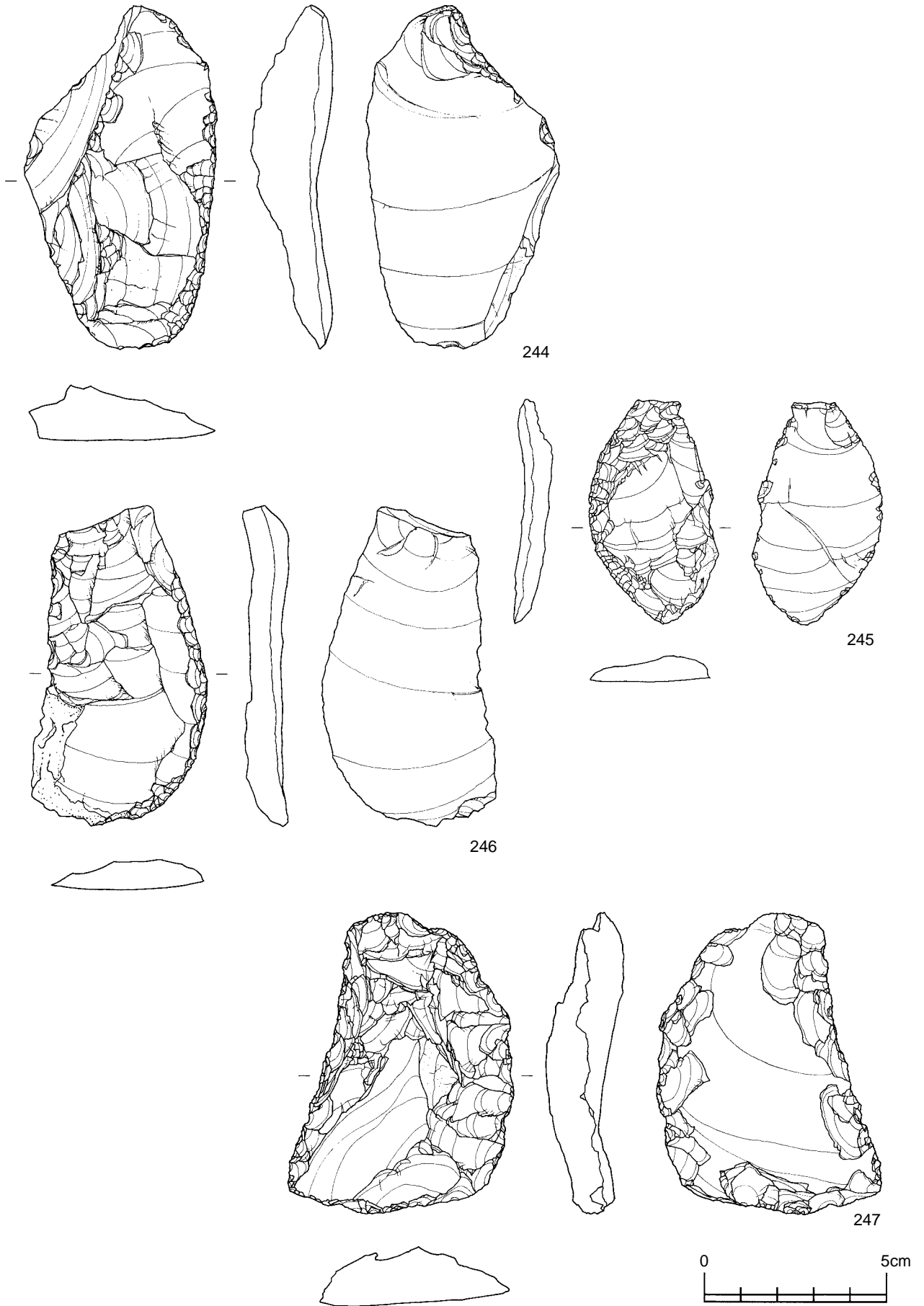


第316図 遺構外出土石器(27)

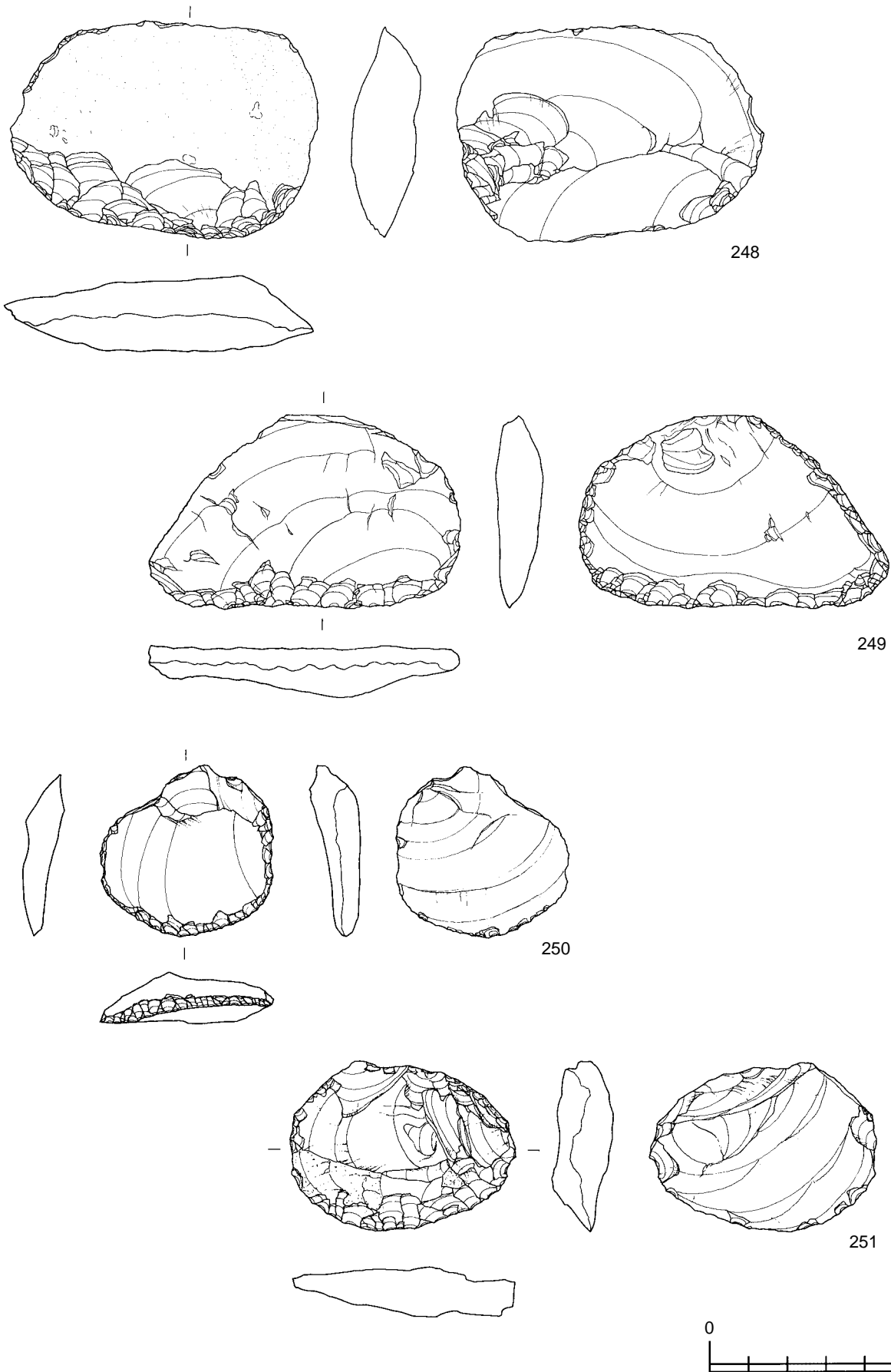


第317図 遺構外出土石器(28)

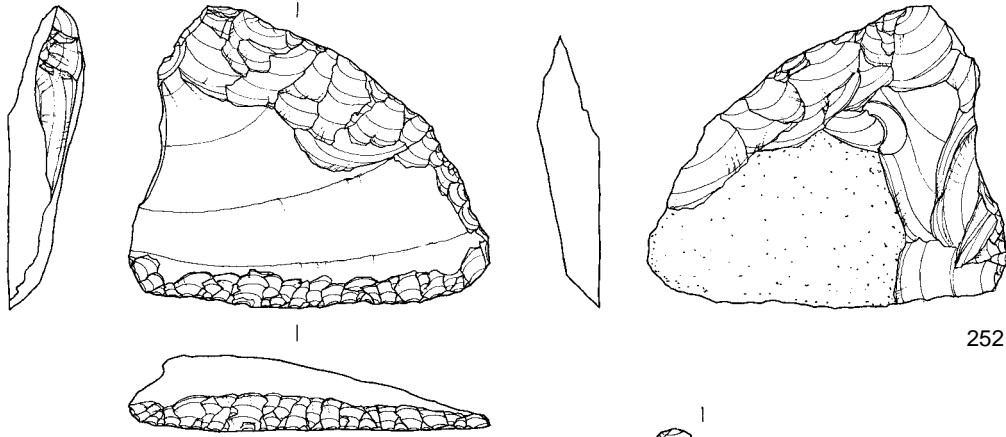




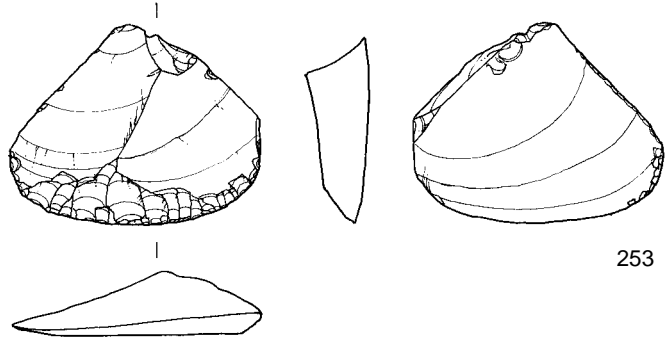
第318図 遺構外出土石器(29)



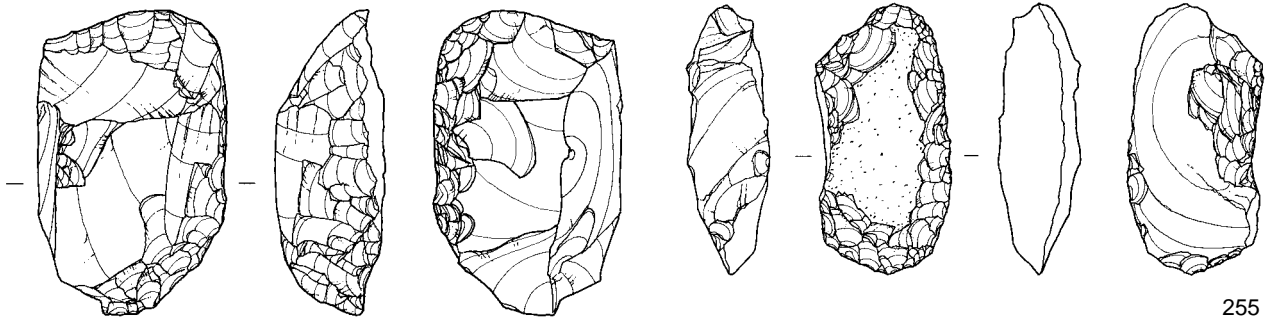
第319図 遺構外出土石器(30)



252

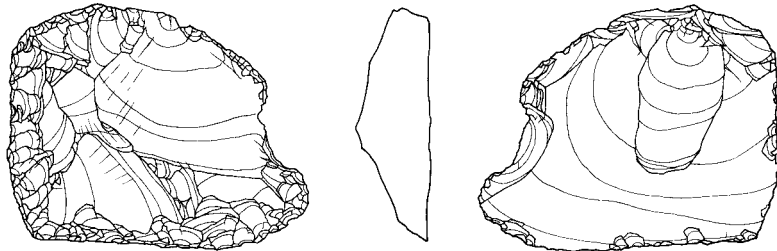
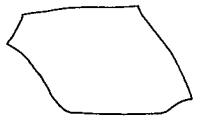
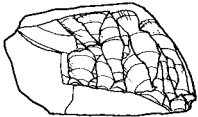


253



254

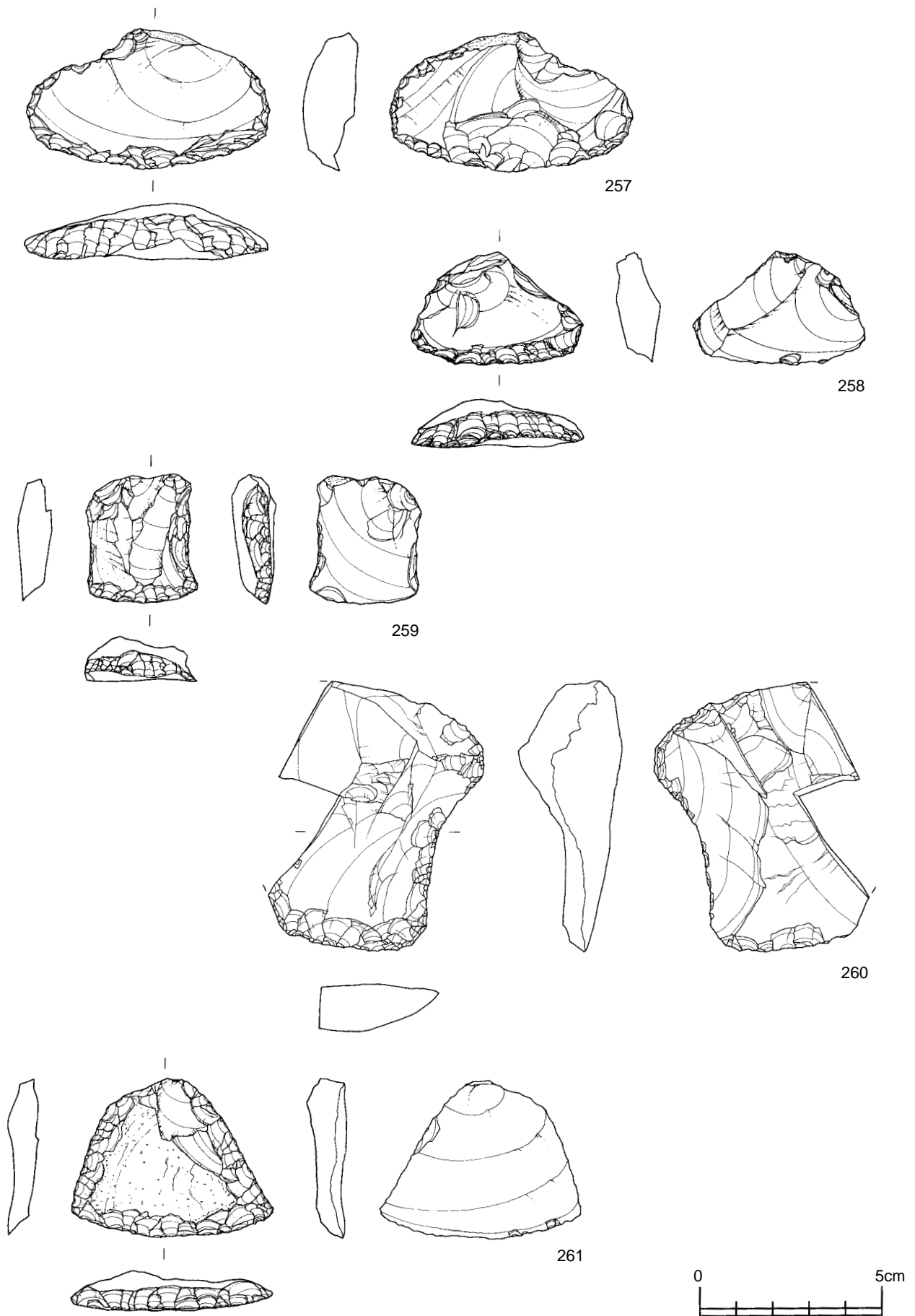
255



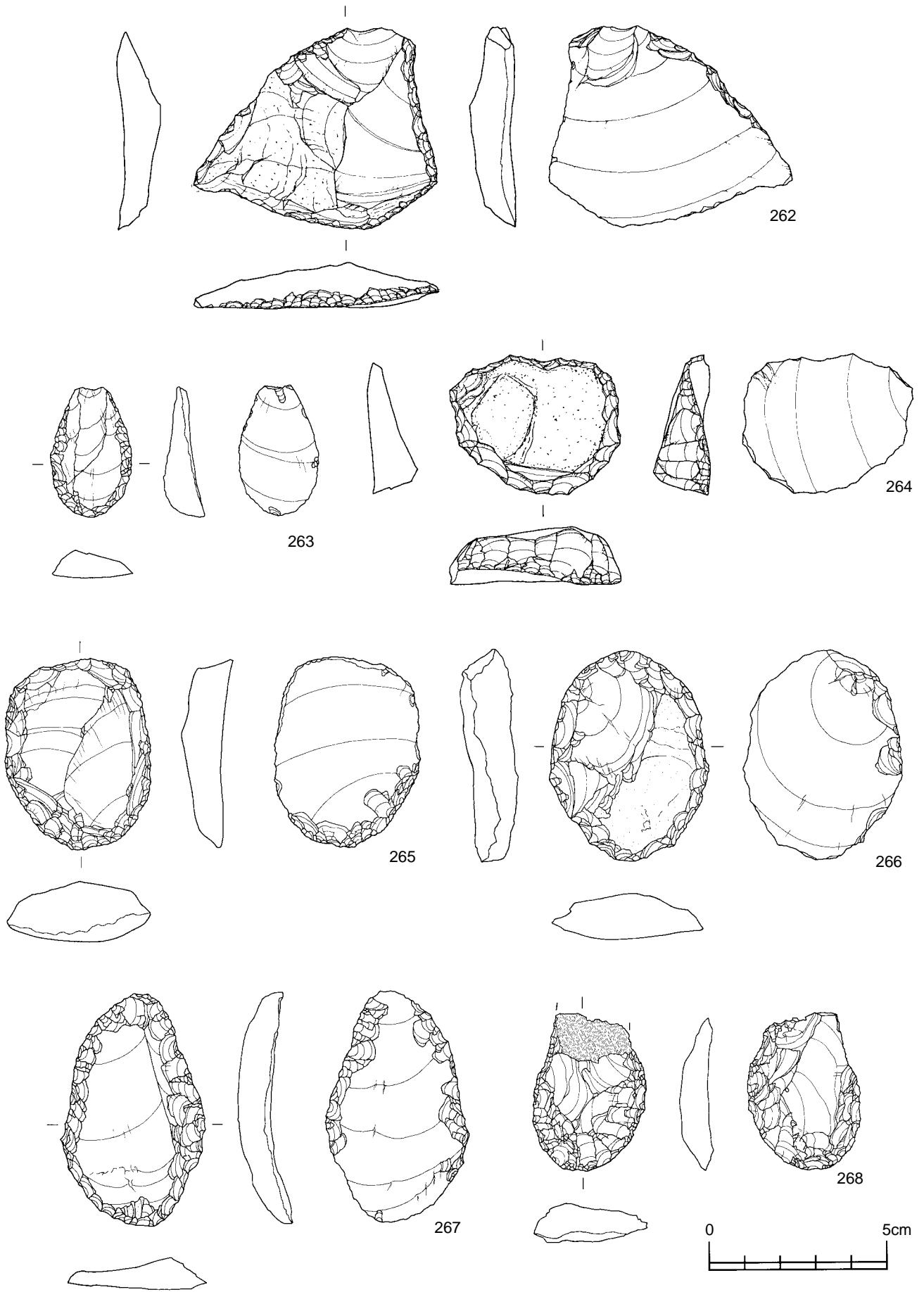
256



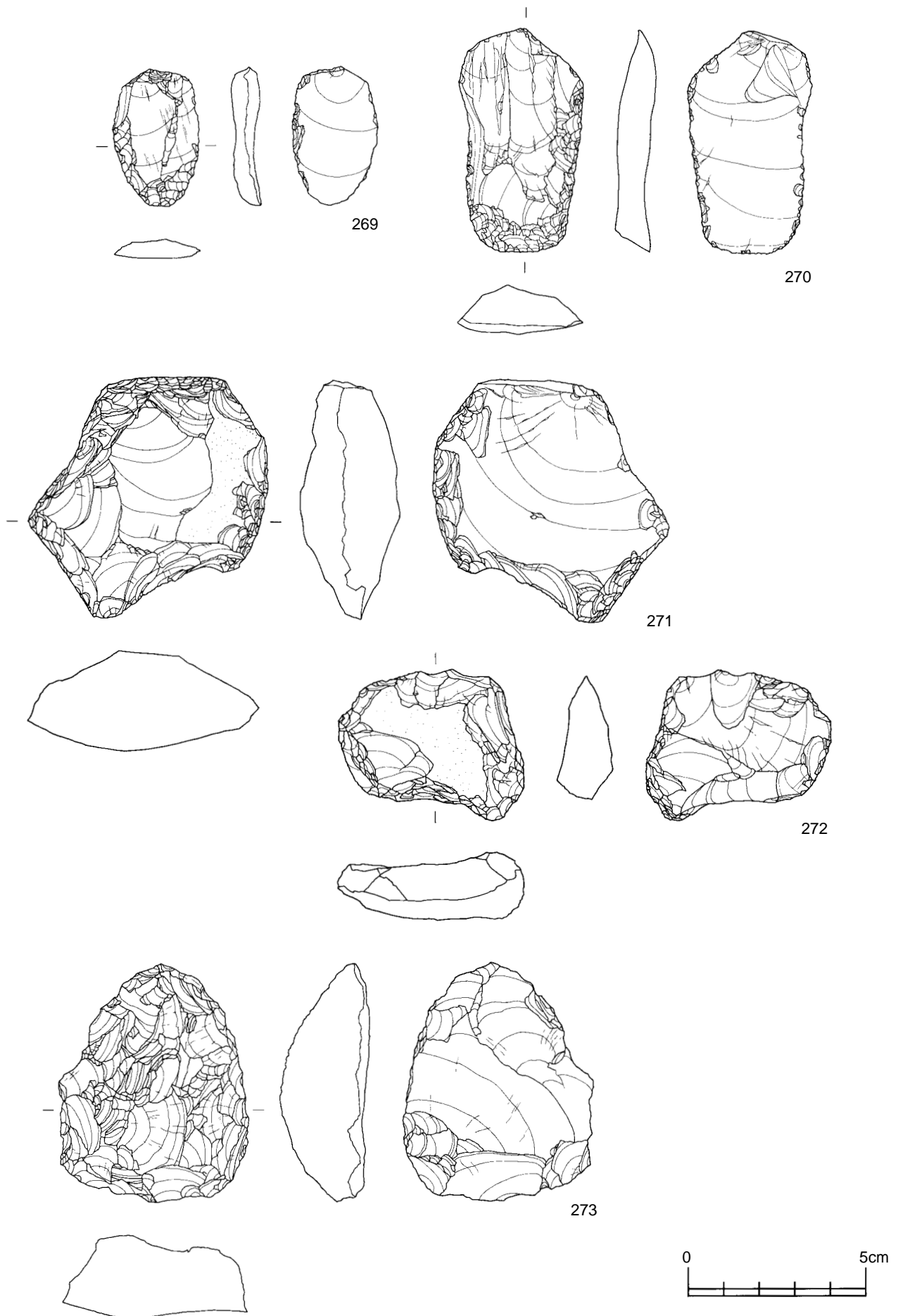
第320図 遺構外出土石器(31)



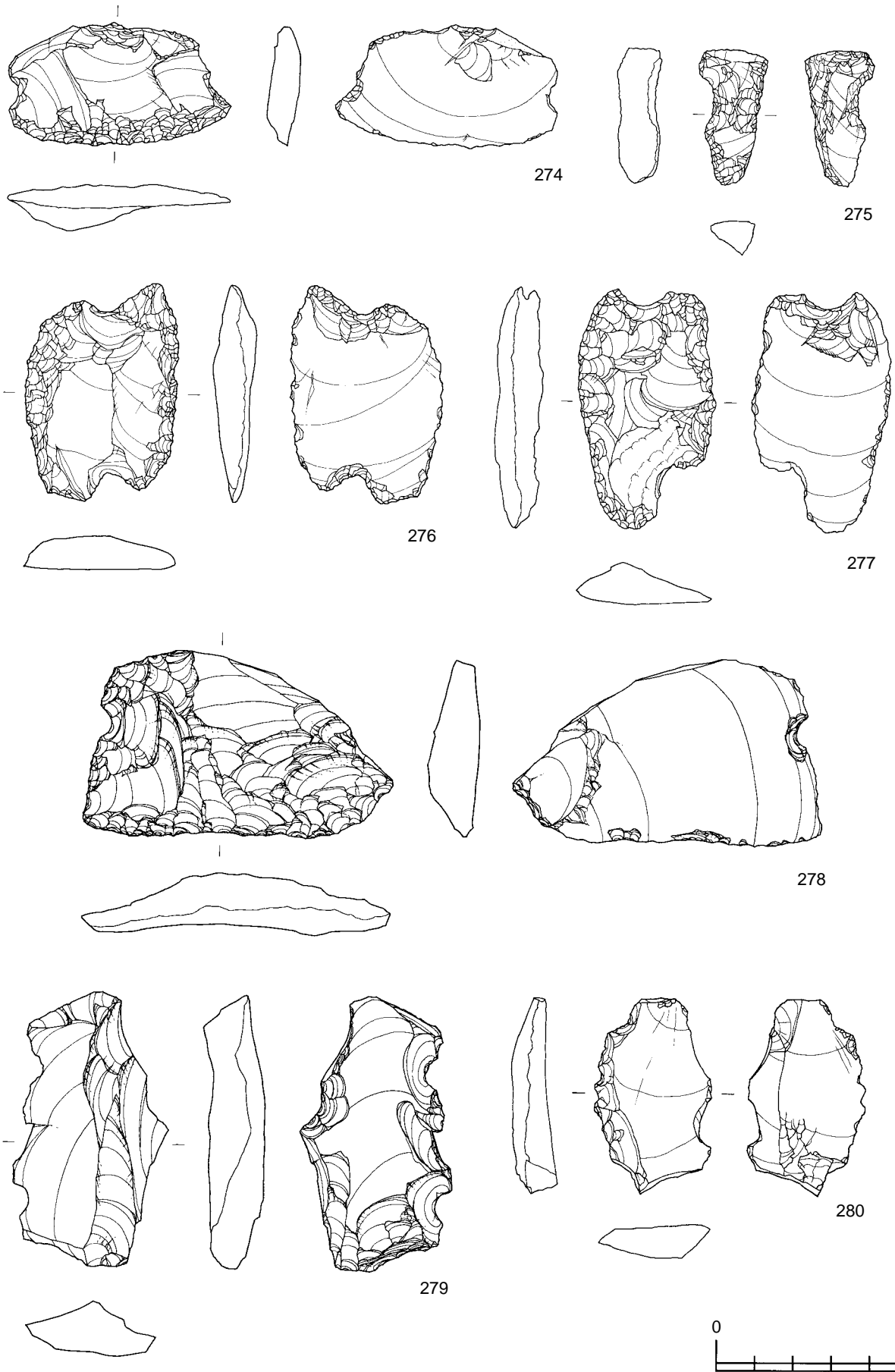
第321図 遺構外出土石器(32)



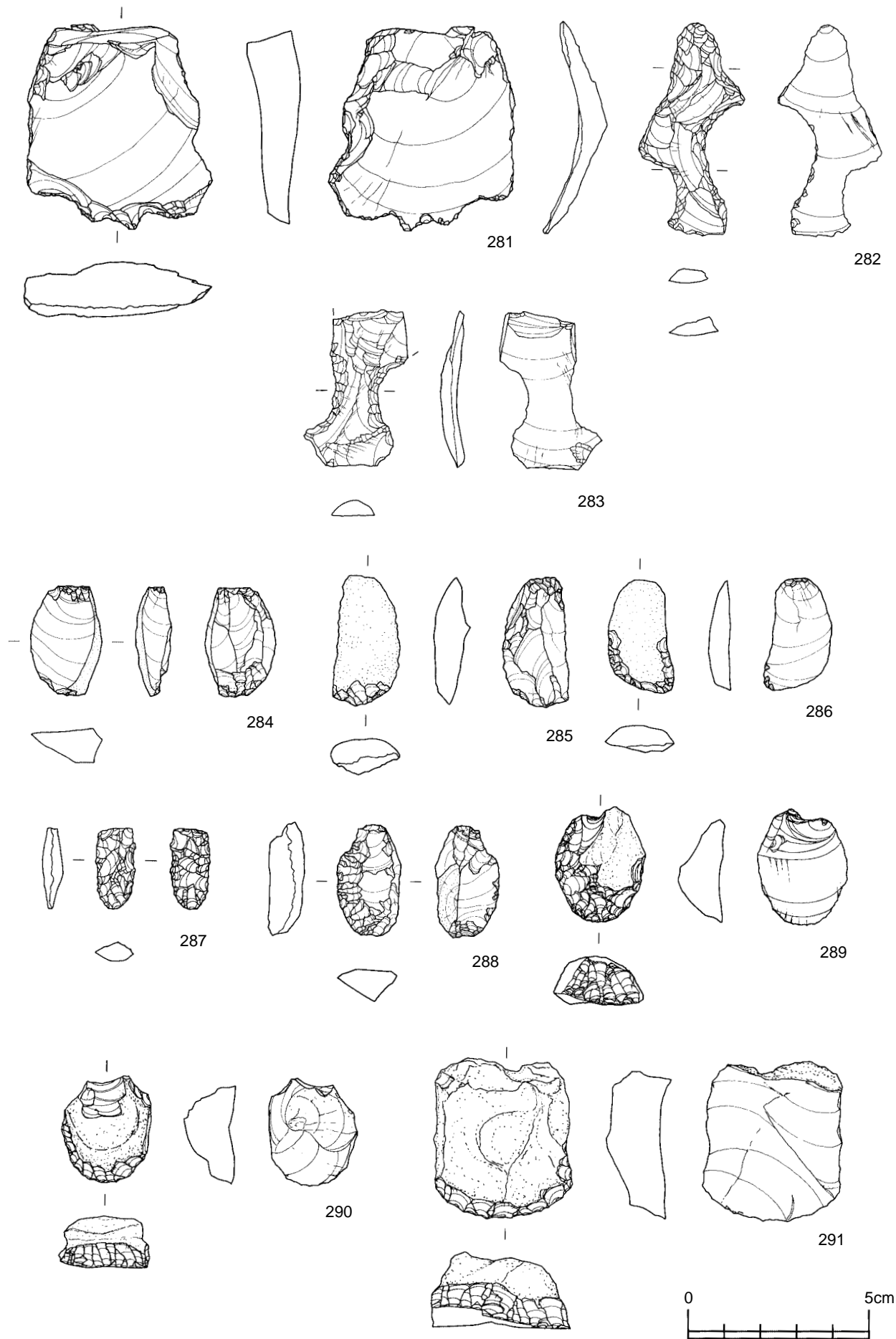
第322図 遺構外出土石器(33)



第323図 遺構外出土石器(34)

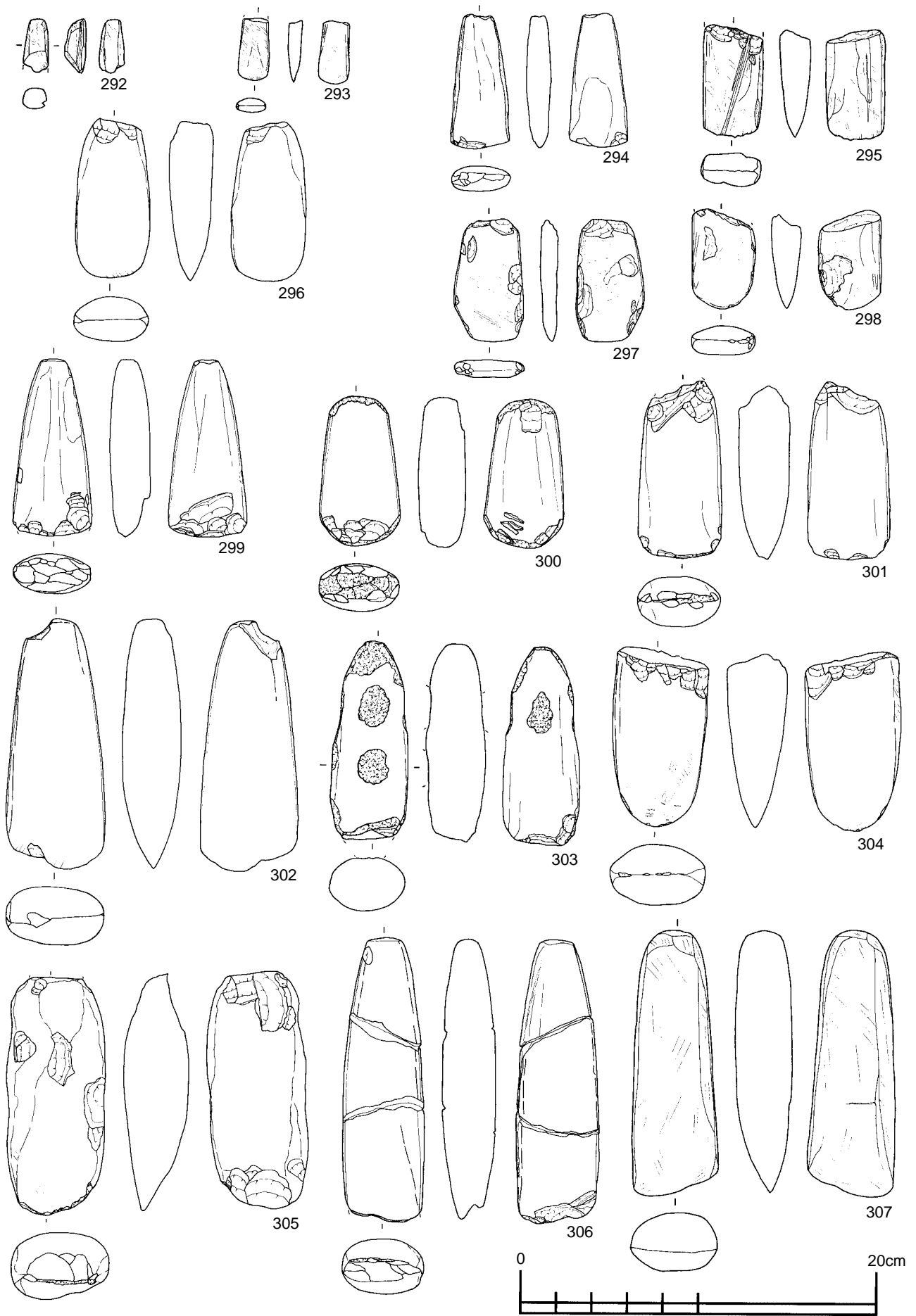


第324図 遺構外出土石器(35)

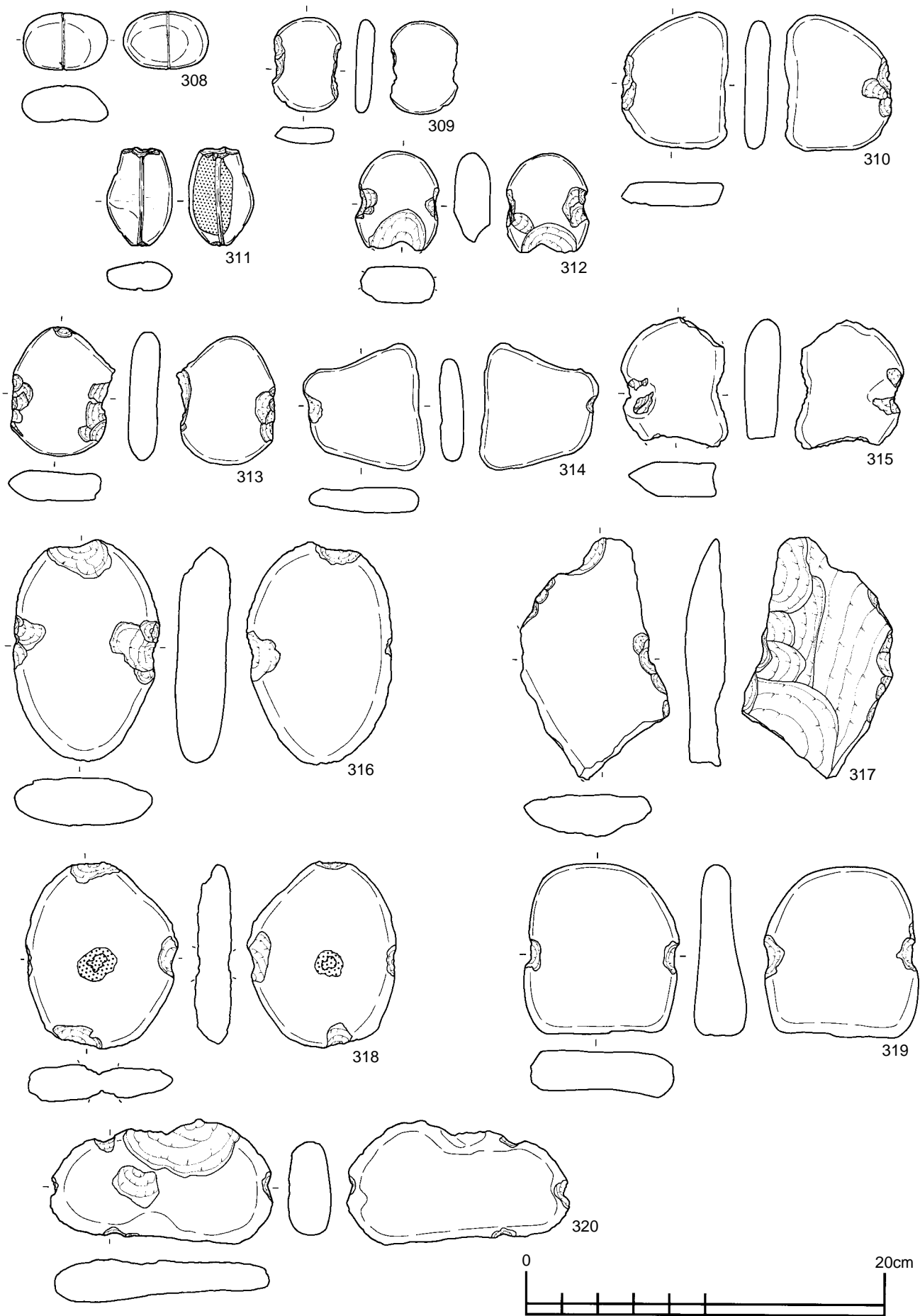


第325図 遺構外出土石器(36)

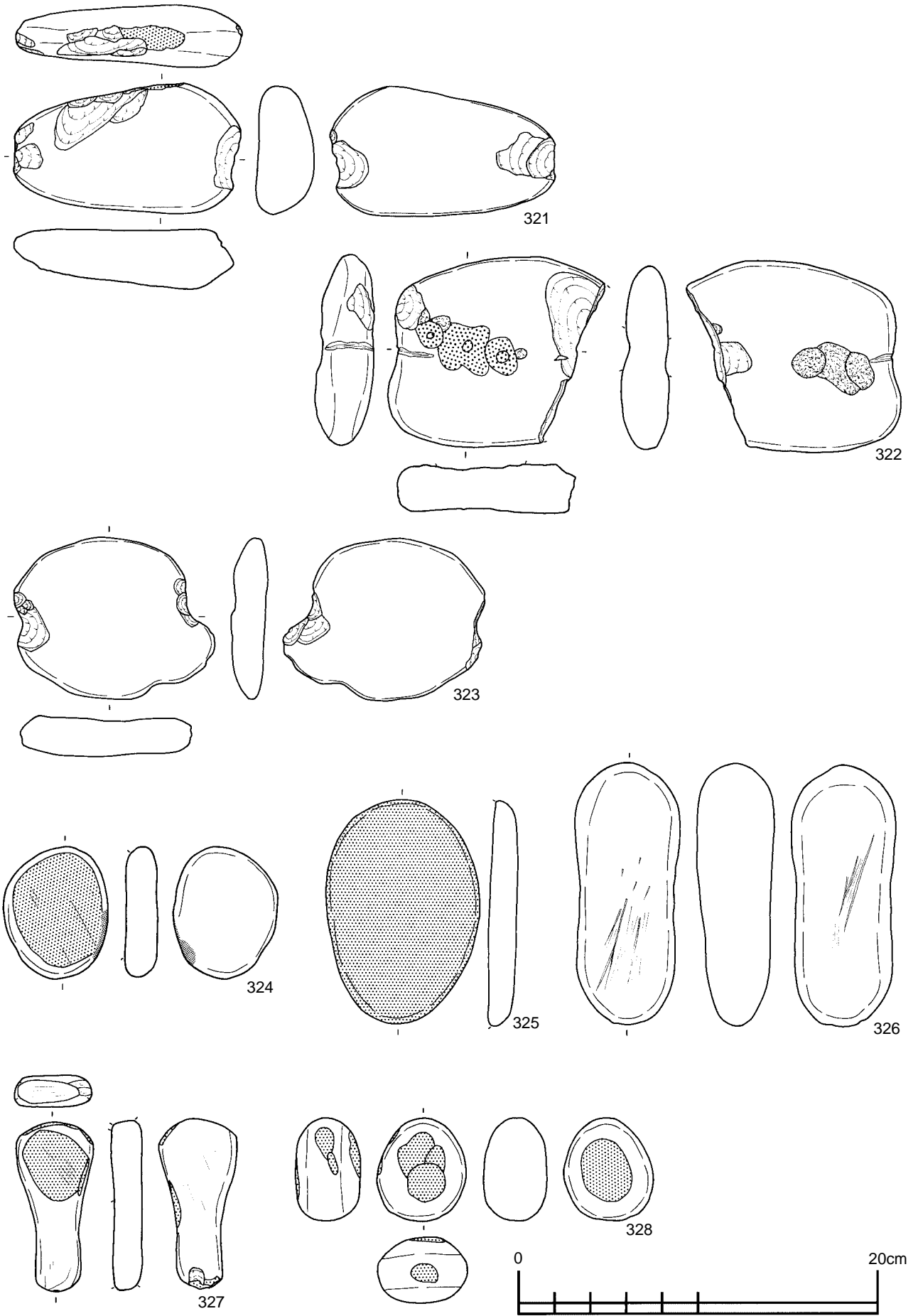




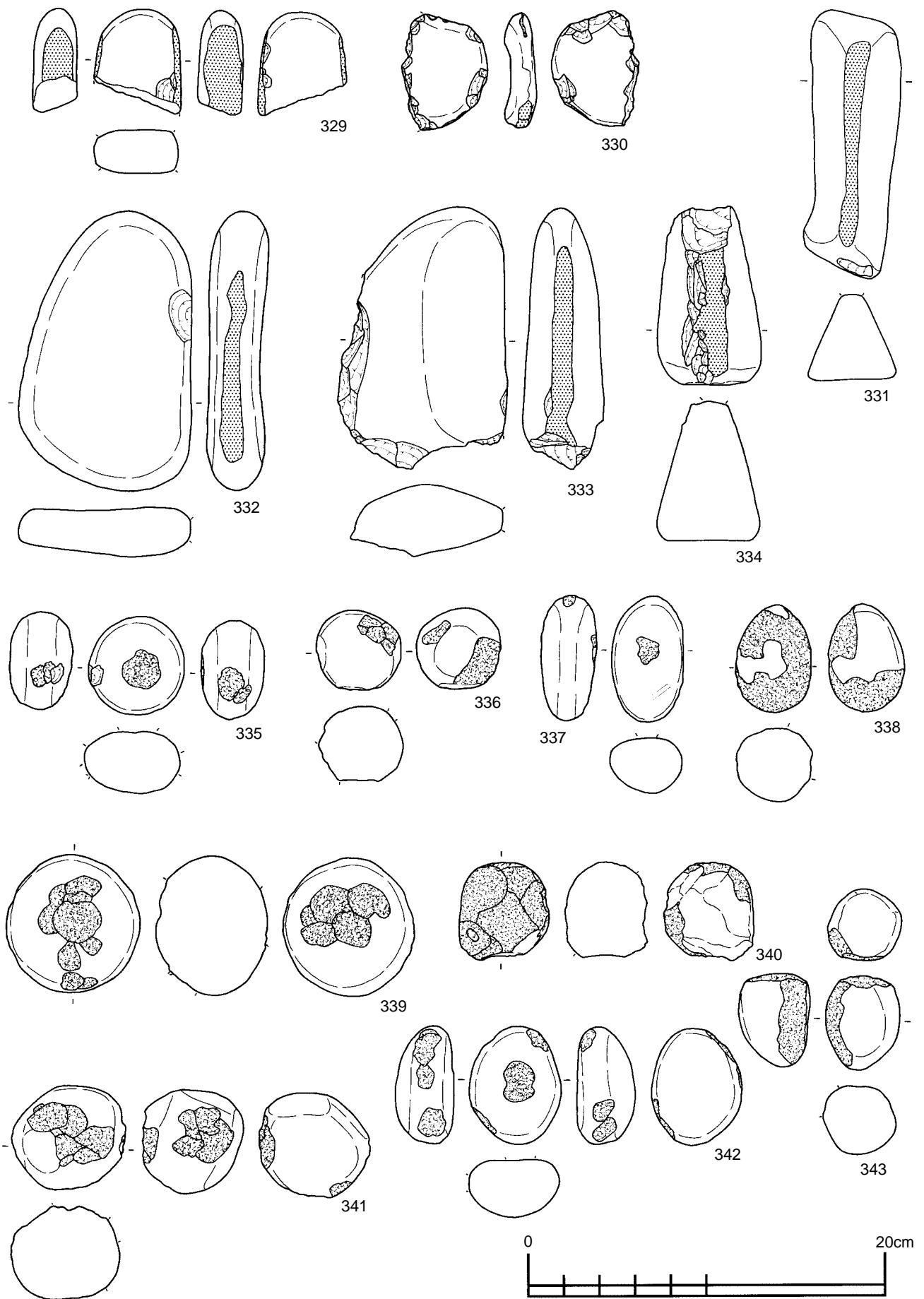
第326図 遺構外出土石器(37)



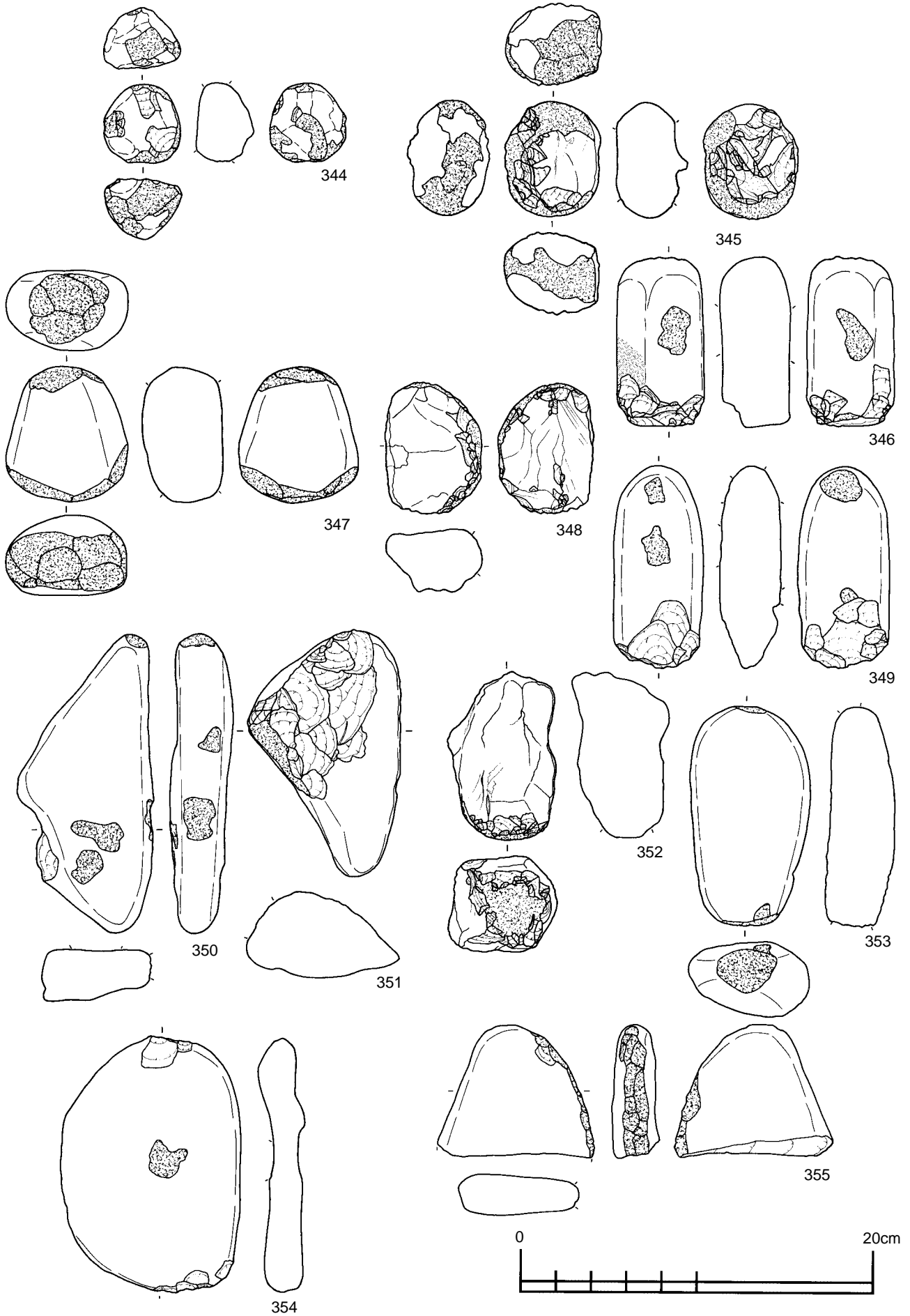
第327図 遺構外出土石器(38)



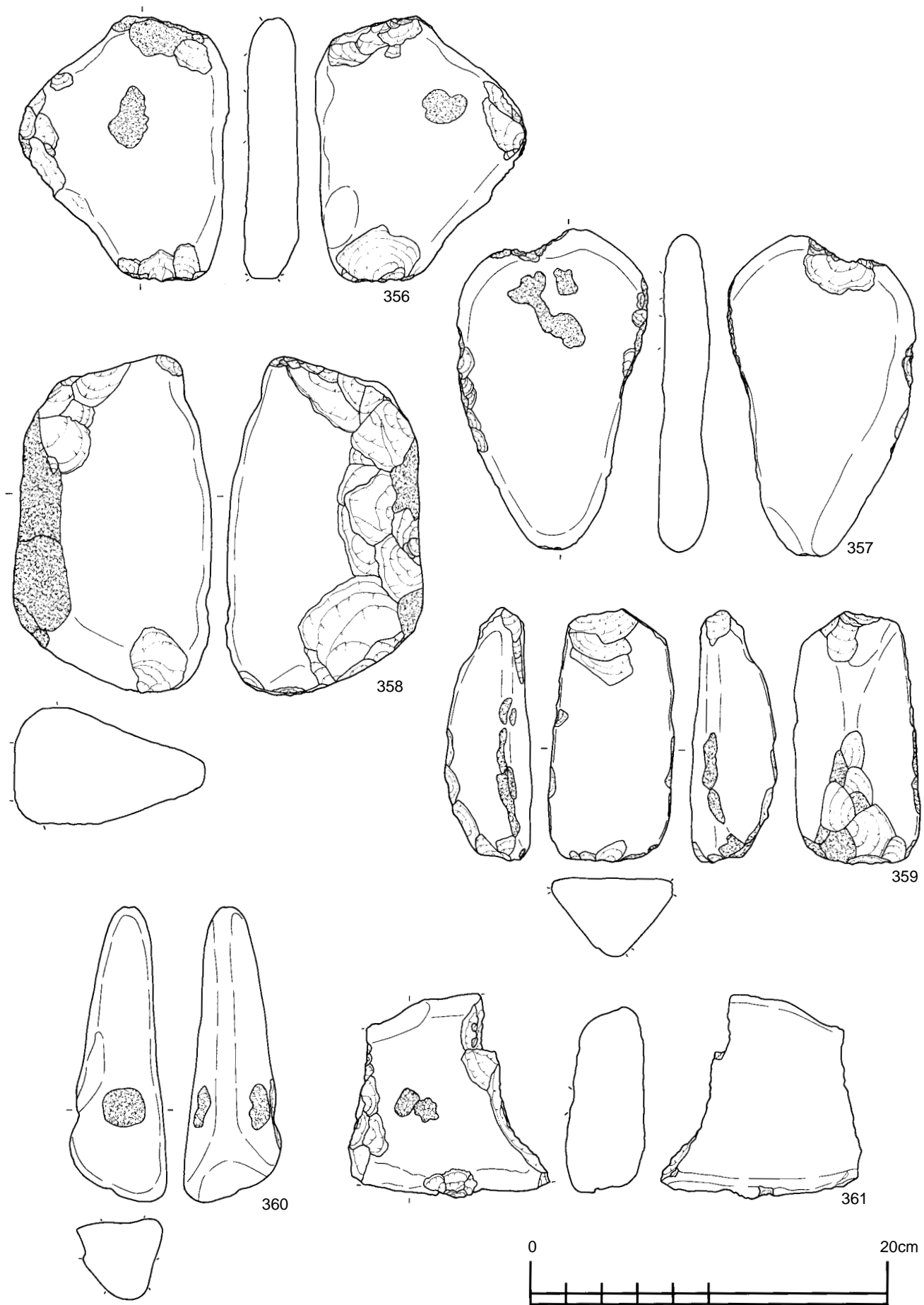
第328図 遺構外出土石器 (39)



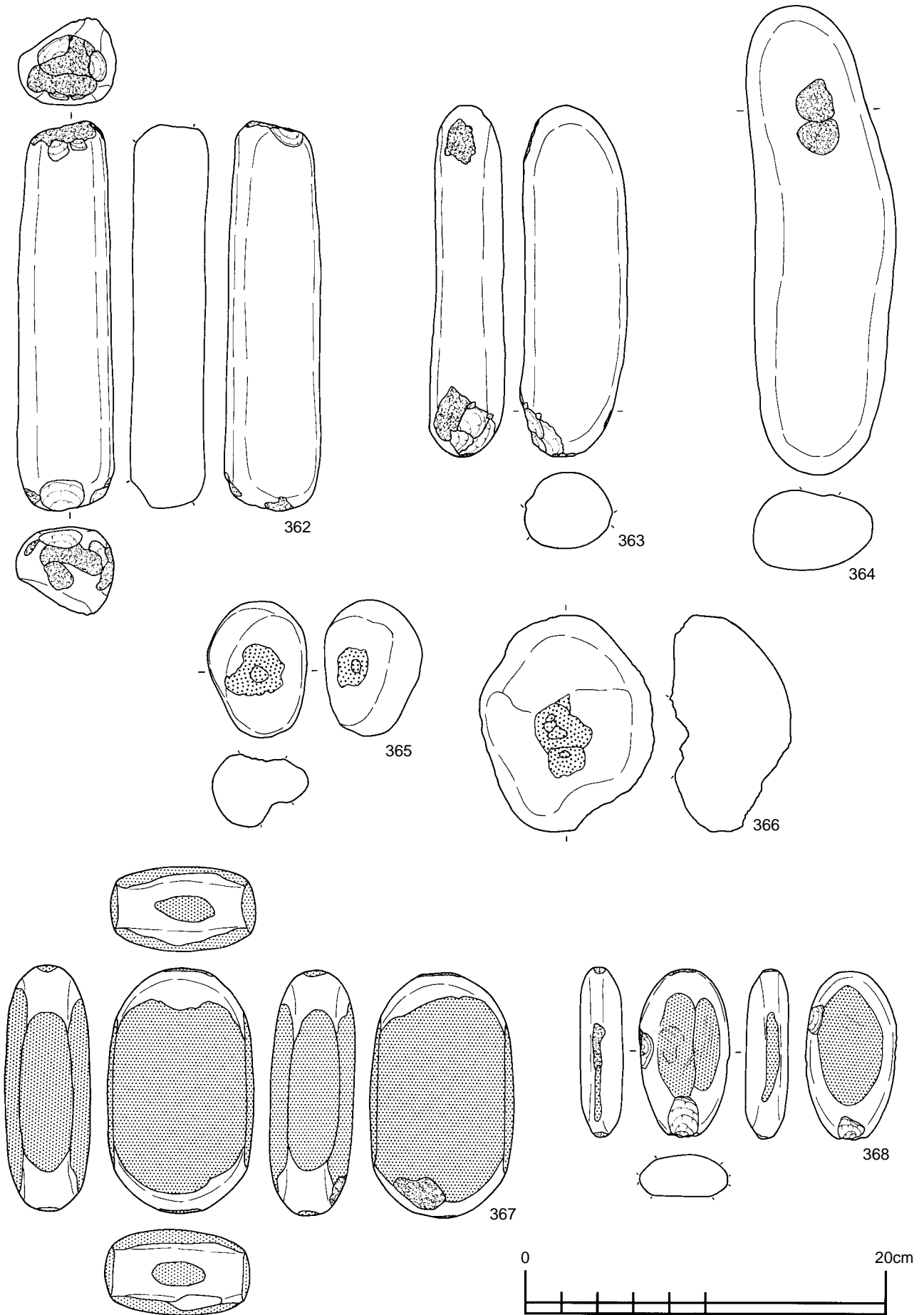
第329図 遺構外出土石器(40)



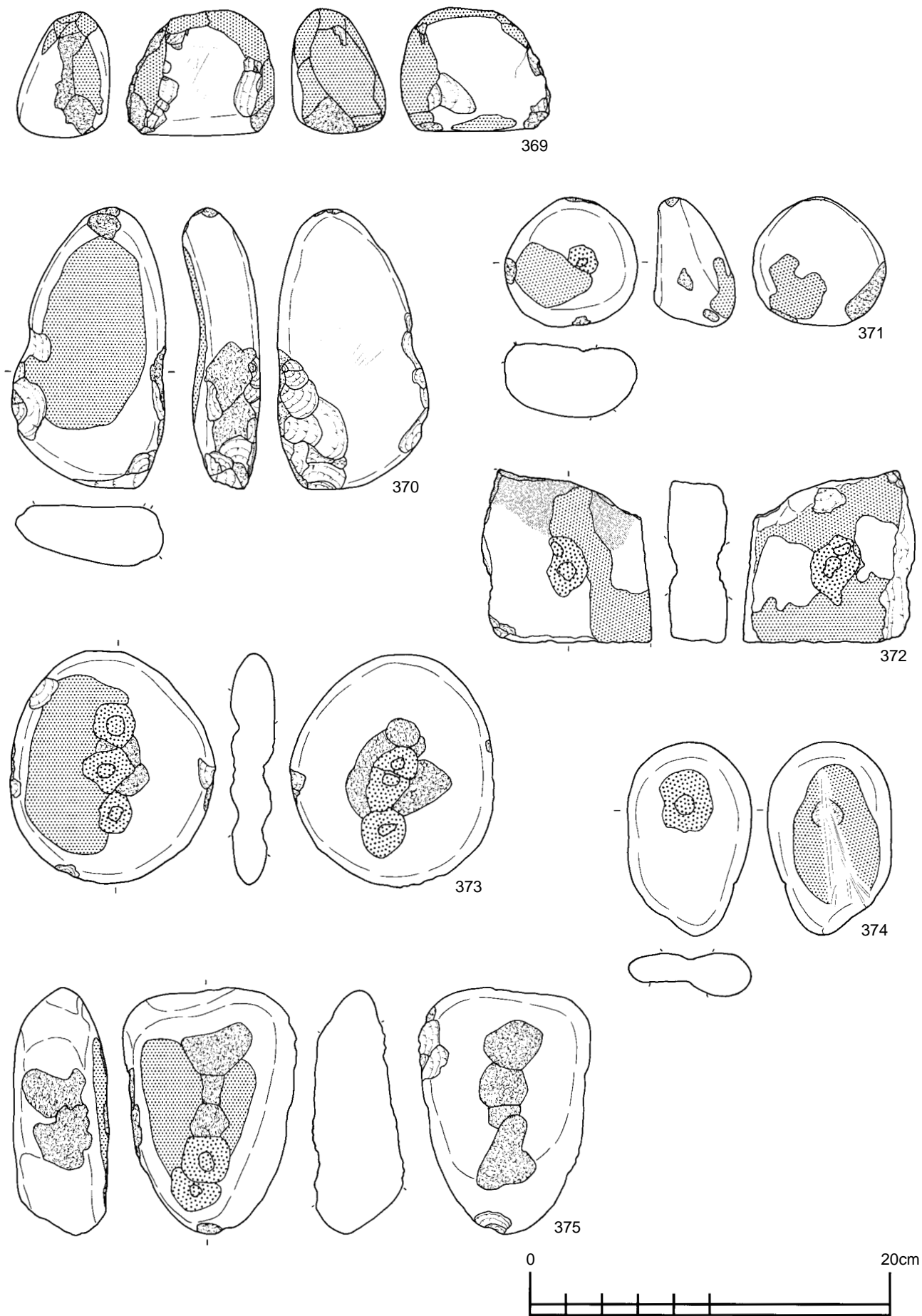
第330図 遺構外出土石器(41)



第331図 遺構外出土石器(42)

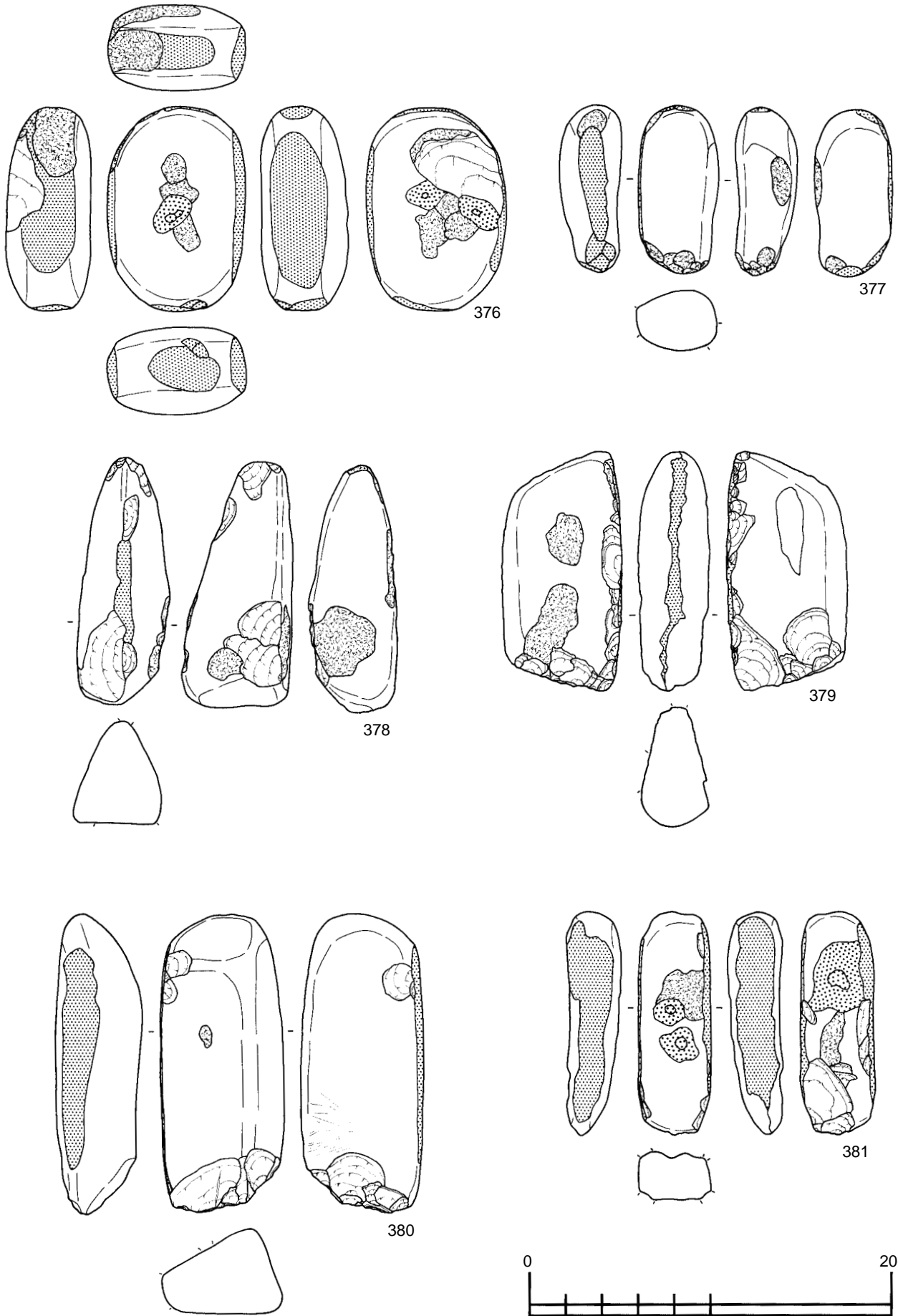


第332図 遺構外出土石器(43)

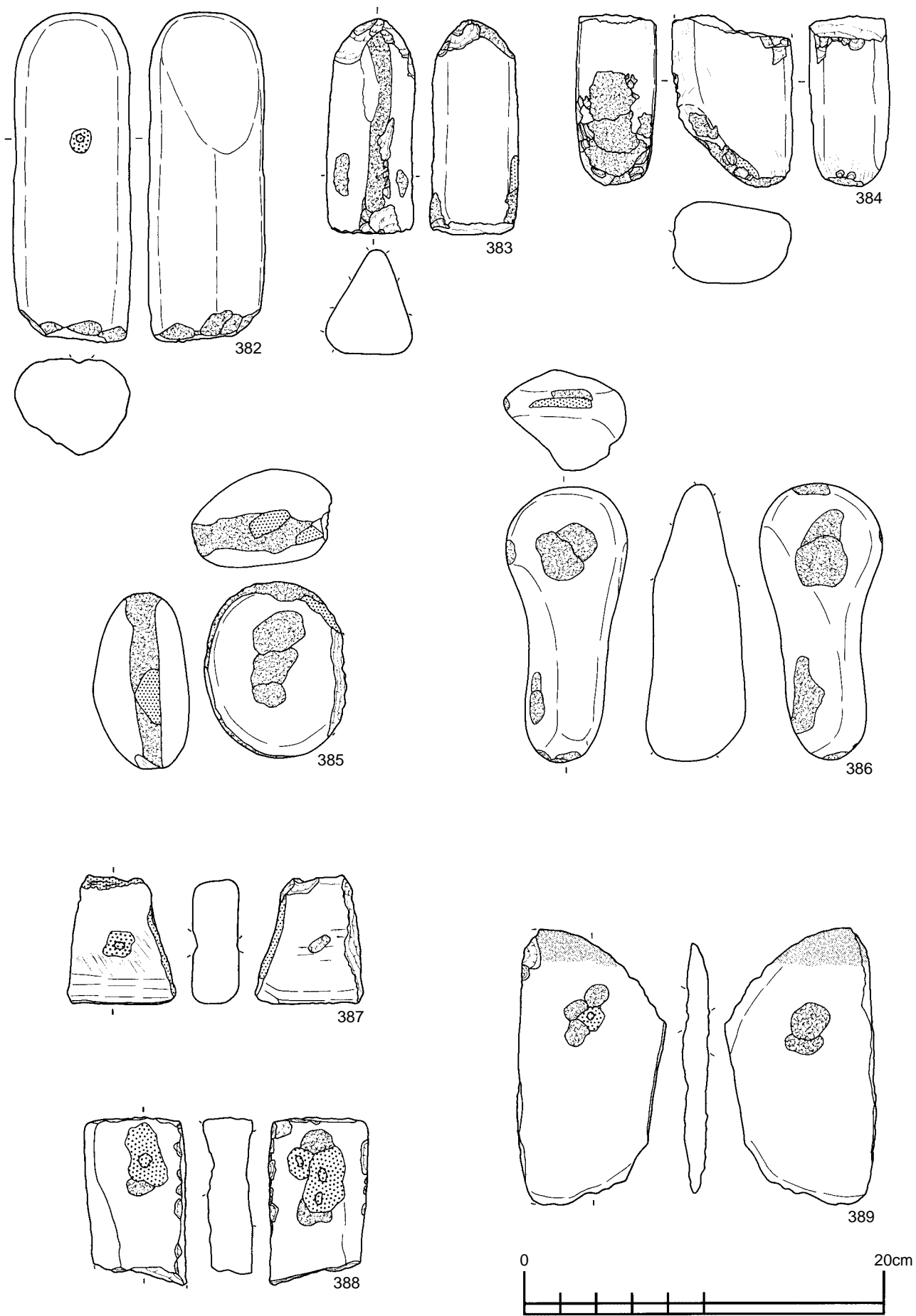


第333図 遺構外出土石器(44)

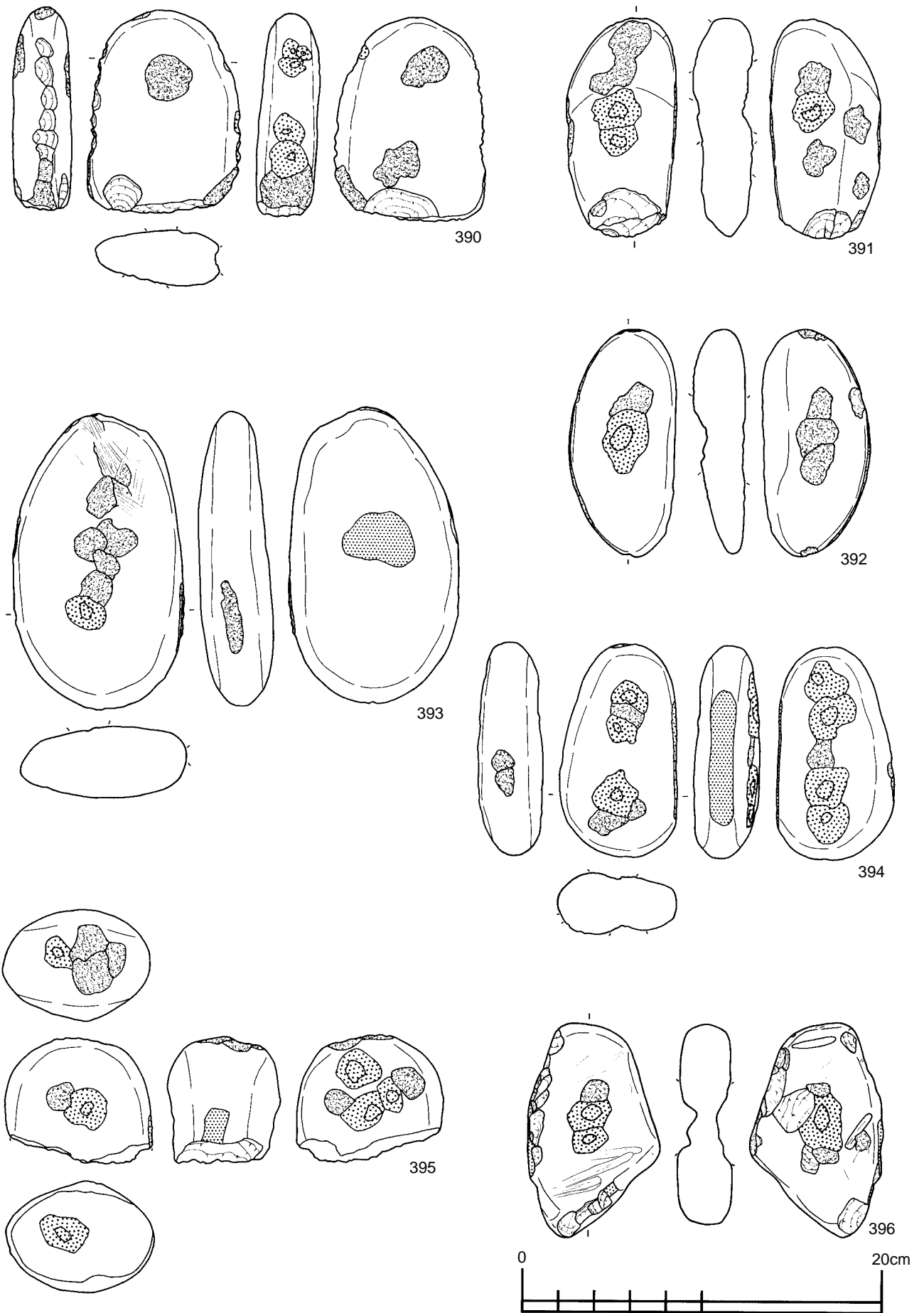




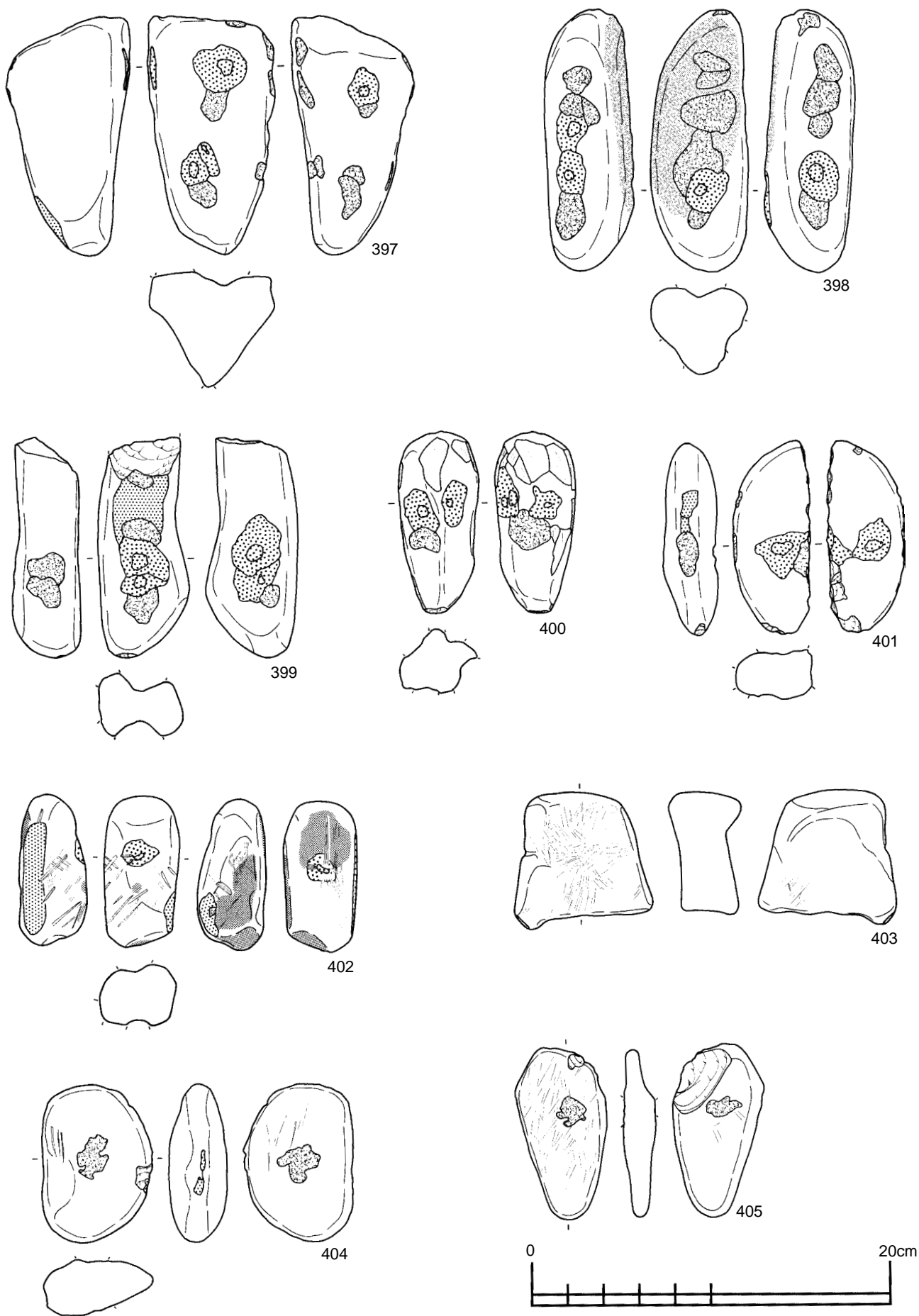
第334図 遺構外出土石器(45)



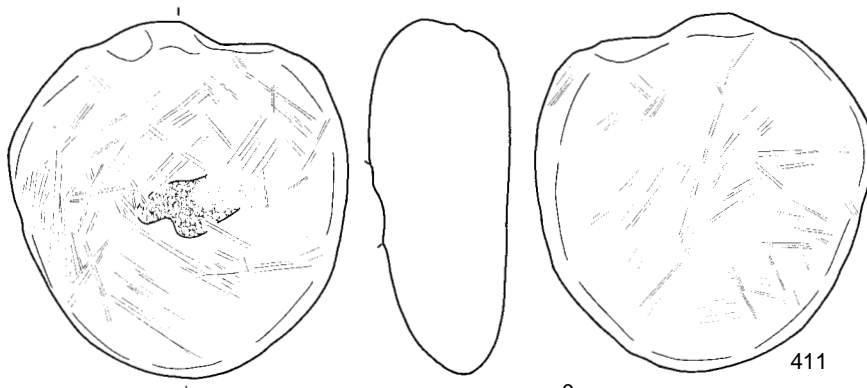
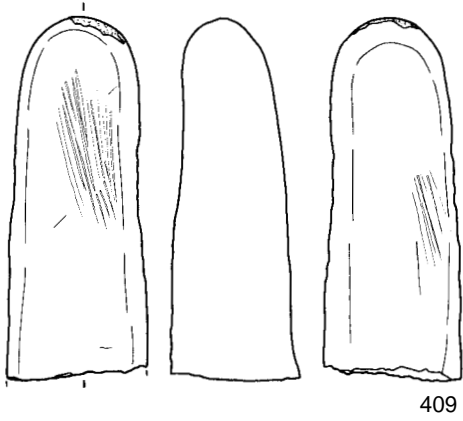
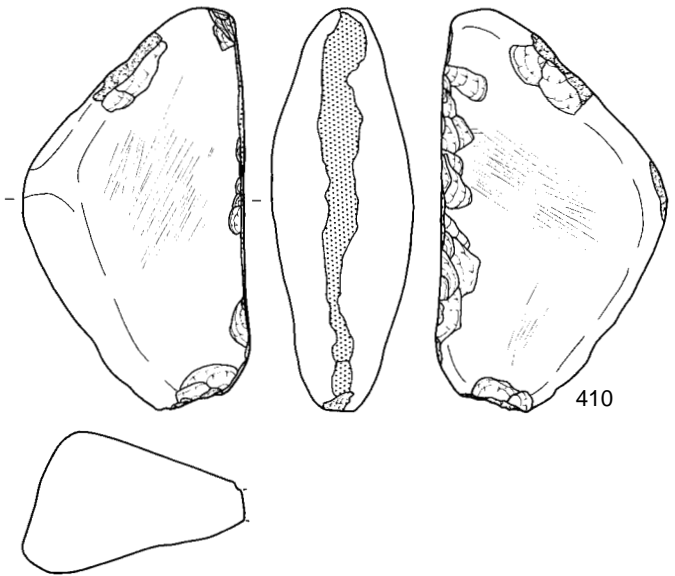
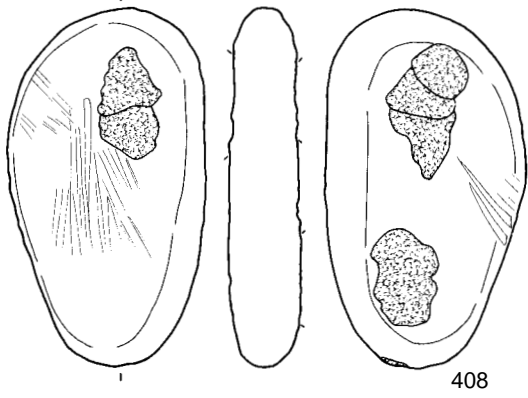
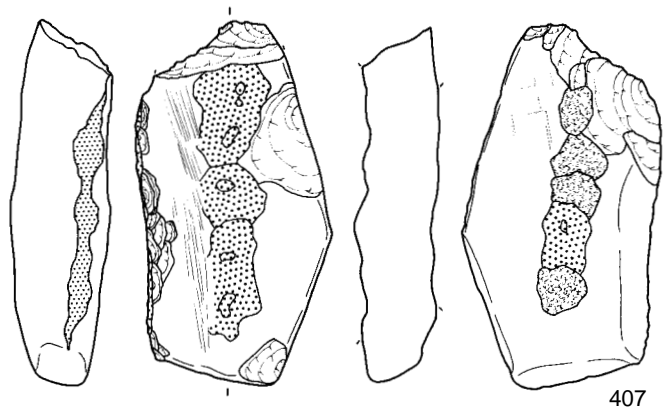
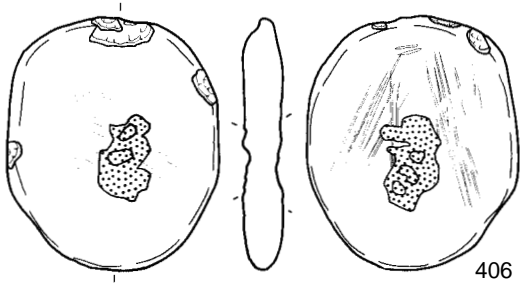
第335図 遺構外出土石器(46)



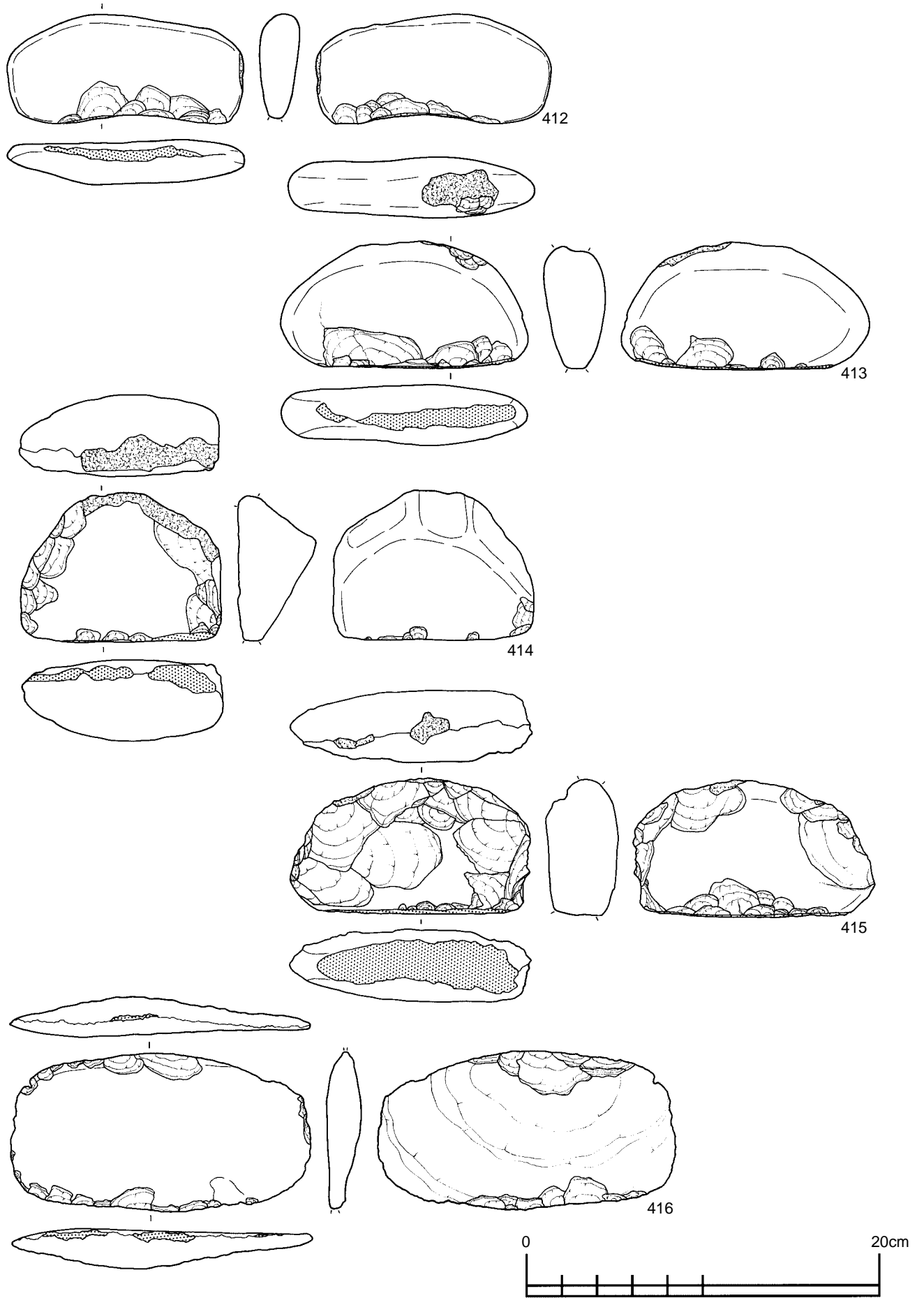
第336図 遺構外出土石器(47)



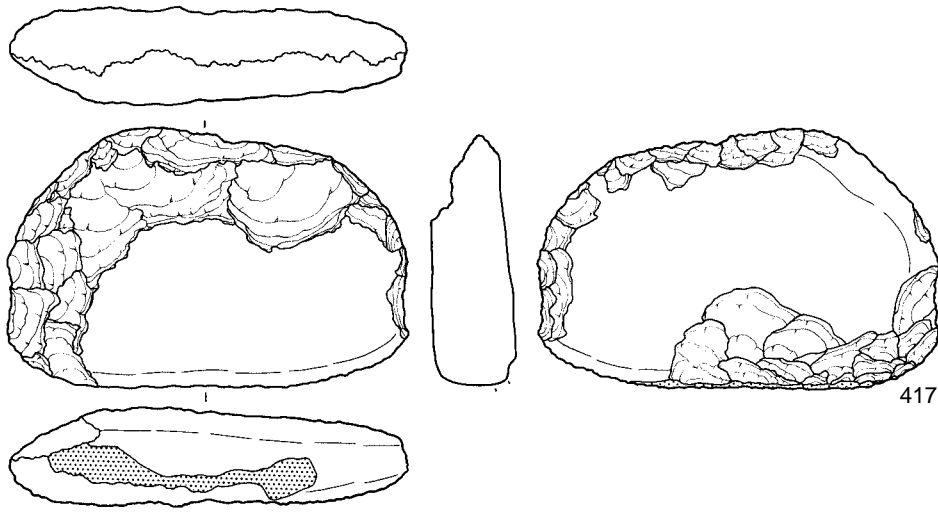
第337図 遺構外出土石器(48)



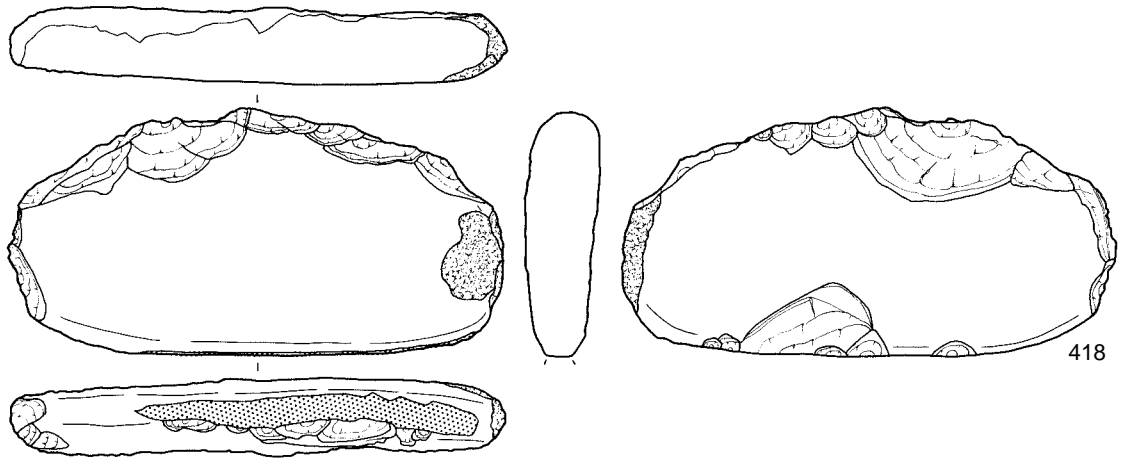
第338図 遺構外出土石器(49)



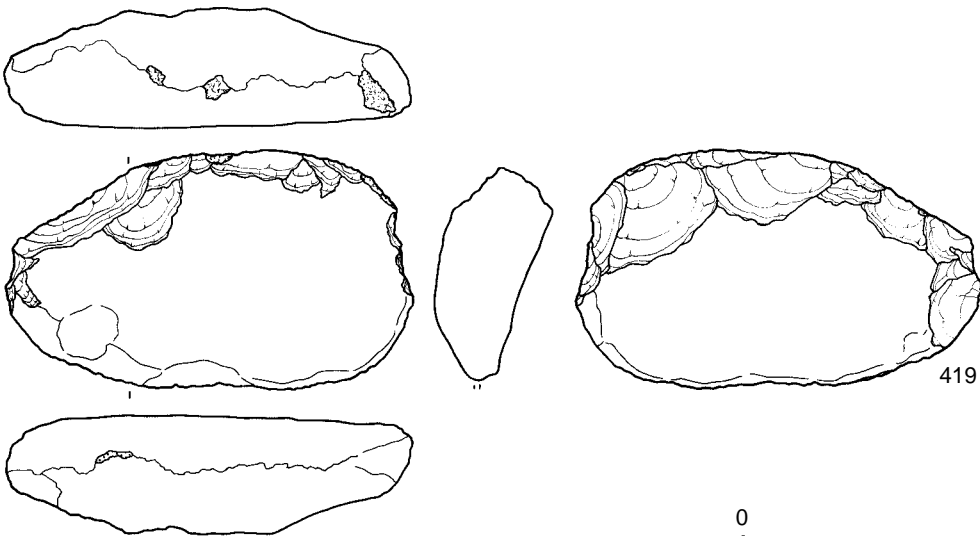
第339図 遺構外出土石器(50)



417



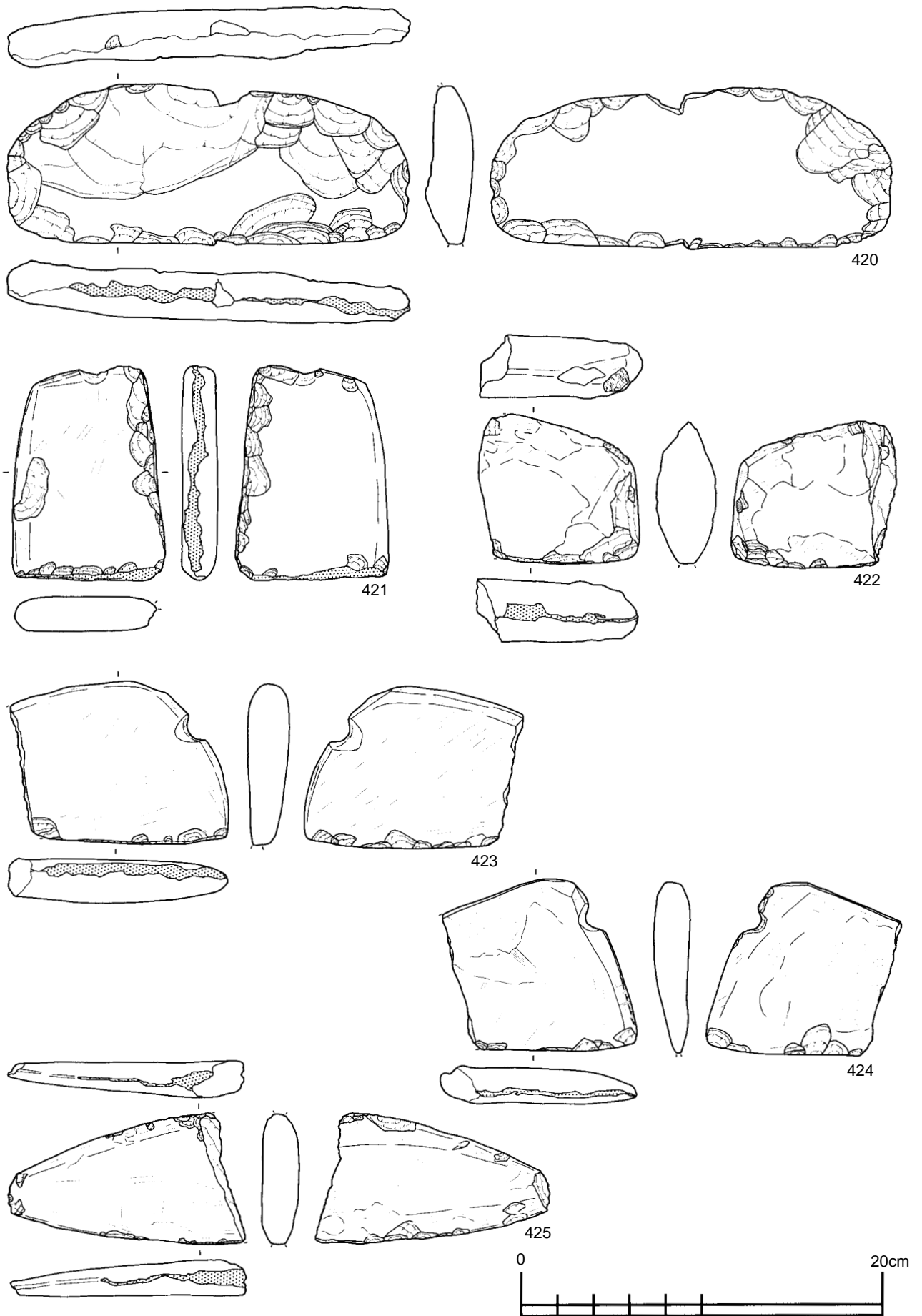
418



419

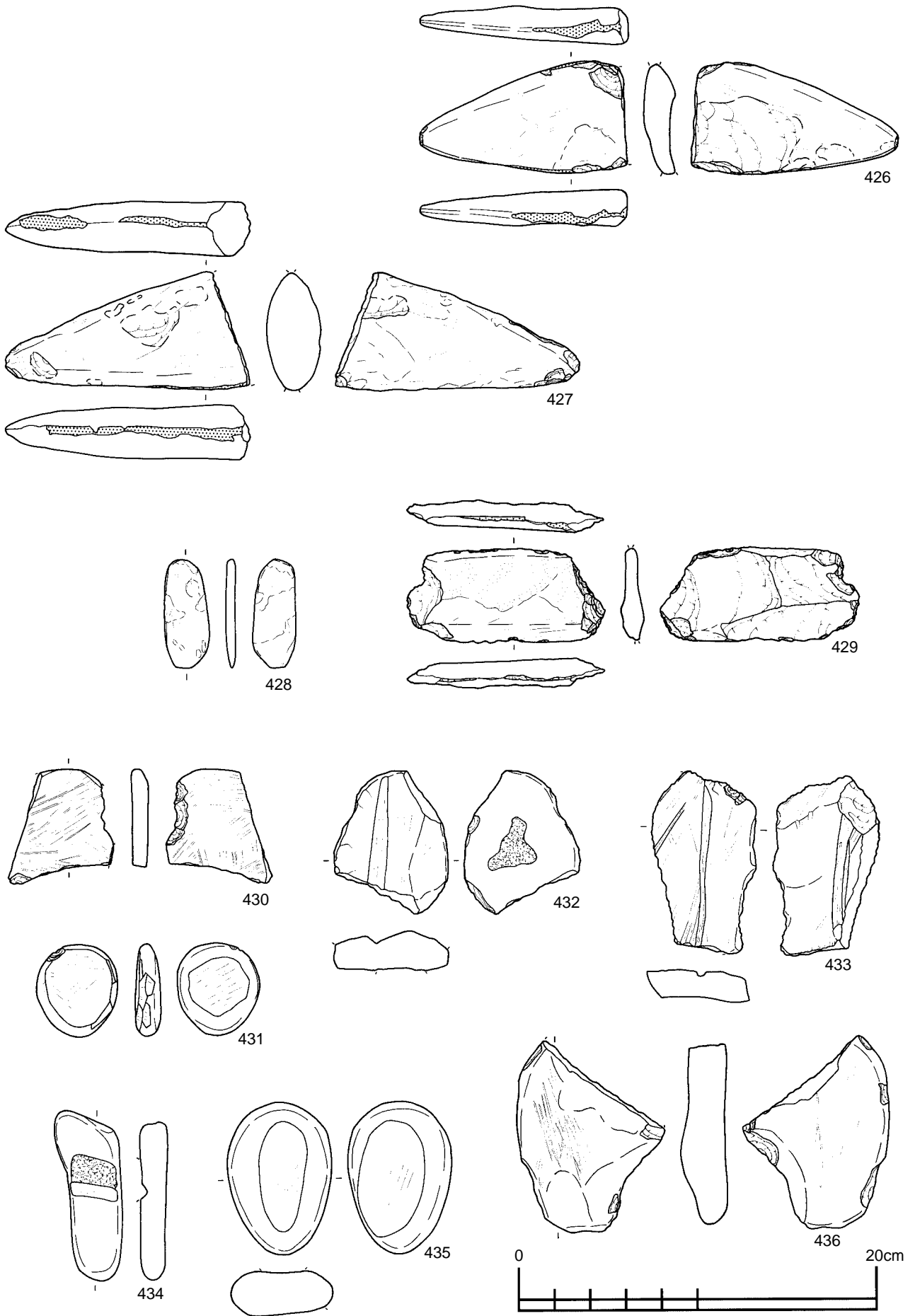


第340図 遺構外出土石器(51)

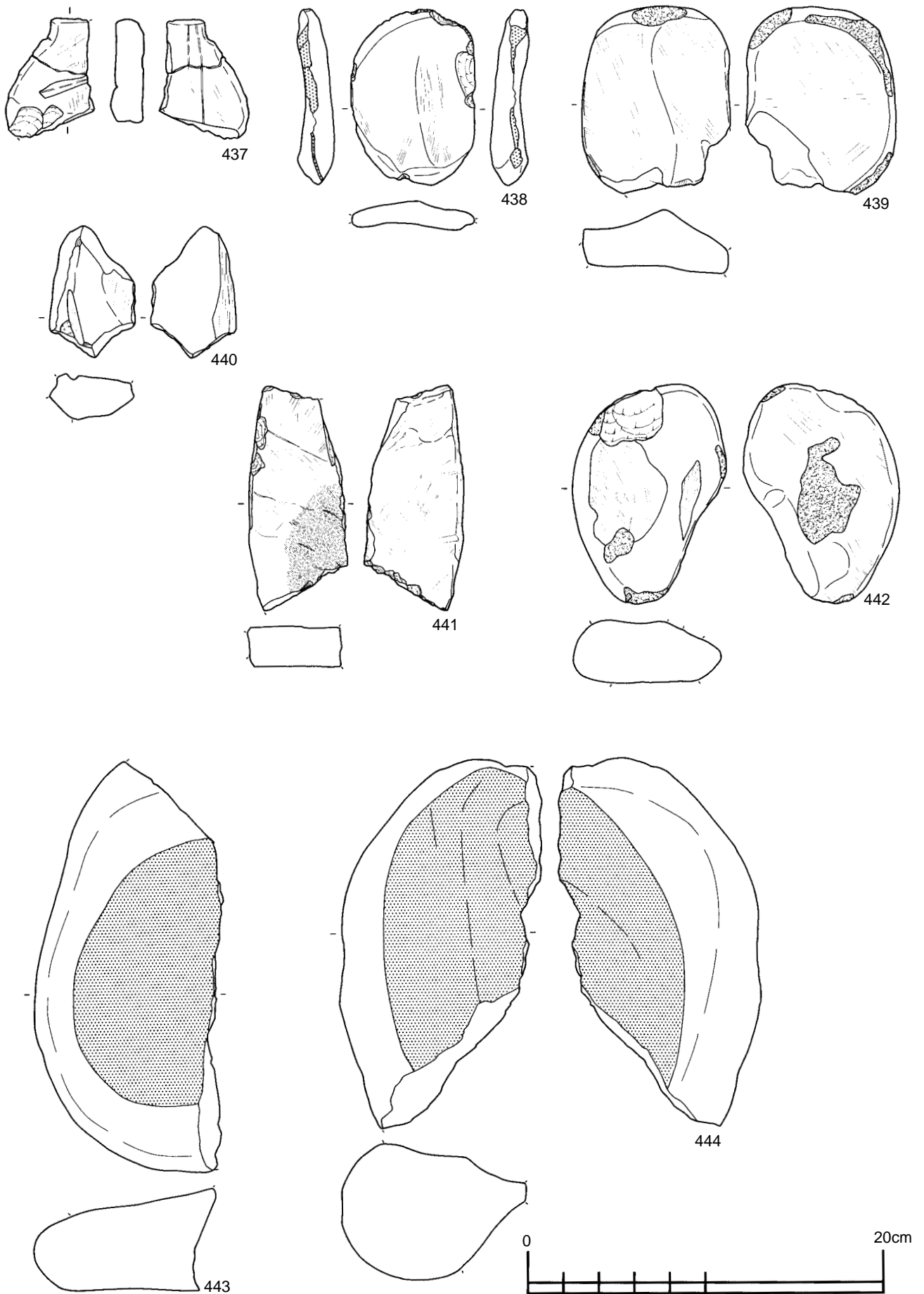


第341図 遺構外出土石器(52)

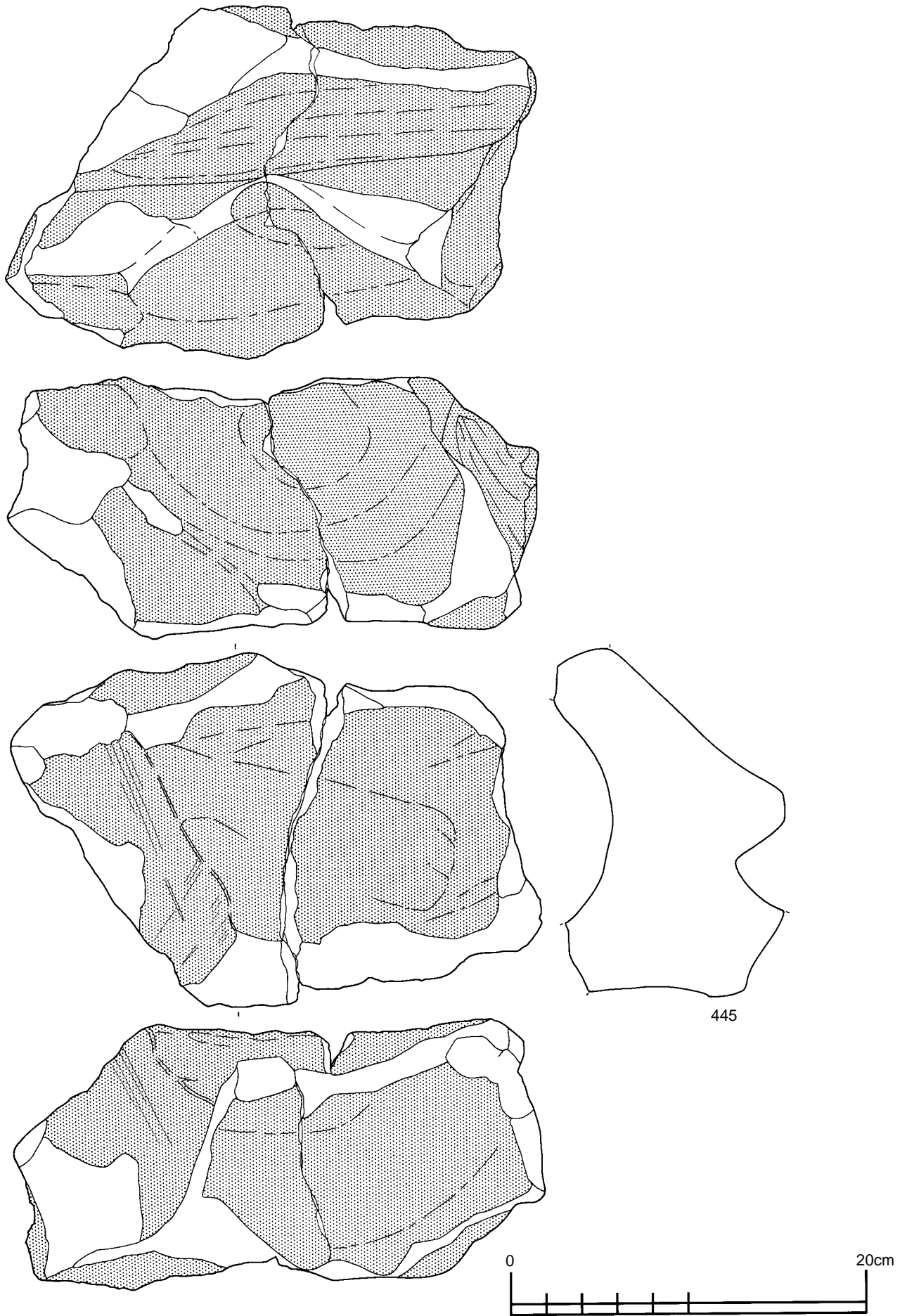




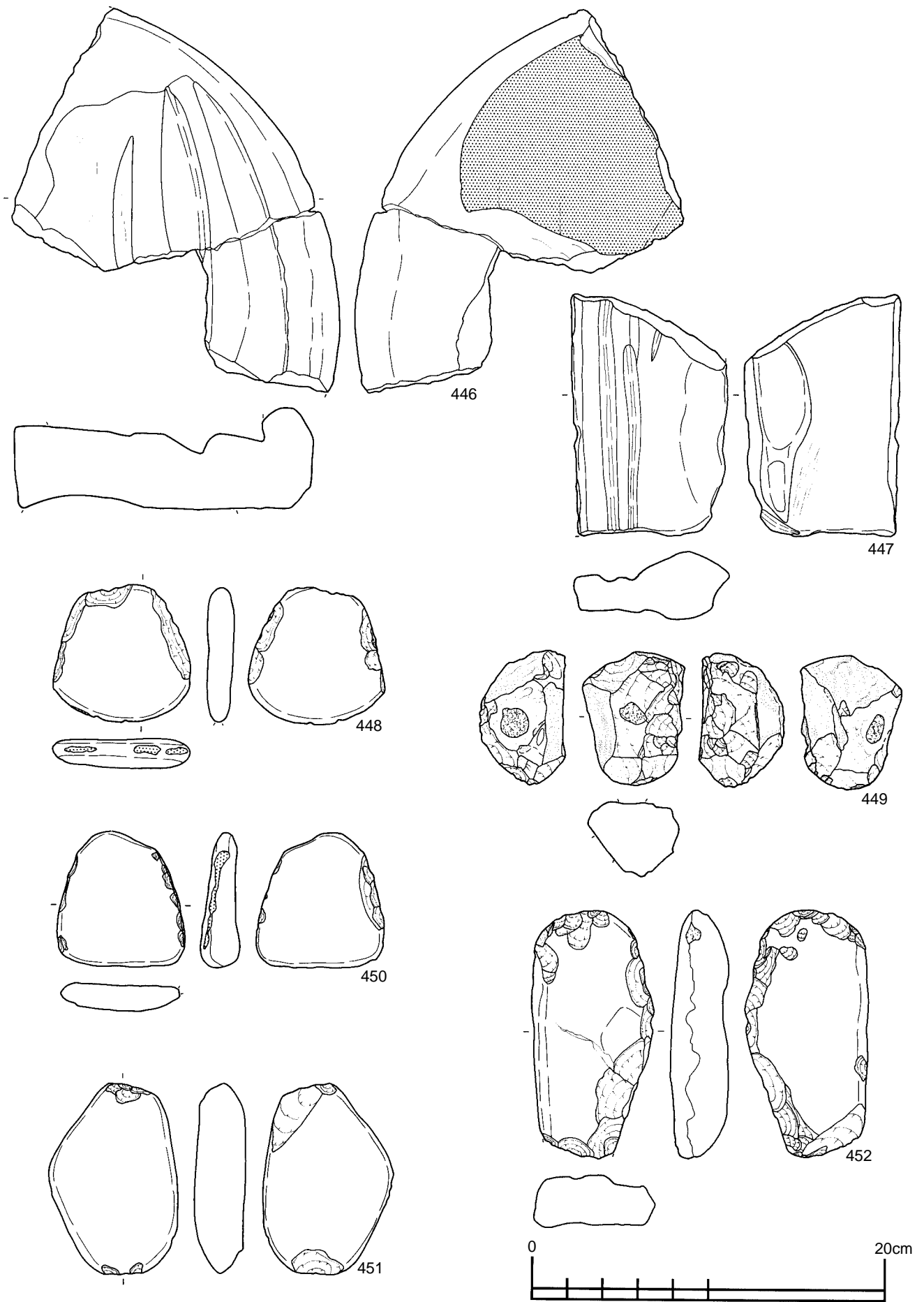
第342図 遺構外出土石器 (53)



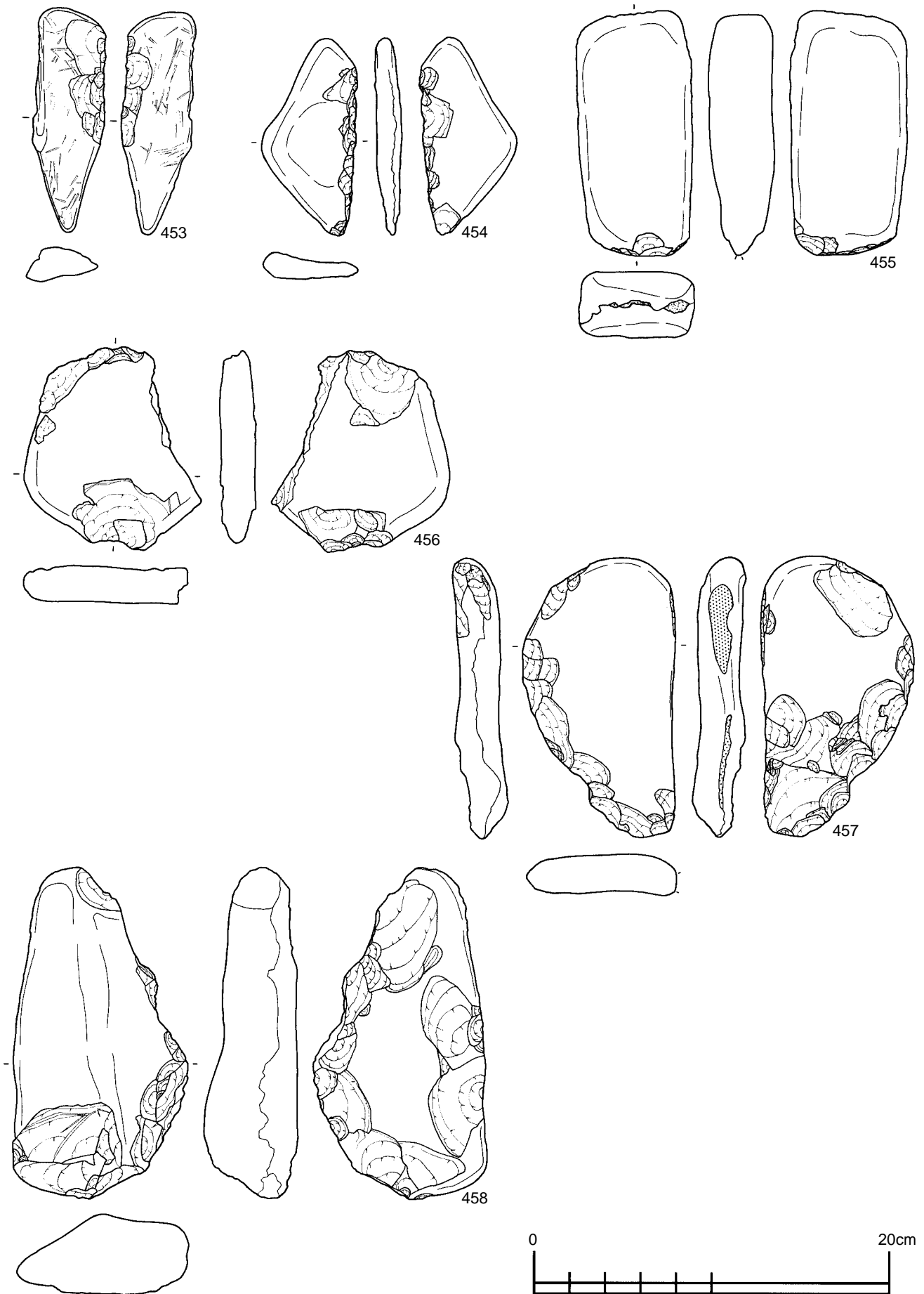
第343図 遺構外出土石器(54)



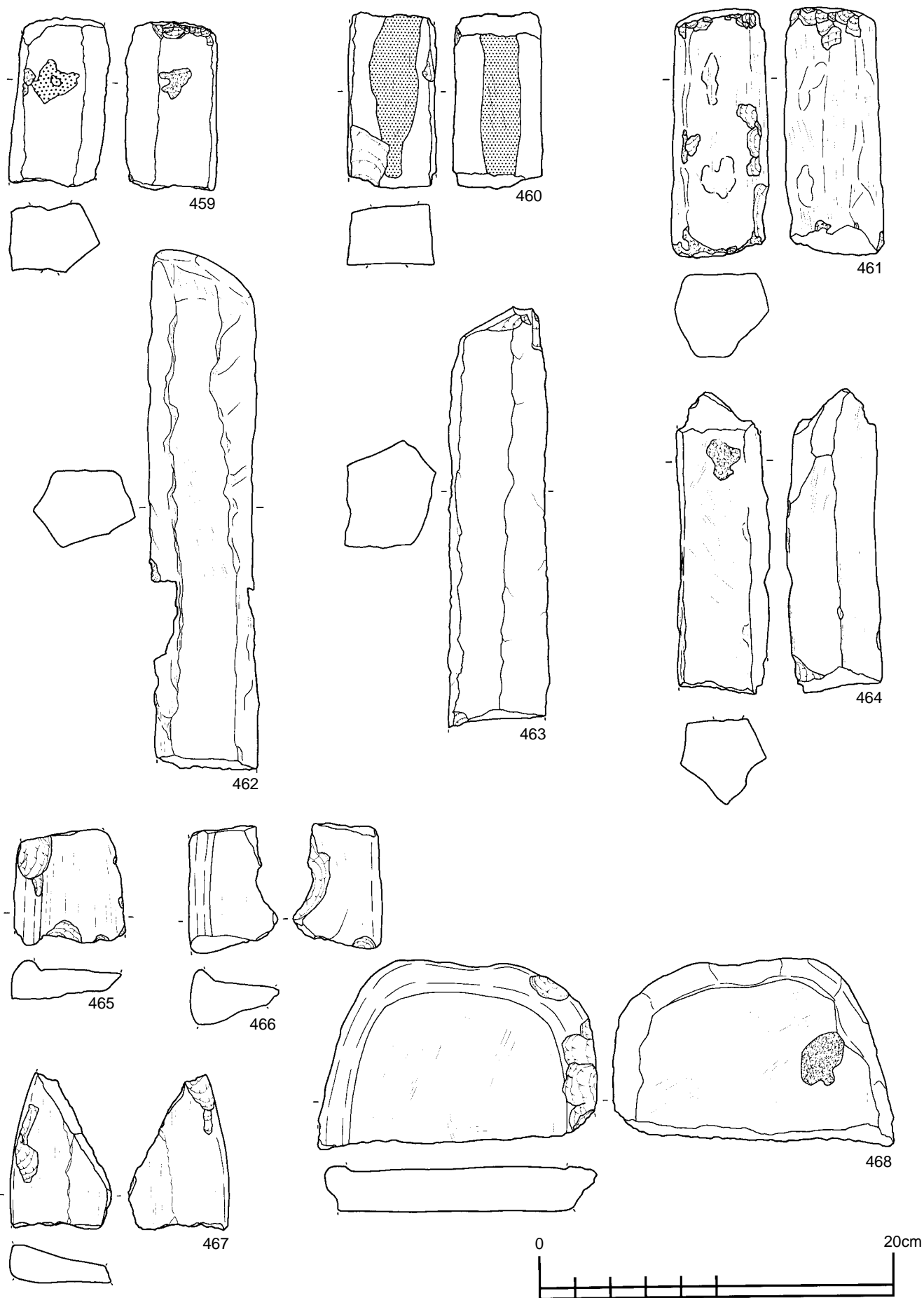
第344図 遺構外出土石器(55)



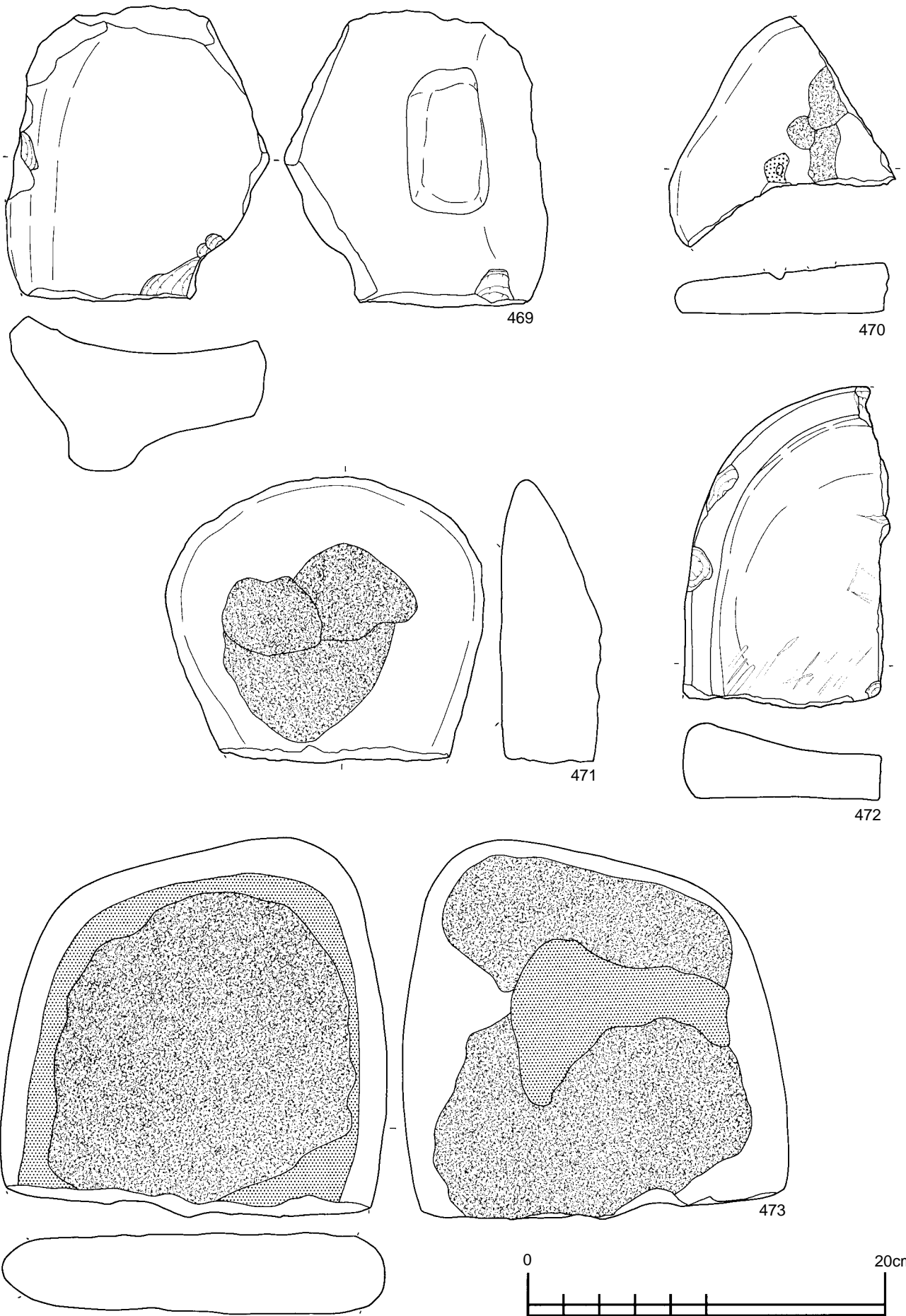
第345図 遺構外出土石器(56)



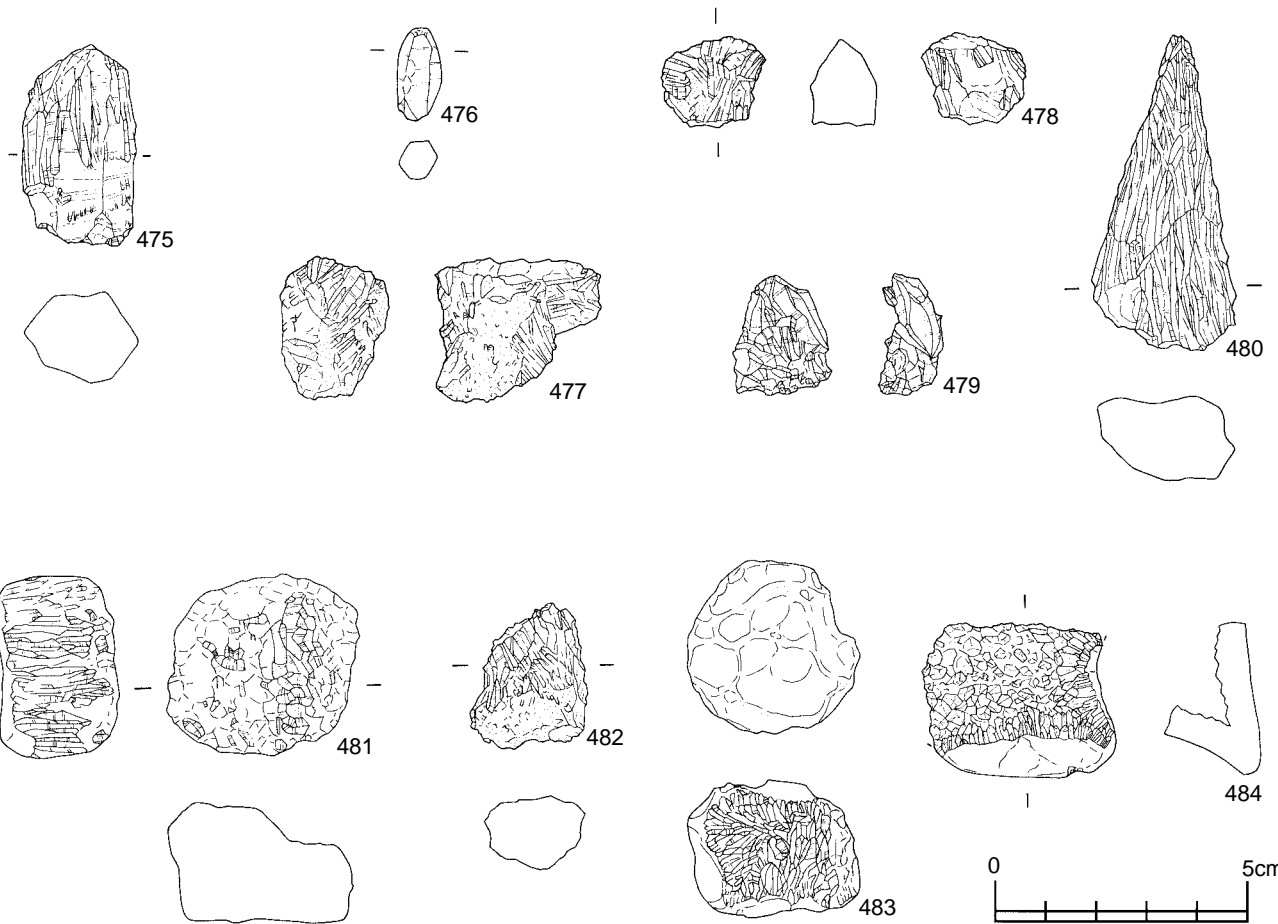
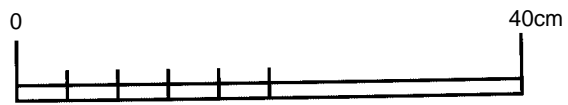
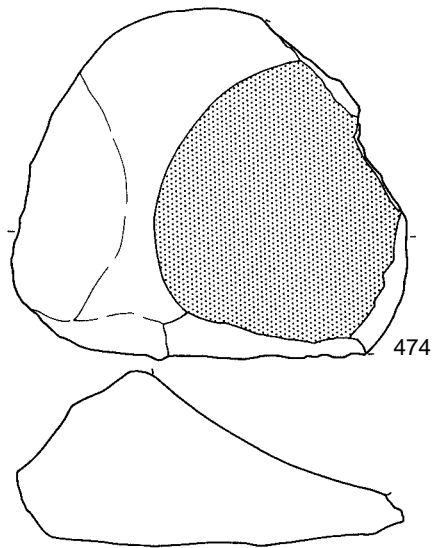
第346図 遺構外出土石器(57)



第347図 遺構外出土石器(58)



第348図 遺構外出土石器(59)



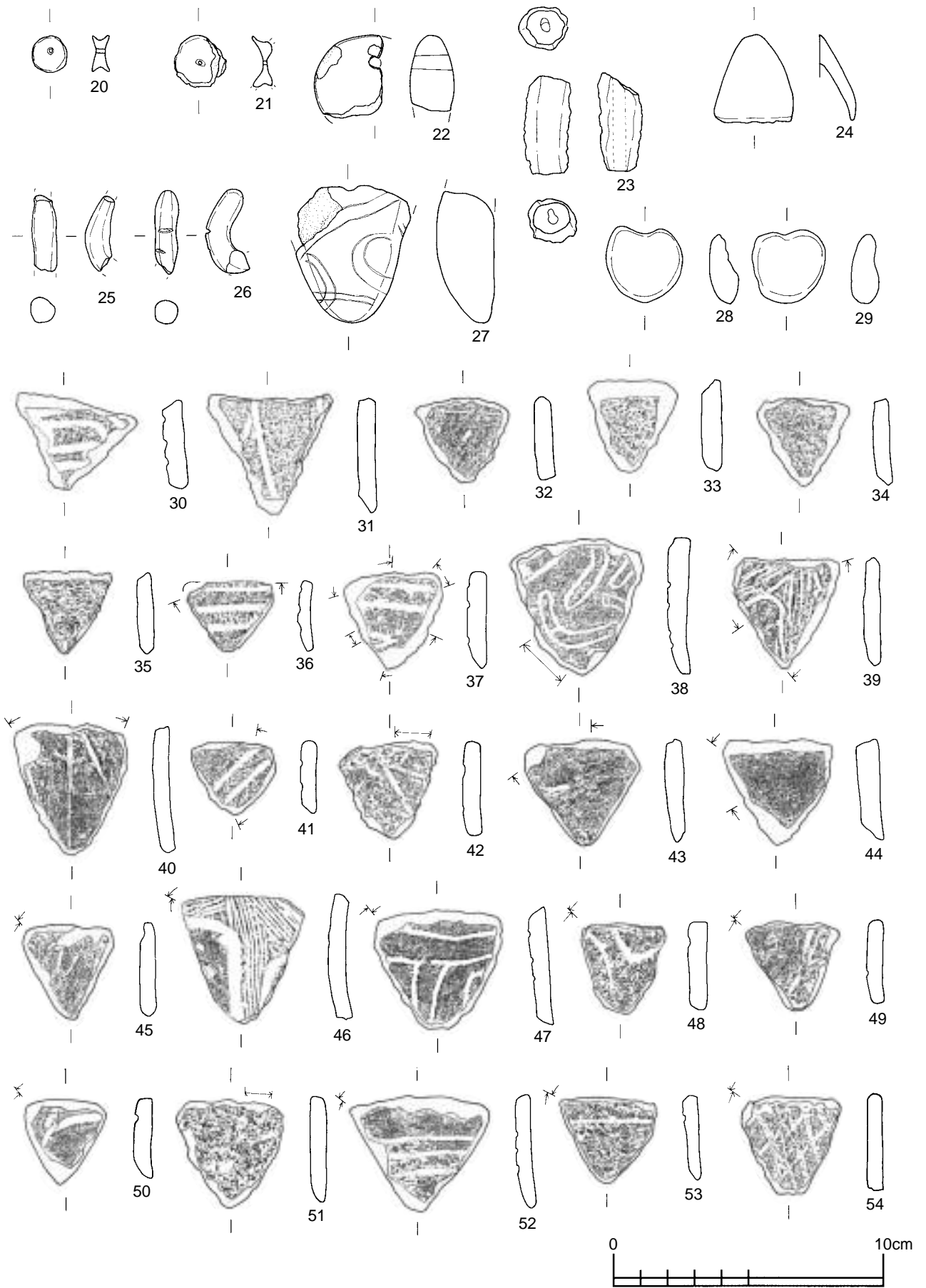
第349図 遺構外出土石器(60)



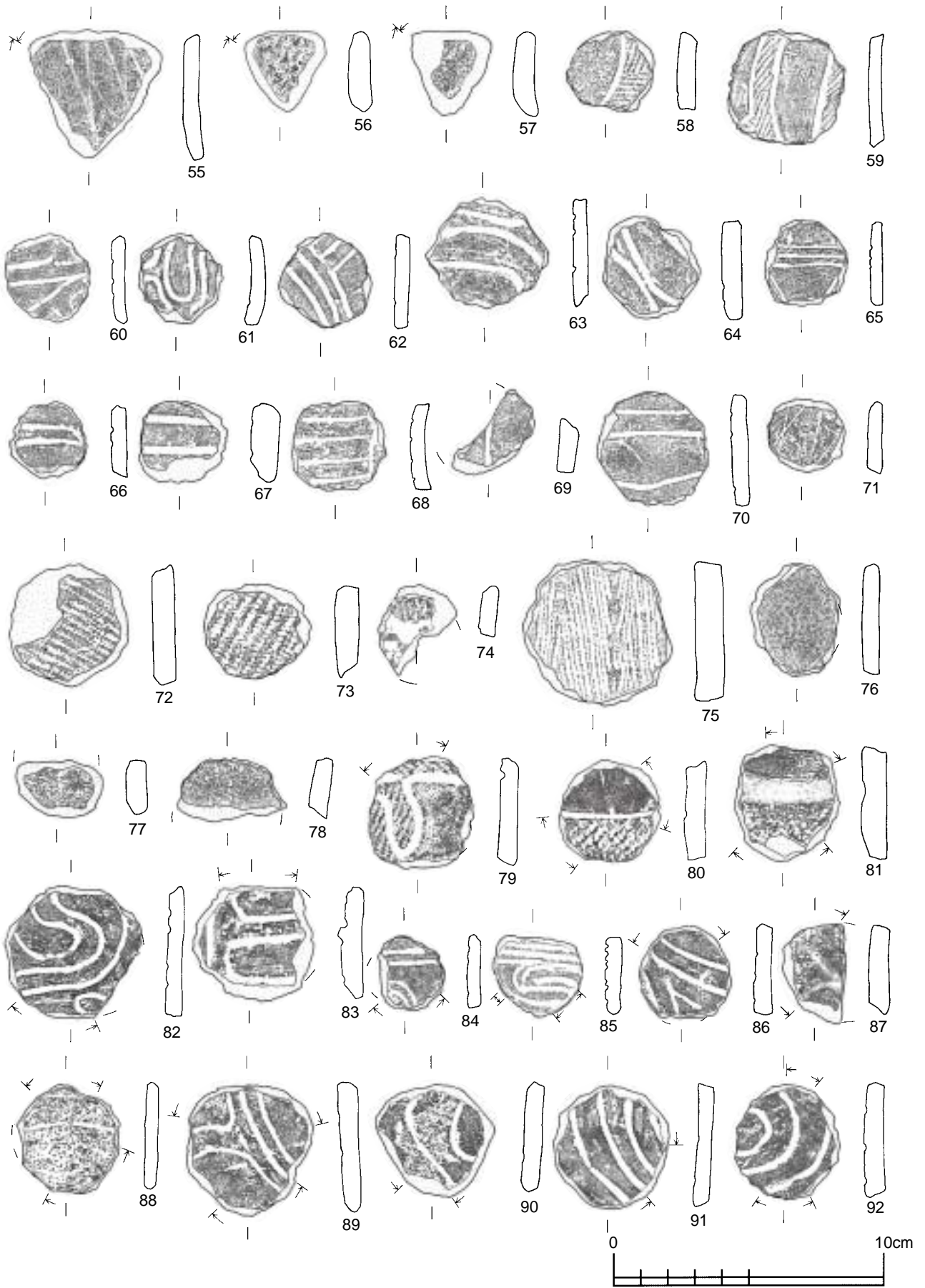
3. 土製品



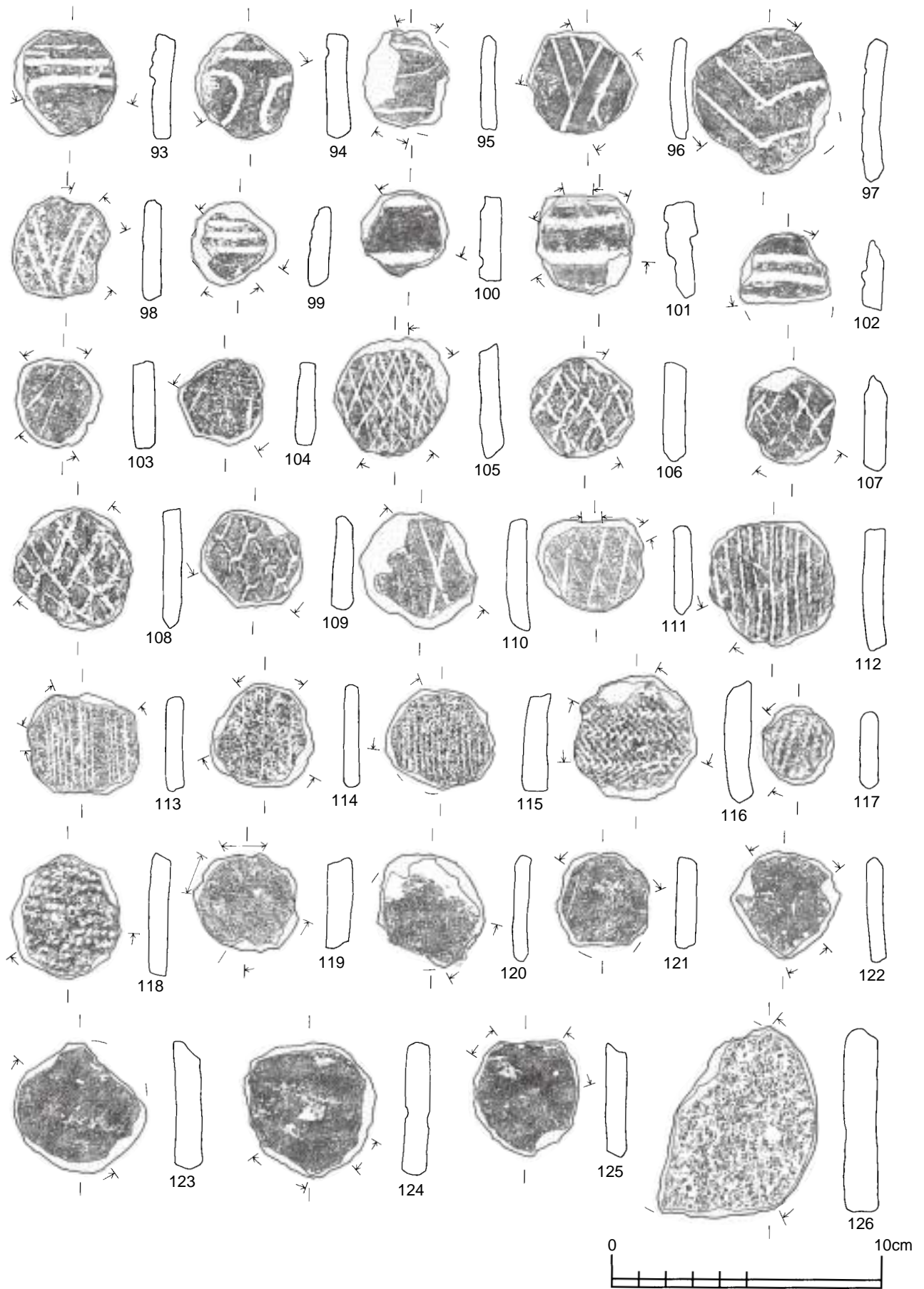
第350図 遺構外出土土製品(1)



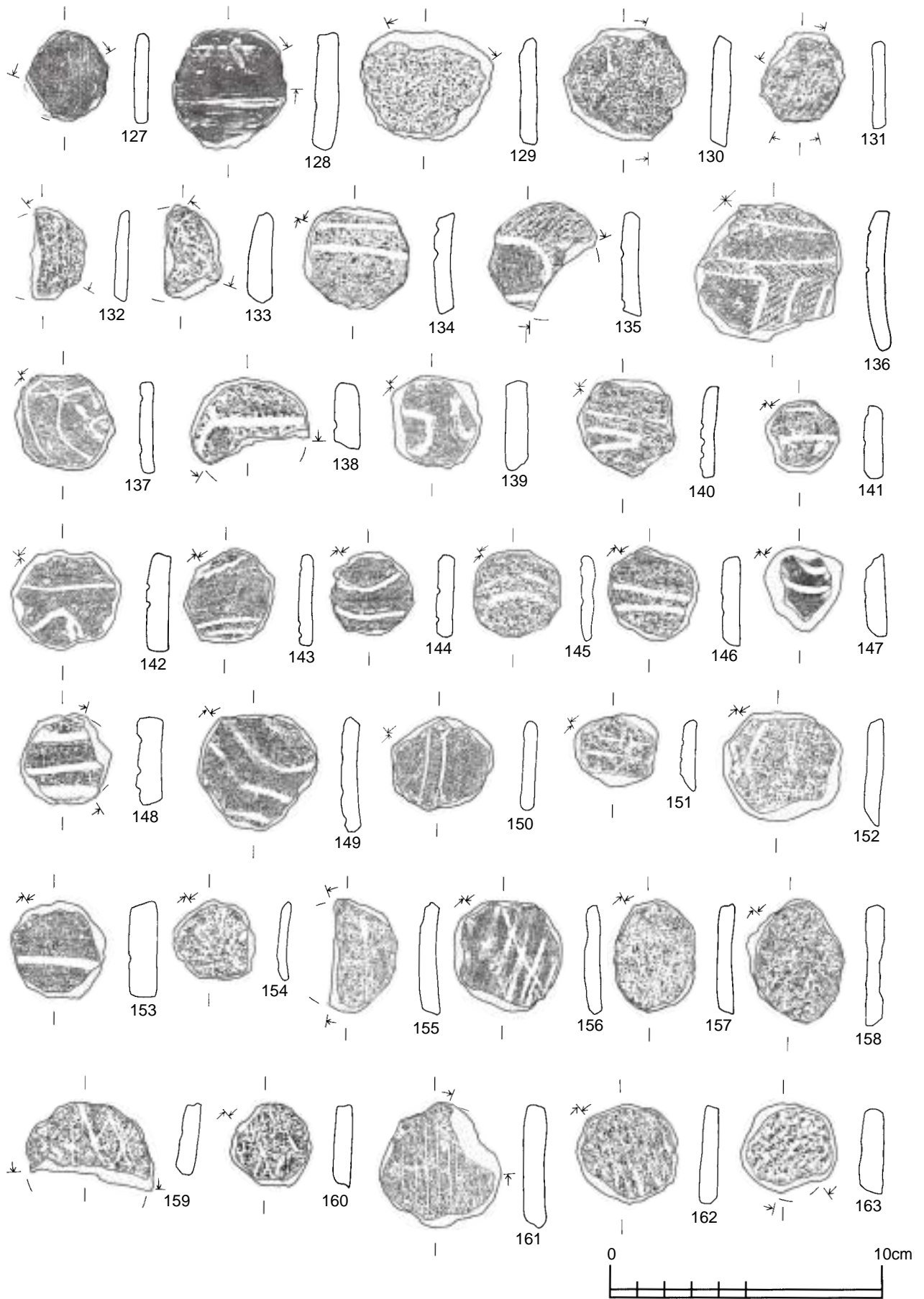
第351図 遺構外出土土製品(2)



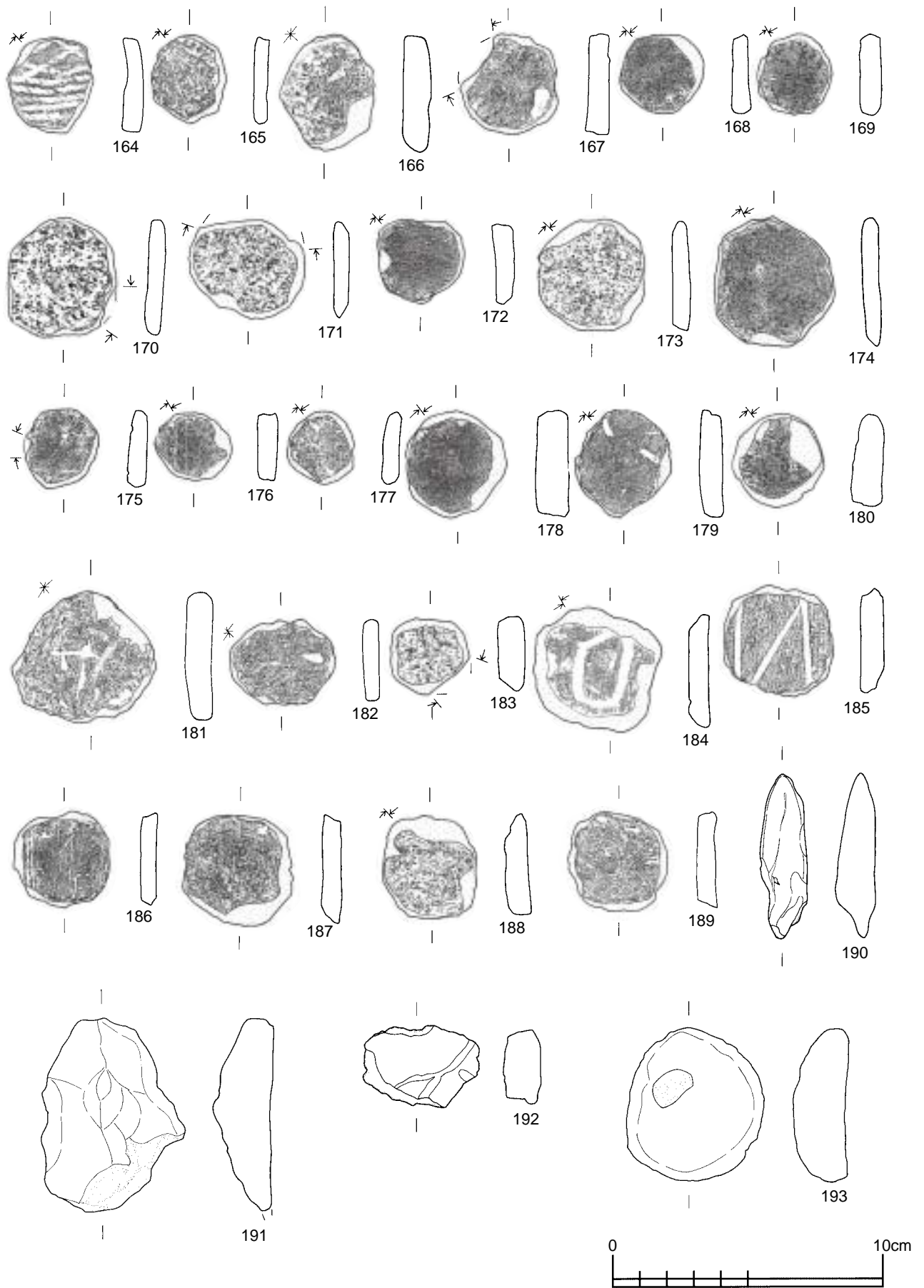
第352図 遺構外出土土製品(3)



第353図 遺構外出土土製品(4)

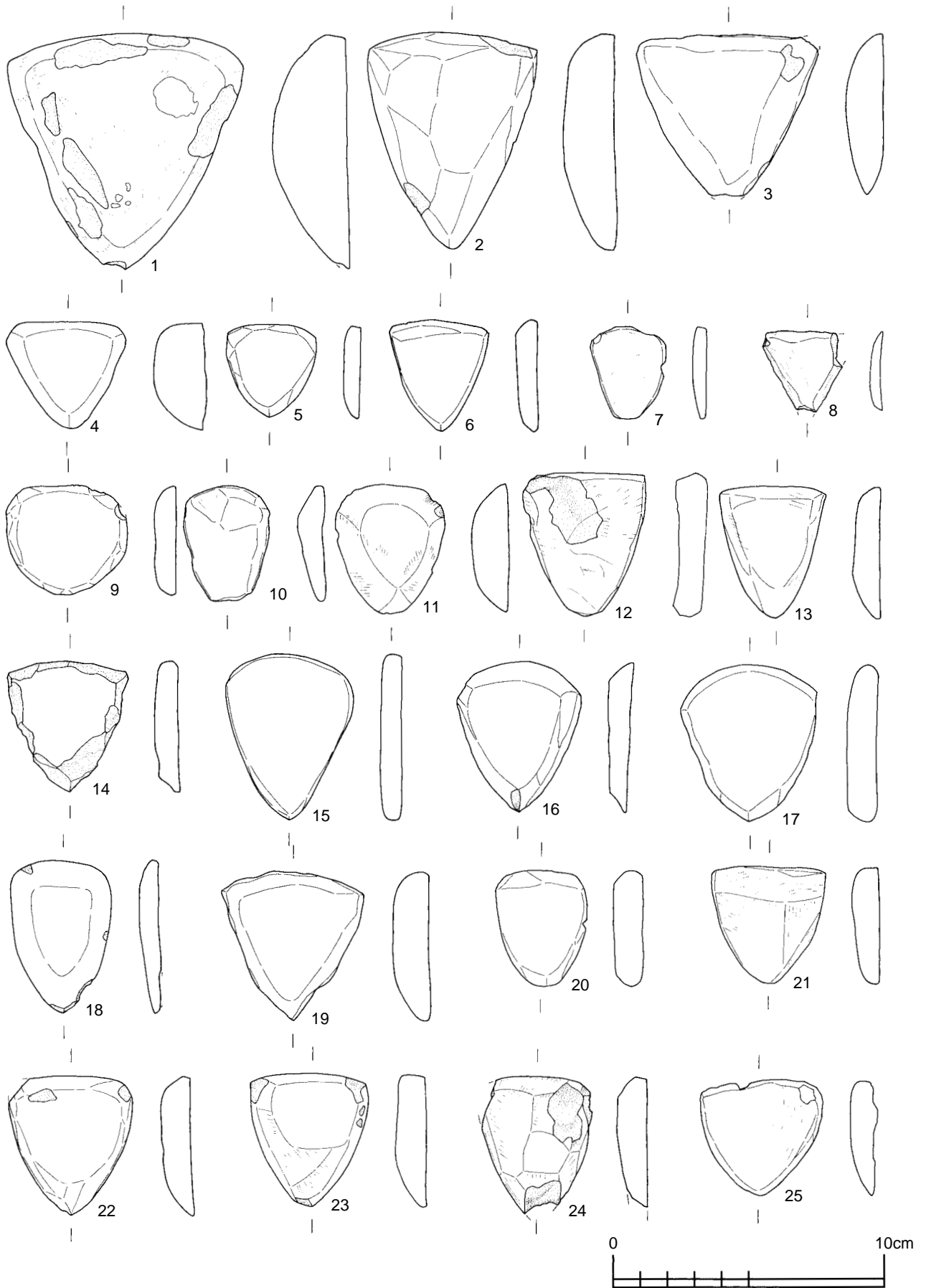


第354図 遺構外出土土製品(5)

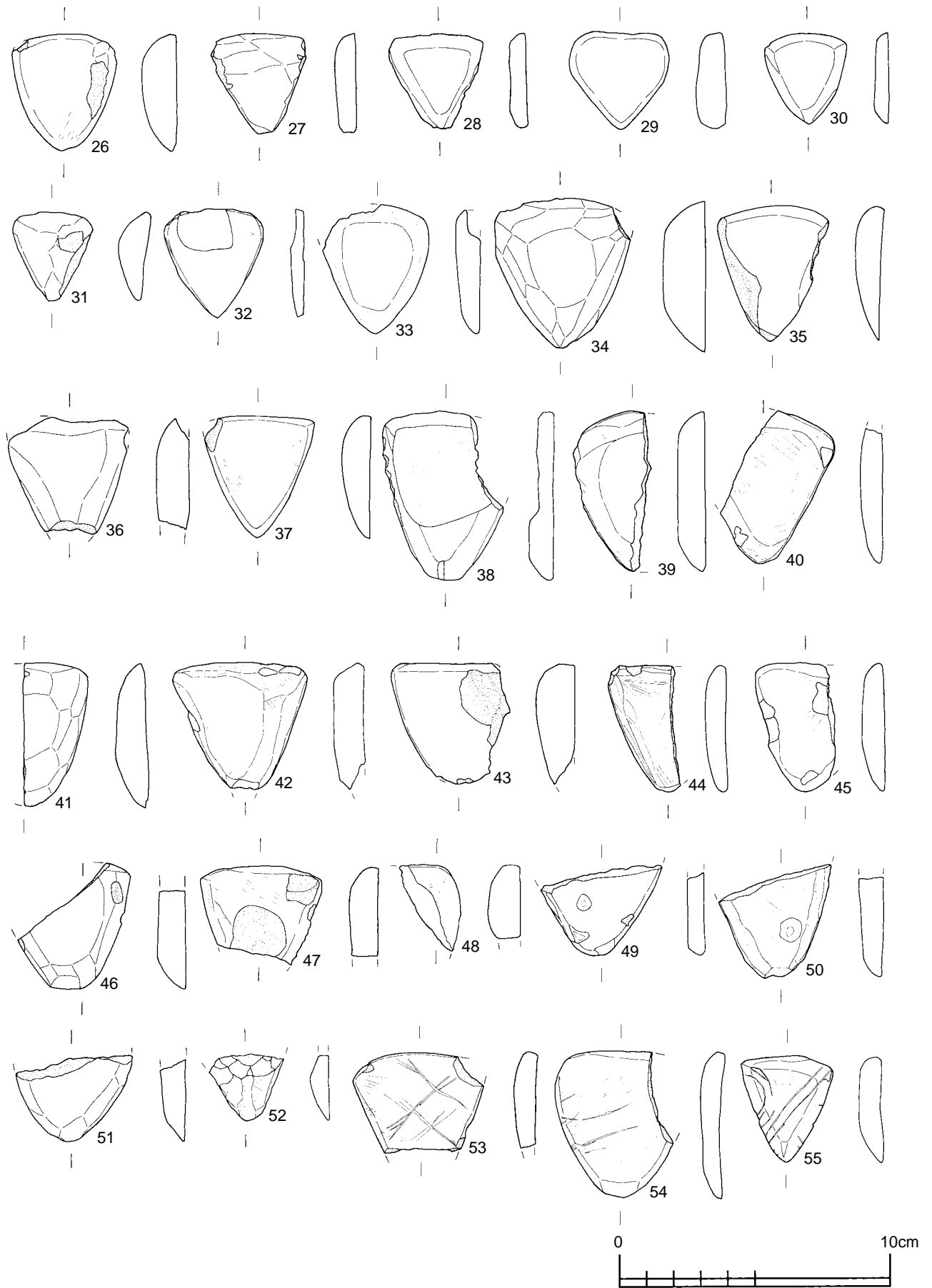


第355図 遺構外出土製品(6)

4. 石製品

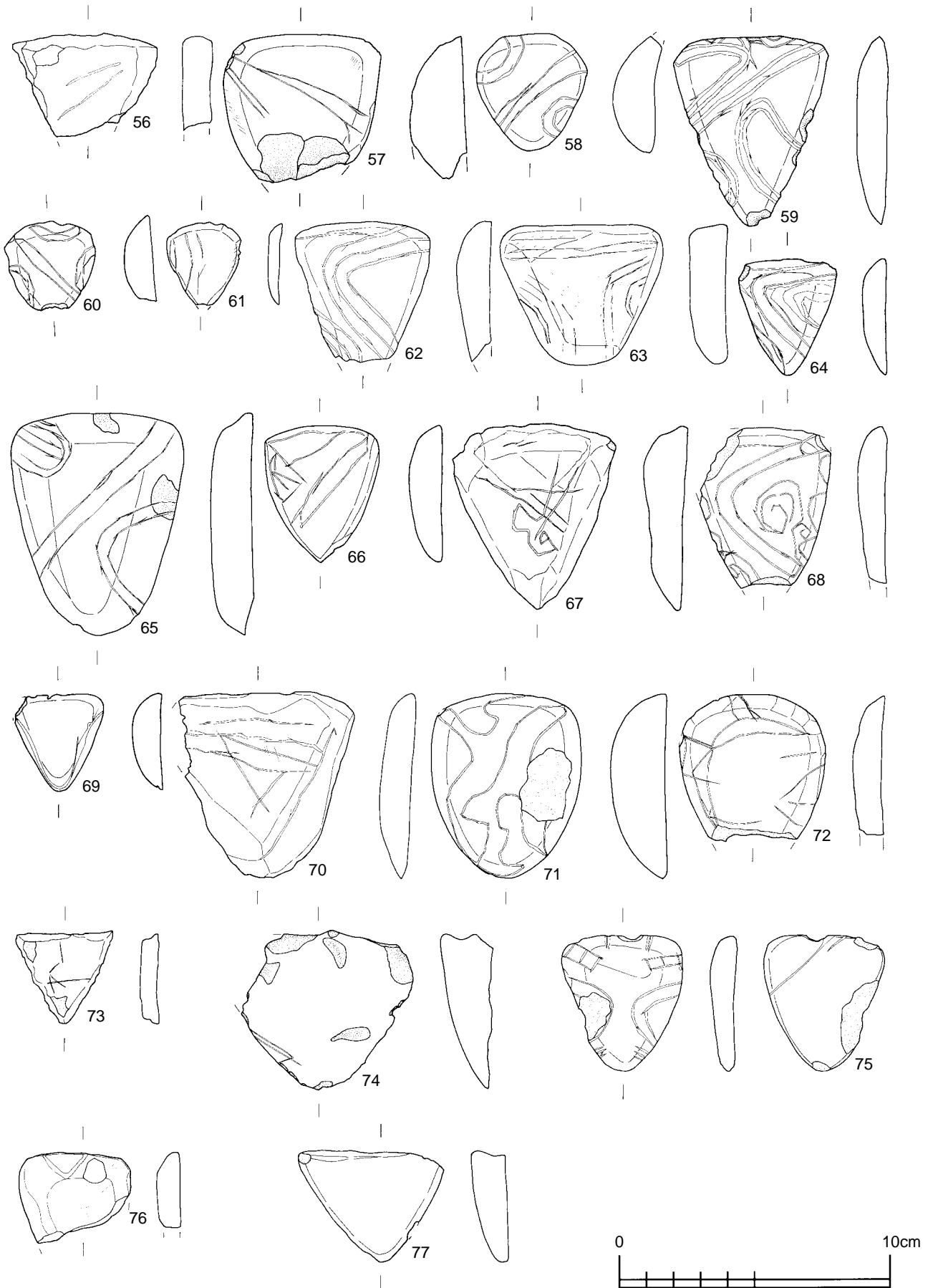


第356図 遺構外出土石製品(1)

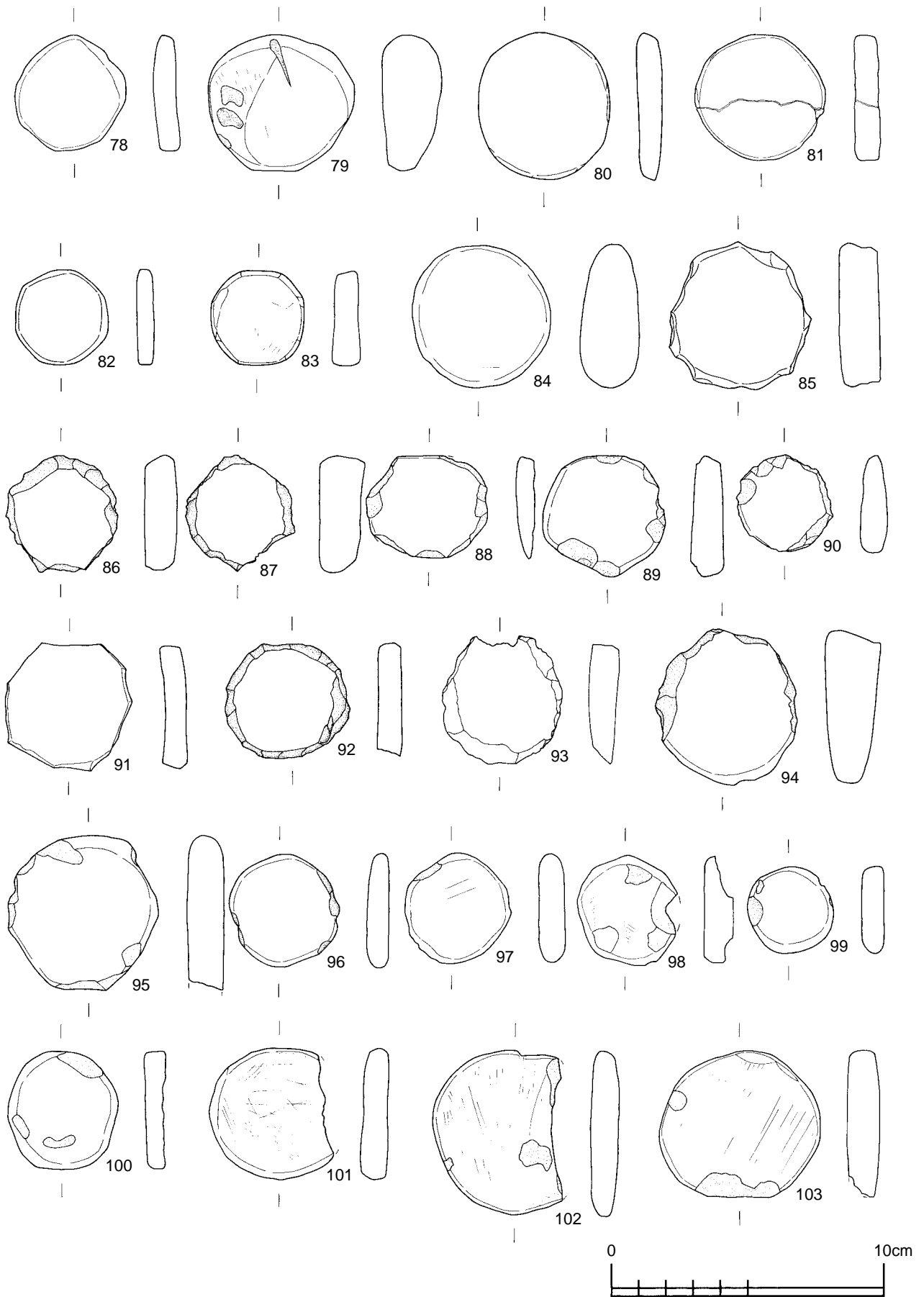


第357図 遺構外出土石製品(2)

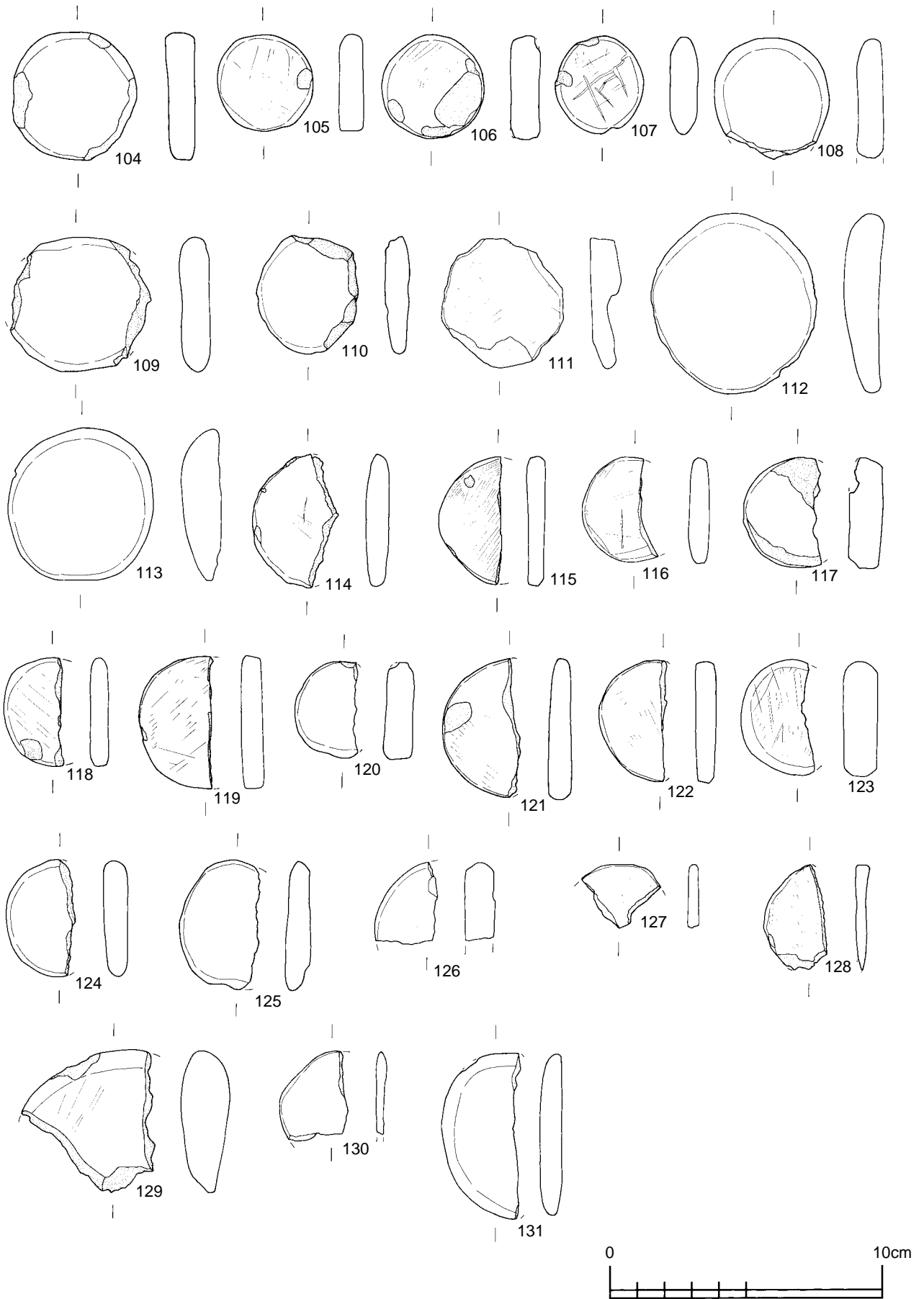




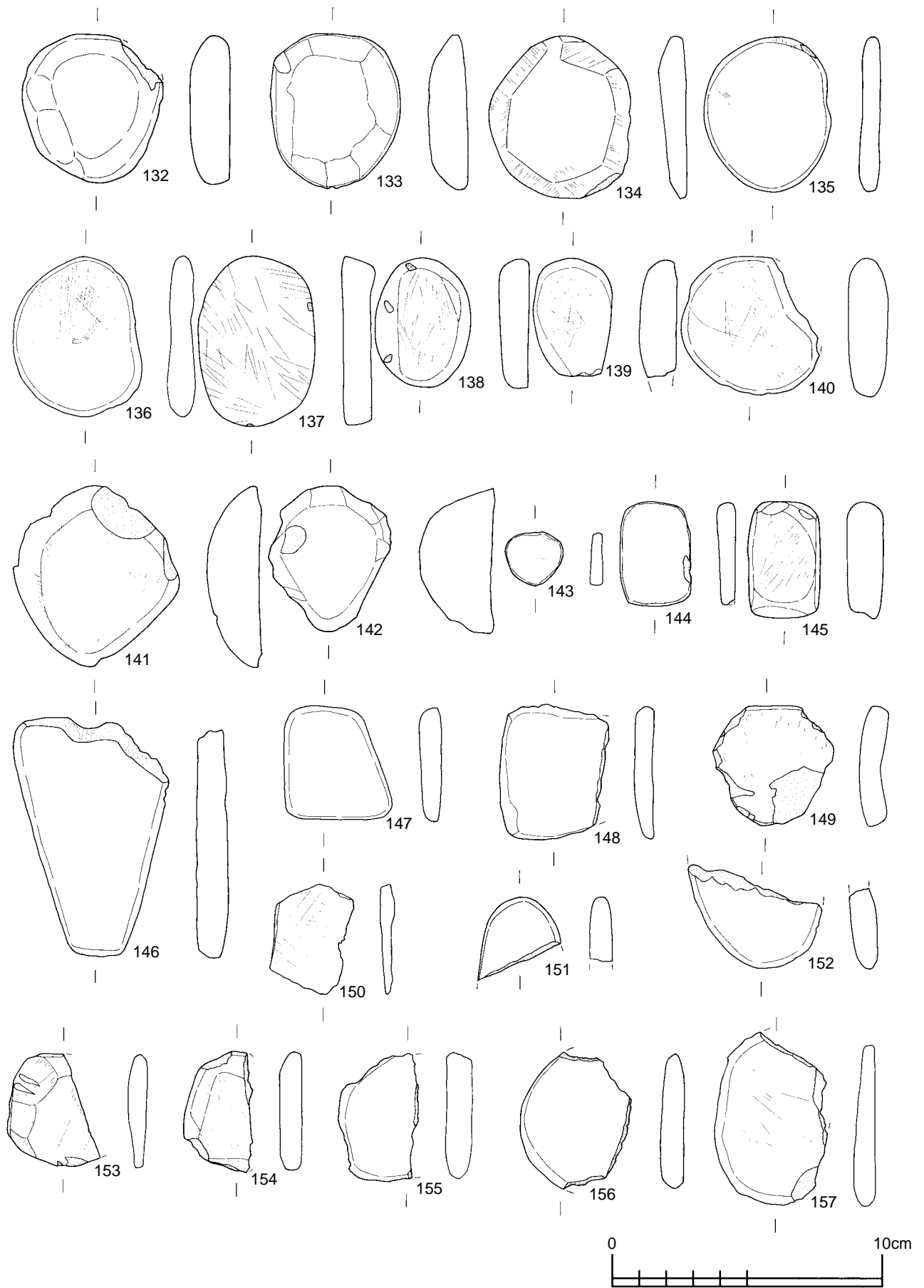
第358図 遺構外出土石製品(3)



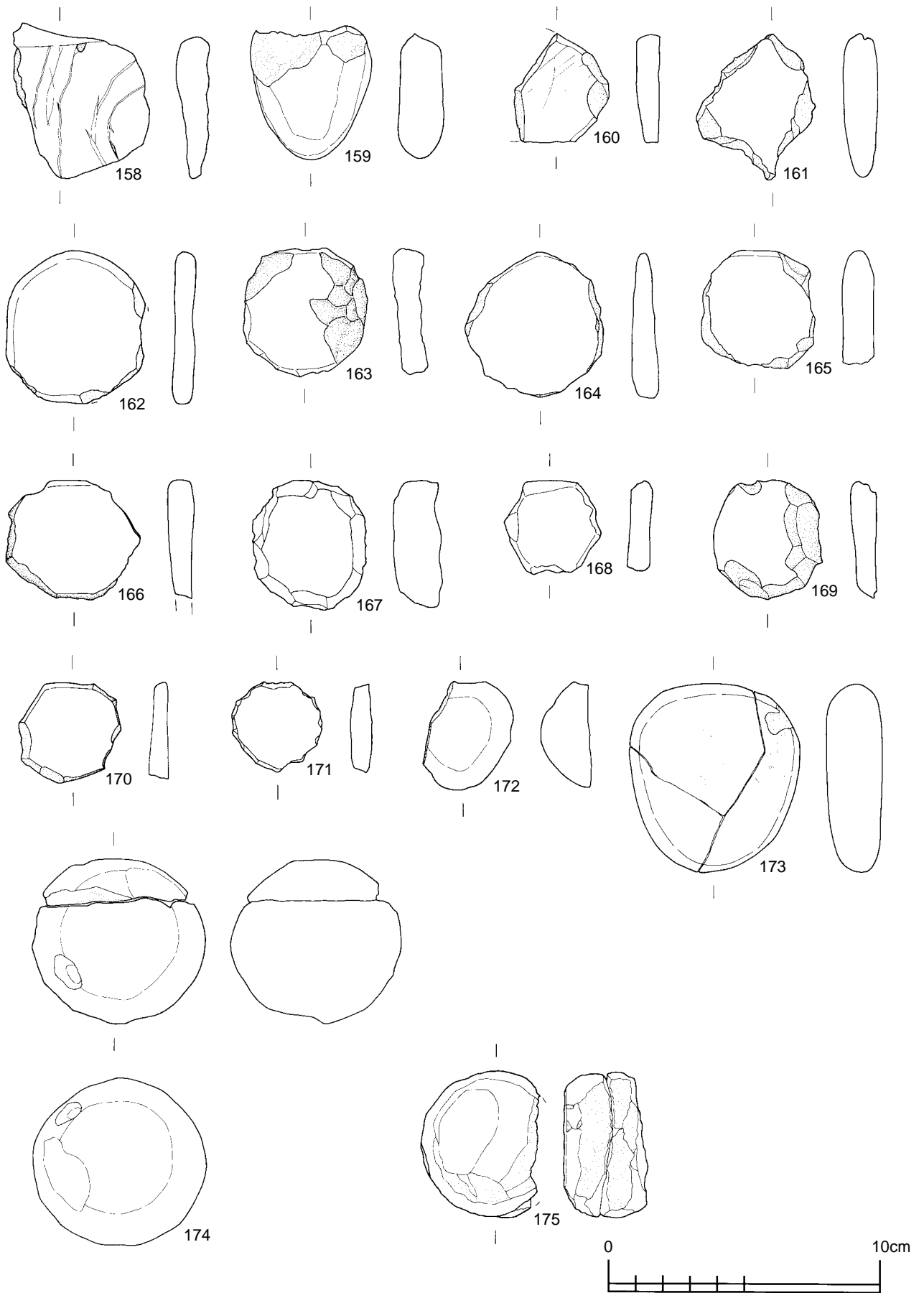
第359図 遺構外出土石製品(4)



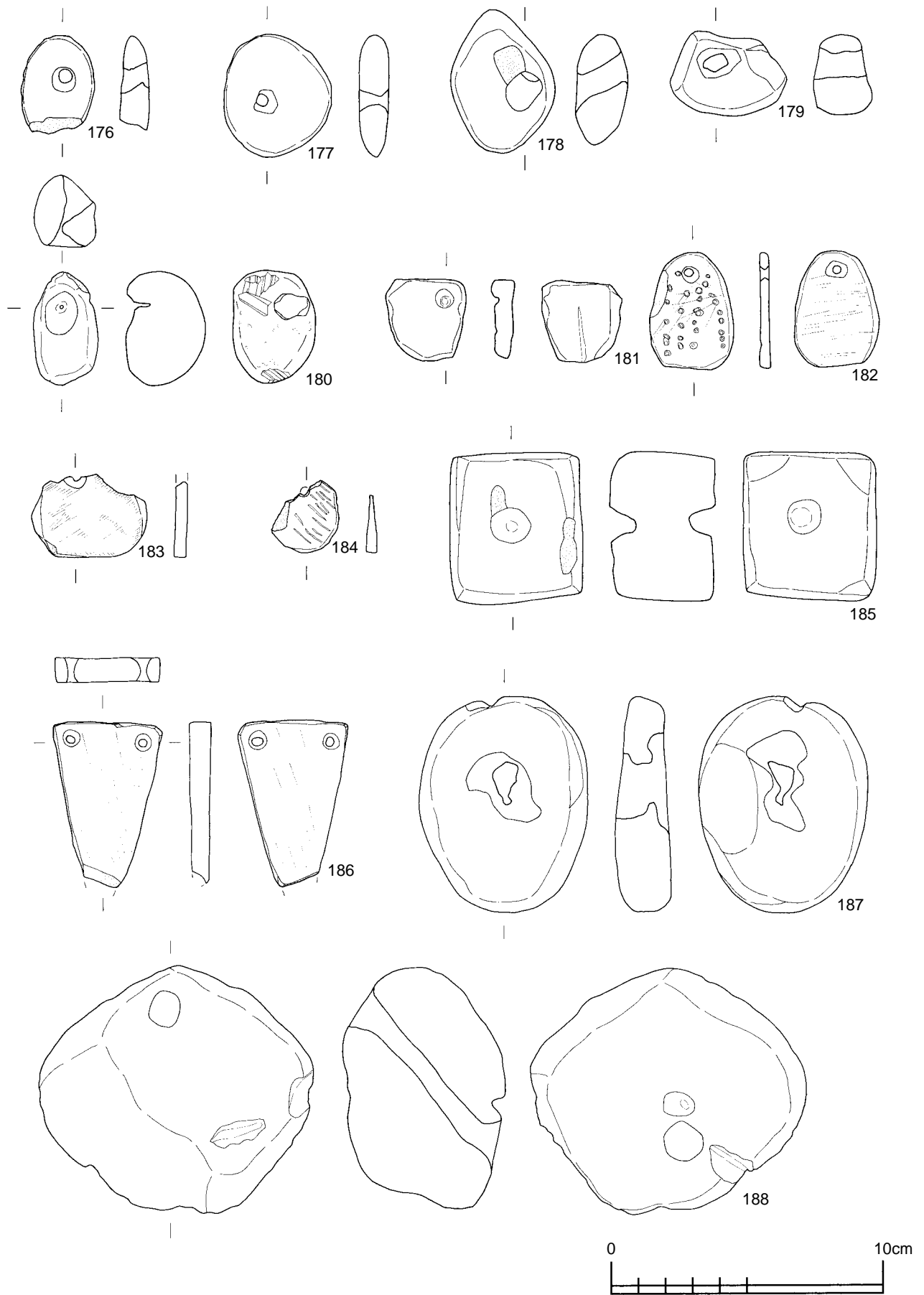
第360図 遺構外出土石製品(5)



第361図 遺構外出土石製品(6)



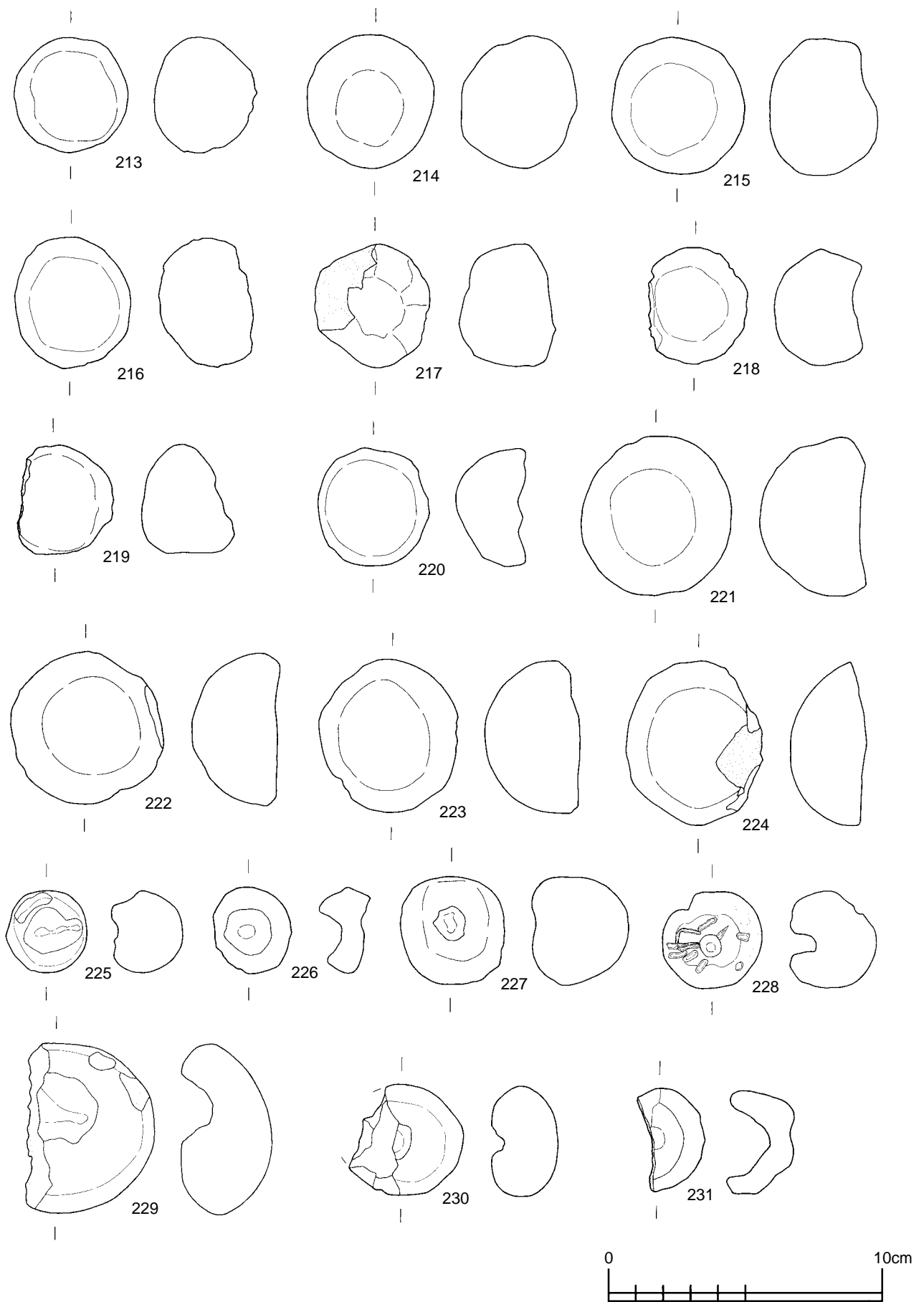
第362図 遺構外出土石製品(7)



第363図 遺構外出土石製品(8)

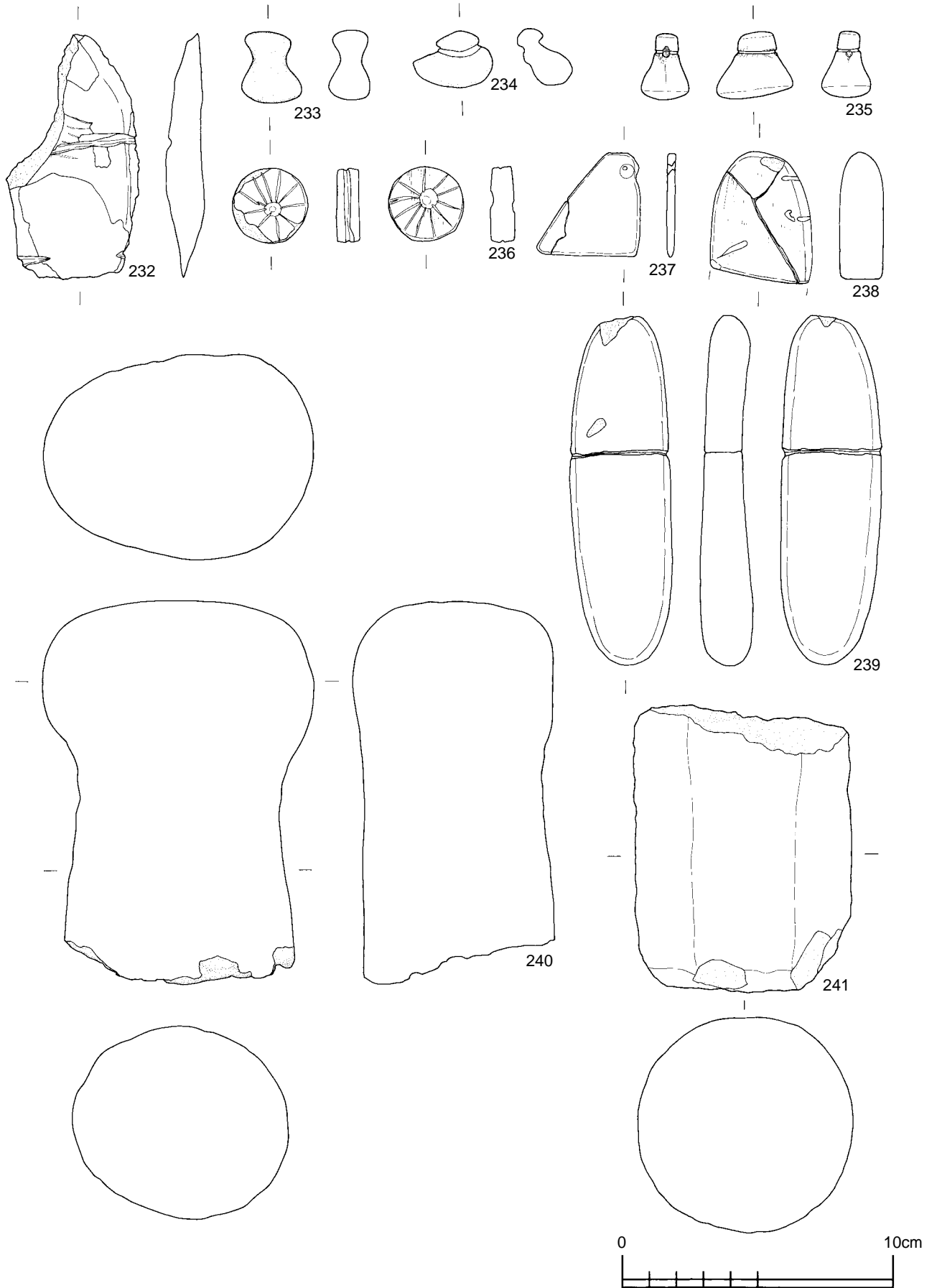


第364図 遺構外出土石製品(9)

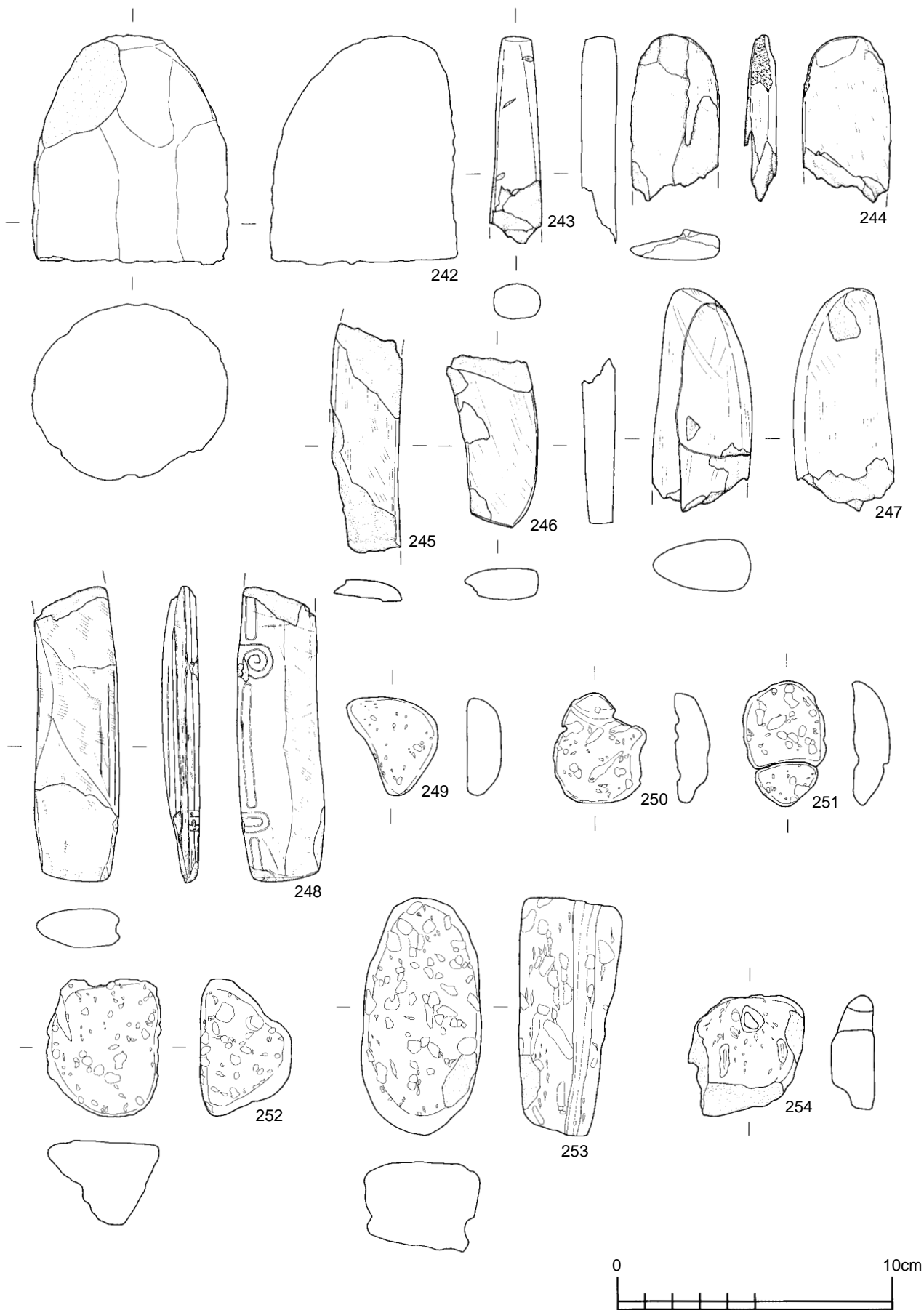


第365図 遺構外出土石製品(10)





第366図 遺構外出土石製品(11)



第367図 遺構外出土石製品(12)

## 平成11年度調査のまとめ

稲山遺跡は、青森市諏訪沢字山辺に所在する遺跡である。

本遺跡は、青森市東部の山地に位置し、砥取山から北東に伸びる小山地の末端部に相当する稲山の南丘陵、標高10～40mに位置する。調査対象区は遺跡の北側にあたり、調査区中央部は丘陵が一部南に突き出し、東西と比較し標高の高い台地上の地形となっている。西側は緩やかな丘陵、東側は平坦に近い地形である。

本遺跡の発掘調査は、平成10年度より実施しており、平成11年度調査は第二次調査に相当する。平成11年度調査においては、調査対象範囲の東側を主体に調査面積4,844㎡の発掘調査を実施した。

調査の結果、竪穴式住居跡12軒、土坑429基、埋設土器遺構22基、石棺墓3基、配石遺構5基を検出した。竪穴式住居跡は、縄文時代前期末葉の時期と思われるもの2軒、時期不明で、縄文時代前期中葉もしくはそれ以前の時期と思われるもの1軒、時期不明で、縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の時期と思われるもの9軒である。土坑は、縄文時代前期と思われるもの76基、前期以前と思われるもの2基、前期以降と思われるもの9基、縄文時代後期と思われるもの178基、後期以前と思われるもの10基、後期以降と思われるもの9基、時期の特定ができずおおむね縄文時代の土坑と思われるもの3基、同じくおおむね縄文時代以降と思われるもの1基、おおむね平安時代以降と思われるもの1基、時期が不明のもの140基である。埋設土器遺構は、第 群5 a類土器が埋設され、縄文時代前期末葉と思われるもの16基、第 群6類土器が埋設されおおむね縄文時代前期後半と思われるもの6基である。石棺墓・配石遺構は、時期を特定できるような遺物の出土は、見られなかったが他遺跡の類例などからは、おおむね縄文時代中期末葉から後期初頭の時期が想定される。また、昨年度調査時に精査した部分に連続する縄文時代後期遺物集中ブロック及び縄文時代前期遺物集中ブロックを確認した。これらの遺構は、昨年度の調査と同様、本遺跡調査区の中央部台地頂部をおおむね中心とした分布を呈している。

出土遺物は、土器、石器、土製品、石製品、古銭等、段ボール換算で計550箱が出土している。出土土器の主体を占めるのは、第 群土器、第 群土器である。第 群土器では、弓矢や動物をモチーフにしていると考えられる狩猟文土器が出土している。また、本遺跡の調査では、遺跡の主体部と思われる調査区中央部の台地上において数多く出土する水晶に着目し、石器の項に含めて記載してきたが、平成11年度調査で出土した有孔石製品1点については、水晶に孔を空けて加工しているものが出土している。また、土製品並びに石製品では、昨年度調査と同様に土器片利用土製品や三角形岩版、円形岩版が多数出土している。

以上、平成11年度の調査における検出遺構と出土遺物について概略を述べた。

本遺跡の発掘調査は、当委員会がこれまで平成10年度から平成13年度の四次にわたり実施しており、本遺跡の調査対象範囲については平成14年度以降に調査を予定している1,173㎡を除いて調査を終了している。本遺跡の主体部と思われる調査区中央部の台地については、ほぼ調査を終了している状況である。

最後になりましたが、本遺跡の現地調査並びに整理報告書刊行作業にわたり、ご指導ご協力を賜った多くの方々に、深くお礼を申し上げます。また、現地調査並びに整理報告書刊行作業は、今後も、引き続き実施する予定であり、今後とも、ご指導ご協力を頂けますよう何卒お願い申し上げます。

(小野)



## 既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1	1962	『三内霊園遺跡調査概報』
〃	2	1965	『四ツ石遺跡調査概報』
〃	3	1967	『玉清水遺跡調査概報』
〃	4	1970	『三内丸山遺跡調査概報』
〃	5	1971	『野木和遺跡調査報告書』
〃	6	1971	『玉清水 遺跡発掘調査報告書』
〃	7	1971	『大浦遺跡調査報告書』
〃	8	1973	『孫内遺跡発掘調査報告書』
		1979	『蛭沢遺跡』
		1983	『四戸橋遺跡調査報告書』
青森市の埋蔵文化財	1983		『山野峠遺跡』
〃	1985		『長森遺跡発掘調査報告書』
〃	1986		『田茂木野遺跡発掘調査報告書』
〃	1987		『横内城跡発掘調査報告書』
〃	1988		『三内丸山 遺跡発掘調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書第16集	1991		『山吹（1）遺跡発掘調査報告書』
〃	第17集	1992	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』
〃	第18集	1993	『三内丸山（2）遺跡発掘調査概報』
〃	第19集	1993	『市内遺跡発掘調査報告書』
〃	第20集	1993	『小牧野遺跡発掘調査概報』
〃	第21集	1994	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第22集	1994	『小三内遺跡発掘調査報告書』
〃	第23集	1994	『三内丸山（2）・小三内遺跡発掘調査報告書』
〃	第24集	1995	『横内遺跡・横内（2）遺跡発掘調査報告書』
〃	第25集	1995	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第26集	1995	『桜峯（2）遺跡発掘調査報告書』
〃	第27集	1996	『桜峯（1）遺跡発掘調査概報』
〃	第28集	1996	『三内丸山（2）遺跡発掘調査報告書』
〃	第29集	1996	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第30集	1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第31集	1997	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第32集	1997	『桜峯（1）遺跡発掘調査概報』
〃	第33集	1997	『新町野遺跡試掘調査報告書』
〃	第34集	1997	『葛野（2）遺跡発掘調査報告書』
〃	第35集	1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第36集	1998	『桜峯（1）遺跡発掘調査報告書』
〃	第37集	1998	『新町野遺跡発掘調査報告書』
〃	第38集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』
〃	第39集	1998	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第40集	1998	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第41集	1998	『野木遺跡発掘調査概報』
〃	第42集	1998	『熊沢遺跡発掘調査概報』
〃	第43集	1999	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
〃	第44集	1999	『葛野（2）遺跡発掘調査報告書』
〃	第45集	1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第46集	1999	『新町野・野木遺跡発掘調査概報』
〃	第47集	1999	『稲山遺跡発掘調査概報』
〃	第48集	2000	『熊沢遺跡発掘調査報告書』
〃	第49集	2000	『稲山遺跡発掘調査概報』
〃	第50集	2000	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第51集	2000	『桜峯（1）・雲谷山吹（3）遺跡発掘調査報告書』
〃	第52集	2000	『大矢沢野田（1）遺跡調査報告書』
〃	第53集	2000	『市内遺跡発掘調査報告書』
〃	第54集	2001	『新町野遺跡発掘調査報告書』・野木遺跡発掘調査報告書』
〃	第55集	2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第56集	2001	『稲山遺跡発掘調査報告書』
〃	第57集	2001	『稲山遺跡発掘調査概報』
〃	第58集	2001	『大矢沢野田（1）遺跡発掘調査概報』
〃	第59集	2001	『市内遺跡発掘調査報告書』
〃	第60集	2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書』
〃	第61集	2002	『大矢沢野田（1）遺跡発掘調査報告書』
〃	第62集	2002	『稲山遺跡発掘調査報告書』
〃	第63集	2002	『稲山遺跡発掘調査概報』
〃	第64集	2002	『市内遺跡発掘調査報告書』

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	いなやまいせきはくつちょうさほうこくしょ								
書名	稲山遺跡発掘調査報告書								
副書名									
巻次									
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書								
シリーズ番号	第62集								
編著者名	小野貴之、蝦名 純								
編集機関	青森市教育委員会								
所在地	〒030 8555 青森県青森市中央一丁目22 - 5 TEL 017 - 734 - 1111								
発行年月日	西暦 2002年3月29日								
ふりがな	ふりがな	コ ー ド		北緯	東経	調査機関	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号						
いな 稲	やま 山	あお もり し おお あざ 青 森 市 大 字	02201	045	40° 49 2	140° 47 30	19990511 ) 19991119	4,894	道路建設(東北縦貫自動車道八戸線建設工事)に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
いな 稲	やま 山	集落跡	縄文	竪穴式住居跡 12軒 土坑 429基 埋設土器遺構 22基 石棺墓 3基 配石遺構 5基	縄文土器 石器 土製品 石製品 古銭				

青森市埋蔵文化財調査報告書第62集

### 稲山遺跡発掘調査報告書

発行年月日 平成 14 年 3 月 29 日

発 行 青 森 市 教 育 委 員 会

〒030 8555 青森市中央一丁目22 5

TEL 017 734 1111

印 刷 青森オフセット印刷株式会社

〒030 0802 青森市本町二丁目11 16

TEL 017 775 1431